らくらくホン ベーシック 3

ISSUE DATE: '12.2

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書　F-08C

はじめに

「らくらくホン ベーシック 3 F-08C」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

FOMA端末のご使用にあたって

- F-08Cは、W-CDMA方式に対応しています。
- FOMA端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中など電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、スケジュール帳、メモ、伝言メモ、音声メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkを利用して電話帳やメール、予定などの情報をパソコンに転送・保管できます。
- お客様はSSL／TLSをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。
  お客様によるSSL／TLSのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSL／TLSの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、GMOグローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社、株式会社コモドジャパン、Entrust,Inc.
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- F-08Cは、バイリンガル機能には対応しておりません。
- 本書は、ドコモUIMカードをご使用の場合で記載しています。

SIMロック解除

本FOMA端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

本書の見かた／引きかた

- この『らくらくホン ベーシック 3 F-08C取扱説明書』の本文中においては、「F-08C」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書で掲載している画面やイラストはイメージです。実際の製品と異なる場合があります。
- 本書は主にお買い上げ時の設定をもとに説明しています。設定を変更していると、FOMA端末の表示や動作が本書の記載と異なる場合があります。お買い上げ時の設定については、メニュー一覧をご覧ください。
- 本書では、画面を見やすくするために待受画面の設定を「表示なし」にした状態で記載しています。また、メニュー項目をリストにしている場合で説明しています。タイルに設定したときは、メニュー項目名が本書での記載と異なるものがありますが、操作するダイヤルボタンは同じです。
- FOMAカード（緑色・白色）をご利用のお客様は、本書内に記載している「ドコモUIMカード」は「FOMAカード」と読み替えてください。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

はじめてFOMA端末をお使いになる方へ

本FOMA端末が「はじめてのFOMA端末」という方は、まず、本書を以下の順序でお読みください。FOMA端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひととおりご理解いただくことができます。

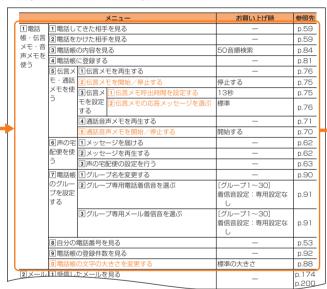
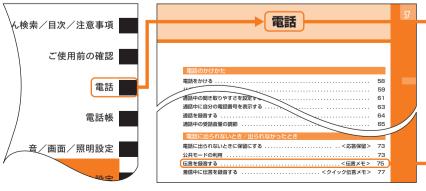
1.「安全上のご注意」を確認しましょう→p.10
2.電池パックを取り付けて、充電しましょう→p.41、p.42
3.電源を入れて初期設定を行い、自分の電話番号を確認しましょう→p.47、p.53
4.本体のボタンなどの役割を確認しましょう→p.20
5.ディスプレイに表示されるマークの意味を確認しましょう→p.22
6.メニューの操作方法を確認しましょう→p.30
7.電話のかけかた／受けかたを確認しましょう→p.58、p.66

本書についての最新情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
- 「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード

http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

かんたん検索から探すとき

よく使う機能や知っていると便利な機能が、わかりやすい言葉で目的別に分類されています。

電話に出られないとき

メニュー一覧から探すとき

FOMA端末の画面に表示されるメニューから探すことができます。

メニュー				お買い上げ時	参照先
1 電話帳・伝言メモ・音声メモを使う	1 電話してきた相手を見る			—	p.59
	2 電話をかけた相手を見る			—	p.59
	3 電話帳の内容を見る			50音順検索	p.84
	4 電話帳に登録する			—	p.81
	5 伝言メモ・通話メモを使う	1 伝言メモを再生する		—	p.76
		2 伝言メモを開始／停止する		停止する	p.75
		3 伝言メモを設定する	1 伝言メモ呼出時間を設定する	13秒	p.75
			2 伝言メモの応答メッセージを選ぶ	標準	p.76
		4 通話音声メモを再生する		—	p.71
		5 通話音声メモを開始／停止する		開始する	p.70
	6 声の宅配便を使う	1 メッセージを届ける		—	p.62
		2 メッセージを再生する		—	p.62
		3 声の宅配便の設定を行う		—	p.63
	7 電話帳のグループを設定する	1 グループ名を変更する		—	p.90
		2 グループ専用電話着信音を選ぶ		［グループ1～30］着信音設定：専用設定なし	p.91
		3 グループ専用メール着信音を選ぶ		［グループ1～30］着信音設定：専用設定なし	p.91
	8 自分の電話番号を見る			—	p.53
	9 電話帳の登録件数を見る			—	p.92
	0 電話帳の文字の大きさを変更する			標準の大きさ	p.88
2 メール	1 受信したメールを見る			—	p.174 p.200

表紙インデックスから探すとき

インデックスを頼りに、表紙→章扉→機能の説明ページという順で探すことができます。

電話のかけかた

電話に出られないとき／出られなかったとき

伝言を録音する

伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときに応答メッセージを再生し、相手の用件を録音します。〈伝言メモ〉
• 最大4件、1件につき約30秒間録音できます。

伝言メモの設定

相手の用件を録音できるようにします。

1 待受画面で(メニュー)▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「5伝言メモ・通話メモを使う」▶「2伝言メモを開始／停止する」▶「1開始する」または「2停止する」を押す
伝言メモを開始／停止した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。
• 伝言メモ設定中は待受画面に(黒)が表示されます。

伝言メモを設定すると

電話がかかってくると、相手の用件を録音します。
• 伝言メモ設定中でも電話を受けられます。

1 電話がかかってくる
呼出時間設定に従って着信音が鳴った後、伝言メモ応答中画面が表示され、相手には伝言メモ応答メッセージが流れます。
• FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「伝言メモ起動中」が表示されます。

2 相手のメッセージが録音される
伝言メモ録音中画面が表示されます。
• 開始時と終了時に相手には「ピーッ」と音が鳴ります。また、開始時から約25秒後に、終了予告音（ピピッ）が鳴ります。

3 録音が終了すると、電話が切れる
伝言メモが録音されると、待受画面に新着情報（→p.25）と が表示されます。
• FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに 伝言 が表示されます。

お知らせ
• 伝言メモ応答中、伝言メモ録音中でも を押して電話に出ることができます。
• 伝言メモ録音中に応答した場合、電話を受けるまでの録音内容が通話メモとして記録されます。
• FOMA端末の電源が入っていないときや圏外にいるときは、伝言メモ機能は動作しません。留守番電話サービスをご利用ください。
• 伝言メモが4件録音されると、待受画面に(赤)が表示され伝言メモは動作しません。不要な伝言メモを削除してください。
• 伝言メモが動作しない状態で伝言メモを設定しようとすると、削除を促す画面が表示されます。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始に設定している場合は、各サービスが動作します。
• 伝言メモが録音された場合でも、着信履歴に記録されます。そのため、リダイヤル／着信履歴を削除するときに伝言メモも同時に削除される場合があります。→p.60

録音の開始時間の設定

電話がかかってきてから応答メッセージが流れるまでの時間を設定します。〈呼出時間設定〉
• お買い上げ時は「13秒」に設定されています。

1 待受画面で(メニュー)▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「5伝言メモ・通話メモを使う」▶「3伝言メモを設定する」▶「1伝言メモ呼出時間を設定する」を押す
呼出時間の設定画面が表示されます。

2 呼出時間を入力▶決定を押す
呼出時間を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。
• 0～120秒の間で入力します。

※ ページはイメージです。本文中のページとは異なります。

基本的な操作手順とボタンの表記

• 代表的な操作の方法をショートカット操作（→p.32）で説明しています。また、操作手順の一部を簡略化して表記しています。

1 待受画面で(メニュー)▶「＊設定を行う」▶「2電話着信時の設定を行う」

待受画面で(メニュー)（メニューボタン）を押してメニュー画面を表示させます。

(＊)（＊に対応するダイヤルボタン）を押します。

(2)（2に対応するダイヤルボタン）を押します。

▶「4電話着信ランプの色を選ぶ」を押す

(4)（4に対応するダイヤルボタン）を押します。

• 本書の操作の説明では、ボタンを押す動作をイラストで表現している箇所があります。
本書で使用しているボタンのイラスト→p.20「各部の名称と機能」
• 本書では、(マルチカーソルボタン）を押して機能や項目を選ぶ操作を「選択」と表記しています。
• 文字の入力方法は主にインライン入力（入力欄に文字を直接入力する方法）で説明しています。→p.364

かんたん検索

よく使う機能や知っていると便利な機能を、わかりやすい言葉から調べたいときにご活用ください。

通話に便利な機能

電話に出られないとき

音・振動を変える

画面表示を変える

安心して使うために

メールを使う

カメラを使う

音声呼び出し・読み上げ

その他の機能

※ 1 有料サービスです。
※ 2 お申し込みが必要な有料サービスです。

● その他の機能の検索方法については、「本書の見かた／引きかた」を参照してください。→p.1

目　次

F-08Cの主な機能

F-08Cの主な特徴

iコンシェル

待受画面上のキャラクタ（マチキャラ）が役立つ情報（インフォメーション）を教えてくれるサービスです。FOMA端末でスケジュールを作ったり、トルカを取得したり、サイトからiスケジュールをダウンロードすることにより、FOMA端末を便利に利用いただくことができます。
FOMA端末に保存されたスケジュールに対して、関連する情報をお伝えしたり、スケジュールやトルカを自動で最新の情報に更新したり、電話帳にお店や会社の住所情報などを自動で追加したりできます。→p.245

声の宅配便

音声メッセージを預かり、相手にメッセージを預かっていることをSMSで通知するサービスです。
電話をかけるのと同じように簡単な操作でメッセージを預けたり、再生したりすることができます。→p.61

iモードメール、デコメール®

テキスト本文に加えて、写真や動画ファイルなどを添付することができます。→p.166
また、デコメール®にも対応しているので、カラフルで楽しいメールを受け取ったり、メールを装飾して送信したりすることができます。→p.161、p.163

音声入力メール※

ボタン操作が苦手な方でも、簡単に音声で文字を入力し、メールを作成できるサービスです。
文章に変換後は、手入力で修正したり、絵文字を追加したりできます。→p.374
※ お申し込みが必要な有料サービスです。

つながりほっとサポート※

あらかじめ指定した相手に、携帯電話の利用記録をお知らせすることができるサービスです。
また、利用記録に連動したキャラクターとともにご自身の利用記録を確認したりすることができます。→p.361
※ お申し込みが必要な有料サービスです。

使いかたガイド

手元に取扱説明書がなくても、使いたい機能の操作方法をFOMA端末ですぐに調べることができます。機能一覧から検索したりキーワードを入力したりすることで、機能の概要や操作方法が表示され、さらにその機能を起動することもできます。→p.36

らくらくホンセンター

使いかたがわからず困ったときに「らくらくホンセンター」に電話をかけると、らくらくホンの使いかたをアドバイザーがご案内します。
電話をかけるための専用ボタン「使いかたボタン」を設けているので、簡単に電話をかけることができます。通話料はかかりません。→p.35

ドコモコミュニティ※

ドコモコミュニティとは、家族や友達と写真や日記を共有できる月額使用料無料のコミュニケーションサービスです。→p.360
メールを送る要領で日記を書いたり、写真を送ったりすることができるので、情報の更新も簡単です。
※ お申し込みが必要なサービスです。

F-08Cならではの便利な機能

音声認識

登録している電話帳や各機能を音声で簡単に呼び出すことができます。呼び出す機能は、最大100件まで登録することができます。利用頻度に合わせて、あらかじめ登録されている機能を変更したり、新たに追加したりすることができます。→p.140、p.142

音声読み上げ

表示中の操作の説明、受信メールやサイトの内容を読み上げます。→p.143
FOMA端末を閉じているときに左側面上の[ボタン]を1秒以上押せば、時刻を声でお知らせします。
読み上げの声質や速さを変更して、聞きやすい読み上げ動作を設定することができます。

ワンタッチダイヤル

ディスプレイの下の数字ボタン（ワンタッチダイヤルボタン）を押すだけで、登録した相手に、簡単に電話をかけたりメールを作成したりすることができます。登録相手専用の着信音や着信画像を設定することも可能です。→p.97

光ガイドとガイド機能

電話がかかってくると、ボタンが明るく点滅して電話に出る方法をお知らせします。ビデオ撮影時や設定を確定するときなど、次に押すボタンがわかります。画面下に「ガイド」が表示されるメニューや機能名などは、その説明を読むことができます。→p.26、p.66、p.256

多彩なあんしん設定

おまかせロック※

おまかせロックは、ご契約者本人からのお申し出によりFOMA端末にロックをかけるサービスです。ご契約者本人とFOMA端末を所持しているお客様が異なる場合でも、ご契約者本人からのお申し出がある場合は、おまかせロックがかかりますのでご了承ください。→p.123

※ ドコモプレミアクラブ会員の場合、手数料無料で何回でもご利用いただけます。ドコモプレミアクラブ未入会の場合、有料のサービスとなります。(ただし、ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。)ご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細については『ご利用ガイドブック(iモード〈FOMA〉編)』をご覧ください。

ケータイデータお預かりサービス※

電話帳などを自動更新でバックアップできるサービスです。FOMA端末に保存している電話帳・画像・メール・スケジュール・トルカをお預かりセンターにバックアップ(保存)し、紛失時などにデータを復元することができます。また、メールアドレスを変更した場合に一斉通知することもできます。パソコン(My docomo)があれば、さらに便利にご利用いただけます。→p.132

※ お申し込みが必要な有料サービスです。ご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細については『ご利用ガイドブック(iモード〈FOMA〉編)』をご覧ください。

その他の役立つ機能

おまかせカメラ

逆光、明るさ、手ブレ、歪みなどを自動で補正します。また、被写体の動きに合わせてピント調節を自動で行いますので、接写から通常撮影まで簡単にきれいな写真を撮ることができます。→p.252

あわせるボイス

個人情報に誕生日を登録すると、自分の年代に合わせて音質が調節されて相手の声が聞き取りやすくなります。→p.70

スーパーはっきりボイス3とぴったりボイス

「スーパーはっきりボイス3(=はっきりボイス)」は、雑音に応じて強調のしかたを変更し、いろいろな場所で相手の声を聞き取りやすくします。また、はっきりボイスの動作中に「新幹線乗車中」「歩行中」「走行中」の特定環境に合わせて、はっきりボイスよりもさらに適切な音質調節を行う「ぴったりボイス」も備えています。→p.69
まわりが騒がしい屋外などで電話をかけたときに、相手に自動で雑音がカットされて聞こえるようになる「スーパーダブルマイク」も搭載しています。

ゆっくりボイス

相手の声のスピードを調節する「ゆっくりボイス」で聞き取りやすさを向上させます。→p.69

赤外線通信

赤外線通信機能が搭載された機器との間で、電話帳や写真などを送受信することができます。→p.331

歩数計・活動量計

FOMA端末を歩数計・活動量計として利用し、歩いた距離、消費カロリー、脂肪燃焼量や活動量などを算出することができます。→p.338

集音器

周囲の音を集めて音量調節し、イヤホンで聞くことができる機能です。→p.360

バーコードリーダーと拡大鏡

カメラの接写機能を利用して、FOMA端末をバーコードリーダーまたは拡大鏡として利用することができます。
拡大鏡は小さな文字を読むときなどに便利です。→p.255
バーコードリーダーでコードを読み取ると、情報を取得することができます。→p.264

かんたんデコメ

入力したメールの文章から予測して絵文字やデコメ®ピクチャを挿入したり、文字や背景を装飾したりできます。
複数の装飾パターンが表示されるので、好きなパターンを選ぶことができます。→p.370

おまかせランダム待受

待受画像配信元にメールアドレスと題名を設定すると、条件に一致したメールを受信したときに、そのメールに添付されている画像を自動で保存して、待受画面に表示させることができます。→p.111

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガスに引火する恐れがあります。

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **FOMA端末の電源を切る。**
- **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

FOMA端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらｉアプリなどを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

FOMA端末の取り扱いについて

⚠警告

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に悪影響を及ぼす原因となります。

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。

赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

FOMA端末内のドコモUIMカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。なお、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で携帯電話が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生、集音器を使用する場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

FOMA端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。→「材質一覧（p.15）」

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。

けがなどの事故の原因となります。

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

電池パックの取り扱いについて

■ **電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。**

表　示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠危険

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

火の中に投下しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

⚠警告

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

アダプタの取り扱いについて

⚠警告

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れた手でアダプタのコード、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なＡＣアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ドコモUIMカードの取り扱いについて

⚠注意

指示

ドコモUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ **本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

⚠警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切ってください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

使用箇所		材　質	表面処理
外装ケース	可動部背面ディスプレイ面	PC-GF樹脂	UVハードコート
	可動部ディスプレイ面	PC-GF樹脂	UVハードコート
	固定部操作ボタン面	PC-GF樹脂	UVハードコート
	固定部電池面	PC-GF樹脂	UVハードコート
	リアカバー	PC-GF樹脂	UVハードコート
	ヒンジ部　固定側	PC-GF樹脂	UVハードコート
ディスプレイパネル		アクリル樹脂	UVハードコート
背面ディスプレイパネル		アクリル樹脂	UVハードコート
カメラレンズ部、カメラパネル		アクリル樹脂	UVハードコート
IrDAパネル		アクリル樹脂	UVハードコート
サイドボタン		PC樹脂	UVハードコート
操作ボタン		PC樹脂	UVハードコート
操作ボタン周囲の化粧シート		PET樹脂	なし
ワンタッチダイヤルボタン		PC樹脂	UVハードコート
ケースパッド		ウレタン樹脂	なし
ヒンジパッド		エラストマー樹脂（TPEE）	なし
ストラップシャフト		ステンレス鋼	なし
外部接続端子キャップ		エラストマー樹脂（TPEE）	UVハードコート
外部接続端子		ステンレス鋼	錫メッキ
充電端子		ステンレス鋼	金メッキ（下地Niメッキ）
ネジ（電池収納部）		鋼	亜鉛メッキ（白）
電池収納面		プリント基板	金メッキ
電池パック	電池パック本体	PC樹脂	なし
	端子部	ベリリウム銅	金メッキ
電池端子	接点部	チタン銅	金メッキ
	接点ホルダ部	LCP樹脂	なし
ドコモUIMカードトレイ		POM樹脂	なし

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- 水をかけないでください。
  - FOMA端末、電池パック、アダプタ、ドコモUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。
  - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
    また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
  - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
  - 多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子（イヤホンマイク端子）に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
  - 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- 電池パック、アダプタ、卓上ホルダに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

FOMA端末についてのお願い

- 極端な高温、低温は避けてください。
  - 温度は5℃～35℃、湿度は35%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  - 故障、破損の原因となります。
- 外部接続端子（イヤホンマイク端子）に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
  - 故障、破損の原因となります。
- ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。
  - 故障、破損の原因となります。
- 使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
  - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常は外部接続端子キャップを閉じた状態でご使用ください。
  - ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- リアカバーを外したまま使用しないでください。
  - 電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- ディスプレイやボタンのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。
  - 故障、破損、誤動作の原因となります。
- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。
  - データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
  - キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
  - 強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。
  - 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。

  保管に適した電池残量は、目安として電池アイコン表示が2本の状態をお勧めします。

アダプタについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
  - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
  - 故障の原因となります。

ドコモUIMカードについてのお願い

- ドコモUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身でドコモUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  - データの消失、故障の原因となります。
- ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- ドコモUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
  - 故障の原因となります。

注意

- 改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。

  FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク〒」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。

  FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。

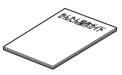
  技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。

  運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

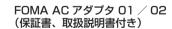
  ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。

  ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

本体付属品および主なオプション品について

■ 本体付属品

F-08C
（リアカバー F59、保証書含む）

らくらくホン ベーシック 3
取扱説明書（本書）

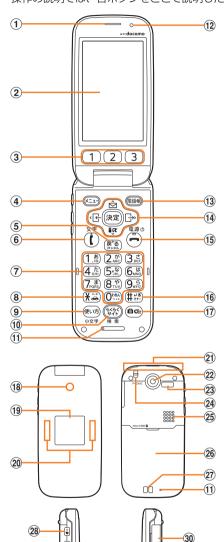
らくらくホン ベーシック 3
かんたん操作ガイド

電池パック F18

らくらくホン ベーシック 3
使いこなしDVD

■ 主なオプション品

FOMA AC アダプタ 01 ／ 02
（保証書、取扱説明書付き）

卓上ホルダ F33

その他のオプション品→p.422

ご使用前の確認

各部の名称と機能

ここでは、F-08Cの各部の名称と、ボタンに割り当てられている主な操作の説明をします。

• 操作の説明では、各ボタンをここで説明したイラストで表しています。

① 受話口

相手の声がここから聞こえます。

② ディスプレイ→p.22

③ [1][2][3]ワンタッチダイヤルボタン

ワンタッチダイヤルを登録します。
1秒以上押すと登録した相手に電話をかけられます。

④ [メニュー]メニューボタン

メニューの表示、ガイド行の左側に表示される操作の実行に使います。
1秒以上押すとボイスメニューが使用できます。

⑤ [戻る]戻る／ｉチャネルボタン

文字の消去、1つ前の画面に戻る、ｉチャネル一覧の表示に使用します。
1秒以上押すと新着情報の表示を消去できます。

⑥ [電話開始]電話開始／文字ボタン

電話をかける／受ける、スピーカーホン機能での通話切り替え、文字入力のモードや文字種の一覧を表示するときに使います。
1秒以上押すと留守番電話の伝言メッセージが再生できます。

⑦ [1]～[9][0]ダイヤルボタン

電話番号や文字の入力、メニュー項目の選択に使います。
[5]を1秒以上押すとエコモードの設定／解除ができます。
待受画面や電話番号の入力画面で[0]を1秒以上押すと、国際電話をかけるときの「+」が入力されます。

⑧ [＊]＊／公共モード（ドライブモード）ボタン

「＊」や濁点、半濁点などの入力に使います。
1秒以上押すと公共モード（ドライブモード）の設定／解除ができます。

⑨ [使い方]使い方／小文字ボタン

使いかたを確認するためのメニュー表示、文字入力時の大文字／小文字の切り替えに使います。
1秒以上押すとらくらくホンセンターに電話をかけられます。

⑩ [らくらくサイト]らくらくサイトボタン

ｉモードに接続して、らくらくｉメニューを表示します。→p.216
1秒以上押すとらくらく検索を起動できます。

⑪ マイク

通話や音声メモ録音時などに自分の声をここから送ります。集音器として利用中は周囲の音を拾います。

※ マイクをふさぐと、相手にお客様の声が聞こえにくくなったり、正常に録音・集音できなくなったりする場合があります。
※ 背面のマイクは騒音カット用のため、お客様の声は拾いません。

⑫ 光センサー

画面の明るさを自動調整するときに使います。
※ 光センサーをふさぐと、照明設定の自動調整が正しく行えない場合があります。

⑬ (電話帳)電話帳ボタン

電話帳の表示、ガイド行の右側に表示される操作の実行、スピーカーホン機能での通話切り替えに使います。
1秒以上押すと電話帳の音声検索ができます。

⑭ マルチカーソルボタン（十字ボタン）

(決定)決定ボタン
選択した操作の実行、便利ツールメニューの表示に使います。お知らせ情報があるときは、お知らせの内容を表示します。ｉチャネル天気更新の情報があるときは、ｉチャネル一覧を表示します。
メール／上ボタン
メールメニュー画面の表示、カーソルの上方向への移動、音量の調節（大）、新着メール受信後のメール一覧の表示に使います。
1秒以上押すとメール作成画面が表示されます。
ｉモード／ｉアプリ／下ボタン
ｉモードメニューの表示、カーソルの下方向への移動、音量の調節（小）、メッセージR/F受信後のメッセージ一覧の表示に使います。
1秒以上押すとｉアプリ一覧が表示されます。
着信履歴／左ボタン
着信履歴の表示、カーソルの左方向への移動、画面の切り替え、音量の調節（小）に使います。
リダイヤル／右ボタン
リダイヤルの表示、カーソルの右方向への移動、画面の切り替え、音量の調節（大）に使います。

⑮ 終了／電源ボタン

通話や操作中の機能の終了、応答保留、シークレットモードの解除に使います。
2秒以上押すと電源のON／OFFができます。

⑯ #／改行／マナーモードボタン

「#」の入力や改行、写真やビデオの撮影時の接写切り替えに使います。
1秒以上押すとマナーモードの設定／解除ができます。

⑰ カメラ／音声入力ボタン

写真撮影画面の起動、メール作成時の音声入力に使います。
1秒以上押すとカメラメニューが表示されます。

⑱ 充電ランプ

充電中、写真・ビデオ撮影中、音声録音中、集音中などに点灯／点滅します。

⑲ 背面ディスプレイ→p.27

⑳ ランプ

電話の着信時、メールの受信時、カメラやボイスレコーダー起動中などに点灯／点滅します。

㉑ FOMAアンテナ

※ アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

㉒ カメラ

写真やビデオの撮影、バーコードリーダーとして使います。

㉓ 赤外線ポート

赤外線でデータを送受信するときに使います。

㉔ ストラップ取付口

㉕ スピーカー

着信音やスピーカーホン機能使用中の相手の声、音声読み上げの音声などがここから聞こえます。

㉖ リアカバー

※ リアカバーを外して電池パックを取り外すと、ドコモUIMカードスロットとmicroSDカードスロットがあります。→p.38、p.317

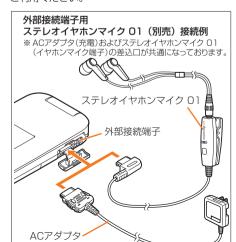
㉗ 充電端子

㉘ 音声読み上げボタン

背面ディスプレイの照明の点灯や表示の切り替え、ゆっくりボイスの設定、音声読み上げ、目覚まし音・予定の通知の音声の停止に使います。

㉙ (+)(−)音量ボタン

背面ディスプレイの照明の点灯、各種音量や撮影時の明るさの調節などに使います。

㉚ 外部接続端子

充電時およびイヤホン接続時などに使用する統合端子です。→p.44、p.357
※ 別売のACアダプタ、DCアダプタ、FOMA充電機能付 USB接続ケーブル、ステレオイヤホンマイク 01などを接続できます。

〈イヤホンのご利用について〉
別売の外部接続端子対応のイヤホンを接続してください。
なお、外部接続端子に非対応のイヤホンをご利用になる場合には、別売の変換アダプタを接続してご利用ください。

外部接続端子用
ステレオイヤホンマイク 01（別売）接続例
※ ACアダプタ(充電)およびステレオイヤホンマイク 01(イヤホンマイク端子)の差込口が共通になっております。

ディスプレイの見かた

ディスプレイに表示されるマークや、お知らせ情報・新着情報などで、現在の状態を知ることができます。

表示されるマークや情報

ディスプレイに表示されるマークや情報などで、現在の状態（ステータス）やお知らせ・新着情報などを確認できます。

❶マーク（上部）→p.22
❷マーク（下部）→p.24
❸マチキャラ→p.114
❹お知らせ情報・新着情報→p.25
❺ｉチャネルのテロップ→p.244

「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

■ マーク（上部）

待受画面表示中や操作中にディスプレイの上部に表示されるマークは次のとおりです。

①：電池残量の表示→p.46
②／圏外：受信レベルの表示→p.47
SELF：セルフモード中→p.124
TML：使用できないドコモUIMカードを挿入→p.38
：データ転送モード中※1／ドコモケータイdatalinkの使用中→p.316、p.331、p.388

※2
③：ｉモード中、接続中→p.216
：SSLページ表示中→p.217
／：パソコンと接続してパケット通信中／データ送受信中→p.386
：オートスピーカーホン機能の設定中→p.68

※2
④ : 赤外線通信中→p.331
: シークレットモード中→p.124
⑤ : 電話中→p.58
: 電話切断中
: 64Kデータ通信中→p.386
: 音声読み上げ可能／音声読み上げ中→p.143
※2
⑥ : 未読エリアメール→p.193
: 未読ｉモードメール、SMSが満杯で、ドコモUIMカードにSMSが満杯→p.171、p.199
(赤)：未読ｉモードメール、SMSが満杯→p.171、p.199
(赤)：ドコモUIMカードにSMSが満杯→p.199
(黒)：未読ｉモードメール、SMSあり→p.171、p.199
／: ｉアプリ／ｉアプリDX動作中→p.272
／(すべて黒)：ｉアプリ／ｉアプリDX待受画面からｉアプリ起動中→p.280
／(すべてグレー)：ｉアプリ／ｉアプリDX待受画面表示中→p.279
※3（黒）／※3（赤）：未読メッセージRあり／満杯→p.189、p.190
※3（黒）／※3（赤）：未読メッセージFあり／満杯→p.189、p.190
※3：ｉコンシェルの新着インフォメーションあり→p.246
※4
⑦ : USBハンズフリー対応機器で通信中→p.66
通信中：ｉモード中→p.216
取得中：ｉモーションデータ取得中→p.240
通信中: つながりセンターと通信中→p.361
漢字かな／**半角カナ**／**英字**／**数字**／**全角かな**／**全角カナ**：入力モードの表示→p.365
※4
⑧ : マナーモード中→p.109
: 電話のバイブレータと電話着信音量の消音を同時に設定中→p.104、p.106
: 電話のバイブレータを設定中→p.106
: 電話着信音量を消音に設定中→p.104
: ｉモードメール、SMSの受信中→p.171、p.199
※4
⑨ : 公共モード（ドライブモード）中→p.73
(黒)：ドコモUIMカードを読み込み中→p.47
: メッセージRの受信中→p.188
: メッセージFの受信中→p.188

※1 データ転送モード中は圏外と同じ状態になります。
※2 現在優先度の高いものが1つ表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。
※3 未読ｉモードメールがある場合は小さく表示されます。
※4 待受画面以外では時刻が表示されます。

■ マーク（下部）

待受画面表示中にディスプレイの下部に表示されるマークは次のとおりです。

① (黒)：伝言メモの設定中→p.75
　：未確認の伝言メモあり→p.75
　(赤)：伝言メモが満杯→p.75

※1
② ：未確認の不在着信情報あり→p.60
　：ダイヤル発信制限中→p.126

③ ／ ：歩数計・活動量計の使用設定中／歩数計・活動量計の使用と自動送信メールを設定中→p.339、p.342

※1
④ (赤)：ｉモードセンターにｉモードメールとメッセージR/Fが満杯、またはいずれかが満杯で未受信あり→p.172、p.189
　／／(すべて赤)：ｉモードセンターにｉモードメールまたはメッセージR/F満杯→p.172、p.189
　(黒)：ｉモードセンターに未受信のｉモードメールとメッセージR/Fあり→p.172、p.189
　／／(すべて黒)：ｉモードセンターに未受信のｉモードメールまたはメッセージR/Fあり→p.172、p.189
　：未読トルカあり→p.287
　：エコモード中→p.115

⑤ ：ソフトウェア更新の予約中→p.440
　：microSDモード中（USB接続中でmicroSDカードあり）→p.329
　：microSDモード中（USB接続中でmicroSDカードなし）→p.329
　：microSDモード中（USB接続なしでmicroSDカードあり）→p.329
　：microSDモード中（USB接続なしでmicroSDカードなし）→p.329
　※2：microSDカードあり→p.317

⑥ ※3：FOMA USB接続ケーブルでパソコンなどと接続中→p.386

※1
⑦ ：個人情報表示制限中→p.125
　：目覚まし設定中→p.346
　：予定の通知を設定中→p.348
　：目覚ましや予定の通知を設定中

⑧ (黒)／(グレー)：つながりほっとサポート契約中／利用記録停止中→p.361

※1 現在優先度の高いものが1つ表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。
※2 マーク（下部）の⑥のアイコンが表示されているときは表示されません。
※3 マーク（下部）の⑤のmicroSDモード中のアイコンが表示されているときは表示されません。

お知らせ情報・新着情報の表示

電話帳の自動更新の失敗や電話帳保存のお知らせ、パターンデータの自動更新の通知、ｉチャネルの天気情報の更新などがあると、待受画面でお知らせ情報として表示します。また、メールやメッセージR/Fの受信や不在着信の記録、伝言メモの録音、留守番電話サービスセンターに伝言メッセージの録音があると、待受画面で新着情報としてお知らせします。〈見たままガイド〉
ｉコンシェルのインフォメーションを受信したときは、ポップアップメッセージでお知らせします。

「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

① お知らせあり：決定を押すと表示されているアイコンにより次の通知が表示されます。
- ：書き換え予告マーク→p.436
- ：更新お知らせマーク→p.438
- ／：パターンデータの自動更新の通知→p.444
- ：ケータイデータお預かりサービスの更新失敗→p.132
- ：ｉアプリ自動起動失敗→p.279
- ：圏内自動送信失敗メールあり→p.157
- ：電話帳保存のお知らせ→p.99
- ：待受画像配信元設定による画像自動保存失敗→p.111

② iチャネル･天気更新あり：決定を押すとｉチャネル一覧が表示されます。→p.243

③ メールあり：を押すと受信メールのフォルダ一覧が表示されます。→p.174

④ 着信あり：を押すと着信履歴画面が表示されます。→p.59

⑤ 伝言あり：を押して着信履歴画面が表示されてから決定を押すと、伝言メモを再生できます。→p.75

⑥ メッセージRあり／メッセージFあり：を押すとメッセージRまたはメッセージFの一覧が表示されます。→p.190

⑦ 留守番長押し：を1秒以上押すと留守番メッセージを再生するかどうかの確認画面が表示されます。→p.378

⑧ ｉコンシェルのインフォメーションのポップアップメッセージ：決定を押すとインフォメーション一覧やリンク先のサイトが表示されます。→p.246

- 戻る/iチャネルを1秒以上押すと新着情報の表示を消します。
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに新着情報が表示されます。

ガイド行の表示

ガイド行には、(メニュー)、(決定)、(電話帳)を押して実行できる操作が表示されます（表示される操作は画面により異なります）。表示位置とボタンは、図のように対応しています。

本書では、ガイド行に表示される操作の説明を、対応するボタン（(メニュー)、(決定)、(電話帳)）を使って説明しています。

- ガイド行の◆は、マルチカーソルボタン（十字ボタン）の(メール)(iα)(←)(→)に対応しています。
- ガイド行の右側に「ガイド」と表示されているときに(電話帳)を押すと、機能の詳細を説明するガイド画面が表示されます。ガイド画面を終了するには、(電話帳)または(戻る iチャネル)を押します。

お知らせ

- ｉアプリの画面では、ガイド行に(決定)(メール)(iα)(←)(→)に対応する操作が表示されていなくても、これらのボタンを利用できる場合があります。

背面ディスプレイの見かた

FOMA端末を閉じていても、設定されている機能やさまざまな情報を背面ディスプレイで確認できます。

背面に表示されるマーク

背面ディスプレイでは次のマークを表示して状態をお知らせします。

① ：電池残量の表示→p.46

② ／圏外：受信レベルの表示→p.47

SELF：セルフモード中→p.124

TML：使用できないドコモUIMカードを挿入中→p.38

：データ転送モード中／ドコモケータイdatalinkの使用中→p.316、p.331、p.388

③ ：ｉモード中、接続中→p.216

④ ：ｉコンシェルの新着インフォメーションあり→p.246

⑤※1 ：マナーモード中→p.109

：音声読み上げ可能／音声読み上げ中→p.143

⑥ ：圏内、歩数計・活動量計の自動送信失敗メールあり→p.157、p.342

⑦ ：公共モード（ドライブモード）中→p.73

⑧ ：目覚まし設定中→p.346

：予定の通知を設定中→p.348

：目覚ましや予定の通知を設定中

⑨※2 新着情報→p.25

着信：不在着信あり

メール：未読ｉモードメール、SMSあり

伝言：未確認の伝言メモあり

留守：留守番サービスセンターに伝言メッセージあり

R／F：未読メッセージR/Fあり

⑩ 歩数の表示→p.338

※1 マナーモードと音声読み上げを同時に設定しているときは、マナーモード中のマークが優先して表示されます。

※2 ⑥⑦⑧のマークよりも優先して表示されます。

着信や受信などの状態表示

FOMA端末を閉じているときに、電話を着信した場合やメール受信中など、待受中から変化があると、背面ディスプレイで状態をお知らせします。主な表示内容は次のとおりです。

■ 電話

着信中や通話中、応答保留中、切断中などの状態を表示します。

※ 背面ディスプレイ設定の「着信時の表示を設定する」を「表示しない」に設定しているときは、電話がかかってきても相手の電話番号や名前は表示しません。→p.112

＜電話着信中の場合＞

■ 伝言メモ

伝言メモの応答中や録音中に表示します。

- 伝言メモ→p.75

■ iモードメールやSMS、メッセージR/F、エリアメール

メールやSMS、メッセージR/F、エリアメールを受信したときなどの状態を表示します。

※ 背面ディスプレイ設定の「着信時の表示を設定する」を「表示しない」に設定しているときは、メールを受信しても相手のメールアドレスや名前は表示しません。→p.112

- iモードメール受信→p.171
- SMS受信→p.199
- メッセージR/F受信→p.188
- エリアメール受信→p.194

＜メール受信完了の場合＞

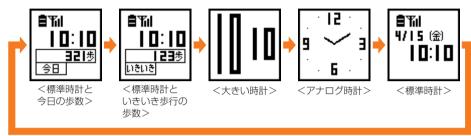
■ 圏内自動送信や歩数計・活動量計の自動送信

圏内自動送信や歩数計・活動量計の自動送信に失敗したときに表示します。

- 圏内自動送信→p.157
- 歩数計・活動量計自動送信→p.342

■ 目覚まし、予定、お知らせタイマー

目覚まし時刻やスケジュール帳の予定を通知する日時になったとき、お知らせタイマーのカウントダウン中や時間になったときに表示します。

- 目覚まし→p.346
- スケジュール帳→p.348
- お知らせタイマー→p.346

＜目覚ましの場合＞

※ この他にも、電池が切れそうなときやオールロック中、おまかせロック中、開閉ロック起動時の状態を表示したり、電話着信音量や受話音量の調節、ｉモード問い合わせやSMS問い合わせ、ケータイデータお預かりサービスのお預かりセンターへの接続、集音中、音声録音、アルバム再生、メロディの再生、ｉコンシェルのインフォメーションの受信、赤外線通信、データ通信を行ったときなどにも表示します。

背面の表示切り替え

背面ディスプレイの照明が点灯しているときに[ボタン]を押すと、押すたびに表示が切り替わります。切り替えた表示の設定は、電源を入れ直すか各種設定リセットを行うまで保持されます。

- 背面ディスプレイ設定の「背面画面の時計表示を設定する」を「読上ボタンで切替」に設定している場合は、次のように表示が切り替わります。

- 歩数計の設定を「利用しない」に設定している場合は、標準時計と今日の歩数、標準時計といきいき歩行の歩数は表示されません。
- FOMA端末を閉じると、背面ディスプレイの照明が点灯します。約15秒間何も操作しないと照明が消灯しますが、[+][−][ボタン]のいずれかを押すと再度点灯します。
  エコモード中に照明が消灯した場合は、何も表示されなくなります。
- 背面ディスプレイの点灯設定で「点灯する」に設定している場合は、FOMA端末を持ち上げて傾けると照明が点灯します。→p.113
- 新着情報があるときは、新着情報のマークが表示された標準時計に切り替わります。
- 標準時計の表示形式は、24時間形式または12時間形式に設定できます。→p.116

お知らせ

- 背面ディスプレイに情報が表示されているときにFOMA端末を開くと、表示は消えます。
- FOMA端末を閉じているときに電話がかかってきたりメールを受信したりして背面ディスプレイの表示が切り替わった場合は、照明が自動的に点灯します。
- 標準時計と今日の歩数、標準時計といきいき歩行の歩数を表示しているときは、背面ディスプレイ下部に表示されるマークのうち[マーク]は表示されません。また、大きい時計、アナログ時計を表示しているときは、すべてのマークが表示されません。ただし、新着情報のマークが表示されるときは標準時計に切り替わり、マークが確認できます。
- 電話着信時やメール受信時の相手の情報、アルバム再生中やメロディ再生中の題名が、1行に表示できる文字数を超える場合は、スクロールして表示されます。再びスクロール表示するときは、[ボタン]を押します。

メニュー操作のしかた

待受画面で(メニュー)を押すと表示されるメニュー画面や、[メール]を押すと表示されるメールメニュー画面などから、各種機能を選択して実行します。機能を選択するには、マルチカーソルボタン（十字ボタン）を押す方法と、ダイヤルボタンを押す方法があります。本書では、操作の方法を主にダイヤルボタンを押す方法（ショートカット操作）で説明しています。

- メニューのほかに、各種項目の一覧などでも、マルチカーソルキーで選択できます。項目に番号や記号が割り当てられている場合は、ショートカット操作でも選択できます。
- 実行できる機能については、「メニュー一覧」をご覧ください。→p.390
- 各種ロック機能を設定している場合やドコモUIMカードを取り付けていない場合などに機能を選択すると、実行できない理由などを表示します。サブメニューの場合は、実行できない機能はグレーなどで薄く表示され選択できません。
- メニュー形式選択でメニューのデザインを「タイル」に設定したときは、タイル形式のメニューの項目名は本書での記載と異なります。また、マルチカーソルボタン（十字ボタン）での機能の選択方法も異なります。
- メニュー形式の選択とメニュー項目名について→p.113

マルチカーソルボタン（十字ボタン）での機能選択

リスト形式のメニューから機能を選択するとき

〈例〉「ボタンを押した時の音を設定する」を実行する

1 待受画面で(メニュー)を押す

メニュー画面が表示されます。

① ページ

表示中のページ番号と総ページ数が表示されます。

② カーソル

選択している機能の色が変わります。

③ 次の階層のメニューがあることを示します。

④ 表示中のメニュー画面に続きがある場合に表示されます。

続きを表示するときは、[メール][iα]を数回押してカーソルを移動するか、[◁][▷]を押して画面を切り替えます。

2 [iα]を押して「[*]設定を行う」を選択▶(決定)を押す

「[*]設定を行う」のメニュー画面が表示されます。

- [メール]：カーソルが上の機能に移動します。
- [iα]：カーソルが下の機能に移動します。
- [◁]：前のページを表示します。
- [▷]：次のページを表示します。

3 を押して「6ボタンを押した時の音を設定する」を選択▶決定を押す

ボタンを
押した時に音を
鳴らしますか？
1鳴らす
2鳴らさない

4 やを押して「1鳴らす」または「2鳴らさない」を選択▶決定を押す

ボタン確認音を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

- を押すと待受画面に戻ります。

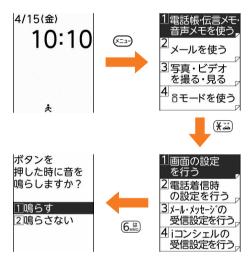
タイル形式のメニューから機能を選択するとき

〈例〉「ボタン操作音」を選択する

1 待受画面でメニューを押す

メニュー画面が表示されます。

タイル（アイコン）　　タイル（文字）

2 やを押して「設定」を選択▶決定▶やを押して「ボタン操作音」を選択▶決定を押す

- ：カーソルが上の機能に移動します。
- ：カーソルが下の機能に移動します。
- ：カーソルが左の機能に移動します。
- ：カーソルが右の機能に移動します。

ダイヤルボタンでの機能選択〈ショートカット操作〉

各メニューや項目に番号や記号が割り当てられている場合は、対応するダイヤルボタン（1～9、0）や*、#を押して選択できます。これをショートカット操作といいます。

• メニュー形式が「タイル（アイコン）」の場合は、各メニュー番号や記号が表示されていませんが、「タイル（文字）」と同様のショートカット操作ができます。

〈例〉「ボタンを押した時の音を設定する」を実行する

1 待受画面でメニュー▶「*設定を行う」▶「6ボタンを押した時の音を設定する」を押す

2 「1鳴らす」または「2鳴らさない」を押す

ボタン確認音を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

• ⊖を押すと待受画面に戻ります。

待受画面や1つ前の画面に戻る

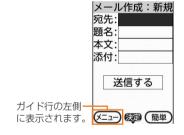
機能を選択した後で、1つ前の画面や待受画面に戻るときは次のボタンを押します。

戻る：1つ前の画面に戻ります。

⊖：待受画面に戻ります。

前後のページや項目を表示する

メニューや選択項目が複数ページにわたる場合は、ガイド行の◀▲▼▶表示に従って、次の操作で前後のページや項目を表示します。

- ガイド行に▲▼が表示されている場合は、カーソル位置のメニューや項目の上下に項目があることを示しています。[メール][iアプリ]を押してカーソルを移動します。ページの最後の項目で[iアプリ]を押すと次のページまたは最初のページが、ページの先頭の項目で[メール]を押すと前のページまたは最後のページが表示されます。
- ガイド行に◀ ▶が表示されている場合は、前後のページまたはカーソル位置の項目の左右に項目があることを示しています。[左][右]を押してカーソルを移動します。前後のページがあるときは、[左]を押すと前のページまたは最後のページが、[右]を押すと次のページまたは最初のページが表示されます。
  画面によっては、メニューで前のページを、電話帳で次のページを表示できます。

サブメニューからの機能選択

ガイド行の左側に「メニュー」と表示されているときは、メニューを押してサブメニューを表示し、さまざまな操作ができます。

〈例〉メール作成画面のサブメニューを表示する

1 待受画面で[メール]を1秒以上押す

メール作成画面が表示されます。

- 簡単メール作成画面が表示されたときは、電話帳▶「1切替える」を押します。

ガイド行の左側に表示されます。

2 メニューを押す

サブメニューが表示されます。

- サブメニューは、操作する画面により異なります。

1送信する
2保存する
3添付データ
4電話帳を呼出す
5ﾃﾝﾌﾟﾚｰﾄを使う
6例文を使う
7宛先を追加
8宛先を削除
9宛先種別を変更
戻る 決定

カーソル：選択している機能の色が変わります。

3 ダイヤルボタンを押す

機能が実行されます。
- 利用する機能の左側に表示される番号に対応するダイヤルボタンを押します。
- サブメニュー表示中に(メニュー)を押すと、サブメニューが閉じます。
- (メール)(iアプリ)を押して利用する機能を選択し、決定を押しても機能を実行できます。

通知画面の閉じかたを選ぶ

各設定や操作が完了したときの確認画面（通知画面）の閉じかたを自動にするか手動にするかを設定することができます。
- お買い上げ時は「自動で閉じる」に設定されています。本書の操作手順で通知画面を自動で閉じる操作を説明する場合は「約5秒後」や「約5秒たつと」などと記載しています。
- 自動で閉じる設定にしても、音声読み上げの設定の動作が「自動で読み上げ」または「手動で読み上げ」に設定されている場合は自動で閉じません。また、通知画面によっては約5秒経過しても自動的に閉じない場合があります。

1 待受画面で(メニュー)▶「＊設定を行う」▶「1画面の設定を行う」▶「9通知画面の閉じ方を選ぶ」を押す

通知画面の閉じかたを選択する画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。
1**自動で閉じる：**決定を押さない場合は、約5秒たつと自動的に通知画面を閉じます。
2**手動で閉じる：**決定を押した場合だけ通知画面を閉じます。

2 「1自動で閉じる」または「2手動で閉じる」を押す

通知画面を自動／手動で閉じるに設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、「自動で閉じる」を設定した場合は約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

画面の縦横表示を自動で切り替える

動画／ｉモーションの再生中やJPEG形式の画像を表示中（待受画面を除く）に、FOMA端末を左に90度、または右に90度傾けると、傾きに合わせて画面の縦横や表示サイズが自動的に切り替わります。〈オートローテーション設定〉

・アルバム再生、着信音設定やメール添付時の内容確認の再生では切り替わりません。

1 待受画面で(メニュー)▶「[＊]設定を行う」▶「[＃]その他の設定を行う」▶「[0]画面の縦横を自動で切替える」▶「[1]切替える」または「[2]切替えない」を押す

画面の縦横を自動で切り替える／切り替えないに設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

使いかたを電話で確認する

携帯電話の使いかたが分からないときに、簡単な操作でらくらくホンセンターに電話をかけて確認できます。また、使いかたガイドを使って調べることもできます。

らくらくホンセンターとは
各種手続き、お問い合わせなどのご用件をアドバイザーが直接お答えする受付センターです。
らくらくホンセンターに電話した際の通話料はかかりません。
受付時間　午前9：00～午後8：00（年中無休）

1 待受画面で(使い方)を押す

■ らくらくホンセンターにすぐに電話する場合：待受画面で(使い方)を１秒以上押す

2 「[1]らくらくホンセンターに電話する」を押す

らくらくホンセンターに電話がかかります。

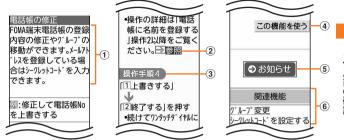
■ 使いかたガイドを使う場合：「[2]使いかたガイドを見る」を押す

・以降の操作は「使いかたガイドを使う」の操作2以降をご覧ください。→p.36

使いかたガイドを使う

携帯電話の使いかたや、困ったときの対処など、目次や索引、キーワードから調べたり、調べた機能を実行することができます。

1 待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「0使いかたガイドを使う」を押す

使いかたガイドメニューが表示されます。

使いかたガイドメニュー

2 「1使いかた検索」～「4便利な使いかた」のいずれかを押す

■ **目次／索引／キーワードから調べる場合：「1使いかた検索」▶「1目次から検索」～「4しゃべって検索」のいずれかを押す**

- 「1目次から検索」押した場合は、目次を選択▶(決定)▶項目を選択▶(決定)を押します。
- 「2索引から検索」を押した場合は、索引を選択▶(決定)を押します。
- 「3入力して検索」を押した場合は、検索したい単語や文章を入力▶(決定)▶検索結果から項目を選択▶(決定)を押します。
- 「4しゃべって検索」を押した場合は、(決定)▶検索したい単語や文章を発声▶検索結果から項目を選択▶(決定)を押す

■ **検索履歴から調べる場合：「2検索履歴」▶履歴のタイトルを選択▶(決定)を押す**

■ **エラーメッセージなどから調べる場合：「3困ったときには」▶「1故障かな？と思ったら」～「3問い合わせ先」のいずれか▶タイトルやメッセージを選択▶(決定)を押す**

■ **便利な使いかたを調べる場合：「4便利な使いかた」▶タイトルを選択▶(決定)を押す**

- 検索結果によっては、さらに項目を選択して(決定)を押す必要があります。

ガイド画面の見かたと操作

使いかたガイドのガイド画面では、表示項目やボタンを操作して、関連する機能を調べたり、機能を実行することができます。

①機能の概要を表示しています。

②「➔参照」：選択して決定を押すと関連する説明画面に移動します。

③「操作手順」：機能の操作手順を表示しています。

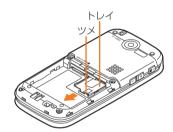
④ この機能を使う ：選択して決定を押し、機能を起動するかの確認画面で「1起動する」を押すと調べた機能を実行します。機能を実行すると、使いかたガイドは終了します。らくらく検索から使いかたガイドを起動した場合などで、他の機能が起動しているときは、機能を実行できません。

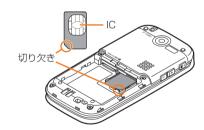
⑤ お知らせ ：選択して決定を押すと機能に関連するお知らせや注意事項などを表示します。

⑥「関連機能」：機能に関連した内容を一覧から選択して決定を押すと関連する説明画面に移動します。

- ガイド行に「大きく」または「小さく」と表示されている場合は、メニューを押すと表示する文字サイズを変更できます。ガイド画面の表示は文字サイズを小さくしたときの例です。
- ガイド行に「タイトル」と表示されている場合は、電話帳を押すとタイトルを確認できます。

ドコモUIMカードを使う

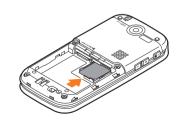
ドコモUIMカードとは、電話番号などのお客様情報が記録されているICカードです。FOMA端末に挿入して使用します。

- ドコモUIMカードを正しく取り付けていない場合やドコモUIMカードに異常がある場合は、電話の発着信やメールの送受信などはできません。
- ドコモUIMカードの取り扱いについての詳細は、ドコモUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

取り付けかた／取り外しかた

- 電源を切ってからFOMA端末を閉じ、手に持って行ってください。FOMA端末を置いた状態で行うと、背面ディスプレイが破損するおそれがあります。
- ドコモUIMカードのICに触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。
- リアカバーと電池パックの取り付けかた／取り外しかた→p.41

■ 取り付けかた

① ツメを引き、「カチッ」と音がするまでトレイを引き出します。

② IC面を下にして、切り欠きの向きを合わせてドコモUIMカードをトレイに載せます。

③ トレイを奥まで押し込みます。

■ 取り外しかた

① ツメを引き、「カチッ」と音がするまでトレイを引き出し、ドコモUIMカードを取り外します。

お知らせ

- ドコモUIMカードの無理な取り付けや取り外し、トレイが斜めに挿入された状態での電池パックの取り付けなどによって、ドコモUIMカードやトレイが壊れる場合がありますのでご注意ください。
- トレイを強く引き抜いて外れてしまった場合には、ドコモUIMカードスロット内部のガイドレールに合わせてまっすぐに押し込んでください。このとき、ドコモUIMカードは取り外した状態で行ってください。
- 本FOMA端末では、FOMAカード（青色）は使用できません。FOMAカード（青色）をお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。

暗証番号

ドコモUIMカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号があります。→p.119
ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→p.120

ドコモUIMカードのセキュリティ機能

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護したり、第三者が著作権を有するデータやファイルを保護したりするための機能として、ドコモUIMカードのセキュリティ機能が搭載されています。

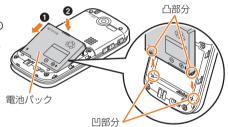
- FOMA端末にお客様のドコモUIMカードを取り付けている状態で、サイトなどからデータやファイルをダウンロードしたり、メールに添付されたデータを取得したりすると、それらのデータやファイルには自動的にドコモUIMカードのセキュリティ機能が設定されます。
- 異なるドコモUIMカードに差し替えた場合やドコモUIMカードを取り付けていない場合、ドコモUIMカードのセキュリティ機能が設定されたデータやファイルの表示や再生はできません。
- ドコモUIMカードのセキュリティ機能が設定されているデータやファイルは、赤外線通信やmicroSDカードへのコピーや移動ができません。
- ドコモUIMカードのセキュリティ機能の対象となるデータは次のとおりです。
  - 画面メモ
  - ｉモードメール添付のデータ（トルカを除く）、デコメール®に挿入されている画像
  - メッセージR/F
  - ドコモUIMカードのセキュリティ機能の対象となるデータが含まれたデコメール®テンプレート
  - 画像（GIFアニメーション、Flash画像、お預かりセンターからダウンロードした画像を含む）、ｉモーション、メロディ、マチキャラ
  - ｉアプリ（ｉアプリ待受画面のｉアプリを含む）、トルカ（詳細）の画像
  - 着うた®

  ※「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

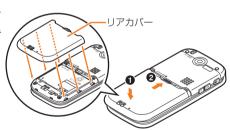
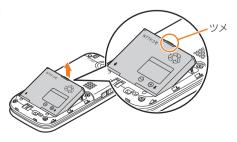
お知らせ

- お買い上げ時に登録されているｉアプリの「メモ」を最新にした場合は、ドコモUIMカードのセキュリティ機能は設定されません。
- ドコモUIMカードのセキュリティ機能の対象になっているデータを待受画面や着信音などに設定しているときに、異なるドコモUIMカードに差し替えて使用したり、ドコモUIMカードを取り付けずに使用したりすると、待受画面や着信音などの設定はお買い上げ時の状態に戻ります。ドコモUIMカードのセキュリティ機能が設定されたときのドコモUIMカードを取り付けると、設定は元の状態に戻ります。
- 赤外線通信、microSDカード、ドコモケータイdatalinkを使用して入手したデータや、内蔵のカメラで撮影した写真やビデオには、ドコモUIMカードのセキュリティ機能が設定されません。
- 次のメニューの設定項目にはドコモUIMカードに保存されるものがあります。ドコモUIMカードを差し替えると、差し替えたドコモUIMカードに保存されている設定内容が表示されます。詳細は「メニュー一覧」をご覧ください。→p.390
  - 自分の電話番号を見る
  - SMSを設定する
  - 証明書の表示と使用を設定する
  - ドコモUIMカードのPINコードを設定する

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

- 電源を切ってからFOMA端末を閉じ、手に持って行ってください。FOMA端末を置いた状態で行うと、背面ディスプレイが破損するおそれがあります。
- 電池パックを取り外すとソフトウェア更新の予約が解除される場合があります。また、日付時刻設定を「手動で設定する」に設定中に電池パックを取り外すと、日付・時刻が消去される場合があります。

■ 取り付けかた

① 親指でリアカバーを押しながら、矢印の方向に約2mmスライドさせて外します。

※ リアカバーがスライドしにくい場合は、FOMA端末を持って、両方の親指でリアカバーをスライドさせてください。

② 電池パックのラベル面を上にして、電池パックの凸部分をFOMA端末の凹部分に合わせて❶の方向に差し込み、❷の方向に押し付けてはめ込みます。

③ リアカバーの6箇所のツメをFOMA端末のミゾに合わせます。FOMA端末とリアカバーにすき間が生じないように❶の方向に押さえながら、❷の方向にスライドさせて取り付けます。

■ 取り外しかた

① 取り付けかたの操作①を行います。

② 電池パックのツメをつまんで、矢印方向に持ち上げて取り外します。

お知らせ

- 電池パックを無理に取り付けようとするとFOMA端末の端子が壊れる場合があるため、ご注意ください。
- 上記以外の方法で取り付け／取り外しを行ったり、力を入れすぎたりすると、FOMA端末やリアカバーが破損するおそれがあります。

充電する

お買い上げ時、電池パックは十分に充電されていません。必ず専用のACアダプタまたはDCアダプタで充電してからお使いください。

- F-08Cの性能を十分に発揮するために、必ず電池パック F18をお使いください。

充電時間（目安）

電源を切って電池パックを空の状態から充電した場合の充電時間の目安は次のとおりです。電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。
また、FOMA端末を開いた状態のときや通話中、通信中は充電時間が長くなる場合があります。充電を早く完了させるには、操作を終了し、FOMA端末を閉じてから充電することをおすすめします。

ACアダプタ	約150分	DCアダプタ	約150分

十分に充電したときの使用時間（目安）

使用時間は充電のしかたや使用環境によって変動します。
連続待受時間および連続通話時間について→p.448

連続待受時間	静止時：約610時間 移動時：約430時間
連続通話時間	約220分

- 連続待受時間とは、F-08Cを閉じて電波を正常に受信できる状態での目安です。
- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態での目安です。
- 電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場合など）などにより、通話や通信、待受時間は約半分程度になる場合があります。
- ｉモード通信を行うと通話や通信、待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくても、カメラ、ｉアプリ、音声読み上げなどの各種機能のご利用頻度が多い場合、通話（通信）・待受時間は短くなります。

電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながらｉアプリやｉモード通信などを長時間利用すると、電池パックの寿命が短くなることがあります。

充電について

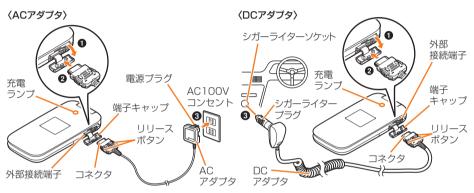
- 詳しくは、FOMA ACアダプタ 01／02（別売）、FOMA 海外兼用ACアダプタ 01（別売）、FOMA DCアダプタ 01／02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。
- FOMA ACアダプタ 02およびFOMA 海外兼用ACアダプタ 01はAC100Vから240Vまで対応していますが、ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。

電池パックの上手な使いかた

- **電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。**
  FOMA端末の電源を入れた状態で充電が完了した後は、FOMA端末は電池パックから電源が供給されます。そのままの状態で長時間置くと、電池パックが消費され、短い時間しか使用できずに電池残量警告音が鳴ってしまう場合があります。その場合は、FOMA端末をACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタから外して、もう一度セットし直してから充電を行ってください。
- **環境保全のため、不要になった電池はNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。**

充電中の動作と留意事項

充電が開始されると充電開始音が鳴り、充電ランプが点灯し、ディスプレイや背面ディスプレイの電池マークが点滅します。充電が終わると、充電完了音が鳴り、充電ランプが消灯し、電池マークの点滅が止まります。

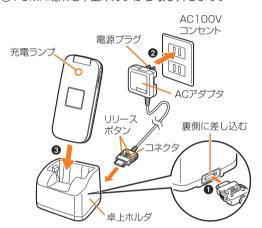
- 充電を開始すると充電ランプが点灯します。ただし、環境によっては充電開始時に充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが故障ではありません。しばらくたっても点灯しない場合は、FOMA端末をACアダプタや卓上ホルダなどから外してもう一度セットし直してから充電を行ってください。充電開始後、しばらくたっても点灯しない場合はドコモショップなどの窓口にお問い合わせください。
- 充電中にカメラを利用すると、充電ランプが消灯したり、点滅したりしますが故障ではありません。カメラを終了すると点灯します。
- 十分に充電されている電池パックをFOMA端末に取り付けてACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタに接続すると、充電ランプが一瞬点灯してすぐに消灯する場合がありますが、故障ではありません。
- 充電中はFOMA端末や電池パック、ACアダプタ、DCアダプタが温かくなる場合がありますが、異常ではありません。ただし、充電中に通話や通信、その他機能の操作を長時間行ったりすると、FOMA端末内部の温度が上昇し、充電が正常に終了しない場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がるのを待って充電を行ってください。
- 電源を切っているときや通話中、通信中、マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中、充電確認音を「知らせない」に設定しているときは、充電開始音や完了音は鳴りません。

ACアダプタ／DCアダプタや卓上ホルダで充電する

FOMA ACアダプタ01／02（別売）、FOMA DCアダプタ01／02（別売）、卓上ホルダ F33（別売）の取扱説明書もご覧ください。

• FOMA端末に電池パックを取り付けて充電します。

■ ACアダプタ／DCアダプタだけで充電する

① FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを❶の方向に開き、ACアダプタまたはDCアダプタのコネクタを矢印の表記面を上にして、FOMA端末と水平に差し込みます（❷）。

② ACアダプタの場合は電源プラグを起こしてAC100Vコンセントへ差し込みます（❸）。DCアダプタの場合はシガーライタープラグを車のシガーライターソケットへ差し込みます（❸）。

③ 充電開始音が鳴り、充電ランプが点灯し、電池マークが点滅します。

④ 充電が終わると充電完了音が鳴り、充電ランプが消灯し、電池マークの点滅が止まります。

⑤ ACアダプタの場合は電源プラグをコンセントから抜きます。DCアダプタの場合はシガーライタープラグをシガーライターソケットから抜きます。

⑥ コネクタの両側のリリースボタンを押してFOMA端末から水平にコネクタを外し、端子キャップを閉じます。

■ **卓上ホルダと組み合わせて充電する**

FOMA ACアダプタ 01／02（別売）と卓上ホルダ F33（別売）を組み合わせて充電できます。

- 卓上ホルダは平らな面に置いて使用してください。
- 正しく取り付けるために、FOMA端末を閉じた状態で卓上ホルダに差し込んでください。また、ストラップなどをはさまないようにご注意ください。

① ACアダプタのコネクタを、矢印の表記面を上にして卓上ホルダに水平に差し込みます（❶）。
② ACアダプタの電源プラグを起こしてAC100Vコンセントへ差し込みます（❷）。
③ 電池パックを取り付けたFOMA端末を卓上ホルダにしっかりと差し込みます（❸）。
④ 充電開始音が鳴り、充電ランプが点灯し、背面ディスプレイの電池マークが点滅します。
⑤ 充電が終わると充電完了音が鳴り、充電ランプが消灯し、背面ディスプレイの電池マークの点滅が止まります。
⑥ FOMA端末を卓上ホルダから取り外します。

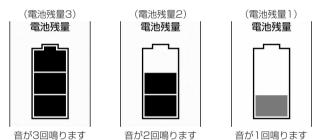
取り外しかた

卓上ホルダを押さえながらFOMA端末を持ち上げ、矢印方向に引き抜きます。

- 長時間使用しないときはACアダプタをコンセントから抜いてください。

お知らせ

- ACアダプタやDCアダプタのコネクタを抜き差しするときは、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。
- FOMA端末を使用しないときや車から離れるときは、DCアダプタのシガーライタープラグをシガーライターソケットから外し、FOMA端末からDCアダプタのコネクタを抜いてください。
- DCアダプタのヒューズ（2A）は消耗品です。交換するときは、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

電池残量の確認のしかた

ディスプレイ上部に表示される電池マークで、電池残量の目安が確認できます。〈電池残量〉

・FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに電池残量が表示されます。

→	→	
（電池残量 3） 十分残っています	（電池残量 2） 少なくなっています	（電池残量 1） ほとんどありません。 充電してください

電池マーク

4/15（金）
10:10

電池残量を音と表示で確認する

電池残量を音と表示で確認できます。

1 待受画面で(メニュー)▶「[＊]設定を行う」▶「[#]その他の設定を行う」▶「[7]情報の表示やリセットを行う」▶「[5]電池残量を確認する」を押す

電池残量が表示され、ボタン確認音の設定に従い、電話着信時の音量で残量に応じた回数分鳴ります。しばらくたつとメニュー画面に戻ります。

音が3回鳴ります　音が2回鳴ります　音が1回鳴ります

・(終話)を押すと待受画面に戻ります。

電池が切れそうになると

メッセージ表示や電池残量警告音でお知らせします。充電を開始すると電池残量警告音は止まりますが、すぐに電池残量警告音を止める場合は(終話)を押します。

■ 電話中のとき

受話口から電池残量警告音が聞こえ、電池残量がない旨のメッセージが表示されます。このメッセージは(決定)(戻る)(終話)のいずれかを押すと消えます。電池残量警告音が聞こえてから約20秒後に通話が切れて、右の画面が表示されます。その約1分後に自動的に電源が切れます。

4/15（金）
電池がありません
操作を終了して
充電してください

■ 待受中のとき

電池残量がない旨のメッセージが表示されます。このメッセージは(決定)(戻る)(終話)のいずれかを押すと消えますが、しばらくたつと電池残量警告音が鳴り、右の画面が表示され、すべてのマークが点滅します。その約1分後に自動的に電源が切れます。

・FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「電池残量なし」と表示されます。

電池残量警告音の鳴動設定

電池残量がなくなったときの警告音を鳴らすかどうかを設定します。〈電池残量警告音〉

1 **待受画面で（メニュー）▶「[*]設定を行う」▶「[#]その他の設定を行う」▶「[5]音を設定する」▶「[2]電池残量の警告を音で通知する」を押す**

電池残量警告音を鳴らすかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「[1]鳴らす」または「[2]鳴らさない」を押す**

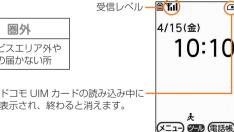
電池残量警告音を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。（決定）を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 本機能を「鳴らさない」に設定しても、通話中に電池が切れそうになったときは受話口から電池残量警告音が鳴ります。
- 本機能を「鳴らす」に設定しても、電源が入っていないときやマナーモード中、公共モード（ドライブモード）中は電池残量警告音は鳴りません。

電源を入れる／切る

FOMA端末の電源の入れかた、切りかたについて説明します。〈電源ON／OFF〉

- 電源を入れたときに、ソフトウェア更新を実行するかどうかの確認画面が表示される場合があります。→p.434

電源を入れる

1 **（電源）を2秒以上押す**

バイブレータが1回振動し、しばらくたつと起動中である旨のメッセージが表示され、待受画面が表示されます。

- （電源）を2秒以上押し続けなくても、数回続けて押した場合にも電源が入ることがあります。
- 初めて電源を入れたとき→p.48

(受信レベル表示)	圏外
強 ←→ 弱	サービスエリア外や電波の届かない所

- 電波の受信レベルの目安が確認できます。
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに受信レベルが表示されます。

電源を切る

1 **[終話キー]を2秒以上押す**

バイブレータが2回振動し、終了している旨のメッセージが表示された後、電源が切れます。

お知らせ

- サービスエリア外や電波の届かない所で 圏外 が表示されているときに通話や通信を行うには、表示が消える場所まで移動してください。ただし、[アンテナ]が表示されていて、移動せずに通話していても、通話が切れる場合があります。
- ドコモUIMカードを取り付けていない場合は、ドコモUIMカードの挿入が必要な旨のメッセージが表示されます。電源を切り、ドコモUIMカードを取り付けてから電源を入れ直してください。→p.38
- ドコモUIMカードを差し替えた場合は、電源を入れた後に端末暗証番号の入力を行う必要があります。正しい端末暗証番号を入力すると待受画面が表示されます。誤った端末暗証番号を連続5回入力すると、電源が切れます（ただし再び電源を入れることは可能です）。
- PIN1コード使用の設定中は、PIN1コードの入力が必要です。→p.120
- 日付・時刻が設定されていないときは、日付と時刻を設定する旨のメッセージが表示されます。→p.50
- FOMA端末を開いたまま何も操作しないでいると、約1分でディスプレイの照明が暗くなり、その約4分後、さらに暗くなります（ディスプレイの照明設定で「さらに暗く設定」を設定した場合を除く）。約30分が経過すると、ディスプレイに何も表示されなくなります（省電力）。エコモード中は、約1分間でディスプレイに何も表示されなくなります。→p.115
  ディスプレイに何も表示されない状態のときは、決定が点滅して省電力の状態であることをお知らせします。電話中でも同様に省電力の状態になります。いずれかのボタンを押すか、電話の着信などがあったりすると、ディスプレイは再び表示されます。

初めて電源を入れたときは

確認画面が表示されるので、必要に応じて設定や操作を行います。設定した内容は後から変更できます。

- データ一括削除の再起動後も、同様に設定画面が表示されます。

1 **携帯電話を使う前の準備を始める旨の確認画面で決定を押す**

2 **音声読み上げの設定画面で「1自動で読み上げ」～「3読み上げなし」のいずれかを押す**

読み上げの設定をした旨の確認画面で、決定を押すか、約5秒たつと次の操作に進みます。

- 「1自動で読み上げ」または「2手動で読み上げ」を押した場合は、画面に従って各項目を設定します。これ以降の操作では、約5秒たっても確認画面は閉じません。
- 音声読み上げの設定→p.142
- 「4後で設定する」を押して次の操作に進み、次に電源を入れ直すまでに設定を行わなかった場合は、再び設定画面が表示されます。

音声読み上げを
設定してください
1自動で読み上げ
2手動で読み上げ
3読み上げなし
4後で設定する

3 メニュー形式の選択画面で「1リスト」～「3タイル（文字）」のいずれかを押す

メニュー形式を設定した旨の確認画面で、決定を押すか、約5秒たつと次の操作に進みます。

- メニュー形式の選択→p.113
- 次に電源を入れ直すまでに設定を行わなかった場合は、再び確認画面が表示されます。

メニュー形式を
選んでください
1リスト
2タイル(ｱｲｺﾝ)
3タイル(文字)

4 日付・時刻の設定画面で決定▶日付時刻を設定する

日付・時刻を設定した旨の確認画面で、決定を押すか、約5秒たつと次の操作に進みます。

- 日付時刻設定の概要と設定→p.50
- 圏外などでドコモのネットワークからの時刻情報を取得できず、日付・時刻が設定されなかった場合に表示されます。

日付と時刻を
設定してください

5 端末暗証番号変更画面で「1変更する」▶新しい端末暗証番号を入力▶決定▶新しい端末暗証番号をもう一度入力▶決定を押す

端末暗証番号を変更した旨の確認画面で、決定を押すか、約5秒たつと次の操作に進みます。

- 端末暗証番号変更→p.119
- 次に電源を入れ直すまでに変更を行わなかった場合は、再び確認画面が表示されます。

端末暗証番号の初期設定は「0000」です。
端末暗証番号を変更しますか？
1変更する
2変更しない

6 歩数計・活動量計の設定画面で決定▶身長を入力▶決定▶体重を入力▶決定押す

利用を開始した旨の確認画面で決定を押すと次の操作に進みます。

- 歩数計・活動量計の概要と設定→p.338
- 次に電源を入れ直すまでに設定を行わなかった場合は、再び確認画面が表示されます。

歩数計/活動量計
を設定します。
歩数計/活動量計
の測定値は
目安として
ご利用ください

7 ソフトウェア更新の確認画面で決定を押す

待受画面が表示されます。

- ソフトウェア更新の概要と設定→p.434、p.439

Welcomeメールを確認する

「はじめまして」「ベーシック3のご紹介」のメールが保存されています。待受画面には✉が表示され、新着情報では未読メールがあることをお知らせします。

1 **待受画面で✉を押す**

受信メールのフォルダ一覧が表示されます。

- 受信メールの表示→p.174

現在の通信状態を表示する

現在の通信状態を確認できます。

1 **待受画面で(メニュー)▶「＊設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「7情報の表示やリセットを行う」▶「6通信状態を表示する」を押す**

- 「パケットのみ可能」のときは電話を除く通信サービスが利用できます。

現在の通信状態
すべて可能

日付・時刻を合わせる

ドコモのネットワークからの時刻情報を基に自動で時刻を補正するように設定したり、日付・時刻を手動で設定したりできます（通常は手動で設定する必要はありません）。〈日付時刻設定〉

〈例〉手動で日付・時刻を設定する

1 **待受画面で(メニュー)▶「＊設定を行う」▶「9時計を設定する」▶「1日付と時刻を設定する」を押す**

日付と時刻を自動で設定しますか？
1自動で設定する
2手動で設定する

2 **「2手動で設定する」を押す**

■ **自動で時刻補正をする場合：「1自動で設定する」を押す**

日付と時刻を自動で設定する旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

3 日付と時刻を入力する

- 日付の西暦は下2桁を入力します。月、日が1桁のときは、前に0を付けます。
- 日付は2000年1月1日から2050年12月31日まで設定できます。
- 時刻は24時間制（00：00〜23：59）で設定します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。
- ：選択位置を変更できます。
- ：日付と時刻の入力を切り替えます。

日付と時刻を入力してください(0~23時0~59分)
日付
2011年04月15日
時刻
10時10分

4 決定を押す

日付と時刻を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 「自動で設定する」に設定すると、電源を入れたときに自動で時刻の補正を行います。電源を入れてからしばらくたっても補正されない場合は、電源を入れ直してください。ただし、ドコモUIMカードを取り付けていない場合や電波状態によっては、電源を入れ直しても補正は行われません。また、ｉアプリによっては、動作中に補正できない場合があります。
- 「自動で設定する」に設定していても、数秒程度の誤差が生じる場合があります。
- 「手動で設定する」で日付・時刻を設定したときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しなかったりすると、日付・時刻が消去される場合があります。その場合は、もう一度設定を行ってください。
- ｉアプリ起動中に日付・時刻を手動で設定しようとすると、ｉアプリを終了させて日付・時刻を設定する旨のメッセージが表示されます。「終了する」を押すと、ｉアプリが終了し、日付・時刻が設定されます。
- 一度も自動時刻補正が行われず、日付･時刻が「--」で表示されているときは、時計やFlash画像などが正しく表示されません。また、次の機能は使用できません。
  - ユーザ証明書の操作
  - 再生期限制限や再生期間制限が設定されているｉモーションの取得、再生
  - 時刻設定による起動制限があるｉアプリDX、ｉアプリの自動起動
  - 自動電源ON設定、自動電源OFF設定
  - 通知時刻自動電源ON設定
  - 目覚まし、スケジュール帳
  - 赤外線でのスケジュールの送受信
  - ソフトウェア更新
  - スキャン機能のパターンデータ更新
  - 歩数計・活動量計の履歴の記録
  - つながりほっとサポートの利用記録
- 一度も自動時刻補正が行われず、日付･時刻が「--」で表示されているときは、次の機能で日時が記録されず、「----/--/--」などと表示されます。
  - リダイヤル
  - 着信履歴
  - 伝言メモ
  - カメラで撮影した写真やビデオの保存日時（データ名）
  - 送信メール、未送信メールの日時
  - 通話メモ

相手に自分の電話番号を通知する

電話をかけたとき、相手の電話機に自分の電話番号（発信者番号）を表示させせます。〈発信者番号通知〉

- 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際は、十分にご注意ください。
- 相手の電話機が、発信者番号表示ができるときに表示されます。
- サービスエリア外や電波の届かない所では、発信者番号通知は設定できません。電波状態のよい所で行ってください。
- 電話をかけるたびに、発信者番号を通知／非通知にすることができます。→p.63

発信者番号通知の設定

発信者番号通知を設定します。

1 **待受画面でメニュー▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「1発信者番号通知を使う」▶「1発信者番号通知を設定する」を押す**

2 **「1通知する」または「2通知しない」を押す**

ネットワークに接続され、発信者番号通知を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

発信者番号通知の確認

発信者番号通知の設定内容を確認します。

1 **待受画面でメニュー▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「1発信者番号通知を使う」▶「2発信者番号通知設定を確認する」を押す**

2 **「1確認する」を押す**

ネットワークに接続され、設定内容が表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

発信者番号通知の優先順位

複数の番号通知方法を同時に設定・操作した場合、次の優先順位で番号通知動作が行われます。ただし、ディスプレイの表示と実際の通知／非通知の発信が異なる場合があります。

①相手の電話番号に「186」または「184」を付けた場合→p.63
②発信時にサブメニューから発信者番号の通知／非通知を選択した場合→p.64
③発信者番号通知の設定をした場合→p.52

自分の電話番号を確認する

自分の電話番号（自局電話番号）や登録した個人情報を確認します。〈個人情報表示〉

1 待受画面で(メニュー)▶「0 自分の電話番号を見る」を押す

■ **メールアドレスの自動取得の確認画面が表示された場合：「1 登録する」▶端末暗証番号を入力▶(決定)を押す**

メールアドレスを取得して登録した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつと個人情報（基本）画面が表示されます。

- 「2 登録しない」を選択すると、個人情報（基本）画面が表示されます。これ以降は、メールアドレスが登録されていない場合でも自動取得の確認画面は表示されなくなります。

個人情報(基本)
名称未登録
090XXXXXXXX

■ **詳細情報を確認する場合：個人情報（基本）画面で(決定)▶端末暗証番号を入力▶(決定)を押す**

個人情報（詳細）画面が表示されます。

- 直前にメールアドレスを自動取得した場合は、端末暗証番号の入力画面は表示されません。
- (◁)(▷)：登録情報が複数ある場合に表示を切り替えます。
- (決定)：個人情報（基本）画面と個人情報（詳細）画面を切り替えます。

2 (戻る iチャネル)を押す

メニュー画面に戻ります。

個人情報の登録・修正

自分の名前や電話番号、メールアドレス、住所、メモ、誕生日などが登録できます。

- 電話番号は自局電話番号を除き最大2件、メールアドレスは最大3件登録できます。
- お客様のメールアドレスの確認方法→p.152
- 名前は全角16文字、半角32文字以内で漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。
- フリガナは半角32文字以内で半角カタカナ、半角英字、半角数字、半角記号を入力できます。
- 電話番号は最大26桁入力できます。
- メールアドレスは半角50文字以内で入力します。半角英字、半角数字、半角記号を入力できます。英字入力モード時に(1)を押すと「.」「@」「-」、(＊)を押すと「@docomo.ne.jp」「.com」「.or.jp」などを入力できます。
- 郵便番号は最大7桁、住所とメモは全角100文字、半角200文字以内で漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。

〈例〉2つ目の電話番号入力／メールアドレスを直接入力する

1 待受画面で(メニュー)▶「0自分の電話番号を見る」を押す

- メールアドレスの自動取得の操作は「■メールアドレスの自動取得の確認画面が表示された場合」をご覧ください。→p.53

2 (電話帳)▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

- 操作1でメールアドレスを自動取得した場合は、端末暗証番号の入力画面は表示されません。

個人情報登録
名前を
入力してください

3 名前を入力▶決定を押す

入力した名前のフリガナが自動的に入力されています。

個人情報登録
ドコモ太郎

フリガナを
入力してください
ﾄﾞｺﾓﾀﾛｳ

4 フリガナを確認または修正▶決定を押す

5 2つ目の電話番号入力の確認画面で「1入力する」▶電話番号を入力▶決定▶3つ目の電話番号入力の確認画面で「2入力しない」を押す

- 3つ目の電話番号入力の確認画面で「1入力する」を押すと、3件目の電話番号も入力することができます。

6 メールアドレス入力の確認画面で「2直接入力する」▶メールアドレスを入力▶決定▶2つ目のメールアドレス入力の確認画面で「2入力しない」を押す

- メールアドレスの入力画面で「1自動で取得する」を押した場合は、自動でメールアドレスを取得できます。
- 2つ目のメールアドレス入力の確認画面で「1入力する」を押すと、2つ目のメールアドレスを入力できます。同様に3つ目のメールアドレスも入力することができます。

7 郵便番号と住所入力の確認画面で「1入力する」▶郵便番号を入力▶決定▶住所を入力▶決定を押す

8 メモ入力の確認画面で「1入力する」▶メモを入力▶決定を押す

9 誕生日入力の確認画面で「1入力する」を押す

入力方法の選択画面が表示されます。

- 登録済みの誕生日を削除するときは、誕生日修正の確認画面で「3削除する」を押します。

10 「1明治で入力する」～「4平成で入力する」のいずれか▶決定▶年を入力▶決定▶月を入力▶決定▶日を入力▶決定▶登録の確認画面で決定を押す

個人情報を登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと個人情報（基本）画面に戻ります。

■ 西暦で入力する場合：「5西暦で入力する」▶誕生日を入力▶決定を押す

お知らせ

- お客様のFOMA端末の電話番号（自局電話番号）はドコモUIMカードに登録されているため修正できません。それ以外の項目はFOMA端末に記録されます。
- 個人情報のメールアドレスを変更しても、ｉモードのメールアドレスは変更されません。また、ｉモードのメールアドレスを変更しても、個人情報のメールアドレスは自動的には変更されません。→p.152
- 個人情報（詳細）画面で電話帳を押しても個人情報の登録・修正ができます。また、個人情報（詳細）画面のサブメニューから個人情報を利用できます。
- 赤外線通信を利用して個人情報を赤外線通信機能が搭載されている携帯電話やパソコンなどに送信できます。→p.331

電話

電話のかけかた

電話の受けかた

通話中の操作

電話に出られないとき／出られなかったとき

電話をかける

電話番号を入力したり、リダイヤル／着信履歴、伝言メモなどの電話番号を選択したりして発信します。電話帳に電話番号を登録していれば、メールなどの各種履歴からも発信できます。

1 待受画面で電話番号を入力する

- 一般電話にかけるときは、同じ市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
- 最大80桁入力できます。
- 戻る：電話番号を訂正できます。1秒以上押すと待受画面に戻ります。

2 [を押す

通話中 はっきりボイス あわせるボイス
自分の番号 090XXXXXXXX
ボタンでゆっくりボイス設定
22秒
090XXXXXXXX

- ディスプレイには通話時間が表示されます。
- 通話中画面に自分の電話番号を表示できます。→p.70

3 お話しが終わったら ー を押す

- FOMA端末を閉じても電話を切ることができます。

お知らせ

- [を押してから電話番号を入力しても、約5秒経過すると自動的に電話がかかります。
- 番号通知お願いのガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知を設定する（→p.52）か、「186」を付ける（→p.63）かして、かけ直してください。

緊急通報

本FOMA端末から次の緊急通報に発信できます。
警察への通報：（局番なし）110
消防・救急への通報：（局番なし）119
海上での通報：（局番なし）118

お知らせ

- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがございます。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、警察、消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、携帯電話からかけていることと、電話番号を伝えてから、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署、警察署に接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。

リダイヤル／着信履歴

電話の発信と着信の履歴を記録しておく機能です。通話メモまたは伝言メモがある場合も記録されます。

- リダイヤルと着信履歴はそれぞれ最大30件記録されます。30件を超えると、古いものから順に消去されます。

リダイヤルの表示

かけた相手を表示します。

1 待受画面で（リダイヤル）▶を押して相手を表示する

①リダイヤルの番号
②通話メモが記録されている場合
③電話をかけた日時
④発信者番号の通知／非通知→p.63
⑤声の宅配便で電話をかけた場合（電話番号の前に「＊2020」が表示されます）
⑥国際電話をかけた場合→p.64
⑦電話帳に登録している場合は名前→p.80
⑧電話番号（国際電話の場合は、電話番号の前に「+」が表示されます）

着信履歴の表示

かけてきた相手を表示します。

1 待受画面で（着信履歴）▶を押して相手を表示する

①着信履歴の番号
②不在着信の場合は不在、伝言メモが記録されている場合は伝言メモ、通話メモが記録されている場合は通話メモ
③電話がかかってきた日時
④不在着信の呼出時間
⑤国際電話がかかってきた場合
⑥電話帳に登録している場合は名前→p.80
発信者番号が非通知の場合は発信者番号非通知理由→p.66
⑦電話番号（国際電話の場合は、電話番号の前に「+」が表示されます）

お知らせ

〈リダイヤル／着信履歴共通〉
- 通話中にリダイヤル／着信履歴を表示する場合は、メニュー▶「2着信履歴を見る」または「3リダイヤルを見る」を押します。

〈リダイヤル〉
- 同じ電話番号に通知または非通知を設定してかけた場合は、それぞれ最新の1件がリダイヤルに記録されます。
- 同じ電話番号に声の宅配便で発信した場合は別のリダイヤルとして記録されます。
- 「010」を直接入力または「010」を電話帳に登録して国際電話を発信した場合は、国際電話のマークと「+」は表示されません。

〈着信履歴〉
- 無音着信時間設定（→p.131）で設定した無音着信時間内の不在着信も含め、すべての着信履歴を表示する場合は、着信履歴の表示画面でメニュー▶「9表示切替」▶「1すべての着信」を押します。通常の着信履歴表示に戻す場合は、メニュー▶「9表示切替」▶「2呼出あり着信」を押します。
- 無音着信時間設定で設定した無音着信時間内の不在着信のみが着信履歴に記録されている場合、待受画面で着信を押すと、表示されていない不在着信履歴を表示するかどうかの確認画面が表示されます。「1表示する」を押すと無音着信時間内の不在着信履歴が表示されます。
- 会社などでダイヤルインをご利用の相手からの着信の場合、相手のダイヤルイン番号と異なった番号が表示される場合があります（ダイヤルインとは、1本の回線で着信用の電話番号を複数持てるサービスです）。
- 64Kデータ通信が着信した場合は、「64Kデータ」が表示されます。

不在着信

かかってきた電話に出なかったときは、待受画面に新着情報（→p.25）と不在着信アイコンが表示されます。FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに着信が表示されます。
- 着信履歴には、着信してから相手が呼び出しを止めるまでの時間（呼出時間）が表示されます。覚えのない番号からの不在着信があった場合、呼出時間により、着信履歴を残すことだけを目的としたような迷惑電話（「ワン切り」など）かどうかを確認できます。

リダイヤル／着信履歴の操作

リダイヤル／着信履歴から電話をかけたり、メールを送信したりします。

〈例〉電話をかける

1 待受画面でリダイヤル（リダイヤル）または着信（着信履歴）▶メール/iモードを押して相手を表示する

リダイヤル／着信履歴が表示されます。

■ **リダイヤルの通話メモを再生する場合：リダイヤルで決定を押す**

通話メモが再生されます。
- 複数の通話メモが記録されているときは、通話メモの選択画面が表示されます。

■ **着信履歴の通話メモ／伝言メモを再生する場合：着信履歴で決定を押す**

通話メモまたは伝言メモが再生されます。

2 開始を押す

電話がかかります。

■ **iモードメールを作成する場合：メニュー▶「8メールを作る」を押す**

リダイヤル／着信履歴の電話番号をメールアドレスとともに電話帳に登録している場合は、その1件目のメールアドレスを宛先にしたメール作成画面が表示されます。
- 以降の操作は「簡単な操作でiモードメールを作成・送信」操作4以降（→p.152）、「iモードメールの作成・送信」操作4以降（→p.156）をご覧ください。

お知らせ
- 声の宅配便へのリダイヤルを選択した場合、発信方法の選択画面が表示されます。電話をかける場合は「2通常発信」を、声の宅配便で再度かける場合は「1声の宅配便」を押します。

リダイヤル／着信履歴の削除

1件ずつ、またはすべてのリダイヤル／着信履歴をまとめて削除できます。伝言メモまたは通話メモを同時に削除することもできます。
- 通話メモは、最新の通話から4件分記録されるため、1件のリダイヤルに複数の通話メモが記録されることがあります。リダイヤルを削除すると、未確認の通話メモが削除される場合があります。
- 伝言メモ録音中に応答した場合、電話を受けるまでの録音内容は通話メモとして記録され、着信履歴に表示されます。着信履歴を削除すると、未確認の伝言メモまたは通話メモが削除される場合があります。
- 通話メモを保護している場合はリダイヤル／着信履歴のみ削除されます。

〈例〉通話メモが記録されているリダイヤル／着信履歴を1件削除する

1 **待受画面で（リダイヤル）または（着信履歴）▶を押して削除する相手を表示する**

リダイヤル／着信履歴が表示されます。

2 **▶「4削除する」を押す**

リダイヤル／着信履歴の削除件数の選択画面が表示されます。

3 **「1選択1件」を押す**

記録されているメモも同時に削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **全件削除する場合：「2全件」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す**

- メモが記録されていない場合は、リダイヤル／着信履歴を削除するかどうかの確認画面が表示されます。操作5に進みます。

4 **「1削除する」または「2削除しない」を押す**

■ **リダイヤル／着信履歴とメモを同時に削除する場合：「1削除する」を押す**

リダイヤル／着信履歴とメモを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **メモを残してリダイヤル／着信履歴を削除する場合：「2削除しない」を押す**

リダイヤル／着信履歴を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

5 **「1削除する」を押す**

削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと次のリダイヤル／着信履歴が表示されます。

- リダイヤル／着信履歴がない場合や全件削除したときは、待受画面が表示されます。
- 「2削除しない」を押すと、選択したリダイヤル／着信履歴に戻ります。

お知らせ

- リダイヤル／着信履歴に記録されているメモを同時に削除しなくても、メニューから通話メモ（→p.71）または伝言メモ（→p.77）を削除できます。

声の宅配便

声の宅配便は、電話を利用して声のメッセージを相手に届けるサービスです。FOMA端末同士であれば、相手を呼び出さずにメッセージを録音したり、録音されたメッセージを再生したりできます。

- 声の宅配便の詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。
- メッセージは1件あたり最長15分、最大500件録音でき、720時間保存されます。また、最大5件保護でき、保護解除後は720時間経過後に自動的に削除されます。

声の宅配便サービスの基本的な流れ

ステップ1：相手の電話番号に声の宅配便で電話をかけてメッセージを録音する
ステップ2：相手にSMSで通知される
ステップ3：相手がSMSから声の宅配便サービスセンターに電話をかけてメッセージを再生する
ステップ4：再生通知開始中はお客様のFOMA端末にSMSで通知される（初回再生時のみ）

声の宅配便の通知SMSについて

声の宅配便では、新しくメッセージが録音されたり相手がメッセージを再生したりしたときに、SMSで通知されます。

- 録音または再生を通知するSMSは、SMS拒否設定に関わらず受信されます。
- メッセージを再生したことを録音相手に通知したくない場合は、声の宅配便の設定で再生通知を停止にします。
- メッセージの録音を通知するSMSを受けとりたくない場合、声の宅配便サービスを停止してください。ただし、メッセージの録音を受け付けられなくなります。
- SMS非対応端末でも声の宅配便を利用できますが、録音または再生を通知するSMSは受信できません。

お知らせ

- メッセージの録音・再生には通話料金がかかります。

メッセージの録音

相手を選択し、声の宅配便サービスセンターへ電話をかけると、メッセージを録音できます。

1 待受画面で電話番号を入力▶電話帳を押す

声の宅配便を利用するかの確認画面が表示されます。

■ **電話帳から発信する場合：待受画面で電話帳▶電話帳を検索▶相手を選択▶決定▶◁▷を押して電話番号を表示▶電話帳を押す**

- 電話帳一覧で相手にカーソル▶電話帳を押すと、1件目の電話番号に声の宅配便で発信されます。

■ **リダイヤル／着信履歴から発信する場合：待受画面で▷または◁▶相手を選択▶電話帳を押す**

2 「1利用する」▶音声ガイダンスに従って操作する

声の宅配便サービスセンターに電話がかかります。

- 「2利用しない」を押すと、元の画面に戻ります。

メニューからメッセージを録音する

相手を選択し、声の宅配便サービスセンターへ電話をかける操作はメニューからも行えます。

1 待受画面でメニュー▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「6声の宅配便を使う」▶「1メッセージを届ける」を押す

電話番号の選択方法画面が表示されます。

2 「4直接入力する」▶電話番号を入力する

■ **リダイヤルから選択する場合：「1リダイヤルを参照」▶メール／発着信履歴を押して相手を表示する**

■ **着信履歴から選択する場合：「2着信履歴を参照」▶メール／発着信履歴を押して相手を表示する**

■ **電話帳から選択する場合：「3電話帳を参照」▶電話帳を検索▶相手を表示する**

- 1件目の電話番号が対象となります。

3 決定▶音声ガイダンスに従って操作する

声の宅配便サービスセンターに電話がかかります。

お知らせ

- 声の宅配便でメッセージを届ける場合、次の動作となります。
  - ワンタッチダイヤルからでも利用できます。
  - ツータッチダイヤルでは利用できません。ただし、待受画面で(を押し、短縮ダイヤルに設定した電話帳Noを入力した場合は利用できます。
  - 電話番号非通知でも利用できます。ただし、相手が番号通知お願いサービス開始中は利用できません。また、相手に届くSMSには非通知と表示されます。
- 迷惑電話ストップサービスで着信拒否登録されている場合はメッセージを録音できません。

メッセージの再生

録音されたメッセージを再生します。音声ガイダンスに従って操作すると、再生後に削除、保護、返信ができます。

録音順にメッセージを再生する

1 待受画面でメニュー▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「6声の宅配便を使う」▶「2メッセージを再生する」を押す

声の宅配便を再生するかの確認画面が表示されます。

2 「1再生する」▶音声ガイダンスに従って操作する

声の宅配便サービスセンターに電話がかかります。

SMSから直接メッセージを再生する

メッセージが録音されるとSMSで通知されます。SMSからPhone To機能を使用して、メッセージを直接再生します。

1 待受画面でメール▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定▶表示するSMSを選択▶決定を押す

SMSの詳細画面が表示されます。

2 「再生」を選択▶決定▶「1電話をかける」▶音声ガイダンスに従って操作する

声の宅配便サービスセンターに電話がかかります。

- 「設定」を選択すると声の宅配便の設定を行います。

お知らせ

- 発信者番号が非通知のメッセージを再生しても、再生を通知するSMSは送信されません。

声の宅配便の設定

声の宅配便サービスの開始／停止および再生通知の開始／停止を設定します。

1 待受画面でメニュー▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「6声の宅配便を使う」▶「3声の宅配便の設定を行う」を押す

声の宅配便を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1設定する」▶音声ガイダンスに従って操作する

声の宅配便サービスセンターに電話がかかります。

発信ごとの通知／非通知の設定

電話をかけるときに相手の電話番号の前に特定の番号を付けることで、自分の電話番号を相手に通知するか通知しないかを選択できます。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。
- 番号通知お願いのガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知を設定するか、「186」を付けてかけ直してください。
- 電話をかけるときの発信者番号の通知／非通知をあらかじめ一括して設定できます。→p.52
- 相手の電話番号に「186」または「184」を付けて発信した場合、リダイヤルにはその番号がついた電話番号が記録されます。
- 番号通知方法の優先順位→p.52

「186」／「184」を入力して設定

電話番号を入力して指定します。

発信者番号を通知する

1 待受画面で186▶電話番号を入力▶発信キーを押す

電話がかかります。

発信者番号を通知しない

1 待受画面で184▶電話番号を入力▶発信キーを押す

電話がかかります。

「通知」／「非通知」を選択して設定

サブメニューから発信者番号の通知／非通知を選択します。リダイヤルや着信履歴などから電話をかけるときにも選択できます。

〈例〉発信者番号を通知して電話をかける

1 **待受画面で電話番号を入力▶(メニュー)を押す**
サブメニューが表示されます。

2 **「3通知で電話」を押す**
発信者番号を通知して電話がかかります。
■ **発信者番号を非通知にして電話をかける場合：「4非通知で電話」を押す**
発信者番号を非通知にして電話がかかります。

国際電話をかける（WORLD CALL）

「WORLD CALL」はドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。

- 通話先は世界約240の国・地域です。海外の一般電話や携帯電話と通話がご利用できます。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通話料金と合わせて請求させていただきます。
- 申込手数料は不要です。また、月額使用料は無料です。
- 「WORLD CALL」の詳細は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用いただく場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。
- 海外通信事業者によっては発信者番号が通知されないことや正しく表示されない場合があります。この場合、着信履歴を利用して電話をかけることはできません。
- 接続可能な国および海外通信事業者などの情報については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

日本から海外に電話をかける

- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- 009130▶010▶国番号▶地域番号（市外局番）の先頭の「0」を除いた電話番号でもかけられます。

〈例〉海外の一般電話へ電話をかける

1 **待受画面で0 1 0▶国番号を入力する**

2 **地域番号（市外局番）の先頭の「0」を除いた電話番号を入力▶(発信)を押す**
国際電話がかかります。
■ **海外の携帯電話へ電話をかける場合：先頭の「0」を除いた携帯電話番号を入力▶(発信)を押す**

お知らせ

- 国番号を含めた電話番号を電話帳に登録して国際電話をかける→p.86「電話帳から発信方法を選択して電話をかける」

「ワールドコール」を選択して国際電話を発信

サブメニューの「ワールドコール」を選択して国際電話をかけます。

1 **待受画面で国番号▶地域番号（市外局番）の先頭の「0」を除いた電話番号を入力▶(メニュー)▶「5ワールドコール」を押す**

ダイヤル入力中
(発信)ボタンで電話をかける
009130010
XXXXXXXXXX

- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

2 **(発信)を押す**
ドコモの国際アクセス番号「009130010」が付加され、国際電話がかかります。

お知らせ

- ダイヤル入力画面または発信中画面には「009130010」が表示されますが、リダイヤルには「+」に変換されて記録されます。

「+」を入力して国際電話を発信

待受画面で0を1秒以上押して「+」を入力し、国番号、地域番号（市外局番）、電話番号を入力しても国際電話がかかります。

1 **待受画面で0を1秒以上▶国番号▶地域番号（市外局番）の先頭の「0」を除いた電話番号を入力▶を押す**

国際電話がかかります。

- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

サブアドレスをつけて電話をかける

サブアドレスを指定して特定の電話機や通信機器を呼び出します。

- サブアドレスとは、同じ電話番号内にある複数の電話機や通信機器の中から、特定の機器を呼び出すときに使う番号です（ISDN回線で、サブアドレスが振られている機器を複数接続している場合など）。
- 電話番号に含まれる「＊」以降の番号をサブアドレスと認識します。

1 **待受画面で電話番号を入力▶*（サブアドレスの区切り）▶サブアドレスを入力▶を押す**

電話がかかります。

お知らせ

- ポーズ（「P」）やタイマー（「T」）を入力した後に「＊」を入力した場合は、サブアドレスの区切りとしては認識されず、「＊」を含んだプッシュ信号（DTMF）として送出されます。

プッシュ信号（DTMF）の送信

FOMA端末からプッシュ信号（DTMF）を送って、対応する各種サービスを操作したり、外線番号に続けて内線番号を発信したりできます。

お知らせ

- プッシュ信号（DTMF）は、受信側の機器によっては受信できない場合があります。
- 通話を保留にして別の相手にポーズ（「P」）、タイマー（「T」）を入力して電話をかけることはできません。

通話中にプッシュ信号（DTMF）を送る

通話中にダイヤルボタンを押すとプッシュ信号が送信されます。

1 **通話中に0～9、*、#を押す**

プッシュ信号が送出されます。

ポーズ「P」を送る

ご自宅の留守番電話の操作やチケットの予約などに利用します。

1 **待受画面で電話番号を入力▶*を1秒以上▶送出する番号を入力▶を押す**

電話がかかります。

2 **電話がつながったら決定を押す**

ポーズ（「P」）以降の番号が送出されます。

タイマー「T」を送る

外線番号に続けて内線番号を入力するときなどに利用します。

1 **待受画面で電話番号を入力▶#を1秒以上▶内線番号を入力▶を押す**

電話がかかります。

2 **電話がつながると内線番号が送出される**

- タイマー（「T」）ひとつにつき約1秒の間隔をとります。
- タイマー（「T」）は連続して入力できます。

ハンズフリー対応機器の利用

FOMA端末をカーナビなどのハンズフリー対応機器とUSB接続することにより、ハンズフリー対応機器から電話の発着信などの操作ができます。

- ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、FOMA端末を閉じても通話は継続されます。また、FOMA端末でのマナーモードや着信音設定に関わらず、電話がかかってくるとハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- 伝言メモ開始中の着信動作は、伝言メモの設定に従います。

電話を受ける

かかってきた電話を受けます。

1 電話がかかってくる

着信音が鳴り、ランプと(通話キー)が点滅します。

着信しています
(通話キー)ボタンで通話
携帯花子
090XXXXXXXX

2 (通話キー)を押す

電話がつながります。

- ディスプレイには通話時間が表示されます。

3 お話しが終わったら(終話キー)を押す

- FOMA端末を閉じても電話を切ることができます。

お知らせ

- FOMA端末から転送された電話がかかってきた場合は、着信画面に転送元の電話番号が「転：XXX…」と表示されます。転送元の電話番号を電話帳に登録している場合は名前が表示されます。ただし、転送元によっては電話番号が表示されないことがあります。
- 次の場合は、転送元の電話番号は表示されません。
  - 着信音に映像のある動画／ｉモーションを設定しているとき
  - 発信元の電話番号をワンタッチダイヤルに登録し、着信画像を設定しているとき
- 通話中にメールを受信すると✉が、メッセージR/Fを受信するとR/Fがディスプレイ上部に表示されます。
- サブアドレスが通知されてきた場合、発信者番号の後ろに「＊」とサブアドレスが表示されます。
- 国際電話を着信した場合、発信者番号の先頭に「＋」が表示されます。

着信中の表示について

電話番号が通知されたときは電話番号が、電話番号を電話帳に登録しているときは電話番号と名前が表示されます。→p.80

ワンタッチダイヤルに登録（→p.92）し、着信画像を設定（→p.95）しているときは、名前と着信画像が表示されます。

■ 電話番号が通知されなかったとき

発信者番号非通知理由が表示されます。

非通知設定：発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合

公衆電話：公衆電話などから発信した場合

通知不可能：海外や一般電話から各種転送サービスを経由した場合など、発信者番号を通知できない状態で発信した場合（経由する電話会社によっては通知される場合もあります）

- 非通知理由別着信設定で設定した着信動作が優先されます。→p.129

■ 着信中の背面ディスプレイの表示

FOMA端末を閉じているときは、「電話です」と相手の名前や電話番号、発信者番号非通知理由が表示されます。背面ディスプレイの着信表示の設定によっては、相手の名前や電話番号は表示されません。→p.112

着信中のサブメニューからの操作

着信中にメニューを押すとサブメニューから次の操作ができます。

1 **伝言メモ**：伝言メモで応対（クイック伝言メモ）

2 **留守番電話**※1：留守番電話サービスセンターに接続

3 **転送でんわ**※2：転送登録先に転送

4 **着信拒否**：電話を受けずに切断

※1 留守番電話サービス契約時に有効です。

※2 転送でんわサービス契約済みで転送先登録時に有効です。

通話中着信音が聞こえたとき

留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかを契約済みで、通話中の着信動作選択が「通常着信する」の場合、通話中に別の電話が着信すると「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえます。このとき、留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスを開始にしていると各サービスが動作します。

- 通話中に着信したとき、着信中のサブメニュー操作では伝言メモは選択できません。
- キャッチホン中は「マルチ接続」と画面に表示されます。

ダイヤルボタンなどを押して電話を受ける

電話がかかってきたとき、(以外に0～9、決定、*、#を押して電話に出られるようにするかどうかを設定します。〈エニーキーアンサー設定〉

- 通話中の着信に対しては無効です。

1 待受画面でメニュー▶「*設定を行う」▶「2電話着信時の設定を行う」▶「4ダイヤル／決定ボタンで着信を受ける」を押す

ダイヤルボタンや決定ボタンでも応答できるようにするかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1応答する」または「2応答しない」を押す

ダイヤル／決定ボタンで応答する／しないに設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

FOMA端末を開いて電話を受ける

電話がかかってきた時、FOMA端末を開いて応答できるように設定します。〈着信中オープン応答〉

1 待受画面でメニュー▶「*設定を行う」▶「2電話着信時の設定を行う」▶「5本体を開いて着信を受ける」を押す

本体を開いて応答できるようにするかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1応答する」または「2応答しない」を押す

本体を開いて応答する／しないに設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 本機能設定中は、応答保留中、伝言メモ応答ガイダンス中、伝言メモ録音中でもFOMA端末を開いて応答できます。

自動で電話を受ける

電話が着信してから約4秒後に自動で電話を受けるかどうかを設定します。〈オートスピーカーホン機能〉

- 電話を受けた後の動作は、スピーカーホン機能を使用した通話と同様です。→p.69

1 **待受画面で(メニュー)▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「4電話・電話帳の詳細を設定する」▶「6オートスピーカーホンを設定する」を押す**

オートスピーカーホンを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1設定する」または「2解除する」を押す**

オートスピーカーホンを設定／解除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

- オートスピーカーホン設定中は待受画面にが表示されます。

お知らせ

- 次の場合は、本機能を設定していても動作しません。
  - 自動的に電話がつながる前に(発信)を押して電話を受けた場合
  - 通話中に電話がかかってきた場合
  - FOMA端末を閉じている場合
  - 公共モード中（→p.73）またはマナーモード中（→p.109）
  - ステレオイヤホンマイク01（別売）や外部機器などを接続中の場合
- マナーモード中に本機能を設定しようとすると、マナーモードを解除するかどうかの確認画面が表示されます。
- 伝言メモ、留守番電話サービス、転送でんわサービスと本機能を同時に設定している場合、設定した呼出時間により、優先順位が異なります。
- 電話帳指定着信拒否／許可（→p.128）、非通知理由別着信設定（→p.129）、登録外着信拒否（→p.132）を設定中は、対象に設定している相手から電話がかかってくると、各機能が優先して動作します。
- 本機能と無音着信時間設定（→p.131）を同時に設定している場合、無音着信時間を4秒以上に設定すると、本機能は動作しません。

着信中の着信音量の調節

着信中に着信音量を調節します。

- 電話を切ると設定は解除されます。
- 「だんだん大きく」は設定できません。
- 待受中の音量設定→p.104
- マナーモード中は、本機能は動作しません。

1 **着信中に(メール)(iアプリ)または(+)(−)を押す**

呼出音量の設定画面が表示されます。

2 **(メール)(iアプリ)(左)(右)または(+)(−)を押して音量を調節する**

着信中画面に戻ります。

■ **消音に設定する場合：音量1のときに(iアプリ)(左)(−)のいずれかを押す**

通話中に保留にする

通話中に自分の声が相手に聞こえないようにします。

- 保留中も、電話をかけた方に通話料金がかかります。
- 保留中にFOMA端末を閉じると、電話は切れます。

1 **通話中に(決定)を押す**

通話が保留になり、ランプが点滅します。自分と相手にメロディ（エンターテイナー）が流れます。

保留中は、通話中画面に「通話保留」が点滅します。

■ **保留を解除する場合：(決定)または(発信)を押す**

通話中画面に戻ります。

お知らせ

- 保留中に流れるメロディ（エンターテイナー）は変更できません。
- ステレオイヤホンマイク01（別売）を接続して保留中にFOMA端末を閉じた場合は、保留は継続されます。
- 保留中は、3分経過するごとに5回まで「パターンA」で振動します。ただし、公共モード（ドライブモード）中は振動しません。

スピーカーホンで通話する

相手の声がスピーカーから聞こえる状態で通話できます。

- マナーモード中またはキャッチホン中でもスピーカーホン機能を使用できます。

1 通話中に[(]または[電話帳]を押す

通話先が受話口／スピーカーで切り替わります。

- 通話中は[(]または[電話帳]を、発信中または呼出中は[(]を押すたびに通話先が切り替わります。

■ スピーカーホン機能に切り替えると

- スピーカーホン機能に切り替えると、音量が急に大きくなりますので、FOMA端末を耳から離して使用してください。
- FOMA端末から約50cm以内の距離でお話しください。周囲や相手側の雑音が大きい場合は、聞き取りにくいことがあります。その場合は受話口からの通話に切り替えてください。

通話中に電話帳を表示する

通話中に電話帳を表示して確認できます。

1 通話中に[メニュー]▶「[1]電話帳を見る」▶電話帳を検索する

検索方法→p.84

通話中の聞き取りやすさを設定する

本FOMA端末には、通話中の相手の声を聞き取りやすくする複数の機能があります。

はっきりボイス

はっきりボイスとは、通話中に周囲の騒音に応じて最適な方法で調節し、相手の声を聞き取りやすくする機能です。また、相手や自分の声が小さいときにも自動的に音量を大きくします。

- 通話開始時は「はっきりボイスオン」に設定されています。通話終了後も設定は保持されます。
- スピーカーホン機能使用中は、はっきりボイスは動作しません。
- はっきりボイスは受話音量を調節するものではありません。相手の声の音量は、受話音量で調節してください。→p.105

1 通話中に[メニュー]▶「[4]はっきりボイスオフ」または「[4]はっきりボイスオン」を押す

はっきりボイスをオンにすると、通話中画面に[はっきりボイス]が赤色で表示されます。オンでも動作しないときはグレーで表示されます。

ぴったりボイス

はっきりボイス動作中に、揺れや移動状況などから現在の行動を認識して、はっきりボイスよりさらに最適な音質に調節します。

- はっきりボイスがオンで動作中であればぴったりボイスは自動的に動作します。設定は必要ありません。
- 「新幹線乗車中」「歩行中」「走行中」を認識します。
- 電池残量が少ない場合、ぴったりボイスは動作しませんがはっきりボイスによる調節は動作します。

ゆっくりボイス

ゆっくりボイスとは、通話中の無音区間を利用して相手の話す声がゆっくり聞こえるように調節する機能です。

- 通話開始時は「ゆっくりボイスオフ」に設定されています。通話終了後、設定は解除されます。
- スピーカーホン機能使用中でも、ゆっくりボイスは動作します。

1 通話中に[ゆっくりボイス]を押す

ゆっくりボイスがオンになり、通話中画面には[ボタンでゆっくりボイス解除]が表示されます。

■ ゆっくりボイスをオフにする場合：ゆっくりボイス設定中に[ゆっくりボイス]

- 通話中画面には[ボタンでゆっくりボイス設定]が表示されます。

お知らせ

- ゆっくりボイスオンにすると、相手の声質、音楽、時報などが変化する場合があります。
- 相手が区切りのない話しかたをしたときなど、ゆっくりボイスが機能しない場合は、通常の速度に聞こえます。

あわせるボイス

あわせるボイスとは、各年代の平均聴力に基づいて聞こえかたを変化させることで、通話を聞き取りやすくする機能です。誕生日を入力しておくと、年代に合った聞こえかたに自動的に調節されます。また、通話中に調節レベルを変更することができます。

- お買い上げ時のままであわせるボイスを利用できます。このとき、調節レベルは「普通」に、年代の設定値は60歳に設定されています。個人情報で誕生日を登録または修正すると、お客様に合った年代の平均聴力の値に変更されます。→p.53
- あわせるボイスの調節レベルを変更すると、聞こえかたが変化します。
- スピーカーホン機能使用中は、あわせるボイスは動作しません。

1 **通話中に(メニュー)▶「6あわせるボイス」▶「1強い」～「3弱い」のいずれかを押す**

あわせるボイスを設定すると、通話中画面にあわせるボイスが赤色で表示されます。設定しても動作しないときはグレーで表示されます。

- あわせるボイスの設定に反映されます。
- 「2普通」にすると、誕生日から計算した年代に合わせた聞こえかたになります。

■ **あわせるボイスを解除する：「4オフ」を押す**

あわせるボイスの設定

あわせるボイスの調節レベルをあらかじめ設定します。

1 **待受画面で(メニュー)▶「*設定を行う」▶「0あわせるボイスを設定する」を押す**

あわせるボイスの調節レベルの選択画面が表示されます。

- 個人情報の誕生日が未登録時に、初めてあわせるボイスの設定を起動すると、誕生日入力を促すメッセージが表示されます。(決定)▶「1入力する」▶端末暗証番号を入力後、入力方法を選択して誕生日を登録してください。
- 個人情報の誕生日が登録済みの場合、あわせるボイスの設定からは誕生日を変更できません。個人情報を修正してください。

2 **「1強い」～「4オフ」のいずれかを押す**

あわせるボイスを設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

通話中に自分の電話番号を表示する

通話中の画面に自分の電話番号を表示するかどうかを設定します。〈通話中自局番号表示設定〉

1 **待受画面で(メニュー)▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「4電話・電話帳の詳細を設定する」▶「8通話中に自分の番号を表示する」を押す**

通話中に自分の電話番号を表示するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1表示する」または「2表示しない」を押す**

通話中の自局番号表示を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

通話を録音する

通話を録音するかどうかを設定します。〈通話メモ〉

- 電話を切る約1分前からの通話が最大4件録音されます。4件を超えると、保護されていない古い通話メモから順に上書きされます。残しておきたい通話メモは保護してください。→p.72

1 **待受画面で(メニュー)▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「5伝言メモ・通話メモを使う」▶「5通話音声メモを開始／停止する」を押す**

通話音声メモを開始するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1開始する」または「2停止する」を押す

通話音声メモを開始／停止した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 通話保留中は、保留中に流れるメロディや相手の声は録音されますが、自分の声は録音されません。
- 通話中に別の電話がかかってきたり電話をかけたりした場合は、それぞれの通話が録音されます。通話相手を切り替えるたびに新たに録音を開始します。
- メモから発信者番号の通知／非通知を選択して発信（→p.64）したり、電話帳に登録（→p.83）したりできます。ただし、メモから声の宅配便で電話をかけることはできません。
- 通話メモはリダイヤル／着信履歴に記録されるため、リダイヤル／着信履歴を削除するときに通話メモも同時に削除される場合があります。→p.60

通話音声メモの再生

通話メモを再生します。

1 待受画面でメニュー▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「5伝言メモ・通話メモを使う」▶「4通話音声メモを再生する」を押す

保存されているメモの件数が表示されます。

2 決定を押す

1件目のメモが表示されます。

- 通話メモ画面の主な表示内容は次のとおりです。
  - メモの番号、録音された日時が表示されます。
  - 国際電話の場合はが表示されます。
  - 電話番号を電話帳に登録済みの場合は名前（→p.80）が、発信者番号が非通知の場合は発信者番号非通知理由（→p.66）が表示されます。

3 を押して再生するメモを表示する

通話メモが表示されます。

- を押すとメモの相手に電話がかかります。

4 決定を押す

メモが再生されます。再生が終了すると通話メモ画面に戻ります。

■ 再生を停止する場合：決定を押す

■ 再生中に音量を調節する場合：のいずれかを押す

■ 音声の再生先を受話口／スピーカーで切り替える場合：を押す

通話音声メモの削除

通話メモを削除します。

〈例〉1件削除する

1 待受画面でメニュー▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「5伝言メモ・通話メモを使う」▶「4通話音声メモを再生する」▶決定▶を押して削除するメモを表示する

通話メモが表示されます。

2 メニュー▶「4削除する」▶「1選択1件」を押す

メモを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 全件削除する場合：メニュー▶「4削除する」▶「2全件」▶暗証番号を入力▶決定を押す

3 「1削除する」を押す

削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

- 「2削除しない」を押すと、選択した通話メモに戻ります。
- メモがない場合や全件削除した場合は、メニュー画面に戻ります。

通話音声メモの保護／解除

削除したり、上書きされたりしないように通話メモを保護します。
- 最大2件保護できます。

1 **待受画面で(メニュー)▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「5伝言メモ・通話メモを使う」▶「4通話音声メモを再生する」▶(決定)▶(メール)(iアプリ)を押して保護／保護解除するメモを表示する**
通話メモが表示されます。

2 **(メニュー)▶「5保護する」または「5保護を解除する」を押す**
通話メモに戻ります。通話メモが保護されると、通話メモの番号の横に保護と表示されます。
- 通話メモが2件保護されている状態で保護しようとすると、保護できない旨のメッセージが表示されます。不要な通話メモの保護を解除してください。

通話中の受話音量の調節

通話中に相手の声の音量を調節します。また、通話中に(+)(−)ボタンを押しても受話音量が変更されないようにあらかじめ設定することができます。
- 通話終了後も設定は保持されます。
- 発信中、呼出中に操作しても受話音量を変更できます。
- 待受中の受話音量の調節→p.105
- スピーカーホン機能利用中の設定は通話終了後も保持されますが、受話音量には反映されません。

1 **通話中に(メール)(iアプリ)または(+)(−)を押す**
受話音量の調節画面が表示されます。

2 **(メール)(iアプリ)(←)(→)または(+)(−)を押して音量を調節する**
ボタン操作後しばらくたつと音量が設定され、通話中画面に戻ります。

お知らせ
- 音量調節後すぐに通話中画面に戻す場合は、(決定)(戻る)(終話)のいずれかを押します。

通話中受話音量調節の設定

通話中に(+)(−)を押してしまっても受話音量が変更されないようにあらかじめ設定できます。

〈例〉通話中に(+)(−)ボタンによる受話音量調節を無効にする

1 **待受画面で(メニュー)▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「4電話・電話帳の詳細を設定する」▶「0通話中の音量調整を設定する」を押す**
(+)(−)ボタンでの通話中受話音量調節を有効にするかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「2無効にする」を押す**
(+)(−)ボタンでの通話中受話音量調節を無効にした旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。
- 通話中の受話音量調節を無効にすると(メール)(iアプリ)で、有効にすると(メール)(iアプリ)(+)(−)のいずれかで受話音量の調節画面が表示されます。

電話に出られないときに保留にする

電話がかかってきたとき、すぐに電話に出られないときは応答保留にします。〈応答保留〉

- 応答保留中に⊖を押すか相手が電話を切ると、通話は終了します。
- 応答保留中でも相手側には通話料金がかかります。

1 **着信中に⊖を押す**

応答保留になります。相手には電話に出られない旨をお知らせする応答保留ガイダンスが流れます。

- 応答保留中にFOMA端末を閉じると、背面ディスプレイに「応答保留中」と着信の種別が表示されます。

2 **電話に出られる状態になったら決定または⊂を押す**

電話がつながります。

お知らせ

- オートスピーカーホン設定中は、着信してからオートスピーカーホン機能が動作するまでの約4秒間に応答保留の操作を行ってください。→p.68

公共モードの利用

公共モード（ドライブモード／電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。

- 公共モードとネットワークサービスを同時に設定している場合、留守番電話サービス※1、転送でんわサービス※1、番号通知お願いサービス※2は、公共モードに優先して動作します。

※1 呼出時間が「0秒」以外では、公共モードのガイダンスの後にサービスが動作します。

※2 相手が電話番号を通知している場合は、公共モードが動作します。

- 迷惑電話ストップサービスで着信拒否登録した相手からの着信では公共モードは動作しません。

公共モード（ドライブモード）の設定

運転中など電話の利用を控えなければならない場合は、公共モード（ドライブモード）を設定します。公共モード（ドライブモード）中に着信すると、電話の利用を控えなければならない旨を発信者にガイダンスでお知らせし、自動的に電話を終了します。

- 本機能の設定や解除は待受中にのみ操作できます。圏外でも操作できます。
- 本機能設定中は次の動作となります。
  - 通常どおり電話をかけることができます。
  - 緊急通報（110番、119番、118番）すると、応答可能とするために設定は解除されます。
  - マナーモード中、伝言メモ開始中でも、優先して動作します。

1 **待受画面で＊を1秒以上押す**

公共モード（ドライブモード）を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと待受画面に戻ります。

■ **公共モードを解除する場合：公共モード中に待受画面で＊を1秒以上押す**

公共モードを解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと待受画面に戻ります。

- 本機能設定中、待受画面に🚗が、FOMA端末を閉じているときは背面ディスプレイに🚗が表示されます。

公共モード（ドライブモード）を起動すると

お客様のFOMA端末は着信動作を行わず、待受画面には新着情報（→p.25）が表示され、着信履歴に記録されます。メール着信時も着信音は鳴らず、待受画面に新着情報が表示されます。

- 次の音が鳴りません。また、バイブレータやランプも動作しません。
  - 電話、メール・メッセージの着信音
  - お知らせタイマー音、目覚まし音、予定の通知音声
  - ｉアプリの音
  - 待受中の電池残量警告音※、充電確認音
  - バーコード読み取りの確認音、音声コード読み取りの確認音
  - 音声入力メールのソフトの発信音

  ※ FOMA端末を閉じているとき、背面ディスプレイに「電池残量なし」と表示もされません。
- FOMA端末を閉じているときに、不在着信や新着メールなどがあると、背面ディスプレイに新着情報が表示されます。
- FOMA端末を持ち上げたときでも、背面ディスプレイの照明は点灯しません。
- 省電力の状態でも、決定は点滅しません。
- 開閉ロックを設定し、FOMA端末を閉じてもランプは点滅しません。
- エリアメール設定で公共モード中に音が鳴るように設定している場合は、エリアメール受信時にブザー警報音やエリアメール着信音が鳴ります。バイブレータやランプは設定により動作します。→p.195
- ｉチャネルのテロップは表示されません。

公共モード（電源OFF）の設定

病院など電波の影響が心配で電源を切る必要がある場合は、公共モード（電源OFF）を設定します。公共モード（電源OFF）中で電源を切っている間に着信すると、携帯電話の電源を切る必要がある旨を発信者にガイダンスでお知らせし、自動的に電話を終了します。

- 電話で発信して設定します。音声ガイダンスで設定／解除をお知らせします。

1 待受画面で ＊ 2 5 2 5 1 ▶ 発信 を押す

サービスを開始した旨のガイダンスが流れ、公共モード（電源OFF）が設定されます（待受画面上の変化はありません）。

■ **公共モードを解除する場合：**

公共モード中に待受画面で ＊ 2 5 2 5 0 ▶ 発信 を押す

サービスを停止した旨のガイダンスが流れ、公共モード（電源OFF）が解除されます。

■ **公共モードの設定内容を確認する場合：**

待受画面で ＊ 2 5 2 5 9 ▶ 発信 を押す

現在の設定がガイダンスで流れます。

公共モード（電源OFF）を起動すると

- 「＊25250」をダイヤルして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。
- サービスエリア外または電波が届かない所にいる場合も、公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れます。

伝言を録音する

伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときに応答メッセージを再生し、相手の用件を録音します。〈伝言メモ〉

- 最大4件、1件につき約30秒間録音できます。

伝言メモの設定

相手の用件を録音できるようにします。

1 待受画面で(メニュー)▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「5伝言メモ・通話メモを使う」▶「2伝言メモを開始／停止する」▶「1開始する」または「2停止する」を押す

伝言メモを開始／停止した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

- 伝言メモ設定中は待受画面に(黒)が表示されます。

伝言メモを設定すると

電話がかかってくると、相手の用件を録音します。

- 伝言メモ設定中でも電話を受けられます。

1 電話がかかってくる

呼出時間設定に従って着信音が鳴った後、伝言メモ応答中画面が表示され、相手には伝言メモ応答メッセージが流れます。

- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「伝言メモ起動中」が表示されます。

2 相手のメッセージが録音される

伝言メモ録音中画面が表示されます。

- 開始時と終了時に相手には「ピーッ」と音が鳴ります。また、開始時から約25秒後に、終了予告音（ピピッ）が鳴ります。

3 録音が終了すると、電話が切れる

伝言メモが録音されると、待受画面に新着情報（→p.25）とが表示されます。

- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに伝言が表示されます。

お知らせ

- 伝言メモ応答中、伝言メモ録音中でも()を押して電話に出ることができます。
- 伝言メモ録音中に応答した場合、電話を受けるまでの録音内容が通話メモとして記録されます。
- FOMA端末の電源が入っていないときや圏外にいるときは、伝言メモ機能は動作しません。留守番電話サービスをご利用ください。
- 伝言メモが4件録音されると、待受画面に(赤)が表示され伝言メモは動作しません。不要な伝言メモを削除してください。
- 伝言メモが動作しない状態で伝言メモを設定しようとすると、削除を促す画面が表示されます。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始に設定している場合は、各サービスが動作します。
- 伝言メモが録音された場合でも、着信履歴に記録されます。そのため、リダイヤル／着信履歴を削除するときに伝言メモも同時に削除される場合があります。→p.60

録音の開始時間の設定

電話がかかってきてから応答メッセージが流れるまでの時間を設定します。〈呼出時間設定〉

- お買い上げ時は「13秒」に設定されています。

1 待受画面で(メニュー)▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「5伝言メモ・通話メモを使う」▶「3伝言メモを設定する」▶「1伝言メモ呼出時間を設定する」を押す

呼出時間の設定画面が表示されます。

2 呼出時間を入力▶(決定)を押す

呼出時間を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

- 0～120秒の間で入力します。

お知らせ

- オートスピーカーホン機能（→p.68）、オート着信設定（→p.359）、留守番電話サービス、転送でんわサービスと本機能を同時に設定している場合、設定した呼出時間により、優先順位が異なります。伝言メモを優先させるには、伝言メモの呼出時間を各機能やサービスの呼出時間設定よりも短く設定してください。ただし、電波状態によっては伝言メモが優先されない場合があります。
- オート着信設定の応答時間と本機能の呼出時間を同じ時間に設定できません。
- 無音着信時間の設定に関わらず、着信した時点から伝言メモの呼出時間がカウントされます。→p.131

応答メッセージの選択

伝言メモ設定中に相手に流れる応答メッセージを選択します。〈伝言メモメッセージ選択〉

1 **待受画面でメニュー▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「5伝言メモ・通話メモを使う」▶「3伝言メモを設定する」▶「2伝言メモの応答メッセージを選ぶ」を押す**

応答メッセージの選択画面が表示されます。

■ 応答メッセージを再生する場合：メッセージを選択▶電話帳

■ 再生を停止する場合：決定を押す

■ 再生中に音量を調節する場合：メール/iα/+/−のいずれかを押す

■ 音声の再生先を受話口／スピーカーで切り替える場合：[を押す

2 **「1標準」～「3移動中用」のいずれかを押す**

伝言メッセージを設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

伝言メモの再生

伝言メモを再生します。再生後に続けて削除することもできます。

1 **待受画面でメニュー▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「5伝言メモ・通話メモを使う」▶「1伝言メモを再生する」を押す**

保存されているメモの件数が表示されます。

2 **決定を押す**

① メモの番号
② 録音された日時
③ 国際電話の場合
④ 電話帳に登録している場合は名前→p.80
発信者番号が非通知の場合は発信者番号非通知理由→p.66
⑤ 電話番号（国際電話の場合は、電話番号の前に「+」が表示されます）

3 **メール/iαを押してメモを表示する**

伝言メモが表示されます。

- [を押すとメモの相手に電話がかかります。

4 **決定を押す**

メモが再生されます。

- 再生が終了すると、削除するかどうかの確認画面が表示されます。「1削除する」▶決定を押すと再生済みのメモが削除されます。

■ 再生を停止する場合：決定を押す

■ 再生中に音量を調節する場合：メール/iα/+/−のいずれかを押す

■ 音声の再生先を受話口／スピーカーで切り替える場合：[を押す

お知らせ

- メモから発信者番号の通知／非通知を選択して発信（→p.64）したり、電話帳に登録（→p.83）したりできます。ただし、メモから声の宅配便で電話をかけることはできません。

伝言メモの削除

1件ずつ、またはすべての伝言メモをまとめて削除します。

〈例〉1件削除する

1 待受画面で（メニュー）▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「5伝言メモ・通話メモを使う」▶「1伝言メモを再生する」▶決定▶（メール）（iα）を押して削除するメモを表示する

伝言メモが表示されます。

2 （メニュー）▶「4削除する」▶「1選択1件」を押す

メモを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 全件削除する場合：（メニュー）▶「4削除する」▶「2全件」▶暗証番号を入力▶決定を押す

3 「1削除する」▶決定を押すまたは約5秒後に次の伝言メモが表示される

- メモがない場合や、全件削除した場合は、メニュー画面に戻ります。
- 「2削除しない」を押すと、選択した伝言メモに戻ります。

着信中に伝言を録音する

伝言メモが停止中でも、着信中に操作を行うと、その着信に限り伝言メモを動作させることができます。〈クイック伝言メモ〉

- この操作は、伝言メモを設定するものではありません。

1 着信中に（メニュー）▶「1伝言メモ」を押す

伝言メモ応答中画面が表示され、相手のメッセージが録音されます。

お知らせ

- 伝言メモがすでに4件録音されている場合は、本機能を使用できません。不要な伝言メモを削除してください。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳

本FOMA端末では、FOMA端末電話帳とドコモUIMカード電話帳を利用できます。

2つの電話帳の違い

- ドコモUIMカード電話帳には、直接登録したり修正したりできません。FOMA端末電話帳に登録またはコピーして修正してからドコモUIMカード電話帳にコピーしてください。→p.89

○：可　×：不可

項　目		FOMA端末電話帳	ドコモUIMカード電話帳
電話帳登録件数		最大1000件※	最大50件
登録内容	名前	○	○
	フリガナ	○	○
	電話番号	1件につき3番号	1件につき1番号
	メールアドレス	1件につき3アドレス	1件につき1アドレス
	郵便番号と住所	○	×
	メモ	○	×
	誕生日	○	×
	グループ	「グループなし」および30グループ	「グループなし」および10グループ
	電話帳No	○	×

※ 実際に登録できる件数は、各電話帳の登録内容により少なくなる場合があります。

- お客様のドコモUIMカードを他のFOMA端末に挿入しても、ドコモUIMカード電話帳を利用できます。
- ｉコンシェルのインフォメーション（メモ、住所、URL）は自動的に更新されます（ｉコンシェル契約の場合）。ｉコンシェルのインフォメーションが登録されると、電話帳一覧画面に📝が表示されます。
- ケータイデータお預かりサービスを利用できます。→p.132

名前の表示について

電話帳に登録した相手と電話の発着信を行うと、電話帳の名前と電話番号が発信中、呼出中、着信中、通話中の画面に表示されます。

- 電話帳の名前は、発着信情報を記録しているリダイヤルや着信履歴、電話帳を検索せずに電話番号／メールアドレスを入力したとき、伝言メモ、通話メモ、受信メールの送信元、送信メール／未送信メールの宛先、メールの送受信履歴にも表示されます。
- FOMA端末電話帳に同じ電話番号／メールアドレスを異なる名前で登録している場合、最初に登録した電話帳の名前が表示されます。
- FOMA端末電話帳とドコモUIMカード電話帳に、同じ電話番号／メールアドレスを異なる名前で登録している場合、FOMA端末電話帳の名前が表示されます。
- ワンタッチダイヤルに同じ電話番号／メールアドレスを異なる名前で登録している場合、最も小さいワンタッチダイヤル番号に登録した電話帳の名前が表示されます。
- メールを受信した際、送信元と電話帳のメールアドレスが@以降のドメイン名も含めて完全に一致すると、電話帳の名前が表示されます。ただし、送信元がｉモード端末の場合は、ドメイン名（@docomo.ne.jp）を省略して登録しても、電話帳の名前が表示されます。メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、「@docomo.ne.jp」を省略して電話帳に登録してください。
- SMSを受信した際、電話番号が一致した場合は電話帳の名前が表示されます。
- 電話帳の名前が長い場合、発着信時の画面などには、画面に表示できる文字数分のみ名前が表示されます。
- 背面ディスプレイの着信表示の設定で、背面ディスプレイに相手の名前や電話番号を表示しないように変更できます。→p.112

FOMA端末電話帳の登録のしかた

よく利用する電話番号やメールアドレスなどを、名前とともに登録できます。

- ドコモショップなど窓口での機種変更時など、新機種へ登録内容をコピーする際は、仕様によってはFOMA端末にコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- 電話帳を登録する場合、名前は必須入力項目です。それ以外の入力画面では何も入力しないで決定を押すと次の画面が表示されます。
- 最大登録件数→p.80
- 「電話帳に名前を登録する」～「電話帳に電話帳Noを登録する」まで順に操作します。

電話帳に名前を登録する

相手の名前や会社名などを入力します。

- 全角16文字、半角32文字以内で入力します。

1 **待受画面でメニュー▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「4電話帳に登録する」を押す**

名前の入力画面が表示されます。

2 **名前を入力する**

電話帳登録
名前を
入力してください
携帯花子

3 **決定を押す**

電話帳にフリガナを登録する

フリガナの入力画面が表示されます。「電話帳に名前を登録する」で入力した名前のフリガナを確認、必要に応じて修正します。

- フリガナは電話帳の音声検索（ボイスダイヤル）やフリガナ検索に使用しますので、正しく入力してください。
- 半角32文字以内で入力します。

1 **フリガナを確認する**

電話帳登録
携帯花子
フリガナを
入力してください
ｹｲﾀｲﾊﾅｺ

- 電話帳を音声で呼び出すには、記号、空白、濁点、半濁点を除いて3文字以上で入力します。→p.140

2 **決定を押す**

電話帳に電話番号を登録する

電話番号の登録方法選択画面が表示されます。

- 最大26桁入力できます。

1 **「1直接入力」▶電話番号を入力する**

電話帳登録
電話番号を
入力してください
090XXXXXXXX

- 電話番号には、ポーズ（「P」）、タイマー（「T」）、国際電話発着信時に利用する「+」、「#」、サブアドレスの区切り（「＊」）を入力できます。
- 「186」、「184」を付けて電話帳に登録すると、SMS作成時の宛先に選択した際、送信できません。

■ **着信履歴／リダイヤルから登録する場合：「2着信履歴から」または「3リダイヤルから」▶メール/発信履歴を押して電話番号を表示▶決定を押す**

■ **登録しない場合：「4入力しない」を押す**

「電話帳にメールアドレスを登録する」に進みます。

2 **決定を押す**

2件目の電話番号を入力するかどうかの確認画面が表示されます。

- 他の電話番号を登録するときは、「1入力する」を押して操作1～2を繰り返します。3件まで電話番号を登録できます。
- 電話番号を3件登録するか、「2入力しない」を押すと、電話番号の登録を終了します。

電話帳にメールアドレスを登録する

メールアドレスの登録方法選択画面が表示されます。

- 半角50文字以内で入力します。
- メールアドレスには、半角英字、半角数字、半角記号を入力できます。
- シークレットコード入力→p.88

1 **「1直接入力」▶メールアドレスを入力する**

電話帳登録
メールアドレスを
入力してください
*:定型ｱﾄﾞﾚｽ入力
docomo.hanako.ΔΔ
@docomo.ne.jp

- 半角英字入力モード時に1：「.」「@」「-」などメールアドレスによく使う記号を入力できます。
- 半角英字入力モード時に*：「@docomo.ne.jp」「.com」「.or.jp」などを入力できます。

■ **メールの送受信履歴から登録する場合：「2受信メールから」または「3送信メールから」▶ / を押してメールアドレスを選択▶決定を押す**

■ **登録しない場合：「4入力しない」を押す**

「電話帳に郵便番号と住所を登録する」に進みます。

2 **決定を押す**

2件目のメールアドレスを入力するかどうかの確認画面が表示されます。

- 他のメールアドレスを登録するときは、「1入力する」を押して操作1～2を繰り返します。3件までメールアドレスを登録できます。
- メールアドレスを3件登録するか、「2入力しない」を押すと、メールアドレスの登録を終了します。

電話帳に郵便番号と住所を登録する

郵便番号と住所を入力するかどうかの確認画面が表示されます。

- 郵便番号は7桁で、住所は全角100文字、半角200文字以内で入力します。

1 **「1入力する」▶郵便番号を入力▶決定▶住所を入力▶決定を押す**

- 郵便番号と住所を登録するか、「2入力しない」を押すと、郵便番号と住所の登録を終了します。

電話帳にメモを登録する

メモを入力するかどうかの確認画面が表示されます。

- メモは全角100文字、半角200文字以内で入力します。

1 **「1入力する」▶メモを入力▶決定を押す**

- メモを登録するか、「2入力しない」を押すと、メモの登録を終了します。

電話帳に誕生日を登録する

誕生日を入力するかどうかの確認画面が表示されます。

- 入力した誕生日はスケジュール帳に表示されます。→p.348

1 **「1入力する」を押す**

入力方法の選択画面が表示されます。

2 **「1明治で入力する」～「4平成で入力する」のいずれか▶決定▶年を入力▶決定▶月を入力▶決定▶日を入力▶決定▶登録の確認画面で決定を押す**

■ **西暦で入力する場合：「5西暦で入力する」▶誕生日を入力▶決定を押す**

- 誕生日を登録するか、操作1の画面で「2入力しない」を押すと、誕生日の登録を終了します。

電話帳にグループを登録する

グループの選択画面が表示されます。

1 **グループを選択▶決定を押す**

電話帳に電話帳Noを登録する

電話帳Noの入力画面が表示されます。
- 電話帳Noを0～9に登録すると、短縮ダイヤルに設定されます。→p.98

1 **電話帳No（0～999）を入力する**

電話帳登録
電話帳Noを
入力してください
0～9:短縮ﾀﾞｲﾔﾙ
10～999:短縮なし
10

10～999までの空いている最も小さい電話帳Noが自動的に入力されています。

- 10～999まですべて使用されている場合は、0～9までの空いている最も小さい電話帳Noが入力されます。
- 電話帳Noが「001」のように1桁の場合は「1」、「010」のように2桁の場合は「10」と入力します。

2 **決定を押す**

電話帳を
登録しました。
ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙに
登録しますか？
1登録する
2終了する

■ **すでに登録されている電話帳Noで上書きする場合：上書きするかどうかの確認画面で「1上書きする」を押す**

■ **新しい電話帳Noで登録する場合：上書きするかどうかの確認画面で「2新規登録する」を押す**
- すでに登録されている電話帳Noの電話帳はそのままにして、新しい電話帳Noで登録します。

3 **「2終了する」を押す**
電話帳登録が終了し、メニュー画面に戻ります。

■ **続けてワンタッチダイヤルに登録する場合：「1登録する」▶「1ワンタッチダイヤル1」～「3ワンタッチダイヤル3」のいずれかを押して登録する**
以降の操作は「ワンタッチダイヤルに電話番号を登録する」以降をご覧ください。→p.92
- シークレットモード中でない場合、シークレット属性を設定した電話帳の名前はワンタッチダイヤル登録一覧画面で「＊」と表示されます。

リダイヤル／着信履歴からの電話帳登録

リダイヤル／着信履歴などから電話帳に登録したり追加したりできます。
- サイトやｉモードメールなどから電話番号やメールアドレスを登録することもできます。→p.212、p.232

〈例〉新規登録する

1 **待受画面で（リダイヤル）または（着信履歴）▶を押して登録する相手を表示する**

2 **メニュー▶「1電話帳に登録」を押す**
名前の入力画面が表示されます。
以降の操作は「電話帳に名前を登録する」操作2以降をご覧ください。→p.81

■ **電話帳に追加登録する場合：メニュー▶「2電話帳に追加」▶電話帳の検索結果一覧で相手を選択▶決定を押すまたは約5秒後にワンタッチダイヤル登録確認画面が表示される**
以降の操作は「電話帳に電話帳Noを登録する」操作3をご覧ください。→p.83

お知らせ
- 電話番号の入力画面には、選択したリダイヤル／着信履歴の電話番号が入力されています。
- すでに電話番号を3件登録している相手に追加登録するときは、上書きする電話番号の選択画面で電話番号を選択して決定を押します。上書きしないときは戻るを押して電話帳の検索結果一覧に戻ります。

電話帳を検索する

さまざまな方法で電話帳を呼び出すことができます。

- 電話帳の呼び出しかたには次の検索方法があります。
  - 50音順検索→p.84
  - グループ検索→p.84
  - 音声検索※→p.85
  - フリガナ検索→p.85
  - 電話番号検索→p.85
  - 電話帳No検索※→p.85
  - メモ検索※→p.85

  ※ ドコモUIMカード電話帳では利用できません。
- 電話帳の検索方法選択画面で(電話帳)を押すたびに、FOMA端末／ドコモUIMカード電話帳の検索方法選択画面に切り替わります。FOMA端末電話帳の検索結果一覧で(メニュー)▶「#UIMカード電話帳」を、ドコモUIMカード電話帳の検索結果一覧で(メニュー)▶「6本体電話帳」を押しても切り替わります。
- お買い上げ時は、50音順検索で表示されます。
- 検索方法を変更するときは、FOMA端末電話帳の検索結果一覧で(メニュー)▶「6検索方法を変更」を、ドコモUIMカード電話帳の検索結果一覧で(メニュー)▶「5検索方法を変更」を押します。FOMA端末電話帳では、よく利用する検索方法を優先表示することができます。→p.87
- シークレット属性を設定している電話帳は、シークレットモード中のみ検索できます。また、ワンタッチダイヤルやツータッチダイヤル、ツータッチメールなど電話帳を利用する機能の場合も同様です。→p.91
- 電話帳の利用について→p.86

■検索結果一覧での操作

電話帳の検索結果一覧では、次の操作ができます。

- 0～9：ボタンに割り当てられている行の先頭を表示します。たとえば、「携帯花子」を表示する場合は「け」（カ行）に対応する2を押します。

  1：ア行 2：カ行 3：サ行 4：タ行
  5：ナ行 6：ハ行 7：マ行 8：ヤ行
  9：ラ行 0：ワ行
- ＊／#：アルファベット、数字、記号のいずれかで始まる電話帳がある場合、その先頭を表示します。ただし、アルファベット、数字、記号ごとにカーソルを移動させることはできません。
- (←)(→)：画面上部にある50音表示のカーソルを移動して、各行の先頭を表示します（音声検索、フリガナ検索を除く）。

お知らせ

- 電話帳を検索しても検索結果がない場合は、該当する電話帳がない旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと直前の検索画面に戻るので、再度入力して検索するか、(電話帳)を押して別の検索方法を選択してください。

50音順検索

50音順に検索して表示します。

1 待受画面で(メニュー)▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「3電話帳の内容を見る」▶「1 50音順検索」を押す

検索結果一覧が表示されます。

検索方法が表示されます。

電話帳
５０音順検索
アカサタナハマヤラワ他
携帯あき子
携帯一郎
携帯なつ子
携帯花子
ドコモ一郎

<検索結果一覧>
（50音順検索の場合）

■ **ドコモUIMカード電話帳で検索する場合：待受画面で(メニュー)▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「3電話帳の内容を見る」▶(電話帳)▶「1 50音順検索」を押す**

グループ検索

グループから検索します。

1 待受画面で(メニュー)▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「3電話帳の内容を見る」▶「2グループ検索」を押す

グループ一覧が表示されます。

■ **ドコモUIMカード電話帳で検索する場合：待受画面で(メニュー)▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「3電話帳の内容を見る」▶(電話帳)▶「2グループ検索」を押す**

2 **検索するグループを選択▶決定を押す**

検索結果一覧が表示されます。

- 同じグループでは50音順→アルファベット順→数字→空白で始まるもの→記号→フリガナなしの順に表示されます。

音声検索

音声で検索します。

- 記号、空白、濁点、半濁点を除いて3文字以上のフリガナが登録されている電話帳が対象です。
- 周囲の状況や発声のしかたにより、音声が認識されない場合があります。
- ボイスダイヤルについて→p.140
- 待受画面で電話帳を1秒以上押しても、音声で検索できます。

1 **待受画面でメニュー▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「3電話帳の内容を見る」▶「3音声検索」を押す**

音声での電話帳検索画面が表示されます。

- 以降の操作は「音声で電話帳を呼び出す」操作2をご覧ください。→p.140

フリガナ検索

フリガナの先頭の一部を入力して検索します。

1 **待受画面でメニュー▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「3電話帳の内容を見る」▶「4フリガナ検索」を押す**

フリガナの入力画面が表示されます。

■ **ドコモUIMカード電話帳で検索する場合：待受画面でメニュー▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「3電話帳の内容を見る」▶電話帳▶「3フリガナ検索」を押す**

2 **フリガナを入力▶決定を押す**

検索結果一覧が表示されます。

電話番号検索

電話番号の一部を入力して検索します。

1 **待受画面でメニュー▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「3電話帳の内容を見る」▶「5電話番号検索」を押す**

電話番号の入力画面が表示されます。

■ **ドコモUIMカード電話帳で検索する場合：待受画面でメニュー▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「3電話帳の内容を見る」▶電話帳▶「4電話番号検索」を押す**

2 **電話番号の一部を入力▶決定を押す**

検索結果一覧が表示されます。

電話帳No検索

電話帳Noを入力して検索します。

1 **待受画面でメニュー▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「3電話帳の内容を見る」▶「6電話帳No検索」を押す**

電話帳Noの入力画面が表示されます。

2 **電話帳Noを入力▶決定を押す**

検索結果一覧が表示されます。

- 電話帳Noが「001」のように1桁の場合は「1」、「010」のように2桁の場合は「10」と入力します。

メモ検索

メモの一部を入力して検索します。

1 **待受画面でメニュー▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「3電話帳の内容を見る」▶「7メモ検索」を押す**

2 **メモの一部を入力▶決定を押す**

検索結果一覧が表示されます。

FOMA端末／ドコモUIMカード電話帳の詳細表示

登録内容を表示して確認します。

1 待受画面で(電話帳)▶電話帳を検索する

- 検索方法→p.84

2 詳細表示する相手を選択▶(決定)を押す

＜FOMA端末電話帳詳細画面＞　＜ドコモUIMカード電話帳詳細画面＞

① 電話帳No
② 名前、フリガナ
③ グループマーク、グループ名
④ 登録内容がわかるマーク（電話番号／メールアドレス／郵便番号と住所／メモ／誕生日）
⑤ 選択している電話番号／メールアドレス／郵便番号と住所／メモ／誕生日

- (左)(右)：登録している各項目の表示を切り替えます。項目を省略せずに表示する場合は、各項目を表示▶(決定)を押します。

お知らせ

- 電話帳の詳細画面では次の操作ができます。
  - (0)～(9)：ボタンに割り当てられている行の先頭の詳細画面を表示します。→p.84
  - (#)、(＊)：アルファベット、数字、記号のいずれかで始まる電話帳がある場合、その先頭の詳細画面を表示します。
  - (メール)(iアプリ)：前後の詳細画面を表示します。

電話帳を利用する

電話帳を検索して電話をかけたりメールを送ったりします。

電話帳から電話をかける

- 選択した相手の１件目の電話番号が対象になります。

1 待受画面で(電話帳)▶電話帳を検索する

- 検索方法→p.84

2 相手を選択▶(発信)を押す

電話がかかります。

■ **電話帳の詳細画面から電話をかける場合**：相手を選択▶(決定)▶(左)(右)を押して電話番号を表示▶(発信)または(決定)を押す

電話帳から発信方法を選択して電話をかける

- 本機能を利用して国際電話をかけるには、国番号を含めた電話番号を電話帳に登録してください。
- 選択した相手の１件目の電話番号が対象になります。

〈例〉電話帳の相手に国際電話をかける

1 待受画面で(電話帳)▶電話帳を検索する

- 検索方法→p.84

2 相手を選択▶(メニュー)▶「1電話をかける」を押す

電話をかけるかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1電話をかける」を選択▶(メニュー)▶「3ワールドコール」を押す

電話をかけるかどうかの確認画面に戻ります。

■ **電話番号を非通知／通知にして電話をかける場合**：「1電話をかける」を選択▶(メニュー)▶「1非通知で電話」または「2通知で電話」を押す

4 「1電話をかける」を押す

国際電話がかかります。

電話帳からｉモードメール／SMSを作成する

1 **待受画面で電話帳▶電話帳を検索する**
- 検索方法→p.84

2 **相手を選択▶メニュー▶「2メールを作る」または「3SMSを作る」を押す**
1件目のメールアドレス／電話番号を宛先にしたメール／メッセージ作成画面が表示されます。
- 以降の操作は「簡単な操作でｉモードメールを作成・送信」操作4以降（→p.152）、「ｉモードメールの作成・送信」操作4以降（→p.156）、「SMSを作成して送信する」操作4以降（→p.197）をご覧ください。

■ **電話帳の詳細画面からｉモードメールを作成する場合：相手を選択▶決定▶◁▷を押してメールアドレスを表示▶決定を押す**

■ **電話帳の詳細画面からSMSを作成する場合：相手を選択▶決定▶◁▷を押して電話番号を表示▶メニュー▶「3SMSを作る」を押す**

電話帳から相手の居場所を確認する

1 **待受画面で電話帳▶電話帳を検索する**
- 検索方法→p.84

2 **相手を選択▶決定▶◁▷を押して電話番号を表示▶メニュー▶「9居場所を確認」▶「1接続する」を押す**
電話番号を検索対象として「イマドコかんたんサーチ」に接続します。
- イマドコかんたんサーチの詳細はドコモのホームページをご覧ください。

電話帳から声の宅配便で電話をかける

- 選択した相手の1件目の電話番号が対象になります。

1 **待受画面で電話帳▶電話帳を検索する**
- 検索方法→p.84

2 **相手を選択▶電話帳▶「1利用する」を押す**
声の宅配便で電話がかかります。
- 「2利用しない」を押すと、電話帳の画面に戻ります。
- 電話帳の詳細画面から、電話番号を指定して声の宅配便で電話をかけられます。
- 電話帳に電話番号が未登録のとき、電話帳の詳細画面で電話番号以外の登録内容を表示しているときは、「声宅配」は表示されません。
- 声の宅配便→p.61

優先する検索方法を設定

待受画面で電話帳を押したときに表示されるFOMA端末電話帳の検索方法を設定します。〈電話帳検索優先設定〉

1 **待受画面でメニュー▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「3電話帳の内容を見る」を押す**
電話帳の検索方法選択画面が表示されます。

2 **優先する検索方法を選択▶メニューを押す**
優先する検索方法を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと検索方法選択画面に戻ります。
- 優先設定している検索方法に優先が表示されます。お買い上げ時は50音順検索が優先設定されています。

電話帳一覧の文字サイズ設定

電話帳一覧の文字の大きさを設定します。

1 待受画面で(メニュー)▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「0電話帳の文字の大きさを変更する」を押す

電話帳一覧の文字の大きさの設定画面が表示されます。

2 「1標準の大きさ」または「2大きく表示」を押す

文字の大きさを設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

電話帳の修正

FOMA端末電話帳の登録内容の修正やグループの移動ができます。メールアドレスを登録している場合はシークレットコードを入力できます。

〈例〉修正して電話帳Noを上書きする

1 待受画面で(電話帳)▶電話帳を検索する

- 検索方法→p.84

2 相手を選択▶(メニュー)▶「4修正する」を押す

名前の入力画面が表示されます。

3 電話帳の内容を修正▶決定を押す

上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

- 名前／フリガナ／電話番号／メールアドレス／郵便番号と住所／メモ／誕生日／グループの順に修正できます。
- 操作の詳細は「電話帳に名前を登録する」操作2以降をご覧ください。→p.81

4 「1上書きする」▶「2終了する」を押す

検索結果一覧に戻ります。

- 続けてワンタッチダイヤルに登録する場合は、「1登録する」を押します。以降の操作は「電話帳に電話帳Noを登録する」操作3をご覧ください。→p.83

■ **新しい電話帳Noで登録する場合：**「2新規登録する」▶他の電話帳No（0〜999）を入力▶決定▶「2終了する」を押す

お知らせ

- 名前を修正してもフリガナは自動で変更されません。フリガナも修正してください。
- 複数の電話番号やメールアドレスを登録している場合、1件目の電話番号やメールアドレスを削除すると2件目以降が繰り上げ登録されます。

グループ変更

電話帳のグループを変更します。

1 待受画面で(電話帳)▶電話帳を検索する

- 検索方法→p.84

2 相手を選択▶(メニュー)▶「8グループを移動」を押す

グループ選択画面が表示されます。

■ **電話帳の詳細画面からグループを変更する場合：**相手を選択▶決定▶(メニュー)▶「6グループを移動」を押す

3 移動するグループを選択▶決定を押す

選択したグループに移動した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと検索結果一覧に戻ります。

シークレットコードを設定する

迷惑メール対策にはシークレットコード登録を利用します。＜シークレットコード入力＞

- メールアドレス（携帯電話番号@docomo.ne.jp）にシークレットコードを登録している相手には、そのシークレットコードを付加しないと返信できません。相手のメールアドレスにシークレットコードと同じ4桁の数字を設定すると、メール作成時に自動的にシークレットコードが付加され、返信することができます。

1 待受画面で(電話帳)▶電話帳を検索する

- 検索方法→p.84

2 相手を選択▶決定▶(◁)(▷)でメールアドレスを選択▶(メニュー)▶「#シークレットコード入力」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

電話帳

3　端末暗証番号を入力▶決定を押す
シークレットコードの入力画面が表示されます。

4　4桁のシークレットコードを入力▶決定を押す
シークレットコードを設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと電話帳の詳細画面が表示されます。

■ **シークレットコードを削除する場合：入力されているシークレットコードを戻る/iチャネルですべて削除▶決定を押す**
シークレットコードを削除した旨のメッセージが表示されます。

お知らせ

- 設定したシークレットコードは、FOMA端末電話帳の詳細画面やｉモードメール作成時の宛先などには表示されません。シークレットコードの設定と同様の操作で確認してください。

電話帳のコピー

FOMA端末電話帳をドコモUIMカード電話帳にコピーしたり、電話帳の項目をコピーして別の場所に貼り付けたりします。

FOMA端末／ドコモUIMカード電話帳へコピー

FOMA端末電話帳をドコモUIMカード電話帳に、ドコモUIMカード電話帳をFOMA端末電話帳にコピーします。

- 電話帳の検索結果一覧から操作する場合は、複数の電話帳をまとめてコピーできます。電話帳の詳細画面から操作する場合は、表示中の電話帳がコピーされます。
- コピー先に同じグループがないときは、「グループなし」にコピーされます。
- FOMA端末電話帳からドコモUIMカード電話帳にコピーする場合、保存できる最大文字数を超えた部分とタイマー（「T」）は削除されます。また、一部コピーできない項目を除いてコピーするかどうかの確認画面が表示された場合、「1コピーする」を押すと、コピー可能な項目のみがコピーされます。コピーされる項目は次のとおりです。
  - 名前：全角で最大10文字、半角で最大21文字コピーされます。ただし、全角／半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、最大10文字となります。
  - フリガナ：半角カタカナは全角カタカナに置き換えられます。全角で最大12文字、半角で最大25文字コピーされます。
  - 電話番号：1件目の電話番号が最大26桁コピーされます。
  - メールアドレス：1件目のメールアドレスが半角で最大50文字コピーされます。
- ドコモUIMカード電話帳からFOMA端末電話帳にコピーする場合、フリガナは半角カタカナに置き換えられます。

1　待受画面で電話帳▶電話帳を検索する
- 検索方法→p.84

2　メニュー▶「9コピー／お預り」▶「1ドコモUIMカードへコピー」を押す
電話帳の選択画面が表示されます。

■ **FOMA端末電話帳の詳細画面からコピーする場合：相手を選択▶決定▶メニュー▶「7コピー／お預り」▶「1ドコモUIMカードへコピー」を押す**

■ **ドコモUIMカード電話帳からコピーする場合：メニュー▶「#UIMカード電話帳」▶電話帳を検索▶メニュー▶「4本体へコピー」を押す**

3　コピーする相手を選択▶決定を押す
相手の□が☑に変わります。

■ **相手を選択／解除する場合：決定を押す**

■ **すべての相手を選択／解除する場合：メニューを押す**

4　電話帳を押す
ドコモUIMカード／本体電話帳にコピーした旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと検索結果一覧に戻ります。

- 電話帳の詳細画面から操作した場合は、表示中の詳細画面に戻ります。

登録内容のコピー

電話帳の個々の登録内容（名前や電話番号など）をコピーします。

1 **待受画面で電話帳▶電話帳を検索する**
- 検索方法→p.84

2 **相手を選択▶決定▶メニュー▶「0名前等をコピー」を押す**
電話帳の項目一覧画面が表示されます。
■ ドコモUIMカード電話帳からコピーする場合：メニュー▶「#UIMカード電話帳」▶電話帳を検索▶相手を選択▶決定▶メニュー▶「8名前等をコピー」を押す

3 **コピーする項目を選択▶決定を押す**
選択した項目をコピーした旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと電話帳の詳細画面に戻ります。
- 貼り付け方法→p.372「文字のコピー／切り取り／貼り付け」操作5

電話帳の削除

1件分の電話帳を削除します。

〈例〉電話帳の検索結果一覧から削除する場合

1 **待受画面で電話帳▶電話帳を検索する**
- 検索方法→p.84

2 **相手を選択▶メニュー▶「7電話帳から削除」を押す**
削除するかどうかの確認画面が表示されます。
■ FOMA端末電話帳の詳細画面から削除する場合：相手を選択▶決定▶メニュー▶「5電話帳から削除」を押す
■ ドコモUIMカード電話帳の詳細画面から削除する場合：メニュー▶「#UIMカード電話帳」▶電話帳を検索▶相手を選択▶決定▶メニュー▶「5電話帳から削除」を押す

3 **「1削除する」を押す**
電話帳を1件削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと検索結果一覧に戻ります。
- 電話帳が1件もなくなった場合は、電話帳に登録がない旨のメッセージが表示されます。

お知らせ
- ワンタッチダイヤルに登録している電話帳を削除すると、ワンタッチダイヤル登録からも削除されます。

グループの設定を変更する

グループの名前を変更したり、グループごとの着信音を設定したりできます。

グループ名の変更

FOMA端末電話帳の「グループ1」～「グループ30」をわかりやすい名前に変更したり、グループ名称の一覧から選択したりできます。
- 「グループなし」は変更できません。
- 入力されているグループ名をすべて削除すると、お買い上げ時のグループ名に戻ります。

〈例〉グループ名称の一覧から選択する

1 **待受画面でメニュー▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「7電話帳のグループを設定する」▶「1グループ名を変更する」を押す**
グループの選択画面が表示されます。

2 **グループを選択▶決定を押す**
グループ名の入力方法選択画面が表示されます。

3 **「1一覧から選ぶ」▶「1家族」～「0その他」のいずれかを押す**
グループ名を登録した旨のメッセージが表示されます。
■ 直接入力する場合：「2直接入力する」▶グループ名を入力▶決定を押す
- 全角10文字、半角20文字以内で入力します。

4 決定を押すまたは約5秒後にメニュー画面に戻る

グループ別着信音の設定

電話がかかってきたときやメールを受信したときの着信音を、FOMA端末電話帳のグループごとに設定できます。
- 「グループなし」には設定できません。
- 電話着信音の優先順位→p.102
- メール着信音の優先順位→p.103

1 待受画面でメニュー▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「7電話帳のグループを設定する」▶「2グループ専用電話着信音を選ぶ」または「3グループ専用メール着信音を選ぶ」を押す

グループの選択画面が表示されます。

2 グループを選択▶決定▶「1着信音設定」▶「1設定する」を押す

着信音の種類の選択画面が表示されます。
- グループ専用の着信音を設定しない場合は「2設定しない」を押します。操作5に進みます。

3 「1メロディ」または「2着モーション」を押す

フォルダまたはアルバムの選択画面が表示されます。

■ 名前を読み上げるように設定する場合：「3名前の読み上げ」を押す
操作5に進みます。
名前の読み上げについて→p.104

4 フォルダまたはアルバムを選択▶決定▶着信音を選択▶決定を押す

着信音の設定画面に戻ります。
- microSDカード内のデータは設定できません。
- 「ｉモードで探す」を選択して決定▶「1接続する」を押すと、ｉモードサイトからメロディまたはｉモーションを探せます。→p.229、p.240
- メロディまたは動画／ｉモーションの再生方法は「電話着信時の着信音の変更」操作5をご覧ください。→p.102

5 電話帳を押す

着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとグループの選択画面に戻ります。

電話帳を隠す

シークレット属性を設定した電話帳は、シークレットモード中のみ表示されます。シークレット属性を設定するには、FOMA端末をシークレットモードに設定する必要があります。〈シークレット属性設定／解除〉
- ドコモUIMカード電話帳には設定できません。

1 シークレットモードを設定する
- 操作方法→p.124

2 待受画面で電話帳▶電話帳を検索する
- 検索方法→p.84

3 相手を選択▶決定▶メニュー▶「*シークレット属性設定」を押す

シークレット属性を設定した旨のメッセージが表示されます。

■ 解除する場合：シークレット属性を設定している相手を選択▶決定▶メニュー▶「*シークレット属性解除」を押す

4 決定を押すまたは約5秒後にFOMA端末電話帳の詳細画面に戻る
- 設定中は🔑が点滅します。

お知らせ
- シークレットモード中に電話帳を登録・修正した場合、その電話帳にはシークレット属性が設定されます。
- シークレットモード中でない場合、シークレット属性を設定した相手から電話がかかってきたりメールを受信したりしても、グループ別着信音やワンタッチダイヤル専用の着信画像（→p.95）および着信音（→p.96）は動作しません。

電話帳の登録件数を確認する

電話帳の登録件数やシークレット属性設定の件数を確認します。

- シークレット属性を設定したFOMA端末電話帳の件数は、シークレットモード中のみ表示されます。→p.91

1 **待受画面で(メニュー)▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「9電話帳の登録件数を見る」を押す**

登録件数の確認画面が表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

■ FOMA端末／ドコモUIMカード電話帳の表示を切り替える場合：(電話帳)を押す

ワンタッチダイヤルの登録のしかた

よく連絡を取る相手をワンタッチダイヤルに登録しておくと、ワンタッチダイヤルボタンを押すだけで簡単に電話をかけることができます。

- 着信音や着信画像を設定することができます。
- ワンタッチダイヤルは3件登録できます。
- FOMA端末電話帳の登録時に続けて本機能に登録することもできます。→p.83
- 電話着信音の優先順位→p.102
- メール着信音の優先順位→p.103
- ワンタッチダイヤルからｉモードメールを送信できます。→p.98
- 名前の表示について→p.80
- 「ワンタッチダイヤルに登録する相手を選ぶ」～「ワンタッチダイヤルの着信音を設定する」まで順に操作します。

ワンタッチダイヤルに登録する相手を選ぶ

電話帳からワンタッチダイヤルに登録する相手を選択します。

- ドコモUIMカード電話帳から選択することはできません。

1 **待受画面でワンタッチダイヤルボタン(1)～(3)のいずれかを押す**

ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ登録
ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙが登録されていません。
登録しますか？
1電話帳から選ぶ
2新規に登録する
3登録しない

- FOMA端末電話帳に1件も登録していない場合は、新規に登録するかどうかの確認画面が表示されます。「1新規に登録する」を押して電話帳へ登録してください。→p.81

2 **「1電話帳から選ぶ」▶電話帳を検索▶登録する相手を選択▶決定を押す**

- 検索方法→p.84
- ワンタッチダイヤル登録時に電話帳にも登録する場合は「2新規に登録する」を押します。→p.94

ワンタッチダイヤルに電話番号を登録する

ワンタッチダイヤルに登録する電話番号の選択画面が表示されます。

- 電話帳に電話番号が1件のみ登録されているときは、登録する電話番号の確認画面が表示されます。

1 **登録する電話番号を選択▶決定を押す**

「ワンタッチダイヤルにメールアドレスを登録する」に進みます。

- 電話帳に電話番号が登録されていない場合は、「ワンタッチダイヤルにメールアドレスを登録する」の画面が表示されます。

ワンタッチダイヤルにメールアドレスを登録する

ワンタッチダイヤルに登録するメールアドレスの選択画面が表示されます。
- 電話帳にメールアドレスが1件のみ登録されているときは、登録するメールアドレスの確認画面が表示されます。

1 登録するメールアドレスを選択▶決定を押す

「ワンタッチダイヤルの着信音を設定する」に進みます。
- 電話帳にメールアドレスが登録されていない場合は、「ワンタッチダイヤルの着信音を設定する」の画面が表示されます。
- 電話番号／メールアドレスともに電話帳に登録されていない場合はワンタッチダイヤルの詳細画面が表示され、着信音の設定はできません。

ワンタッチダイヤルの着信音を設定する

ワンタッチダイヤル専用の着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。
- 電話、メールの順に着信音を設定します。そのため、電話番号が登録されていなかったり、電話着信音を設定しない場合はメール着信音の設定になります。

1 ワンタッチダイヤル専用着信音の設定確認画面で「1設定する」を押す

- ワンタッチダイヤルに電話番号が未登録のときに「1設定する」を押した場合は、操作5に進みます。
- ワンタッチダイヤル専用の着信音を設定しない場合は、「2設定しない」▶決定を押すか約5秒たつとワンタッチダイヤル詳細画面に戻ります。

2 電話着信音の設定確認画面で「1設定する」を押す

着信音の種類の選択画面が表示されます。
- 電話着信音を設定しない場合は「2設定しない」を押します。操作5に進みます。

3 「1メロディ」または「2着モーション」を押す

フォルダまたはアルバムの選択画面が表示されます。

■ 名前を読み上げるように設定する場合：「3名前の読み上げ」を押す

操作5に進みます。
名前の読み上げについて→p.104

4 フォルダまたはアルバムを選択▶決定▶着信音を選択▶決定を押す

- microSDカード内のデータは設定できません。
- 「iモードで探す」を選択して決定▶「1接続する」を押すと、iモードサイトからメロディまたはiモーションを探せます。→p.229、p.240
- 映像のある動画／iモーションを設定すると、着信時には着モーションの映像が表示される旨のメッセージが表示されます。
- メロディまたは動画／iモーションの再生方法は「電話着信時の着信音の変更」操作5をご覧ください。→p.102

5 メール着信音の設定確認画面で「1設定する」を押す

着信音の種類の選択画面が表示されます。
- メール着信音を設定しない場合は、「2設定しない」▶決定を押すか約5秒たつとワンタッチダイヤル詳細画面に戻ります。

6 「1メロディ」または「2着モーション」を押す

フォルダまたはアルバムの選択画面が表示されます。

■ 名前を読み上げるように設定する場合：「3名前の読み上げ」▶決定を押すまたは約5秒後にワンタッチダイヤル詳細画面が表示される

名前の読み上げについて→p.104

7 フォルダまたはアルバムを選択▶決定▶着信音を選択▶決定▶決定を押すまたは約5秒後にワンタッチダイヤル詳細画面が表示される

- 着信音選択時の注意については操作4をご覧ください。

お知らせ

- ワンタッチダイヤルに登録した電話番号やメールアドレスを電話帳から変更した場合は、ワンタッチダイヤルの登録にも反映されます。ただし、ワンタッチダイヤル登録時に電話帳に未登録だった電話番号やメールアドレスが追加されても、ワンタッチダイヤルには反映されません。ワンタッチダイヤルに登録し直す（→p.92）か、登録相手の電話帳を修正してください（→p.95）。

ワンタッチダイヤル登録と同時に電話帳に登録する

電話帳に登録されていない相手を、ワンタッチダイヤル登録時に電話帳にも登録します。

- ワンタッチダイヤルから電話帳に新規登録する場合は、電話番号／メールアドレスはそれぞれ1件のみ登録できます。
- ワンタッチダイヤルを解除しても電話帳は削除されません。
- 電話番号またはメールアドレスの登録方法選択画面で「入力しない」を選択した場合は、次の画面が表示されます。操作の詳細は「FOMA端末電話帳の登録のしかた」をご覧ください。→p.81

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン 1 ～ 3 のいずれかを押す

ワンタッチダイヤルに登録するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「2 新規に登録する」▶名前を入力▶決定▶フリガナを確認▶決定を押す

電話番号の登録方法選択画面が表示されます。

- フリガナは必要に応じて修正します。

3 「1 直接入力」～「3 リダイヤルから」のいずれか▶電話番号を入力または選択▶決定▶決定を押す

メールアドレスの登録方法選択画面が表示されます。

- 電話番号を登録しない場合は「4 入力しない」を押します。

4 「1 直接入力」～「3 送信メールから」のいずれか▶メールアドレスを入力または選択▶決定▶決定を押す

グループの選択画面が表示されます。

- メールアドレスを登録しない場合は「4 入力しない」を押します。

5 グループを選択▶決定▶電話帳Noを入力▶決定を押す

ワンタッチダイヤル登録完了画面が表示されます。決定を押すか、約5秒たつとワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

ワンタッチダイヤルの編集

ワンタッチダイヤルの登録内容を編集します。

ワンタッチダイヤル登録の変更

ワンタッチダイヤル登録する相手を変更します。

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン 1 ～ 3 のいずれかを押す

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

2 メニュー▶「1 登録内容を修正」▶「1 登録相手を変更」を押す

電話帳の検索画面が表示されます。

3 電話帳を検索▶登録する相手を選択▶決定を押す

- 以降の操作は「ワンタッチダイヤルに電話番号を登録する」以降をご覧ください。→p.92

ワンタッチダイヤル登録の電話帳の修正

ワンタッチダイヤルから電話帳を修正します。その場合、続けてワンタッチダイヤルに電話番号やメールアドレスを登録し直します。

〈例〉電話帳修正後、電話帳Noを上書きする

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン 1 ～ 3 のいずれかを押す

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

2 メニュー ▶「1 登録内容を修正」▶「2 電話帳を修正」を押す

名前の入力画面が表示されます。

3 電話帳の内容を修正 ▶ 決定 を押す

電話帳Noの上書き確認画面が表示されます。

- 名前／フリガナ／電話番号／メールアドレス／郵便番号と住所／メモ／誕生日／グループの順に修正できます。
- ワンタッチダイヤル登録の修正操作の詳細は「電話帳に名前を登録する」操作2以降をご覧ください。→p.81

4「1 上書きする」を押す

続けてワンタッチダイヤルに登録する画面が表示されます。

■ **新しい電話帳Noで登録する場合：「2 新規登録する」▶ 他の電話帳No（0～999）を入力 ▶ 決定 を押す**

5 決定 ▶ ワンタッチダイヤルに登録する電話番号／メールアドレスを選択 ▶ 決定 を押す

ワンタッチダイヤル登録完了画面が表示されます。決定 を押すか、約5秒たつとワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

- ワンタッチダイヤルへの再登録操作の詳細は「ワンタッチダイヤルに電話番号を登録する」（→p.92）、「ワンタッチダイヤルにメールアドレスを登録する」（→p.93）をご覧ください。

ワンタッチダイヤル登録の解除

ワンタッチダイヤル登録を解除します。

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン 1 ～ 3 のいずれかを押す

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

2 メニュー ▶「1 登録内容を修正」▶「3 ワンタッチダイヤル解除」を押す

ワンタッチダイヤル設定を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

3「1 解除する」を押す

ワンタッチダイヤル設定を解除した旨のメッセージが表示されます。決定 を押すか、約5秒たつと待受画面が表示されます。

- ワンタッチダイヤル登録の解除をしない場合は、「2 解除しない」を押します。

ワンタッチダイヤル登録相手の着信画像の設定

ワンタッチダイヤルに登録した相手には着信画像を設定できます。電話がかかってきたり、メールを受信したりしたときに設定した画像を表示してお知らせします。

- 設定した画像の表示は、相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
- 着信音に映像のある動画／ｉモーションを設定した場合、着信画像は表示されません。

〈例〉着信画像を撮影して設定する

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン 1 ～ 3 のいずれかを押す

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

2 メニュー ▶「4 着信画像を設定」を押す

設定する画像の選択画面が表示されます。

3 「1今から撮影する」▶被写体にカメラを向けて決定▶決定▶決定を押す

撮影した写真が本体に保存され、着信画像に設定されます。

- 写真撮影→p.252
- ワンタッチダイヤルで撮影できる写真の大きさは、「待受サイズ（240×400）」固定です。
- メニュー：撮影時の設定ができます。→p.258

■ 写真をアルバムから選択して設定する場合：「2アルバムから選ぶ」▶アルバムを選択▶決定▶画像を選択▶決定を押す

- 「iモードで探す」を選択して決定▶「1接続する」を押すと、iモードサイトから画像を探せます。→p.228
- ワンタッチダイヤルの着信画像に設定できる画像のサイズは、横縦（または縦横）が480×800（ドット）までです。

■ 着信画像を解除する場合：「3解除する」を押す

4 決定を押すまたは約5秒後にワンタッチダイヤル詳細画面が表示される

ワンタッチダイヤル登録相手の着信画像を確認する

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン1～3のいずれか▶メニュー▶「5着信画像を確認」を押す

着信画像の確認画面が表示されます。

- 決定を押すとワンタッチダイヤル詳細画面に戻ります。

ワンタッチダイヤル登録相手の着信音の変更

ワンタッチダイヤルに登録した相手の電話、メールの着信音を設定します。

- 電話着信音の優先順位→p.102
- メール着信音の優先順位→p.103
- 名前の読み上げについて→p.104

〈例〉電話着信音を設定する

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン1～3のいずれかを押す

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

2 メニュー▶「2電話着信音」▶「1設定する」を押す

ワンタッチダイヤル専用の着信音の種類の選択画面が表示されます。

■ メール着信音を設定する場合：メニュー▶「3メール着信音」▶メール着信音の設定画面で「1メール着信音設定」▶「1鳴らす」▶メール着信音の設定画面で「2着信音」▶「1設定する」を押す

- ワンタッチダイヤル専用の電話着信音／メール着信音を登録しない場合は、「2設定しない」を押します。決定を押すか、約5秒たつとワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

3 「1メロディ」または「2着モーション」を押す

フォルダまたはアルバムの選択画面が表示されます。

■ 名前を読み上げるように設定する場合：「3名前の読み上げ」▶決定を押すまたは約5秒後にワンタッチダイヤル詳細画面が表示される

名前の読み上げについて→p.104

4 **フォルダまたはアルバムを選択▶決定▶着信音を選択▶決定を押す**

ワンタッチダイヤル専用着信音設定完了画面が表示されます。決定を押すか、約5秒たつとワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

- microSDカード内のデータは設定できません。
- 「ｉモードで探す」を選択して決定▶「1接続する」を押すと、ｉモードサイトからメロディまたはｉモーションを探せます。→p.229、p.240
- メロディまたは動画／ｉモーションの再生方法は「電話着信時の着信音の変更」操作5をご覧ください。→p.102

■ **メール着信音の鳴らす時間／回数を設定する場合：メール着信音の設定画面で「3鳴らす時間」／「3鳴らす回数」▶鳴らす時間／鳴らす回数を入力▶決定▶電話帳を押す**

ワンタッチダイヤル専用のメール着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

お知らせ

- ワンタッチダイヤル専用の着信音に映像のある動画／ｉモーションを設定した場合は、着信時に着モーションの映像が表示される旨のメッセージが表示されます。
- 登録した複数の相手から同時にメールが送られてきた場合は、最後に受信したメールの相手の設定に従って動作します。

ワンタッチダイヤル登録相手の設定情報確認

ワンタッチダイヤルに登録した相手の設定情報（登録した電話番号、メールアドレス、着信音など）を確認します。

1 **待受画面でワンタッチダイヤルボタン1～3のいずれかを押す**

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

2 **メニュー▶「6設定情報を確認」を押す**

設定情報詳細画面が表示されます。名前、電話番号、メールアドレスは省略されずに表示されます。

- 設定情報確認画面では次の操作ができます。
  - メール/iアプリ：画面をスクロールします。
  - 決定：ワンタッチダイヤル詳細画面に戻ります。

ボタン１つで電話をかける

よく連絡を取る相手の電話番号をワンタッチダイヤルに登録しておくと、ワンタッチダイヤルボタン1つで簡単に電話をかけることができます。〈ワンタッチダイヤル〉

1 **待受画面でワンタッチダイヤルボタン1～3のいずれかを1秒以上押す**

ワンタッチダイヤルボタンに登録している相手に電話がかかります。

- 待受画面でワンタッチダイヤルボタンのいずれかを押して発信を押しても電話がかかります。

ワンタッチダイヤルからのメール作成

ワンタッチダイヤルに登録した相手にメールアドレスを登録している場合、ワンタッチダイヤル詳細画面から簡単な操作でｉモードメールを作成できます。

1 **待受画面でワンタッチダイヤルボタン[1]～[3]のいずれか▶[✉]を押す**

登録しているメールアドレスを宛先にしたメール作成画面が表示されます。

- 以降の操作は「簡単な操作でｉモードメールを作成・送信」操作4以降（→p.152）、「ｉモードメールの作成・送信」操作4以降（→p.156）をご覧ください。

ボタン2つで電話をかける

よく連絡を取る相手を短縮ダイヤルに登録しておくと、ボタン2つ押すだけで簡単に電話をかけることができます。

短縮ダイヤルの設定

よく連絡を取る相手の電話帳Noを0～9に登録しておくと、ツータッチダイヤル、ツータッチメールを利用できます。〈短縮ダイヤル設定〉

- ツータッチダイヤル（→p.98）やツータッチメール（→p.159）に使用する電話番号／メールアドレスは、電話帳の1件目に登録してください。
- ドコモUIMカード電話帳には短縮ダイヤルを設定できません。

1 **待受画面で[電話帳]▶電話帳を検索する**

- 検索方法→p.84

2 **相手を選択▶[メニュー]▶「[＊]短縮ダイヤル設定」を押す**

短縮ダイヤル一覧画面が表示されます。

■ **短縮ダイヤルを解除する場合：相手を選択▶[メニュー]▶「[＊]短縮ダイヤル解除」を押す**

短縮ダイヤルを解除した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すか、約5秒たつとFOMA端末電話帳の検索結果一覧に戻ります。

3 **短縮ダイヤルNoを選択▶[決定]を押す**

短縮ダイヤルに
設定しました。
電話帳Noを
変更しました
2:携帯あき子
変更後の電話帳No

- [決定]を押すか、約5秒たつとFOMA端末電話帳の検索結果一覧に戻ります。
- 設定済みの短縮ダイヤルへ上書きすると、上書きされた電話帳は10～999までの空いている最も小さい電話帳Noに変更されます。

お知らせ

- シークレットモード中でない場合は、シークレット属性を設定した電話帳の名前は、短縮ダイヤル一覧画面では「＊」と表示されます。
- 10～999までの電話帳Noがすべて使用されている場合は、短縮ダイヤルを解除できません。

ツータッチダイヤルで電話をかける

ボタンを2つ押すだけで、短縮ダイヤルを設定した相手に電話をかけることができます。〈ツータッチダイヤル〉

1 **待受画面で電話帳No（[0]～[9]）を入力▶[発信]を押す**

電話がかかります。

microSDカードへの保存をお知らせする

FOMA端末電話帳の登録や修正を行ってから一度もmicroSDカードに保存していない場合、毎月1日0時00分にFOMA端末電話帳のすべての電話帳をmicroSDカードに保存するように待受画面にマークを表示してお知らせします。〈電話帳保存お知らせ設定〉

- 1日0時00分に電源が入っていない場合は、電源を入れたときに、お知らせ情報（→p.25）とが表示されます。
- 次の場合は、本機能を設定していてもお知らせ情報とが表示されません。
  - microSDカードが挿入されていないとき
  - 個人情報表示制限中※
  - ダイヤル発信制限中※
  - オールロック中※
  - おまかせロック中※

  ※ 制限やロックを解除すると、お知らせ情報とが表示されます。
- 開閉ロック中でもお知らせ情報とが表示されます。開閉ロックを解除すると保存できます。
- FOMA端末電話帳を手動でmicroSDカードに保存できます。→p.320

保存のお知らせの設定／解除

保存のお知らせを通知するかどうかを設定します。

1 待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「*microSDカードを使う」▶「1電話帳の保存をお知らせする」を押す

保存のお知らせを通知するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1通知する」または「2通知しない」を押す

保存のお知らせを設定／解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

保存のお知らせが表示されたとき

待受画面にお知らせ情報（→p.25）とが表示されたときに続けて保存の操作を行うと、FOMA端末電話帳のすべての電話帳がmicroSDカードに保存されます。

1 待受画面に保存のお知らせが表示される▶決定を押す

2 「1保存する」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

■ **電話帳の保存を行わない場合：「2保存しない」▶「1解除する」または「1解除しない」を押す**

- 保存のお知らせが表示されてから「保存しない」を選択した場合、電話帳の保存のお知らせ通知を再度設定します。

3 「1開始する」を押す

保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと待受画面に戻ります。

- 中止するときは保存中に決定を押します。

音／画面／照明設定

音の設定

画面／照明の設定

着信音の変更

電話着信時、メール・メッセージ受信時、iコンシェルのインフォメーション受信時の着信音を設定します。〈着信音設定〉

- お買い上げ時に登録されている着信音用メロディ→p.400

電話着信時の着信音の変更

電話がかかってきたときの着信音を設定します。

1 待受画面で(メニュー)▶「✻設定を行う」▶「2電話着信時の設定を行う」▶「1電話着信時の着信音を選ぶ」を押す

着信音の設定画面が表示されます。

2 「1着信音設定」▶「1鳴らす」を押す

着信音の種類の選択画面が表示されます。

■ **鳴らさないように設定する場合：「2鳴らさない」を押す**

操作6に進みます。

3 「1メロディ」または「2着モーション」を押す

フォルダまたはアルバムの選択画面が表示されます。

■ **名前を読み上げるように設定する場合：「3名前の読み上げ」を押す**

操作6に進みます。
名前の読み上げについて→p.104

4 フォルダまたはアルバムを選択▶(決定)を押す

一覧画面が表示されます。

- microSDカード内のデータは設定できません。
- 「iモードで探す」を選択して(決定)▶「1接続する」を押すと、iモードサイトからメロディまたはiモーションを探せます。→p.229、p.240

5 着信音を選択▶(決定)を押す

着信音の設定画面に戻ります。

- メロディを選択して(電話帳)を押すと、メロディが再生できます。
  再生中は次の操作ができます。
  (決定)：再生中のメロディを着信音に設定
  (左)(右)／(+)(−)：音量調節
  (上)(下)：前後のメロディ再生
  (戻る)：停止
- 動画／iモーションを選択して(メニュー)を押すと、動画／iモーションが再生できます。再生が終了すると動画一覧に戻ります。
  再生中は次の操作ができます。
  (決定)：一時停止／再生
  (上)(下)／(+)(−)：音量調節
  (電話帳)：停止
  (左)／(右)：巻き戻し再生／早送り再生

6 (電話帳)を押す

着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

電話着信音の優先順位

発信者番号が通知された電話がかかってきたときの着信音は、次の優先順位で鳴ります。
① ワンタッチダイヤルの電話着信音の設定
② 電話帳のグループ専用の電話着信音の設定
③ 本機能の設定

お知らせ

- 音声のない動画／iモーション、または情報の着信音設定（→p.303）が「設定不可」になっている動画／iモーションは、着信音の着モーションに設定できません。
- 発信者番号非通知の場合、着信音は非通知理由別着信設定の設定に従います。→p.129

メール・メッセージ受信時の着信音の変更

ｉモードメール、メッセージR/F、SMSを受信したときの着信音を設定します。

〈例〉ｉモードメール受信時の着信音を設定する

1 **待受画面でメニュー▶「*設定を行う」▶「3メール・メッセージの受信設定を行う」▶「1メール・メッセージ受信時の音を選ぶ」を押す**
受信音のメニュー画面が表示されます。

2 **「1メール受信時の音を選ぶ」▶「1メール着信音設定」を押す**
着信音を鳴らすかどうかの確認画面が表示されます。
■ メッセージ着信音を設定する場合：「2メッセージ受信時の音を選ぶ」▶「1メッセージR」または「2メッセージF」▶「1着信音設定」を押す
■ SMS着信音を設定する場合：「3SMS受信時の音を選ぶ」▶「1SMS着信音設定」を押す

3 **「1鳴らす」を押す**
着信音の種類の選択画面が表示されます。
■ 鳴らさないように設定する場合：「2鳴らさない」を押す
操作7に進みます。

4 **「1メロディ」または「2着モーション」を押す**
フォルダまたはアルバムの選択画面が表示されます。
■ 名前を読み上げるように設定する場合（メッセージを除く）：「3名前の読み上げ」を押す
操作6に進みます。
名前の読み上げについて→p.104

5 **フォルダまたはアルバムを選択▶決定▶着信音を選択▶決定を押す**
着信音を鳴らす時間を設定する画面が表示されます。
- microSDカード内のデータは設定できません。
- 「ｉモードで探す」を選択して決定▶「1接続する」を押すと、ｉモードサイトからメロディまたはｉモーションを探せます。→p.229、p.240
- メロディまたは動画／ｉモーションの再生方法は「電話着信時の着信音の変更」操作5をご覧ください。→p.102

6 **鳴らす時間または鳴らす回数を入力▶決定を押す**
着信音の設定画面が表示されます。
- 着信音を鳴らす時間は1～30秒の間、鳴らす回数は1～7回の間で入力します。

7 **電話帳を押す**
着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

メール着信音の優先順位

ｉモードメールを受信したときの着信音は、次の優先順位で鳴ります。
① ワンタッチダイヤルのメール着信音の設定
② 電話帳のグループ専用のメール着信音の設定
③ 本機能の設定

ｉコンシェル受信時の着信音の変更

ｉコンシェルのインフォメーションを受信したときの着信音を設定します。

1 **待受画面でメニュー▶「*設定を行う」▶「4ｉコンシェルの受信設定を行う」▶「1ｉコンシェル受信時の音を選ぶ」を押す**
着信音の設定画面が表示されます。

2 **「1着信音設定」▶「1鳴らす」を押す**
着信音の種類の選択画面が表示されます。
■ 鳴らさないように設定する場合：「2鳴らさない」を押す
操作6に進みます。

3 「1メロディ」または「2着モーション」を押す

フォルダまたはアルバムの選択画面が表示されます。

4 フォルダまたはアルバムを選択▶決定▶着信音を選択▶決定を押す

着信音を鳴らす時間を設定する画面が表示されます。

- microSDカード内のデータは設定できません。
- 「iモードで探す」を選択して決定▶「1接続する」を押すと、iモードサイトからメロディまたはiモーションを探せます。→p.229、p.240
- メロディまたは動画／iモーションの再生方法は「電話着信時の着信音の変更」操作5をご覧ください。→p.102

5 鳴らす時間を入力▶決定を押す

着信音の設定画面に戻ります。

- 着信音を鳴らす時間は1～30秒の間で入力します。

6 電話帳を押す

着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

着信・受信時の名前の読み上げ

着信音に名前の読み上げを設定すると、電話帳に電話番号やメールアドレスを登録している相手からの着信時や受信時に、専用メロディが鳴り、「XXXさんから電話です」「XXXさんからメールです」（XXXは登録しているフリガナまたは名前）と音声でお知らせします。

- 発信者番号非通知の場合や、電話帳に登録していない相手からの着信や受信時には、専用メロディのみが鳴ります。
- 音声読み上げの動作を「読み上げなし」に設定しても、名前が読み上げられます。
- 名前が読み上げられるときの音量は電話着信音量またはメール・メッセージ受信音量に、声質と速さは音声読み上げの設定に従います。

音量の調節

着信・受信音の音量、iアプリの音量、受話音量を調節します。〈音量調節〉

電話着信音量の調節

電話がかかってきたときの着信音の音量を調節します。

- 着信音量は、電池残量確認音の音量にも反映されます。本機能を「だんだん大きく」に設定した場合、電池残量確認音は「音量4」で鳴動します。
- 自動音量設定を「大きくする」に設定すると、周囲の状態に合わせて着信音やバイブレータを自動で切り替えます（おまかせでか着信）。

1 待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「2電話着信時の設定を行う」▶「2電話着信時の音量を調節する」を押す

呼出音量の設定画面が表示されます。

2 「1呼出音量」を押す

呼出音量の調節画面が表示されます。

3 メール／iα／◁／▷または＋／－を押して音量を調節▶決定を押す

呼出音量の設定画面に戻ります。

■ **消音に設定する場合：音量1のときにiα／◁／－のいずれか▶決定を押す**

操作6に進みます。

4 「2自動音量設定」を押す

呼出音量を自動で大きくするかどうかの確認画面が表示されます。

5 「1大きくする」または「2設定音量のまま」を押す

呼出音量の設定画面に戻ります。

- 「1大きくする」に設定すると、周囲が騒がしい場合や、歩数計・活動量計を「利用する」に設定しているときに揺れなどが多い場合、着信音量を大きくします。さらに着信音が鳴り続けるとバイブレータが振動し、電話着信音の設定に関わらず「でか着信音」になります。

6 電話帳を押す

呼出音量を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 着信音量を消音に設定すると、待受画面に (電話のバイブレータを設定中は) が表示されます。ただし、マナーモード中は が表示されます。

メール・メッセージ受信音量の調節

ｉモードメール、メッセージR/F、SMSを受信したときの着信音の音量を調節します。

1 待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「3メール・メッセージの受信設定を行う」▶「2メール・メッセージ受信音量を調節する」を押す

音量の調節画面が表示されます。

2 またはを押して音量を調節▶決定を押す

音量を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

■ 消音に設定する場合：音量1のときにのいずれか▶決定を押す

ｉコンシェル受信音量の調節

ｉコンシェルのインフォメーションを受信したときの着信音の音量を設定します。

1 待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「4ｉコンシェルの受信設定を行う」▶「2ｉコンシェル受信音量を調節する」を押す

音量の調節画面が表示されます。

2 またはを押して音量を調節▶決定を押す

音量を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

■ 消音に設定する場合：音量1のときにのいずれか▶決定を押す

ｉアプリの音量調節

iアプリの音量を調節します。

1 待受画面でメニュー▶「8ｉアプリを使う」▶「2ｉアプリを設定する」▶「1ｉアプリの音量を設定する」を押す

音量の調節画面が表示されます。

2 またはを押して音量を調節▶決定を押す

音量を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

■ 消音に設定する場合：音量1のときにのいずれか▶決定を押す

受話音量の調節

通話中の相手の声の音量をあらかじめ設定します。

- 受話音量は、ボタン確認音、通話メモ、伝言メモの再生音量にも反映されます。
- 通話中の受話音量の調節→p.72

1 待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「5相手の声の音量を調節する」を押す

音量の調節画面が表示されます。

2 またはを押して音量を調節▶決定を押す

音量を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

着信を振動で知らせる

電話着信時、メール・メッセージ受信時、ｉコンシェルのインフォメーション受信時の振動を設定します。〈バイブレータ設定〉

- バイブレータ動作時にFOMA端末が机の上などにあると、振動が原因で落下するおそれがあります。
- 通話中に着信や受信があった場合は振動しません。

電話着信時の振動の変更

電話がかかってきたときの振動を設定します。

1 **待受画面で(メニュー)▶「＊設定を行う」▶「2電話着信時の設定を行う」▶「3電話着信時の振動を選ぶ」を押す**

振動の選択画面が表示されます。

2 **「1パターンA」～「5振動させない」のいずれかを押す**

振動パターンを設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

- (メール)(iαppli)を押してパターンを選択すると、選択されているパターンで約60秒間振動します。

お知らせ

- バイブレータを設定すると、待受画面に(アイコン)(電話着信音量を消音に設定中は(アイコン))が表示されます。ただし、マナーモード中は(アイコン)が表示されます。

メール・メッセージ受信時の振動の変更

メール（ｉモードメール、SMS）やメッセージR/Fを受信したときの振動を設定します。

〈例〉メール受信時の振動パターンを設定する

1 **待受画面で(メニュー)▶「＊設定を行う」▶「3メール・メッセージの受信設定を行う」▶「3メール・メッセージ受信時の振動を選ぶ」を押す**

メール・メッセージ受信振動のメニュー画面が表示されます。

2 **「1メール受信時の振動を選ぶ」を押す**

振動の選択画面が表示されます。

■ **メッセージ受信振動を設定する場合：**
「2メッセージ受信時の振動を選ぶ」▶「1メッセージR」または「2メッセージF」を押す

3 **「1パターンA」～「5振動させない」のいずれかを押す**

振動パターンを設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

- (メール)(iαppli)を押してパターンを選択すると、選択されているパターンで約60秒間振動します。

ｉコンシェル受信時の振動の変更

ｉコンシェルのインフォメーションを受信したときの振動を設定します。

1 **待受画面で(メニュー)▶「＊設定を行う」▶「4ｉコンシェルの受信設定を行う」▶「3ｉコンシェル受信時の振動を選ぶ」を押す**

振動の設定画面が表示されます。

2 **「1振動パターン」▶「1パターンA」～「5振動させない」のいずれかを押す**

振動の設定画面に戻ります。

- (メール)(iαppli)を押してパターンを選択すると、選択されているパターンで約60秒間振動します。

3 **「2マナーモード時」▶「1振動させる」または「2振動させない」を押す**

振動の設定画面に戻ります。

4 **(電話帳)を押す**

振動を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

電話の呼出音の変更

FOMA端末に電話をかけてきた相手に聞こえる呼出音をメロディに変更できるサービスです。〈メロディコール設定〉

- 設定サイトはパケット通信料がかかりません。ただし、IPサイト、ｉモードメニューサイト、無料楽曲コーナーに接続した場合はパケット通信料がかかります。

1 **待受画面で(メニュー)▶「[＊]設定を行う」▶「[#]その他の設定を行う」▶「[4]電話・電話帳の詳細を設定する」▶「[9]メロディコールを設定する」を押す**

ｉモードサイトに接続するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「[1]接続する」を押す**

ｉモードサイトに接続されます。

- 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

ボタンを押したときに音を鳴らす

ボタンを押したときに、スピーカーから音を鳴らすかどうかを設定します。〈ボタン確認音〉

- 電池残量確認音、バーコード読み取りの確認音、音声コード読み取りの確認音、赤外線通信やパソコンと接続したデータ転送の通信完了音を鳴らすかどうかも本設定に従います。

1 **待受画面で(メニュー)▶「[＊]設定を行う」▶「[6]ボタンを押した時の音を設定する」を押す**

ボタンを押したときに音を鳴らすかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「[1]鳴らす」または「[2]鳴らさない」を押す**

ボタン確認音を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

充電開始／完了時に音を鳴らす

充電の開始時と完了時に確認音を鳴らすかどうかを設定します。〈充電確認音〉

- マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中、通話中、通信中は充電確認音は鳴りません。

1 **待受画面で(メニュー)▶「[＊]設定を行う」▶「[#]その他の設定を行う」▶「[5]音を設定する」▶「[1]充電開始と完了を音で通知する」を押す**

充電の開始と完了を音で知らせるかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「[1]知らせる」または「[2]知らせない」を押す**

充電確認音を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

通話状態が悪いときの音を設定

電波状態により通話が途切れそうなときにアラームを鳴らしてお知らせします。〈通話品質アラーム〉

- 利用状態や電波状態により、アラームが鳴らずに通話が切れる場合があります。

1 **待受画面で(メニュー)▶「[＊]設定を行う」▶「[#]その他の設定を行う」▶「[5]音を設定する」▶「[4]通話状態が悪い時の音を選ぶ」を押す**

アラーム音の選択画面が表示されます。

2 **「[1]高音で鳴らす」～「[3]鳴らさない」のいずれかを押す**

アラーム音を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

電話を再接続するときの音を設定

電波状態により途切れた通話を再接続するまでに鳴らすアラームを設定します。〈再接続アラーム〉

- 電波が途切れている間は、相手は無音状態となります。
- 利用状態や電波状態により、再接続されるまでの時間は異なります。目安は最長10秒間です。
- 再接続されるまでの時間（最長10秒間）も通話料金がかかります。
- 利用状態や電波状態により、アラームが鳴らずに通話が切れる場合があります。

1 **待受画面でメニュー▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「5音を設定する」▶「5再接続した時の音を選ぶ」を押す**

アラーム音の選択画面が表示されます。

2 **「1高音で鳴らす」～「3鳴らさない」のいずれかを押す**

アラーム音を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

音声読み上げ時に新着情報を音で知らせる

不在着信やメール、ｉコンシェルのインフォメーションなどの新着情報があると、待受画面やFOMA端末を閉じた状態での音声読み上げ開始時に音で通知します。〈新着お知らせ設定（音）〉

1 **待受画面でメニュー▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「6新着お知らせを設定する」▶「2読み上げ開始時に音で通知する」を押す**

通知するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1通知する」または「2通知しない」を押す**

通知を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- マナーモード中は振動で通知します。マナーモード中の読み上げ設定を「読み上げる」に設定すると、受話口からの音と振動で通知します。
- 待受画面の新着情報（「着信あり」「メールあり」など）の表示を消去したときは通知しません。

電話から鳴る音を消す

着信を振動で知らせたり、ボタンを押したときの確認音を消したりして、周囲の迷惑にならないようにする機能です。〈マナーモード〉

マナーモードの設定

1 待受画面で#を1秒以上押す

バイブレータが振動して、マナーモードを設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと待受画面に戻ります。

- 本機能を設定中は、待受画面にはが、FOMA端末を閉じているときに背面ディスプレイにはが表示されます。

マナーモードの解除

1 マナーモード中に待受画面で#を1秒以上押す

マナーモードを解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと待受画面に戻ります。

マナーモードを設定すると

- 着信音や目覚まし音、ボタン確認音など、スピーカーから出る音を消します。ただし、写真やビデオ撮影時、音声コード読み取り時の撮影確認音（シャッター音）、音声録音時の録音確認音、ビデオ撮影時や音声録音時の一時停止／再開時の確認音、終了確認音は鳴ります。
- エリアメール設定のマナー／公共モード時設定を「鳴らす」に設定すると、エリアメール受信時にブザー警報音やエリアメール着信音が鳴ります。
- 音声読み上げの音声は消え、新着お知らせは振動で通知します。ただし、マナーモード中の読み上げ設定でこれらの音や「名前の読み上げ」に設定した着信音を受話口から聞こえるように設定できます。→p.143
- オートスピーカーホン機能は動作しません。
- 自動演奏設定を「自動演奏する」に設定していても、ｉモードメールやメッセージR/Fを表示したときに、添付のメロディを自動的に演奏しません。
- 着信時（通話中を除く）、お知らせタイマーや目覚ましの時刻、予定を通知する日時には、バイブレータが「パターンA」で振動します。
- メロディや動画／ｉモーションの再生時には、音を再生するかどうかの確認画面が表示されます。

待受画面の表示の変更

待受画面の画像を変更したり、カレンダーやｉアプリを表示したりすることができます。〈待受画面設定〉

待受画面に画像を設定

待受画面に設定されている画像を変更します。

1 **待受画面で(メニュー)▶「[*]設定を行う」▶「[1]画面の設定を行う」▶「[1]待受画面の表示を設定する」を押す**

待受画面の設定の選択画面が表示されます。

2 **「[1]画像を表示」を押す**

アルバムの選択画面が表示されます。

3 **アルバムを選択▶(決定)を押す**

一覧画面が表示されます。

- 「ｉモードで探す」を選択して(決定)▶「[1]接続する」を押すと、ｉモードサイトから画像を探せます。→p.228

4 **画像を選択▶(決定)を押す**

待受画面に設定するかどうかの確認画面が表示されます。

- 画像を選択して(メニュー)を押すと画像を確認できます。

5 **「[1]設定する」を押す**

待受画面に設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつと待受画面に戻ります。

お知らせ

- アニメーションを設定すると、FOMA端末を開いたときや待受画面に戻ったとき、待受画面で(—)を押したときに再生します。再生中に(—)を押すと一時停止／再生します。
- 待受画面を表示すると、アニメーションは一定時間再生した後に停止します。時計として機能するFlash画像を設定している場合に時計が止まった時は、Flash画像の再生を行うと再開できます。
- 「内蔵写真」アルバムの「歳時記」や「四季」を設定すると、季節などによって画像が変化します。
- 歩数計・活動量計を「利用する」に設定中は、「内蔵写真」アルバムの「世界一周」を設定すると累積歩数に、「チャレンジ23」を設定すると今週の累積活動量や日時によって画像が変化します。「チャレンジ23」を設定した場合の画面の見かたは次のとおりです。
  - x日目：今週（日曜始まり）の累積活動量
  - 先週：先週の累積活動量
  - メーター：青い針は今週、赤い針は先週の累積活動量、「23」は一週間の目標活動量

  ※ 累積活動量の数値は小数点以下を切り捨てて表示、メーターは小数点第一位まで表示します。

待受画面に配信された画像を設定

待受画像配信元設定により保存された画像を待受画面に表示します。複数の画像が保存されている場合、FOMA端末を開閉するたびに切り替えて表示します。

- あらかじめ待受画像配信元の設定が必要です。→p.111

1 **待受画面で(メニュー)▶「[*]設定を行う」▶「[1]画面の設定を行う」▶「[1]待受画面の表示を設定する」を押す**

待受画面の設定の選択画面が表示されます。

2 **「[4]待受自動切替え」▶「[1]利用する」を押す**

表示方法の選択画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

[1] **画像全体を表示**：ディスプレイに収まるように画像を縮小して表示します。

[2] **画面いっぱいに調整して表示**：ディスプレイの横幅に合わせて画像を縮小／拡大して表示します。縦長の画像の上下が収まらない場合、その部分は表示されません。また、GIF形式の画像の場合は「画像全体を表示」の動作になります。

3 **「[1]画像全体を表示」または「[2]画面いっぱいに調整して表示」を押す**

自動切替えを設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつと待受画面に戻ります。

- 待受画像配信元を設定していない場合は配信元を設定するかの確認画面が表示されます。

待受画像配信元設定

メールの題名とアドレスを設定すると、条件に一致したメールの受信時に添付された画像を自動で保存し、待受画面に配信された画像を表示します（おまかせランダム待受）。

- 画像は写真・画像一覧の「待受アルバム」に保存されます。
- 待受画面に待受自動切替えを設定していない場合は画像は保存されません。→p.110
- メールの題名とメールアドレス（複数設定した場合はいずれか1つ）のすべての文字が一致した場合のみ動作します。メールアドレスや題名のいずれかが一致しないときや、題名に設定していない文字が含まれている場合には動作しません。

1 待受画面で(メニュー)▶「[*]設定を行う」▶「[1]画面の設定を行う」▶「[6]待受画像配信元を設定する」を押す

配信元情報の設定画面が表示されます。

2 「[1]メールの題名」▶題名を入力▶(決定)を押す

配信元情報の設定画面に戻ります。

- 全角100文字、半角200文字以内で入力します。

3 「[2]メールアドレス1」～「[4]メールアドレス3」のいずれかを押す

配信元メールアドレスの選択画面が表示されます。

- 複数のメールアドレスを設定する場合は操作3、4を繰り返します。

4 「[2]直接入力する」▶メールアドレスを入力▶(決定)を押す

配信元情報の設定画面に戻ります。

- 半角英数字50文字以内で入力します。
- @以降の文字も含めたメールアドレス全体を指定します。
- 指定するメールアドレスがｉモード端末の場合は、ドメイン（@docomo.ne.jp）を省略して指定しても登録できます。ただし、「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、ドメイン（@docomo.ne.jp）を除いた携帯電話番号のみを登録してください。

■ **電話帳から選択する場合：「[1]電話帳から選択」▶電話帳を検索▶登録する相手を選択▶(決定)▶メールアドレスを選択▶(決定)を押す**

- 検索方法→p.84

■ **設定しない場合：「[3]設定しない」を押す**

5 (電話帳)を押す

配信元情報を登録／解除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

- 1件もメールアドレスを設定しないで登録を完了すると、配信元情報は解除されます。

お知らせ

- Flash画像やフレーム、メール本文中に貼り付けられた画像、選択受信添付データなどは保存されません。
- メールに複数の画像が添付されている場合は、保存可能な1件目の画像を保存します。
- 画像の保存に失敗したときは、待受画面にお知らせ情報（→p.25）と[アイコン]が表示されます。(決定)を押すとメッセージが確認できます。
- アニメーションGIFは保存されますが、待受画面に表示されません。
- 「待受アルバム」に画像が21件以上保存されている場合は、一覧の先頭から20件までの画像を切り替えて表示します。表示可能な画像が保存されていない場合は、お買い上げ時の画像を表示します。
- 配信元情報を解除しても、「待受自動切替え」に設定中は保存済みの画像を表示します。

待受画面を画像以外に変更

画像の代わりにカレンダーやｉアプリを表示します。何も表示しないようにも設定できます。

1 **待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「1画面の設定を行う」▶「1待受画面の表示を設定する」を押す**

待受画面の設定の選択画面が表示されます。

2 **「2カレンダーを表示」「3ｉアプリを表示」「5表示なし」のいずれかを押す**

設定／解除するかどうかの確認画面が表示されます。

- 「ｉアプリを表示する」を選択するとｉアプリ一覧が表示されます。ｉアプリを選択▶決定を押します。

3 **「1設定する」（「表示なし」のときは「1解除する」）を押す**

設定／解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと待受画面に戻ります。

お知らせ

- カレンダーを設定すると、次のような動作になります。
  - 予定を登録している日付は右上に◥が表示されます。
  - お知らせ情報や新着情報が表示されると、情報を確認するまでカレンダーは表示されません。
- ｉアプリ待受画面を設定すると、次のような動作になります。
  - ディスプレイ上部に▢または▢がグレーで表示されます。
  - お知らせ情報や新着情報が表示されると、情報を確認するまでｉアプリ待受画面は表示されません。
  - テロップ表示設定を「表示する」にしている場合は、テロップ表示が解除されます。ｉアプリ待受画面を解除すると、テロップ表示設定は「表示する」に設定されます。
  - 待受画面に画像やカレンダーを設定しようとすると、ｉアプリ待受画面の解除の確認画面が表示されます。「1解除する」を押すと、ｉアプリ待受画面が解除されます。

背面ディスプレイの表示の変更

背面ディスプレイの表示や照明などを変更します。〈背面ディスプレイ設定〉

- FOMA端末を開いているときは、背面ディスプレイに何も表示されません。

背面ディスプレイの時計表示を設定

背面ディスプレイの時計表示を設定します。

1 **待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「1画面の設定を行う」▶「5背面画面の表示を設定する」▶「1背面画面の時計表示を設定する」を押す**

時計表示の選択画面が表示されます。

2 **「1読上ボタンで切替」～「4アナログ時計」のいずれかを押す**

背面の時計表示を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

■ **画面例を確認する場合：選択画面で電話帳を押す**

- もう一度電話帳を押すと選択画面に戻ります。

背面ディスプレイの着信表示を設定

背面ディスプレイの着信時の表示を設定します。

1 **待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「1画面の設定を行う」▶「5背面画面の表示を設定する」▶「2着信時の表示を設定する」を押す**

相手の情報を表示するかどうかの確認画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **表示する**：相手の電話番号やメールアドレス、電話帳に登録した名前を表示します。電話番号が通知されない着信の場合は発信者番号非通知理由が表示されます。

2 **表示しない**：「電話です」などの状態のみ表示します。

2 「1表示する」または「2表示しない」を押す

背面の相手表示を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

背面ディスプレイの点灯を設定

FOMA端末を持ち上げて傾けたときに背面ディスプレイの照明を自動点灯させるかを設定します（おまかせバックライト）。

1 待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「1画面の設定を行う」▶「5背面画面の表示を設定する」▶「3背面画面の点灯を設定する」を押す

背面の照明を点灯するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1点灯する」または「2点灯しない」を押す

背面の照明を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 「点灯する」に設定しても、歩行中や振動の多い場所では、背面ディスプレイの照明は点灯しません。また、FOMA端末を閉じた静止状態から持ち上げて傾けたときの速度や角度などによっては、背面ディスプレイの照明が点灯しない場合があります。

メニューの表示形式を変更

メニューのデザインを変更します。〈メニュー形式選択〉

1 待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「1画面の設定を行う」▶「3メニュー形式と配色を設定する」を押す

メニュー形式・画面の配色の選択画面が表示されます。

2 「1メニュー形式」を押す

メニュー形式の選択画面が表示されます。

3 「1リスト」～「3タイル（文字）」のいずれか▶電話帳を押す

メニュー形式・画面の配色を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

■ **画面例を確認する場合：電話帳を押す**

- もう一度電話帳を押すと選択画面に戻ります。

- リストとタイルでメニューから選択できる機能は同じですが、表示されるメニュー項目名は異なります。

画面の配色を変更

画面の配色を変更します。〈画面配色設定〉

- ｉアプリの画面配色は変更されません。

1 待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「1画面の設定を行う」▶「3メニュー形式と配色を設定する」を押す

メニュー形式・画面の配色の選択画面が表示されます。

2 「2画面の配色」を押す

画面の配色の選択画面が表示されます。

- 〔メール〕〔iα〕を押して配色の種類を選択すると、選択されている配色で画面が表示されます。

3 「1青」～「3白黒反転」のいずれか▶電話帳を押す

メニュー形式・画面の配色を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

待受画面にキャラクタを表示する

待受画面にキャラクタを表示するように設定します。〈マチキャラ〉

1 待受画面で(メニュー)▶「*設定を行う」▶「1画面の設定を行う」▶「7マチキャラを設定する」を押す

マチキャラの設定画面が表示されます。

2 「1表示設定」▶「1表示する」を押す

フォルダの選択画面が表示されます。

■ マチキャラを表示しない場合：「1表示設定」▶「2表示しない」▶(電話帳)を押す

3 フォルダを選択▶(決定)を押す

マチキャラの選択画面が表示されます。

- 「iモードで探す」を選択して(決定)▶「1接続する」を押すと、iモードサイトからマチキャラを探せます。→p.230

4 マチキャラを選択▶(決定)▶(電話帳)を押す

マチキャラを設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 待受画面にiアプリを設定している場合はマチキャラは表示されません。
- ダウンロードしたマチキャラを設定すると、iコンシェルのポップアップメッセージの文字サイズは小さくなります。
- マチキャラによっては、時刻や新着情報、通話時間などによりマチキャラの動作が変化するものがあります。

ディスプレイの明るさを設定

ディスプレイの照明の明るさを設定します。〈照明設定〉

- 照明の点灯時間は約1分間です。

1 待受画面で(メニュー)▶「*設定を行う」▶「1画面の設定を行う」▶「4画面の明るさを設定する」を押す

画面の明るさの選択画面が表示されます。

- (メール)(iα)を押して明るさを選択すると、選択されている明るさで照明が点灯します。

2 「1自動で調整」～「5さらに暗く設定」のいずれかを押す

明るさを設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 「自動で調整」に設定すると、周囲の明るさによってボタン部分も点灯します（それ以外の設定では常に点灯）。このときの明るさは画面の明るさの設定に関わらず一定です。

電池の消費を節約する

一時的にディスプレイの照明などを調整し、電池の消費を抑えます。〈エコモード〉

1 待受画面で5を1秒以上押す

エコモードを設定/解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと待受画面に戻ります。

- 押すたびに設定/解除されます。
- 本機能を設定中は待受画面にが表示されます。

エコモードを設定すると

- FOMA端末を開いたまま操作しないでいると、約1分でディスプレイに何も表示されない省電力の状態になります。いずれかのボタンを押すか、電話の着信などがあったりすると、ディスプレイは再び表示されます。
- ディスプレイに何も表示されない省電力の状態のときは、決定が点滅して省電力の状態であることをお知らせします。約1時間経過すると決定の点滅は止まります。
- FOMA端末を閉じている状態で背面ディスプレイの照明が消灯すると、情報が表示されなくなります。
- ボタン部分の照明は周囲の明るさによって点灯します。
- 各設定項目が次のように変更されます。エコモードを解除すると、元の設定に戻ります。
  - オートローテーション設定：切替えない
  - 背面ディスプレイの点灯設定：点灯しない
  - 照明設定：暗く設定
  - 新着お知らせ設定（ランプ）：通知しない
  - 写真/ビデオ撮影の照明設定：端末設定に従う
  - iモード、動画/iモーションの照明設定：1分で消灯
- エコモードによって変更された項目を個別に変更すると、エコモードを解除するかの確認画面が表示されます。「1解除する」を押すとエコモードが解除されます。

お知らせ

- 照明設定が「さらに暗く設定」の場合、エコモードにしても照明設定は変更されません。また、エコモード中に「さらに暗く設定」「暗く設定」のいずれかに変更してもエコモードは解除されません。
- iアプリ起動中は、各iアプリの照明設定が優先される場合があります。

新着情報をランプで知らせる

FOMA端末を閉じている場合、不在着信やメール、iコンシェルのインフォメーションなどの新着情報があると、ランプが約6秒間隔で点滅します。〈新着お知らせ設定（ランプ）〉

1 待受画面でメニュー▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「6新着お知らせを設定する」▶「1着信ランプで通知する」を押す

通知するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1通知する」または「2通知しない」を押す

新着お知らせを設定/解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 最新の新着情報から約6時間経過したり、待受画面の新着情報（「着信あり」、「メールあり」など）を消去したりするとランプの点滅は停止します。

時計の表示を設定

待受画面の時計表示の有無や大きさ、表示形式(24時間／12時間)、表示位置を設定します。〈時計表示設定〉

1 待受画面で(メニュー)▶「✻設定を行う」▶「1画面の設定を行う」▶「2待受画面の時計を設定する」を押す

時計表示の設定画面が表示されます。

2 「1待受時計表示」▶「1特大で表示」～「4表示しない」のいずれかを押す

時計表示の設定画面に戻ります。

- 選択した項目により次の時計が表示されます。

4/15(金)
10:10

<特大で表示>

4/15(金)
10:10

<大きく表示>

4/15(金)10:10

<小さく表示>

■ 時計を表示しないように設定する場合：「4表示しない」を押す

操作5に進みます

3 「2表示形式」▶「124時間形式」または「212時間形式」を押す

時計表示の設定画面に戻ります。

4 「3表示位置」▶「1上部に表示」～「3下部に表示」のいずれかを押す

時計表示の設定画面に戻ります。

■ 画面例を確認する場合：(電話帳)を押す

- もう一度(電話帳)を押すと選択画面に戻ります。

5 (電話帳)を押す

時計表示を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 表示形式の設定は背面ディスプレイにも反映されます。
- 待受画面にカレンダーやｉアプリを設定している場合や、お知らせ情報、新着情報などの表示中は、「小さく表示」で表示されます。

あんしん設定

暗証番号について

携帯電話の操作や機能を制限します

発着信や送受信を制限します

その他の「あんしん設定」について

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要な場合があります。暗証番号には、各種端末操作用の端末暗証番号の他、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、ご契約者本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、ドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

端末暗証番号

FOMA端末には、設定や解除の際に端末暗証番号の入力が必要な機能があります。お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→p.119

- 端末暗証番号入力画面で誤った端末暗証番号を連続5回入力すると、電源が自動的に切れます。誤った端末暗証番号を入力した累積回数は、正しい端末暗証番号を入力したり、新たに端末暗証番号入力画面を表示したりするとクリアされます。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。なお、ｉモードからは、待受画面で[iα]▶「[1] i Menuを見る」▶「お客様サポート／お知らせ」▶「お客様サポート」▶「各種設定（確認・変更・利用）」▶「ネットワーク暗証番号変更」からお客様ご自身で変更ができます。

- 「My docomo」「お客様サポート」については、取扱説明書裏面の裏側をご覧ください。

ｉモードパスワード

マイメニューの登録／削除、メッセージサービス、ｉモード有料サービスのお申し込み／解約などを行う際には、4桁の「ｉモードパスワード」が必要です。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→p.221

この他にも各IP（情報サービス提供者）が独自にパスワードを設定している場合があります。

PIN1コード／PIN2コード

ドコモUIMカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→p.120

PIN1コードは、第三者によるFOMA端末の無断使用を防ぐため、ドコモUIMカードを取り付けるたび、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の暗証番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作ができます。

PIN2コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請、積算通話料金リセットを行うときなどに使用する4～8桁の暗証番号（コード）です。

- 別のFOMA端末で利用していたドコモUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前に設定されたPIN1コード／PIN2コードをご利用ください。設定を変更されていない場合は、「0000」となります。

PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための数字8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更することができません。

- PINロック解除コードの入力を連続10回間違えると、ドコモUIMカードがロックされます。

PIN1／PIN2コード入力

↓ 連続3回間違い

PINロック解除コード入力

↓ OK → 新PIN1／PIN2コード設定可能

↓ 連続10回間違い → ドコモショップ窓口にお問い合わせください

お知らせ

- いたずら防止のため、端末暗証番号、ｉモードパスワード、PIN1コード、PIN2コードはご契約後にお好きな番号に変更してください。

端末暗証番号の変更

お買い上げ時の端末暗証番号や、現在設定している端末暗証番号を変更します。ご契約時の端末暗証番号は「0000」に設定されています。〈端末暗証番号変更〉

- 入力した端末暗証番号は「*」で表示されます。

1 **待受画面で(メニュー)▶「[*]設定を行う」▶「[#]その他の設定を行う」▶「[8]操作の制限をする」▶「[7]端末暗証番号を変更する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 **端末暗証番号を入力▶(決定)を押す**

新しい端末暗証番号を入力する入力画面が表示されます。

3 **新しい端末暗証番号を入力▶(決定)を押す**

確認のため新しい端末暗証番号を再度入力する入力画面が表示されます。

4 **操作3で入力した新しい端末暗証番号をもう一度入力▶(決定)を押す**

端末暗証番号を変更した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

PINコードの設定

電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定したり、PIN1／PIN2コードを変更したりします。〈PINコード設定〉

- PINコードの設定はドコモUIMカードに記録されます。ドコモUIMカードを別のFOMA端末に差し替えてお使いになる場合は、現在の設定のままご利用になれます。
- PIN1コード、PIN2コードには、4～8桁の数字を設定します。

PIN1コード使用

FOMA端末の電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定します。
- 入力したPIN1コードは「*」で表示されます。

1 待受画面で(メニュー)▶「[*]設定を行う」▶「[#]その他の設定を行う」▶「[8]操作の制限をする」▶「[8]ドコモUIMカードのPINコードを設定する」を押す

ドコモUIMカードのPINコード設定の画面が表示されます。

2 「[3]PIN1コード使用」を押す

PIN1コードを使用するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「[1]使用する」または「[2]使用しない」を押す

PIN1コード入力画面が表示されます。PIN1コードは3回入力できます。

4 PIN1コードを入力▶(決定)を押す

PIN1コードを使用する/しない旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。
- 現在の設定を変更しない場合、PIN1コードの入力画面は表示されません。
- ご契約時のPIN1コードは「0000」に設定されています。
- 本機能を設定した後に、FOMA端末の電源を入れると、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力すると、待受画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、すべての操作ができません。

PIN1コード使用を設定すると

FOMA端末の電源を入れると、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力すると、待受画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、すべての操作ができません。
- 入力したPIN1コードは「*」で表示されます。

1 FOMA端末の電源が入っていない状態で(電源)を2秒以上押す

電源が入ります。

PIN1コードを
入力してください
残り 3回
入力できます

2 PIN1コードを入力▶(決定)を押す

PIN1コードが認識された旨のメッセージが表示され、待受画面が表示されます。

お知らせ

- PIN1コードの入力を連続3回間違えると、PIN1コードが認識できなかった旨のメッセージが表示され、PIN1コードがロックされます。(決定)を押すか、約5秒たつとPINロック解除コードの入力画面が表示されます。→p.121
- 通知時刻自動電源ON設定により自動的に電源が入ると、PIN1コード入力画面よりも優先して目覚ましや予定の通知が動作します。(電源)を押すと、PIN1コードの入力画面が表示されます。

PIN1/PIN2コードの変更

PIN1/PIN2コードの暗証番号を変更します。ご契約時はどちらも「0000」に設定されています。
- PIN1コードを変更するときは、あらかじめPIN1コードを使用するように設定する必要があります。→p.120
- PIN2コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請、積算通話料金リセットを行うときなどに使用します。→p.236、p.355
- 入力したPIN1コード、PIN2コードは「*」で表示されます。

1 待受画面で(メニュー)▶「[*]設定を行う」▶「[#]その他の設定を行う」▶「[8]操作の制限をする」▶「[8]ドコモUIMカードのPINコードを設定する」を押す

ドコモUIMカードのPINコード設定の画面が表示されます。

2 「1PIN1コード変更」または「2PIN2コード変更」を押す

PIN1／PIN2コード入力画面が表示されます。PIN1／PIN2コードは3回入力できます。

3 現在のPIN1／PIN2コードを入力▶決定を押す

新しいPIN1／PIN2コードを入力する入力画面が表示されます。

4 新しいPIN1／PIN2コードを入力▶決定を押す

確認のため新しいPIN1／PIN2コードを再度入力する入力画面が表示されます。

5 操作4で入力した新しいPIN1／PIN2コードをもう一度入力▶決定を押す

PIN1／PIN2コードを変更した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

- 現在のPIN1／PIN2コードの入力に失敗すると、PIN1／PIN2コードが認識できなかった旨のメッセージが表示されます。決定を押して操作3からやり直してください。
- 操作4で入力した新しいPIN1／PIN2コードと一致しない場合、新しいPIN1／PIN2コードが一致しない旨のメッセージが表示されます。決定を押して操作4からやり直してください。

お知らせ

- 現在のPIN1コード／PIN2コードの入力を連続3回間違えると、PIN1コード／PIN2コードが認識できなかった旨のメッセージが表示され、決定を押すとPIN1コード／PIN2コードがロックされます。決定を押すか、約5秒たつとPINロック解除コード入力画面が表示されます。→p.121
- PIN2コードを連続3回間違えてPIN2コードがロックされた場合でも、電話の発着信やメールの送受信などはできますが、PIN1コードを連続3回間違えてPIN1コードがロックされた場合には、それらの操作はできなくなります。

PINロックの解除

PINコード入力画面でPINコードの入力を連続3回間違えると、PINコードがロックされます。その場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

- PINロック解除コードの入力を連続10回間違えると、ドコモUIMカードがロックされます。
- 入力したPINロック解除コード、PIN1／PIN2コードは「*」で表示されます。

1 PINロック解除コード入力画面でPINロック解除コードを入力▶決定を押す

新しいPIN1／PIN2コードを入力する入力画面が表示されます。

2 新しいPIN1／PIN2コードを入力▶決定を押す

確認のため新しいPIN1／PIN2コードを再度入力する入力画面が表示されます。

3 操作2で入力した新しいPIN1／PIN2コードをもう一度入力▶決定を押す

PINロック解除コードが認識された旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

- PINロック解除コードの入力に失敗すると、PINロック解除コードが認識できなかった旨のメッセージが表示されます。決定を押して操作1からやり直してください。
- 操作2で入力した新しいPIN1／PIN2コードと一致しない場合、新しいPIN1／PIN2コードが一致しない旨のメッセージが表示されます。決定を押して操作2からやり直してください。

他の人が使用できないようにする

各機能のメニュー操作などをできないようにして、他人が不正に使用するのを防げます。〈オールロック〉

オールロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、待受画面で緊急通報番号を入力して を押します。
※端末暗証番号入力画面で入力した緊急通報番号は「*」で表示されます。

- ドコモUIMカードやmicroSDカードにはロックはかかりません。

オールロックの設定

1 **待受画面で ▶「* 設定を行う」▶「# その他の設定を行う」▶「8 操作の制限をする」▶「2 全ての操作を制限する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 **端末暗証番号を入力▶決定を押す**

全ての操作を制限した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと待受画面に戻ります。待受画面に「全ての操作を制限しています」と表示されます。

- オールロック中は、FOMA端末を閉じているときに または を押すと、背面ディスプレイに「オールロック中」と表示されます。

オールロックの解除

1 **オールロック中に待受画面で端末暗証番号を入力▶決定を押す**

全ての操作の制限を解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 待受画面に画像やカレンダー、マチキャラ、iアプリを表示するように設定していても、オールロック中はお買い上げ時の画像が表示されます。
- 電話帳指定着信拒否／許可、登録外着信拒否の設定に関わらず着信します。
- 開閉ロックを「設定する」に設定していても、オールロックが優先されます。
- オールロック中は、目覚ましや予定の通知は動作しません。
- オールロック中でもつながりほっとサポートの利用記録は継続されますが、待受画面のキャラクターとメッセージは表示されません。
- 次の機能は利用できます。
  - 電話を受ける操作※1、緊急通報（110番、119番、118番）への発信
  - ケータイデータお預かりサービスの自動更新
  - iモードメールやSMS、メッセージR/Fの受信※2
  - おまかせロックの起動
  - エリアメールの受信
  - ソフトウェア更新
  - パターンデータの自動更新

※1 電話帳に登録している相手の名前は表示されず、電話番号が表示されます。また、着信時の着信画像や着信音などはお買い上げ時の状態に戻ります。オールロックを解除すると着信履歴に表示されます。

※2 着信時や受信時の動作はしません。

紛失時などに使用できないようにロックする

FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにお電話でご連絡いただくだけで、電話帳などの個人データにロックをかけることができます。お客様の大切なプライバシーを守ります。また、お申し込み時に圏外などでおまかせロックがかからない場合で、1年以内に通信が可能になった場合は自動的にロックがかかります。ただし、解約・電話番号保管・電話番号変更を行った場合や紛失時などで新しいドコモUIMカードの発行（番号を指定してロックした場合のみ）を行った場合は、1年以内であっても自動的にロックはかかりません。

お客様からのお電話などによりロックを解除することができます。〈おまかせロック〉

※ ドコモプレミアクラブ会員の場合、手数料無料で何回でもご利用いただけます。ドコモプレミアクラブ未入会の場合、有料のサービスとなります。（ただし、ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。）

おまかせロックの設定／解除

0120-524-360

受付時間　24時間（年中無休）

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

※パソコンなどでMy docomoのサイトからも設定／解除ができます。

- おまかせロックの詳細については『ご利用ガイドブック（基本編）』をご覧ください。

おまかせロックを起動すると

待受画面に「おまかせロック中です」と表示されます。

- おまかせロック中は、FOMA端末を閉じているときにまたは＋－を押すと、背面ディスプレイに「おまかせロック中」と表示されます。
- 電源を入れる／切る操作や、電話を受ける操作以外のボタン操作ができなくなります。ただし、ドコモUIMカードやmicroSDカードにはロックはかかりません。

お知らせ

- 電話の着信はしますが、電話帳に登録している相手の名前は表示されず、電話番号が表示されます。また、着信時の着信画像や着信音などは、お買い上げ時の状態に戻ります。おまかせロックを解除すると設定は元の状態に戻ります。
- 受信したメールは、ｉモードセンターに保存されます。
- 他の機能が起動中の場合は、動作中の機能を終了してロックをかけます。
- 各種ロック機能を設定中でも、おまかせロックを使用することができます。
- FOMA端末に電源が入っていない場合や圏外、セルフモード中はロックおよびロック解除はできません。その他お客様のご利用方法などにより、ロックおよびロック解除ができない場合があります。
- 電源を入れ直してもロックは解除されません。
- ご契約者本人とFOMA端末を所持しているお客様が異なる場合でも、ご契約者本人からのお申し出がある場合は、おまかせロックがかかります。
- おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけたときと同じ電話番号のドコモUIMカードをFOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。万が一解除できない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

発信や着信ができないようにする

電話の発着信やメールの送受信だけでなく、サイト接続、赤外線通信、データ通信などすべての通信機能や声の宅配便を利用できないようにします。〈セルフモード〉

- 緊急通報（110番、119番、118番）を行うと、発信後に本機能は解除されます。

1 待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「8操作の制限をする」▶「3セルフモードを設定する」を押す

セルフモードを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1設定する」または「2解除する」を押す

セルフモードを設定／解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

- 本機能を使用中は、ディスプレイ上部にSELFが表示されます。FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイにSELFが表示されます。

お知らせ

- 本機能を使用中は、電話をかけてきた相手には電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。
- セルフモード中に電話の着信があっても、セルフモード解除後、ディスプレイに「着信あり」は表示されず、着信履歴にも記録されません。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスは利用できますが、本機能を解除しても留守番電話サービスセンターに伝言メッセージがあることをお知らせするアイコンは表示されません。
- 本機能設定中に受信したｉモードメールやメッセージR/Fはｉモードセンターに、SMSはSMSセンターに保管されます。受信する場合は本機能を解除してからｉモード問い合わせ、SMS問い合わせを行ってください。
- 本機能を設定中に使用できない機能は、ボイスメニューでの呼び出しはできません。

シークレット属性が設定された情報の表示

本機能を設定すると、シークレット属性を設定している電話帳やスケジュール帳を表示できます。また、シークレット属性を設定したり、解除したりする場合にも本機能を設定する必要があります。〈シークレットモード〉

シークレットモードの設定

1 待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「8操作の制限をする」▶「4シークレットモードに設定する」を押す

シークレットモードを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1設定する」または「2解除する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

- 解除したときは、端末暗証番号入力画面は表示されません。

3 端末暗証番号を入力▶決定を押す

シークレットモードを設定／解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

- 本機能を使用中は、ディスプレイ上部に🔑が表示されます。

シークレットモードの解除

1 シークレットモード中に待受画面で終話を押す

シークレットモードが解除されます。

- シークレットモード解除後、シークレット属性を設定している電話帳やスケジュール帳は表示されなくなります。

お知らせ

- 電話帳にシークレット属性を設定する→p.91
- 予定にシークレット属性を設定する→p.352
- 本機能設定中に電源を切ると、本機能は解除されます。

リダイヤル／着信履歴などの表示制限

リダイヤル／着信履歴などの表示を制限して、他人に発着信情報を知られないようにします。〈履歴表示制限〉

1 **待受画面で(メニュー)▶「＊設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「8操作の制限をする」▶「5電話の履歴表示を制限する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 **端末暗証番号を入力▶決定を押す**

着信履歴／リダイヤル／伝言メモ／通話音声メモの表示を制限するかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「1制限する」または「2制限しない」を押す**

履歴表示を制限／解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 次の機能が利用できません。
  - リダイヤル／着信履歴
  - 伝言メモ、通話メモ
- 本機能を「制限する」に設定しても、発着信情報はリダイヤル／着信履歴に記録されます。制限を解除すると、制限中に記録された発着信情報を表示することができます。
- 本機能を「制限する」に設定しても、伝言メモまたは通話メモの録音はできます。
- 本機能を設定中に使用できない機能は、ボイスメニューでの呼び出しはできません。

電話帳やメールなどの表示制限

電話帳、ｉモード（らくらくサイトボタンの利用を含む）、ｉチャネル、メール、ｉアプリ、カメラ（アルバムや拡大鏡、手書きメモ、バーコード読取り、音声コードを含む）、ビデオ（アルバムや映像のない動画／ｉモーションの利用を含む）、スケジュール、メモ、目覚まし、赤外線通信、データ通信などのメニューを制限します。また、個人情報に関する機能を利用できないように一時的に制限します。〈個人情報表示制限〉

- 登録外着信拒否中は、本機能を使用できません。→p.132

1 **待受画面で(メニュー)▶「＊設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「8操作の制限をする」▶「6個人の情報表示を制限する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 **端末暗証番号を入力▶決定を押す**

個人の情報表示を制限するかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「1制限する」または「2制限しない」を押す**

個人の情報表示を制限／解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

- 本機能を使用中は、待受画面に[アイコン]が表示されます。

お知らせ

- ドコモUIMカードやmicroSDカードにはロックはかかりません。
- 本機能を使用中に制限されている機能をメニューから選択すると、個人の情報表示が制限されている旨のメッセージが表示され実行できません。サブメニューの場合は、実行できない機能はグレーなどで薄く表示され選択できません。
- 本機能を使用中でも発着信は記録されます。リダイヤル／着信履歴、ダイヤル入力による電話発信ができます。
- メールの自動受信はできますが、受信中および受信結果の画面表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。また、メールの設定もできません。
- 本機能を使用中に声の宅配便でメッセージを録音する場合、電話帳は利用（選択）できません。

- 本機能を使用中は、電話帳に登録している相手から電話がかかってきたりメールを受信したりしても、相手の名前は表示されず、電話番号またはメールアドレスのみ表示されます。
- 本機能の対象となっている画像やメロディを待受画面や着信音などに設定していると、本機能を使用中は設定がお買い上げ時の状態に戻ります。本機能を解除すると、設定は元の状態に戻ります。ただし、「内蔵写真」「内蔵メロディ」「内蔵ビデオ」フォルダのデータを設定している場合は、本機能を使用してもお買い上げ時の状態には戻りません。
- 本機能を設定中に使用できない機能は、ボイスメニューでの呼び出しはできません。
- 歩数計・活動量計での歩数のカウントは行いますが、その他の操作はできません。
- つながりほっとサポートの利用記録は継続されますが、その他の操作はできません。待受画面のキャラクターとメッセージも表示されません。
- イヤホンスイッチ設定によるイヤホンスイッチを利用しての電話発信はできません。

ボタンを使用する電話発信の禁止

電話帳やワンタッチダイヤルボタンを利用する以外の方法では、電話を発信できないように設定します。〈ダイヤル発信制限〉

- ダイヤル発信制限中でも、緊急通報（110番、119番、118番）はできます。

1 **待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「＃その他の設定を行う」▶「8操作の制限をする」▶「9ダイヤル入力での発信を制限する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 **端末暗証番号を入力▶決定を押す**

ダイヤル入力での発信を制限するかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「1制限する」または「2制限しない」を押す**

ダイヤル入力での発信を制限／解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

- 本機能を使用中は、待受画面にが表示されます。

ダイヤル入力での発信を制限すると

- 次の操作ができなくなります。
  - 個人情報の登録、修正
  - ダイヤル入力による発信
  - リダイヤルや着信履歴からの発信※1
  - 外部機器と接続しての発信※2
  - 電話帳の登録、修正、削除、シークレットコード入力
  - FOMA端末電話帳とドコモUIMカード電話帳間でのコピー
  - ワンタッチダイヤルの新規登録、電話帳の修正
  - 待受画像配信元設定のメールアドレスの入力
  - ｉモードメール／SMSの送信※3、メール送受信履歴からの送信※3
  - Phone To（AV Phone To）、Mail To、SMS To機能
  - 電話帳と個人情報の赤外線送受信
  - microSDカード内の電話帳の参照
  - 電話帳のmicroSDカードへの保存／復元
  - ダイヤル入力操作によるネットワークサービスの利用
  - パソコンとつないだパケット通信、64Kデータ通信

※1 電話帳やワンタッチダイヤルに登録している相手への発信や送信はできます。

※2 外部機器からFOMA端末電話帳のメモリ番号を指定しての発信はできます。

※3 電話帳やワンタッチダイヤルを利用しての送信、または電話帳やワンタッチダイヤルに登録された相手からのメールに返信はできます。

お知らせ

- 本機能を設定中に使用できない機能は、ボイスメニューでの呼び出しはできません。

閉じるたびにボタンをロックする

開閉ロックを設定すると、FOMA端末を閉じるたびに(音声)、[+][−]以外のボタンがロックされます。FOMA端末を開くたびに端末暗証番号の入力が必要なため、他人が不正にFOMA端末を使用するのを防げます。〈開閉ロック〉

> **開閉ロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、端末暗証番号入力画面または待受画面、開閉ロック中画面で緊急通報番号を入力して(発信)を押します。**
>
> ※端末暗証番号入力画面で入力した緊急通報番号は「*」で表示されます。

- 次の場合は、開閉ロックがかかりません。
  - 発信中※1、2、着信中※2、通話中※1、2、保留中※1、2、切断中※1、2
  - エリアメール受信中（内容表示中を含む）※2
  - メロディ再生中（添付メロディ再生中は除く）
  - 目覚まし（スヌーズ動作中を含む）、予定の通知、お知らせタイマー鳴動中（停止中、カウントダウン中を含む）
  - ソフトウェア更新中
  - ｉモーション再生中（再生画面表示中を含む）
  - 64Kデータ通信※2、USB接続によるデータ転送※2、赤外線によるデータ転送※2

  ※1 ステレオイヤホンマイク 01（別売）を接続している場合の動作です。

  ※2 FOMA端末を閉じている状態で動作が終了した場合は、開閉ロックがかかります。

開閉ロックの設定／解除

1 **待受画面で(メニュー)▶「[*]設定を行う」▶「[#]その他の設定を行う」▶「[8]操作の制限をする」▶「[1]開閉ロックを設定する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 **端末暗証番号を入力▶(決定)を押す**

開閉ロックを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「[1]設定する」または「[2]解除する」を押す**

開閉ロックを設定／解除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

開閉ロックが起動すると

FOMA端末を閉じるたびに開閉ロックが起動すると(音声)、[+][−]以外のボタンがロックされます。このとき、背面ディスプレイには「開閉ロック成功」と表示され、ランプが約4秒間点灯し、開閉ロックが起動したことをお知らせします。また、FOMA端末を閉じても開閉ロックが起動しなかったときは、ランプが約2秒間点滅し、開閉ロックが起動しなかったことをお知らせします。

- 解除するときは、FOMA端末を開いて端末暗証番号の入力を行います。次の画面が表示されたときは、端末暗証番号を直接入力するか、(メニュー)を押して端末暗証番号を入力してください。

待受画面で開閉ロックを起動した場合の待受画面

待受画面やｉアプリ画面以外で開閉ロックを起動した場合の開閉ロック中画面

お知らせ

- 待受画面に画像やカレンダー、ｉアプリを表示するように設定していても、開閉ロック中はお買い上げ時の画像が表示されます。
- 本機能を設定中に電源を入れ直すと、端末暗証番号入力画面が表示されます。端末暗証番号の入力をしなかった場合は開閉ロックが起動します。また、おまかせロックが起動したときは、おまかせロックを解除した後に開閉ロックが起動します。
- 次の機能は利用できます。
  - 電源を入れる／切る操作
  - 電話を受ける操作、緊急通報（110番、119番、118番）への発信
  - 伝言メモまたは通話メモの録音
  - ケータイデータお預かりサービスの自動更新
  - ｉモードメールやメッセージR/F、SMSの受信※
  - エリアメールの受信
  - おまかせロックの起動
  - 予定の通知
  - 目覚まし
  - イヤホンスイッチ発信
  - つながりほっとサポートの利用
  - ソフトウェア更新
  - パターンデータの自動更新

※ FOMA端末を開いた状態で受信した場合は、受信中および受信結果の画面表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。

電話番号を指定して着信許可／拒否

FOMA端末電話帳から相手を選んで着信拒否／許可一覧に登録し、その相手の電話番号に対して着信拒否／許可を設定します。拒否を設定すると、登録した相手からの電話はつながりません。また、許可を設定すると、登録した相手からの電話のみつながります。相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。着信拒否／許可相手の登録を行っただけでは設定されません。必ず着信拒否／許可の設定も行ってください。〈電話帳指定着信拒否／許可〉

- あらかじめ電話帳の登録が必要です。→p.81
- 番号通知お願いサービス（→p.381）や非通知理由別着信設定（→p.129）を併用することをおすすめします。

着信拒否／許可相手の登録

- 拒否／許可する相手は、それぞれ最大20件登録できます。
- ドコモUIMカード電話帳から指定することはできません。

1 **待受画面で(メニュー)▶「＊設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「4電話・電話帳の詳細を設定する」▶「1着信を拒否する相手を指定する」または「2着信を許可する相手を指定する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 **端末暗証番号を入力▶(決定)を押す**

登録した相手を着信拒否／許可に設定する画面が表示されます。

3 **「3相手を登録する」を押す**

着信拒否／許可登録一覧画面が表示されます。

4 **登録先の番号を選択▶(決定)を押す**

電話帳の検索画面が表示されます。

■ **登録済みの相手を変更する場合：相手を選択▶(メニュー)▶「1編集する」を押す**

操作5に進みます。

■ 登録済みの相手を削除する場合：相手を選択▶(メニュー)▶「2削除する」▶「1削除する」を押す

登録データを削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと着信拒否／許可登録一覧に戻ります。

5 **登録する相手を検索して選択▶決定を押す**

着信を拒否／許可する相手に登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと着信拒否／許可登録一覧に戻ります。

- 検索方法→p.84
- (戻る)を押すと続けて着信拒否／許可の設定ができます。以降の操作は「着信拒否／許可の設定」操作3をご覧ください。→p.129

お知らせ

- シークレット属性を設定した電話帳は、着信拒否／許可登録一覧では［************］と表示されます。また、着信があっても着信拒否／許可の動作は行われません。シークレットモード中は名前が表示され、着信拒否／許可の動作が行われます。
- 登録した相手の電話帳を修正／削除した場合は、着信を拒否／許可に登録した相手のデータも修正／削除されます。

着信拒否／許可の設定

電話帳指定着信拒否または電話帳指定着信許可を設定します。あらかじめ着信拒否／許可相手の登録が必要です。

- 電話帳指定着信拒否と電話帳指定着信許可を同時に設定できません。

1 **待受画面で(メニュー)▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「4電話・電話帳の詳細を設定する」▶「1着信を拒否する相手を指定する」または「2着信を許可する相手を指定する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 **端末暗証番号を入力▶決定を押す**

登録した相手を着信拒否／許可に設定する画面が表示されます。

3 **「1設定する」または「2解除する」を押す**

着信拒否または着信許可を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

- 着信を拒否／許可する相手を登録していない場合は、相手が登録されていない旨のメッセージが表示されます。決定を押して相手を登録してください。以降の操作は「着信拒否／許可相手の登録」操作3以降をご覧ください。→p.128

お知らせ

- 電話帳指定着信拒否を設定中に拒否した電話番号の着信があった場合、または電話帳指定着信許可を設定中に許可していない電話番号の着信があった場合は、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。ただし、その場合でも着信履歴には記録されます。留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定していた場合は、各サービスが動作して、着信履歴には記録されません。
- ｉモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信されます。

発信者番号が不明な電話を拒否

発信者番号が通知されない着信があった場合、通知されない理由ごとに着信動作を設定します。〈非通知理由別着信設定〉

- 電話番号が通知されない理由（発信者番号非通知理由）について→p.66

1 **待受画面で(メニュー)▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「4電話・電話帳の詳細を設定する」▶「4発番号なしの着信動作を選ぶ」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力▶決定を押す

発番号通知がない
着信の種類を
選んでください

1非通知設定
2通知不可能
3公衆電話

1 **非通知設定**：非通知による着信動作を設定します。
2 **通知不可能**：通知不可能の着信動作を設定します。
3 **公衆電話**：公衆電話などの着信動作を設定します。

3 「1非通知設定」～「3公衆電話」のいずれかを押す

選んだ発番号なし
着信の動作を
設定してください

1着信音を選択
2着信音量を消音
3着信を拒否
4設定を解除

1 **着信音を選択**：発信者番号の非通知理由ごとに着信音を設定します。
2 **着信音量を消音**：着信音を鳴らさないようにします。
3 **着信を拒否**：着信を拒否します。
4 **設定を解除**：着信動作の設定を解除します。

4 「1着信音を選択」～「4設定を解除」のいずれかを押す

- 「2着信音量を消音」～「4設定を解除」のいずれかを押した場合は操作6に進みます。

5 「1メロディ」または「2着モーション」▶フォルダまたはアルバムを選択▶決定▶着信音を選択▶決定を押す

着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。

- 「i モードで探す」を選択して決定▶「1接続する」を押すと、i モードサイトからメロディまたはi モーションを探せます。→p.229、p.240
- メロディまたは動画／i モーションの再生方法は「電話着信時の着信音の変更」操作5をご覧ください。→p.102

6 決定を押すまたは約5秒後に発番号通知がない着信の種類を選択する画面に戻る

- 着信動作を設定した項目には「＊」が表示されます。

お知らせ

- 本機能を「着信を拒否」に設定中に発信者番号が通知されない着信があった場合は、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。ただし、その場合でも着信履歴には記録されます。留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定していた場合は、各サービスが動作して、着信履歴には記録されません。
- 本機能と番号通知お願いサービス（→p.381）を同時に設定した場合は、番号通知お願いサービスが優先して動作します。
- i モードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信します。
- 発信者番号が通知されない電話がかかってくると、電話は着信音設定より本機能で設定した着信音が優先して鳴ります。→p.102

電話帳未登録者からの着信音を無音にする

登録していない相手や電話番号を通知してこない相手から電話がかかってきたとき、設定した時間が経過した後に着信音などの呼出動作を開始するように設定します。「ワン切り」などの迷惑電話に効果的です。〈無音着信時間設定〉

- 本機能を使用中は、次のように動作します。
  - 待受中または通話中に電話がかかってくると、無音着信時間内はディスプレイの表示のみで着信を知らせます。無音着信時間が経過すると、待受中の場合は通常の呼出動作を開始します。通話中の場合は「ププ…ププ…」という通話中着信音（→p.67）が受話口から聞こえます。
  - 呼出時間が無音着信時間内の不在着信は、着信履歴に表示されません。また、新着情報と📳も表示されません。ただし、表示の切り替えにより、無音着信時間内の不在着信を表示できます。表示方法については「着信履歴の表示」のお知らせをご覧ください。→p.59
  - 通常の着信履歴と無音着信時間内の不在着信は、合わせて最大30件記録されます。
- 登録外着信拒否中は、本機能を使用できません。

1 **待受画面で(メニュー)▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「4電話・電話帳の詳細を設定する」▶「7無音着信時間を設定する」を押す**

無音着信時間を
設定してください
1無音着信動作
設定しない
2無音着信時間
4秒間

1 **無音着信動作**：本機能を有効にするかどうかを設定します。
2 **無音着信時間**：着信してから呼出動作を開始するまでの時間を設定します。

2 **「1無音着信動作」を押す**

無音着信動作を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「1設定する」または「2設定しない」を押す**

無音着信時間の設定画面が表示されます。
- 「2設定しない」を押した場合は操作5に進みます。

4 **無音着信時間を入力▶決定を押す**

操作1の画面に戻ります。
- 1～99秒の間で入力します。

5 **(電話帳)を押す**

無音着信時間を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 電話帳に登録されている相手から電話がかかってきても、次のような場合は無音着信時間内の不在着信として記録され、着信履歴に表示されません。
  - 個人情報表示制限中（→p.125）で、相手が無音着信時間内で電話を切ったとき
  - シークレットモード中でない場合で、シークレット属性が設定されている相手が無音着信時間内で電話を切ったとき
  - 発信者番号を非通知で電話をかけてきた相手が、無音着信時間内で電話を切ったとき
- 伝言メモ（→p.75）、留守番電話サービス、転送でんわサービスを設定しているとき、本設定を優先させるためには、伝言メモ、留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間よりも無音着信時間設定の呼出時間を短く設定してください。
- 公共モード中は、本機能は動作しません。
- 電話帳指定着信拒否／許可（→p.128）、非通知理由別着信設定（→p.129）を設定中は、着信拒否の対象に設定している相手から電話がかかってくると、各機能が優先して動作します。
- 本機能とオート着信設定（→p.359）を同時に設定している場合、無音着信時間をオート着信設定の応答時間以上に設定すると、オート着信設定は動作しません。
- 本機能とオートスピーカーホン機能（→p.68）を同時に設定している場合、無音着信時間を4秒以上に設定すると、オートスピーカーホン機能は動作しません。

電話帳未登録者からの電話を拒否

電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたときに着信を拒否します。〈登録外着信拒否〉

- 電話がかかってきたときの表示については「電話を受ける」操作1をご覧ください。→p.66
- 相手が電話番号を通知してきた場合に有効です。電話番号が通知されない相手からの着信は非通知理由別着信設定に従って動作します。非通知理由別着信設定（→p.129）、および番号通知お願いサービス（→p.381）を併用することをおすすめします。
- 個人情報表示制限中（→p.125）や無音着信時間設定中（→p.131）は、本機能を使用できません。

1 **待受画面で(メニュー)▶「[＊]設定を行う」▶「[#]その他の設定を行う」▶「[4]電話・電話帳の詳細を設定する」▶「[3]電話帳登録外の着信を拒否する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 **端末暗証番号を入力▶(決定)を押す**

電話帳に登録されていない相手からの着信を受けるかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「[1]拒否する」または「[2]許可する」を押す**

電話帳登録外の着信を拒否／許可するように設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 本機能を「拒否する」に設定中に電話帳未登録の相手やシークレット属性を設定した電話帳からシークレットモード中でないときに着信があった場合は、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。ただし、その場合でも着信履歴には記録されます。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定していた場合は、各サービスが動作して、着信履歴には記録されません。
- ｉモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信します。

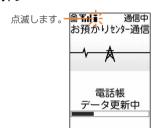
お預かりセンターにバックアップする

FOMA端末に保存されている電話帳、画像、メール、スケジュール、トルカを、ドコモのお預かりセンターにバックアップ（保存）することができ、万が一の紛失時や誤って削除した際などに復元できるサービスです。また、メールアドレスを変更したことを一斉通知することもできます。パソコン（My docomo）があれば、さらに便利にご利用いただけます。〈ケータイデータお預かりサービス〉

- ケータイデータお預かりサービスの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- ケータイデータお預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。

■ 自動更新機能について

- 電話帳、スケジュール、トルカは自動更新機能により定期的に自動でバックアップできます。自動更新の設定は、「お預かりサービスサイト」よりご確認・変更してください。→p.134
- 自動更新機能をご利用になる場合、パケット通信料が高額になる恐れがありますのでご注意ください。

各種データをお預かりセンターにバックアップ

ケータイデータお預かりサービスを利用して、FOMA端末に保存してある電話帳、画像、ｉモードメール、SMS、スケジュール、トルカをお預かりセンターにバックアップします。

- 画像、トルカのデータは、著作権保護されていないデータのみお預かりセンターにバックアップできます。
- ｉモードメールにデータが添付されている場合は、バックアップするときに削除されます。ただし、本文中の画像やメロディ（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されたデータを除く）は削除されません。
- 送達通知はバックアップできません。
- 画像を含むトルカ（詳細）は、詳細が含まれずにバックアップされる場合があります。

〈例〉電話帳をお預かりセンターにバックアップする

1 **待受画面で(メニュー)▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「*ケータイデータお預かりサービスを使う」▶「1お預かりセンターに接続する」を押す**

FOMA端末内に保存されているデータを最新の状態にするかどうかの確認画面が表示されます。

■ 電話帳からお預かりセンターにバックアップする場合：待受画面で(電話帳)▶(メニュー)▶「9コピー／お預り」▶「2お預かりセンター接続」を押す

2 **「1接続する」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す**

点滅します。

- 中止するときはバックアップ中に決定を押します。
- バックアップが完了すると、通信結果画面が表示されます。

3 **通信結果画面を確認する**

決定を押すとメニュー画面に戻ります。

〈例〉受信メールをお預かりセンターにバックアップする

1 **待受画面で(メール)▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す**

受信メール一覧が表示されます。

- 未送信／送信メール一覧の表示方法は「未送信／送信したｉモードメールを見る」操作1～2をご覧ください。→p.170

2 **バックアップするメールを選択▶(メニュー)▶「*お預りセンター保存」を押す**

お預かりセンターに保存するかどうかの確認画面が表示されます。

- 未送信／送信メールをバックアップする場合は、バックアップするメールを選択▶(メニュー)▶「9お預りセンター保存」を押します。

3 **「1保存する」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す**

- 中止するときはバックアップ中に決定を押します。
- バックアップが完了すると、送信した旨のメッセージが表示されます。

4 **決定または約5秒後▶通信結果画面を確認する**

決定を押すと受信メール一覧に戻ります。

〈例〉画像をお預かりセンターにバックアップする

1 **待受画面で(メニュー)▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「2写真・画像を見る」▶アルバムを選択▶決定を押す**

2 **バックアップする画像を選択▶(メニュー)▶「*お預りセンター保存」を押す**

お預かりセンターに保存するかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「1保存する」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す**

- 中止するときはバックアップ中に決定を押します。
- バックアップが完了すると、送信した旨のメッセージが表示されます。

4 **決定または約5秒後▶通信結果画面を確認する**

決定を押すと画像一覧画面に戻ります。

〈例〉スケジュールをお預かりセンターにバックアップする

1 **待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「2スケジュール帳・目覚ましを使う」▶「1予定を見る・登録する」を押す**
カレンダー画面が表示されます。

2 **バックアップする日付を選択▶決定を押す**
予定一覧画面が表示されます。

3 **(メニュー)▶「8お預りセンター接続」を押す**
FOMA端末内に保存されているデータを最新の状態にするかどうかの確認画面が表示されます。

4 **「1接続する」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す**
- 中止するときはバックアップ中に決定を押します。
- バックアップが完了すると、通信結果画面が表示されます。

5 **通信結果画面を確認する**
決定を押すと待受画面に戻ります。

〈例〉トルカをお預かりセンターにバックアップする

1 **待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「#トルカを使う」を押す**
トルカ一覧が表示されます。

2 **(メニュー)▶「8お預りセンター接続」を押す**
FOMA端末内に保存されているデータを最新の状態にするかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「1接続する」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す**
- 中止するときはバックアップ中に決定を押します。
- バックアップが完了すると、通信結果画面が表示されます。

4 **通信結果画面を確認する**
決定を押すと待受画面に戻ります。

バックアップしたデータを復元する場合

- 電話帳の復元や自動更新設定などは、ｉモードのケータイデータお預かりサイトからご利用いただけます。
待受画面で(iモード)▶「1 i Menuを見る」▶「マイページ」▶「ドコモのサービス」内の「ケータイデータお預かり※」
※ ｉコンシェルをご契約の場合は、「ケータイデータお預かり／ｉコンシェル」と表示されます。
- 自動更新や復元などの詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編)』をご覧ください。

お知らせ

- ドコモUIMカード電話帳の電話帳はバックアップできません。
- FOMA端末電話帳の電話帳を削除した後に自動更新を行うと、お預かりセンターの電話帳も同様に削除されます。
- FOMA端末電話帳の電話帳を削除した場合は、次の手順でｉモードのケータイデータお預かりサイトから電話帳を復元できます。
  - 待受画面で(iモード)▶「1 i Menuを見る」▶「マイページ」▶「ドコモのサービス」内の「ケータイデータお預かり※」▶「お預かりデータ確認」▶ｉモードパスワードを入力▶「決定」▶「電話帳」内の「ケータイへの復元」▶「OK」を押します。復元が開始されるため、通信を終了して待受画面に戻します。
  ※ ｉコンシェルをご契約の場合は、「ケータイデータお預かり／ｉコンシェル」と表示されます。
- 電話帳の自動更新時に他の機能を起動している場合は、待受画面に戻ると自動更新を開始します。FOMA端末の電源が入っていないときやFOMAサービスエリア外にいるとき、ドコモUIMカードが挿入されていないときは自動更新されません。
- 電話帳の自動更新が失敗したときは、待受画面にお知らせ情報（→p.25）と(アイコン)が表示されます。決定を押してメッセージを確認した後、手動でお預かりセンターに接続して電話帳をバックアップしてください。
- 電話帳のグループの並び順は、復元してもバックアップしたときの並び順に戻らない場合があります。

- 電話帳をお預かりセンターにバックアップすると、画像を除くワンタッチダイヤルの登録内容もバックアップされます。ただし、FOMA端末の機種変更などで、お預かりセンターから電話帳を復元する場合はすべて上書きされます。また、ワンタッチダイヤルに登録している電話番号などをMy docomoのサイトで削除した場合は、ワンタッチダイヤルの登録内容が正しく引き継げない場合があります。
- 1件あたりのファイルサイズが100Kバイトを超える画像やFlash画像はバックアップ／復元できません。
- 「microSDの写真」「内蔵写真」「アイテム」アルバムの画像はバックアップできません。
- 復元操作の詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。なお、復元したメールは次の場合を除き保護されます。
  - お預かりセンターにバックアップされている受信メール、受信SMSが未読だった場合
  - バックアップされているメールの保護が最大保護件数に達している場合
- 日付・時刻を設定していないときに、スケジュール帳の自動更新があった場合は自動更新できません。日付・時刻を設定する旨のメッセージが表示されます。
- トルカをお預かりセンターから自動更新後、初めてトルカを参照した場合は、このトルカを保存するかの確認画面が表示されます。「保存する」を選択すると保存されますが、「削除する」を選択した場合は参照しているトルカが削除されます。

ｉコンシェルからお預かりセンターにバックアップ

ｉコンシェルのメニューからもFOMA端末内に保存されている電話帳、スケジュール、トルカをお預かりセンターにバックアップできます。お預かりセンターに接続することによって、それらのデータをFOMA端末に更新・復元することができます。

- ｉコンシェルはお申し込みが必要な有料サービスです。注意事項およびご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

1 待受画面でメニュー▶「7ｉコンシェルを使う」を押す

契約情報取得中の画面が表示され、ｉコンシェルのインフォメーション一覧が表示されます。

2 メニュー▶「設定」▶「3お預かりデータの確認・設定・更新をする」▶「3電話帳やスケジュールなどの更新をする」を押す

FOMA端末内に保存されているデータを最新の状態にする選択画面が表示されます。

3 「1電話帳」～「3トルカ」のうち、バックアップする項目の番号を押す

項目の□が☑に変わります。

- 決定：項目を選択／解除します。
- メニュー：すべての項目を選択／解除します。

4 電話帳を押す

FOMA端末内に保存されているデータを最新の状態にするかどうかの確認画面が表示されます。

5 「1接続する」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

- 中止するときはバックアップ中に決定を押します。
- バックアップが完了すると、通信結果画面が表示されます。

6 通信結果画面を確認する

決定を押すとｉコンシェルのお預かりメニュー画面に戻ります。

お預かりセンターと通信した履歴の表示

各機能でお預かりセンターにバックアップした通信履歴を確認できます。〈通信履歴表示〉

- 通信履歴は最大30件記録できます。30件を超えると、古いものから順に消去されます。

1 **待受画面で(メニュー)▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「*ケータイデータお預かりサービスを使う」▶「2通信履歴を表示する」を押す**

通信日時一覧画面が表示されます。

2 **確認する履歴を選択▶(決定)を押す**

通信履歴詳細画面が表示されます。(決定)または(戻る)を押すと通信日時一覧画面に戻ります。

各種機能の設定をリセット

設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。〈各種設定リセット〉

- メニュー一覧のオレンジ色の文字の機能を、お買い上げ時の状態に戻します。→p.390
- 「メニュー一覧」に記載されていない機能やデータで、お買い上げ時の状態に戻るものは次のとおりです。

リセットする項目	お買い上げ時の状態に戻る機能／データ
基本設定	マナーモード、公共モード（ドライブモード）、ワンタッチダイヤル登録、簡単メール作成、メールの表示サイズ設定、使いかたガイドの文字サイズ（詳細画面も含む）
メール設定	かんたんデコメ装飾設定
ｉモード設定	キャッシュデータ
ｉアプリ設定	ｉアプリ一覧のソフトの並べ替え、アイコン表示とリスト表示の切り替え
予測辞書データ	予測変換機能で登録されたデータ
ユーザ辞書データ	単語登録のデータ

1 **待受画面で(メニュー)▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「7情報の表示やリセットを行う」▶「7設定を初めの状態に戻す」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 **端末暗証番号を入力▶(決定)を押す**

リセット項目選択
1 ☑基本設定
2 ☑メール設定
3 ☑ｉモード設定
4 ☑ｉアプリ設定
5 ☑ロック機能
6 ☑予測辞書データ
7 ☑ユーザ辞書データ
8 ☑読上辞書データ

3 「1基本設定」～「0歩数計設定」のうち、お買い上げ時の状態に戻さない項目の番号を押す

チェックボックスが☑から☐に切り替わり、選択が解除されます。

- 決定：項目を選択／解除します。
- メニュー：すべての項目を選択／解除します。

4 電話帳を押す

選んだ項目をお買い上げ時の状態に戻すかどうかの確認画面が表示されます。

5 「1戻す」を押す

選んだ項目をお買い上げ時の状態に戻した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- ｉモード設定をリセットすると、待受画面にｉチャネルの情報がテロップ表示されなくなります。待受画面で戻る/iチャネルを押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報を受信し、待受画面にテロップ表示されるようになります。

登録したデータを一括して削除

FOMA端末に保存、登録したデータを削除し、各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

〈データ一括削除〉

- 保護したデータも削除されます。
- 次のデータは削除されません。また、お買い上げ時の設定に戻りません。
  - お買い上げ時に登録されているデータ
  - つながりほっとサポートの利用記録停止／再開の設定
  - ドコモUIMカードやmicroSDカードに保存、登録、設定されているデータ
  - パソコンから設定したデータ通信の設定
- お買い上げ時に登録されているｉアプリは、お買い上げ時の状態に戻ります。ただし、お買い上げ時に登録されている「メモ」以外のｉアプリを最新にした場合は削除されます。
- 受信メールの「受信箱」フォルダに保存されている「はじめまして」「ベーシック3のご紹介」を削除した場合は、再び保存されます。

1 待受画面でメニュー▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「7情報の表示やリセットを行う」▶「8本体内データを全て削除する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力▶決定を押す

本体内の全てのデータを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1削除する」を押す

FOMA端末が再起動します。

お知らせ

- データ一括削除の再起動後は、初めて電源を入れたときの画面が表示されます。→p.48
- 削除されるデータが多い場合は、再起動に時間がかかることがあります。途中で電源を切らないようご注意ください。

その他の「あんしん設定」について

本章でご紹介した以外にも、次のようなあんしん設定に関する機能・サービスがありますのでご活用ください。

機能・サービス名称	目　的	参照先
迷惑電話ストップサービス	いたずら電話や悪質なセールス電話などの「迷惑電話」を着信したくない	p.380
番号通知お願いサービス	発信者番号を通知してこない電話を着信したくない	p.381
FirstPass	電子認証サービスを利用することにより、安全で信頼性のあるデータ通信を行いたい ※ FirstPass対応サイトに限ります	p.217 p.237
ソフトウェア更新	必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新したい	p.434
スキャン機能	障害を引き起こすデータからFOMA端末を守りたい	p.443
メール選択受信	大量に届くメールの中から、必要なメールのみを受信したい	p.173

機能・サービス名称	目　的	参照先
「災害用伝言板」サービス	『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。	
メールアドレス変更		
迷惑メール対策 （URL付きメール拒否設定） （受信／拒否設定） （かんたん設定） （iモード／spモードメール大量送信者からのメール受信制限） （SMS拒否設定） （未承諾広告※メール拒否） （メール設定確認）		
メール機能停止／再開		
メールサイズ制限		
ケータイお探しサービス		
イマドコかんたんサーチ		

音声呼び出し／読み上げ

音声で呼び出す

音声で読み上げる

音声で電話帳を呼び出す

電話帳を音声で呼び出せます。〈ボイスダイヤル〉

- 音声とフリガナが一致した電話帳を表示します。
- 該当する電話帳が複数あるときは、該当する電話帳を全て表示します。
- 登録されているフリガナを全て発声しなくても、途中まで当てはまる電話帳を検索して表示します。
- 3文字以上32文字以下の音声を認識します。33文字以降は発声しても認識されません。
- 発声によっては、近い読みの電話帳が表示されることがあります。
- フリガナの英字・数字は1文字ずつ発声してください。たとえば「yomi」は「ワイオーエムアイ」、「10」は「イチゼロ」または「イチレイ」と発声してください。
- 次の文字は認識されません。その部分を抜かして発声してください。
  - 記号
  - 空白
  - フリガナの1文字目や不適切な文字の後ろにある濁点、半濁点、「ン」「ッ」「ー」「ァ」「ィ」「ゥ」「ェ」「ォ」「ャ」「ュ」「ョ」
    〈例〉「ア゛」の「゛」、「ッー」の「ー」、「ヒュゥ」の「ゥ」など
  - 読みの最後にある「ッ」
- フリガナが2文字以下の電話帳は呼び出せません（「ヨミ」、「ww」など）。
- 濁点や半濁点は前の文字と合わせて1文字として認識されます。
- 次の場合は、音声を認識しないことがあります。
  - 周囲の雑音が大きい場合
  - 発声が4秒以内に終わらなかった場合
  - 発声が明瞭でない場合
  - 発声の前後に咳払いをしたり、呼吸音などの雑音を出したりした場合
  - ボタンを押したり、こすったりした場合
- ステレオイヤホンマイク01（別売）などの使用時、マイク部分を口に近づけて発声してください。
- 個人情報表示制限中は、本機能を使用できません。→p.125

1 待受画面で［電話帳］を1秒以上押す

音声で電話帳検索
決定ボタンを押し
受話口を耳にあて
ピーという
発信音の後に
呼び出す相手を
お話しください

2 ［決定］▶受話口から「ピー」と聞こえたら、電話帳のフリガナの読みを発声する

該当する電話帳が50音順に表示されます。

- 電話帳の利用方法→p.86
- 呼び出そうとした電話帳が表示されない場合は、［終話］を押して操作1からやり直してください。
- 音声が認識されなかった場合、その旨のメッセージが表示されます。［決定］を押して操作1からやり直してください。

音声で呼び出す機能を単語登録

機能を音声で呼び出せるように登録できます。〈ボイスメニュー登録〉

- 最大100件登録できます。
- お買い上げ時は、次の機能が登録されています。

呼び出す機能	単語の読み
電話着信時の着信音を選ぶ	チャクシンオン
電話着信時の音量を調節する	オンリョウ
伝言メモを再生する	デンゴン
受信したメールを見る	ジュシンメール
例文を使ってメールを作る	レイブン
メール･メッセージを受信する	トイアワセ
写真を撮影する	シャシンサツエイ
ビデオを撮影する	ビデオサツエイ
写真・画像を見る	シャシンアルバム
ビデオを見る　録音音声を聞く	ビデオアルバム
目覚ましを使う	メザマシ
電卓を使う	デンタク
発信者番号通知を設定する	バンゴウツウチ
自分の電話番号を見る	デンワバンゴウ
電池残量を確認する	デンチザンリョウ

- メニュー画面で表示される機能のみ登録できます。
- 登録済みの機能を複数登録することはできません。

- 新たに機能を登録するとき、登録済みの単語の読みを使用できません。

1 **待受画面で(メニュー)▶「＊設定を行う」▶「8音声で呼び出す機能を登録する」を押す**

登録済みの機能の数と、登録可能な機能の数が表示されます。

2 **決定を押す**

登録済みの機能が「新規登録」の下に表示されます。

3 **「新規登録」を選択▶決定を押す**

登録可能な機能の一覧が表示されます。

4 **登録する機能を選択▶決定を押す**

登録する読みの入力画面が表示されます。

- 登録済みの機能を選択した場合、同じ機能が登録されている旨のメッセージが表示されます。決定を押すと、登録済みの機能の一覧に戻ります。

5 **読みを入力▶決定を押す**

音声呼び出し用の単語を登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと登録済みの機能の一覧に戻ります。

- 半角カタカナで3～10文字入力できます。
- 次の文字を含む単語は登録できません。
  - 空白
  - フリガナの1文字目や不適切な文字の後ろにある濁点、半濁点、「ﾝ」「ｯ」「ｰ」「ｧ」「ｨ」「ｩ」「ｪ」「ｫ」「ｬ」「ｭ」「ｮ」
    〈例〉「ｱﾞ」の「ﾞ」、「ｯｰ」の「ｰ」、「ﾋｭｩ」の「ｩ」など
  - 読みの最後にある「ｯ」
- 登録済みの単語の読みを入力した場合、読みがすでに登録されている旨のメッセージが表示されます。決定を押すと単語の読みの入力画面に戻ります。
- 次の場合は、音声で機能を呼び出せないことがあります。
  - 登録した読みが短いとき
  - 似た読みが他の機能に登録されているとき

音声で呼び出す機能を確認・管理

登録済みの機能の内容を確認したり、読みの変更をしたり、削除したりします。

〈例〉登録済みの機能の内容を確認する

1 **待受画面で(メニュー)▶「＊設定を行う」▶「8音声で呼び出す機能を登録する」を押す**

登録済みの機能の数と、登録可能な機能の数が表示されます。

2 **決定を押す**

登録済みの機能が「新規登録」の下に表示されます。

3 **確認先を選択▶決定を押す**

登録内容が表示されます。

- 決定を押すと登録済みの機能の一覧に戻ります。

■ **登録内容の読みを変更する場合：**

① **変更先を選択▶(電話帳)を押す**

読みの入力画面が表示されます。

② **読みを入力▶決定を押す**

音声呼び出し用の単語を登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと登録済みの機能の一覧に戻ります。

- 半角カタカナで3～10文字入力できます。

■ **登録内容を削除する場合：**

① **削除する機能を選択▶(メニュー)▶「2削除する」を押す**

選択した単語を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

② **「1削除する」を押す**

音声呼び出し用の単語を削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと登録済みの機能の一覧に戻ります。

音声で機能を呼び出す

音声で機能を呼び出して、使用できます。〈ボイスメニュー〉

- 音声で呼び出す機能をあらかじめ登録しておく必要があります。→p.140
- 次の場合は、音声を認識しないことがあります。
  - 周囲の雑音が大きい場合
  - 発声が4秒以内に終わらなかった場合
  - 発声が明瞭でない場合
  - 発声が中断された場合
  - 発声の前後に咳払いをしたり、呼吸音などの雑音を出したりした場合
  - ボタンを押したり、こすったりした場合
- ステレオイヤホンマイク01（別売）などの使用時、マイク部分を口に近づけて発声してください。
- 次の機能は、音声で呼び出すことができません。
  - セルフモード中に使用できない機能→p.124
  - 履歴表示制限中に使用できない機能→p.125
  - 個人情報表示制限中に使用できない機能→p.125
  - ダイヤル発信制限中に使用できない機能→p.126

1 **待受画面で(ﾒﾆｭｰ)を1秒以上押す**

音声で機能呼出
決定ボタンを押し
受話口を耳にあて
ピーという
発信音の後に
呼び出す機能を
お話しください

2 **決定▶受話口から「ピー」と聞こえたら、登録済みの単語の読みを発声する**

呼び出した機能が表示されます。

- 呼び出そうとした機能が表示されない場合は、(終話)を押して操作1からやり直してください。
- 音声が認識されなかった場合、その旨のメッセージが表示されます。決定を押して操作1からやり直してください。

音声読み上げを設定する

読み上げの動作、声質、速さ、音量を設定します。

- 動作を「自動で読み上げ」または「手動で読み上げ」にすると、音声読み上げが利用できます。→p.143

1 **待受画面で(ﾒﾆｭｰ)▶「[*]設定を行う」▶「[7]音声読み上げを使う」▶「[1]音声読み上げを設定する」を押す**

音声読み上げの設定画面が表示されます。
項目の意味は次のとおりです。

[1] **動作**：読み上げの動作（自動／手動）を設定または解除します。
[2] **声質**：読み上げの声質（女声／男声）を設定します。
[3] **速さ**：読み上げの速さを調節します。
[4] **音量**：読み上げの音量を調節します。

2 **「[1]動作」を押す**

読み上げる動作の選択画面が表示されます。

3 **「[1]自動で読み上げ」または「[2]手動で読み上げ」を押す**

読み上げる声質の選択画面が表示されます。

■ **音声読み上げを利用しない場合：「[3]読み上げなし」を押す**
操作7に進みます。

4 **「[1]女性の声」または「[2]男性の声」を押す**

読み上げる速さの選択画面が表示されます。

5 **(メール)(iα)を押して速さを変更▶決定を押す**

読み上げる音量の調節画面が表示されます。

6 **(メール)(iα)(◁)(▷)または(+)(−)を押して音量を調節▶決定を押す**

操作1の設定画面に戻ります。

7 **(電話帳)を押す**

音声読み上げを設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 動作を「自動で読み上げ」または「手動で読み上げ」にすると、通知画面の閉じかたの設定（→p.34）に関わらず、通知画面は手動で閉じます。
- 操作4～6で[読み上げ]を押すと、選択している声質、速さ、音量で説明を読み上げます。

音声読み上げの送出先切り替え

音声読み上げ時に、音声をスピーカーから出すか受話口から出すかを設定します。

- スピーカーから出る音は、受話口から出る音より大きく聞こえます。必ず耳からFOMA端末を離してください。

1 待受画面で[メニュー]▶「[*]設定を行う」▶「[7]音声読み上げを使う」▶「[3]音声読み上げの送出先を選ぶ」を押す

音声送出先の選択画面が表示されます。

2 「[1]スピーカー」または「[2]受話口」を押す

音声送出先を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 新着お知らせの音の送出先も本設定に従います。
- ステレオイヤホンマイク01（別売）などを接続すると、音声はイヤホンからのみ聞こえます。

マナーモード中の読み上げ設定

マナーモード中に受話口から読み上げが聞こえるようにするかどうかを設定します。

1 待受画面で[メニュー]▶「[*]設定を行う」▶「[7]音声読み上げを使う」▶「[4]マナーモード中に読み上げを使う」を押す

2 「[1]読み上げる」または「[2]読み上げない」を押す

マナーモード中の読み上げの動作を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 「読み上げる」に設定すると、マナーモード中は次のような動作になります。
  - 音声読み上げの送出先切り替えの設定（→p.143）に関わらず、受話口から聞こえます。
  - 新着お知らせの音も受話口から聞こえます。
  - 音声読み上げの設定やバイブレータ設定に関わらず、「名前の読み上げ」に設定した着信音は受話口から聞こえ、バイブレータが「パターンD」で振動します。

機能説明や情報などの読み上げ

機能の説明や画面に表示されている内容などを、FOMA端末が音声で読み上げます。

- 音声読み上げの設定（→p.142）の動作が「自動で読み上げ」または「手動で読み上げ」のときに読み上げが行えます。
- 音声読み上げに対応する画面では[読み上げアイコン]が表示されます。読み上げ中は[読み上げアイコン]が点滅します。

■「自動で読み上げ」に設定しているとき

音声読み上げに対応する画面が表示されたり、対応する項目を選択したり、対応する操作をしたりしたときに自動的に読み上げます。

- 「手動で読み上げ」に設定したときの操作も行えます。

■「手動で読み上げ」に設定しているとき

音声読み上げに対応する画面の表示中や、対応する項目を選択中に[読み上げ]を押すと読み上げます。

- 「手動で読み上げ」に設定していても、自動的に読み上げられる項目があります。

- 次の場合は、[読み上げ]を1秒以上押すと通常と異なる読み上げを行います。
  - 文字入力中：カーソル位置から句点のある位置または改行位置、文末まで読み上げます。
  - サイト表示中：カーソルのある項目以降を続けて読み上げます。
  - 使いかたガイドのガイド画面表示中：カーソルのある項目以降を続けて読み上げます。
  - 受信／送信メール詳細画面を表示中：本文の内容のみ読み上げます。
  - メール作成画面を表示中：カーソルのある項目の内容のみ読み上げます。

主な読み上げ項目

音声読み上げを行う主な内容は次のとおりです。ただし、一部読み上げない場合があります。

- メニュー画面やサブメニューの各機能説明※1
- 各機能の設定画面や編集画面などの説明
- 選択している項目や表示している内容（電話帳の内容やサイト表示中の内容、メールやメッセージR/Fの内容など）
- 入力文字※2
- 操作方法
- 充電開始時と完了時のお知らせ※3
- 電池残量1になったときのお知らせ※3、4
- 電池残量がなくなったときのお知らせ※3

※1 実行できないメニューは読み上げません。
※2 暗証番号やパスワードの入力画面などでは読み上げません。
※3 読み上げの動作を「手動で読み上げ」に設定している場合でも、自動で読み上げます。
※4 待受画面が表示されたときに読み上げます。

お知らせ

- 読み上げ中に[+][−]を押すと、読み上げの音量が変更されます。
- ｉモードメールまたはメッセージR/Fに添付されたメロディを自動演奏するように設定している場合、「動作」の設定が「自動で読み上げ」であっても、メロディが添付されたｉモードメールまたはメッセージR/Fを開くとメロディが自動で演奏されます。メロディ演奏の終了後[読み上げ]を押すと読み上げます。→p.188
- 読み上げの動作を「自動で読み上げ」に設定している場合は、待受画面を表示中に[0]～[9]、[*]、[#]を押すと読み上げます。
- 「手動で読み上げ」に設定時、[読み上げ]と[+]／[−]を同時に押すと読み上げない場合があります。

待受画面の情報の読み上げ

日付や時刻、新着情報などの待受画面に表示されている情報を読み上げます。

- 音声読み上げの設定（→p.142）が「自動で読み上げ」の場合も、自動では読み上げません。
- 新着情報がある場合、読み上げ開始時に音でお知らせすることができます。→p.108

1 待受画面で[読み上げ]を押す

次の項目を読み上げます。

- 日付（月日）・曜日・時刻
- 新着情報、未読情報、お知らせ情報
- ｉコンシェルのインフォメーション
- 圏外のお知らせ
- オールロックや公共モードなどの制限機能使用中のお知らせ
- 歩数・活動量の情報
- 電池残量のお知らせまたは充電中のお知らせ
- つながりほっとサポートからのメッセージ

■ ｉチャネルのテロップを読み上げる場合：[読み上げ]を1秒以上押す

- ｉチャネルのテロップが表示されているときに操作できます。

FOMA端末を閉じたまま情報読み上げ

FOMA端末を閉じた状態で、時刻などの背面ディスプレイに表示される情報を読み上げます。

- 音声送出先（→p.143）を「スピーカー」にしてください。
- 新着情報がある場合、読み上げ開始時に音でお知らせすることができます。→p.108

1 FOMA端末を閉じて[読み上げ]を1秒以上押す

次の項目を読み上げます。

- 時刻
- 新着情報
- 開閉ロック中や公共モード中のお知らせ
- 歩数の情報
- 電池残量のお知らせまたは充電中のお知らせ

読み上げの停止

読み上げている音声を、途中で停止します。

1 読み上げ中にを押す

- サイト表示中にを押して読み上げの動作を行ったときは、+－以外のボタンを押すか連続スクロールをしても読み上げが停止されます。
- 表示している画面や表示している項目により、読み上げが停止しない場合があります。

お知らせ

- 音声読み上げ中に次のことが起きると、読み上げが停止されます。
  - 電話がかかってきたとき
  - データ通信を行ったとき
  - 外部機器にデータを送信したとき
  - FOMA端末を閉じたとき
  - 電池残量がなくなったとき
  - 目覚ましや予定の通知の時刻になったとき

音声読み上げのルールについて

メール、サイト、電話帳などの読み上げは、おおむね次の規則に基づいています。読み上げが希望どおりでない場合は、読み上げ用の単語を登録してください。→p.148

■ 数字

- 数字が並んでいる場合は、24桁まで桁読みします。
  ※ 先頭に「0」がある場合は桁読みしません。

文字例	読み上げ例
12345	イチマンニセンサンビャクヨンジューゴ
012345	ゼロイチニーサンヨンゴー

■ 英字

- 音声読み上げ辞書に従って読み上げます。

文字例	読み上げ例
i-mode	アイモード

- 音声読み上げ辞書に登録されていない4文字以上の英字文字列は、次のように読み上げます。
  - すべてローマ字と判定できる場合は、ローマ字読みで読み上げます。
  - すべてローマ字と判定できない場合は、アルファベット読みで読み上げます。

文字例	読み上げ例
yomiage	ヨミアゲ
yomiag	ワイオーエムアイエージー

■ 絵文字・記号

- 絵文字・記号を読み上げます。ただし、表示している画面や項目によっては、一部の記号を読み上げない場合があります。
  絵文字読み上げ一覧→p.402
  記号読み上げ一覧→p.409
- デコメ絵文字®は、メール本文入力画面と送信イメージ確認画面では、画像の題名+「ガゾウ」と読み上げます。それ以外のメール画面では「ガゾウ」と読み上げます。
- メールなどで使われる「(^^)」のような顔文字の一部を読み上げます。
  顔文字読み上げ一覧→p.416
- 同じ絵文字・記号が3つ以上連続する場合は、まとめて読み上げます。
  該当するのは、すべての絵文字と次の記号です。

  〆 （）「」＜＞＋±×÷＝≠≦≧∞∴♂♀°′″℃
  ￥＄¢£％＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼
  ※〒→←↑↓＝∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨¬⇒⇔
  ∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒√∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪
  †‡¶∮Σ∟⊿

文字例	読み上げ例
🍙🍙🍙	サンコノ　オニギリマーク
※※※	サンコノ　コメジルシ　マーク

■ 日付

- 数字を「／」や「.」で区切ると、日付として読み上げます。
  ※ 次の形式以外の場合は日付として読み上げません。

文字例	読み上げ例
2011／4／15	ニセンジューイチネン　シガツ　ジューゴニチ
2011.4.15	
11／4／15	ジューイチネン　シガツ　ジューゴニチ
11.4.15	
4／15	シガツ　ジューゴニチ
H1／9／1	ヘーセーガンネン　クガツ　ツイタチ
S45／1／1	ショーワヨンジューゴネン　イチガツ　ツイタチ
T10／1／1	タイショージューネン　イチガツ　ツイタチ
M10／1／1	メージジューネン　イチガツ　ツイタチ

※ 英字は小文字の場合でも読み上げます。

■ 時刻

- 数字を「：」で区切ると、時刻として読み上げます。
  ※ 次の形式以外の場合は時刻として読み上げません。

文字例	読み上げ例
9：30	クジ　サンジュップン
09：30	
AM11：30	ゴゼン　ジューイチジ　サンジュップン
11：30AM	
PM11：30	ゴゴ　ジューイチジ　サンジュップン
11：30PM	
23：30	ニジューサンジ　サンジュップン
9：30：30	クジ　サンジュップン　サンジュービョー

※ 英字は小文字の場合でも読み上げます。

■ 返信、転送

- 「Re：」「Re＞」「Re［2］：」「Re［2］＞」「Re＊2：」「Re＊2＞」「Re^2：」「Re^2＞」はすべて「ヘンシン」と読み上げます。これらが連続する場合は、「ヘンシン」と一回のみ読み上げます。
- 「Fw：」「Fw＞」「Fw［2］：」「Fw［2］＞」「Fw＊2：」「Fw＊2＞」「Fw^2：」「Fw^2＞」はすべて「テンソー」と読み上げます。これらが連続する場合は、「テンソー」と一回のみ読み上げます。
- 「ヘンシン」と「テンソー」が混ざって複数個連続しても、同様に読み上げます。

文字例	読み上げ例
Re：Fw：Fw：Re＞Re［2］：	ヘンシン　テンソー　ヘンシン

※ 英字は小文字の場合でも読み上げます。

■ サイト内の項目

- ダイレクトキー（1 2･･･）は「キー ×××」と読み上げます。
- ラジオボタン◉は「ボタンオン」、○は「ボタンオフ」と読み上げます。
- チェックボックス☑は「チェックアリ」、□は「チェックナシ」と読み上げます。
- プルダウンメニューは「センタクメニュー ××× コノセンタクシ」の後、選択されている項目を読み上げます。
- 文字入力欄は「モジニューリョク」と読み上げます。文字が入力済みのときは、入力されている文字も読み上げます。
- パスワード入力欄が未入力のときは「パスワード」、入力済みのときは「パスワードニューリョクスミ」と読み上げます。
- ボタンは「×××ボタン」と読み上げます。
- サイトの内容を読み上げているときは、項目を読み上げた後に「ピピッ」という区切り音が鳴ります。
- サイトを表示すると、ページのタイトルを最初に読み上げます。ページの最初の項目を選択してもページタイトルを読み上げます。
- サイトの内容を表示中にを押すと、選択している項目を読み上げます。また、を1秒以上押すと、表示しているページの選択している項目以降をすべて読み上げます。
- サイトのリンク項目は、設定と違う声質（「女性の声」に設定しているときは「男性の声」）で読み上げます。

- サイトのリンク情報以外の文字を選択した場合は、深緑色に反転表示されます。なおサイトの背景、文字、リンク項目の反転表示の色により、読み上げる反転表示の色が変更されることがあります。
- サイトの項目によっては、絵文字などを読み上げない場合があります。

■ 使いかたガイドのガイド画面表示中

- を押すと、選択している項目を読み上げます。また、を1秒以上押すと、表示しているページの選択している項目以降をすべて読み上げます。
- 項目を読み上げたあとに、「ピピッ」という区切り音が鳴ります。
- 他のガイド画面や機能へのリンク項目は、設定と違う声質（「女性の声」に設定しているときは「男性の声」）で読み上げます。
- リンク情報以外の文字を選択した場合は、深緑色に反転表示されます。

■ 文字入力時

- 文字入力画面でを押すと、入力済みの文字をすべて読み上げます。
  「↵」（改行マーク）を連続して2つ以上入力して1行空いている場合、読み上げを区切ります。
  「↵」（改行マーク）を入力して改行し、続けて文章を入力した場合は、区切らずにそのままつなげて読み上げます。
  なお、「↵」（改行マーク）は読み上げません。
- 文字入力画面でを1秒以上押すと、カーソル位置から、文末または句点（「。」）、改行（「↵」）位置までを読み上げます。このとき句点は「～クテン」、改行は「～カイギョー」、句点に連続して改行がある場合は、「～クテンカイギョー」と読み上げます。
  カーソル位置が文末にある場合は、「ブンマツデス」と読み上げます。
- デコメール®の場合は、文字入力画面でまたは（1秒以上）を押したときに装飾内容を読み上げます。
  - 背景色がある場合は、本文を読み上げる前に「ハイケーショク×××」と読み上げます。
  - 文字色や文字サイズの変更がある文字の前に「モジショク×××」「モジサイズ×××」と読み上げ、変更が終了した文字の後に「モジソーショクシューリョー」と読み上げます。
  - 挿入された画像は、画像の題名＋「ガゾウ」と読み上げます。
  - 点滅やテロップ、スウィングが開始される文字の前に「×××カイシ」と読み上げ、終了した文字の後に「×××シューリョー」と読み上げます。
  - 位置指定の変更がある場合は「イチシテイ×××」と読み上げ、行の終わりに「イチシテイシューリョー」と読み上げます。
  - 罫線は、「ケイセン」と読み上げます。色がついている場合は、続けて「イロ×××」と読み上げます。
- 音声読み上げ設定を「自動で読み上げ」に設定している場合は、文字入力画面でを押してカーソルを移動すると、次のとおり自動で読み上げます。
  - ：を1秒以上押したときと同様に読み上げます。ただし、文頭でを押したときは、「ブントウデス」と読み上げたあとに、文頭から文末または句点（「。」）、改行（「↵」）位置までを読み上げます。
  - ：移動先のカーソル位置の文字の読みを読み上げます。文字が漢字の場合は、続けて解説を読み上げます。文字に装飾している場合は、続けて装飾内容を読み上げます。点滅やテロップ、スウィングの途中の文字では「×××アリ」と読み上げます。デコメ絵文字®の場合は、画像の題名＋「ガゾウ」に続けてファイルサイズを読み上げます。
    カーソル位置が文末の場合は「ブンマツデス」と読み上げ、文末でを押すと半角空白が追加され「クウハクツイカ」と読み上げます。文頭でを押すと、「ブントウデス」と読み上げ、続けて文頭の文字を読み上げます。
  - 候補選択リストにカーソルが移動したときは「ヨソクコウホセンタク」と読み上げ、続けてカーソル位置の候補を読み上げます。
- 文字入力画面でを押して変換した文字や、変換候補一覧でカーソル位置の各文字の解説を読み上げます。

文字例	読み上げ例
好調になって	コノム　ノ　コウ　シラベル　ノ　チョウ　ニ　ナ　ツ　コモジ　テ
校長になって	ガッコウ　ノ　コウ　ナガイ　ノ　チョウ　ニ　ナ　ツ　コモジ　テ

- 候補選択リストでは、カーソル位置の候補の読みと各文字の解説を読み上げます。

文字例	読み上げ例
校長になって	コウチョウニナッテ ガッコウ　ノ　コウ　ナガイ ノ　チョウ　ニ　ナ　ツ　コモ ジ　テ

- 音声読み上げ設定を「自動で読み上げ」に設定している場合、文字入力画面で電話帳を押して複数の文節を変換時（→p.368）に変換部分確定すると、決定した文節の読みを読み上げた後に、次の変換範囲の各文字の解説を読み上げます。
- 文字をコピー／切り取りしたとき、コピー／切り取りした旨のメッセージの後に、コピー／切り取りした文字を続けて読み上げます。

■ その他

- 受信／送信メール詳細画面で を押すと、メール番号、日付・時刻、宛先／送信元、題名、本文の順に読み上げます。 を1秒以上押すと、本文のみ読み上げます。
- 「は」を含む外来語（カタカナ語）がひらがなで表記された場合は、読みかたを誤る場合があります。

文字例	読み上げ例
はんどる	ワンドル
ふるはうす	フルワウス

- 読み上げの音声は自然の音声とは異なるため、聞きづらい音やアクセントになる場合があります。
- 句読点（「。」「、」）がある場合は、句読点の位置で読み上げを区切ります。
- 漢字を使用した場合、正しく読み上げない場合もあります。メールでの読み誤りを減らすには、よくメールをやりとりする相手に次のことをお願いすることをおすすめします。
  - 句読点を多めに使ってメールを作成してください。
  - 読みが難しい漢字はカタカナにしてください。
  - カタカナを使うときは長音（「ー」）を使用してください。
- 電話帳の名前の読み上げは、登録されている「フリガナ」を読み上げます。「フリガナ」が登録されていないときは、名前に入力された文字を読み上げます。
- 単語によってはフリガナの登録時に長音（「ー」）を使用すると、より自然に読み上げます。
- メールやサイトの内容を読み上げ中に または を押すと、読み上げが一時停止する場合があります。

- 画像や動画／ｉモーション、メロディなどの題名やファイル名が数字の羅列になっている場合は、桁読みを行わずに数字を読み上げます。

文字例	読み上げ例
12345	イチニーサンヨンゴー

音声読み上げ辞書に単語を登録

音声読み上げ辞書に、単語の読みを読上辞書データとして追加することができます。〈音声読み上げ単語登録〉
たとえば、お買い上げ時に「ゴジュウミネ」と読み上げられる「五十嶺」の読みを「イソミネ」と登録すると、読み上げに対応したすべての画面で「イソミネ」と読み上げられるようになります。

- 最大100件登録できます。

1 **待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「7音声読み上げを使う」▶「2音声読み上げの単語を登録する」を押す**
登録済みの単語の数と、登録可能な単語の数が表示されます。

2 **決定を押す**
登録済みの単語が「新規登録」の下に表示されます。

3 **「新規登録」を選択▶決定を押す**
単語の入力画面が表示されます。

4 **単語を入力▶決定を押す**
読みの入力画面が表示されます。
- 全角8文字、半角16文字以内で入力できます。

5 **読みを入力▶決定を押す**
読み上げる単語を登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと登録済みの単語の一覧に戻ります。
- 半角カタカナで32文字以内で入力できます。
- 次の場合は登録できません。
  - 濁点や半濁点を付けられない文字の次に濁点や半濁点を入力した場合
  - 先頭に濁点、半濁点、「ッ」「ー」を入力した場合
  - 「ッ」の直後に「ー」を入力した場合
  - 空白

- 長音を含む単語の場合、長音部分に「ー」を使うと、読み上げ音声が自然に聞こえることがあります。

音声読み上げ単語の確認・管理

登録した音声読み上げ単語の登録内容を確認したり、読みを変更したり、削除したりします。

〈例〉単語の登録内容を確認する

1 **待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「7音声読み上げを使う」▶「2音声読み上げの単語を登録する」を押す**

登録済みの単語の数と、登録可能な単語の数が表示されます。

2 **決定を押す**

登録済みの単語が「新規登録」の下に表示されます。

3 **確認先を選択▶決定を押す**

単語の登録内容が表示されます。

- 決定を押すと、登録済みの単語の一覧に戻ります。

■ 登録内容の読みを変更する場合：

① **登録先を選択▶電話帳を押す**
単語の入力画面が表示されます。

② **単語を入力▶決定を押す**
読みの入力画面が表示されます。
- 全角8文字、半角16文字以内で入力できます。

③ **読みを入力▶決定を押す**
読み上げる単語を登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと登録済みの単語の一覧に戻ります。
- 半角カタカナで32文字以内で入力できます。

■ 登録内容を削除する場合：

① **削除する単語を選択▶メニュー▶「2削除する」を押す**
選択した単語を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

② **「1削除する」を押す**
音声読み上げ用の単語を削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと登録済みの単語の一覧に戻ります。

メール

ｉモードメールを作成する

ｉモードメールを受信・操作する

メールの設定を行う

メッセージサービスを利用する

緊急速報「エリアメール」を利用する

SMSを使う

メールを管理する

メールの便利な機能

ｉモードメールとは

ｉモードを契約するだけで、ｉモード対応端末間はもちろん、インターネットを経由してe-mailでのやりとりができます。
テキスト本文に加えて、合計2Mバイト以内のデータ（写真やビデオなど）を10個まで添付することができます。また、デコメール®にも対応しており、メール本文の文字の色や大きさ、背景色を変えられるほか、デコメ絵文字®も使えて、簡単に表現力豊かなメールを送ることができます。

- ｉモードメールの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- ｉモードご契約時のメールアドレスは次のようになります。

新規にｉモードをご契約の場合
@マークより前がランダムな英数字の組み合わせになっていますので、ｉモード契約後にお客様のメールアドレスをご確認ください。
〈例〉abc1234～789xyz@docomo.ne.jp

自分のメールアドレスを確認・変更する

現在設定しているメールアドレスを確認・変更します。

1 待受画面で［メール］▶「7メールアドレスを確認・変更する」を押す
サイトに接続されます。

2 画面の指示に従ってメールアドレスを確認または変更する
- 以降の操作は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

お知らせ
- らくらくｉメニューの「お客様サポート／お知らせ」を選択▶［決定］▶「メール設定」を選択▶［決定］を押すと、同様に操作できます。

メール

簡単な操作でｉモードメールを作成・送信

簡単な操作方法でｉモードメールを作成して送信します。〈簡単メール作成・送信〉

〈例〉文章のみを作成して送信する

1 待受画面で［メール］を1秒以上押す

<メール作成画面>

- 前回、簡単メール作成でメールを作成した場合は、操作4に進みます。

2 ［電話帳］を押す

簡単メール作成に切替えますか？
1切替える
2元の画面に戻る

3 「1切替える」を押す

簡単ﾒｰﾙ作成:新規
送りたいメールを選んでください
1文章のみ
2ﾃﾞｺﾚｰｼｮﾝﾒｰﾙ
3ビデオ・音声
4写真
5手書きメモ
6トルカ

4 「1文章のみ」を押す

簡単ﾒｰﾙ作成:新規
宛先を入力してください
宛先：<指定なし>
1最近送信した人
2最近受信した人
3電話帳から選ぶ
4直接入力する

■ デコレーションメールを作成する場合：「2デコレーションメール」を押す
- 以降の操作は「メール作成中にテンプレートを使う」操作3～4をご覧ください。→p.163
  操作後に操作4の画面が表示されます。
- 題名が未入力だった場合のみ、テンプレートの題名が入力されます。
- すでに本文を入力していると操作できません。

■ ビデオを撮影して添付する場合（ｉモーションメール）：「3ビデオ・音声」▶「1今から撮影する」を押す
- 以降の操作は「■ビデオを撮影して添付する場合（ｉモーションメール）」操作②～④をご覧ください。→p.167
  操作後に操作4の画面が表示されます。

■ 音声を録音して添付する場合（音声メール）：「3ビデオ・音声」▶「2今から録音する」を押す
- 以降の操作は「■音声を添付する場合（音声メール）」操作②～④をご覧ください。→p.167
  操作後に操作4の画面が表示されます。

■ ビデオ・音声をアルバムから選択して添付する場合：「3ビデオ・音声」▶「3アルバムから選ぶ」を押す
- 以降の操作は「■ビデオ・音声をアルバムから選択して添付する場合」操作②～③をご覧ください。→p.168
  操作後に操作4の画面が表示されます。

■ 写真を撮影して添付する場合：「4写真」▶「1今から撮影する」を押す
- 以降の操作は「■写真を撮影して添付する場合」操作②～④をご覧ください。→p.168
  操作後に操作4の画面が表示されます。

■ 写真をアルバムから選択して添付する場合：「4写真」▶「2アルバムから選ぶ」を押す
- 以降の操作は「■写真をアルバムから選択して添付する場合」操作②～③をご覧ください。→p.168
  操作後に操作4の画面が表示されます。

■ 手書きメモを撮影して添付する場合（手書きメール）：「5手書きメモ」を押す
- 以降の操作は「■手書きメモを撮影して添付する場合（手書きメール）」操作②～④をご覧ください。→p.169
  操作後に操作4の画面が表示されます。

■ トルカを添付する場合：「6トルカ」を押す
- 以降の操作は「■トルカを添付する場合」操作②をご覧ください。→p.169
  操作後に操作4の画面が表示されます。

5 「4直接入力する」▶宛先を入力▶決定を押す

簡単ﾒｰﾙ作成:新規
宛先を入力してください
宛先:docomo.taro
1この宛先を編集
2次へ進む
3他の宛先を編集

- 半角英数字50文字以内で入力します。
- ｉモード端末にメールを送信するときは、メールアドレスの「@docomo.ne.jp」は省略できます。
- 半角英字入力モード時に1：「.」「@」「-」などを入力できます。
- 半角英字入力モード時に＊：「@docomo.ne.jp」「.com」「.or.jp」などを入力できます。

■ 最近送受信した履歴から選択する場合：「1最近送信した人」または「2最近受信した人」▶送信する履歴を選択▶決定を押す
操作5の画面に戻ります。
- 電話帳：押すたびに一覧画面と詳細画面が切り替わります。

■ 電話帳から選択する場合：「3電話帳から選ぶ」▶電話帳を検索▶送信する相手を選択▶決定▶メールアドレスを選択▶決定を押す

操作5の画面に戻ります。

- 検索方法→p.84

6 「2次へ進む」を押す

簡単ﾒｰﾙ作成:新規
題名を
入力してください
題名:

1直接入力する
2例文から選ぶ
3次へ進む

■ 操作4で音声を録音して添付したとき

次の画面が表示されます。

簡単ﾒｰﾙ作成:新規
宛先: docomo.tar
題名: 音声メール
添付 5.3KB
20110415101000
音声付メールです

1このまま送信
2題名本文を変更

- 題名に「音声メール」、本文に「音声付メールです。」と入力されます。
  1このまま送信：このままｉモードメール（音声メール）を送信します。操作13に進みます。
  2題名本文を変更：題名と本文を変更します。操作6の画面が表示されます。

■ 操作4で手書きメモを添付したとき

次の画面が表示されます。

簡単ﾒｰﾙ作成:新規
宛先: docomo.tar
題名: 手書きﾒｰﾙ
添付 15.4KB
20110415101000
手書きメールです

1このまま送信
2題名本文を変更

- 題名に「手書きメール」、本文に「手書きメールです。」と入力されます。
  1このまま送信：このままｉモードメール（手書きメール）を送信します。操作13に進みます。
  2題名本文を変更：題名と本文を変更します。操作6の画面が表示されます。

■ 宛先を編集する場合：

① 「1この宛先を編集」を押す
操作4の画面に戻ります。

② 宛先を編集▶決定を押す
操作5の画面に戻ります。

■ 他の宛先を編集する場合：

- 複数の宛先がある場合に操作できます。

① 「3他の宛先を編集」▶編集するメールアドレスを選択▶決定を押す
操作4の画面に戻ります。

② 宛先を編集▶決定▶電話帳を押す
操作5の画面に戻ります。

7 「1直接入力する」▶題名を入力▶決定を押す

操作6の画面に戻ります。

- 全角100文字、半角200文字以内で入力します。
- 受信側の端末によっては、題名をすべて受信できない場合があります。
- 音声で文字入力できます。→p.374

■ 例文から選択する場合：

① 「2例文から選ぶ」を押す
例文一覧が表示されます。

② 例文を選択▶決定を押す
例文を読み込んだ旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと操作6の画面に戻ります。

- すでに入力中の項目がある場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。画面の内容については「メール作成時に例文を使う」操作3をご覧ください。→p.160

8 「3次へ進む」を押す

簡単ﾒｰﾙ作成:新規
本文を
入力してください
本文:

1本文を編集する
2次へ進む

9 「1本文を編集する」▶本文を入力▶決定を押す

操作8の画面に戻ります。

- 全角5000文字、半角10000文字以内で入力します。
- #：文中で改行することができます（半角数字入力モード時を除く）。
- 音声で文字入力できます。→p.374

10 「2次へ進む」を押す

簡単メール作成：新規
宛先：docomo.tar
題名：おはようご
お元気ですか。
こんどの日曜日に
おじゃまします。
48バイト

本文に入力済みの文字と装飾の合計バイト数

- メニュー：作成したｉモードメールを修正します。操作3の画面が表示されます。データが添付されている場合は、添付のデータはこのままで良いかの確認画面が表示されます。「1このまま送る」を押すと操作5の画面が表示されます。

11 内容を確認▶決定を押す

簡単メール作成：新規
メールを
送信しますか？
1送信する
2保存して終了

1 **送信する：**ｉモードメールを送信します。
2 **保存して終了：**作成したｉモードメールを未送信メールのフォルダに保存して終了します。→p.170

12 「1送信する」を押す

ｉモードメールが送信されます。
送信が終了すると、送信した旨のメッセージが表示されます。

- 接続中画面で決定：接続を中止します。
- 送信中画面で電話帳：送信を中止します。
- 圏外のときは、圏外の旨のメッセージが表示されます。
  圏内自動送信に設定しているｉモードメールが5件未満の場合は決定を押すと、自動送信するよう設定するかどうかの確認画面が表示されます。
  以降の操作は「圏内自動送信を設定する」をご覧ください。→p.157
  圏内自動送信に設定しているｉモードメールが5件以上の場合は決定を押すと、メール作成画面に戻ります。

13 決定を押すまたは約5秒後に待受画面に戻る

お知らせ

- 簡単メール作成・送信についての注意事項は「ｉモードメールの作成・送信」のお知らせをご覧ください。→p.158

iモードメールの作成・送信

iモードメールを作成して送信します。〈iモードメール作成・送信〉

1 待受画面で[メール]を1秒以上押す

<メール作成画面>

- 簡単メール作成画面が表示されたときは、[電話帳]▶「1切替える」を押します。

2 宛先欄を選択▶[決定]を押す

宛先の入力方法の選択画面が表示されます。

■ ワンタッチダイヤルボタンから宛先を選択する場合：**宛先欄を選択▶ワンタッチダイヤルボタン[1]～[3]のいずれかを押す**

ワンタッチダイヤルに登録した名前が宛先欄に入力されます。

操作4に進みます。

- ワンタッチダイヤルにはあらかじめ登録しておく必要があります。→p.92
- すでに宛先が入力された宛先欄を選択して操作すると、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きするときは「1上書きする」を押します。

3 「4直接入力する」▶宛先を入力▶[決定]を押す

操作1の画面に戻ります。

- 半角で最大50文字入力できます。
- iモード端末にメールを送信するときは、メールアドレスの「@docomo.ne.jp」は省略できます。
- 半角英字入力モード時に[1]：「.」「@」「-」などを入力できます。
- 半角英字入力モード時に[＊]：「@docomo.ne.jp」「.com」「.or.jp」などを入力できます。

■ 最近送受信した履歴から選択する場合：**「1最近送信した人」または「2最近受信した人」▶送信する履歴を選択▶[決定]を押す**

操作1の画面に戻ります。選んだ宛先が宛先欄に入力されています。

- [電話帳]：押すたびに一覧画面と詳細画面が切り替わります。

■ 電話帳から宛先を選択する場合：**「3電話帳から選ぶ」▶電話帳を検索▶送信する相手を選択▶[決定]▶メールアドレスを選択▶[決定]を押す**

操作1の画面に戻ります。電話帳の名前が宛先欄に入力されています。

- 検索方法→p.84

4 題名欄を選択▶[決定]▶題名を入力▶[決定]を押す

操作1の画面に戻ります。

- 全角100文字、半角200文字以内で入力します。
- 受信側の端末によっては、題名をすべて受信できない場合があります。
- 音声で文字入力できます。→p.374

5 本文欄を選択▶[決定]▶本文を入力▶[決定]を押す

操作1の画面に戻ります。

- 全角5000文字、半角10000文字以内で入力します。
- [#]：文中で改行することができます（半角数字入力モード時を除く）。
- 音声で文字入力できます。→p.374

■ 署名を挿入する場合：**本文欄を選択▶[決定]▶[メニュー]▶「6署名を挿入する」を押す**

署名が入力された本文入力画面に戻ります。

- 署名はあらかじめ登録しておく必要があります。→p.186

■ 本文の表示サイズを変更する場合：

① **[メニュー]▶「＊表示サイズを変更」を押す**

表示サイズの選択画面が表示されます。

② **「1大きく表示」～「3小さく表示」のいずれかを押す**

表示サイズを変更した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すか、約5秒たつとメール作成画面に戻ります。

6 「送信する」を選択▶決定を押す

iモードメールが送信されます。
送信が終了すると、送信した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと待受画面に戻ります。

- 接続中画面で決定：接続を中止します。
- 送信中画面で電話帳：送信を中止します。
- 圏外のときは、圏外の旨のメッセージが表示されます。
  圏内自動送信に設定しているiモードメールが5件未満の場合は決定を押すと、自動送信するよう設定するかどうかの確認画面が表示されます。
  以降の操作は「圏内自動送信を設定する」をご覧ください。→p.157
  圏内自動送信に設定しているiモードメールが5件以上の場合は決定を押すと、メール作成画面に戻ります。

■ **メールのサイズを確認する場合：メニュー▶「0メールサイズを確認」を押す**
サイズが表示されます。決定を押すとメール作成画面に戻ります。

圏内自動送信の設定について

圏外のためにiモードメールを送信できないときは、圏内に移動したときに自動送信するように設定できます。

- 最大5件設定できます。
- 圏内自動送信の設定を解除することができます。→p.166

圏内自動送信を設定する

圏外にいるときにiモードメールを送信しようとすると、圏外の旨のメッセージが表示されます。決定を押すと、圏内自動送信の設定画面が表示されます。

圏内に移動したら
自動送信するよう
設定しますか？
1設定する
2設定しない

1 **設定する：**圏内自動送信を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと待受画面に戻ります。
圏内自動送信を設定したiモードメールは未送信メールのフォルダに保存されます。→p.170

2 **設定しない：**メール作成画面に戻ります。通常のiモードメールとして未送信メールのフォルダに保存されます。→p.170

圏内になると

圏内になると、圏内自動送信に設定したiモードメールが自動的に送信されます。
送信が終了すると、送信した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約3秒たつと待受画面に戻ります。

- 送信が完了するまで、最大2回再送されます。

■ **送信に失敗したとき**

- 自動送信中に中断したときや失敗したときは、送信に失敗したメールがある旨のメッセージが表示されます。FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「自動送信メール失敗」と表示されます。決定を押すか、約5秒たつと待受画面に戻り、お知らせ情報（→p.25）と✉が表示されます。
  失敗したiモードメールは未送信メールのフォルダに保存されます。→p.170
  保存されたiモードメールは自動で再送信されませんので、未送信メールから再送信してください。→p.166
- 未送信メールのフォルダ（→p.170）に保存された圏内自動送信に失敗したiモードメールを選択して決定を押すと、失敗の理由が表示されます。
- 未送信メールのフォルダ（→p.170）のフォルダ一覧を表示すると、お知らせ情報（→p.25）と✉は消えます。

お知らせ

- 送信が正常に終了したときは、ｉモードメールが送信メールのフォルダ（→p.170）に保存されます。送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護されていない古い送信メールから順に削除されます。残しておきたい送信メールは保護してください。→p.208
- 未送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、メールを作成できない旨のメッセージが表示され、ｉモードメールを作成できません。未送信メールのフォルダから不要なｉモードメール、SMSを削除してください。→p.207
- 送信するｉモードメールのサイズが未送信／送信メールの保存領域の空きを超えるときは、不要な未送信／送信メールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。送信する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のメールを削除します。
- デコメ絵文字®を使用すると、デコメール®として送信されます。
- デコメール®を作成するとディスプレイに[アイコン]が表示されます。
- 絵文字を入力したｉモードメールを他社携帯電話に送信すると、自動的に受信側の類似絵文字に変換されます。ただし、受信側の携帯電話の機種や機能によって正しく表示されないことや、該当する絵文字がない場合に文字または〓に変換されることがあります。
- 一部の絵文字は、相手のｉモード端末の機種によっては正しく表示されない場合があります。
- 電波状態により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- 送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、ｉモードメールは未送信メールのフォルダに保存されます。未送信メールのフォルダからｉモードメールを編集して送信できます。→p.166
- ｉモードメールを正常に送信できていても、電波状態によっては「送信できませんでした」というエラーメッセージが表示される場合があります。
- 送信を中止したときに、操作のタイミングによっては送信される場合があります。送信されたメールは、未送信メールのフォルダに保存されます。→p.170
- シークレットコードを登録してドコモ以外のメールアドレスにｉモードメールを送信した場合、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。

メールの宛先追加

ｉモードメールを最大5人の相手に同時に送信できます。

1 待受画面で[メール]を1秒以上▶メールを編集する

メール作成画面が表示されます。

- 簡単メール作成画面が表示されたときは、[電話帳]▶「[1]切替える」を押します。
- 編集方法は「ｉモードメールの作成・送信」操作2～5をご覧ください。→p.156

2 [メニュー]▶「[7]宛先を追加」を押す

宛先の種類の選択画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

[1]**宛先（To）**：送信相手のメールアドレスを入力します。宛先（To）に1件も入力していないメールは送信できません。

[2]**Cc**：直接の送信相手（宛先（To））以外にメールの内容を知らせたい宛先を追加します。

[3]**Bcc**：宛先（To）やCcに設定した送信相手に知らせたくない宛先を追加します。入力したメールアドレスは他の送信相手には表示されません。

■ **宛先種別（宛先（To）、Cc、Bcc）を変更する場合：変更する宛先を選択▶[メニュー]▶「[9]宛先種別を変更」▶「[1]宛先（To）」～「[3]Bcc」のいずれかを押す**

メール作成画面に戻ります。

■ **宛先を削除する場合：削除する宛先を選択▶[メニュー]▶「[8]宛先を削除」▶「[1]削除する」を押す**

メール作成画面に戻ります。

3 「[1]宛先（To）」～「[3]Bcc」のいずれかを押す

宛先の選択画面が表示されます。

4 宛先の入力方法を選択し、宛先を入力する

メール作成画面に戻ります。

- 宛先の入力方法は、「ｉモードメールの作成・送信」操作3以降をご覧ください。→p.156
- 宛先をさらに追加する場合は、操作2～4を繰り返し行います。

お知らせ

- 「宛先（To）」と「Cc」に入力したメールアドレスは、受信側に表示されます。ただし、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、表示されない場合があります。

ボタン2つでメールを作成

ボタンを2つ押すだけで、短縮ダイヤルを設定（→p.98）した相手の宛先が入力されたｉモードメールやSMSの作成画面を表示することができます。〈ツータッチメール〉

〈例〉ｉモードメールを作成する

1 待受画面で電話帳No（0～9）を入力▶✉を押す

宛先が入力されてｉモードメール作成画面が表示されます。

- 以降の操作は「簡単な操作でｉモードメールを作成・送信」操作4以降→p.152、「ｉモードメールの作成・送信」操作4以降をご覧ください。→p.156

■ **SMSを作成する場合：電話帳No（0～9）を入力▶✉を1秒以上押す**

宛先が入力されてSMS作成画面が表示されます。

- 以降の操作は「SMSを作成して送信する」操作4以降をご覧ください。→p.197

お知らせ

- 入力した電話帳Noの電話帳に電話番号やメールアドレスを登録していない場合、宛先がない／該当する電話帳がない旨のメッセージが表示されます。決定を押すと、宛先が設定されていないｉモードメール／SMS作成画面が表示されます。
- 複数の電話番号やメールアドレスを登録している相手を選択してメールを作成すると、1件目の電話番号やメールアドレスが宛先に設定されます。

例文を利用してメールを作成

あらかじめ登録されている例文を呼び出して内容を追加・修正するだけで、簡単にｉモードメールを作成できます。〈メール例文〉

- お買い上げ時は次の例文が登録されています。

題　名	本　文
電話ください	手が空いたら連絡ください。
もうすぐ着きます	駅まで迎えに来てください。
今、行きます	今、待ち合わせ場所に向かっています。
到着が遅れます	すみません、待ち合わせに遅れます。
遅くなります	ご飯はいりません。また連絡します。
急用ができました	急用ができました。また連絡します。
電車の中です	今、電車の中なので、後で連絡します。
御礼申し上げます	先日はありがとうございました。楽しかったです。
ご無沙汰してます	ご無沙汰しております。お暇なときにでもメールください。
今から帰ります	○○時ごろ、家に着きます。

- SMSには使用できません。

例文からｉモードメールを作成

例文を選んでｉモードメールを作成します。

1 待受画面で✉▶「3例文を使ってメールを作る」を押す

例文一覧が表示されます。

- 電話帳：例文の内容を表示します。

2 読み込む例文を選択▶決定を押す

例文の内容が入力されたメール作成画面が表示されます。

- 以降の操作は「簡単な操作でｉモードメールを作成・送信」操作4以降→p.152、「ｉモードメールの作成・送信」操作2以降をご覧ください。→p.156

メール作成時に例文を使う

ｉモードメール作成中に例文を選んで作成します。

1 待受画面で[メール]を1秒以上押す

メール作成画面が表示されます。

- 簡単メール作成画面が表示されたときは、[電話帳]▶「1切替える」を押します。

2 [メニュー]▶「6例文を使う」▶「1例文を呼び出す」を押す

例文一覧が表示されます。

3 読み込む例文を選択▶[決定]を押す

例文を読み込んだ旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すか、約5秒たつとメール作成画面に戻ります。

- 以降の操作は「ｉモードメールの作成・送信」操作2以降をご覧ください。→p.156
- すでに入力中の項目がある場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。
  「1本文のみ上書き」を押すと、本文に入力中の文章を消去して例文を読み込みます。
  「2すべて上書き」を押すと、入力中の文章を消去して例文を読み込みます。
  「3上書きしない」を押すと、例文の読み込みを中止します。

例文を編集して保存

登録されている例文の内容を編集します。

- お買い上げ時に登録されている例文を編集しても、お買い上げ時の内容に戻すことができます。→p.161

1 待受画面で[メール]▶「8メールを設定する」▶「2例文・テンプレートを確認・編集する」▶「1例文」を押す

例文一覧が表示されます。

2 編集する例文を選択▶[メニュー]▶「1編集する」を押す

例文編集画面が表示されます。

3 例文を編集▶[電話帳]を押す

保存先の選択画面が表示されます。

- 編集方法は「ｉモードメールの作成・送信」操作2～5をご覧ください。→p.156

4 保存先の例文を選択▶[決定]を押す

例文を上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

5 「1上書きする」を押す

例文を上書きした旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すか、約5秒たつと例文一覧に戻ります。

作成したｉモードメールを例文として保存

作成した例文を登録されている例文に上書き保存します。

- 最大10件登録できます。
- 添付データは例文に保存できません。
- お買い上げ時に登録されている例文に上書きしても、お買い上げ時の内容に戻すことができます。→p.161

1 待受画面で[メール]を1秒以上▶メールを編集する

- 簡単メール作成画面が表示されたときは、[電話帳]▶「1切替える」を押します。
- 編集方法は「ｉモードメールの作成・送信」操作2～5をご覧ください。→p.156

2 [メニュー]▶「6例文を使う」▶「2例文に保存」を押す

保存先の選択画面が表示されます。

3 保存先の例文を選択▶[決定]を押す

例文に保存するかどうかの確認画面が表示されます。

4 「1保存する」を押す

例文を保存した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すか、約5秒たつとメール作成画面に戻ります。

例文のリセット

上書きした例文をお買い上げ時の内容に戻します。

〈例〉例文を1件リセットする

1 **待受画面で(メール)▶「8メールを設定する」▶「2例文・テンプレートを確認・編集する」▶「1例文」を押す**
例文一覧が表示されます。

2 **初期化する例文を選択▶(メニュー)▶「2初期状態に戻す」▶「1選択1件」を押す**
例文をお買い上げ時の状態に戻した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと例文一覧に戻ります。

■ **すべての例文をお買い上げ時の状態に戻す場合：(メニュー)▶「2初期状態に戻す」▶「2全件」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す**
全ての例文をお買い上げの状態に戻した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと例文一覧に戻ります。

デコメール®の作成・送信

iモードメール本文の文字サイズや背景色の変更、撮影した写真やお買い上げ時に登録されているデコメ®ピクチャ、デコメ絵文字®の挿入などの装飾をして送信できます。〈デコメール®作成・送信〉

- 送信できるデコメール®のサイズは100Kバイト以内です。100Kバイトのうち本文に貼り付けできる画像は最大20種類で90Kバイト以内です。
- デコメール®を非対応端末に送信すると、閲覧用URLが記載されたメールを受信します。

1 **待受画面で(メール)を1秒以上押す**
メール作成画面が表示されます。
- 簡単メール作成画面が表示されたときは、(電話帳)▶「1切替える」を押します。

2 **本文欄を選択▶決定▶(電話帳)を押す**
装飾方法一覧が表示されます。

3 **装飾の操作を行う**
- 装飾したときに、本文の入力文字数を超える場合は、これ以上入力できない旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと元の画面に戻ります。

■ **デコメ®ピクチャを挿入する場合：「1デコメピクチャ挿入」▶フォルダを選択▶決定▶デコメ®ピクチャを選択▶決定を押す**
デコメ®ピクチャが挿入された本文入力画面に戻ります。

■ **テンプレートを呼び出す場合：**
① **「2テンプレート呼出し」を押す**
テンプレート一覧が表示されます。
② **テンプレートを選択▶決定を押す**
テンプレートを設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとテンプレートが設定された本文入力画面に戻ります。
- すでに本文が入力されている場合は、本文を挿入する位置の選択画面が表示されます。挿入位置を選択▶決定▶決定▶「1挿入する」を押します。

■ **文字色を変更する場合：**
① **「3文字色を変更」▶「1色指定なし」～「#灰色」のいずれかを押す**
文字色を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと本文入力画面に戻ります。
② **本文を入力する**

■ **文字サイズを変更する場合：**
① **「4文字サイズを変更」▶「1大」～「3小」のいずれかを押す**
文字サイズを変更した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと本文入力画面に戻ります。
② **本文を入力する**
- デコメ絵文字®は変更できません。

■ 画像を撮影して挿入する場合：

① 「5画像を挿入する」▶「1今から撮影する」を押す

写真撮影画面が表示され、ランプが約1秒間隔で点滅します。

② 被写体にカメラを向けて決定を押す

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、充電ランプが点灯して写真が撮影されます。

撮影した写真の確認画面が表示されます。

③ 決定を押す

写真を保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと撮影した画像が挿入された本文入力画面に戻ります。

■ 画像をアルバムから選択して挿入する場合：「5画像を挿入する」▶「2アルバムから選ぶ」▶フォルダを選択▶決定▶画像を選択▶決定を押す

選択した画像が挿入された本文入力画面に戻ります。

- microSDカード内の90Kバイトを超える画像を選択して決定を押すとデータを添付できない旨のメッセージが表示されます。決定を押すと本文入力画面に戻ります。
- 「ｉモードで探す」を選択して決定▶「1接続する」を押すと、ｉモードサイトから画像を探せます。→p.228

■ 文字に動きをつける場合：

① 「6点滅／動き設定」▶「1点滅開始」～「3スウィング開始」のいずれかを押す

文字の動作を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと本文入力画面に戻ります。

② 本文を入力する

- 範囲を選択して装飾を変更する場合は、「1設定する」または「2解除する」を押します。

■ 文字位置を変更する場合：

① 「7文字位置を変更」▶「1左寄せ」～「3右寄せ」のいずれかを押す

文字の位置を変更した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと本文入力画面に戻ります。

② 本文を入力する

■ 罫線を引く場合：「8罫線を引く」を押す

「文字色」で設定された色で罫線が挿入された本文入力画面に戻ります。

■ 背景色を変更する場合：「9背景色を変更」▶「1色指定なし」～「#灰色」のいずれかを押す

背景色を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと背景色が変更された本文入力画面に戻ります。

- 画面配色設定を「白黒反転」にしているときは背景色を「白」にしても黒で表示されますが、設定はされています。背景色以外の装飾を行うと白で表示されます。

■ 入力済みの文字の範囲を選択して装飾を変更する場合：

① 「0範囲を指定する」▶開始位置を選択▶決定を押す

終了位置の選択画面が表示されます。

- メニュー：全文を選択します。

② 終了位置を選択▶決定を押す

装飾方法一覧が表示されます。

- メニュー：開始位置から文頭までを選択します。
- 電話帳：開始位置から文末までを選択します。

③ 「1文字色を変更」～「7デコレーションなし」のいずれか▶装飾の操作を行う

- 装飾方法は「デコメール®の作成・送信」操作3をご覧ください。→p.161

■ カーソル位置の装飾を解除して文字を入力する場合：「*デコレーションなし」を押す

デコレーションをなしに設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと本文入力画面に戻ります。

- 範囲を選択して解除した場合は、選択したデコメ絵文字®やデコメ®ピクチャの解除の確認画面が表示されます。解除する場合は「1設定する」を押します。

■ 設定されている装飾をすべて解除する場合：「#デコレーション全解除」▶「1全て解除する」を押す

デコレーションを全解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと本文入力画面に戻ります。

4 決定を押す
送信イメージ確認画面が表示されます。

5 決定を押す
メール作成画面に戻ります。
- 以降の操作は「iモードメールの作成・送信」操作2以降をご覧ください。→p.156

テンプレートを利用してデコメール®を作成

お買い上げ時に保存されているテンプレートやダウンロードしたものを利用して、装飾したiモードメール（デコメール®）を作成できます。〈テンプレート〉
- お買い上げ時には50件のテンプレートが保存されています。
- 最大100件保存できます。→p.450
- デコメール®を非対応端末に送信すると、閲覧用URLが記載されたメールを受信します。
- 本書では「デコメール®テンプレート」や「メールテンプレート」を「テンプレート」と記載しています。

メール作成中にテンプレートを使う

メール作成中にテンプレートを読み込んでデコメール®を作成します。

1 待受画面で✉を1秒以上押す
メール作成画面が表示されます。
- 簡単メール作成画面が表示されたときは、電話帳▶「1切替える」を押します。

2 メニュー▶「5テンプレートを使う」▶「1テンプレート呼出し」を押す
テンプレート一覧が表示されます。
- すでに本文が入力されていると、テンプレートに本文を挿入するかどうかの確認画面が表示されます。「1挿入する」を押すとテンプレート一覧が表示されます。

3 読み込むテンプレートを選択▶電話帳を押す
テンプレート詳細画面が表示されます。
- 電話帳：テンプレート一覧に戻ります。
- 「iモードで探す」を選択して決定▶「1接続する」を押すと、iモードサイトからテンプレートを探せます。→p.164

4 内容を確認▶決定を押す
テンプレートを設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメール作成画面に戻ります。
- 以降の操作は「iモードメールの作成・送信」操作2以降をご覧ください。→p.156
- すでに本文が入力されている場合は、本文を挿入する位置の選択画面が表示されます。挿入位置を選択▶決定▶決定▶「1挿入する」を押します。

テンプレートを編集して保存

保存されているテンプレートの内容を編集します。

1 待受画面で✉▶「8メールを設定する」▶「2例文・テンプレートを確認・編集する」▶「2テンプレート」を押す
テンプレート一覧が表示されます。

2 編集するテンプレートを選択▶メニュー▶「1編集する」を押す
テンプレート編集画面が表示されます。

3 テンプレートを編集▶電話帳を押す
保存先の選択画面が表示されます。
- 編集方法は「デコメール®の作成・送信」操作2～4をご覧ください。→p.161

4 「〈新規保存〉」を選択▶決定を押す
テンプレートを保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとテンプレート一覧に戻ります。

■ 保存済みのテンプレートを上書きする場合：保存先のテンプレートを選択▶決定▶「1上書きする」を押す
テンプレートを上書きした旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとテンプレート一覧に戻ります。

テンプレートを作成して保存

作成または送受信したデコメール®をテンプレートとして保存します。

〈例〉作成したデコメール®を保存する

1 待受画面で［メール］を1秒以上押す

メール作成画面が表示されます。

- 簡単メール作成画面が表示されたときは、［電話帳］▶「1切替える」を押します。

■ **受信メールを保存する場合：待受画面で［メール］▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶［決定］▶テンプレートに登録するメールを選択▶［決定］▶［メニュー］▶「0登録する」▶「5テンプレート登録」▶［電話帳］を押す**

保存先の選択画面が表示されます。
操作4に進みます。

■ **送信メールを保存する場合：待受画面で［メール］▶「5送信したメールを見る」▶フォルダを選択▶［決定］▶テンプレートに登録するメールを選択▶［決定］▶［メニュー］▶「9登録する」▶「5テンプレート登録」▶［電話帳］を押す**

保存先の選択画面が表示されます。
操作4に進みます。

2 装飾の操作を行う

- 装飾方法→p.161「デコメール®の作成・送信」操作2～5

3 ［メニュー］▶「5テンプレートを使う」▶「2テンプレートに保存」を押す

保存先の選択画面が表示されます。

4 「〈新規保存〉」を選択▶［決定］を押す

保存した旨のメッセージが表示されます。［決定］を押すか、約5秒たつとメール作成画面に戻ります。

■ **保存済みのテンプレートを上書きする場合：保存先のテンプレートを選択▶［決定］▶「1保存する」または「1上書きする」を押す**

保存した旨のメッセージが表示されます。［決定］を押すか、約5秒たつとメール作成画面に戻ります。

テンプレートのダウンロード

サイトからテンプレートをダウンロードし、FOMA端末に保存します。

- ダウンロードできるテンプレートのサイズは200Kバイトです（本文が10000バイト以下、挿入画像の合計が90Kバイト以下のテンプレートを保存できます）。

1 テンプレートのあるサイトを表示し、ダウンロードするテンプレートを選択▶［決定］を押す

操作方法の選択画面が表示されます。

- ダウンロード中に［電話帳］：ダウンロードを中止します。

2 「2保存する」を押す

保存するテンプレートの情報画面が表示されます。

■ **テンプレートを表示する場合：「1表示する」を押す**

テンプレートの内容が表示されます。［決定］を押すと操作方法の選択画面に戻ります。

3 ［決定］を押す

テンプレートを保存した旨のメッセージが表示されます。［決定］を押すか、約5秒たつとサイト表示に戻ります。

- テンプレート一覧に保存されます。→p.163

■ **題名を変更して保存する場合：**

① **［メニュー］▶「1題名を編集する」▶題名を入力▶［決定］を押す**

題名が変更されて保存するテンプレートの情報画面に戻ります。

- 全角10文字、半角20文字以内で入力します。

② **［決定］を押す**

テンプレートを保存した旨のメッセージが表示されます。［決定］を押すか、約5秒たつとサイト表示に戻ります。

お知らせ

- テンプレートの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なテンプレートを削除するかどうかの確認画面が表示されます。テンプレートを保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のテンプレートを削除します。

テンプレートの削除

保存されている不要なテンプレートを削除します。

〈例〉テンプレートを1件削除する

1 **待受画面で[メール]▶「8メールを設定する」▶「2例文・テンプレートを確認・編集する」▶「2テンプレート」を押す**

テンプレート一覧が表示されます。

2 **削除するテンプレートを選択▶[メニュー]▶「5削除する」を押す**

削除するテンプレートの選択画面が表示されます。

3 **「1選択1件」を押す**

テンプレートを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ すべてのテンプレートを削除する場合：
「2全件」▶端末暗証番号を入力▶[決定]を押す

4 **「1削除する」を押す**

テンプレートを削除した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すか、約5秒たつとテンプレート一覧画面に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時に「テンプレート」に登録されているテンプレートを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。
  アクセス方法（2012年2月現在）
  待受画面で[iモード]▶「1 i Menuを見る」▶「メニューリスト」▶「ケータイ電話メーカー」▶「@Fケータイ応援団」

  サイトアクセス用
  QRコード

※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

作成中のｉモードメールをあとで送信

作成中のｉモードメールを送信せずに保存したり、保存したｉモードメールを再編集して送信したりできます。〈ｉモードメール保存〉

作成中のｉモードメールの保存

作成したｉモードメールを送信せずに保存します。
- 保存したｉモードメールは未送信メールのフォルダに保存されます。→p.170

1 **待受画面で[メール]を1秒以上▶メールを編集する**

メール作成画面が表示されます。
- 簡単メール作成画面が表示されたときは、[電話帳]▶「1切替える」を押します。
- 編集方法は「ｉモードメールの作成・送信」操作2～5をご覧ください。→p.156

2 **[メニュー]▶「2保存する」を押す**

メールを保存した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すか、約5秒たつと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 未送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要な未送信メールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内の未送信メールを削除します。

送信・保存したｉモードメールの編集・送信

送信したｉモードメールや、送信せずに保存したり送信に失敗したりした未送信のｉモードメールを、編集して送信できます。

〈例〉未送信メールを再編集する

1 **待受画面で[メール]▶「4未送信のメールを見る」▶フォルダを選択▶[決定]を押す**

未送信メール一覧が表示されます。

■ **送信メールを再編集する場合：待受画面で[メール]▶「5送信したメールを見る」▶フォルダを選択▶[決定]を押す**

2 **編集するｉモードメールを選択▶[決定]を押す**

編集中のメール作成画面が表示されます。

■ **送信したメールを再編集する場合：編集するｉモードメールを選択▶[電話帳]を押す**

- 以降の操作は「簡単な操作でｉモードメールを作成・送信」操作5以降→p.153、「ｉモードメールの作成・送信」操作2以降をご覧ください。→p.156

圏内自動送信の設定を解除

圏外のときに設定したｉモードメールの圏内自動送信を解除します。

1 **待受画面で[メール]▶「4未送信のメールを見る」▶フォルダを選択▶[決定]▶圏内自動送信が設定されているｉモードメールを選択▶[メニュー]▶「8圏内送信解除」を押す**

圏内自動送信設定を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1解除する」を押す**

圏内自動送信設定を解除した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すか、約5秒たつと未送信メール一覧に戻ります。

お知らせ

- 次の場合でも圏内自動送信の設定は解除されます。
  - 未送信メールのフォルダ（→p.170）に保存された圏内自動送信を設定したｉモードメールを選択▶[決定]を押した場合
  - ドコモUIMカードを差し替えた場合
  - 接続先変更（→p.235）で接続先または接続先アドレスを変更した場合

ｉモードメールにデータを添付して送信

ｉモードメールに写真やビデオなどのデータを添付して送信できます。〈データ添付〉

- 添付データは最大10件、合計2Mバイトまで添付できます。
- 添付できるデータは次のとおりです。
  - ビデオ・音声（動画／ｉモーション）
  - 写真（静止画・画像）
  - メロディ
  - 手書きメモ（静止画）
  - トルカ
- データによっては添付できないものがあります。
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているデータ（この端末でファイル制限を「設定する」にしたデータを除く）、ドコモUIMカードのセキュリティ機能が設定されているデータは添付できません。

1　待受画面で✉を1秒以上押す

メール作成画面が表示されます。

- 簡単メール作成画面が表示されたときは、電話帳▶「1切替える」を押します。

2　添付欄を選択▶決定を押す

添付データの選択画面が表示されます。

3　「1ビデオ・音声」～「5トルカ」のいずれかを押す

- 撮影済みの手書きメモを添付する場合は「■写真をアルバムから選択して添付する場合」の操作を行います。→p.168

■ ビデオを撮影して添付する場合（i モーションメール）：

① **「1ビデオ・音声」▶「1今から撮影する」を押す**

ビデオ撮影画面が表示されます。
ランプが約1秒間隔で点滅します。

- メニュー：撮影時の設定ができます。→p.258

② **被写体にカメラを向けて決定を押す**

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、撮影が開始され、充電ランプが約3秒間隔で点滅します。

撮影終了までの時間の目安
撮影終了までの目安

- 撮影終了までの時間の目安が00：00：00になると、撮影が自動的に終了します。
- メニュー：撮影が休止／再開されます。押すたびに確認音が鳴ります。
撮影休止中はランプが点灯します。

③ **決定を押す**

終了確認音が鳴り、撮影が終了します。

- メニュー：撮影したビデオを保存せずにビデオ撮影画面に戻ります。
- 電話帳：撮影したビデオを再生します。

④ **決定を押す**

ビデオを保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと撮影したビデオが添付されたメール作成画面に戻ります。

- 撮影したビデオは、ビデオ・音声一覧の「撮影したビデオ」アルバムに保存されます。→p.300

■ 音声を添付する場合（音声メール）：

- 音声はマイクから録音されます。周囲の雑音が少ないできるだけ静かな所で録音してください。
- 音声は1件につき最大約60秒録音できます。

① **「1ビデオ・音声」▶「2今から録音する」を押す**

音声録音画面が表示されます。
ランプが約1秒間隔で点滅します。

② **決定を押す**

録音確認音が鳴り録音が開始され、充電ランプが約5秒間隔で点滅します。

録音終了までの時間の目安
録音終了までの目安

- 録音終了までの時間の目安が00：00：00になると、録音が自動的に終了します。
- メニュー：録音が休止／再開されます。押すたびに確認音が鳴ります。
録音休止中はランプが点灯します。

③ **決定を押す**

終了確認音が鳴り、録音が終了します。

- メニュー：録音した音声を保存せずに音声録音画面に戻ります。
- 電話帳：録音した音声を再生します。

④ **決定を押す**

音声を保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと録音した音声が添付されたメール作成画面に戻ります。

- 録音した音声は、ビデオ・音声一覧の「録音した音声」アルバムに保存されます。→p.300

■ ビデオ・音声をアルバムから選択して添付する場合：

①「1ビデオ・音声」▶「3アルバムから選ぶ」を押す
アルバム一覧が表示されます。

②アルバムを選択▶決定▶動画／ｉモーションを選択▶決定を押す
ビデオ／音声を送信するかの確認画面が表示されます。
- 選択した動画／ｉモーションによっては、送信方法の選択画面が表示されます。選択画面については「動画／ｉモーション添付のｉモードメールを作成」のお知らせをご覧ください。→p.302
- microSDカード内のデータを選択した場合は、選択画面は表示されず、動画／ｉモーションが添付されたメール作成画面に戻ります。
- 「ｉモードで探す」を選択して決定▶「1接続する」を押すと、ｉモードサイトからｉモーションを探せます。→p.240

③「1このまま送る」を押す
選択した動画／ｉモーションが添付されたメール作成画面に戻ります。

■ 写真を撮影して添付する場合：

①「2写真」▶「1今から撮影する」を押す
写真撮影画面が表示され、ランプが約1秒間隔で点滅します。
- メニュー：撮影時の設定ができます。→p.258

②被写体にカメラを向けて決定を押す
撮影確認音（シャッター音）が鳴り、充電ランプが点灯して写真が撮影されます。
撮影した写真の確認画面が表示されます。
- メニュー：撮影した写真を保存せずに写真撮影画面に戻ります。

③決定を押す
写真を保存した旨のメッセージが表示されます。
決定を押すか、約5秒たつと大きさを小さくするかどうかの確認画面が表示されます。

④「1小さくして送る」または「2このまま送る」を押す
撮影した写真が添付されたメール作成画面に戻ります。
- 「小さくして送る」を選択すると、横縦（または縦横）のサイズが240×320（ドット）に収まるように変換されます。
- 撮影した写真は、写真・画像一覧の「撮影した写真」アルバムに保存されます。→p.294

■ 写真をアルバムから選択して添付する場合：

①「2写真」▶「2アルバムから選ぶ」を押す
アルバム一覧が表示されます。

②アルバムを選択▶決定▶画像を選択▶決定を押す
大きさを小さくするかどうかの確認画面が表示されます。
- 画像サイズの横縦（または縦横）が240×320（ドット）より小さい場合は、表示されません。

③「1小さくして送る」または「2このまま送る」を押す
選択した画像が添付されたメール作成画面に戻ります。
- 「小さくして送る」を選択すると、横縦（または縦横）のサイズが240×320（ドット）に収まるように変換されます。
- 「ｉモードで探す」を選択して決定▶「1接続する」を押すと、ｉモードサイトから画像を探せます。→p.228

■ メロディを添付する場合：

①「3メロディ」を押す
フォルダ一覧が表示されます。

②フォルダを選択▶決定▶メロディを選択▶決定を押す
選択したメロディが添付されたメール作成画面に戻ります。
- 「ｉモードで探す」を選択して決定▶「1接続する」を押すと、ｉモードサイトからメロディを探せます。→p.229

■ 手書きメモを撮影して添付する場合（手書きメール）：

①「4手書きメモ」を押す

撮影画面が表示され、ランプが約1秒間隔で点滅します。

- メニュー：撮影時の設定ができます。→p.258

② 手書きメモにカメラを向けて決定を押す

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、充電ランプが点滅して撮影され、補正されます。

OKです☺
待ち合わせは
10:00に
駅前で！
晴れるといいですね。

- メニュー：撮影した手書きメモを保存せずに撮影画面に戻ります。
- 電話帳：押すたびに歪みの補正あり／補正なしが切り替わります。

③ 決定を押す

写真を保存した旨のメッセージが表示されます。

決定を押すか、約5秒たつと大きさを小さくするかどうかの確認画面が表示されます。

④「1小さくして送る」または「2このまま送る」を押す

撮影した手書きメモが添付されたメール作成画面に戻ります。

- 「小さくして送る」を選択すると、横縦のサイズが240×320（ドット）に収まるように変換されます。
- 撮影した手書きメモは、写真・画像一覧の「撮影した写真」アルバムに保存されます。→p.294

■ トルカを添付する場合：

①「5トルカ」を押す

フォルダ一覧が表示されます。

② フォルダを選択▶決定▶トルカを選択▶決定を押す

選択したトルカが添付されたメール作成画面に戻ります。

- トルカの詳細を添付できる場合は、詳細を含めてメールに貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。貼り付けるときは、「1詳細を含める」を押します。
- トルカの詳細が添付できない場合は、詳細は含まれないがメールに貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。貼り付けるときは、「1貼り付ける」を押します。

4 ｉモードメールを編集して送信する

- 以降の操作は「ｉモードメールの作成・送信」操作2以降をご覧ください。→p.156

お知らせ

- 音声／写真／ビデオの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要な写真／ビデオを削除するかどうかの確認画面が表示されます。録音／撮影する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のデータを削除します。
- 2Mバイト対応機種以外のｉモード端末にビデオを送信する場合は、「メール添付・小」で撮影したビデオサイズ（容量）をおすすめします。
- 音声／ビデオの撮影についての注意事項は「ビデオ撮影をする」のお知らせをご覧ください。→p.257
- 受信側の端末が対応していない添付データは、ｉモードセンターで削除されたり、正しく表示や再生されなかったりします。
- 添付データのサイズによっては、送信するまでに時間がかかる場合があります。また、送信後に送信メールのフォルダから大量にメールが削除される場合があります。

添付データの追加／解除

ｉモードメールに添付するデータを追加したり、解除したりします。

〈例〉添付データを1件解除する

1 待受画面で[メール]を1秒以上▶メールを編集する

メール作成画面が表示されます。

- 簡単メール作成画面が表示されたときは、[電話帳]▶「[1]切替える」を押します。
- 編集方法は「ｉモードメールにデータを添付して送信」操作2～3をご覧ください。→p.167

2 解除する添付データを選択▶[メニュー]▶「[3]添付データ」を押す

操作の選択画面が表示されます。

3 「[2]解除する」を押す

添付データを解除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 添付データを追加する場合：「[1]追加する」を押す

- 以降の操作は「ｉモードメールにデータを添付して送信」操作3をご覧ください。→p.167

■ 添付データを全件解除する場合：「[3]全て解除する」を押す

4 「[1]解除する」を押す

添付データが解除され、メール作成画面に戻ります。

未送信／送信したｉモードメールを見る

保存した未送信メールや送信した送信メールを表示します。〈未送信／送信メール〉

- 未送信／送信メールそれぞれ最大200件保存できます。→p.450
- ケータイデータお預かりサービスを利用できます。→p.132

〈例〉送信したメールを見る

1 待受画面で[メール]▶「[5]送信したメールを見る」を押す

送信メール
保護001/005件
送信箱
会社
友達

保護メール数／全メール件数

- マークの意味は次のとおりです。
  [フォルダ](グレー)：メールが保存されていないフォルダ
  [フォルダ](黒)：メールが保存されているフォルダ
  [iアプリフォルダ]：メール連動型ｉアプリ用のフォルダ

■ 未送信メールを表示する場合：待受画面で[メール]▶「[4]未送信のメールを見る」を押す

2 フォルダを選択▶[決定]を押す

送信箱
001/005件
10:10 docomo…
電話ください
04/14 docomo…
おはようござ…
04/13 docomo…
おはようござ…

フォルダ名
メール番号／フォルダ内件数
送信／保存日時（送信／保存当日：時刻　当日以外：日付）、宛先、題名

<送信メール一覧>

- 宛先を電話帳に登録しているときは電話帳の名前が表示されます。→p.80
- メール連動型ｉアプリ用のフォルダを選択して[決定]を押すと、対応するｉアプリが起動します。ｉアプリを起動せずにメール一覧を表示するときは、フォルダを選択▶[メニュー]▶「[6]一覧を表示」を押します。

- マークの意味は次のとおりです。

マーク		説　明
状　態	表示なし	通常のｉモードメール
		保護されたメール
		歩数計自動送信メール
		圏内自動送信設定中
		圏内／歩数計自動送信失敗
		保護＋圏内自動送信設定中
		保護＋圏内／歩数計自動送信失敗
添　付		画像が添付
		メロディが添付
		動画／ｉモーションが添付
		トルカが添付
		その他データ
		複数添付データあり
		表示できるサイズを超えたデータが添付
SMS		SMS
メール連動型ｉアプリ		メール連動型ｉアプリで利用されるメール

3 表示するｉモードメールを選択▶決定を押す

状態マーク、添付マーク、メール番号／フォルダ内件数

送信箱
001/005件
11/04/15 10:10
docomo.taro.…
docomo-ΔΔ-ta…
電話ください
待ち合わせの場所につきました。
201007301010.…

<送信メール詳細画面>

- 未送信メール一覧でメールを選択▶決定を押すと、メール編集画面が表示されます。→p.166「送信・保存したｉモードメールの編集・送信」操作2
- ：すべて表示されていない場合は、画面をスクロールできます。
- ：前後のメールを表示できます。
- マークの意味は次のとおりです。
  ：送信した日時
  宛：送信先のメールアドレスまたは電話帳の名前
  Cc Bcc：送信先のメールアドレスまたは電話帳の名前→p.158
  題：題名
- 添付データがある場合は、本文の最後に添付マーク、ファイル名、ファイルサイズが表示されます。→p.177

お知らせ

- ｉモードメールに添付されたメロディを自動演奏するように設定している場合（→p.188）、メロディが添付されている送信メールを表示すると、メロディが自動的に再生されます。再生を止めるときは決定または戻るを押します。

ｉモードメールを受信したときは

送信されてきたｉモードメールを自動的に受信し、画面表示や着信音、バイブレータ、ランプでお知らせします。〈メール自動受信〉

- 受信したｉモードメールは受信メールのフォルダに保存されます。→p.174

1 ｉモードメールを受信する

と が点滅し、次の画面が表示されます。

- メール受信中に決定を押すと受信を中止できますが、受信中の状況によってはメールを受信する場合があります。
- 送信元のメールアドレスをワンタッチダイヤルに登録していて、着信画像を設定している場合は、その画像と相手の名前が表示されます。→p.92、p.95
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「メール受信中」が表示されます。受信が完了すると「メール受信」と送信元のメールアドレスまたは電話帳の名前が表示されてメールが表示されます。

2 ｉモードメールの受信結果が表示される

✉が表示されメール着信音が鳴り、ランプが点滅します。

- 受信結果画面が表示されてから約15秒間、またはメール着信音が鳴り終わるまでの間（鳴らす時間を15秒以上に設定している場合）何も操作しないと、自動的に受信前の画面に戻ります。
- すぐに受信前の画面に戻すときは[戻る]を押します。

■ **受信したメールをすぐに確認する場合：「1メール」を押す**

受信メールのフォルダ一覧が表示されます。→p.174

■ **受信に失敗した場合**

「1メール」の後ろに「×」が表示されます。

- メールを受信し直すには、ｉモード問い合わせを行ってください。→p.174

お知らせ

- 受信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護されていない未読以外の古い受信メールから順に削除されます。このとき、受信したメールのサイズによっては大量に消去される場合があります。残しておきたい受信メールは保護してください。→p.208
  未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯で削除できないときは、ｉモードメールの受信は中止され、画面には✉（赤）や✉のマークが表示されます。受信する場合は、未読の受信メールを表示（→p.174）、不要な受信メールの保護を解除（→p.208）してください。
- ｉモードセンターにｉモードメールが残っているときは、■（黒）や■（黒）のマークが表示されます。ただし、ｉモードメールがあっても表示されない場合もあります。また、ｉモードセンターの保管件数が満杯になったときは、マークが■（赤）や■（赤）に変わります。ｉモードセンターに残っているｉモードメールを受信する場合は、ｉモード問い合わせ（→p.174）またはメール選択受信（→p.173）を行ってください。
- 新しいｉモードメールが届いたときは、ｉモードセンターで保管している他のｉモードメールやメッセージR/Fもあわせて受信します。
- メール選択受信設定を「利用する」に設定すると、メールを自動的に受信せずに、必要なメールだけを選択して受信できます。→p.173
- 極端に容量の大きいｉモードメールは、ｉモードセンターで受け付けずに送信元に返信されることがあります。
- 受信メールのデータ量（文字数、添付データ）が100Kバイトまでは自動受信し、100Kバイトを超えると添付データの一部またはすべてを選択受信添付データとして受信します。→p.182
- ｉモードメールを受信すると、ｉモードセンターのｉモードメールは削除されます。
- 次のような場合に送られてきたｉモードメールは、ｉモードセンターに保管されます。
  - 電源が入っていないとき
  - お預かりセンター接続中
  - セルフモード中
  - おまかせロック中
  - FirstPassセンター接続中
  - 受信に失敗したとき
  - ｉモード圏外のとき
  - SMS受信中
  - 赤外線通信中
  - メール選択受信設定が「利用する」に設定されているとき
  - 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯のとき
- 他の機能を起動中※、オールロック中、個人情報表示制限中、開閉ロック中（FOMA端末を開いている状態）にメールを自動受信すると、受信中画面や受信結果画面は表示されず、着信音とランプも動作しません。受信したメールを確認するには、他の機能を終了、各制限を解除してください。
  ※ 電話、エリアメール内容表示画面、カメラ、ストリーミングタイプのｉモーション再生、ｉアプリ、目覚まし、予定の通知、お知らせタイマー、集音器以外の機能の場合、ランプが約1秒間点灯します。また、バイブレータをメール受信時の動作で振動するように設定している場合は、約3秒間振動します。FOMA端末を閉じているときには着信音やバイブレータ、ランプが鳴動しますが、開くと鳴動は停止します。

ｉモードメールを選択して受信する

送信されてきたｉモードメールを自動受信せずに、必要なメールだけを選択して受信するように設定します。〈メール選択受信〉

ｉモードメールを自動受信しないように設定

ｉモードメールを自動受信せずに、必要なメールだけを選択して受信するかを設定します。〈メール選択受信設定〉

1 **待受画面で ▶「8メールを設定する」▶「3メール選択受信を設定する」を押す**

メール選択受信を利用するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1利用する」を押す**

メール選択受信を利用するに設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

■ メール選択受信を利用しない場合：**「2利用しない」を押す**

メール選択受信を利用しないに設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 「利用する」に設定した場合、送られてきたｉモードメールはｉモードセンターに保管され、FOMA端末には自動的に配信されません。ｉモードセンターにメールが届くと「センターにメールがあります」とメッセージが表示されますが、着信音やバイブレータ、ランプは動作しません。決定を押すと元の画面に戻ります。
- オールロック中、おまかせロック中、個人情報表示制限中、開閉ロック中はメッセージが表示されません。
- 「利用する」に設定しても、SMS、メッセージR/F、エリアメールは自動受信します。

必要なメールだけを選択受信

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールの題名などを確認し、受信するｉモードメールを選択したり、受信前に削除したりできます。〈メール選択受信〉

- メール選択受信を利用するには、あらかじめメール選択受信設定を「利用する」に設定しておく必要があります。→p.173
  なお、「利用する」に設定した場合は、自動的にｉモードメールを受信できません。
- メール選択受信設定を「利用する」に設定した場合でも、ｉモード問い合わせを行うと全メールを受信しますので、ｉモードメールを受信したくない場合には、ｉモード問い合わせ設定で問い合わせ項目から「メール」を外しておいてください。→p.174

1 **待受画面で ▶「6メールがあるか問い合わせる」▶「2メール選択受信を行う」を押す**

ｉモードに接続され、ｉモードセンターに保管されているｉモードメールが一覧表示されます。

- メールの末尾のマークの意味は次のとおりです。
  📷：画像が添付
  ♪：メロディが添付
  🎥：ｉモーションが添付
  ▮：トルカが添付
  📄：その他データが添付

2 **メールごとに「保留」を選択▶決定▶「受信」「削除」「保留」のいずれかを選択▶決定を押す**

一覧表示画面に戻ります。

- 「保留」を設定した場合は、そのままｉモードセンターに保管されます。
- ページが複数ある場合には、メール一覧の最後に表示される「前ページ」または「次ページ」を選択▶決定を押すと前後のページを表示できます。

3 **「受信／削除」を選択▶決定を押す**

確認画面が表示されます。

■ ｉモードセンターに保管されている全メールを削除する場合：**「ｉモードセンターから全てのメールを」の「削除」を選択▶決定を押す**

4 「決定」を選択▶決定を押す

「受信」を設定したメールはすぐに受信し、受信結果画面が表示されます。→p.171

iモードメールがあるかを問い合わせる

圏外にいた間や電源を切っていた間などにiモードメールやメッセージR/Fが届いていないかを問い合わせます。〈iモード問い合わせ〉

- 電波状態によってはiモード問い合わせができない場合があります。

1 待受画面で ▶「6メールがあるか問い合わせる」▶「1メール・メッセージを受信する」を押す

iモード問い合わせが実行されます。iモードセンターにiモードメールやメッセージR/Fが保管されていれば受信します。

- iモード問い合わせ中や受信中に決定を押すと、問い合わせを中止できますが、問い合わせの状況によっては受信する場合があります。

iモード問い合わせの内容設定

iモードセンターへ問い合わせをする際に、iモードメール、メッセージR/Fの中から受信する項目を設定します。〈iモード問い合わせ設定〉

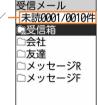
1 待受画面で ▶「6メールがあるか問い合わせる」▶「3問い合わせ内容を選ぶ」を押す

問い合わせを行う項目の選択画面が表示されます。

- 設定状態は次のとおりです。
  ☑: 有効　☐: 無効

2 「1メール」〜「3メッセージF」のうち、選択する項目の番号を押す

☑または☐に変わります。

- メニュー：すべての項目を選択／解除します。
- すべての項目を無効にすると設定できません。いずれかを選択してください。

3 電話帳を押す

問い合わせを行う項目を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

受信したiモードメールを見る

保存されている受信メールを表示します。〈受信メール〉

- お買い上げ時には、「はじめまして」「ベーシック3のご紹介」のメールが「受信箱」フォルダに保存されています。このメールの受信に通信料はかかっていません。また返信することはできません。
- 最大1000件保存できます。→p.450
- ケータイデータお預かりサービスを利用できます。→p.132

1 待受画面で ▶「1受信したメールを見る」を押す

未読メール数／全メール件数

- マークの意味は次のとおりです。
  (グレー)：メールが保存されていないフォルダ
  (黒)：メールが保存されているフォルダ（未読なし）
  : メールが保存されているフォルダ（未読あり）
  : メール連動型iアプリフォルダ（未読なし）
  : メール連動型iアプリフォルダ（未読あり）

メール

2 フォルダを選択▶決定を押す

フォルダ名
メール番号／フォルダ内件数
受信日時（受信当日：時刻 当日以外：日付）、送信元、題名（SMS：本文の先頭）

受信箱
0001/0010件
10:10 docomo…
電話ください
04/14 docomo…
到着します
04/13 docomo…
急用ができま…

<受信メール一覧>

- 送信元を電話帳に登録しているときは、電話帳の名前が表示されます（→p.80）。エリアメールの場合は「エリアメール」と表示されます。
- 題名はｉモードメールによって、表示されない場合があります。また、エリアメールとSMSの場合は本文の先頭が表示されます。
- メール連動型ｉアプリ用のフォルダを選択して決定を押すと、対応するｉアプリが起動します。ｉアプリを起動せずにメール一覧を表示するときは、フォルダを選択▶メニュー▶「6一覧を表示」を押します。
- マークの意味は次のとおりです。

マーク		説　明
状　態		未読メール
	表示なし	既読メール
		保護されたメール
		未読メール（返信済み）
		既読メール（返信済み）
		既読で保護されたメール（返信済み）
		未読メール（返信不可）
		既読メール（返信不可）
		既読で保護されたメール（返信不可）
		未読メール（転送済み）
		既読メール（転送済み）
		既読で保護されたメール（転送済み）

マーク		説　明
添　付		画像が添付
		メロディが添付
		動画／ｉモーションが添付
		トルカが添付
		その他データ
		複数添付データあり
		ｉアプリが添付
		添付データ無効→p.176
		表示できるサイズを超えたデータが添付
SMS		SMS
通　知		情報通知のSMS
メール連動型ｉアプリ		メール連動型ｉアプリで利用されるメール
エリアメール		エリアメール
		メール連動型ｉアプリで利用されるエリアメール

3 ｉモードメールを選択▶決定を押す

メール番号／フォルダ内件数
状態マーク、宛先マーク、添付マーク

受信箱
0001/0010件
11/04/15 10:10
docomo.taro.…
docomo-ΔΔ-ta…
電話ください
待ち合わせの場所につきました。

<受信メール詳細画面>

- ：すべて表示されていない場合は、画面をスクロールできます。
- ：前後のメールを表示できます。
- マークの意味は次のとおりです。

  To Cc Bcc：送信元からどの宛先種別（To、Cc、Bcc）で送られてきたのかを示すマーク

  ：受信した日時

  ：送信元のメールアドレスまたは電話帳の名前

  宛 Cc：送信先のメールアドレスまたは電話帳の名前→p.158

  題：題名

- 添付データがある場合は、次のマークで取得状態を確認できます。

データの種類	データの取得状態					
	取得済み※1	取得済み※2	未取得	取得途中	取得不可	データ不正
画像						
動画／ｉモーション						
メロディ						
トルカ						
その他データ						—

※1 メール添付やこの端末の外へ転送可能なデータ

※2 メール添付やこの端末の外へ転送不可能なデータでその他データの場合はFlash画像のみ表示

- 送信メールにも同様の添付データのマークが表示されます。

お知らせ

- ｉモードメールに添付されたメロディを自動演奏するように設定している場合（→p.188）、メロディが添付されているｉモードメールを表示すると、メロディが自動的に再生されます。再生を止めるときは決定または戻る/チャネルを押します。
- 添付データが受信可能なデータ量（→p.166）を超える場合やこの端末で受信できない場合は削除され、題名の下に「[添付ファイル削除]」とメッセージが追加されます。
- メール本文中にメロディやｉアプリを連携起動できるリンク項目などが複数貼り付けられていると貼り付けられたデータは無効になります。このとき添付マークには?が表示されます。
- パソコンなど、デコメール®対応FOMA端末以外から装飾されたメールを受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。

ｉモードメールに返事を出す

受信したｉモードメールに返事を出します。〈ｉモードメール返信〉

- 受信メールによっては返信できない場合があります。

1 待受画面で✉▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 返信するｉモードメールを選択▶メニュー▶「1返信する」を押す

引用するかどうかの確認画面が表示されます。

- 前回の操作で簡単メール作成を使用していた場合は、引用確認画面は表示されません。操作5に進みます。

3 「1引用する」または「2引用しない」を押す

らくらく返信の本文選択画面が表示されます。

- らくらく返信設定を「利用しない」に設定している場合は、らくらく返信の本文一覧は表示されません。操作5に進みます。
- 複数の宛先に送られた受信メールに返信するときは、返信先の選択画面が表示されます。「1差出人のみ」を押すと、送信元のみに返信します。「2全員に返信」を押すと、自分以外のすべての宛先と送信元に返信します。

4 「〈自分で入力〉」を選択▶決定を押す

■ **らくらく返信を使用する場合：返信する本文を選択▶決定を押す**

選択したらくらく返信本文がメールの本文に挿入されます。

受信メールの送信元のメールアドレスまたは電話帳の名前が入力されます。

先頭に「REX:」（Xは「1」を除く返信回数）の付いた受信メールの題名が入力されます。

メール作成：返信
宛先：docomo.tar
題名：RE:おはよ
本文：了解しまし
添付：
送信する

5 iモードメールを編集して送信する

- 以降の操作は「簡単な操作でiモードメールを作成・送信」操作4以降→p.152、「iモードメールの作成・送信」操作5以降をご覧ください。→p.156
- 返信すると、受信メールの状態マークが、表示なし（既読）／✉／🔑から⮌／✉／🔑に変わります。マークの意味については「受信したiモードメールを見る」操作2をご覧ください。→p.175

お知らせ

- 受信メール一覧で(電話帳)を押しても返信メールを作成できます。→p.187
- 引用返信で引用されるのは、本文と装飾、本文中に貼付された画像（メール添付やFOMA端末外への出力を禁止されていないもの）のみです。

iモードメールを他の宛先に転送する

受信したiモードメールを他の宛先に転送します。〈iモードメール転送〉

1 待受画面で(✉)▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶(決定)を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 転送するiモードメールを選択▶(メニュー)▶「2転送する」を押す

メール作成：転送
宛先：
題名：FW:おはよ
本文：今日は良い
添付：
送信する

先頭に「FWX:」（Xは「1」を除く転送回数）の付いた受信メールの題名が入力されます。

受信メールの本文が入力されます。

3 iモードメールを編集して送信する

- 以降の操作は「簡単な操作でiモードメールを作成・送信」操作5以降→p.153、「iモードメールの作成・送信」操作2以降をご覧ください。→p.156
- 転送すると、受信メールの状態マークが、表示なし（既読）／✉／🔑から➡／✉／🔑に変わります。マークの意味については「受信したiモードメールを見る」操作2をご覧ください。→p.175

お知らせ

- 添付データのあるメールを転送する場合は、添付データを送るかどうかの確認画面が表示されます。添付するときは「1添付して送る」を押します。
- 未取得、取得途中の選択受信添付データは転送するiモードメールに添付されません。
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているデータは転送するメールに添付されません。なお、出力が禁止されていなくても、メロディの種類によっては添付されない場合があります。
- 受信メール本文中に貼り付けられているメロディ、iアプリが起動できるリンク項目は転送するメールには貼り付けられません。

添付データを操作する

iモードメールに添付されているデータを表示・保存します。

〈例〉画像が添付されているiモードメール

受信箱
0001/0010件
11/04/15 10:10
docomo.taro.…
かわいいね！
こんなに大きくなったよ。たまには遊びにきてね。
201104151010…
12.7KB

- END -

添付データのマークとファイル名、ファイルサイズ

＜全体イメージ＞

添付画像の表示・保存

メールに添付されている画像を表示・保存します。
- 最大2000件保存できます。→p.450

1 **待受画面で ▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す**

受信メール一覧が表示されます。

2 **画像が添付されているｉモードメールを選択▶決定を押す**

受信メール詳細画面が表示されます。
- 添付された画像の状態はマークで確認できます。マークの意味については「受信したｉモードメールを見る」操作3をご覧ください。→p.175

3 **保存する画像のファイル名を選択▶決定を押す**

添付データの操作の選択画面が表示されます。

■ 画像の題名を確認する場合：

① **メニュー▶「8添付データを操作」を押す**
- 複数のデータが添付されている場合は、操作する添付データを選択して決定を押します。

② **「5題名を確認」を押す**

題名が表示されます。決定を押すと受信メール詳細画面に戻ります。

■ メール本文中に貼り付けられた画像を保存する場合：**メニュー▶「0登録する」▶「4画像を保存」▶保存する画像を選択▶決定を押す**

操作5に進みます。

4 **「2画像を保存」を押す**

保存する画像の情報画面が表示されます。
- 各項目の説明→p.296

■ 画像の表示／非表示を切り替える場合：**「1画像表示あり／なし」を押す**

■ 待受画面に設定する場合：**「3待受画面に貼る」▶決定▶「1設定する」を押す**

写真・画像一覧の「ｉモード」アルバム（→p.294）に保存され、待受画面に設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと受信メール詳細画面に戻ります。
- ｉアプリ待受画面を設定しているときは、解除するかどうかの確認画面が表示されます。「1解除する」を押すとｉアプリ待受画面が解除され、待受画面に設定されます。

5 **決定を押す**

保存先アルバム選択画面が表示されます。
- フレームを保存する場合は、保存先アルバム選択画面は表示されず、「アイテム」アルバムに保存されます。画像を保存した旨のメッセージが表示され、決定を押すか、約5秒たつと受信メール詳細画面に戻ります。

■ 題名を変更して保存する場合：

① **メニュー▶「1題名を変更」▶題名を入力▶決定を押す**

題名を変更した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと保存する画像の情報画面に戻ります。
- 36文字以内で入力します。

② **決定を押す**

保存先アルバム選択画面が表示されます。

■ 待受画面に設定する場合：

① (メニュー)▶「2画面に貼る」▶「1待受画面」を押す

画像を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

②「1設定する」を押す

写真・画像一覧の「ｉモード」アルバム（→p.294）に保存され、待受画面に設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと受信メール詳細画面に戻ります。

- ｉアプリ待受画面を設定しているときは、解除するかどうかの確認画面が表示されます。「1解除する」を押すとｉアプリ待受画面が解除され、待受画面に設定されます。

■ ワンタッチダイヤル画面に設定する場合：(メニュー)▶「2画面に貼る」▶「2ワンタッチダイヤル画面」▶「1ワンタッチダイヤル1」～「3ワンタッチダイヤル3」のいずれかを押す

写真・画像一覧の「ｉモード」アルバム（→p.294）に保存され、ワンタッチダイヤルに設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと受信メール詳細画面に戻ります。

6 保存先アルバムを選択▶決定を押す

画像を保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと受信メール詳細画面に戻ります。

お知らせ

- 画像の横幅がディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。
- 横縦（または縦横）のサイズが次の大きさを超える画像は保存できません。
  GIF形式：480×960（ドット）
  JPEG形式：3000×4000（ドット）
- フレームとして表示・保存できる画像サイズは横縦（または縦横）が240×400（ドット）です。
- デコメール®では、メール詳細画面本文中に表示される画像のファイル名などは表示されません。
- 画像によっては正しく表示できない場合があります。
- 送信メール詳細画面から操作する場合は、(メニュー)▶「7添付データを操作」を押します。
- 送信メール詳細画面からメール本文中に貼り付けられている画像を保存するときは、(メニュー)▶「9登録する」を押します。
- 画像の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要な写真を削除するかどうかの確認画面が表示されます。画像を保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内の画像を削除します。

添付ｉモーションの再生・保存

メールに添付されているｉモーションを再生・保存します。

- 最大100件保存できます。→p.450

1 待受画面で(メール)▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 ｉモーションが添付されているｉモードメールを選択▶決定を押す

受信メール詳細画面が表示されます。

- 添付されたｉモーションの状態はマークで確認できます。マークの意味については「受信したｉモードメールを見る」操作3をご覧ください。→p.175

3 メニュー▶「8添付データを操作」を押す

添付データ操作の選択画面が表示されます。
- 複数のデータが添付されている場合は、操作する添付データを選択して決定を押します。

■ iモーションを再生する場合：**再生するiモーションのファイル名を選択▶決定を押す**

iモーションが再生されます。再生終了後、受信メール詳細画面に戻ります。
- 再生中の操作については「動画／iモーション再生中の操作」をご覧ください。→p.301

4 「2 iモーションを保存」を押す

保存するiモーションの情報画面が表示されます。
- 各項目の説明→p.303

■ iモーションの題名を確認する場合：**「5題名を確認」を押す**

題名が表示されます。決定を押すと受信メール詳細画面に戻ります。

5 決定を押す

ビデオ／音声を保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと受信メール詳細画面に戻ります。
- ビデオ・音声一覧の「iモード」アルバムに保存されます。→p.300

■ 題名を変更して保存する場合：

① **メニュー▶「1題名を変更」▶題名を入力▶決定を押す**

題名が変更されて保存するiモーションの情報画面に戻ります。
- 36文字以内で入力します。

② **決定を押す**

ビデオ／音声を保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと受信メール詳細画面に戻ります。

■ 着信音に設定する場合：**メニュー▶「2着信音に設定」▶「1電話着信」～「5iコンシェル着信」のいずれかを押す**

保存して着信音に設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと受信メール詳細画面に戻ります。

お知らせ
- iモーションによっては正しく再生できない場合があります。
- 送信メール詳細画面から操作する場合は、メニュー▶「7添付データを操作」を押します。
- iモーションの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なビデオ／音声を削除するかどうかの確認画面が表示されます。iモーションを保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のiモーションを削除します。

添付メロディの再生・保存

メールに添付されているメロディを再生・保存します。
- 最大500件保存できます。→p.450
- 添付されたメロディは、本文の後に添付されているものと、本文中に貼り付けられているものがあります。
- 100Kバイトを超えるメロディは再生・保存できません。

1 待受画面で✉▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 メロディが添付されているiモードメールを選択▶決定を押す

受信メール詳細画面が表示されます。
- 添付されたメロディの状態はマークで確認できます。マークの意味については「受信したiモードメールを見る」操作3をご覧ください。→p.175

3 メニュー▶「8添付データを操作」を押す

添付データ操作の選択画面が表示されます。
- 複数のデータが添付されている場合は、操作する添付データを選択して決定を押します。

■ メロディを再生する場合：**再生するメロディのファイル名（題名）を選択▶決定を押す**

メロディが再生されます。
- 再生中に⊕⊖：音量を調節します。

4 「2メロディを保存」を押す

保存するメロディの情報画面が表示されます。
- 各項目の説明→p.309

■ **メロディの題名を確認する場合：「5題名を確認」を押す**

題名が表示されます。決定を押すと受信メール詳細画面に戻ります。
- 本文中に貼り付けられているメロディの場合は、「4題名を確認」を押します。

5 決定を押す

メロディを保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと受信メール詳細画面に戻ります。
- メロディ一覧の「ｉモード」フォルダに保存されます。→p.308

■ **題名を変更して保存する場合：**

① **メニュー▶「1題名を変更」▶題名を入力▶決定を押す**

題名を変更した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと保存するメロディの情報画面に戻ります。
- 全角25文字、半角50文字以内で入力します。

② **決定を押す**

メロディを保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと受信メール詳細画面に戻ります。

■ **着信音に設定する場合：メニュー▶「2着信音に設定」▶「1電話着信」～「5SMS受信」のいずれかを押す**

保存して着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと受信メール詳細画面に戻ります。

お知らせ

- ｉモードメールに添付されたメロディを自動演奏する設定にしている場合（→p.188）、メロディが添付されているメールを表示すると、メロディが自動的に再生されます。再生を止めるときは決定または戻るを押します。
- 送信元の端末や受信したメロディによっては、正しく再生できない場合があります。
- 送信メール詳細画面からも同様にして再生できます。
- メロディの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なメロディを削除するかどうかの確認画面が表示されます。メロディを保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のメロディを削除します。
- 送信メール詳細画面から操作する場合は、メニュー▶「7添付データを操作」を押します。
- 本文の文字が誤ってメロディとして認識された場合は、受信メール詳細画面でメニュー▶「8添付データを操作」▶「5データ表示あり」を押すと文字として表示できます。データ表示されたメロディの先頭の行で決定を押すと、メロディの表示に戻ります。

添付トルカの表示・保存

メールに添付されているトルカを表示・保存します。
- 最大200件保存できます。→p.450

1 待受画面で✉▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 トルカが添付されているｉモードメールを選択▶決定を押す

受信メール詳細画面が表示されます。
- 添付されたトルカの状態はマークで確認できます。マークの意味については「受信したｉモードメールを見る」操作3をご覧ください。→p.175

3 メニュー▶「8添付データを操作」を押す

添付データ操作の選択画面が表示されます。
- 複数のデータが添付されている場合は、操作する添付データを選択して決定を押します。

■ **トルカを表示する場合：表示するトルカのファイル名を選択▶決定を押す**

トルカが表示されます。戻るを押すと、受信メール詳細画面に戻ります。
- トルカに詳細情報がある場合は、「詳細」を選択▶決定▶「1接続する」を押すと、サイトからダウンロードできます。

4 「2トルカを保存」を押す

保存するトルカの情報画面が表示されます。

■ **トルカの題名を確認する場合：「5題名を確認」を押す**
題名が表示されます。決定を押すと受信メール詳細画面に戻ります。

5 決定を押す

トルカを保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと受信メール詳細画面に戻ります。

- トルカ一覧の「トルカフォルダ」に保存されます。→p.287

お知らせ

- 送信メール詳細画面から操作する場合は、メニュー▶「7添付データを操作」を押します。
- トルカの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なトルカを削除するかどうかの確認画面が表示されます。トルカを保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のトルカを削除します。

その他データの保存

メールに添付されている本FOMA端末に対応していないその他データを保存します。

- 本FOMA端末に対応していないその他データは表示できません。また、microSDカードへの保存および転送のみできます。
- その他データを保存すると、次のとおりその他データの種類によってmicroSDカードの保存先(→p.324)が変わります。
  - Flash画像：画像・音の「その他の画像」内のアルバム
  - 電話帳：個人情報データの「電話帳」
  - スケジュール帳：個人情報データの「スケジュール」
  - ブックマーク：個人情報データの「ブックマーク」
  - 上記以外のその他データ、不正データ：その他のフォルダ

1 待受画面で✉▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 その他データが添付されているｉモードメールを選択▶決定を押す

受信メール詳細画面が表示されます。

- 添付されたその他データの状態はマークで確認できます。マークの意味については「受信したｉモードメールを見る」操作3をご覧ください。→p.175

3 メニュー▶「8添付データを操作」を押す

操作方法の選択画面が表示されます。

- 複数のデータが添付されている場合は、操作する添付データを選択して決定を押します。

4 「1microSDに保存」を押す

microSDに保存するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **その他データのファイル名を確認する場合：「4ファイル名を確認」を押す**
ファイル名が表示されます。決定を押すと受信メール詳細画面に戻ります。

5 「1保存する」を押す

保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと受信メール詳細画面に戻ります。

お知らせ

- 送信メール詳細画面から操作する場合は、メニュー▶「7添付データを操作」を押します。

選択受信添付データを取得する

ｉモードメールに添付された未取得または取得途中の選択受信添付データをダウンロードします。
〈選択受信添付データ〉

- メール本文と添付データの合計サイズが100Kバイトを超える場合は、添付データの一部またはすべてを選択受信添付データとして受信します。なお、その他データはサイズに関わらず、すべて選択受信添付データとして受信します。
- 未取得または取得途中の添付データがあると、受信メール詳細画面にｉモードセンターでの保存期限が表示されます。保存期限が経過すると、ダウンロードできません。
- ダウンロードできるサイズは1件あたり最大2Mバイトです。

1 待受画面で（メールキー）▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 取得するデータが添付されたｉモードメールを選択▶決定を押す

受信箱
す。
可愛く撮れたから送るね。
201104151010…
195.5KB
保存期限:
2011/04/25
－ END －

- 添付データのマークの見かたについては「受信したｉモードメールを見る」操作3をご覧ください。→p.175

3 ファイル名を選択▶決定を押す

ｉモードセンターに接続され、データの受信が始まります。

- 電話帳を押すと、ダウンロードが中断され、再取得するかどうかの確認画面が表示されます。「2取得しない」を押すと、ダウンロードを中止し、中止した部分までメールに保存されます。
- データのダウンロード後の操作は自動受信した添付データの操作と同様です。→p.177

お知らせ

- 選択受信添付データを取得しようとしたときに、FOMA端末の保存領域の空きが足りないときは取得できません。受信済みのｉモードメールの添付データ削除（→p.183）、未読メールの内容表示（→p.174）、保護解除（→p.208）、不要メールの削除（→p.207）などを行ってからダウンロードし直してください。
- データのサイズによっては、選択受信添付データをダウンロードする際に既読メールが削除される場合があります。
- 圏外などでダウンロードが中断すると再取得の確認画面が表示されます。「2取得しない」を押すと中断した部分までメールに保存されます。

ｉモードメールに添付されたデータの削除

ｉモードメールに添付されているデータを削除します。

- メール本文中に貼り付けられている画像やメロディ、ｉアプリを連動起動できるリンク項目は削除できません。

1 待受画面で（メールキー）▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 データが添付されているｉモードメールを選択▶決定を押す

受信メール詳細画面が表示されます。

3 メニュー▶「8添付データを操作」を押す

添付データ操作の選択画面が表示されます。

- 複数のデータが添付されている場合は、操作する添付データを選択して決定を押します。

4 「3 1件削除」または「4全て削除」を押す

添付データを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **画像を削除する場合：**「4 1件削除」を押す

■ **その他データを削除する場合：**「2 1件削除」または「3全て削除」を押す

5 「1削除する」を押す

データを削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと受信メール詳細画面に戻ります。

- 削除した添付データはファイル名が薄く表示されて選択できなくなります。

お知らせ

- 送信メール詳細画面から操作する場合は、メニュー▶「7添付データを操作」を押します。

メールを自動的にフォルダに振り分ける

振り分け条件を設定し、受信または送信したメールを自動的にフォルダに振り分けます。〈メール振り分け設定〉

- 受信／送信メールの振り分け条件は、それぞれ30件登録できます。
- フォルダの作成方法→p.206
- 通常のメールをメール連動型ｉアプリ用のフォルダに振り分けることもできますが、対応するメール連動型ｉアプリの振り分け条件が優先されます。

メールを自動振り分けするかどうかを設定

設定した条件に従って、メールをフォルダに振り分けるかどうかを設定します。

1 **待受画面で ▶「8メールを設定する」▶「7メールの振り分けを設定する」を押す**
メール振り分け設定画面が表示されます。

2 **「1自動振分け設定」を押す**
自動振り分けをするメールの選択画面が表示されます。

3 **「1受信メール」または「2送信メール」を押す**
自動でフォルダに振り分けるかどうかの確認画面が表示されます。

4 **「1振り分ける」または「2振り分けない」を押す**
自動振り分けを設定／解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメールの自動振り分けを設定する画面に戻ります。

メール振り分け条件を設定

メールをフォルダに振り分ける条件を設定します。
- 送受信済みのメールは振り分けられません。

〈例〉受信メールの振り分け条件を設定する

1 **待受画面で ▶「8メールを設定する」▶「7メールの振り分けを設定する」を押す**
メール振り分け設定画面が表示されます。

2 **「2受信振分け条件」を押す**

受信振り分け条件
01/02件
01 docomo.taro.
02題議事録

- 振り分け条件が1件も登録されていないときは振り分ける条件の選択画面が表示されます。操作4に進みます。
- マークの意味は次のとおりです
  - : メールアドレス（受信振り分け条件）
  - 宛: メールアドレス（送信振り分け条件）
  - 題: 題名
  - No.: 電話帳No
  - : 電話帳グループ
  - ?: 電話帳登録なし
  - : 条件なし

■ **送信メールの条件を設定する場合：「3送信振分け条件」を押す**

3 **電話帳を押す**
振り分ける条件の選択画面が表示されます。

4 **「1メールアドレス」を押す**
入力方法の選択画面が表示されます。

■ **題名で振り分ける場合：「2題名」▶題名を入力▶決定を押す**
振り分け先フォルダ選択画面が表示されます。
操作6に進みます。
- 全角100文字、半角200文字以内で入力します。

■ 電話帳Noで振り分ける場合：「3電話帳No」▶電話帳Noを入力▶決定▶振り分ける相手を選択▶決定を押す
振り分け先フォルダ選択画面が表示されます。
操作6に進みます。
- iモードメールでは電話帳のメールアドレス、SMSでは電話帳の電話番号と照合されます。

■ 電話帳グループで振り分ける場合：「4電話帳グループ」▶グループを選択▶決定を押す
振り分け先フォルダ選択画面が表示されます。
操作6に進みます。

■ 電話帳に登録されていない相手を振り分ける場合：「5電話帳登録なし」を押す
振り分け先フォルダ選択画面が表示されます。
操作6に進みます。

■ 条件を指定しないで振り分ける場合：「6条件なし」を押す
振り分け先フォルダ選択画面が表示されます。
操作6に進みます。

5 「4直接入力する」▶メールアドレスを入力▶決定を押す
振り分け先フォルダ選択画面が表示されます。
- 半角英数字50文字以内で入力します。
- @以降の文字も含めたメールアドレス全体を指定します。
- 指定するメールアドレスがiモード端末の場合は、ドメイン（@docomo.ne.jp）を省略して指定しても振り分けられます。ただし、「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、ドメイン（@docomo.ne.jp）を除いた携帯電話番号のみを登録してください。
- FOMA端末とドコモUIMカードの電話帳に同じメールアドレスを登録して指定した場合は、FOMA端末電話帳のメールアドレスとして振り分けられます。
- 電話番号を指定すると、SMSも振り分けられます。

■ 最近送受信した履歴から選択する場合：「1最近送信した人」または「2最近受信した人」▶送信する履歴を選択▶決定を押す

■ 電話帳から選択する場合：「3電話帳から選ぶ」▶電話帳を検索▶振り分ける相手を選択▶決定▶メールアドレスを選択▶決定を押す
- 検索方法→p.84

6 振り分けるフォルダを選択▶決定を押す

受信振り分け条件
01/03件
01 docomo.taro.
02 議事録
<最後に追加>
選択された条件の前に振り分け条件を設定します

- メール連動型iアプリ用のフォルダを選択して決定を押すと、設定するかどうかの確認画面が表示されます。「1設定する」を押すと、振り分け先として設定されiアプリで利用されます。

7 優先順位を選択▶決定を押す
振り分け条件を追加した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと操作2の画面に戻ります。
- 1件目の振り分け条件を登録する場合は、「〈最後に追加〉」を選択して決定を押します。
- 優先順位の高い条件から順に並びます。
- 自動振分け設定を「振り分けない」に設定している場合は、自動で振り分けるかどうかの確認画面が表示されます。振り分ける場合は、「1振り分ける」を押します。

お知らせ
- 複数の条件を設定すると、優先順位の高い条件から順に判定され、先に条件に合ったフォルダに保存されます。すべての条件に合わなかったメールは、「受信箱」または「送信箱」フォルダに保存されます。
- 受信／送信メールのフォルダ一覧から操作する場合は、メニュー▶「7振り分けを設定」を押します。

メール振り分け条件の削除・変更

設定したメール振り分け条件を削除したり、変更したりします。

〈例〉条件を1件削除する

1 待受画面で［メール］▶「8 メールを設定する」▶「7 メールの振り分けを設定する」を押す

メール振り分け設定画面が表示されます。

2 「2 受信振分け条件」を押す

振り分け条件画面が表示されます。

■ 送信メールの条件を操作する場合：「3 送信振分け条件」を押す

3 削除する振り分け条件を選択▶［メニュー］▶「3 削除する」を押す

削除する振り分け条件の選択画面が表示されます。

■ 条件を変更する場合：変更する振り分け条件を選択▶［メニュー］▶「2 編集する」を押す

- 以降の操作は「メール振り分け条件を設定」操作4をご覧ください。→p.184

■ 優先順位を変更する場合：変更する振り分け条件を選択▶［メニュー］▶「4 優先順位を変更」を押す

- 以降の操作は「メール振り分け条件を設定」操作7以降をご覧ください。→p.185

4 「1 選択1件」を押す

条件を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 全件削除する場合：「2 全件」▶端末暗証番号を入力▶［決定］を押す

5 「1 削除する」を押す

振り分け条件を削除した旨のメッセージが表示されます。［決定］を押すか、約5秒たつと振り分け条件一覧画面に戻ります。振り分け条件がなくなったときは、メール振り分け設定画面に戻ります。

お知らせ

- 受信／送信メールのフォルダ一覧から操作する場合は、［メニュー］▶「7 振り分けを設定」を押します。

iモードメールに付ける署名の設定

iモードメール作成時に、本文に付ける署名を登録したり、自動挿入するかどうかを設定したりします。〈署名設定〉

1 待受画面で［メール］▶「8 メールを設定する」▶「1 メールに付ける署名を設定する」を押す

署名の設定画面が表示されます。

2 「1 自動挿入」▶「1 挿入する」または「2 挿入しない」を押す

署名の設定画面に戻ります。

3 「2 署名登録」▶署名を入力▶［決定］を押す

署名の設定画面に戻ります。

- 全角50文字、半角100文字以内で入力します。

4 ［電話帳］を押す

署名を設定した旨のメッセージが表示されます。［決定］を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 簡単メール作成では、新規作成時のみ署名の自動挿入ができます。
- 署名も本文の文字数に含まれます。

メール返信引用の設定

受信メール／受信SMSの一覧や詳細画面で、電話帳を押して返信メールを作成するときに、受信元の本文を引用するかどうかと、引用する本文の先頭に付ける引用文字を設定します。〈メール返信引用設定〉

1 **待受画面で✉▶「8メールを設定する」▶「4メール返信引用を設定する」を押す**

返信引用の設定画面が表示されます。

2 **「1返信引用」▶「1引用する」または「2引用しない」を押す**

返信引用の設定画面に戻ります。

3 **「2引用文字」▶引用文字を入力する**

返信引用の設定画面に戻ります。

- 全角1文字、半角2文字以内で入力します。
- 引用できない文字が設定された場合、お買い上げ時の引用文字が使用されます。

4 **電話帳を押す**

返信引用を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと返信引用の設定画面に戻ります。

お知らせ

- 簡単メール作成では、本機能の設定は反映されません。

らくらく返信を設定する

ｉモードメールに返信するときに、らくらく返信を利用するかどうかを設定します。〈らくらく返信設定〉

1 **待受画面で✉▶「8メールを設定する」▶「5らくらく返信を設定する」を押す**

らくらく返信を利用するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1利用する」または「2利用しない」を押す**

利用する／利用しないを設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

らくらく返信の本文を編集する

らくらく返信の本文を編集して、よく使う文章に変更することができます。〈らくらく返信本文編集〉

- お買い上げ時は次の例文が登録されています。お買い上げ時に登録されている例文に上書きしても、お買い上げ時の内容に戻すことができます。
  - 了解しました。
  - 今から帰ります。
  - 後で連絡します。
  - 遅くなります。
  - ありがとうございます。
  - ごめんなさい。

1 **待受画面で✉▶「8メールを設定する」▶「6らくらく返信の本文を編集する」を押す**

らくらく返信本文一覧が表示されます。

2 **編集する本文を選択▶決定▶本文を入力▶決定を押す**

本文を上書きした旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとらくらく返信本文一覧に戻ります。

- 全角20文字、半角40文字以内で入力します。

■ **らくらく返信の本文を全件お買い上げ時の内容に戻す場合：**

① **メニュー▶「2初期状態に戻す」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

② **端末暗証番号を入力▶決定を押す**

本文全てをお買い上げ時の状態に戻すかどうかの確認画面が表示されます。

③ **「1戻す」を押す**

本文全てをお買い上げ時の状態に戻した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとらくらく返信本文一覧に戻ります。

添付データを自動受信するかどうかを設定

ｉモードメールに添付されているデータを種類別に自動受信するかどうかを設定します。〈添付データ受信設定〉

- 自動受信しないように設定したデータは、選択受信添付データとして受信します。→p.182

1 **待受画面で ▶「8メールを設定する」▶「8受信する添付種別を選ぶ」を押す**

受信する項目の選択画面が表示されます。

- 設定状態は次のとおりです。
  ☑：有効　□：無効

2 **「1画像」～「4トルカ」のうち、選択する項目を押す**

☑または□に変わります。

- (メニュー)：すべての項目を有効／無効にします。

3 **(電話帳)を押す**

ファイルの種類を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- メール本文中に貼り付けられている画像やメロディは、本設定に関わらず自動受信します。

添付メロディを自動演奏するかどうかを設定

メロディが添付されているｉモードメールやメッセージR/Fを表示したときに、メロディを自動的に演奏するかどうかを設定します。〈自動演奏設定〉

1 **待受画面で ▶「8メールを設定する」▶「9添付のメロディを自動演奏する」を押す**

添付されたメロディを自動で演奏するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1自動演奏する」または「2自動演奏しない」を押す**

自動演奏する／自動演奏しないに設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- メロディの添付されたメッセージR/Fが自動表示されたときは、本機能の設定に関わらずメロディは自動的に演奏されません。

メッセージR/Fを受信したときは

メッセージサービスは、ニュース速報やお得な情報などが自動的にお客様のFOMA端末に届くサービスです。
メッセージR/Fを受信すると、画面表示や着信音、バイブレータ、ランプでお知らせします。〈メッセージR/F受信〉

- 受信したメッセージR/Fは受信メールの「メッセージR」フォルダまたは「メッセージF」フォルダに保存されます。→p.190

1 **メッセージR/Fを受信する**

とRまたはFが点滅し、次の画面が表示されます。

<メッセージRの場合>

- メッセージ受信中に(決定)を押すと受信を中止できますが、受信中の状況によってはメッセージR/Fを受信する場合があります。
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「メッセージR受信中」または「メッセージF受信中」が表示されます。受信が完了すると「メッセージR受信」または「メッセージF受信」と表示されて R または F が表示されます。

メール

2 メッセージの受信結果が表示される

RまたはFまたは✉が表示されメッセージR/F着信音が鳴り、ランプが点滅します。

- 受信結果画面が表示されてから約15秒間、またはメッセージ着信音が鳴り終わるまでの間（鳴らす時間を15秒以上に設定している場合）何も操作しないと、自動的に受信前の画面に戻ります。
- すぐに受信前の画面に戻すときは（戻る）を押します。

■ **受信したメッセージR/Fをすぐに確認する場合：「2 メッセージR」または「3 メッセージF」を押す**

メッセージR/F一覧が表示されます。→p.190

■ **受信に失敗した場合**

「2 メッセージR」「3 メッセージF」の後ろに「×」が表示されます。

- メッセージR/Fを受信し直すには、ｉモード問い合わせを行ってください。→p.174

■ **メッセージR/Fの自動表示を設定している場合**

受信前の画面に戻る前に、設定に従って受信したメッセージR/Fの内容が表示されます。→p.190

お知らせ

- メッセージR/Fの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、古いメッセージR/Fから順に削除されます。残しておきたいメッセージR/Fは保護してください。→p.192
  未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯で削除できないときは、メッセージR/Fの受信は中止され、画面にはR（赤）やF（赤）のマークが表示されます。受信する場合は、未読のメッセージR/Fを表示（→p.190）したり、不要なメッセージR/Fの保護を解除（→p.192）したりしてください。
- FOMA端末でメッセージR/Fを受信すると、ｉモードセンターに保管されているメッセージR/Fは削除されます。
- ｉモードセンターにメッセージR/Fが残っているときは、（黒）（黒）や（黒）のマークが表示されます。ただし、メッセージR/Fがあっても表示されない場合もあります。また、ｉモードセンターの保管件数が満杯になったときは、マークが（赤）（赤）や（赤）に変わります。
  ｉモードセンターに残っているメッセージR/Fを受信する場合は、ｉモード問い合わせ（→p.174）を行ってください。
- 次のような場合に送られてきたメッセージR/Fはｉモードセンターに保管されます。
  - 電源が入っていないとき
  - お預かりセンター接続中
  - セルフモード中
  - おまかせロック中
  - FirstPassセンター接続中
  - 受信に失敗したとき
  - ｉモード圏外のとき
  - SMS受信中
  - 赤外線通信中
  - 未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯のとき
- 他の機能を起動中※、オールロック中、個人情報表示制限中、開閉ロック中（FOMA端末を開いている状態）にメッセージR/Fを自動受信すると、受信中画面や受信結果画面は表示されず、着信音とランプも動作しません。受信したメッセージR/Fを確認するには、他の機能を終了、各制限を解除してください。
  ※ 電話、エリアメール内容表示画面、カメラ、ストリーミングタイプのｉモーション再生、ｉアプリ、目覚まし、予定の通知、お知らせタイマー、集音器以外の機能の場合、ランプが約1秒間点灯します。また、バイブレータをメッセージ受信時の動作で振動するように設定している場合は、約3秒間振動します。FOMA端末を閉じているときには着信音やバイブレータ、ランプが鳴動しますが、開くと鳴動は停止します。

メッセージR/Fの未読メッセージ自動表示の設定

自動受信したメッセージR/Fの内容を受信前の画面に戻るときに、自動的に（約15秒間）表示するかどうかを設定します。

1 待受画面で[メール]▶「[8]メールを設定する」▶「[0]未読メッセージを自動で表示する」を押す

自動で表示するメッセージの選択画面が表示されます。

2 「[1]メッセージRのみ」～「[5]自動表示しない」のいずれかを押す

メッセージの自動表示方法を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- メッセージR/Fの内容は約15秒間表示されます。自動表示中にボタン操作を行わなかった場合は、メッセージR/Fは未読の状態で保存されます。
- 受信結果画面からメールやメッセージR/Fの表示操作を行った場合は自動表示されません。また、ｉモード問い合わせでメッセージR/Fを受信したときは、自動表示されません。
- 待受画面／メニュー画面以外（他の機能が起動中）からは自動表示できません。

受信したメッセージR/Fの表示

保存されているメッセージR/Fを表示します。
〈メッセージR/F〉

- メッセージRは最大100件、メッセージFは最大50件保存できます。→p.450

1 待受画面で[メール]▶「[1]受信したメールを見る」を押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 「メッセージR」または「メッセージF」を選択▶[決定]を押す

メッセージR
4/14件
10:10 最新ニュース
8:10 最新ペット情報
4/14 最新ペット情報

メッセージR/F番号／メッセージ件数
受信日時（受信当日：時刻 当日以外：日付）、題名

- マークの意味は次のとおりです。

マーク		説　明
状　態	[未読]	未読メッセージ
	表示なし	既読メッセージ
	[保護]	保護されたメッセージ
添　付	[画像]	画像が添付
	[メロディ]	メロディが添付
	[トルカ]	トルカが添付
	[複数]	複数添付データあり

- メッセージR/Fが保存されていないときは、メッセージがない旨のメッセージが表示されます。

3 表示するメッセージR/Fを選択▶[決定]を押す

メッセージR
004/014件
11/04/15 10:10
最新ニュース
最新画像.jpg
7.0KB
今日のトップニュース
パンダの子供生まれる

状態マーク、添付マーク、メッセージR/F番号／メッセージ件数
添付データがある場合は、マーク、ファイル名、データサイズが表示

- [メール][iモード]：すべて表示されていない場合は、画面をスクロールできます。
- [←][→]：前後のメッセージR/Fを表示できます。
- マークの意味は次のとおりです。
  [時計]：受信した日時
  [題]：題名

お知らせ

- メッセージR/Fに添付されたメロディを自動演奏するように設定している場合（→p.188）、メロディが添付されているメッセージR/Fを表示すると、メロディが自動的に再生されます。再生を止めるときは決定または戻るを押します。
- 本文中に画像が挿入されている場合に画像が受信できなかったときは／／が表示されます。→p.217

メッセージR/Fの添付データの表示・保存

メッセージR/Fに添付されているデータを表示・保存します。

〈例〉画像を保存する

1 **待受画面で▶「1受信したメールを見る」を押す**

フォルダ一覧が表示されます。

2 **「メッセージR」または「メッセージF」を選択▶決定▶画像が添付されているメッセージR/Fを選択▶決定を押す**

メッセージR/F詳細画面が表示されます。

- 添付データの意味をマークで確認できます。→p.190

3 **保存する画像のファイル名を選択▶メニュー▶「6添付データを操作」▶「2画像を保存」を押す**

- 以降の操作は「サイトから画像をダウンロード」操作3以降をご覧ください。→p.228

■ **メロディを保存する場合：保存するメロディのファイル名を選択▶メニュー▶「6添付データを操作」▶「2メロディを保存」を押す**

- 以降の操作は「サイトからメロディをダウンロード」操作3をご覧ください。→p.229

■ **トルカを保存する場合：保存するトルカのファイル名を選択▶メニュー▶「6添付データを操作」▶「2トルカを保存」を押す**

- 以降の操作は「サイトからトルカをダウンロード」操作3をご覧ください。→p.230

■ **画像やメロディ、トルカを表示・再生する場合：表示・再生するファイル名を選択▶決定を押す**

- 添付データが画像の場合は、画像の表示／非表示が切り替わります。

■ **メロディやトルカの題名を表示する場合：確認するファイル名を選択▶メニュー▶「6添付データを操作」▶「3題名を確認」を押す**

- 画像の添付データは操作できません。

■ **本文中の画像を保存する場合：メニュー▶「4画像を保存」を押す**

- 以降の操作は「サイトから画像をダウンロード」操作2以降をご覧ください。→p.228

■ **本文中の背景画像を保存する場合：メニュー▶「5背景画像を保存」を押す**

- 以降の操作は「サイトから画像をダウンロード」操作2以降をご覧ください。→p.228

メッセージR/Fの保存件数の確認

メッセージR/Fが何件保存されているかを確認します。

1 **待受画面で▶「1受信したメールを見る」を押す**

フォルダ一覧が表示されます。

2 **「メッセージR」または「メッセージF」を選択▶メニュー▶「5メッセージ件数確認」を押す**

フォルダ内の保存件数が表示されます。
決定を押すとフォルダ一覧に戻ります。

メッセージR/Fの削除

保存されているメッセージR/Fを削除します。
- 保護されているメッセージR/Fは削除できません。全件削除しても保護されているメッセージR/Fは残ります。保護を解除してから削除してください。

〈例〉メッセージR/Fを1件削除する

1 待受画面で[メール]▶「1受信したメールを見る」を押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 「メッセージR」または「メッセージF」を選択▶[決定]を押す

メッセージR/F一覧が表示されます。

■ 受信メール・メッセージR/Fを全件削除する場合：[メニュー]▶「4メッセージを削除」▶「3受信全件」▶端末暗証番号を入力▶[決定]を押す

全てのメール・メッセージを削除するかどうかの確認画面が表示されます。
操作4に進みます。

3 削除するメッセージR/Fを選択▶[メニュー]▶「1削除する」▶「1選択1件」を押す

メッセージを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 複数選択して削除する場合：[メニュー]▶「1削除する」▶「2選択複数件」▶削除するメッセージR/Fを選択▶[決定]▶[電話帳]を押す
- □から☑に変わります。
- [決定]：メッセージR/Fを選択／解除します。
- [メニュー]：すべてのメッセージR/Fを選択／解除します。

■ 既読のみ削除する場合：[メニュー]▶「1削除する」▶「3既読のみ全件」を押す

■ 全件削除する場合：[メニュー]▶「1削除する」▶「4メッセージ全件」▶端末暗証番号を入力▶[決定]を押す

4 「1削除する」を押す

メッセージを削除した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すか、約5秒たつとメッセージ一覧に戻ります。
- メッセージがなくなった場合は、メッセージがない旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ
- メッセージR/F詳細画面から削除する場合は、[メニュー]▶「1削除する」を押します。

メッセージR/Fの保護／解除

保存領域の空きがなくなっても、メッセージR/Fを受信したときに上書きされないようにメッセージR/Fを保護します。
- 未読のメッセージR/Fは保護できません。
- メッセージRは最大50件、メッセージFは最大25件保護できます。→p.450

〈例〉メッセージR/Fを1件保護する

1 待受画面で[メール]▶「1受信したメールを見る」を押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 「メッセージR」または「メッセージF」を選択▶[決定]を押す

メッセージR/F一覧が表示されます。

3 保護するメッセージR/Fを選択▶[メニュー]▶「2保護／解除する」▶「1選択1件保護」を押す

メッセージR/Fが保護されます。
- 状態マークが🔑に変わります。

■ 保護を1件解除する場合：保護を解除するメッセージR/Fを選択▶[メニュー]▶「2保護／解除する」▶「2選択1件解除」を押す

■ 保護を全件解除する場合：[メニュー]▶「2保護／解除する」▶「3全件解除」を押す

お知らせ
- メッセージR/F詳細画面から保護／保護を解除する場合は、[メニュー]▶「2保護する」または「2保護を解除する」を押します。

メッセージR/F一覧の並び順変更

メッセージR/F一覧の並び順（「日付順」）を一時的に並べ替えます。

1 **待受画面で✉▶「1受信したメールを見る」を押す**
フォルダ一覧が表示されます。

2 **「メッセージR」または「メッセージF」を選択▶決定を押す**
メッセージR/F一覧が表示されます。

3 **メニュー▶「3並び順を変更」を押す**
並び順の条件選択画面が表示されます。

4 **「1日付順」～「3メッセージサイズ順」のいずれかを押す**
メッセージR/Fが一時的に並び替わります。

お知らせ

- 題名に、全角や半角、英字、漢字、URL表示のものが混在していると、「題名順」の並べ替えの結果が50音順にならない場合があります。

メッセージR/F一覧の表示方法の変更

メッセージR/F一覧を一時的にメッセージの状態別に表示します。

1 **待受画面で✉▶「1受信したメールを見る」を押す**
フォルダ一覧が表示されます。

2 **「メッセージR」または「メッセージF」を選択▶決定を押す**
メッセージR/F一覧が表示されます。

3 **メニュー▶「4表示方法を変更」を押す**
表示方法の選択画面が表示されます。

4 **「1全て表示」～「4保護のみ表示」のいずれかを押す**
選択した表示方法で表示されます。

お知らせ

- メッセージR/F一覧の表示を終了すると「全て表示」に戻ります。
- 「既読のみ表示」では、保護されているメッセージR/Fは表示されません。

緊急速報「エリアメール」とは

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- ｉモードを契約しなくても、エリアメールの受信ができます。
- 受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。
- 次のような場合は受信できません。
  - 電源が入っていない場合や圏外の場合
  - 電話中
  - おまかせロック中やセルフモード中
  - お預かりセンター接続中
  - 赤外線通信／microSDカード使用中などのデータ転送モード中
  - ソフトウェア更新中
- 次のような場合は、受信できないことがあります。
  - ｉモード通信中
  - パソコンとつないだパケット通信中、64Kデータ通信中
  - パターンデータ更新中
- 次のような場合は、受信しても受信完了画面または内容表示画面は表示されません。
  - 公共モード（ドライブモード）中
  - ストリーミングタイプのｉモーション再生中
  - カメラ起動中
  - アラーム鳴動中

緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールは自動的に受信します。〈エリアメール受信〉

- エリアメールは受信メールのフォルダに保存されます。→p.174
- 最大30件保存できます。→p.450

1 エリアメールを受信する

が点灯し、充電ランプが点滅し、専用のブザー警報音またはエリアメール着信音が鳴り、内容表示画面または受信完了画面が表示されます。

- エリアメール受信時の着信音、内容表示画面または受信完了画面のどちらが表示されるかは配信元の設定によります。
- 内容表示画面は決定、戻る、のいずれかを押すと、受信完了画面は任意のボタンを押すか約15秒間何も操作しないと消えます。

〈緊急地震速報〉

- ブザー警報音の音量は「メール・メッセージ受信音量を調節する」の「音量6」で、音量の変更はできません。
- バイブレータはブザー警報音に連動して振動します。
- ランプの点滅時間はブザー警報音の鳴動時間に連動して点滅します。

〈緊急速報以外のエリアメール〉

- エリアメール着信音の音量はメール・メッセージ受信音量に従います。→p.105
- エリアメール着信音の鳴動時間はメール・メッセージ受信時の着信音の「鳴らす時間」に従います。→p.103
- バイブレータは、エリアメール着信音に連動して振動します。ただし、バイブレータ設定で「振動させない」に設定している場合は、振動しません。→p.106
- ランプの点滅時間はエリアメール着信音の鳴動時間に連動して点滅します。

〈共通〉

- お買い上げ時はマナーモード中、公共モード（ドライブモード）中でも、鳴動します。なお、各モードに従い鳴動しないように設定できます。→p.195
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「メッセージ受信　エリアメール」が表示され、受信完了後にメールが表示されます。

お知らせ

- 受信メールの保存領域の空きや最大保存件数に関わらず、エリアメールの最大保存件数を超えるときは、古いエリアメールから順に削除されます。
- エリアメールの内容表示画面が表示されているときは、目覚ましやスケジュール帳などの指定日時になってもアラームは鳴りません。

緊急速報「エリアメール」の設定を行う

エリアメールに関連したさまざまな設定をします。〈エリアメール設定〉

エリアメールを利用するかどうかを設定する

緊急速報「エリアメール」を受信するかを設定します。〈受信設定〉

1 待受画面で ▶「8メールを設定する」▶「*エリアメールを設定する」▶「1エリアメールの利用を設定する」を押す

エリアメールのご注意についての画面が表示されます。

2 「ご注意」を確認▶電話帳を押す

エリアメール機能を利用するかどうかの確認画面が表示されます。

- 電話帳は「ご注意」の内容をすべて表示させると操作できます。

3 「1利用する」または「2利用しない」を押す

受信設定を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

ブザー音の鳴動時間を設定する

緊急情報を受信したときに鳴る専用のブザー警報音の鳴動時間を設定します。〈ブザー鳴動設定〉

1 **待受画面で(メール)▶「8メールを設定する」▶「*エリアメールを設定する」▶「2ブザーを鳴らす時間を設定する」を押す**

ブザー音を鳴らす時間の入力画面が表示されます。

2 **ブザーを鳴らす時間を入力▶決定を押す**

ブザーを鳴らす時間を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

- 1〜30秒の間で入力します。

マナー／公共モード時の動作を設定する

マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中にエリアメールを受信したときの鳴動方法を設定します。〈マナー／公共モード時設定〉

1 **待受画面で(メール)▶「8メールを設定する」▶「*エリアメールを設定する」▶「3マナー/公共モード時動作を設定する」を押す**

着信音を鳴らすかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1鳴らす」または「2各モードに従う」を押す**

マナー／公共モード時の動作を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

エリアメールの着信音を確認する

エリアメール専用のブザー警報音、エリアメール着信音を確認します。〈エリアメール着信音確認〉

1 **待受画面で(メール)▶「8メールを設定する」▶「*エリアメールを設定する」▶「4着信音を確認する」を押す**

確認する着信音の選択画面が表示されます。

2 **「1緊急地震速報」または「2災害・避難情報」を押す**

着信音が再生されます。決定を押すと確認する着信音の選択画面に戻ります。

利用するエリアメールを登録／削除する

緊急情報以外に受信するエリアメールを登録します。〈受信登録〉

- 最大20件登録できます。
- 緊急情報を受信する場合には受信登録の必要はありません。

〈例〉登録する

1 **待受画面で(メール)▶「8メールを設定する」▶「*エリアメールを設定する」▶「5その他の設定をする」▶「1エリアメールの受信登録を設定する」を押す**

受信登録一覧が表示されます。

2 **登録する項目を選択▶決定▶端末暗証番号を入力▶決定を押す**

エリアメールの受信登録画面が表示されます。

■ 編集する場合：

① **編集する登録名を選択▶(メニュー)▶「1編集する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

② **端末暗証番号を入力▶決定を押す**

エリアメールの受信登録画面が表示されます。

■ 削除する場合：

① 削除する登録名を選択▶(メニュー)▶「2削除する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

② 端末暗証番号を入力▶決定を押す

削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと受信登録一覧に戻ります。

3 「1エリアメール名」▶任意のエリアメール名を入力▶決定を押す

エリアメールの受信登録画面に戻ります。

- 全角15文字、半角30文字以内で入力します。

4 「2Message ID」▶4桁のMessage IDを入力▶決定を押す

エリアメールの受信登録画面に戻ります。

- 緊急情報以外のエリアメールを受信するにはサービス提供者から付与されるMessage IDの入力が必要です。

5 (電話帳)を押す

受信登録を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと受信登録一覧に戻ります。

SMSを作成して送信する

携帯電話番号を宛先にして文字メッセージを送信します。〈SMS作成・送信〉

- ドコモ以外の海外通信事業者をご利用のお客様との間でも、送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

1 待受画面で(メール)▶「9SMSを使う」▶「1SMSを作る」を押す

<SMS作成画面>

2 宛先欄を選択▶決定を押す

宛先の入力方法の選択画面が表示されます。

■ ワンタッチダイヤルボタンから宛先を選択する場合：**宛先欄を選択▶ワンタッチダイヤルボタン(1)〜(3)のいずれかを押す**

ワンタッチダイヤルに登録した名前が宛先欄に入力されます。

操作4に進みます。

- ワンタッチダイヤルにはあらかじめ登録しておく必要があります。→p.92
- すでに宛先が入力された宛先欄を選択して操作すると、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きするときは「1上書きする」を押します。

3 「4直接入力する」▶宛先を入力▶決定を押す

操作1の画面に戻ります。

- 半角数字20文字以内で入力します。
- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は、「＋」を含めた21文字まで入力して送信できます。

- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は、「＋」（0を1秒以上押す）「国番号」「相手の携帯電話番号」の順で入力するか、または「010」「国番号」「相手の携帯電話番号」の順で入力します（受信した海外からのSMSに返信する場合も、「＋」または「010」を入力します）。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力します。

■ 最近送受信した履歴から選択する場合：「1最近送信した人」または「2最近受信した人」▶送信する履歴を選択▶決定を押す

操作1の画面に戻ります。選んだ宛先が宛先欄に入力されています。

- 電話帳：押すたびに一覧画面と詳細画面が切り替わります。

■ 電話帳から選択する場合：「3電話帳から選ぶ」▶電話帳を検索▶送信する相手を選択▶決定▶電話番号を選択▶決定を押す

操作1の画面に戻ります。電話帳の名前が宛先欄に入力されています。

- 検索方法→p.84

4 本文欄を選択▶決定▶本文を入力▶決定を押す

操作1の画面に戻ります。

- SMS設定で送信文字種（→p.205）を「日本語」に設定した場合は、70文字以内で入力します。「英語」に設定した場合は、半角の英数字と記号で160文字以内で入力します（ ` 。「」、・ ゛ ゜ を除く）。
- #：文中で改行することができます（半角数字入力モード時を除く）。ただし、受信側の端末によっては空白に置き換わって表示されます。改行も本文の文字数に含まれます。
- SMS設定の送信文字種（→p.205）を日本語に設定した場合は、音声で文字入力できます。→p.374

5 「送信する」を選択▶決定を押す

SMSが送信されます。

送信が終了すると、送信した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 発信者番号通知を「通知しない」に設定していても、SMS送信時は送信先に発信者番号が通知されます。
- 送信が正常に終了したときは、SMSが送信メールのフォルダ（→p.198）に保存されます。送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護されていない古い送信メールから順に削除されます。残しておきたい送信メールは保護してください。→p.208
- 未送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、SMSを作成できない旨のメッセージが表示され、SMSを作成できません。未送信メールのフォルダから不要なｉモードメール、SMSを削除してください。→p.207
- 送信するSMSのサイズが送信メールの保存領域の空きを超えるときは、不要な送信メールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。送信する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のメールを削除します。
- 送信文字種が日本語の場合は、半角カタカナを使うと、受信側に正しく表示されない場合があります。絵文字を使うと💔は♥に、☎以外の絵文字は空白に置き換わって表示されます。
- 送信文字種が英語の場合は、記号（| ^ { } [ ] ~ ¥）を入力すると送信できる文字数が少なくなります。また、記号（ ` ）は入力できますが、送信すると受信側で空白に置き換わって表示されます。
- 電波状態や送信する文字の種類、相手の端末によっては、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- 送信文字種や送達通知を受け取るかどうかは、あらかじめSMS設定で設定します。→p.205
- SMS作成画面で送達通知を受け取るかどうかを設定する場合は、メニュー▶「4SMS送達通知」を押します。ただし、この場合は作成中のSMSにのみ設定が有効になります。
- 送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、SMSが未送信メールのフォルダに保存されます。未送信メールのフォルダからSMSを編集して送信できます。→p.198

作成中のSMSをあとで送信する

作成中のSMSを送信せずに保存したり、保存したSMSを再編集して送信したりできます。〈SMS保存〉

作成中のSMSの保存

作成途中のSMSを送信せずに保存します。
- 保存したSMSは未送信メールのフォルダに保存されます。→p.198

1 **待受画面で［メール］▶「9SMSを使う」▶「1SMSを作る」▶SMSを編集する**
SMS作成画面が表示されます。
- 編集方法は「SMSを作成して送信する」操作2～4をご覧ください。→p.196

2 **［メニュー］▶「2保存する」を押す**
メールを保存した旨のメッセージが表示されます。［決定］を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ
- 未送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要な未送信メールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内の未送信メールを削除します。

送信・保存したSMSの編集・送信

送信したSMSや、送信せずに保存したり送信に失敗したりしたSMSを編集して送信できます。

〈例〉未送信SMSを再編集する

1 **待受画面で［メール］▶「4未送信のメールを見る」▶フォルダを選択▶［決定］を押す**
未送信メール一覧が表示されます。
■ 送信メールを表示する場合：**待受画面で［メール］▶「5送信したメールを見る」▶フォルダを選択▶［決定］を押す**
- SMSは［SMSアイコン］が表示されます。

2 **編集するSMSを選択▶［決定］を押す**
編集中のSMS作成画面が表示されます。
■ 送信したSMSを再編集する場合：**編集するSMSを選択▶［電話帳］を押す**
- 以降の操作は「SMSを作成して送信する」操作2以降をご覧ください。→p.196

未送信／送信したSMSを見る

保存した未送信SMSや送信した送信SMSを表示します。〈未送信／送信SMS〉
- 未送信／送信SMSそれぞれ最大200件保存できます。→p.450

〈例〉送信したSMSを表示する

1 **待受画面で［メール］▶「5送信したメールを見る」を押す**

■ 未送信メールを表示する場合：**待受画面で［メール］▶「4未送信のメールを見る」を押す**
- フォルダの状態をマークで確認できます。マークの意味については「未送信／送信したｉモードメールを見る」操作1をご覧ください。→p.170

2 フォルダを選択▶決定を押す

フォルダ名
メール番号／フォルダ内件数
送信日時（送信当日：時刻 当日以外：日付）、宛先
本文の先頭

□送信箱
001/005件
10:10 090XXX…
待ち合わせの…
04/14 docomo…
電話ください
04/13 docomo…
おはようござ…

- SMSは✉sが表示されます。
- 宛先を電話帳に登録しているときは、電話帳の名前が表示されます。→p.80
- メールの状態をマークで確認できます。マークの意味については「未送信／送信したｉモードメールを見る」操作2をご覧ください。→p.171

3 表示するSMSを選択▶決定を押す

状態マーク、SMSマーク、メール番号／フォルダ内件数

□送信箱
001/005件
11/04/15 10:10
宛090XXXXXXXX
待ち合わせの場所につきました。
連絡待ってます。
- END -

<送信SMS詳細画面>

- 未送信SMSではSMS編集画面が表示されます。→p.198
- ：前後のSMS／メールを表示できます。
- マークの意味は次のとおりです。
  - ：送信した日時
  - 宛：送信先の電話番号または電話帳の名前

SMSを受信したときは

SMSが送られてきたときは自動的に受信し、画面表示や着信音、バイブレータ、ランプでお知らせします。〈SMS受信〉

- 受信したSMSは受信メールのフォルダに保存されます。→p.200

1 SMSを受信する

✉が点滅し、次の画面が表示されます。

- メッセージ受信中にを押すと受信を中止できますが、受信中の状況によってはSMSを受信する場合があります。
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「メッセージ受信中」が表示されます。受信が完了すると「メッセージ受信」と送信元の電話番号または電話帳の名前が表示されてメールが表示されます。

2 SMSの受信結果が表示される

✉が表示されSMS着信音が鳴り、ランプが点滅します。

- 受信結果画面が表示されてから約15秒間、またはSMS着信音が鳴り終わるまでの間（鳴らす時間を15秒以上に設定している場合）何も操作しないと、自動的に受信前の画面に戻ります。
- すぐに受信前の画面に戻すときは戻るを押します。

■ 受信したSMSをすぐに確認する場合：

「1メール」を押す

受信メールのフォルダー覧が表示されます。→p.200

■ 受信に失敗したとき

「1メール」の後ろに「×」が表示されます。

- SMSを受信し直すには、SMS問い合わせを行ってください。→p.200

お知らせ

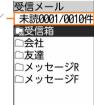
- 受信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護されていない未読以外の古い受信メールから順に削除されます。残しておきたい受信メールは保護してください。→p.208
  未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯で削除できないときは、SMSの受信は中止され、画面には✉(赤）や✉のマークが表示されます。受信する場合は、未読の受信メールを表示（→p.174）したり、不要な受信メールの保護を解除（→p.208）したりしてください。
- ドコモUIMカードにSMSが20件（送達通知を除く）保存されているときは、受信メールのフォルダに空きがあってもSMSを受信できない場合があり、画面には▣や✉のマークが表示されます。FOMA端末本体に移動するか、ドコモUIMカードのSMSを削除してください。→p.204
- 他の機能を起動中※、オールロック中、個人情報表示制限中、開閉ロック中（FOMA端末を開いている状態）にSMSを自動受信すると、受信中画面や受信結果画面は表示されず、着信音とランプも動作しません。受信したSMSを確認するには、他の機能を終了、各制限を解除してください。
  ※ 電話、エリアメール内容表示画面、カメラ、ストリーミングタイプのｉモーション再生、ｉアプリ、目覚まし、予定の通知、お知らせタイマー、集音器以外の機能の場合、ランプが約1秒間点灯します。また、バイブレータをメール受信時の動作で振動するように設定している場合は、約3秒間振動します。FOMA端末を閉じているときには着信音やバイブレータ、ランプが鳴動しますが、開くと鳴動は停止します。
- ｉモードメール、メッセージR/F、エリアメール受信中は、SMSを自動受信しません。また、ｉモードメール、メッセージR/F、エリアメールの受信完了後も自動受信はされません。SMS問い合わせを行ってください。→p.200
- FOMA端末でSMSを受信すると、SMSセンターに保管されているSMSは削除されます。

SMSがあるかどうかの問い合わせ

圏外にいた間や電源を切っていた間などにSMSが届いていないかを問い合わせます。〈SMS問い合わせ〉

- 電波状態によってはSMS問い合わせができない場合があります。
- 受信するまでに時間がかかる場合があります。

1 待受画面で✉▶「9SMSを使う」▶「2届いているSMSを受信する」を押す

SMS問い合わせが実行されます。問い合わせ後、メッセージの問い合わせが終わった旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。SMSセンターにSMSが保管されていれば受信します。

- SMS問い合わせ中やSMS受信中に⏎を押すと、問い合わせを中止できますが、問い合わせの状況によってはSMSを受信する場合があります。

受信したSMSを見る

保存されている受信メールを表示します。〈受信SMS〉

- 最大1000件保存できます。→p.450

1 待受画面で✉▶「1受信したメールを見る」を押す

未読メール数／全メール件数

- フォルダの状態をマークで確認できます。マークの意味については「受信したｉモードメールを見る」操作1をご覧ください。→p.174

メール

2 フォルダを選択▶決定を押す

- SMSはが表示されます（情報通知のSMSを除く)。
- 送信元を電話帳に登録しているときは、電話帳の名前が表示されます。→p.80
- メールの状態をマークで確認できます。マークの意味については「受信したｉモードメールを見る」操作2をご覧ください。→p.175

3 表示するSMSを選択▶決定を押す

<受信SMS詳細画面>

- ：すべて表示されていない場合は、画面をスクロールできます。
- ：前後のSMS／メールを表示できます。
- マークの意味は次のとおりです。
  - ：情報通知のSMS
  - ：受信した日時
  - ：送信元の電話番号または電話帳の名前
  - ：送信元（返信不可）

お知らせ

- 受信したSMSに、区点コード一覧に記載されていない全角文字（ラテン文字やギリシア文字などの特殊文字）は、空白で表示されます。
- ドコモ以外の海外通信事業者からSMSを受信した場合は、送信元のアドレスに自動的に「+」が付きます。電話帳に「+」を付けて登録していると、電話帳で登録している名前が表示されます。
- スキャン機能設定（→p.445）のメッセージスキャンを「有効にする」に設定しているときに、電話番号やURLの記載が含まれているSMSを表示しようとすると、注意する旨のメッセージが表示されます。電話帳▶「1続ける」を押すと、SMS詳細画面が表示されます。

SMSに返事を出す

受信したSMSに返事を出します。〈SMS返信〉

- 送信元に「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能」やのマークが表示される受信SMSには返信できません。

1 待受画面で▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 返信するSMSを選択▶メニュー▶「1返信する」を押す

引用するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1引用する」または「2引用しない」を押す

宛先欄に送信元の電話番号または電話帳の名前が入力されて、SMS作成画面が表示されます。

- 以降の操作は「SMSを作成して送信する」操作4以降をご覧ください。→p.197
- 返信すると、受信SMSの状態マークが、表示なし（既読）／／からに変わります。マークの意味については「受信したｉモードメールを見る」操作2をご覧ください。→p.175

お知らせ

- 受信メール一覧で電話帳を押しても返信SMSを作成できます。→p.187

SMSを他の宛先に転送する

受信したSMSを他の宛先に転送します。〈SMS転送〉

- SMSで転送されます。

1 **待受画面で［✉］▶「[1]受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す**

受信メール一覧が表示されます。

2 **転送するSMSを選択▶メニュー▶「[2]転送する」を押す**

本文欄に受信SMSの本文が入力されたSMS作成画面が表示されます。

- 以降の操作は「SMSを作成して送信する」操作2以降をご覧ください。→p.196
- 転送すると、受信SMSの状態マークが、表示なし（既読）／✉／🔑から➡／✉／🔑に変わります。マークの意味については「受信したｉモードメールを見る」操作2をご覧ください。→p.175

お知らせ

- ドコモUIMカード内のSMSから転送した場合、送信したSMSは本体の送信メールのフォルダに保存されます。→p.198

ドコモUIMカードにSMSを保存

送受信したSMSを、FOMA端末本体から移動／コピーしてドコモUIMカードに保存できます。

SMSをドコモUIMカードに移動／コピー

FOMA端末本体に保存している受信／送信SMSを、ドコモUIMカードに移動／コピーします。

- 未送信SMSは、ドコモUIMカードに保存できません。
- 送信SMSを移動／コピーすると、対応する送達通知が同時にドコモUIMカードの受信SMSに移動／コピーされます。送達通知だけを移動／コピーすることはできません。
- 最大20件保存できます。→p.450

〈例〉受信SMSをドコモUIMカードに移動／コピーする

1 **待受画面で［✉］▶「[1]受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す**

受信メール一覧が表示されます。

2 **移動／コピーするSMSを選択▶メニュー▶「[6]UIMカードへ保存」を押す**

ドコモUIMカードへの保存方法の選択画面が表示されます。

3 **「[1]移動する」または「[2]コピーする」を押す**

移動／コピーするかどうかの確認画面が表示されます。

4 **「[1]移動する」または「[1]コピーする」を押す**

メッセージを移動／コピーした旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと受信メール一覧に戻ります。

お知らせ

- ドコモUIMカードの最大保存件数を超えるときは移動／コピーできません。ドコモUIMカードから不要なSMSを削除してください。→p.204
- 送信メール一覧から操作する場合は、移動／コピーするSMSを選択▶(メニュー)▶「5UIMカードへ保存」を押します。
- 受信／送信SMS詳細画面からも同様にしてドコモUIMカードへ移動／コピーができます。
- 保護したSMSをドコモUIMカード内に移動／コピーをすると、移動先／コピー先でSMSの保護は解除されます。

ドコモUIMカード内SMSの表示

ドコモUIMカードに保存されているSMSを表示します。

〈例〉受信SMSを表示する

1 **待受画面で(メール)▶「9SMSを使う」▶「4ドコモUIMカードの受信SMSを見る」を押す**

メッセージ番号／全メッセージ件数

受信日時※（受信当日：時刻 当日以外：日付）、送信元または宛先、本文の先頭
※送信SMSは、送信日時が表示されません。

UIMカード受信SMS
01/05件
10:10 090XXX…
来週金曜の正…
07:37 090XXX…
明日の夕方まで
07:37 SMS Ce…
SMS送達通知

- 送信SMSは、ドコモUIMカードに移動／コピーした場合、ドコモUIMカードの送信SMSから送信日時のデータが消去され、表示されません。ただし、送達通知のある送信SMSの場合は、表示されます。
- 送信元を電話帳に登録しているときは、電話帳の名前が表示されます。→p.80
- マークの意味は次のとおりです。
  - ：未読SMS
  - 表示なし：既読SMS
  - ：未読SMS（返信不可）
  - ：既読SMS（返信不可）
  - ：情報通知のSMS
  - ：SMS違反

■ 送信SMSを表示する場合：**待受画面で(メール)▶「9SMSを使う」▶「5ドコモUIMカードの送信SMSを見る」を押す**

2 **表示するSMSを選択▶(決定)を押す**

メッセージ番号／全メッセージ件数

UIMカード受信SMS
01/05件
11/04/15 10:10
090XXXXXXXX
来週金曜の正午に駅交番前で待ち合わせしましょう。
－ END －

- ：すべて表示されていない場合は、画面をスクロールできます。
- ：前後のメールを表示できます。
- マークの意味は次のとおりです。
  - ：受信SMS
  - ：受信SMS（返信不可）
  - ：送信SMS
  - ：情報通知のSMS
  - ：ドコモUIMカード内のSMS

  上記以外のマークについては「未送信／送信したSMSを見る」操作3→p.199、「受信したSMSを見る」操作3をご覧ください。→p.201

お知らせ

- ドコモUIMカード内のSMSからも、返信／転送、電話帳登録などの操作ができます。操作方法は本体に保存されているSMSと同様です。→p.201、p.212
- ドコモUIMカード内のSMSを送信した場合、送信したSMSは本体の送信メールのフォルダに保存されます。→p.198

SMSをFOMA端末本体に移動／コピー

ドコモUIMカードに保存されているSMSを、FOMA端末本体の受信／送信メールのフォルダに移動／コピーします。

- 送信SMSを移動／コピーすると、対応する送達通知が同時に受信メールのフォルダに移動／コピーされます。送達通知だけを移動／コピーすることはできません。

〈例〉受信SMSをFOMA端末本体に移動／コピーする

1 **待受画面で✉▶「9SMSを使う」▶「4ドコモUIMカードの受信SMSを見る」を押す**

ドコモUIMカード内の受信SMS一覧が表示されます。

2 **移動／コピーするSMSを選択▶メニュー▶「4本体へ保存」を押す**

本体への保存方法の選択画面が表示されます。

3 **「1移動する」または「2コピーする」を押す**

移動／コピー先の選択画面が表示されます。

4 **移動／コピー先のフォルダを選択▶決定を押す**

メッセージを移動／コピーした旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとドコモUIMカード内の受信SMS一覧に戻ります。

- メール連動型ｉアプリ用のフォルダの場合は、移動／コピーするかどうかの確認画面が表示されます。「1移動する」または「1コピーする」を押すと、移動／コピーされ、ｉアプリで利用されます。

お知らせ

- 受信／送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、移動／コピーできません。保護されていないSMSやｉモードメールがあっても上書きされません。
- ドコモUIMカード内の送信SMS一覧から操作する場合は、移動／コピーするSMSを選択▶メニュー▶「3本体へ保存」を押します。
- ドコモUIMカード内の受信／送信SMS詳細画面からも同様にして、本体へ移動やコピーができます。

ドコモUIMカード内SMSの削除

ドコモUIMカードに保存されているSMSや送達通知を削除します。

- ドコモUIMカード内の送信SMSを削除した場合、対応する送達通知がドコモUIMカード内にあれば、同時に削除されます。

〈例〉受信SMSを１件削除する

1 **待受画面で✉▶「9SMSを使う」▶「4ドコモUIMカードの受信SMSを見る」を押す**

ドコモUIMカード内の受信SMS一覧が表示されます。

2 **削除するSMSを選択▶メニュー▶「3削除する」を押す**

削除するメッセージの選択画面が表示されます。

3 **「1選択１件」を押す**

メッセージを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **複数選択して削除する場合：「2選択複数件」▶削除するSMSを選択▶決定▶電話帳を押す**

- □から☑に変わります。
- 決定：SMSを選択／解除します。
- メニュー：すべてのSMSを選択／解除します。

■ **ドコモUIMカード内のメッセージを全件削除する場合：「3UIMカード内全件」▶暗証番号を入力▶決定を押す**

■ ドコモUIMカード内の送達通知を全件削除する場合：「4送達通知全件」▶暗証番号を入力▶決定を押す
• 受信SMSのみ操作できます。

4 「1削除する」を押す
メッセージを削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとドコモUIMカード内の受信SMS一覧に戻ります。
• メッセージがなくなった場合は、メッセージがない旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ
• ドコモUIMカード内の送信SMS一覧から操作する場合は、削除するSMSを選択▶メニュー▶「2削除する」を押します。
• ドコモUIMカード内の受信／送信SMS詳細画面から削除する場合は、メニュー▶「削除する」を選択▶決定▶「1削除する」を押します。

SMSの設定をする

SMSを利用する際の各種条件を設定します。〈SMS設定〉

通常はSMSC、アドレス、Type of Numberの設定を変更する必要はありません。

1 待受画面で メール ▶「9SMSを使う」▶「3SMSを設定する」を押す
SMS設定の選択画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。
1 **送信文字種**：日本語のメッセージを送信するか、英語のメッセージを送信するかを選択します。送信文字種により送信できる文字数が異なります。
2 **送達通知**：SMSを送信する際に、相手に届いたことを知らせる送達通知の配信を要求するかどうかを設定します。
3 **有効期間**：送信したSMSを相手が受け取れないときに、SMSセンターで保管する期間を選択します。

2 「1送信文字種」～「3有効期間」のいずれかを押す

■ 送信文字種を設定する場合：「1送信文字種」▶「1日本語」または「2英語」を押す
SMS設定の選択画面に戻ります。

■ 送達通知を設定する場合：「2送達通知」▶「1要求する」または「2要求しない」を押す
SMS設定の選択画面に戻ります。

■ 有効期間を設定する場合：「3有効期間」▶「10日」～「43日」のいずれかを押す
SMS設定の選択画面に戻ります。
• 「0日」に設定すると、一定時間再送された後、削除されます。

■ ドコモ以外のSMSサービスを受ける場合：
① メニューを押す
変更する項目の選択画面が表示されます。
② 「1SMSC」▶「2その他」を押す
変更する項目の選択画面に戻ります。
• 「1ドコモ」：ドコモからSMSサービスを受ける場合に設定します。
③ 「2アドレス」▶アドレスを入力▶決定を押す
変更する項目の選択画面に戻ります。
• 半角数字20文字以内で入力します。
④ 「3Type of Number」▶「1international」または「2unknown」を押す
変更する項目の選択画面に戻ります。
• SMSCで「その他」を設定し、かつアドレスを設定した場合は、Type of Numberを「unknown」に設定する必要があります。

3 電話帳を押す
SMSを設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ
• 送達通知を「要求する」に設定して送信した場合は、SMSが相手のFOMA端末に届いたことを知らせる送達通知が送られてきます。送達通知は受信メールのフォルダに保存されます。→p.200
• 送信文字種、有効期間、SMSC、Type of Numberの設定は、ドコモUIMカードに保存されます。

メールの管理

FOMA端末には、メールをより使いやすくするためのさまざまな管理機能があります。

メールのフォルダ作成

メールのフォルダを作成します。
- お買い上げ時に登録されているフォルダとメール連動型ｉアプリ用フォルダ以外に、受信メールでは最大40個、未送信／送信メールでは最大20個のフォルダを作成できます。

〈例〉受信メールのフォルダを追加する

1 **待受画面で［メール］▶「1受信したメールを見る」を押す**
フォルダ一覧が表示されます。

2 **［メニュー］▶「1フォルダを追加」▶フォルダ名を入力する**
フォルダ名の入力画面が表示されます。
- 全角7文字、半角14文字以内で入力します。

■ フォルダ名を変更する場合：**フォルダ名を変更するフォルダを選択▶［メニュー］▶「3フォルダ名変更」▶フォルダ名を入力する**
- お買い上げ時に登録されているフォルダとメール連動型ｉアプリ用フォルダのフォルダ名は変更できません。

3 **［決定］を押す**
フォルダを追加した旨のメッセージが表示されます。［決定］を押すか、約5秒たつとフォルダ一覧に戻ります。

メールのフォルダ削除

受信／送信／未送信メールから不要なフォルダを削除します。
- お買い上げ時に登録されているフォルダは削除できません。
- 保護されているメールがあるフォルダは削除できません。保護を解除してからフォルダを削除してください。
- メール連動型ｉアプリ用のフォルダは、そのフォルダに対応するｉアプリがあるときは削除できません。

〈例〉受信メールのフォルダを削除する

1 **待受画面で［メール］▶「1受信したメールを見る」を押す**
フォルダ一覧が表示されます。

2 **削除するフォルダを選択▶［メニュー］▶「2フォルダを削除」を押す**
フォルダとフォルダ内の全てのメールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。
- フォルダ内にメールが残ったままフォルダを削除するときは、端末暗証番号を入力▶［決定］を押します。

3 **「1削除する」を押す**
フォルダを削除した旨のメッセージが表示されます。［決定］を押すか、約5秒たつとフォルダ一覧に戻ります。

他のフォルダへのメール移動

受信／送信／未送信メールを別のフォルダに移動します。

〈例〉受信メールを他のフォルダに移動する

1 **待受画面で［メール］▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶［決定］を押す**
受信メール一覧が表示されます。

2 移動するメールを選択▶(メニュー)▶「5フォルダへ移動」を押す

移動先フォルダ選択画面が表示されます。

3 移動先のフォルダを選択▶決定を押す

メールを移動した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと受信メール一覧に戻ります。

- メール連動型ｉアプリ用のフォルダの場合は、移動するかどうかの確認画面が表示されます。移動する場合は「1移動する」を押します。移動したメールはｉアプリで利用されます。

お知らせ

- 送信メール一覧から操作する場合は、移動するメールを選択▶(メニュー)▶「4フォルダへ移動」を押します。

メールの保存件数の確認

受信／送信／未送信メールのフォルダごとにメールが何件保存されているかを確認します。

〈例〉受信メールの保存件数を確認する

1 待受画面で(メール)▶「1受信したメールを見る」を押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 件数を確認するフォルダを選択▶(メニュー)▶「5メール件数確認」を押す

フォルダ内の保存件数が表示されます。

- 決定を押すとフォルダ一覧に戻ります。

メールの削除

受信／送信／未送信メールから不要なメールを削除します。

- 保護されているメールは削除できません。まとめて削除する場合でも、保護されているメールは削除されずに残ります。保護を解除してから削除してください。

〈例〉受信メールを１件削除する

1 待受画面で(メール)▶「1受信したメールを見る」を押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選択▶決定を押す

受信メール一覧が表示されます。

■ 受信メール、メッセージR/Fを全件削除する場合：(メニュー)▶「4メールを削除」▶「3受信全件」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

全てのメール・メッセージを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

操作5に進みます。

■ 未送信／送信メールを全件削除する場合：(メニュー)▶「4メールを削除」▶「2未送信メール全件」または「2送信メール全件」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

全てのメールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

操作5に進みます。

3 削除するメールを選択▶(メニュー)▶「3削除する」を押す

削除するメールの選択画面が表示されます。

■ 送信メール一覧から操作する場合：削除するメールを選択▶(メニュー)▶「2削除する」を押す

4 「1選択１件」を押す

メールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 複数選択して削除する場合：「2選択複数件」▶削除するメールを選択▶決定▶(電話帳)を押す

- □から☑に変わります。
- 決定：メールを選択／解除します。
- (メニュー)：すべてのメールを選択／解除します。

■ フォルダ内の既読メールを削除する場合：「3フォルダ内既読」を押す

■ フォルダ内の受信メールを全件削除する場合：「4フォルダ内全件」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

■ フォルダ内の未送信／送信メールを全件削除する場合：「3フォルダ内全件」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

5 「1削除する」を押す

メールを削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと受信メール一覧に戻ります。

- 受信メールがなくなった場合は、受信メールがない旨のメッセージが表示されます。決定を押すと、受信メールのフォルダ一覧に戻ります。

お知らせ

- 受信メールを複数選択しているときにメールを受信すると、選択状態を解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと選択状態が解除されて、受信メール一覧に戻ります。

メールの保護／解除

受信／送信／未送信メールを誤って削除したり、保存領域の空きがなくなって上書きされないように、メールを保護します。

- 未読メール、エリアメールは保護できません。
- 受信メールは最大500件、送信／未送信メールはそれぞれ最大100件保護できます。→p.450

〈例〉受信メールを保護する

1 待受画面で（メール）▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 保護するメールを選択▶メニュー▶「4保護／解除する」を押す

保護／保護解除するメールの選択画面が表示されます。

3 「1選択1件保護」または「2全件保護」を押す

メールが保護されます。

- メールを保護すると状態マークが次のいずれかに変わります。
  受信メール：（既読）、（返信不可）、（返信済み）、（転送済み）
  未送信／送信メール：

■ 保護を解除する場合：「3選択1件解除」または「4全件解除」を押す

メールの保護が解除されます。

お知らせ

- 送信メール一覧から操作する場合は、保護するメールを選択▶メニュー▶「3保護／解除する」を押します。
- メール詳細画面から操作する場合は、メニュー▶「保護する」または「保護を解除」を選択▶決定を押します。
- 全件保護の途中で最大保護件数を超える場合は、日時が新しいメールから順に、最大保護件数に達するまで保護されます。

メール一覧の並び順変更

受信／送信メール一覧の並び順（「日付順」）を一時的に並べ替えます。

〈例〉受信メール一覧を並べ替える

1 待受画面で（メール）▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 メニュー▶「7並び順を変更」を押す

並び順の条件選択画面が表示されます。

3 「1日付順」～「4メールサイズ順」のいずれかを押す

メールが一時的に並び替わります。

お知らせ

- 送信メール一覧から操作する場合は、メニュー▶「6並び順を変更」を押します。
- 「差出人順」または「宛先順」の場合は、メールアドレスが電話帳に登録されていても電話帳の名前ではなく、メールアドレスのアルファベット順に並び替わります。
- 題名に全角／半角の文字や漢字が混在していると、「題名順」の並べ替えた結果が50音順にならない場合があります。
- 一覧にSMSが含まれているときに「題名順」で並べ替えると、SMSは題名部分に本文の先頭が表示されるため50音順にはなりません。

メール一覧の表示方法変更

受信メール一覧を一時的にメールの状態別に表示します。

1 **待受画面で ▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す**
受信メール一覧が表示されます。

2 **メニュー▶「8表示方法を変更」を押す**
表示方法の選択画面が表示されます。

3 **「1全て表示」～「4保護のみ表示」のいずれかを押す**
選択した表示方法で表示されます。

お知らせ

- 受信メール一覧の表示を終了すると「全て表示」に戻ります。
- 「既読のみ表示」では、保護されている受信メールは表示されません。

メールの表示サイズ設定

受信／送信メール、例文などの内容を表示するときのサイズを変更します。

- 本機能の設定は受信／送信メール、例文表示、microSDカード内のメール、ドコモUIMカード内のSMS、メール作成中の本文すべてに反映されます。

〈例〉受信メール詳細画面の表示サイズを変更する

1 **待受画面で ▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定▶メールを選択▶決定を押す**
受信メール詳細画面が表示されます。

2 **メニュー▶「7表示サイズを変更」を押す**
表示サイズの選択画面が表示されます。

3 **「1大きく表示」～「3小さく表示」のいずれかを押す**
表示サイズが変わります。

お知らせ

- 送信メール詳細画面、microSDカード内のメール詳細画面、ドコモUIMカード内の受信／送信SMS詳細画面から操作する場合は、メニュー▶「表示サイズを変更」を選択▶決定を押します。
- 例文表示画面から操作する場合は、メニューを押します。
- 表示サイズを変更すると、次にメールを表示するときも同じ表示サイズで表示されます。

メールの送信元／宛先確認

メールに表示されているメールアドレスや電話帳の名前がすべて表示されない場合は、この方法でメールアドレスを確認できます。

〈例〉受信メールのメールアドレスを確認する

1 **待受画面で ▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す**
受信メール一覧が表示されます。

2 **メールアドレスを表示するメールを選択▶メニュー▶「0差出人等を確認」を押す**

差出人確認
題名:
お知らせ
差出人:
docomo.ΔΔΔ.taro@
docomo.ne.jp
宛先(To):
docomo.taro.ΔΔ@d
ocomo.ne.jp

受信メールの場合、自分以外の宛先があると「宛先(To):」「Cc:」が表示

- メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合やSMSでは、電話番号が表示されます。
- 決定を押すと受信メール一覧に戻ります。

お知らせ

- 未送信／送信メール一覧から操作する場合は、メールアドレスを表示するメールを選択▶メニュー▶「宛先を確認」を選択▶決定を押します。宛先確認では「題名：」「差出人：」は表示されません。
- 受信／送信メール、受信／送信SMS詳細画面から操作する場合は、メニュー▶「#差出人を確認」または「*宛先を確認」を押します。

メールの送受信履歴を利用する

送受信したメールの宛先や送信元をメールの履歴として記録しておく機能です。この履歴を利用して、メールを作成したり、電話帳に登録したりできます。〈メール送受信履歴〉

- 送信履歴と受信履歴はそれぞれ最大30件記録されます。
- 同じ宛先にメールを送信した場合は、送信履歴には最新の1件が記録されます。
- 返信不可のｉモードメールやSMSの受信メールは受信履歴に記録されません。

メール送受信履歴の表示

記録されているメール送受信履歴を表示します。

1 待受画面で(メール)▶「0メールを送受信した人を見る」▶「1最近送信した人を見る」または「2最近受信した人を見る」を押す

最近送信した人	最近送信した人
1/2件	1/2件
携帯花子 docomo.taro.…	04/15 10:10
✉S090XXXXXXXX	携帯花子
	docomo.ΔΔΔ.taro@docomo.ne.jp

<送信履歴一覧画面>　<送信履歴詳細画面>

- (電話帳)：押すたびに一覧画面と詳細画面が切り替わります。
- マークの意味は次のとおりです。
  表示なし：ｉモードメールの送受信履歴
  ✉S：SMSの送受信履歴

メール送受信履歴の利用

メール送受信履歴表示中に次の操作ができます。

■ ｉモードメールを作成する場合：**送受信履歴一覧でｉモードメールを作成するｉモードメールの履歴を選択▶(決定)を押す**

選択した履歴のメールアドレスを宛先にしたメール作成画面が表示されます。

- 以降の操作は「簡単な操作でｉモードメールを作成・送信」操作4以降→p.152、「ｉモードメールの作成・送信」操作4以降をご覧ください。→p.156

■ SMSを作成する場合：**送受信履歴一覧でSMSを作成するSMSの履歴を選択▶(決定)を押す**

選択した履歴の電話番号を宛先にしたSMS作成画面が表示されます。

- 以降の操作は「SMSを作成して送信する」操作4以降をご覧ください。→p.197

■ 電話帳に新規登録する場合：**送受信履歴一覧で電話帳に登録する履歴を選択▶(メニュー)▶「3電話帳に登録」を押す**

名前の入力画面が表示されます。

- 以降の操作は「電話帳に名前を登録する」操作2以降をご覧ください。→p.81

■ 電話帳に追加登録する場合：

① **送受信履歴一覧で電話帳に追加登録する履歴を選択▶(メニュー)▶「4電話帳に追加」を押す**

電話帳の検索画面が表示されます。

② **登録先の相手を選択▶(決定)を押す**

電話帳に追加した旨のメッセージが表示されます。

(決定)を押すか、約5秒たつとワンタッチダイヤルに登録するかどうかの確認画面が表示されます。

③ **「2終了する」を押す**

メニュー画面に戻ります。

- ワンタッチダイヤルに登録するときは「1登録する」▶「1ワンタッチダイヤル1」～「3ワンタッチダイヤル3」のいずれかを押します。
  以降の操作は「ワンタッチダイヤルに電話番号を登録する」以降をご覧ください。→p.92
- 検索方法→p.84

メール送受信履歴の削除

メール送受信履歴を削除します。

〈例〉送受信履歴を1件削除する

1 待受画面で［メール］▶「0 メールを送受信した人を見る」▶「1 最近送信した人を見る」または「2 最近受信した人を見る」を押す

送受信履歴一覧が表示されます。

2 削除する履歴を選択▶［メニュー］▶「5 削除する」を押す

削除する履歴の選択画面が表示されます。

3 「1 選択1件」を押す

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 送受信履歴を全件削除する場合：「2 全件」▶端末暗証番号を入力▶［決定］を押す

4 「1 削除する」を押す

履歴を削除した旨のメッセージが表示されます。［決定］を押すか、約5秒たつと履歴一覧画面に戻ります。

- 履歴がなくなった場合は、履歴がない旨のメッセージが表示されます。［決定］を押すと、メニュー画面に戻ります。

メールの便利な機能

ｉモードメール、SMSの本文中の文字をコピーします。本文中に電話番号やメールアドレスがあるときは、FOMA端末電話帳に登録したり、URLがあるときは、ブックマークに登録したりできます。

メールの本文などのコピー

表示中のメールやSMSの詳細画面の内容をコピーします。コピーした文字はメール作成画面などの入力欄に貼り付けることができます。

- コピーした文字は新たにコピーを行うか電源を切るまで記録され、何度でも貼り付けられます。

コピーする項目	説　明
選択中の項目	反転表示されている項目（メールアドレス、電話番号など）をコピーします。
宛先／差出人／メールアドレス	宛先や送信元のメールアドレスをコピーします。
題名	題名をコピーします。
本文	本文中の指定した範囲の文字をコピーします。例文、テンプレート一覧の場合は本文をすべてコピーします。

〈例〉受信メール詳細画面からコピーする

1 待受画面で［メール］▶「1 受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶［決定］▶メールを選択▶［決定］を押す

受信詳細画面が表示されます。

2 ［メニュー］▶「9 内容をコピー」を押す

コピーする項目の選択画面が表示されます。

3 **「1選択中の項目」～「4メールアドレス」のいずれかを押す**

コピーした旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと受信メール詳細画面に戻ります。

- 「メールアドレス」を押した場合に、複数のメールアドレスがあるときは、コピーするメールアドレスを選択して決定を押します。
- 例文、テンプレート一覧以外で「本文」を押した場合はコピーする範囲を指定します。以降の操作は「文字のコピー／切り取り／貼り付け」操作3～4をご覧ください。→p.372
- 貼り付け方法については「文字のコピー／切り取り／貼り付け」操作5をご覧ください。→p.372

お知らせ

- 送信メール詳細画面、ドコモUIMカード内の受信／送信SMS詳細画面、例文一覧、テンプレート一覧から操作する場合は、メニュー▶「内容をコピー」を選択▶決定を押します。
  コピーできる内容はコピー元によって異なります。

メール本文中の電話番号やメールアドレスの電話帳登録

ｉモードメール、SMSの詳細画面からメールアドレスや電話番号をFOMA端末電話帳に登録します。

〈例〉受信メール詳細画面から電話帳登録する

1 **待受画面で✉▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定▶メールを選択▶決定を押す**

受信詳細画面が表示されます。

2 **項目を選択▶メニュー▶「0登録する」を押す**

登録先の選択画面が表示されます。

3 **「1電話帳新規登録」または「2電話帳追加登録」を押す**

■ **新規登録する場合：「1電話帳新規登録」を押す**

名前の入力画面が表示されます。

- 以降の操作は「電話帳に名前を登録する」操作2以降をご覧ください。→p.81
  操作後に受信メール詳細画面に戻ります。

■ **追加登録する場合：**

① **「2電話帳追加登録」▶電話帳を検索▶登録先の相手を選択▶決定を押す**

追加した旨のメッセージが表示されます。

決定を押すか、約5秒たつとワンタッチダイヤルに登録するかどうかの確認画面が表示されます。

- 検索方法→p.84
- 登録先の相手にすでに3件登録しているときは、上書きする電話番号やメールアドレスの選択画面が表示されます。

② **「2終了する」を押す**

受信メール詳細画面に戻ります。

- ワンタッチダイヤルに登録するときは「1登録する」▶「1ワンタッチダイヤル1」～「3ワンタッチダイヤル3」のいずれかを押します。
  以降の操作は「ワンタッチダイヤルに電話番号を登録する」以降をご覧ください。→p.92

お知らせ

- 送信メール詳細画面、ドコモUIMカード内の受信／送信SMS詳細画面から操作する場合は、メニュー▶「登録する」を選択▶決定を押します。
- メール本文などに複数のメールアドレスが列記されている場合は、登録できないことがあります。

メール本文中のURLのブックマーク登録

ｉモードメール、SMSの本文中にURLがあるとき、メール詳細画面から直接、URLをブックマークに登録できます。

〈例〉受信メール詳細画面からブックマーク登録する

1 **待受画面で［メール］▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶［決定］▶メールを選択▶［決定］を押す**
受信詳細画面が表示されます。

2 **URLを選択▶［メニュー］▶「0登録する」を押す**
登録先の選択画面が表示されます。

3 **「3ブックマーク登録」▶登録先フォルダを選択▶［決定］を押す**
ブックマークを追加した旨のメッセージが表示されます。［決定］を押すか、約5秒たつと受信メール詳細画面に戻ります。

お知らせ

- 送信メール詳細画面、ドコモUIMカード内の受信SMS詳細画面や送信SMS詳細画面から操作する場合は、［メニュー］▶「登録する」を選択▶［決定］を押します。

ｉモード

サイトを表示する

サイトから画像やメロディなどをダウンロードする

ｉモードの便利な機能

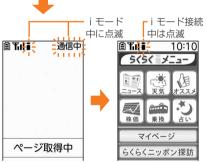
ｉモードの設定を行う

証明書を利用する

ｉモードとは

ｉモードでは、ｉモード対応端末のディスプレイを利用して、サイト接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。
- ｉモードサービスの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

ｉモードのご使用にあたって

- サイトやインターネット上のホームページの内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイトやインターネットホームページからｉモード対応端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- 異なるドコモUIMカードに差し替えたり、ドコモUIMカードを取り付けずに電源を入れたりした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画、ｉモーション、メロディやメールで送受信した添付データ（静止画、動画、メロディなど）、画面メモおよびメッセージR/Fなどは表示、再生できません。
- ドコモUIMカードのセキュリティ機能が設定されているデータを待受画面や着信音などに設定している場合、異なるドコモUIMカードに差し替えたり、ドコモUIMカードを取り付けずに電源を入れたりすると、設定内容はお買い上げ時の状態に戻ります。

サイトの表示

ｉモードに接続して、さまざまなサイトを表示します。

- サイト画面はイメージです。実際に表示される画面とは異なる場合があります。

1　待受画面で[ｉα]▶「[1] ｉMenuを見る」を押す

- ｉモード接続中画面で[決定]：接続を中止します。
- ページ取得中画面で[電話帳]：ページの読み込みを中止します。

2　見たい項目を選択▶[決定]を押す

サイトに接続されます。以降目的のページが表示されるまで、操作を繰り返します。

- [1]、[2]などの番号付きの項目は、項目に対応するボタンを押して選択できる場合があります（ダイレクトキー機能）。

3　サイトを見終わったら[終話]▶「[1]終了する」を押す

お知らせ

- ｉモードボタン設定を「1 ｉMenuへ接続」にすると[i]を押してｉモードサイトに接続できます。→p.234
- [らくらくサイト]を押してもｉモードサイトに接続できます。
- この端末からｉモードセンターに接続すると、最初にらくらくｉメニューが表示されます。通常のｉMenuを表示する場合は、らくらくｉメニュー画面で「ｉメニュー設定」を選択▶[決定]を押したあと、表示される画面の指示に従って操作してください。
- サイト表示中にらくらくｉメニューを表示する場合は、[メニュー]▶「1 ｉMenu」を押します。
- サイト表示中の文字の大きさを変更できます。→p.233
- サイトによっては、利用するために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。
- IP（情報サービス提供者）が提供するサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。
- サイトによっては、項目選択時にお客様の携帯電話情報を送信するかどうかの画面が表示される場合があります。「1 送信する」を押すと、お客様の携帯電話情報が送信されます。
  送信される製造番号は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかを判定したりするために使われます。
  送信するお客様の携帯電話情報（FOMA端末の製造番号、ドコモUIMカードの製造番号）はインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別がIP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。
- サイトからユーザ名、パスワードの入力を要求されたときはユーザ名、パスワードの入力画面が表示されます。サイトのユーザ名、パスワードを入力し、「送信」を選択して[決定]を押します。
- 画像を含むサイトを表示したとき、画像の代わりに次のマークが表示される場合があります。
  [画像マーク]: 画像表示・照明設定（→p.233）で「画像」を「表示しない」に設定しているとき
  [×マーク]: 画像のデータが不正なときや画像が見つからないとき、受信中に圏外になるなどで画像を受信できなかったとき
  [画像エラーマーク]: 画像のURLの誤りなどで画像が表示できないとき
- ｉモードは通信を使ったサービスのため、圏外が表示されている場合はご利用になれません。

SSL対応ページの接続

SSLに対応したサイトやホームページに接続できます。

- SSLとは、認証/暗号技術を使用して安全にデータ通信を行う方式のことです。SSLページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴、なりすましや書き換えを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやり取りできるようにしています。
- SSL対応のページによっては、日付・時刻の設定をしないと接続できない場合があります。→p.50
- SSL通信を行うには、接続先とFOMA端末に同じ認証機関が発行した「証明書」という電子情報が必要です。→p.236
- FirstPass対応のページに接続するには、ユーザ証明書をFirstPassセンターからダウンロードし、ドコモUIMカードに保存する必要があります。→p.236

■ SSL対応のページに接続する

SSL対応のページに接続する場合は、SSL通信を開始する旨のメッセージが表示されます。

- SSL対応のページが表示されるとディスプレイ上部の[アイコン]（点滅）が[SSLアイコン]に変わります。
- 表示中のページに使われている証明書を表示する場合は、[メニュー]▶「＊ URL等を確認」▶「2 証明書詳細表示」を押します。→p.236

■ SSL対応のページから通常のページに進む

SSL対応のページから通常のページに進む場合は、SSLページを終了するかどうかの確認画面が表示されます。

- 「1 終了する」を押すと通常のページが表示され、ディスプレイ上部の[SSLアイコン]が[アイコン]（点滅）に変わります。

■ FirstPass対応のページに接続する

FirstPass対応のページに接続する場合は次の操作が必要です。

① 「1 送信する」▶PIN2コードを入力▶[決定]▶[決定]を押すまたは約5秒後にFirstPass対応のページに接続する
  - 60秒以内にPIN2コードを入力しないとSSL通信は中止されます。

お知らせ

- 接続先との通信の安全性が確認できない場合、接続するかどうかの確認画面が表示されます。接続するときは「1接続する」を押します。
- FirstPass対応サイトに接続した際のパケット通信料は、ｉモードパケット定額サービスの対象となります。

最後に表示したページに再接続

最後に表示したサイトやホームページのURLはFOMA端末に記録されています。ラストURLを利用すると、最後に表示したページに簡単に再接続できます。〈ラストURL〉

1 **待受画面で ▶「3最後に表示したサイトを見る」▶ 決定 を押す**

サイトに接続されます。

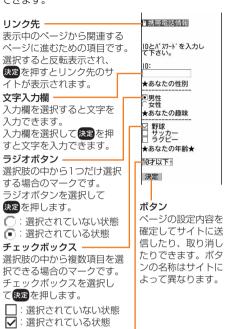
- ラストURLが記録されていないときは、最後に表示したURL情報がない旨のメッセージが表示されます。

お知らせ

- 最後に表示したページによっては、表示できない場合や、異なるページを表示する場合があります。

サイトの見かたと操作

サイト表示中の基本的な操作方法について説明します。

Flash画像の表示

FOMA端末ではFlash画像を表示できます。Flash画像により、サイトの表現力がさらに豊かになります。

- 画像表示・照明設定の「画像」を「表示しない」に設定した場合は、Flash画像は表示されません。→p.233
- Flash画像が表示されているときは、表示動作が通常のサイト表示と異なる場合があります。
- Flash画像によってはガイド行にが表示されていない場合でも、Flash画像の操作ができる場合があります。
- Flash画像を写真のアルバム、画面メモ、microSDカードなどに保存して再生した場合、保存箇所により見えかたが異なる場合があります。
- Flash画像が表示されていても、正しく動作しない場合や、再生中にエラーが発生したFlash画像は保存できない場合があります。
- Flash画像によっては効果音が鳴る場合があります。ただし、音声読み上げ機能を設定している場合は、音声読み上げが優先されます。効果音を鳴らさない場合は、画像表示・照明設定の「効果音設定」を「再生しない」に設定してください。→p.233
- Flash画像によっては、バイブレータ設定（→p.106）を「振動させない」に設定しても、再生中にFOMA端末を振動させる場合がありますのでご注意ください。
- 再生中に30秒以上操作しなかった場合は、一時停止します。再生を再開するにはメニュー、、、決定、、戻る以外のボタンを押してください。
- Flash画像を最初から再生する場合は、メニュー▶「#表示を設定」▶「4リトライ」を押してください。
- Flash画像が画面に収まっていない場合は、スクロールにより画面内に収まった時点で動作が開始されます。
- Flash画像によっては、端末情報データを利用するものがあります。端末情報データを利用するためには、画像表示・照明設定（→p.233）の「端末情報利用」で設定できます。
- 待受画面に設定されたFlash画像の効果音は鳴りません。

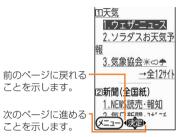
リンク先や項目の選択

ｉモード中、サイトによっては次のような操作ができます。

リンク先
表示中のページから関連するページに進むための項目です。選択すると反転表示され、決定を押すとリンク先のサイトが表示されます。

文字入力欄
入力欄を選択すると文字を入力できます。
入力欄を選択して決定を押すと文字を入力できます。

ラジオボタン
選択肢の中から1つだけ選択する場合のマークです。
ラジオボタンを選択して決定を押します。
◯：選択されていない状態
◉：選択されている状態

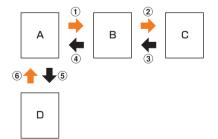
チェックボックス
選択肢の中から複数項目を選択できる場合のマークです。
チェックボックスを選択して決定を押します。
☐：選択されていない状態
☑：選択されている状態

プルダウンメニュー
選択すると、隠れている選択肢が表示されるメニューです。
選択肢を選択して決定を押します。

ボタン
ページの設定内容を確定してサイトに送信したり、取り消したりできます。ボタンの名称はサイトによって異なります。

お知らせ

- 音声読み上げ機能を設定している場合は、サイト情報の内容を選択すると深緑色（背景や文字の色により色が変化します）に反転表示されますが、リンク情報ではありません。
- プルダウンメニューによっては、選択画面で項目を選択▶決定を押す操作を繰り返すことにより、複数の項目が選択できます。選択後に電話帳を押すと、選択項目がすべて反映された画面に戻ります。
- 文字入力欄、ラジオボタン、チェックボックス、プルダウンメニューのそれぞれに入力した内容は、登録したブックマークや画面メモなどには反映されません。

前のページへの戻りかた・進みかた

FOMA端末は、サイトやホームページなどの表示履歴を一時的に端末内の「キャッシュ」という場所に記録します。この履歴を利用することで通信を行わずに前のページに戻ったり、次のページに進んだりできます。

- 表示履歴は最大20件記録されます。
- 端末のキャッシュサイズをオーバーしていたり、必ず最新情報を読み込むように設定されたサイトを表示したりするときは通信を行います。
- FirstPassセンター接続中（→p.236）は本機能を使用できません。

- ⇦／⇨：前のページに戻る／次のページに進みます。

お知らせ

- 入力した文字や設定などの情報は記録されません。
- ｉモードを終了すると、記録されたページはすべて消去されます。
- Flash画像が表示されている場合は、ページの操作方法が異なることがあります。
- ページA→B→Cの順に表示（①、②）した後でページAに戻り（③、④）、ページDに進む（⑤）と、ページA→B→Cの表示履歴は消去されます。ページDからページAには戻れますが（⑥）、さらにページBへ戻る（①）ことはできません。

画面のスクロール

サイトやインターネットホームページの内容などを表示中に画面をスクロールします。

ウェザーリポートを
見る/送る
ココの天気は？
ピンポイント天気
1今日明日/週間
2動画天気番組
3世界の天気
その他一覧
メニュー 決定

すべての行が表示されていないとき、またはリンク項目に移動できるときは▲や▼が表示されます。

- [メール][iα]：スクロールします。1秒以上押すと連続スクロールします。
- [＊][#]：1秒以上押すと画面単位でスクロールします。

サイト情報の再読み込み

ページの情報が正常に受信できなかった場合に、再読み込みを行ってページの情報を受信し直します。

1 サイト表示中に[メニュー]▶「5再読み込み」を押す
ページの情報を受信し、ページが再表示されます。

URLの表示

サイトやインターネットホームページのURLを表示します。

〈例〉サイトのURLを表示する

1 サイト表示中に[メニュー]▶「＊URL等を確認」▶「1URLを表示」を押す
URLが表示されます。[決定]を押すとサイト表示に戻ります。

お知らせ

- URL履歴一覧、ブックマーク一覧、画面メモ一覧から操作する場合は、[メニュー]▶「URLを表示」を選択▶[決定]を押します。

マイメニューを使う

よく利用するサイトをマイメニューに登録すると、次回から簡単に接続できます。

- 有料サイトに申し込むと自動的にマイメニューに登録されます。

マイメニューへの登録

マイメニューにサイトを登録します。

- マイメニュー登録にはｉモードパスワードが必要です。
- マイメニューに登録できるのはｉモードのサイトだけです。ただし、登録できないサイトもあります。登録できないサイトやインターネットホームページはブックマークに登録してください。
- 最大45件登録できます。

1 マイメニューに登録するサイトを表示し、「マイメニュー登録」を選択▶[決定]を押す
ｉモードパスワード入力画面が表示されます。
- 各サイトによりページ構成が異なりますので、該当する番号のボタンを押すか、該当する項目を選択▶[決定]を押します。

2 ｉモードパスワード欄を選択▶[決定]▶ｉモードパスワードを入力▶[決定]を押す
入力したパスワードは「＊」で表示されます。
- ｉモードパスワードはご契約時は「0000」に設定されています。

3 「登録する」を選択▶[決定]を押す
サイトがマイメニューに登録されます。

マイメニューからのサイト表示

マイメニューに登録したサイトを表示します。

1 待受画面で[iα]▶「1 i Menuを見る」▶「マイページ」を選択▶[決定]を押す
マイページが表示されます。

2 **マイメニュー内から表示するサイトを選択▶決定を押す**

サイトが表示されます。

ｉモード用パスワードの変更

マイメニュー登録／削除、メッセージサービスやｉモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定を行うときはｉモードパスワードが必要です。ｉモードパスワードはｉモードご契約時には「0000」に設定されていますが、安全のためお客様独自のｉモードパスワードに変更してください。なお、ｉモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

- ｉモードパスワード欄には、4桁の数字を入力します。入力したパスワードは「*」で表示されます。
- ｉモードパスワードをお忘れの場合は、ご契約者本人であることを確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップの窓口で確認させていただいた上で、ｉモードパスワードを「0000」にリセットさせていただきます。

1 **待受画面でｉ▶「1 i Menuを見る」▶「お客様サポート／お知らせ」を選択▶決定▶「暗証番号・パスワード」を選択▶決定▶「ｉモードパスワード変更」を選択▶決定を押す**

2 **現在のパスワード欄を選択▶決定▶現在のｉモードパスワードを入力▶決定を押す**

操作1の画面に戻ります。

3 **新パスワード欄を選択▶決定▶新しいｉモードパスワードを入力▶決定を押す**

操作1の画面に戻ります。

4 **新パスワード確認欄を選択▶決定▶操作3で入力した新しいｉモードパスワードを入力▶決定を押す**

操作1の画面に戻ります。

5 **「決定」を選択▶決定を押す**

ｉモードパスワードが変更されます。

- 入力した内容に誤りや抜けがあったときは、エラー画面が表示されます。「再入力」を選択▶決定を押して操作2からやり直してください。

インターネットホームページの表示

インターネットに接続して、ｉモード対応のホームページにアクセスします。
接続先はインターネットホームページのアドレス（URL）で指定します。〈インターネット接続〉

- ｉモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。

1 **待受画面でｉ▶「4 インターネットに接続する」▶「1 URLを入力して接続する」を押す**

URL入力画面が表示されます。

- 2回目からは前回接続したURLが表示されます。

2 **決定▶インターネットホームページのURLを入力▶決定▶電話帳を押す**

インターネットホームページに接続されます。

- 半角英数字256文字以内で入力します。
- 半角英字入力モード時に1：「.」「/」「-」などの記号を入力できます。
- 半角英字入力モード時に＊：「.com」「ne.jp」「co.jp」「http://www.」「.html」などを入力できます。

お知らせ

- サイト表示画面から操作する場合は、メニュー▶「8 インターネットに接続」▶「1 URLを入力」を押します。
- インターネットホームページ表示中の操作方法は、ｉモードのサイトの場合と同様です。
- 受信データが1ページの最大サイズを超えたときはメッセージが表示され、決定を押すと受信できた分のデータが表示されます。

URL履歴を使って表示

URLを入力して接続したインターネットホームページのURLはFOMA端末に記録されています。このURL履歴からインターネットホームページに接続できます。
- 最大5件記録されます。5件を超えると、古いものから順に削除されます。

1 待受画面で[i]▶「4インターネットに接続する」▶「2サイトの入力履歴から接続する」を押す

URL履歴番号／URL履歴件数

URL履歴
1/3件
http://www.○○○○○.co.jp
http://www.○○○○△.co.jp
http://www.○○○△△.co.jp

- URL履歴が記録されていないときは、URL履歴がない旨のメッセージが表示されます。

2 表示するインターネットホームページのURLを選択▶[決定]を押す

インターネットホームページに接続されます。

■ URL履歴を削除する場合：

① **削除するURLを選択▶[メニュー]▶「2削除する」▶「1選択1件」を押す**

URL履歴を削除するかどうかの確認画面が表示されます。
- URLをすべて削除するときは、[メニュー]▶「2削除する」▶「2全件」▶端末暗証番号を入力▶[決定]を押します。

② **「1削除する」を押す**

URL履歴を削除した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すか、約5秒たつとURL履歴一覧に戻ります。
- URL履歴がなくなった場合は、URL履歴がない旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ
- サイト表示画面から操作する場合は、[メニュー]▶「8インターネットに接続」▶「2履歴から接続」を押します。

文字を正しく表示

サイトやインターネットホームページの文字が正しく表示されないときは、文字コードを変更して正しく表示できる場合があります。〈文字コード〉
- 文字コードとは、文字をコンピュータで利用可能にするために作られた文字の番号体系のことです。FOMA端末でサイトやインターネットホームページを表示する際に、文字コードが一致していないと文字が正しく表示されません。

1 サイトやインターネットホームページ表示中に[メニュー]▶「#表示を設定」▶「3文字コード変更」▶「1切替え」を押す

文字コードを変更して再表示します。
- 操作1を繰り返すたびに、文字コードが自動選択→SJIS→EUC→JIS→UTF8の順に切り替わります。操作を5回繰り返すと元の表示に戻ります。
- サイトやインターネットホームページを表示した時点では「自動で選択」に設定されています。

お知らせ
- 画面メモ表示画面から操作する場合は、[メニュー]▶「9表示を設定」▶「1文字コード変更」を押します。

サイトやホームページを登録してすばやく表示する

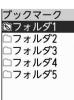
よく見るサイトやインターネットホームページをブックマークに登録しておくと、ブックマークを選択するだけで、サイトやインターネットホームページをすばやく表示することができます。〈ブックマーク〉
- ブックマークに登録できるURLの文字数は、半角で最大256文字です。ただし、サイトやホームページによっては、ブックマークに登録できない場合があります。
- 題名が登録可能な最大文字数を超える場合は、超えた部分が削除されて登録されます。

ブックマークの登録

ブックマークを5個のフォルダに分けて登録できます。

- 最大100件登録できます。→p.450

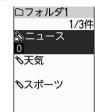
1 ブックマークに登録するサイトを表示して(メニュー)▶「2ブックマークに登録」を押す

登録先フォルダ選択画面が表示されます。

2 登録先フォルダを選択▶(決定)を押す

ブックマークを追加した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとサイト表示に戻ります。

お知らせ

- ブックマークが最大保存件数を超えるときは、登録済みのブックマークを書き換えるかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従い書き換えるブックマークを選択します。
- すでに同じURLが登録されているときは、ブックマークを書き換えるかどうかの確認画面が表示されます。書き換える場合は「1書きかえる」を押します。
- URL履歴一覧、画面メモ一覧、画面メモ表示画面から操作する場合は、(メニュー)▶「ブックマークに登録」を選択▶(決定)を押します。
- メッセージR/F詳細画面から操作する場合は、(メニュー)▶「3登録する」▶「3ブックマーク登録」を押します。

ブックマークからサイトやホームページを表示

登録したブックマークからサイトやインターネットホームページを表示します。

1 待受画面で(iモード)▶「2ブックマークを見る」を押す

- マークの意味は次のとおりです。
  - ：ブックマークが保存されている
  - ：ブックマークが保存されていない

2 フォルダを選択▶(決定)を押す

- マークの意味は次のとおりです。
  - ：簡易接続に登録されていない→p.224
  - ：簡易接続に登録されている
  - 0～9：簡易接続に登録されているボタンの番号

3 表示するブックマークを選択▶(決定)を押す

サイトやインターネットホームページに接続されます。

お知らせ

- サイト表示画面から操作する場合は、(メニュー)▶「3ブックマークを見る」を押します。

ブックマークのフォルダ名変更

ブックマークのフォルダ名を変更します。

1 待受画面で(iモード)▶「2ブックマークを見る」を押す

ブックマークのフォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダ名を変更するフォルダを選択▶(メニュー)▶「3フォルダ名変更」▶フォルダ名を入力する

フォルダ名の入力画面が表示されます。

- 全角7文字、半角14文字以内で入力します。

3 (決定)を押す

フォルダ名を変更した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとブックマークのフォルダ一覧に戻ります。

ブックマークの題名変更

ブックマークの題名を変更します。
- ブックマークのURLは変更できません。

1 待受画面で[iα]▶「2ブックマークを見る」▶フォルダを選択▶[決定]を押す
ブックマーク一覧が表示されます。

2 題名を変更するブックマークを選択▶[メニュー]▶「1題名を変更」▶題名を入力する
題名の入力画面が表示されます。
- 全角12文字、半角24文字以内で入力します。

3 [決定]を押す
題名を変更した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すか、約5秒たつとブックマーク一覧に戻ります。
- 題名を入力しないで[決定]を押すと、ブックマーク一覧ではURLが表示されます。

少ないボタン操作でのサイト表示

ブックマークを簡易接続に登録すると、待受画面から手早くサイトやインターネットホームページを表示できます。

簡易接続に登録する

少ないボタン操作で表示したいブックマークを簡易接続に登録します。
- 1つのダイヤルボタンにつき1件、合計10件まで登録できます。

1 待受画面で[iα]▶「6簡易接続を見る・登録する」を押す

簡易接続登録番号／全登録可能件数

簡易接続先選択　1/10件
0 未登録
1 未登録
2 未登録

- 簡易接続先選択画面の番号（0～9）が、サイト表示に使用するダイヤルボタン（[0]～[9]）に対応しています。
- [◁][▷]：簡易接続先選択画面を切り替えます。

2 未登録の登録先を選択▶[決定]を押す
ブックマークのフォルダ一覧が表示されます。

■ **簡易接続の登録を解除する場合：解除するブックマークを選択▶[メニュー]▶「1簡易接続を解除」を押す**
簡易接続先を解除した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すか、約5秒たつと簡易接続先選択画面に戻ります。

3 フォルダを選択▶[決定]▶登録するブックマークを選択▶[決定]を押す
簡易接続先に登録した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すか、約5秒たつと簡易接続先選択画面に戻ります。
- 登録済みのブックマークを選択した場合は、簡易接続先に登録済みの旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとブックマーク一覧に戻ります。
- ブックマーク一覧では、登録したブックマークのマークが[マーク]から[マーク]に変わり、対応するダイヤルボタンの番号（0～9）が表示されます。

お知らせ
- ブックマーク一覧から操作する場合は、登録するブックマークを選択▶[メニュー]▶「2簡易接続に登録」▶登録先を選択▶[決定]を押します。

簡易接続に登録したサイトを表示する

待受画面から少ないボタン操作でサイトを表示します。

1 待受画面で簡易接続に登録した番号（[0]～[9]）を入力▶[iα]を押す
簡易接続に登録したサイトやインターネットホームページに接続されます。

お知らせ
- 簡易接続先選択画面で登録済みの登録先を選択し、[決定]を押しても接続されます。

ブックマークの削除

1件ずつ削除したり、フォルダ内のブックマークをまとめて削除したり、すべてのブックマークをまとめて削除したりします。
- ブックマークのフォルダは削除できません。

〈例〉ブックマークを1件削除する

1 待受画面で(iα)▶「2ブックマークを見る」を押す
ブックマークのフォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選択▶(決定)▶削除するブックマークを選択▶(メニュー)▶「3削除する」を押す
削除するブックマークの選択画面が表示されます。

■ 全件削除する場合：(メニュー)▶「2全て削除」▶端末暗証番号を入力▶(決定)を押す
操作4に進みます。

3 「1選択1件」を押す
ブックマークを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ フォルダ内のブックマークを全件削除する場合：「2フォルダ内全件」▶端末暗証番号を入力▶(決定)を押す

4 「1削除する」を押す
ブックマークを削除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとブックマーク一覧に戻ります。
- フォルダ内のブックマークがなくなった場合は、ブックマークがない旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとブックマークのフォルダ一覧に戻ります。

お知らせ
- 簡易接続に登録したブックマークを削除すると、簡易接続登録も解除されます。

ブックマークを他のフォルダに移動

ブックマークを他のフォルダに移動します。

1 待受画面で(iα)▶「2ブックマークを見る」▶フォルダを選択▶(決定)を押す
ブックマーク一覧が表示されます。

2 移動するブックマークを選択▶(メニュー)▶「6フォルダへ移動」を押す
移動先フォルダ選択画面が表示されます。

3 移動先フォルダを選択▶(決定)を押す
ブックマークを移動した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとブックマーク一覧に戻ります。

ブックマーク一覧の並び順変更

ブックマーク一覧の並び順（「アクセス日付順」）を一時的に並べ替えます。並べ替えはすべてのフォルダが対象になります。

1 待受画面で(iα)▶「2ブックマークを見る」を押す
ブックマークのフォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選択▶(決定)▶(メニュー)▶「7並び順を変更」を押す
並び順の選択画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。
1 **アクセス日付順**：アクセス日時が新しい順に並べ替えます。
2 **題名順**：題名を50音順に並べ替えます。
3 **URL順**：URLをアルファベット順に並べ替えます。
4 **アクセス回数順**：アクセス回数が多い順に並べ替えます。

3 「1アクセス日付順」～「4アクセス回数順」のいずれかを押す
ブックマーク一覧が一時的に並び替わります。

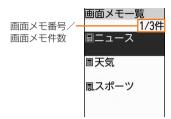
お知らせ

- 題名に全角／半角の文字や英字、漢字、URL表示になっているものが混在していると、「題名順」の並べ替えた結果が50音順にならない場合があります。

サイトの内容を保存する

表示中のサイトの内容を画面メモとして保存します。〈画面メモ〉

画面メモの保存

表示中のサイトを画面メモとして保存します。

- 保存できる画面メモのデータサイズは、1件あたり最大100Kバイトです。
- 最大100件登録できます。→p.450

1 画面メモに保存するサイトを表示して(メニュー)▶「4画面メモに保存」を押す

画面メモに保存した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとサイト表示に戻ります。

お知らせ

- 画面メモの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、保存されている画面メモを書き換えるかどうかの確認画面が表示されます。画面メモを保存する場合は、画面の指示に従い保存可能な空き容量に達するまで書き換える画面メモを選択します。保護されている画面メモは書き換えられません。
- サイト側が画面メモ保存不可の指定をしている場合などは登録できないことがあります。

画面メモの表示

保存した画面メモを表示します。

1 待受画面で(iα)▶「5画面メモを見る」を押す

画面メモ番号／画面メモ件数

- マークの意味は次のとおりです。
  - 通常の画面メモ
  - 保護されている画面メモ
- 画面メモが保存されていないときは、画面メモがない旨のメッセージが表示されます。

2 表示する画面メモを選択▶(決定)を押す

画面メモの内容が表示されます。

- 画面メモ表示画面の操作方法は、一部を除きサイト表示中と同様です。

お知らせ

- 画面メモ表示画面でもう一度アニメーションやFlash画像を動作させるときは、(メニュー)▶「9表示を設定」▶「2リトライ」を押します。
- Flash画像が画面メモ表示画面に収まっていない場合は、スクロールにより画面内に収まった時点で動作が開始されます。

画面メモの題名変更

画面メモの題名を変更します。

1 待受画面で[iモード]▶「5画面メモを見る」を押す

画面メモ一覧が表示されます。

2 題名を変更する画面メモを選択▶[メニュー]▶「1題名を変更」▶題名を入力する

題名の入力画面が表示されます。
- 全角12文字、半角24文字以内で入力します。

3 [決定]を押す

題名を変更した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すか、約5秒たつと画面メモ一覧に戻ります。
- 題名を入力しないで[決定]を押すと、画面メモ一覧では「無題」と表示されます。

画面メモの削除

1件ずつ削除したり、すべての画面メモをまとめて削除したりできます。
- 保護されている画面メモは削除できません。全件削除しても保護されている画面メモは残ります。保護を解除してから削除してください。

〈例〉画面メモを1件削除する

1 待受画面で[iモード]▶「5画面メモを見る」を押す

画面メモ一覧が表示されます。

2 削除する画面メモを選択▶[メニュー]▶「3削除する」▶「1選択1件」を押す

画面メモを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 全件削除する場合：[メニュー]▶「3削除する」▶「2全件」▶端末暗証番号を入力▶[決定]を押す

3 「1削除する」を押す

画面メモを削除した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すか、約5秒たつと画面メモ一覧に戻ります。
- 画面メモがなくなった場合は、画面メモがない旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ
- 画面メモ表示画面から操作する場合は、[メニュー]▶「3削除する」▶「1削除する」を押します。

画面メモの保護／解除

画面メモを保護すると、誤って削除したり、保存領域が足りずに上書きされたりすることを防げます。
- 最大50件保護できます。→p.450

〈例〉画面メモを保護する

1 待受画面で[iモード]▶「5画面メモを見る」を押す

画面メモ一覧が表示されます。

2 保護する画面メモを選択▶[メニュー]▶「4保護する」を押す

画面メモが保護されます。
- 画面メモ一覧で、保護された画面メモのマークが[アイコン]から[アイコン]に変わります。

■ 保護を解除する場合：保護されている画面メモを選択▶[メニュー]▶「4保護を解除する」を押す

サイトから画像をダウンロード

サイトから、お気に入りの画像やフレームなどをFOMA端末に保存します。保存した画像は表示したり、待受画面などに設定したりできます。〈画像保存〉

- 保存できる画像のデータサイズは、1件あたり最大100Kバイトです。
- GIF形式、JPEG形式、SWF形式の画像を保存できます。
- 最大2000件保存できます。→p.450

1 画像のあるサイトを表示して(メニュー)▶「6画像を保存」を押す

保存する画像に枠が表示されます。

■ サイトの背景画像を保存する場合：**背景画像のあるサイトを表示して(メニュー)▶「7背景画像を保存」を押す**

2 保存する画像を選択▶(決定)を押す

保存する画像の情報画面が表示されます。

- 各項目の説明→p.296

3 (決定)を押す

保存先アルバム選択画面が表示されます。

- フレームを保存する場合は、保存先アルバム選択画面は表示されず、「アイテム」アルバムに保存されます。画像を保存した旨のメッセージが表示され、(決定)を押すか、約5秒たつとサイト表示に戻ります。

■ 題名を変更して保存する場合：

① **(メニュー)▶「1題名を変更」▶題名を入力▶(決定)を押す**

題名を変更した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつと保存する画像の情報画面に戻ります。

- 36文字以内で入力します。

② **(決定)を押す**

保存先アルバム選択画面が表示されます。

■ 待受画面に設定する場合：

① **(メニュー)▶「2画面に貼る」▶「1待受画面」を押す**

待受画面に設定するかどうかの確認画面が表示されます。

② **「1設定する」を押す**

写真・画像一覧の「iモード」アルバムに保存され、待受画面に設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとサイト表示に戻ります。

- iアプリ待受画面を設定しているときは、解除するかどうかの確認画面が表示されます。「1解除する」を押すとiアプリ待受画面が解除され、待受画面に設定されます。

■ ワンタッチダイヤル画面に設定する場合：**(メニュー)▶「2画面に貼る」▶「2ワンタッチダイヤル画面」▶「1ワンタッチダイヤル1」～「3ワンタッチダイヤル3」のいずれかを押す**

写真・画像一覧の「iモード」アルバムに保存され、ワンタッチダイヤルに設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとサイト表示に戻ります。

4 保存先アルバムを選択▶(決定)を押す

画像を保存した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとサイト表示に戻ります。

お知らせ

- 画像の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要な写真を削除するかどうかの確認画面が表示されます。画像を保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内の画像を削除します。削除する前に、画像一覧で(電話帳)を押すと画像表示とリスト表示が切り替わり、(メニュー)を押すと画像の詳細情報を表示できます。
- 画像入りのサイトを表示する際、画像の横幅がディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。
- 画像によっては正しく表示できない場合があります。
- 横縦（または縦横）のサイズが次の大きさを超える画像は保存できません。
  GIF形式：480×960（ドット）
  JPEG形式：3000×4000（ドット）

- フレームの場合は、横縦（または縦横）のサイズが240×400（ドット）以外は保存できません。
- 画像サイズが20×20（ドット）で90Kバイト以内の再配布可能なJPEG／GIF形式の画像の場合は、「デコメ絵文字フォルダ」内のアルバムに保存されます。

サイトからメロディをダウンロード

サイトからお気に入りのメロディをダウンロードし、FOMA端末に保存します。保存したメロディを再生したり、着信音に設定したりできます。〈ｉメロディ〉

- 保存できるメロディのデータサイズは1件あたり最大100Kバイトです。
- SMF形式、MFi形式のメロディを保存できます。
- 最大500件保存できます。→p.450

1 メロディのあるサイトを表示し、ダウンロードするメロディを選択▶決定を押す

操作の選択画面が表示されます。

- ダウンロード中に電話帳：ダウンロードを中止します。

2 「2保存する」を押す

保存するメロディの情報画面が表示されます。

- 各項目の説明→p.309

■ **メロディを再生する場合：「1再生する」を押す**

- 再生中に◁▷／＋－：音量を調節します。

3 決定を押す

メロディを保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとサイト表示に戻ります。

- メロディ一覧の「ｉモード」フォルダに保存されます。→p.308

■ **題名を変更して保存する場合：**

① **メニュー▶「1題名を変更」▶題名を入力▶決定を押す**

題名を変更した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと保存するメロディの情報画面に戻ります。

- 全角25文字、半角50文字以内で入力します。

② **決定を押す**

メロディを保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとサイト表示に戻ります。

■ **着信音に設定する場合：メニュー▶「2着信音に設定」▶「1電話着信」～「5SMS受信」のいずれかを押す**

保存して着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとサイト表示に戻ります。

お知らせ

- メロディの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なメロディを削除するかどうかの確認画面が表示されます。メロディを保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のメロディを削除します。削除する前に、メロディ一覧で電話帳を押すとメロディを再生し、メニューを押すとメロディの詳細情報を表示できます。
- メロディによっては正しく再生できない場合があります。

サイトからトルカをダウンロード

サイトからトルカをダウンロードし、FOMA端末に保存します。保存したトルカは、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で利用できます。

- 保存できるトルカのデータサイズは、1件あたり最大1Kバイトです。トルカ（詳細）は1件あたり最大100Kバイトです。
- 最大200件保存できます。→p.450

1 トルカのあるサイトを表示し、ダウンロードするトルカを選択▶決定を押す

操作の選択画面が表示されます。

- ダウンロード中に電話帳：ダウンロードを中止します。

2 「2保存する」を押す

保存するトルカの情報画面が表示されます。

■ トルカを表示する場合：「1トルカを見る」を押す

3 決定を押す

トルカを保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとサイト表示に戻ります。

- トルカ一覧の「トルカフォルダ」に保存されます。→p.287

お知らせ

- トルカの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なトルカを削除するかどうかの確認画面が表示されます。トルカを保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のトルカを削除します。削除する前にトルカ一覧で電話帳を押すとトルカを表示できます。

サイトからマチキャラをダウンロード

サイトからマチキャラをダウンロードし、FOMA端末に保存します。保存したマチキャラを設定すると待受画面にキャラクタを表示できます。

- 保存できるマチキャラのデータサイズは、1件あたり最大2Mバイトです。
- 最大50件保存できます。→p.450

1 マチキャラのあるサイトを表示し、ダウンロードするマチキャラを選択▶決定を押す

操作の選択画面が表示されます。

- ダウンロード中に電話帳：ダウンロードを中止します。

2 「2保存する」を押す

保存するマチキャラの情報画面が表示されます。

■ マチキャラを表示する場合：「1表示する」を押す

3 決定を押す

マチキャラを保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとサイト表示に戻ります。

- FOMA端末内のマチキャラの「iモード」フォルダに保存されます。→p.311

■ 題名を変更して保存する場合：

① メニュー▶「1題名を変更」▶題名を入力▶決定を押す

保存するマチキャラの情報画面が表示されます。

- 36文字以内で入力します。

② 決定を押す

マチキャラを保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとサイト表示に戻ります。

■ マチキャラに設定する場合：メニュー▶「2設定する」を押す▶決定を押す

保存してマチキャラに設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとサイト表示に戻ります。

お知らせ

- マチキャラは日付・時刻が設定されていない場合、ダウンロードができないことがあります。
- マチキャラの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なマチキャラを削除するかどうかの確認画面が表示されます。マチキャラを保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のマチキャラを削除します。削除する前にマチキャラ一覧でメニューを押すとマチキャラを表示し、電話帳を押すとマチキャラの詳細情報を表示できます。
- マチキャラのダウンロードを中止したり通信が中断されたりしたとき、再開の確認画面が表示される場合があります。「2再開しない」を押すと、部分保存できる場合は部分保存の確認画面が表示されます。「1部分保存する」を押すと、FOMA端末内のマチキャラの「iモード」フォルダに部分保存されます。部分保存したデータの残りは、FOMA端末内のマチキャラの「iモード」フォルダで部分保存したデータを選択してダウンロードできます。

サイトからスケジュールをダウンロード

サイトからスケジュール／ｉスケジュールをダウンロードし、FOMA端末に保存します。保存したスケジュールはスケジュール帳に登録されます。

- ダウンロードするにはｉコンシェルのご契約が必要です。
- 保存できるスケジュールのデータサイズは、1件あたり最大1Mバイトです。
- 最大2600件保存できます。→p.450

1 **スケジュールのあるサイトを表示し、ダウンロードするスケジュールを選択▶決定を押す**

操作の選択画面が表示されます。

- ダウンロード中に電話帳：ダウンロードを中止します。

2 **「1保存する」を押す**

スケジュールを保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとサイト表示に戻ります。

- FOMA端末内のスケジュール帳に保存されます。→p.350
- すでに同じスケジュールが保存されていると上書きの確認画面が表示される場合があります。上書きする場合は「1上書きする」を押してください。

お知らせ

- スケジュールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なスケジュールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。スケジュールを保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のスケジュールを削除します。削除する前にスケジュール一覧で電話帳を押すとスケジュールの詳細情報を表示できます。
- ｉスケジュールの保存を中止した場合は、一部保存される場合があります。再ダウンロードする際は、一部保存されたｉスケジュールを削除してください。

ｉモードの便利な機能

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージR/Fなど）の電話番号やe-mailアドレス、URLから直接電話をかけたり、メールを作成したり、サイトに接続したりすることができます。また、FOMA端末電話帳に登録することもできます。

- サイトやホームページ、パソコンなどから送信されたメールによっては利用できない機能があります。

表示中画面からの電話発信・SMS送信

表示中の画面にある電話番号から、直接電話をかけたり、SMSを送信したりします。〈Phone To・SMS To機能〉

〈例〉サイト内の電話番号に電話をかける

1 **サイトを表示し、電話番号を選択▶決定を押す**

操作の選択画面が表示されます。

2 **「1電話をかける」を押す**

電話をかけるかどうかの確認画面が表示されます。

■ SMSを送信する場合（SMS To）：

「2SMSを作る」▶「1送信する」を押す

選択した電話番号を宛先にしたSMS作成画面が表示されます。

- SMSの作成・送信方法→p.196

3 **「1電話をかける」を押す**

電話がかかります。

- 「2電話をかけない」を押すとサイト表示に戻ります。

表示中画面からのメール送信

表示中の画面にあるメールアドレスから、直接ｉモードメールを作成します。〈Mail To機能〉

〈例〉サイト内のメールアドレスにｉモードメールを送信する

1 サイトを表示し、メールアドレスを選択▶決定を押す

選択したメールアドレスを宛先にしたメール作成画面が表示されます。

- ｉモードメールの作成・送信方法→p.152、p.156

お知らせ

- 複数のメールアドレスが列記されている場合、正しくMail To機能を使用できない場合があります。
- 表示しているサイトのURLをメールの本文に挿入して、メールを作成することができます。サイト表示中にメニュー▶「9メールを作る」を押します。

表示中画面からのインターネット接続

表示中の画面にあるURLから、直接サイトやインターネットホームページに接続します。〈Web To機能〉

〈例〉画面メモに表示されているURLに接続する

1 画面メモを表示し、URLを選択▶決定を押す

選択したURLサイトに接続します。

- 画面メモ表示方法→p.226

お知らせ

- 表示中の画面によってはURLを選択▶決定を押すと、ｉモードに接続してサイトを表示するかどうかの確認画面が表示されます。「1接続して表示」を押すとサイトに接続します。

URLのコピー

表示中のサイトや画面メモのURLをコピーします。コピーした文字は、メール作成画面などの入力欄に貼り付けることができます。

- コピーした文字は新たにコピーを行うか電源を切るまで記録され、何度でも貼り付けられます。

〈例〉サイトのURLをコピーする

1 サイトのURLを表示してメニュー▶「1URLをコピー」を押す

コピー開始位置の選択画面が表示されます。

- サイトのURLの表示方法→p.220

2 コピー開始位置を選択▶決定▶コピー終了位置を選択▶決定を押す

URLをコピーした旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとURL表示画面に戻ります。

- コピー開始位置を選択し直すときは戻るを押します。
- コピー開始位置を選択する前にメニュー：全文が選択されます。
- コピー開始位置選択後にメニュー／電話帳：カーソルが文頭／文末に移動します。
- 貼り付け方法は「文字のコピー／切り取り／貼り付け」操作5をご覧ください。→p.372

お知らせ

- URL履歴一覧、ブックマーク一覧、画面メモ一覧から操作する場合は、メニュー▶「URLをコピー」を選択▶決定を押します。これらの画面から操作する場合はURL全体がコピーされます。

電話番号やメールアドレスの電話帳登録

表示中の画面にある電話番号やメールアドレスをFOMA端末電話帳に登録します。新規に登録することも、登録済みの電話帳に追加することもできます。

〈例〉サイト内の電話番号やメールアドレスを登録する

1 **サイトを表示し、登録する電話番号やメールアドレスを選択▶(メニュー)▶「0電話帳に登録」を押す**

登録方法の選択画面が表示されます。

2 **「1新規に登録」または「2追加で登録」を押す**

■ **新規登録する場合：「1新規に登録」を押す**

名前の入力画面が表示されます。

- 以降の操作は「電話帳に名前を登録する」操作2以降をご覧ください。→p.81
  操作後にサイト表示に戻ります。

■ **追加登録する場合：**

① **「2追加で登録」▶電話帳を検索▶登録先の相手を選択▶(決定)を押す**

追加した旨のメッセージが表示されます。
(決定)を押すか、約5秒たつとワンタッチダイヤルに登録するかどうかの確認画面が表示されます。

- 検索方法→p.84
- 登録先の相手にすでに3件登録しているときは、上書きする電話番号やメールアドレスの選択画面が表示されます。

② **「2終了する」を押す**

サイト表示に戻ります。

- ワンタッチダイヤルに登録するときは「1登録する」▶「1ワンタッチダイヤル1」～「3ワンタッチダイヤル3」のいずれかを押します。
  以降の操作は「ワンタッチダイヤルに電話番号を登録する」以降をご覧ください。→p.92

お知らせ

- メッセージR/F詳細画面から操作する場合は、登録する電話番号やメールアドレスを選択▶(メニュー)▶「3登録する」▶「1電話帳新規登録」または「2電話帳追加登録」を押します。

ｉモードの詳細機能を設定する

サイトやメッセージR/Fなどの詳細機能を設定します。

文字のサイズ設定

サイトを表示するときの文字の大きさを設定します。

1 **待受画面で(iα)▶「7ｉモードを設定する」▶「1文字の大きさを選ぶ」を押す**

文字の大きさの選択画面が表示されます。

2 **「1標準の大きさ」または「2大きく表示」を押す**

ｉモードサイト表示の文字の大きさを設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

画像表示・照明設定

サイトや画面メモ、メッセージR/Fなどの内容を表示したときの画像やFlash画像の効果音を設定します。

1 **待受画面で(iα)▶「7ｉモードを設定する」▶「2画像表示･照明を設定する」を押す**

画像・照明の設定画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **画像**：画像を表示するかしないかを設定します。
2 **照明設定**：ディスプレイの照明方法を設定します。

2 「1画像」または「2照明設定」を押す

■ 画像を表示するかどうかを設定する場合：「1画像」▶「1表示する」または「2表示しない」を押す

- 「表示しない」に設定すると、詳細の「アニメーション」「端末情報利用」は設定できません。

■ 照明方法を設定する場合：「2照明設定」▶「1常に点灯」または「2 1分で消灯」を押す

- 「1分で消灯」に設定すると、何も操作しないで約1分経過すると消灯します。
- 照明設定（→p.114）で「さらに暗く設定」に設定している場合は設定できません。

3 (メニュー)を押す

変更する項目の選択画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **効果音設定**：Flash画像の効果音を再生するかしないかを設定します。

2 **アニメーション**：アニメーションを再生するかしないかを設定します。

3 **端末情報利用**：Flash画像を表示するときにFOMA端末内の登録データを利用するかしないかを設定します。

4 「1効果音設定」～「3端末情報利用」のいずれかを押す

■ 効果音を鳴らすかどうかを設定する場合：「1効果音設定」▶「1再生する」または「2再生しない」を押す

■ アニメーションを再生するかどうかを設定する場合：「2アニメーション」▶「1再生する」または「2再生しない」を押す

■ 端末情報を利用するかどうかを設定する場合：「3端末情報利用」▶「1利用する」または「2利用しない」を押す

5 (電話帳)を押す

画像表示・照明を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

- エコモードを「設定する」に設定している場合、照明設定を「常に点灯」に設定すると、エコモードを解除するかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ

- サイト表示画面から操作する場合は、(メニュー)▶「#表示を設定」▶「1表示・効果設定」を押します。
- 「画像」を「表示する」に設定しても、画像が正しく表示されない場合があります。
- 「画像」を「表示しない」に設定すると、画像の位置に(画像)が表示されます。
- 「アニメーション」を「再生しない」に設定したときは、アニメーションの最初の画像が表示されます。ただし、Flash画像は再生されます。
- 「画像」の設定は、メッセージR/Fの画像の表示／非表示には影響しません。
- 「端末情報利用」を「利用する」に設定すると、電池残量、受信レベル、時刻情報、電話着信音量、言語情報、機種情報がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得される可能性があります。

ｉモードボタン設定

待受画面で(iα)を押したときにｉモードサイトに接続するか、ｉモードメニューを表示するかを設定します。

1 待受画面で(iα)▶「7 ｉモードを設定する」▶「8 ｉモードボタンを設定する」を押す

待受画面で(iα)を押した時の動作の選択画面が表示されます。

2 「1 ｉMenuへ接続」または「2 ｉモードメニュー表示」を押す

ｉモードボタンの動作を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

ｉモードからの接続先変更

ｉモード端末の接続先を設定します。〈接続先設定〉

ドコモのｉモードサービスをご利用の場合は、設定を変更する必要はありません。

- ｉモード契約時の接続先は、ご契約いただいた地域により異なります。
- 通信中は接続先の設定／変更はできません。
- 最大10件登録できます。

ISP接続通信とは

ドコモのｉモード端末の接続先を切り替えることで、各種プロバイダ（ISP）への接続が可能になります。プロバイダに接続した際にパケット通信料がかかります。

※ ドコモへの新たなお申し込みは不要です。

プロバイダ契約について

- ISP接続通信をご利用いただくには、別途プロバイダへのお申し込みが必要です。各プロバイダのサービス内容（サイト接続、インターネット接続、メール機能など）、お申し込み方法については各プロバイダにお問い合わせください。
- プロバイダが提供するサービス内容によっては、別途情報料などがかかる場合がありますが、ドコモからご請求することはありません。
- お客様が閲覧されるサイトによっては、お客様の電話番号が実際に閲覧されるサイトを提供するプロバイダに通知される場合があります。

1 待受画面で ｉα ▶「7 ｉモードを設定する」▶「4 接続先番号を設定する」を押す

接続先一覧画面が表示されます。

2 編集するユーザ設定を選択 ▶ メニュー を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

■ ｉモードを利用する設定に戻す場合：
「ｉモード」を選択 ▶ 決定 を押す
□が☑に変わります。
操作8に進みます。

■ 以前に設定した接続先に変更する場合：
接続先を選択 ▶ 決定 を押す
□が☑に変わります。
操作8に進みます。

3 端末暗証番号を入力 ▶ 決定 を押す

ｉモード接続先の設定画面が表示されます。

4 「1 接続先名称」▶ 接続先名を入力 ▶ 決定 を押す

ｉモード接続先の設定画面に戻ります。

- 全角6文字、半角12文字以内で入力します。

5 「2 接続先」▶ 接続先を入力 ▶ 決定 を押す

ｉモード接続先の設定画面に戻ります。

- 半角英数字99文字以内で入力します。
- 一部の記号や半角空白などを入力すると登録できません。

6 「3 接続先アドレス」▶ アドレスを入力 ▶ 決定 を押す

ｉモード接続先の設定画面に戻ります。

- 半角英数字30文字以内で入力します。

■ ｉチャネルの接続先を設定／変更する場合：メニュー ▶「1 接続先アドレス2」▶ アドレスを入力 ▶ 決定 を押す

7 電話帳 ▶ 編集した接続先を選択 ▶ 決定 を押す

選択した接続先の□が☑に変わります。

8 電話帳 を押す

接続先設定を保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 接続先を変更すると、ｉチャネルの情報が初期化され、待受画面にｉチャネルのテロップは表示されなくなります。待受画面で 戻る/iチャネル を押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報を受信し、テロップも表示されます。

証明書を操作する

SSL通信時に必要な証明書の操作を行います。

証明書を表示して有効／無効を設定

SSL通信用の証明書を表示して確認したり、有効／無効を設定したりできます。〈証明書表示／使用設定〉

- SSLページに接続するには、次の証明書が必要です。
  - CA証明書：認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時の端末内に保存されています。
  - ドコモ証明書：FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、あらかじめドコモUIMカード内に保存されています。
  - ユーザ証明書：FirstPass対応サイトへ接続するために必要な証明書で、ダウンロードするとドコモUIMカード内に保存されます。FirstPassセンターで発行申請を行います。→p.236

1 待受画面で[iモード]▶「[7] i モードを設定する」▶「[5]証明書の表示と使用を設定する」を押す

証明書一覧
☑ CA証明書1
☑ CA証明書2
☑ CA証明書3
☑ CA証明書4
☑ CA証明書5
☑ CA証明書6
☑ CA証明書7
☑ CA証明書8

- 設定状態は次のとおりです。
  ☑：有効　☐：無効

2 表示する証明書を選択▶[決定]を押す

証明書内容表示画面が表示されます。

- [←][→]：前後の証明書を表示できます。

■ 証明書の有効／無効を設定する場合：

- ドコモ証明書2は操作できません。

① 設定する証明書を選択▶[メニュー]を押す
☑または☐に変わります。
- 無効に設定すると、その証明書を使うページに接続できなくなります。

② [電話帳]を押す
SSL通信に使用する証明書を登録した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

ユーザ証明書の発行申請・ダウンロード

FirstPassセンターに接続し、ユーザ証明書の発行申請をしてダウンロードを行います。〈ユーザ証明書操作〉

1 待受画面で[iモード]▶「[7] i モードを設定する」▶「[6]ユーザ証明書を操作する」▶「次へ」を選択▶[決定]を押す

FirstPassの操作選択画面が表示されます。

2 「[1]証明書発行」を押す

証明書のご利用規則が表示されます。

■ 発行された証明書を失効させる場合：

① 「[3]その他」▶「[1]証明書失効」を押す
ユーザ証明書を送信するかどうかの確認画面が表示されます。

② 「[1]送信する」を押す
PIN2コード入力画面が表示されます。

③ PIN2コードを入力▶[決定]▶[決定]を押す

④ 「実行」を選択▶[決定]▶「次へ」を選択▶[決定]▶「実行」を選択▶[決定]を押す

3 「実行」を選択▶[決定]▶PIN2コードを入力▶[決定]を押す

PIN2コードが認識された旨のメッセージが表示されます。

- 60秒以内にPIN2コードを入力しないと発行申請は中止されます。
- PIN2コード→p.119

4 [決定]を押す

完了画面が表示され、ユーザ証明書の発行申請が完了します。

5 「ダウンロード」を選択▶[決定]▶「実行」を選択▶[決定]を押す

完了画面が表示され、ユーザ証明書がダウンロードされます。

- ダウンロードされた証明書は、証明書一覧に追加されます。→p.236

お知らせ

- FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料はかかりません。

FirstPassご使用にあたって

- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
- FirstPassはFOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただけます。パソコンでご利用いただくためには、FirstPass PCソフトが必要です。詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。
- ユーザ証明書の発行申請をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、同意の上、要求してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コード（→p.119）の入力が必要です。PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものとみなされますので、ドコモUIMカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分ご注意ください。
- ドコモUIMカードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行うことができます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

証明書発行先の設定

FirstPass以外のサービスを受けるときに、接続先を設定します。設定を変更するとFirstPassセンターに接続できなくなります。

通常は設定を変更する必要はありません。

1 待受画面でi ▶「7 iモードを設定する」▶「7 証明書の発行先を変更する」を押す

証明書発行先の設定画面が表示されます。

2 「1 接続先」▶「2 ユーザ設定」を押す

証明書発行先の設定画面に戻ります。

- FirstPassに接続する設定に戻すときは「1 ドコモ」を押し、操作5に進みます。

3 「2 ユーザ設定接続先」▶接続先を入力▶決定を押す

証明書発行先の設定画面に戻ります。

- 半角英数字99文字以内で入力します。
- 一部の記号や半角空白などを入力すると登録できません。

4 「3 初期画面URL」▶URLを入力▶決定を押す

証明書発行先の設定画面に戻ります。

- 半角英数字100文字以内で入力します。

5 電話帳を押す

接続先設定を保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

i モーション／ i チャネル／ i コンシェル

i モーションを利用する

i チャネルを利用する

i コンシェルを利用する

ｉモーションを取得する

サイトやインターネットホームページから映像や音を取得し、再生したり、保存したりできます。保存した映像や音はｉモーションとして再生したり、着モーションに設定できます。

- 再生時の音量はｉモーションの音量設定に従います。→p.307
- 最大100件保存できます。→p.450
- ｉモーションには、次のような種類があります。種類は取得元のサイトにより異なり、取得するときに変更したり、選択したりできません。

種　類	再生動作
標準タイプ（保存可※）	ｉモーションのデータを取得しながら再生します（最大10MB）。取得完了後は、データを取得した後に再生するときと同様に操作できます。
	ｉモーションのデータをすべて取得した後に再生します（最大10MB）。
ストリーミングタイプ（保存不可）	ｉモーションのデータを取得しながら再生します（最大10MB）。再生が終わったｉモーションデータは消去され、繰り返し再生したり、FOMA端末に保存することはできません。

※ 保存できないｉモーションもあります。

1 **ｉモーションのあるサイトを表示し、取得するｉモーションを選択▶決定を押す**

ｉモーションの取得が始まります。

- データ取得中や再生中に電話帳または戻る/iチャネルを押して中断しようとすると、中断するかどうか、または再開するかどうかの確認画面が表示される場合があります。中断するかどうかの確認画面で「1中断する」を押すと中断します。再開するかどうかの確認画面で「2再開しない」を押すと、操作の選択画面が表示されます。→p.242「ｉモーションを取得する」のお知らせ

■ データを取得しながら再生するｉモーション（標準タイプ）のとき

取得しながら再生されます。

- 再生中は次の操作ができます。再生終了後は、データを取得した後に再生するｉモーションと同様に操作できます。
  決定：休止（データの取得は継続します）／再生
  上／下／＋－：音量調節
  電話帳：停止（データの取得は継続します）
  戻る/iチャネル：中断（取得中）／終了（取得完了後）
  メニュー／＊：縦画面と横画面の切り替え（画像によっては横ワイド画面にも切り替え）

■ データを取得した後に再生するｉモーション（標準タイプ）のとき

取得が完了すると自動的に再生されます。

- 再生中は次の操作ができます。
  決定：休止／再生
  メール／iαアプリ／＋－：音量調節
  電話帳／戻る：停止
  ◁／▷：巻き戻し再生／早送り再生
  1：約10秒巻き戻し（再生開始から10秒未満の場合は先頭から再生）
  3：約30秒早送り（再生終了まで30秒未満の場合は再生終了1秒前から再生）
  メニュー▶1：画面表示を右に90度回転
  メニュー▶2：画面表示を左に90度回転
  ＊：縦画面と横画面の切り替え（画像によっては横ワイド画面にも切り替え）
- チャプター情報を持つｉモーションの再生中は次の操作ができます。
  4／6：前のチャプター／次のチャプターの先頭から再生
  メニュー▶3：チャプター選択による再生
- 休止中に◁▷を押すと、再生バー上に位置指定つまみが表示されます。◁▷で移動して決定を押すと、指定した位置から再生します。位置指定つまみは◁▷を押すごとに最大90秒単位で移動しますが、およそ20分以上のｉモーションの場合は、2秒以上押すと最大180秒単位で移動できます。

■ データを取得しながら再生するｉモーション（ストリーミングタイプ）のとき

ストリーミング再生するかどうかの確認画面が表示され、「1再生する」を押すと取得しながら再生されます。

- 再生中は次の操作ができます。
  決定／戻る：中断
  メール／iαアプリ／＋－：音量調節
  メニュー／＊：縦画面と横画面の切り替え（画像によっては横ワイド画面にも切り替え）

2 サイトからｉモーションを取得し、再生が終了する

操作の選択画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **再生する：**ｉモーションを再生します。
2 **保存する：**ｉモーションを保存します。
3 **情報を表示する：**ｉモーションの情報を表示します。→p.303
4 **戻る：**サイト表示に戻ります。ｉモーションが保存されていないときは保存するかどうかの確認画面が表示されます。「2保存しない」を押すと、サイト表示に戻ります。

3 「2保存する」を押す

保存するｉモーションの情報画面が表示されます。

- 各項目の説明→p.303
- ストリーミングタイプのｉモーションは「1再生する」「2保存する」は選択できません。

4 決定を押す

ビデオを保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと操作の選択画面に戻ります。

- ビデオ・音声一覧の「ｉモード」アルバムに保存されます。→p.300

■ 題名を変更して保存する場合：

① **メニュー▶「1題名を変更」▶題名を入力▶決定を押す**
題名が変更され、保存するｉモーションの情報画面が表示されます。
- 36文字以内で入力します。

② **決定を押す**
ビデオを保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと操作の選択画面に戻ります。

■ 着信音に設定する場合：(メニュー)▶「2着信音に設定」▶「1電話着信」～「5 iコンシェル着信」のいずれかを押す

保存して着信音に設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつと操作の選択画面に戻ります。

お知らせ

- ｉモーションには、次のような再生制限が設定されている場合があります。
  - 再生回数制限：設定回数まで再生が可能
  - 再生期限制限：設定期限後の再生／保存／取得が不可
  - 再生期間制限：設定期間前の保存／取得が可能、再生は不可。期間後の再生／保存／取得が不可
- データ取得中に再生期限、再生期間が過ぎた場合は再生および保存はできません。
- データが不正だった場合、取得が中止されることがあります。
- ｉモーション設定（→p.242）を「自動再生しない」に設定しているときは、標準タイプのｉモーションは自動的に再生されません。
- ｉモーションを取得しながら再生しているときにデータの受信待ちになり、再生が一時停止する場合があります。データを受信し始めると自動的に再生を再開します。
- 表示サイズ設定（→p.307）が「元の大きさで表示する」に設定されている場合、再生するｉモーションのサイズによっては、縮小して再生する旨のメッセージが表示されます。
- ｉモーションにテキスト、音声、映像が含まれていてもそれらを再生できない場合は、その旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと再生できる部分があれば再生されます。
- ｉモーションを取得しながら再生しているときに、電波状態などにより再生できなくなったり、停止したり、画像が乱れたりする場合があります。そのような場合でも、データを正常に受信していれば取得後に再生できます。ただし、ｉモーションによってはデータを取得できても、正しく再生できない場合があります。
- ｉモーションのデータが不正だった場合、ｉモーションの受信が中止されることがあります。
- ストリーミングタイプのｉモーションを取得しながら再生しているときに、FOMA端末を閉じたり、電話がかかってきたり、目覚ましや予定の通知の時刻になった場合などは、取得、再生が中断されます。
- 標準タイプのｉモーションを取得しながら再生しているときに、FOMA端末を閉じると、再生は停止しますが取得は継続されます。
- データ取得中に通信が中断されると、再開するかどうかの確認画面が表示される場合があります。「2再開しない」を押すと、操作の選択画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。
  - 1 **再生する**：ｉモーションを再生します。
  - 2 **部分保存する**：取得したところまでを部分保存します。(決定)を押すと保存され、残りは取得できます。→p.300「動画／ｉモーションの再生」
  - 3 **情報を表示する**：ｉモーションの情報を表示します。→p.303
  - 4 **戻る**：サイト表示に戻ります。ｉモーションが保存されていないときは保存するかどうかの確認画面が表示されます。「2保存しない」を押すと、サイト表示に戻ります。
- ｉモーションの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従い保存可能な空き容量が確保できるまでFOMA端末に保存されている動画／ｉモーションを削除してください。削除する前に、動画／ｉモーション一覧で(メニュー)を押すと動画／ｉモーションを再生し、(電話帳)を押すと動画／ｉモーションの詳細情報を表示できます。

ｉモーションの動作を設定する

標準タイプのｉモーションを自動的に再生するかどうかを設定します。〈ｉモーション設定〉

1 **待受画面で(iα)▶「7 ｉモードを設定する」▶「3 ｉモーションの再生を設定する」を押す**

ｉモーションを自動で再生するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1自動再生する」または「2自動再生しない」を押す**

ｉモーションの設定を変更した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 「自動再生しない」に設定しても、取得完了後に表示される画面から手動で再生できます。
- ストリーミングタイプのｉモーションは本設定に関わらずストリーミング再生するかどうかの確認画面が表示されます。
- サイト表示画面から操作する場合は、メニュー▶「# 表示を設定」▶「2 ｉモーション設定」を押します。

ｉチャネルとは

ニュースや天気などの情報がｉチャネル対応端末に配信されるサービスです。自動的に受信した最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、戻る/iチャネルを押すことでチャネル一覧に表示されたりします（チャネル一覧の表示方法→p.243）。
また、ｉチャネルにはドコモが提供する「ベーシックチャネル」とIP（情報サービス提供者）が提供する「おこのみチャネル」の2種類があります。「ベーシックチャネル」は、配信される情報の自動更新時にパケット通信料はかかりません。お好きなチャネルを登録し利用できる「おこのみチャネル」は、情報の自動更新時に別途パケット通信料がかかります。「ベーシックチャネル」「おこのみチャネル」ともに詳細情報を閲覧する場合は別途パケット通信料がかかりますのでご注意ください。

- ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。
- ｉチャネルの詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

ｉチャネルを表示する

ｉチャネルを表示すると、テロップで流れている情報の詳細を見ることができます。

1 ｉチャネル情報を受信する

情報を受信したタイミングで待受画面にテロップが流れます。

4/15(金)
10:10
テロップ ｉチャネル：

- 情報受信中は と 通信中 が点滅します。
- 使用状況によりチャネル一覧を表示したときに情報を受信する場合があります。
- テロップを表示するかどうかや、テロップの表示速度を設定することができます。→p.244

2 待受画面で戻る/iチャネルを押す

チャネル一覧が表示されます。

- ｉアプリ待受画面を設定しているときや、ｉチャネルボタン設定を「利用しない」に設定しているとき（→p.244）は、待受画面でｉα▶「9 ｉチャネルを見る」を押します。

3 表示する情報を選択▶決定を押す

サイトに接続され、詳細情報画面が表示されます。

お知らせ

- FOMA端末の電源が入っていないときや圏外などで情報を受信できなかったときは、チャネル一覧を表示して情報を受信すると、待受画面にテロップが流れるようになります。ただし、テロップ表示設定を「表示しない」に設定している場合は、テロップは流れません。
- 情報を受信しても、着信音、バイブレータ、ランプは動作しません。

- 次の場合は、テロップは表示されません。
  - ドコモUIMカードを正しく取り付けていないときやドコモUIMカードに異常があるとき
  - 公共モード（ドライブモード）中
  - オールロック中
  - おまかせロック中
  - 個人情報表示制限中
  - 開閉ロック中
- 他のｉチャネル対応端末にドコモUIMカードを差し替えたときや、接続先を変更したとき（→p.235）は、待受画面で[戻る]を押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報を受信し、テロップが表示されるようになります。
- ｉチャネルサービスまたはｉモードサービスを解約するとテロップは表示されなくなり、待受画面で[戻る]を押すと未契約時の画面が表示されます。ただし、解約の手続きが完了するまではテロップが表示され、待受画面で[戻る]を押すと最後に受信した情報がチャネル一覧に表示される場合があります。

ｉチャネルの設定をする

待受画面に表示されるテロップの設定をしたり、チャネル一覧を表示するボタンを割り当てたりします。

ｉチャネルのテロップ表示を設定

待受画面にｉチャネルのテロップを表示するかどうかを設定します。テロップの表示速度も設定できます。〈テロップ表示設定〉

1 待受画面で[iα]▶「0 ｉチャネルを設定する」▶「1 ｉチャネルの表示を設定する」を押す

テロップ表示の設定画面が表示されます。

項目の意味は次のとおりです。

1 **表示設定**：待受画面にテロップを表示するかどうかを設定します。

2 **表示速度**：テロップの表示速度を設定します。設定画面のプレビュー表示で表示速度を確認できます。

2 「1 表示設定」を押す

待受画面にテロップを表示するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1 表示する」を押す

テロップ表示の設定画面に戻ります。

■ **表示しない場合：「2 表示しない」を押す**

操作6に進みます。

4 「2 表示速度」を押す

テロップの表示速度の選択画面が表示されます。

5 「1 速く表示」～「3 遅く表示」のいずれかを押す

テロップ表示の設定画面に戻ります。

6 [電話帳]を押す

待受画面のテロップ表示を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- ｉチャネルサービス解約前にｉモードサービス解約を行った場合、本機能の表示設定は「表示する」に設定されたままになっています。
- ｉアプリ待受画面を設定している場合、表示設定を「表示する」に設定すると、ｉアプリ待受画面は解除されます。

チャネル一覧を表示するボタンの設定

待受画面で[戻る]を押してチャネル一覧を表示するかどうかを設定します。〈ｉチャネルボタン設定〉

1 待受画面で[iα]▶「0 ｉチャネルを設定する」▶「2 ｉチャネルボタンを設定する」を押す

待受画面で戻るボタンをｉチャネルボタンとして利用するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 利用する」または「2 利用しない」を押す

ｉチャネルボタンを利用する／利用しないに設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 「利用する」に設定しても、ｉアプリ待受画面を設定しているときは利用できません。待受画面で[iα]▶「[9]ｉチャネルを見る」を押してください。

ｉチャネルの更新通知を設定

ｉチャネルの更新通知を、待受画面でお知らせ情報として表示するかを設定します。〈ｉチャネル更新通知〉

1 **待受画面で[iα]▶「[0]ｉチャネルを設定する」▶「[3]ｉチャネル更新通知を設定する」を押す**

ｉチャネル更新通知を、待受画面でお知らせ情報として表示するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「[1]表示する」または「[2]表示しない」を押す**

ｉチャネル更新通知の表示を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

ｉチャネルを初期化する

ｉチャネルをお買い上げ時の状態に戻します。〈ｉチャネル初期化〉

- テロップ表示設定の表示速度の設定は保持されます。

1 **待受画面で[iα]▶「[0]ｉチャネルを設定する」▶「[4]ｉチャネルを初期化する」を押す**

チャネル情報を初期化するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「[1]初期化する」を押す**

チャネル情報を初期化した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- ｉチャネル初期化を行うと、待受画面のテロップは表示されなくなります。待受画面で[戻る]を押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報を受信し、待受画面にテロップが表示されるようになります。

ｉコンシェルとは

ｉコンシェルとは、執事やコンシェルジュのように、お客様の生活をサポートするサービスです。お客様のさまざまなデータ（お住まいのエリア情報、スケジュール、トルカ、電話帳など）をお預かりし、生活エリアやお客様の居場所、趣味嗜好にあわせた情報を適切なタイミングでお届けします。FOMA端末に保存されているスケジュールやトルカなどを自動で最新の情報に更新したり、電話帳にお店の営業時間などの役立つ情報を自動で追加したりもします。また、お預かりしているスケジュールや画像を友達や家族などのグループと共有することができます。お預かりしている画像は簡単にプリントすることもできます。ｉコンシェルの情報は、待受画面上でマチキャラ（待受画面上のキャラクタ）がお知らせします。

- ｉコンシェルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモードの契約が必要です）。
- ケータイデータお預かりサービス（→p.132）のご契約をされていないお客様が、ｉコンシェルを新たにご契約になる場合、同時にケータイデータお預かりサービスにもご契約いただいたことになります。
- インフォメーションの受信には一部を除いて別途パケット通信料がかかります。
- 詳細情報のご利用には別途パケット通信料がかかります。
- コンテンツ（インフォメーション、ｉスケジュールなど）によっては、ｉコンシェルの月額使用料のほかに、別途情報料がかかる場合があります。
- ｉスケジュール・トルカ・電話帳などの自動更新時には別途パケット通信料がかかります。
- ｉコンシェルの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- スケジュールのダウンロード→p.231

インフォメーションを受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときには、自動的にインフォメーションが送られてきます。〈インフォメーション受信〉

- 受信したインフォメーションはｉコンシェルのインフォメーション一覧に最大50件保存されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 インフォメーションを受信する

が点灯し、ランプが点灯または点滅し、ｉコンシェル着信音が鳴ってインフォメーションが表示されます。

- 複数のインフォメーションを受信した場合はが15秒間点滅します。
- ポップアップメッセージが待受画面に表示されている場合は、FOMA端末を開くと決定が約1分間点滅します。

2 ポップアップメッセージが表示された待受画面で決定を押す

インフォメーションによって、ｉコンシェルのインフォメーション一覧やリンク先のサイトが表示されます。

- ｉコンシェルのインフォメーション一覧が表示された場合は、「ｉコンシェルの詳細を表示する」操作2以降をご覧ください。→p.246
- 戻るまたはを押すと待受画面に戻ります。
- 一度に複数のインフォメーションを受信した場合は、最新の1件が待受画面に表示されます。

お知らせ

- インフォメーション表示設定が「表示しない」の場合は、インフォメーションは表示されません。
- インフォメーションによっては、受信時にの点灯、ランプの点灯または点滅、ｉコンシェル着信音は鳴動しません。

ｉコンシェルの詳細を表示する

受信したインフォメーションの詳細を表示したり、ｉコンシェルメニューから簡単にFOMA端末のスケジュール帳やトルカを表示したりできます。

1 待受画面でメニュー▶「7 ｉコンシェルを使う」を押す

ｉコンシェルのインフォメーション一覧が表示されます。

2 インフォメーションを選択▶決定を押す

- インフォメーションには、スケジュールやトルカが添付されていたり、より詳細な情報や関連情報を見るためのサイトへのリンク項目があったりする場合があります。内容を確認するにはアイコンを選択します。

■ **削除する場合：インフォメーションを選択▶電話帳▶「1 削除する」を押す**

- インフォメーションによっては削除できない場合があります。

■ **FOMA端末のスケジュール帳／トルカを表示する場合：メニュー▶「スケジューラへ」または「トルカへ」を選択▶決定を押す**

インフォメーションの表示を設定する

ｉコンシェルのインフォメーションを受信したときに、待受画面に表示するかを設定します。〈インフォメーション表示設定〉

1 **待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「1画面の設定を行う」▶「0ｉコンシェル情報表示を設定する」を押す**

待受画面にインフォメーションを表示するかどうかの確認画面が表示されます。

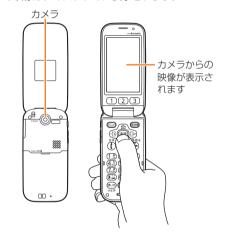
2 **「1表示する」または「2表示しない」を押す**

インフォメーションの表示を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

- ｉアプリ待受画面を設定しているときは、解除するかどうかの確認画面が表示されます。「1解除する」を押すとｉアプリ待受画面が解除され、待受画像に設定されます。

カメラ

カメラをご使用になる前に

保存した写真やビデオでできること

カメラを使って撮影した写真やビデオは、表示／再生するだけでなく、次の操作ができます。

- ｉモードメールに添付して送信→p.295、p.302
- 待受画面に設定→p.296
- microSDカードに保存して利用→p.315、p.321
- 赤外線通信を利用して送信→p.331

カメラのご使用について

FOMA端末を開いて撮影する

カメラで人や風景などを撮影できます。カメラからの映像はディスプレイに表示されます。

お知らせ

- 写真／ビデオ撮影待機中は約5分間、拡大鏡を使っているときは約30分間何も操作しないと、終了する旨のメッセージが表示され、カメラは自動的に終了します。
- 写真／ビデオ撮影待機中にFOMA端末を閉じるとカメラは終了します。なお、撮影した写真／ビデオの確認画面を表示中にFOMA端末を閉じてもカメラは終了しません。
- ビデオ撮影中（休止中を含む）にFOMA端末を閉じると撮影が中断されます。FOMA端末を開くと、撮影を中断した時点までのビデオの確認画面が表示されます。

撮影時の留意事項

- お買い上げ時は、カメラ部分に保護用のラベルが貼られています。はがしてからカメラを利用してください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが増えますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末を暖かい場所や直射日光が当たる場所に長時間放置したりすると、撮影する画像や映像が劣化することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画質が暗くなったり写真やビデオが乱れたりする場合があります。
- レンズの特性により、写真やビデオがゆがんで見える場合があります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面がちらついたり縞模様が現れたりするフリッカー現象が起きる場合があり、撮影のタイミングによっては写真やビデオの色合いが異なることがあります。「明るさの調節」の設定を変更することで、ちらつきや縞模様を軽減できる場合があります。→p.261
- カメラで撮影した写真やビデオは、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- 撮影の際、レンズ部分を指などで覆わないでください。
- 手ぶれにご注意ください。FOMA端末が動かないようにしっかり持って撮影するか、FOMA端末を安定した場所に置き、セルフタイマー機能を利用して撮影することをおすすめします。
- シャッター音が鳴ってから実際に撮影されるまでに、多少の時間差があります。シャッター音が鳴ってから少しの間、FOMA端末を動かさないでください。また、速く動いている被写体を撮影すると、シャッター音が鳴ったときにディスプレイに表示されていた位置とは少しずれて撮影されることがあります。
- 動きの激しいものをビデオ撮影すると、映像が乱れる場合があります。
- ｉアプリからカメラを利用した場合、変更できない設定や表示されないアイコン、起動しない機能があります。

- microSDカードをご利用になるには、別途microSDカードが必要です。お持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
- 撮影した写真やビデオの確認画面で電池残量がなくなると、写真やビデオは自動的に保存されます。
- カメラは電力の消費が非常に早いため、カメラを長時間起動したり、撮影後に保存せず長時間放置したりしないでください。
- 設定によっては、カメラを起動してから撮影画面に映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して撮影および録音したものなど、およびサイトやインターネットホームページ上の著作物を権利者に無断で複製、改変、編集などする行為は、個人で楽しむなどの場合を除き、著作権法上禁止されておりますのでお控えください。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。撮影または録音したものなどをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。
お客様が本FOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

保存形式について

カメラで撮影した写真（静止画ファイル）やビデオ（動画ファイル）の保存形式は次のとおりです。

静止画ファイル

項　目	説　明
ファイル形式	JPEG（Exif形式、PRINT Image Matching Ⅲ※対応）
画像サイズ	• 待受（240×400） • L（1080×1920） • 2L（1556×2592） • 3L（1944×2592）
拡張子	jpg
ファイル名	撮影日時により自動設定 〈例〉2011年4月15日13時25分1秒に撮影した場合 →「20110415132501」
最大保存件数	本体2000件 microSDカード9999件 • ファイルサイズや他のデータの有無によっては実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。

※ 手書きメモで撮影した場合は非対応です。

動画ファイル

項　目	説　明
ファイル形式	MP4（MobileMP4）
符号化方式	映像：MPEG-4、H.264※ 音声：AAC LC
画像サイズ	• QCIF（176×144） • QVGA（320×240）※
拡張子	3gp
ファイル名	撮影日時により自動設定 〈例〉2011年4月15日13時25分1秒に撮影した場合 →「20110415132501」
ファイルサイズ（容量）	メール添付・小：最大500KB メール添付・大：最大2MB microSD・無制限※
最大保存件数	本体100件 microSDカード4095件 • ファイルサイズや他のデータの有無によっては実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。

※ 画質が「最高画質」のとき

写真撮影をする

カメラが自動的に設定変更や画像補正などをして、簡単にきれいな写真（静止画）を撮影できます（おまかせカメラ）。

- 自動シーン認識機能により、カメラを向けるだけで設定が切り替わります。
  自動シーン認識の利用・設定→p.254
- 自動シーン認識が「設定しない」のときは、撮影する直前に自動的にピントを合わせます。約30cm以上離れて撮影してください。
- 撮影時に、自動縦横判定が動作します。FOMA端末の傾きを検知して、保存する写真の天地を自動的に調整します。
- 撮影中、レンズに被っている指を検出すると、指がかりお知らせアラームが表示されます。アラームの表示中も撮影はできます。
  指がかりお知らせアラームの設定→p.262
- 自動的に手ぶれ補正が機能します。被写体に応じて、手ぶれなどの振動による画像の乱れを補正します。
- 自動的にコントラスト補正が機能します。逆光での撮影時などに自然な画像になるよう、部分的に補正します。

1 待受画面で[カメラ]を押す

写真撮影画面が表示され、ランプが約1秒間隔で点滅します。
自動シーン認識での撮影では、ピントを合わせていることを表すフォーカス枠が表示されます。

- [メニュー]▶「6写真を見る」を押すと「撮影した写真」アルバムに保存されている写真を見ることができます。microSDカードを取り付けているときは、[メニュー]▶「6写真を見る」▶「1本体の写真」または「2microSDの写真」を押すと、「撮影した写真」アルバムまたはmicroSDに保存されている写真を見ることができます。
  →p.294、p.324

■ 起動時サイズ設定を「起動時に確認」に設定しているとき

写真の大きさの選択画面が表示されます。「1待受（240×400）」～「43L（1944×2592）」のいずれかを押します。[決定]を押すか、約5秒たつと写真撮影画面が表示されます。

- iアプリ待受画面を設定しているときは、「1待受（240×400）」以外は選択できません。

■ 撮影画面の見かた

① **自動縦横判定**
4方向に回転して、上方向を示します。
② **接写→p.258**
③ **自動シーン認識で認識中のシーン**
STD：標準
[風景]：風景
[夜景]：夜景
[人物]：人物
[マクロ]：マクロ（接写）
④ **フォーカス枠**
⑤ **顔検出枠と笑顔度**
⑥ **指がかりお知らせアラーム**
「指がレンズに被っています」とメッセージが表示されます。
⑦ **笑顔度の設定→p.255**
[微笑]：微笑（30%）
[笑い]：笑い（50%）
[大笑]：大笑（70%）
⑧ **高感度→p.254**
⑨ **追跡フォーカス→p.254**
追跡フォーカスが操作できることを示します。追跡フォーカスを起動させると、起動状態を表示します。
⑩ **使用中のカメラ機能**
[カメラ]：通常撮影
[拡大鏡]：拡大鏡
[手書き]：手書きメモ
⑪ **撮影サイズ→p.259**
⑫ **保存先の残り撮影可能枚数の目安**
[本体]：保存先が本体
[SD]：保存先がmicroSDカード

2 **被写体にカメラを向ける**

自動シーン認識のフォーカス枠がオレンジ色になってピントを合わせます。

- 自動シーン認識が「設定する」のときは、画面にQRコードが検出されると、自動的にデータを読み取ります。→p.264

3 **決定を押す**

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、写真が撮影されます。充電ランプが点灯して、撮影した写真の確認画面が表示されます。

- 自動保存の設定が「自動で保存する」のときは、撮影後すぐに保存され、写真を保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと写真撮影画面に戻ります。

4 **撮影した写真を確認する**

5 **決定を押す**

撮影した写真の操作選択画面が表示されます。

6 **「1保存する」を押す**

写真を保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと写真撮影画面に戻ります。

- microSDカードを取り付けているときは、「1microSDに保存」または「2本体に保存」を押します。
- 「1保存する」または「2本体に保存」を押したときは、写真・画像一覧の「撮影した写真」アルバムに保存されます。→p.294
- 「1microSDに保存」を押したときは、写真・画像一覧の「microSDの写真」アルバムの「1写真」に保存されます。→p.294

■ ｉモードメールで送る場合：

① **「2メールで送る」を押す**

写真を保存した旨のメッセージが表示されます。

- microSDカードを取り付けているときは、「3メールで送る」を押します。

② **決定または約5秒後▶「1小さくして送る」または「2このまま送る」を押す**

メール作成画面が表示されます。

- ｉモードメールの作成・送信方法→p.152、p.156

■ **待受画面に設定する場合：「3待受画面に貼る」を押す**

写真を保存して画面を設定した旨のメッセージが表示されます。

- microSDカードを取り付けているときは、「4待受画面に貼る」を押します。

■ **保存しないで撮影し直す場合：「4撮りなおす」を押す**

写真撮影画面に戻ります。

- microSDカードを取り付けているときは、「5撮りなおす」を押します。

■ **撮影した写真の確認画面に戻る場合：電話帳を押す**

操作4に戻ります。

お知らせ

- 待受画面でカメラを1秒以上▶「1写真撮影」を押しても起動できます。
- 自動保存の設定が「自動で保存する」でmicroSDカードが挿入されている場合、撮影した写真はmicroSDカードに保存されます。
- 画像の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要な写真を削除するかどうかの確認画面が表示されます。撮影（保存）する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内の画像を削除してください。
- 撮影した写真のファイルサイズや空き容量によっては、写真撮影画面に表示される残り枚数が減らない場合があります。
- 撮影した直後に電話がかかってくると、タイミングによっては撮影した写真が破棄される場合があります。

自動シーン認識の利用・設定

被写体に自動的にピントを合わせます。また、撮影状況を判断して、最適な撮影シーンに切り替えます。

- 自動シーン認識利用中は、人物の顔に顔検出枠と笑顔度が表示されます。最も強く検出されている顔には緑色の枠が、それ以外には白い枠が表示されます。
- 顔検出枠があるときは緑色の顔検出枠に、顔検出枠がないときは画面中央にピントを合わせます。
- 撮影シーンは、標準・風景・夜景・人物・マクロ（接写）のいずれかから選択されます。
- 自動シーン認識利用中、撮影画面にQRコードを認識すると、自動的に読み取って、データを表示します。ただし、読み取ったQRコードが分割されたQRコードだった場合は、バーコードリーダーに切り替わります。最初のQRコードから改めて順番に読み取ってください。
バーコードリーダー→p.264
- 被写体から約8.5cm以上離して利用してください。
- セルフタイマー設定中は、利用できません。

自動シーン認識の設定

自動シーン認識を利用するかどうかを設定します。

1 写真撮影画面で(メニュー)▶「9写真機能選択」▶「3自動シーン設定」を押す

2 「1設定する」または「2設定しない」を押す

自動シーン認識を設定または解除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつと写真撮影画面に戻ります。

お知らせ

- 顔検出枠は最大10個表示されます。
- 次の場合や、その他撮影条件により、顔検出されないことがあります。
  - 顔が横や斜めを向いている、傾いている
  - 眼鏡や帽子、マスク、影などで顔の一部が隠れている
  - 顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗い
  - 顔が画面の端にある

追跡フォーカスの利用・設定

写真撮影のときに、フォーカス枠が被写体の動きを追いかけます。

- 自動シーン認識の設定が「設定しない」のときやセルフタイマー設定中は、操作できません。

1 写真撮影画面で(【)を押す

画面中央の被写体を追跡します。

■ **解除する場合：(【)または(戻る)を押す**

追跡フォーカスの設定

追跡フォーカスを利用できるようにするかどうかを設定します。

1 写真撮影画面で(メニュー)▶「9写真機能選択」▶「5追跡フォーカス設定」を押す

2 「1設定する」または「2設定しない」を押す

追跡フォーカスを設定または解除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつと写真撮影画面に戻ります。

高感度撮影モードの利用

薄暗いところでも明るく撮影できるようにします。

- 自動シーン認識の利用中のみ操作できます。

1 写真撮影画面で被写体にカメラを向ける

- カメラが暗い環境を認識すると、ガイド行の右側に「高感度」と表示されます。

2 ガイド行の右側に「高感度」と表示されているときに(電話帳)を押す

高感度撮影に切り替える旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつと高感度撮影モードが起動します。

■ **解除する場合：(戻る)を押す**

通常の写真撮影に切り替える旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつと写真撮影画面に戻ります。

笑顔撮影の利用・設定

写真撮影のとき、緑色の顔検出枠の笑顔度が設定値に達すると自動的にシャッターが切られます。
- 自動シーン認識の利用中のみ操作できます。

1 写真撮影画面で被写体にカメラを向ける
- カメラが人物の顔を認識すると、ガイド行の右側に「笑顔」と表示されます。

2 ガイド行の右側に「笑顔」と表示されているときに[電話帳]を押す

笑顔撮影に切り替える旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すか、約5秒たつと笑顔撮影が起動します。

■ **解除する場合：[戻る/iチャネル]を押す**

通常の写真撮影に切り替える旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すか、約5秒たつと写真撮影画面に戻ります。

笑顔撮影の設定

笑顔撮影を利用したときにシャッターが切られる笑顔度を設定します。

1 写真撮影画面で[メニュー]▶「9写真機能選択」▶「4笑顔撮影の設定」を押す

2 「1微笑（30%）」～「4設定しない」のいずれかを押す

笑顔撮影を設定または解除した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すか、約5秒たつと写真撮影画面に戻ります。
- 「4設定しない」に設定すると、笑顔撮影を起動できなくなります。

お知らせ
- ガイド行の右側が「高感度」「拡大鏡」から「笑顔」に切り替わらない場合は、周囲の環境を明るくするか、被写体とカメラの距離を離してください。

拡大鏡に切り替える

写真撮影のとき、撮影画面から簡単に拡大鏡に切り替えられます。
- 自動シーン認識の利用中のみ操作できます。

1 写真撮影画面で被写体にカメラを向ける
- カメラが被写体を至近距離に認識すると、ガイド行の右側に「拡大鏡」と表示されます。

2 ガイド行の右側に「拡大鏡」と表示されているときに[電話帳]を押す

拡大鏡に切り替える旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すか、約5秒たつと拡大鏡が起動します。→p.255

■ **解除する場合：[戻る/iチャネル]を押す**

通常の写真撮影に切り替える旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すか、約5秒たつと写真撮影画面に戻ります。

拡大鏡の利用

FOMA端末のカメラで対象を拡大表示します。そのまま撮影することもできます。
- 対象から約8～10cmの距離でご利用ください。

1 待受画面で[カメラ]を1秒以上▶「3拡大鏡」を押す

カメラの映像が拡大されて画面に表示されます。
ランプが約1秒間隔で点滅します。

- 通常の写真撮影と同様に、写真を撮影することができます。「写真撮影をする」操作3以降をご覧ください。→p.253

お知らせ

- 撮影サイズは待受（240×400）になります。
- ズームは約2.0倍〜約12.0倍で変更できます。→p.258
- 拡大鏡利用中は、変更できない設定があります。

手書きメモの作成

文字を強調した写真撮影をします。手書きの文字や絵を画像として保存したり、メールに添付して送ったりできます。

1 待受画面で📷を1秒以上▶「4手書きメモ」を押す

- 以降の操作は「写真撮影をする」操作3以降をご覧ください。→p.253
- 手書きメモを撮影すると、画像の歪みが自動的に補正されます。撮影後の確認画面で電話帳を押すと、補正の有無を切り替えられます。

お知らせ

- 撮影サイズは待受（240×400）になります。
- 接写撮影時は約8〜40cm、接写撮影を解除したときは約30cm以上離れた被写体にピントを合わせて撮影します。→p.258
- 手書きメモで撮影中は、変更できない設定があります。
- 被写体によっては補正を行わないほうが自然な場合があります。

ビデオ撮影をする

音声付きのビデオ（動画）を撮影します。

- ビデオサイズ（容量）が「microSD・無制限」で撮影されたビデオは、ｉモードメールに添付できません。
- FOMA端末の機種に関わらず再生できるビデオを撮影するには、ビデオサイズ（容量）を「メール添付・小」に設定してください。

1 待受画面で📷を1秒以上▶「2ビデオ撮影」を押す

ビデオ撮影画面が表示されます。
ランプが約1秒間隔で点滅します。

現時点で撮影（保存）できる残りの最大撮影時間の目安が表示されます。

- 電話帳：「撮影したビデオ」アルバムに保存されているビデオを見ることができます。microSDカードを取り付けているときは、電話帳▶「1本体のビデオ」または「2microSDのビデオ」を押すと、「撮影したビデオ」アルバムまたはmicroSDカードに保存されているビデオを見ることができます。→p.300、p.324

2 被写体にカメラを向けて決定を押す

撮影確認音（シャッター音）が鳴り撮影が開始され、充電ランプが約3秒間隔で点滅します。

撮影終了までの時間の目安が表示されます。

撮影終了までの目安が表示されます。

- 撮影終了までの時間の目安が00:00:00になると、撮影が自動的に終了して撮影したビデオの確認画面が表示されます。操作4に進みます。

■ **一時停止する場合：撮影中にメニューを押す**

- もう一度メニューを押すと撮影を再開します。
- メニューを押すたびに確認音が鳴ります。
- 一時停止中はランプが点灯します。

3 決定を押す

終了確認音が鳴り、撮影が終了して撮影したビデオの確認画面が表示されます。

- ビデオサイズ（容量）が「microSD・無制限」のときや自動保存の設定が「自動で保存する」のときは、すぐに保存され、ビデオを保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとビデオ撮影画面に戻ります。

4 決定を押す

撮影したビデオの操作選択画面が表示されます。

■ **撮影したビデオを再生する場合：****を押す**

5 「1保存する」を押す

ビデオを保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとビデオ撮影画面に戻ります。

- microSDカードを取り付けているときは、「1microSDに保存」または「2本体に保存」を押します。
- 「1保存する」または「2本体に保存」を押したときは、ビデオ・音声一覧の「撮影したビデオ」アルバムに保存されます。→p.300
- 「1microSDに保存」を押したときは、ビデオ・音声一覧の「microSDのビデオ」アルバムの「4ビデオ」に保存されます。→p.300

■ **ｉモードメールで送る場合：「2メールで送る」を押す**

ビデオを保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメール作成画面が表示されます。

- microSDカードを取り付けているときは、「3メールで送る」を押します。
- ｉモードメールの作成・送信方法→p.152、p.156

■ **保存しないで撮影し直す場合：「3撮りなおす」を押す**

ビデオ撮影画面に戻ります。

- microSDカードを取り付けているときは、「4撮りなおす」を押します。

■ **撮影したビデオの確認画面に戻る場合：電話帳を押す**

操作4に戻ります。

お知らせ

- ビデオサイズ（容量）が「microSD・無制限」の場合でも、一度に撮影できる時間は約180分までです。
- 自動保存の設定が「自動で保存する」でmicroSDカードが挿入されている場合、撮影したビデオはmicroSDカードに保存されます。
- 撮影中にボタン操作を行うと、ボタン確認音が録音される場合があります。
- ビデオの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なビデオを削除するかどうかの確認画面が表示されます。撮影する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のビデオを削除してください。
- 撮影中に撮影終了までの時間表示の更新が遅くなる場合があります。
- 撮影中に着信があったり、目覚ましや予定の設定時刻になったりした場合、その時点で撮影が中断され、着信やアラームの画面が表示されます。通話やアラームが終了すると、撮影したビデオの確認画面が表示されます。ビデオサイズ（容量）が「microSD・無制限」のときや自動保存の設定が「自動で保存する」のときはビデオを保存した旨のメッセージが表示され、決定を押すか、約5秒たつとビデオ撮影画面に戻ります。撮影したビデオにアラーム音が記録されることがあります。
- 撮影中に電池が切れそうになると、電池残量がない旨のメッセージが表示され、撮影が中断されます。決定を押すか、約5秒たつと撮影したビデオの確認画面が表示されます。撮影画面に戻って撮影しようとしても電池がないため撮影できない旨のメッセージが表示され、撮影できません。
- 撮影中に急に電池が切れそうになると、電池残量警告音が鳴り、撮影が中断されることがあります。その際、撮影したビデオの最後に電池残量警告音が録音されることがあります。

撮影時の設定をする

撮影するときの設定を変更します。

- 設定できる項目は次のとおりです。

※ 撮影終了後も設定内容が保持されます。

ズームのしかた

表示倍率を変更して、被写体を拡大して撮影できます。

- 撮影待機中およびビデオ撮影中（休止中を含む）に操作できます。
- 写真撮影時に変更できる最大ズーム倍率は次のとおりです。

撮影サイズ	最大ズーム倍率
待受（240×400）	約8.0倍（32段階）
L（1080×1920）	約2.0倍（6段階）
2L（1556×2592）	
3L（1944×2592）	

- 拡大鏡使用時に変更できるズーム倍率は約2.0倍～約12.0倍（32段階）です。
- ビデオ撮影時に変更できる最大ズーム倍率は次のとおりです。

ビデオサイズ（容量）	最大ズーム倍率
メール添付・小	約16.0倍（8段階）
メール添付・大	
microSD・無制限	約8.0倍（5段階）

1 **写真撮影画面／ビデオ撮影画面で［メール］［iアプリ］を押す**

ズーム倍率が変更されます。

現在の倍率が表示されます。
・設定されてしばらくたつと表示は消えます。

接写撮影／通常撮影の切り替え

接写撮影に切り替えると、写真撮影では約8～40cm、ビデオ撮影では約8～10cm離れた被写体にピントを合わせて撮影できます。

- 自動シーン認識の設定が「設定する」のときは操作できません。
- 拡大鏡利用中は切り替えられません。

1 **写真撮影画面またはビデオ撮影画面で［#］を押す**

接写撮影／通常撮影に切り替える旨のメッセージが表示されます。［決定］を押すか、約5秒たつと撮影画面が表示されます。

お知らせ

- 手書きメモ撮影待機中とビデオ撮影中／休止中は、［#］を押すだけで接写撮影と通常撮影が切り替わります。

写真撮影／ビデオ撮影の切り替え

撮影待機中に、写真撮影とビデオ撮影を切り替えます。

1 **写真撮影画面またはビデオ撮影画面で［メニュー］▶「1ビデオを撮影」または「1写真を撮影」を押す**

撮影画面が切り替わります。

フレームの選択

撮影する写真に、保存されているフレームを重ねて撮影します。
- 写真の撮影待機中のみ操作できます。
- 撮影サイズが「L（1080×1920）」以上のときは操作できません。

1 写真撮影画面で(メニュー)▶「2フレームを選ぶ」を押す

選択できるフレームの一覧画面が表示されます。
- (電話帳)：撮影待機中の画面とフレームを重ねて表示します。(メール)(iα)を押すと、フレームが切り替わります。

2 フレームを選択▶(決定)を押す

フレームが設定されます。
- 重ねたフレームを外す場合は、(メニュー)▶「3フレームを外す」を押します。

お知らせ
- フレームが表示されるまで、時間がかかることがあります。

セルフタイマーの利用

セルフタイマーを使用すると約10秒後に自動で写真を撮影します。
- セルフタイマーを利用する場合、自動シーン認識中や追跡フォーカス、笑顔撮影は利用できません。

1 写真撮影画面で(メニュー)▶「4セルフタイマーを使う」を押す

セルフタイマー待機中になります。
- セルフタイマーを解除するときは(メニュー)▶「4セルフタイマーを解除」を押します。

2 被写体にカメラを向けて(決定)を押す

画面中央にピントを合わせて、カウントダウンが始まります。写真撮影画面下部に、残り秒数が表示されます。また、カウントダウン音が鳴り、ランプが点滅します。撮影時間に近づくと、カウントダウン音の間隔が短くなり、ランプの点滅が速くなります。
- (決定)：セルフタイマーを中止します。

3 残り秒数が0になると、自動的に撮影される

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、写真が撮影されます。充電ランプが点灯して、撮影した写真の確認画面が表示されます。
- 以降の操作は通常の写真撮影と同様です。「写真撮影をする」操作4以降をご覧ください。→p.253

撮影サイズの設定

撮影する写真の大きさを設定します。大きくするほど、保存容量を多く使います。
- 写真の撮影待機中のみ操作できます。

1 写真撮影画面で(メニュー)▶「5写真の大きさ」を押す

撮影サイズの選択画面が表示されます。

2 「1待受（240×400）」～「43L（1944×2592）」のいずれかを押す

撮影サイズを設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつと写真撮影画面に戻ります。

お知らせ
- カメラ起動時の撮影サイズ設定（→p.263）が「microSDに連動」でmicroSDカードを取り付けているときは「1待受（240×400）」に設定できません。
- ｉアプリ待受画面を設定しているときは、「1待受（240×400）」以外は選択できません。
- ｉモードメールに添付する際、サイズを縮小できます。「写真撮影をする」操作6をご覧ください。→p.253
- 「1待受（240×400）」は、F-08Cの待受画面と同じ大きさです。撮影サイズのかっこ内の数字が、実際の大きさを表しています。数字が大きくなるほど、パソコンなどで大きく細かく表示できます。

ビデオサイズ（容量）の設定

撮影するビデオの画像サイズとファイルサイズを設定します。
- ビデオの撮影待機中のみ操作できます。
- ｉアプリ待受画面を設定しているときは、「3 microSD・無制限」を選択できません。

1 ビデオ撮影画面でメニュー▶「2 撮影サイズを選ぶ」を押す

ビデオサイズ（容量）の選択画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **メール添付・小**：ファイルサイズを500Kバイトに制限します。2Mバイト対応機種以外のｉモード端末に送信するときに設定します。
- 撮影サイズはQCIF（176×144）になります。

2 **メール添付・大**：ファイルサイズを2Mバイトに制限します。
- 撮影サイズはQCIF（176×144）になります。

3 **microSD・無制限**：ファイルサイズを制限しません。
- 撮影サイズはQVGA（320×240）になります。また、画質は自動的に「最高画質」に変更されます。
- 撮影後はmicroSDカードに自動的に保存されます。

2 「1 メール添付・小」～「3 microSD・無制限」のいずれかを押す

ビデオサイズを設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとビデオ撮影画面に戻ります。
- microSDカードを取り付けていない場合は、「3 microSD・無制限」を押すとmicroSDカード挿入後の設定をうながす旨のメッセージが表示されます。

ビデオの画質設定

ビデオ撮影後に保存するデータの画質を設定します。高画質にするほど、撮影や保存できる時間は短くなります。
- ビデオの撮影待機中のみ操作できます。
- ビデオサイズ（容量）の設定が「microSD・無制限」のときは操作できません。
- ｉアプリ待受画面を設定しているときは、「4 最高画質」を選択できません。

1 ビデオ撮影画面でメニュー▶「3 撮影画質を選ぶ」を押す

画質の選択画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **長時間**：長時間撮影するときに設定します。
- 画質は標準より悪くなります。

2 **標準の画質**：標準の画質で撮影するときに設定します。

3 **高画質**：標準よりもよい画質で撮影するときに設定します。
- 撮影時間は標準よりも短くなります。

4 **最高画質**：最もよい画質で撮影するときに設定します。
- ビデオサイズ（容量）は自動的に「microSD・無制限」に変更されます。

2 「1 長時間」～「4 最高画質」のいずれかを押す

画質を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとビデオ撮影画面に戻ります。
- microSDカードを取り付けていない場合は、「4 最高画質」を押すとmicroSDカード挿入後の設定をうながす旨のメッセージが表示されます。

明るさの調節

撮影時の明るさを調節します。

- 5段階（－2、－1、±0、＋1、＋2）で調節できます。
- 撮影待機中のみ操作できます。

1 写真撮影画面またはビデオ撮影画面で メニュー

■ **写真撮影画面で操作する場合：「0明るさの設定」▶「1明るさの調節」を押す**

■ **ビデオ撮影画面で操作する場合：「6詳細を設定」▶「3明るさの調節」を押す**

画面下部に、現在の明るさが表示されます。

2 または＋－を押し、明るさを調節▶決定を押す

明るさを調節した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと写真撮影画面／ビデオ撮影画面に戻ります。

お知らせ

- 被写体によっては、明るさを調節しても表示があまり変化しない場合があります。

シャッター音の設定

撮影時のシャッター音を設定します。

- 撮影時のシャッター音を鳴らさないようにすることはできません。
- 撮影待機中のみ操作できます。

1 写真撮影画面またはビデオ撮影画面で メニュー

■ **写真撮影画面で操作する場合：「9写真機能選択」▶「1シャッター音の設定」を押す**

■ **ビデオ撮影画面で操作する場合：「6詳細を設定」▶「1シャッター音の設定」を押す**

シャッター音の選択画面が表示されます。

- 電話帳：シャッター音を確認できます。

2 「1標準」～「5スピード」のいずれかを押す

シャッター音を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと写真撮影画面／ビデオ撮影画面に戻ります。

ディスプレイの照明設定

撮影時のディスプレイの照明を設定します。

- 撮影待機中のみ操作できます。

1 写真撮影画面またはビデオ撮影画面で メニュー

■ **写真撮影画面で操作する場合：「0明るさの設定」▶「2照明の設定」を押す**

■ **ビデオ撮影画面で操作する場合：「6詳細を設定」▶「4照明の設定」を押す**

照明の設定画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **常に明るく点灯**：撮影中は常時明るく点灯するように設定します。

2 **端末設定に従う**：照明設定（→p.114）で設定した明るさで1分間点灯します。ただし、ビデオ撮影中（休止中を含む）は常に点灯します。

2 「1常に明るく点灯」または「2端末設定に従う」を押す

照明を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと写真撮影画面／ビデオ撮影画面に戻ります。

- エコモード設定中に「常に明るく点灯」に設定すると、エコモードを解除するかどうかの確認画面が表示されます。「1解除する」を押すと、解除されます。

自動保存の設定

撮影した後に、写真やビデオの確認と保存操作を自分ですることなく、自動的に保存するかどうかを設定します。

- 撮影待機中のみ操作できます。

1 写真撮影画面またはビデオ撮影画面でメニュー

■ **写真撮影画面で操作する場合：「9写真機能選択」▶「2自動保存の設定」を押す**

■ **ビデオ撮影画面で操作する場合：「6詳細を設定」▶「2自動保存の設定」を押す**

自動保存の設定画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **自動で保存する**：撮影した写真やビデオの確認画面を表示しないで、自動的に保存するときに設定します。
- microSDカードを取り付けている場合はmicroSDカードに保存されます。microSDカードを取り付けていないまたは利用できない場合はFOMA端末に保存されます。

2 **手動で保存する**：撮影するたびに写真やビデオを確認し、保存するかどうかを選択するときに設定します。

2 「1自動で保存する」または「2手動で保存する」を押す

自動または手動で保存するに設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと写真撮影画面／ビデオ撮影画面に戻ります。

お知らせ

- 手書きメモ利用中は設定を変更できません。通常の写真撮影から、設定を変更してください。
- ビデオ撮影時に、ビデオサイズ（容量）を「microSD・無制限」に設定しているときは設定できません。必ずmicroSDカードに自動保存されます。

指がかりお知らせアラームの設定

写真撮影時に、レンズに指がかかっていることを検出して、メッセージを表示するかどうかを設定します。

- 写真の撮影待機中のみ操作できます。

1 写真撮影画面でメニュー▶「9写真機能選択」▶「6指がかりの設定」を押す

指がかり検出を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1設定する」または「2設定しない」を押す

指がかり検出を設定または解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと写真撮影画面に戻ります。

お知らせ

- 肌色に近い被写体が画面端に写りこんだ場合、指がかりお知らせアラームが表示されることがあります。
- 次の場合やその他撮影条件により、指がかりお知らせアラームが表示されないことがあります。
  - 指が陰になり、極端に黒く写り込んでいる
  - 青白い光が射し込む環境で、指が極端に白く写りこんでいる
  - 指が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗い

ビデオ撮影の残り時間の確認

本体やmicroSDカードへ撮影したビデオを保存できる残り時間を確認します。
- ビデオの撮影待機中のみ操作できます。

1 **ビデオ撮影画面でメニュー▶「7残り時間を確認」を押す**

ビデオの残り撮影時間が確認できます。
- 電話帳：microSDカードと本体の残り時間を切り替えます。
- ビデオサイズ（容量）の設定が「microSD・無制限」のときは、「microSD・無制限」の残り時間のみ確認できます。

2 **決定を押す**

ビデオ撮影画面に戻ります。

カメラ起動時の撮影サイズ設定

カメラを起動したときの撮影サイズ決定のしかたを設定します。
- 写真の撮影待機中のみ設定できます。ただし、接写撮影時は設定できません。

1 **写真撮影画面でメニュー▶「*起動時の大きさ」を押す**

カメラ起動時の撮影サイズ設定画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **microSDに連動**：microSDカードが取り付けられているときは3Lサイズの大きな撮影サイズで起動します。取り付けられていないときは、前回利用した撮影サイズで起動します。
2 **起動時に確認**：カメラを起動するたびに、どの撮影サイズで起動するかを選択します。
3 **大きさに従う**：前回利用した撮影サイズで起動します。

2 **「1microSDに連動」～「3大きさに従う」のいずれかを押す**

カメラ起動時の写真の大きさを設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと写真撮影画面に戻ります。

カメラメニューの利用

撮影画面でカメラの各種機能に切り替えられます。

1 **写真撮影画面／ビデオ撮影画面で📷を1秒以上押す**

カメラの各種機能の選択画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **通常撮影／接写撮影**：通常撮影と接写撮影を切り替えます。→p.258
2 **拡大鏡**：拡大鏡に切り替えます。→p.255
3 **手書きメモ**：手書きメモの撮影に切り替えます。→p.256
4 **バーコード読取り**：バーコードリーダーに切り替えます。→p.264
5 **セルフタイマー**：セルフタイマーを利用します。→p.259
- ビデオ撮影画面では選択できません。

6 **終了する**：写真撮影またはビデオ撮影を終了します。

2 **「1通常撮影」または「1接写撮影」～「6終了する」のいずれかを押す**

選択した機能に切り替わります。

バーコードリーダーでの情報読み取り

カメラを使ってJANコード、QRコードといったバーコードに含まれている文字や数字を読み取ります。読み取った文字や数字は電話帳やブックマークに登録できます。読み取った文字や数字を使って、電話をかけたり（Phone To）、SMSを送ったり（SMS To）、メールを送ったり（Mail To）、インターネットに接続したり（Web To）することもできます。

- 読み取れるコードはJANコード、QRコードです。
- QRコードのバージョン（種類やサイズ）によっては読み取れない場合があります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射の具合などにより読み取れない場合があります。

JANコードとは

幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。8桁（JAN8）または13桁（JAN13）のバーコードを読み取れます。
上のJANコードでは、「4942857315721」という文字情報を読み取れます。

QRコードとは

縦横方向の模様で英数字、漢字、ひらがな、カタカナ、絵文字、メロディ、画像などのデータを表現している2次元コードです。
上のQRコードでは、「株式会社NTTドコモ」という文字情報を読み取れます。

コードの読み取り

1 待受画面で[カメラ]を1秒以上▶「5バーコード読取り」を押す

接写が「ON」の状態で、バーコードリーダーが起動します。
カメラをコードから約8～11cm離して読み取ってください。

- [#]：接写撮影OFF（表示なし）と接写ON（[接写]）の切り替えができます。
- サイズの大きいコードを読み取るときは接写撮影OFFに切り替えてください。

2 コードを読み取る

カメラをコードに合わせると自動的に読み取ります。コードが読み取られると確認音が鳴り、読み取ったデータが表示されます。

- 読み取ったデータが半角で11000文字、全角で5500文字を超える場合、超過した文字は表示されませんが利用はできます。

3 データを確認する

バーコードデータ表示画面が表示されます。

■ コードを読み取り直す場合：[電話帳]を押す

バーコードデータの利用

バーコードデータ表示画面で、読み取ったデータを直接利用したり、登録や保存をしたりします。

■ 読み取ったデータの文字情報をコピーする場合：

① (メニュー)▶「1コピーする」▶コピー開始位置を選択▶決定を押す
- (メニュー)：すべての文字情報をまとめて選択できます。

② コピー終了位置を選択▶決定を押す
選択した範囲の文字情報がコピーされます。

■ 情報を電話帳に新規登録する場合：電話番号またはメールアドレスを選択▶(メニュー)▶「3登録する」▶「1電話帳新規登録」を押す
名前の入力画面が表示されます。
- 以降の操作は「電話帳に名前を登録する」操作2以降をご覧ください。→p.81
操作後にデータ表示画面に戻ります。
- 読み取ったデータが電話帳登録用だった場合、情報の上に表示される「電話帳登録」を選択▶決定を押しても新規登録できます。
各項目が入力された状態で表示されます。

■ 情報を電話帳に更新登録する場合：

① 電話番号またはメールアドレスを選択▶(メニュー)▶「3登録する」▶「2電話帳更新登録」▶電話帳を検索▶登録先の相手を選択▶決定を押す
追加した旨のメッセージが表示されます。
決定を押すか、約5秒たつとワンタッチダイヤルに登録するかどうかの確認画面が表示されます。
- 電話帳の検索方法→p.84
- 登録先の相手にすでに3件登録しているときは、上書きする電話番号やメールアドレスの選択画面が表示されます。

② 「2終了する」を押す
データ表示画面に戻ります。
- ワンタッチダイヤルに登録するときは「1登録する」▶「1ワンタッチダイヤル1」～「3ワンタッチダイヤル3」のいずれかを押します。以降の操作は「ワンタッチダイヤルに電話番号を登録する」以降をご覧ください。→p.92

■ 情報をブックマークに登録する場合：URLを選択▶(メニュー)▶「3登録する」▶「3ブックマーク登録」▶登録先フォルダを選択▶決定を押す
ブックマークを追加した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとデータ表示画面に戻ります。
- 読み取ったデータがブックマーク登録用だった場合、情報の上に表示される「ブックマーク登録」を選択▶決定を押しても登録先フォルダ選択画面を表示できます。

■ ｉモードメールを送信する場合：メールアドレスを選択▶決定を押す
宛先が入力されたメール作成画面が表示されます。
- ｉモードメールの作成・送信方法→p.152、p.156
- 読み取ったデータがメール作成用だった場合、情報の上に表示される「メール作成」を選択▶決定を押しても新規作成できます。
各項目が入力された状態で表示されます。

■ ホームページやサイトを表示する場合：URLを選択▶決定▶「1接続して表示」を押す
ホームページまたはサイトが表示されます。
- 「2表示しない」を押すと読み取ったデータの表示画面に戻ります。

■ 電話をかける場合：電話番号を選択▶決定▶「1電話をかける」▶「1電話をかける」を押す
- 「2電話をかけない」を押すと読み取ったデータの表示画面に戻ります。

■ SMSを送信する場合：電話番号を選択▶決定▶「2SMSを作る」▶「1送信する」を押す
選択した電話番号が宛先に設定されているSMS作成画面が表示されます。
- SMSの作成・送信方法→p.196
- 「2送信しない」を押すと読み取ったデータの表示画面に戻ります。

■ 静止画ファイルを保存する場合：

① 静止画ファイルを選択▶決定▶「2保存する」を押す
- 「1表示する」を押すと静止画を表示します。
- 「3戻る」を押すと読み取ったデータの表示画面に戻ります。

② 決定▶登録先フォルダを選択▶決定を押す
静止画が保存されます。
- (メニュー)：題名の変更や、待受画面・ワンタッチダイヤルの着信画面への設定ができます。

■ メロディデータを保存する場合：

① メロディデータを選択▶決定▶「2保存する」を押す
- 「1再生する」を押すとメロディを再生します。
- 「3戻る」を押すと読み取ったデータの表示画面に戻ります。

② 決定を押す
メロディが保存されます。
- メニュー：題名の変更や着信音への設定ができます。

■ トルカデータを保存する場合：

① トルカデータを選択▶決定▶「2保存する」を押す
- 「1表示する」を押すとトルカを表示します。
- 「3戻る」を押すと読み取ったデータの表示画面に戻ります。

② 決定を押す
トルカが保存されます。

■ iアプリを起動する場合：「iアプリ起動」を選択▶決定を押す
iアプリが起動します。

お知らせ

- iアプリからバーコードリーダーを起動した場合、読み取ったデータはiアプリで保存、利用されます。

分割されたQRコードを読み取る

複数（最大16個）のQRコードに分割されているデータは、画面に表示されるメッセージに従って次々に読み取ってください。

読み取りが必要な残りのQRコード数とQRコードの総数が表示されます。

- 分割されたQRコードの読み取りを中止するには、戻るを押します。読み取ったデータを破棄するかどうかの確認画面が表示されます。「1破棄する」を押すと、読み取ったデータを破棄してバーコードリーダーが終了します。

音声コードの読み取り

音声コードとは、JAVIS（日本視覚障がい情報普及支援協会）が開発した、漢字を含む文字データを最大約800文字記録できる2次元コードです。音声コードをカメラで撮影して文字データを読み取り、表示や保存をします。読み取ったデータは、F-08Cの音声読み上げ機能（→p.143）を使って読み上げることができます。

- 音声コードを読み取るには、音声コード読み取り補助アダプタ（別売）とFOMA ACアダプタ01／02（別売）が必要です。
- 音声コード読み取り補助アダプタ（別売）の詳しい利用方法については、音声コード読み取り補助アダプタの取扱説明書をご覧ください。
- 読み上げの声質や速さ、音量は、音声読み上げの設定（→p.142）に従います。
- 読み取りデータは、最大10件保存できます。

1 FOMA端末を音声コード読み取り補助アダプタに取り付ける

2 待受画面でメニュー▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「7音声コードを読み取る」を押す
音声コード撮影画面が表示されます。撮影可能な状態になると、確認音が鳴ります。

■ 保存した音声コードのデータを表示する場合：電話帳▶表示するデータを選択▶決定を押す

3 音声コードを音声コード読み取り補助アダプタの用紙差し込み口に差し込む

4 音声コードを画面中央に合わせて決定を押す
撮影確認音（シャッター音）が鳴ってコードが撮影されます。読み取りに成功すると、確認音が鳴って読み取りデータ画面が表示されます。
- 読み取りが終わるまで、約9～10秒かかります。読み取り対象によっては、さらに時間がかかることがあります。
- 読み取りに失敗した場合は、読み取れなかった旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと音声コード撮影画面に戻ります。

5 データを確認する

■ データを保存する場合：メニュー▶「1保存する」を押す
データを保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと読み取りデータ画面に戻ります。

■ 音声コードを読み取り直す場合：電話帳を押す

お知らせ

- 音声コードの詳細および音声コード読み取り補助アダプタの購入については、JAVIS（日本視覚障がい情報普及支援協会）にお問い合わせください。
  - 電話：03-3208-5023
  - メール：info@javis.jp
  - パソコンサイト：http://www.javis.jp/
- 音声コードデータの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なデータを削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従いデータを削除します。
- レンズに指紋や油脂などが付いていると、読み取りに失敗することがあります。
- 音声コードの差し込みかたによっては、読み取りできない場合があります。

保存した音声コードのデータを表示

保存した音声コードの文字データを表示します。

1 待受画面でメニュー▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「8音声コードを再生する」を押す
音声コードデータの一覧画面が表示されます。

2 表示するデータを選択▶決定を押す
読み取りデータ画面が表示されます。

保存した音声コードのデータを削除

保存した音声コードデータを削除します。

1 待受画面でメニュー▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「7音声コードを読み取る」を押す
音声コード撮影画面が表示されます。

2 電話帳を押す
音声コードデータの一覧画面が表示されます。

3 削除するデータを選択▶メニュー▶「3削除する」▶「1選択1件」を押す
データを削除するかどうかの確認画面が表示されます。
- データを選択して決定を押すと、データを表示できます。また、電話帳を押すと、音声コード撮影画面に戻ります。

■ 全件削除する場合：メニュー▶「3削除する」▶「2保存済全件」を押す▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

4 「1削除する」を押す
データが削除されます。削除できるデータが残っているときは音声コードデータの一覧画面に、データがないときは音声コード撮影画面に戻ります。

ｉアプリ

ｉアプリとは

ｉアプリとは、ｉモード対応端末用のソフトです。ｉモードサイトからさまざまなソフトをダウンロードすれば、自動的に株価や天気情報などを更新させたり、ネットワークに接続していない状態でもゲームを楽しんだり、FOMA端末をより便利にご利用いただけます。音声読み上げに対応しているｉアプリは音声読み上げが可能です。

- ｉアプリの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

お知らせ

- ｉアプリまたはｉアプリDXにより写真やビデオが保存される場合は、ｉアプリ内（ｉアプリによってはそれぞれ写真・画像一覧のアルバム、ビデオ・音声一覧の「ｉモード」アルバム、または追加したアルバム）に保存されます。
- ｉアプリDXにより着信音が保存される場合はメロディ一覧の「ｉモード」フォルダまたはｉアプリ内に保存されます。

ｉアプリをダウンロードする

サイトからｉアプリをダウンロードしてFOMA端末に保存します。

- 保存できるｉアプリのデータサイズは1件あたり最大1Mバイトです。
- ｉアプリとメール連動型ｉアプリを合わせて最大100件保存できます。メール連動型ｉアプリは最大5件保存できます。→p.450

1 ｉアプリのあるサイトを表示し、ダウンロードするｉアプリを選択▶決定を押す

ダウンロード中画面が表示されます。ダウンロードが完了すると、ダウンロードが完了した旨のメッセージが表示されます。

- ダウンロード中に決定を押すと、ダウンロードを終了するかどうかの確認画面が表示されます。終了するときは「1終了する」を押します。
- ダウンロードが中断されたときは、再開するかどうかの確認画面が表示される場合があります。「1再開する」を押すと、ダウンロードを再開し、「2再開しない」を押すと、部分保存できる場合は部分保存するかどうかの確認画面が表示されます。部分保存できない場合は、それまでダウンロードしたデータは削除されます。部分保存したｉアプリは、ソフト一覧から残りをダウンロードできます。→p.272「ｉアプリを起動する」操作2

■ 携帯電話の情報やmicroSDカードを利用するｉアプリをダウンロードするとき

ダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。ダウンロードする場合は「1ダウンロードする」を押します。

- ガイド行に「ガイド」と表示された場合に電話帳を押すと、そのｉアプリが利用するデータの詳細を確認できます。もう一度電話帳を押すとダウンロードするかどうかの確認画面に戻ります。

■ 選択したｉアプリがすでにダウンロードされているとき

「ダウンロード済みです」と表示されます。決定を押すとサイト表示に戻ります。

- ｉアプリが更新されているときは、最新にするかどうかの確認画面が表示されます。最新にする場合は「1最新にする」を押します。

■ 選択したｉアプリがすでに異なるドコモUIMカードでダウンロードされているとき

上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きするときは「1上書きする」を押します。

2 **決定を押すまたは約5秒後にダウンロードしたソフトを今すぐ使用するかどうかの確認画面が表示される**

■ ソフトの動作を設定する画面が表示されたとき：

- ｉアプリが対応していない項目は設定できません。
- 各設定について→p.274、p.279

① **「1待受画面」または「2通信を設定」を押す**

- 「1待受画面」▶「1設定する」または「2設定しない」を押す
- 「2通信を設定」▶「1許可する」または「2許可しない」を押す

② **電話帳を押す**

設定を完了した旨のメッセージが表示されます。

- 待受画面を「1設定する」に設定した場合は設定の確認画面が表示されます。「1設定する」を押すと待受画面に設定され、テロップ表示設定が「表示する」の場合はテロップ表示が解除されます。

③ **決定を押すまたは約5秒後にダウンロードしたソフトを今すぐ使用するかどうかの確認画面が表示される**

3 **「2使用しない」を押す**

サイト表示に戻ります。

■ ダウンロードしたｉアプリをすぐに起動する場合：**「1使用する」を押す**

お知らせ

- ｉアプリによっては、ダウンロード後、保存されていなくてもすぐに起動するものがあります。
- 縦横のサイズが240×240（ドット）を超えるｉアプリ待受画面に対応しているｉアプリは、ダウンロードできません。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なｉアプリを削除するかどうかの確認画面が表示されます。ｉアプリを保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のｉアプリを削除します。

メール連動型ｉアプリのダウンロードについて

メール連動型ｉアプリをダウンロードすると、受信／送信／未送信メールのフォルダ一覧にメール連動型ｉアプリ用のフォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名に設定され、変更できません。

- 最大保存件数を超えるときは、メールフォルダ利用ソフトがいっぱいのため削除してから保存するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従ってメール連動型ｉアプリ用のフォルダを削除します。
- 同じメールフォルダを利用するメール連動型ｉアプリが、すでにFOMA端末に保存されている場合は、ダウンロードできません。

お知らせ

- メール連動型ｉアプリ用のフォルダのみが残っているときに、そのフォルダを利用するメール連動型ｉアプリを再ダウンロードしようとすると、メールフォルダを利用するかどうかの確認画面が表示されます。利用しない場合は、「2利用しない」▶「1新規作成する」を押すとダウンロードされます。
- ダウンロードするメール連動型ｉアプリに対応したメールがすでにFOMA端末に保存されている場合、ダウンロード時に自動的に作成されたフォルダにメールを移動するかどうかの確認画面が表示されます。移動する場合は「1移動する」を押します。

ｉアプリを起動する

保存されているｉアプリを起動します。

1　待受画面で[iアプリ]を1秒以上押す

<ソフト一覧>

アイコン表示

ソフト一覧
1/5件
エフ゛リスタ携帯小説
ケータイ脳力ストレッ…
メモ
お薬辞典＋手帳
耳ヨミforらく…
モードで探す

リスト表示

- ソフト一覧の表示を切り替えられます。→p.273
- マークの意味は次のとおりです。
  [アイコン]：メール連動型ｉアプリ
  [アイコン]：ｉアプリDX　[アイコン]：ｉアプリ
  [アイコン]／[アイコン]：ｉアプリ待受画面に設定可／設定中
  [アイコン]：自動起動設定中
  [アイコン]：部分保存したｉアプリ
  [アイコン]：ドコモUIMカードのセキュリティ機能により使用不可
  [アイコン]：IP（情報サービス提供者）によって停止状態
  [アイコン]：SSLページからダウンロードしたｉアプリ
  [アイコン]／[アイコン]：「ｉモードで探す」を選択して、[決定]▶「1接続する」を押すと、ｉモードサイトからｉアプリを探せます。→p.270

2　起動するｉアプリを選択▶[決定]を押す

ｉアプリが起動します。

- ｉアプリによっては、初回起動時に携帯電話の情報やmicroSDカードを利用する旨のメッセージが表示されます。「1起動する」を押すと、以降はメッセージが表示されなくなります。
- 部分保存したｉアプリを選択して[決定]を押すと、残りを取得するかどうかの確認画面が表示されます。「1取得する」を押すと残りを取得して起動できますが、取得できないときは、部分保存したｉアプリは削除される場合があります。
- ｉアプリを終了するには、ｉアプリごとに設定されている方法で操作を行ってください。[終話]▶「1終了する」を押しても終了できます。

お知らせ

- ｉアプリによって表示領域は異なります。
- ｉアプリの音量は調整できます。ただし、音が鳴らないｉアプリもあります。→p.105
- ｉアプリで利用する画像（ｉアプリからカメラ撮影した画像やｉアプリの赤外線通信機能によって取得した画像）やお客様が入力したデータなどは、インターネットを経由してサーバに送信される可能性があります。
- 部分保存したｉアプリは、ソフト詳細情報の表示、削除はできます。
- microSDカードを利用するｉアプリは、ｉアプリからmicroSDカードにデータを保存できます。microSDカードに保存したデータは、他機種で利用できない場合があります。microSDカードを利用するｉアプリは、「microSDカードのｉアプリのデータの表示」で確認できます。→p.327
- 次のような場合、ｉアプリは中断されることがあります。動作中の機能が終了するとｉアプリは再開しますが、ｉアプリによっては、中断したときの状態に戻らない場合があります。
  - 電話がかかってきたとき
  - 開閉ロックが起動したとき
  - 電池残量がなくなったとき
  - 目覚ましや予定の通知の時刻になったとき
- 圏外にいる場合や携帯電話の情報が使用できない場合、ｉアプリによっては起動しないことや、正常に動作しないことがあります。

- ｉアプリによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたｉアプリにアクセスし、直接使用停止状態にすることがあります。その場合はそのｉアプリの起動、待受画面設定、最新にするなどができなくなり、削除およびソフト詳細情報の表示のみできます。もう一度ご利用いただくにはｉアプリ停止解除の通信を受ける必要があるため、IP（情報サービス提供者）にお問い合わせください。
- ｉアプリによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたｉアプリにデータを送信する場合があります。
- IP（情報サービス提供者）がｉアプリに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信した場合、FOMA端末は通信を行い、が点滅します。その場合、通信料はかかりません。
- ｉアプリ作成者の方へ
  ｉアプリを作成中、正常に動作しないときはトレース情報が参考になる場合があります。トレース情報は、待受画面でメニュー▶「8ｉアプリを使う」▶「3ｉアプリの履歴を表示する」▶「4トレース情報」を押すと表示されます。ただし、トレース情報を記録するｉアプリが保存されていないときは、表示できません。
  トレース情報を削除するときは電話帳▶「1削除する」を押します。

ｉアプリのエラー終了時の履歴表示

ｉアプリが携帯電話の情報を利用できないなどの理由でエラーが発生して終了したときは、ｉアプリ名、日時、セキュリティエラー理由が記録されます。〈セキュリティエラー履歴〉

- 最大20件記録されます。20件を超えると古いものから順に消去されます。

1 待受画面でメニュー▶「8ｉアプリを使う」▶「3ｉアプリの履歴を表示する」▶「3セキュリティエラー履歴」を押す

セキュリティエラー履歴一覧が表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

- 履歴を削除するときは電話帳▶「1削除する」を押します。

ソフト一覧の表示を切り替える

ソフト一覧の表示方法を切り替えます。

1 待受画面でｉαを1秒以上▶メニュー▶「8表示を切替」を押す

表示方法の選択画面が表示されます。

2 「1アイコン表示」または「2リスト表示」を押す

表示方法を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとソフト一覧に戻ります。

ｉアプリの詳細情報の表示

ｉアプリの名前やソフトのサイズ、動作設定の設定状況などを確認します。〈ソフト詳細情報〉

1 待受画面でｉαを1秒以上▶ｉアプリを選択▶メニュー▶「1詳細情報を見る」を押す

ソフト詳細情報が表示されます。決定を押すとソフト一覧に戻ります。

- 表示される項目はｉアプリによって異なります。
- SSLページからダウンロードしたｉアプリの場合、ソフト詳細情報画面で電話帳を押すとサイトの証明書を確認できます。

ｉアプリの動作条件の設定

ｉアプリごとに各種動作条件を設定します。〈ソフト動作設定〉

- ｉアプリが対応していない項目は設定できません。

1 **待受画面で[iα]を1秒以上▶ｉアプリを選択▶[メニュー]▶「[5]動作を設定」を押す**

ソフト動作設定画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

[1] **通信を設定**：ｉアプリ動作中に自動的に通信することを許可するかどうかを設定します。

[2] **端末情報の設定**：ｉアプリが端末情報を利用することを許可するかどうかを設定します。

[3] **連携起動の設定**：サイトやメールなどからｉアプリを起動することを許可するかどうかを設定します。

2 **「[1]通信を設定」～「[3]連携起動の設定」のいずれかを押す**

■ **通信を許可するかどうかを設定する場合：「[1]通信を設定」▶「[1]許可する」または「[2]許可しない」を押す**

ソフト動作設定画面に戻ります。

■ **端末情報の利用を許可するかどうかを設定する場合：「[2]端末情報の設定」▶「[1]許可する」または「[2]許可しない」を押す**

ソフト動作設定画面に戻ります。

■ **連携起動を許可するかどうかを設定する場合：「[3]連携起動の設定」▶「[1]許可する」または「[2]許可しない」を押す**

ソフト動作設定画面に戻ります。

3 **[電話帳]を押す**

ソフトの動作を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すか、約5秒たつとソフト一覧に戻ります。

お知らせ

- 「通信を設定」を「許可しない」に設定すると、ｉアプリが起動できない場合や、株価や天気情報などのｉアプリによるタイムリーな情報提供ができない場合があります。
- 「端末情報の設定」を「許可する」に設定すると、未読メール、未読メッセージR/F、電池残量、マナーモード、アンテナマークの有無がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得される可能性があります。マーク情報が必要なｉアプリの場合、「許可しない」に設定すると、動作しないｉアプリがあります。

起動するｉアプリの設定

メニュー操作や他の機能から外部機器接続のｉアプリを起動する際に、どのｉアプリを起動するかあらかじめ設定します。〈起動ソフト設定〉

1 **待受画面で[メニュー]▶「[8]ｉアプリを使う」▶「[2]ｉアプリを設定する」▶「[2]起動するｉアプリを設定する」▶「[1]外部機器接続」を押す**

設定できるｉアプリが表示されます。

- 設定できるｉアプリがない場合は、対応するソフトがない旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと、起動ソフト設定画面に戻ります。

2 **設定するｉアプリを選択▶[決定]を押す**

起動ソフト設定画面に戻ります。

3 **[電話帳]を押す**

起動するソフトを設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

ｉアプリから他のｉアプリを起動

ｉアプリによっては指定されたｉアプリを起動でき、ソフト一覧に戻ることなくｉアプリを楽しめます。

1 ｉアプリを操作して他のｉアプリを起動する

お知らせ

- 起動するｉアプリが指定されていない場合は、ｉアプリを選択して決定を押します。
- 起動するｉアプリが指定されていても、FOMA端末に保存されていない場合はダウンロードする必要があります。

プリインストールｉアプリを使う

- お買い上げ時に登録されているｉアプリを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。
  アクセス方法（2012年2月現在）
  待受画面でｉα▶「1 ｉMenuを見る」▶「メニューリスト」▶「ケータイ電話メーカー」▶「@Fケータイ応援団」

サイトアクセス用QRコード

※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

ケータイ脳力ストレッチング　らくらく版

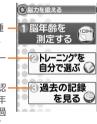
東北大学川島隆太教授が監修した、さまざまな問題を解いて脳をトレーニングしていくゲームです。
- 音声入力に対応した問題もあります。

■ **メニュー画面について**

タイトル画面で決定を押すと次の画面が表示されます。

ゲームの開始や過去の記録を見ます。

音量や振動の設定、記録を消去します。

操作方法や脳年齢測定、脳年齢について確認します。

「① 脳力を鍛える」を押す

脳年齢を測定します。3種類の問題が出題されます。

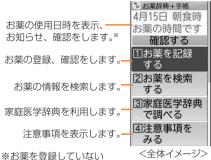
自分で問題を選んでトレーニングします。

脳年齢を測定した日が確認できるカレンダーや、脳年齢、各トレーニングでの過去30回分の記録を見ます。

■ **遊びかた**

「①脳力を鍛える」▶「①脳年齢を測定する」▶決定を押します。

「①脳力を鍛える」▶「②トレーニングを自分で選ぶ」▶「①脳力ストレッチ」～「③記憶力ストレッチ」のいずれかを押すと自分で問題を選んでトレーニングできます。

- 問題のタイトル画面で電話帳を押すと、問題や操作ボタンの説明が表示されます。説明を確認してからゲームを開始してください。メニューを押すと問題のタイトル画面に戻ります。

お薬辞典＋手帳

お薬を管理したり、お薬の使用日時をお知らせしたり、お薬の情報を検索したりできます。

- 初回起動時は利用規約が表示されます。ご利用になるには同意する必要があります。
- ご利用になる前にトップ画面の「注意事項をみる」をご覧ください。
- 家庭医学辞典を利用する場合や、お薬の画像を取得する場合は、別途パケット通信料がかかります。本アプリはｉモードパケット定額サービスのご利用をおすすめします。

■ トップ画面について

起動すると、次の画面が表示されます。

<全体イメージ>

※お薬を登録していない場合は表示されません。

お薬を登録する：

「1お薬を記録する」▶「2手入力で登録する」▶各項目を入力します。

- 食事などの時間をあらかじめ登録しておく必要があります。「1お薬を記録する」▶「3食事等の時間を登録する」を押し登録してください。

登録したお薬を確認する：

「1お薬を記録する」▶「1登録したお薬をみる」▶処方日・病院の名前を選択▶決定▶診療科を選択▶決定▶お薬の名前を選択▶決定を押します。

使用日時になったとき：

トップ画面でお知らせします。「確認する」を選択▶決定を押すと、使用する薬を確認できます。

お薬の情報を検索する：

「2お薬を検索する」▶お薬の名前を入力▶「検索」を選択▶決定▶お薬の名前を選択▶決定を押します。

E★エブリスタ携帯小説

趣味を通じて交流する趣味人倶楽部（しゅみーとくらぶ）というコミュニティサイトで、これまでにたくさんの人に読まれた人気の携帯小説を読むことができます。

■ 遊びかた

起動すると、次の画面が表示されます。

- 初回起動時は「小説を読む」を選択▶決定を押すと次の画面が表示されます。

<メインメニュー画面>

小説タイトルを選択▶決定▶「小説を読む」を選択▶決定を押す

<小説閲覧画面>

- 「前のページへ」「次のページへ」を選択▶決定を押すと、選んだ小説を読み進めたり、読み返したりすることができます。
- 「このページにしおりをはさむ」を選択▶決定を押すと、次回からしおりをはさんだ部分から読むことができます。

耳ヨミ for らくらくホン

オーディオブックを再生するためのアプリです。オーディオブック配信サイト「mimiyomi」に接続して、オーディオブックをダウンロードすることもできます。

- 初回起動時は利用規約が表示されます。ご利用になるには同意する必要があります。
- オーディオブックのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。本アプリはｉモードパケット定額サービスのご利用をおすすめします。
- 詳細は、目次画面の「ヘルプ」をご覧ください。

■ 目次画面について

タイトル画面で「①決定キーで開始」を押すと次の画面が表示されます。

■ 視聴のしかた

① 「①作品を視聴する」▶「①本体メモリー」または「②メモリーカード」を押します。
- 目次画面で(電話帳)▶「①設定」を押すと設定画面が表示され、音量設定、本体データやメモリーカードの初期化ができます。

② 作品を選択▶(決定)を押します。

③ 「①先頭から再生」～「③しおりから再生」のいずれかを押すと、オーディオブックが再生されます。
- 再生画面で(決定)を押すと一時停止／再生します。

メモ

さまざまな情報を入力して確認したり、FOMA端末どうしで赤外線通信を利用してメモを送受信したりできます。

- 最大50件登録できます。
- 待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「4メモを使う」を押しても起動できます。

■ メニュー画面について

起動すると、次の画面が表示されます。

メモを入力する場合：

「メモを新しく作る」を選択▶(決定)▶(決定)▶メモを入力▶(決定)▶(メニュー)▶「①決定」を押します。

- 全角500文字、半角1000文字以内で入力します。

メモの内容を表示する場合※：

「メモを読む／編集する」を選択▶(決定)▶表示するメモを選択▶(決定)を押します。

- メモ一覧画面で(メニュー)を押すとサブメニューが表示され、メモの削除や並び替え、表示方法の変更ができます。

※ 登録したメモがない場合は表示できません。

赤外線通信でメモを送受信する場合：

「赤外線でメモを送受信する」を選択▶(決定)を押します。

メモを送信する場合は、「赤外線でメモを送信する」を選択▶(決定)▶送信するメモを選択▶(決定)▶「1通信する」を押すと送信されます。

メモを受信する場合は、「赤外線でメモを受信する」を選択▶(決定)▶「1通信する」を押すと受信されます。保存するかどうかの確認画面で「①保存する」▶「①決定」を押すと保存されます。

- 赤外線通信のしかたは「赤外線通信を行うには」をご覧ください。→p.331

メモを終了する場合：

「メモを終了する」を選択▶(決定)▶「①はい」を押します。

- 各画面で(電話帳)を押すと、操作説明が表示されます。

ｉアプリを自動起動する

指定した日時にｉアプリを自動的に起動できます。

ｉアプリの自動起動を設定

自動起動情報設定のユーザ設定を「利用する」に設定したｉアプリや、あらかじめ自動起動が設定されているｉアプリすべての自動起動を有効にするかどうかを設定します。〈自動起動設定〉

1 **待受画面でメニュー▶「8 ｉアプリを使う」▶「2 ｉアプリを設定する」▶「4 ｉアプリ自動起動を設定する」を押す**

ソフトの自動起動を有効にするかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1 有効にする」または「2 無効にする」を押す**

ソフトの自動起動を有効／無効にした旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

ｉアプリの自動起動日時を設定

ｉアプリごとに自動起動の利用や起動日時を設定します。〈自動起動情報設定〉

- 自動起動できないｉアプリもあります。
- 自動起動設定が「無効にする」の場合は、自動起動情報を登録できません。

1 **待受画面でｉαを1秒以上▶設定するｉアプリを選択▶メニュー▶「4 自動起動を設定」を押す**

自動起動情報設定画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **ユーザ設定**：次の設定する条件で自動起動を利用するかどうかを設定します。
2 **時刻**：自動起動する時刻を入力します。
3 **繰り返し**：自動起動の繰り返し動作を設定します。

2 **「1 ユーザ設定」を押す**

自動起動を利用するかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「1 利用する」を押す**

自動起動情報設定画面に戻ります。

- 「2 利用しない」：操作6に進みます。

4 **「2 時刻」▶時刻を入力▶決定を押す**

自動起動情報設定画面に戻ります。

- 24時間制で入力します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

5 **「3 繰り返し」▶「1 一回のみ」～「3 毎週」のいずれかを押す**

自動起動情報設定画面に戻ります。

- 「1 一回のみ」を押した場合は、日付を入力▶決定を押します。
- 「3 毎週」を押した場合は、「1 日曜日」～「7 土曜日」のいずれかを押します。

6 **電話帳を押す**

自動起動情報を登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとソフト一覧に戻ります。

お知らせ

- 自動起動を設定しても、次のときは起動せず、待受画面にお知らせ情報（→p.25）とが表示され、自動起動失敗履歴に記録されます。
  - 待受画面以外が表示されているとき
  - ドコモUIMカードのセキュリティ機能により使用不可のとき
  - ドコモUIMカードを認識できないとき
  - 自動起動の間隔が短すぎたとき
  - オールロック中、おまかせロック中、個人情報表示制限中
  - IP（情報サービス提供者）によってｉアプリの使用を停止されているとき
- 複数のｉアプリを「繰り返し」を変更して同時刻に自動起動するように設定しても、設定時刻に起動するのはいずれか1つです。起動できなかったｉアプリの情報は自動起動失敗履歴に記録されますが、待受画面にお知らせ情報（→p.25）とは表示されません。

ｉアプリの自動起動失敗時の履歴表示

ｉアプリの自動起動に失敗したときに、待受画面にお知らせ情報（→p.25）と が表示され、ｉアプリ名、日時、自動起動失敗理由が記録されます。〈自動起動失敗履歴〉

- 最大20件記録されます。20件を超えると古いものから順に消去されます。
- 自動起動失敗履歴を表示するか、次の自動起動が成功すると、待受画面のお知らせ情報（→p.25）と が消えます。

1 待受画面でメニュー▶「8 ｉアプリを使う」▶「3 ｉアプリの履歴を表示する」▶「1 自動起動失敗履歴」を押す

自動起動失敗履歴一覧が表示されます。
決定を押すとメニュー画面に戻ります。

- 履歴を削除するときは電話帳▶「1 削除する」を押します。

サイトやメールからｉアプリを起動する

サイトやｉモードメール、トルカのリンク項目を利用してｉアプリを起動できます。〈連携起動〉

1 サイトやｉモードメールのｉアプリを連携起動できるリンク項目を選択▶決定▶「1 起動する」を押す

ｉアプリが起動します。

お知らせ

- 連携起動するｉアプリがFOMA端末に保存されていない場合は、起動できません。ただし、ｉアプリによっては、サイトからダウンロード後、保存されていなくてもすぐに起動するものがあります。
- メールから連携起動する場合、部分保存したｉアプリは起動できません。
- サイトからダウンロード後すぐに起動するｉアプリは、起動中に通信するかどうかの確認画面が表示される場合があります。
- FOMA端末に保存できないｉアプリもあります。
- 連携起動の設定を「許可しない」に設定している場合は起動できません。→p.274

ｉアプリ待受画面を操作する

待受画面に設定したｉアプリを操作できます。〈ｉアプリ待受画面〉

ｉアプリ待受画面の設定

待受画面にｉアプリを表示するように設定します。ｉアプリ待受画面動作中に自動的に通信するかどうかも設定できます。

- 対応しているｉアプリのみ設定できます。

1 待受画面でメニュー▶「8 ｉアプリを使う」▶「2 ｉアプリを設定する」▶「3 ｉアプリ待受画面を設定する」を押す

ｉアプリ待受画面の設定画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **ｉアプリ待受画面**：待受画面に設定するｉアプリを設定します。テロップ表示設定を「表示する」にしている場合は、テロップ表示が解除されます。

2 **通信を設定**：設定したｉアプリ待受画面が自動的に通信することを許可するかどうかを設定します。

- 通信しないｉアプリでは設定できません。

■ すでにｉアプリ待受画面を設定しているとき

ｉアプリ待受画面の操作選択画面が表示されます。通信の設定や待受画面の解除などができます。
項目の意味は次のとおりです。

1 **通信を設定する**：「通信を設定」と同様です。

2 **終了する**：ｉアプリ待受画面が動作中の場合は、動作を中止します。

3 **解除する**：ｉアプリ待受画面の設定を解除します。解除すると、テロップ表示設定が「表示する」に設定されます。

2 「1 iアプリ待受画面」または「2 通信を設定」を押す

■ iアプリ待受画面を設定する場合：

①「1 iアプリ待受画面」▶設定するiアプリを選択▶決定を押す

iアプリ待受画面に設定するかどうかの確認画面が表示されます。

②「1 設定する」を押す

iアプリ待受画面の設定画面に戻ります。

■ 通信を許可するかどうかを設定する場合：「2 通信を設定」▶「1 許可する」または「2 許可しない」を押す

iアプリ待受画面の設定画面に戻ります。

3 電話帳を押す

iアプリ待受画面の設定をした旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

- iアプリ待受画面表示中は、ディスプレイ上部に または がグレーで表示されます。

お知らせ

- iアプリ待受画面を設定中にFOMA端末の電源を入れると、iアプリ待受画面を起動するかどうかの確認画面が表示されます。「1 起動する」を押すか、約5秒間何も操作しないと起動します。「2 起動しない」を押すとiアプリ待受画面を解除します。
  自動電源ON設定によって電源が入った場合は確認画面は表示されず、自動的にiアプリ待受画面が起動します。
- 通信を行うiアプリをiアプリ待受画面に設定した場合、電波状況などにより正しく動作しないことがあります。
- 待受画面にお知らせ情報や新着情報が表示されると、iアプリ待受画面は表示されません。情報を確認すると、表示されます。
- オールロック中、おまかせロック中、個人情報表示制限中、開閉ロック中は、iアプリ待受画面は一時的に解除され、お買い上げ時の画像が表示されます。
- iアプリ待受画面が解除されるようなエラーが発生すると、解除するかどうかの確認画面が表示されます。「1 解除する」を押すと解除され、異常終了履歴に記録されます。

iアプリ待受画面のiアプリを起動

待受画面に設定したiアプリを起動します。

1 iアプリ待受画面で戻る▶iアプリを操作する

ディスプレイ上部の または がグレーから黒になり点滅します。

iアプリを終了してiアプリ待受画面に戻る

iアプリを終了してiアプリ待受画面に戻します。

1 iアプリ動作中に ▶「1 終了する」を押す

ディスプレイ上部の または が黒からグレーに変わります。

iアプリを終了してiアプリ待受画面に戻る方法は、iアプリによって異なります。

- 「2 解除する」を押すとiアプリ待受画面が解除されます。決定を押すか、約5秒たつとディスプレイ上部の または が消えた待受画面に戻ります。

iアプリ待受画面の終了履歴を表示

iアプリ待受画面が解除されるようなエラーが発生したときに、iアプリ名と日時が記録されます。

〈異常終了履歴〉

- 最大20件記録されます。20件を超えると古いものから順に消去されます。

1 待受画面でメニュー▶「8 iアプリを使う」▶「3 iアプリの履歴を表示する」▶「2 異常終了履歴」を押す

異常終了履歴一覧が表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

- 履歴を削除するときは電話帳▶「1 削除する」を押します。

ｉアプリの管理

ｉアプリを最新にしたり、削除したり、ソフトを並べ替えたり、ｉアプリをより使いやすくするためのさまざまな機能があります。

ｉアプリを最新にする

ｉアプリが更新されている場合は最新にできます。
• パケット通信料がかかります。

1 **待受画面で（iαppli）を1秒以上▶ｉアプリを選択▶（メニュー）▶「3最新にする」を押す**
最新にするかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1最新にする」を押す**
ダウンロード中画面が表示されます。ダウンロードが完了すると、ダウンロードが完了した旨のメッセージが表示されます。
（決定）を押すか、約5秒たつとダウンロードしたソフトを今すぐ使用するかどうかの確認画面が表示されます。
• ｉアプリによっては、携帯電話情報を送信するかどうかの確認画面が表示される場合があります。→p.217「サイトの表示」のお知らせ
また、ダウンロードするかどうかの確認画面やソフトの動作設定画面などの確認画面が表示される場合があります。その場合は、「ｉアプリをダウンロードする」をご覧ください。→p.270
• ｉアプリが最新の場合は、最新である旨のメッセージが表示されます。（決定）を押すと、ソフト一覧に戻ります。

3 **「1使用する」を押す**
ｉアプリが起動します。
■ ｉアプリを起動しない場合：**「2使用しない」を押す**
ソフト一覧に戻ります。

お知らせ
• 最新にすると、ｉアプリが記録しているゲームスコアなどのデータが消去される場合があります。
• ｉアプリによっては、使用期間と使用回数によりドコモのサーバへ継続して使用できるかどうかを問い合わせる場合があります。このとき、サーバからｉアプリが更新されていると通知された場合は、最新にするかどうかを確認した上で最新にできます。
• ｉアプリによっては、自動的に最新にするものがあります。

ｉアプリの削除

保存されているｉアプリを削除します。
•「メモ」は削除できません。

〈例〉ｉアプリを1件削除する

1 **待受画面で（iαppli）を1秒以上押す**
ソフト一覧が表示されます。

2 **削除するｉアプリを選択▶（メニュー）▶「2削除する」▶「1選択1件」を押す**
削除するかどうかの確認画面が表示されます。
■ 全件削除する場合：**（メニュー）▶「2削除する」▶「2全件」▶端末暗証番号を入力▶（決定）を押す**

3 **「1削除する」を押す**
削除した旨のメッセージが表示されます。
（決定）を押すか、約5秒たつとソフト一覧に戻ります。
• メール連動型ｉアプリを削除する場合は、メールフォルダも削除するかどうかの確認画面が表示されます。
「1削除する」※：メールフォルダとフォルダ内のメールも削除されます。
「2削除しない」：ｉアプリのみ削除されます。
「3元の画面に戻る」：削除せずに、ソフト一覧に戻ります。
※ メールフォルダ内に保護されているメールがある場合は、ｉアプリやメールフォルダは削除できません。

- 起動ソフト設定（→p.274）の項目に設定されているｉアプリを削除するときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。「1削除する」を押すと削除され、起動ソフト設定の外部機器接続は「設定なし」に設定されます。
- microSDカード内のデータを使用するｉアプリを削除する場合は、microSDカード内のデータも削除するかどうかの確認画面が表示されることがあります。
  「1削除する」：microSDカード内のデータも削除されます。
  「2削除しない」：ｉアプリのみ削除されます。
  「3元の画面に戻る」：削除せずに、ソフト一覧に戻ります。

お知らせ

- ｉアプリのみ削除し、メール連動型ｉアプリ用のフォルダを残した場合は、メールフォルダ一覧のサブメニューからメールを表示できます。→p.170、p.174

ｉアプリの並び順変更

ソフト一覧の並び順を並べ替えます。

1 **待受画面で[iα]を1秒以上▶[メニュー]▶「6並び順を変更」を押す**
並び順の選択画面が表示されます。

2 **「1使用日時順」または「2名前順」を押す**
並び順を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すか、約5秒たつと、選択した並び順でｉアプリが並び替わります。

お知らせ

- 使用日時は、日付時刻設定で設定されている日時で記録されます。
- ｉアプリ名に全角や半角、英字が混在していると、「名前順」の並べ替えた結果が、50音順にならない場合があります。

ｉアプリの保存容量の確認

FOMA端末本体にｉアプリが保存できる領域のサイズや、空き領域のサイズなどを表示します。

- 空き容量のサイズは、画像や動画／ｉモーション、メロディ、マチキャラ、トルカの保存状況によっても変わります。
- 使用領域には、保存されているｉアプリの容量と、ｉアプリを管理する為のシステム領域の合計が表示されています。ｉアプリを管理する為のシステム領域として、常に約0.5Mバイトの領域が使用された状態となっています。

1 **待受画面で[iα]を1秒以上▶[メニュー]▶「7保存容量を確認」を押す**
保存容量が表示されます。[決定]を押すとソフト一覧に戻ります。
- 画面の見かた→p.300「画像の保存容量の確認」

ｉアプリからさまざまな機能を利用する

ｉアプリを利用してさまざまな機能を利用できます。

- それぞれの機能に対応したｉアプリをあらかじめダウンロードしておく必要があります。
- ｉアプリによっては、操作方法が異なったり、利用できない場合があります。

ｉアプリから電話をかける

ｉアプリから電話をかけられます。

1 **電話発信機能を起動する**
電話をかけるかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1電話をかける」を押す**
電話がかかります。
- 「2電話をかけない」を押すとｉアプリの画面に戻ります。

ｉアプリからのカメラ機能の利用

ｉアプリからカメラを利用できます。

1 **ｉアプリを操作してカメラ撮影を行う**

- 写真撮影→p.252
- ビデオ撮影→p.256

お知らせ

- ｉアプリからカメラを起動した場合、撮影した写真またはビデオは、ｉアプリ内（ｉアプリによってはそれぞれ写真・画像一覧のアルバム、ビデオ・音声一覧の「ｉモード」アルバム、または追加したアルバム）に保存されます。また、自動的にサーバへ送られる場合があります。

ｉアプリからのバーコードリーダーの利用

ｉアプリからバーコードリーダーを利用できます。

1 **ｉアプリを操作してコードを読み取る**

- 読み取ったデータはｉアプリで利用、保存されます。
- バーコードリーダー→p.264

ｉアプリからの赤外線通信の利用

ｉアプリから赤外線通信を利用できます。

- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できない場合があります。

1 **赤外線通信するかどうかの確認画面で「1通信する」を押す**

- 赤外線通信によってｉアプリ起動データを受信し、ｉアプリを起動することもできます。
- 赤外線通信→p.333

ｉアプリからのトルカの利用

ｉアプリからトルカを保存したり、保存してあるトルカを使用／検索したりできます。

〈例〉保存する

1 **トルカ保存の確認画面で「1保存する」を押す**

トルカ一覧の「トルカフォルダ」に保存されます。

■ **上書き保存する場合：トルカ保存の確認画面で「2上書き保存する」▶フォルダを選択▶決定▶上書きするトルカを選択▶決定を押す**

■ **表示する場合：トルカ保存の確認画面で「4トルカを表示」を押す**

トルカ

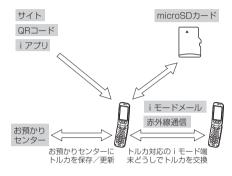
トルカとは

トルカとは、FOMA端末で取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で便利にご利用いただけます。トルカはサイトなどから取得が可能で、メール、赤外線通信、microSDカードを使って簡単に交換できます。

- 本FOMA端末はおサイフケータイではありません。読み取り機でのトルカ取得や自動読取機能に対応していません。
- トルカの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

トルカ利用の流れ

サイトなどから
トルカを取得

フォルダ内のトルカ
一覧からトルカを
選択して 決定 を押す

「詳細」ボタンを
押して詳しい情報を
ダウンロード

トルカ（詳細）

トルカを取得する

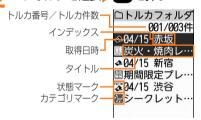
- 保存できるトルカのサイズは1件あたり最大1Kバイトです。トルカ（詳細）は1件あたり最大100Kバイトです。
- 最大200件保存できます。→p.450

トルカの取得手段

お知らせ

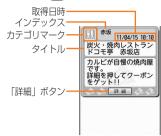
- 取得、ダウンロードしたトルカは「トルカフォルダ」に保存されます。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保存できない旨のメッセージが表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って不要なトルカを削除してください。
- トルカによっては更新や移動／コピー、メール送信や赤外線送信ができない場合があります。

トルカを表示する

取得したトルカを表示します。トルカに詳細情報がある場合は「詳細」ボタンが表示されます。

1 待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「#トルカを使う」を押す

トルカ一覧
トルカフォルダ
microSDのトルカ
レストラン
お買い物

＜トルカ一覧＞

- フォルダの状態は次のマークで確認できます。
  - (グレー)：トルカが保存されていないフォルダ
  - (黒)：トルカが保存されているフォルダ（未読なし）
  - ：トルカが保存されているフォルダ（未読あり）
  - ：microSDカードのトルカフォルダ

2 フォルダを選択▶決定を押す

＜フォルダ内のトルカ一覧＞

- 状態マークの意味は次のとおりです。
  NEW：未読　：既読

■ microSDカード内のトルカ一覧を表示する場合：「microSDのトルカ」フォルダを選択▶決定▶フォルダを選択▶決定を押す

■ すべてのフォルダ内のトルカを表示する場合：メニュー▶「1全トルカを表示」を押す

- microSDカード内のトルカは含まれません。

3 トルカを選択▶決定を押す

＜トルカ＞

- ：スクロールします。1秒以上押すと連続スクロールします。
- ：1秒以上押すと画面単位でスクロールします。
- ：前後のトルカを表示できます。

■ トルカ（詳細）をダウンロードする場合：トルカ表示中に「詳細」を選択▶決定▶「1接続する」を押す

■ トルカをメールで送信する場合：フォルダ内のトルカ一覧で添付するトルカを選択▶メニュー▶「1メールで送る」を押す

- メールに添付できるサイズ→p.166
- iモードメールの作成・送信方法→p.152、p.156
- トルカ（詳細）を添付できる場合は、詳細を含めてメールに貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。
- トルカ（詳細）を添付できない場合は、詳細は含まれないがメールに貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ

- トルカによっては有効期限が設定されている場合があります。期限が過ぎると、フォルダ内のトルカ一覧の文字色がグレーで表示されます。
- フォルダ内のトルカ一覧とトルカ（詳細）に、トルカ発行者独自のカテゴリマークが表示される場合があります。
- Flash画像がトルカ（詳細）に収まっていない場合は、スクロールにより画面内に収まった時点で動作が開始します。
- 詳細情報をダウンロードするときは、パケット通信料がかかります。
- 受信側がトルカ対応機種の場合でも、機種によってはトルカ（詳細）を受信できない場合があります。

トルカ（詳細）表示中の操作

トルカ（詳細）に表示される情報は、次の操作を行うことができます。

- 電話番号、メールアドレス、URL からPhone To、Mail To、SMS To、Web To機能を利用できます。

〈例〉電話番号やメールアドレスを電話帳に新規登録する

1 待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「#トルカを使う」▶フォルダを選択▶決定▶トルカ（詳細）を選択▶決定を押す

トルカ（詳細）が表示されます。

2 登録する電話番号やメールアドレスを選択▶メニュー▶「0電話帳に登録」▶「1新規に登録」を押す

名前の入力画面が表示されます。

- 以降の操作は「電話帳に名前を登録する」操作2以降をご覧ください。→p.81

■ 電話番号やメールアドレスを電話帳に追加登録する場合：登録する電話番号やメールアドレスを選択▶メニュー▶「0電話帳に登録」▶「2追加で登録」▶電話帳を検索▶登録先の相手を選択▶決定▶決定または約5秒後▶「2終了する」を押す

トルカ（詳細）に戻ります。

- 検索方法→p.84
- 登録先の相手にすでに3件登録している場合や、ワンタッチダイヤルに登録する場合の操作方法は「■追加登録する場合」をご覧ください。→p.212

■ URLをブックマークに登録する場合：登録するURLを選択▶メニュー▶「7ブックマークに登録」を押す

登録先フォルダ選択画面が表示されます。

- 以降の操作は「ブックマークの登録」操作2をご覧ください。→p.223

■ 画像を保存する場合：メニュー▶「8画像を保存」を押す

- 以降の操作は「サイトから画像をダウンロード」操作2以降をご覧ください。→p.228

■ 背景画像を保存する場合：メニュー▶「9背景画像を保存」を押す

- 以降の操作は「サイトから画像をダウンロード」操作3以降をご覧ください。→p.228

■ トルカ（詳細）の情報を更新する場合：メニュー▶「1更新する」▶「1接続する」を押す

■ Flash画像やGIFアニメーションをもう一度動作させる場合：メニュー▶「*再表示する」を押す

トルカを管理する

トルカの検索や、フォルダの作成、トルカの削除など、トルカをより便利に使うためのさまざまな機能があります。

トルカの検索

取得したトルカを検索します。

〈例〉ジャンルで検索する

1 待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「#トルカを使う」▶メニュー▶「2全件検索」を押す

検索条件の選択画面が表示されます。

2 「1ジャンル」▶「1グルメ」～「0その他」のいずれかを押す

検索結果一覧が表示されます。

- ジャンル選択画面でジャンルを選択して電話帳を押すと、ジャンルに含まれるカテゴリマークを確認できます。もう一度電話帳を押すとジャンル選択画面に戻ります。

■ タイトルまたはインデックスで検索する場合：「2タイトル」または「3インデックス」▶検索する文字列の一部を入力▶決定を押す

- タイトルは全角10文字、半角21文字以内で入力します。インデックスは全角7文字、半角15文字以内で入力します。

トルカフォルダの作成

「トルカフォルダ」「microSDのトルカ」フォルダ以外に最大20個作成できます。

1 **待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「#トルカを使う」を押す**
トルカ一覧が表示されます。

2 **メニュー▶「3フォルダを追加」▶フォルダ名を入力する**
- 全角7文字、半角14文字以内で入力します。

■ フォルダ名を変更する場合：**フォルダ名を変更するフォルダを選択▶メニュー▶「5フォルダ名変更」▶フォルダ名を入力する**
- 「トルカフォルダ」「microSDのトルカ」フォルダのフォルダ名は変更できません。

3 **決定を押す**
フォルダを追加／フォルダ名を変更した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとトルカ一覧に戻ります。

トルカフォルダの削除

「トルカフォルダ」「microSDのトルカ」フォルダは削除できません。

1 **待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「#トルカを使う」を押す**
トルカ一覧が表示されます。

2 **削除するフォルダを選択▶メニュー▶「4フォルダを削除」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す**
フォルダとフォルダ内のすべてのトルカを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「1削除する」を押す**
フォルダを削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとトルカ一覧に戻ります。

トルカの削除

取得したトルカを削除します。

〈例〉トルカを1件削除する

1 **待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「#トルカを使う」▶フォルダを選択▶決定▶削除するトルカを選択▶メニュー▶「3削除する」を押す**
削除するトルカの選択画面が表示されます。

2 **「1選択1件」を押す**
トルカを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ フォルダ内のトルカを全件削除する場合：**「2フォルダ内全件」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す**

3 **「1削除する」を押す**
トルカを削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとフォルダ内のトルカ一覧に戻ります。
- フォルダ内のトルカがなくなった場合は、トルカがない旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとトルカ一覧に戻ります。

他のフォルダへのトルカ移動

トルカを他のフォルダへ移動します。

〈例〉トルカを1件移動する

1 **待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「#トルカを使う」▶フォルダを選択▶決定▶移動するトルカを選択▶メニュー▶「4移動する」を押す**
移動先の選択画面が表示されます。

2 **「1フォルダへ移動」を押す**
移動するトルカの選択画面が表示されます。

3 **「1選択1件」を押す**
移動先のフォルダの選択画面が表示されます。

■ フォルダ内のトルカを全件移動する場合：**「2フォルダ内全件」を押す**

4 **移動先のフォルダを選択▶決定を押す**

トルカを移動した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとフォルダ内のトルカ一覧に戻ります。

- フォルダ内のトルカがなくなった場合は、トルカがない旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとトルカ一覧に戻ります。

トルカの並び順変更

トルカの並び順（「日付順」）を一時的に並べ替えます。

1 **待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「#トルカを使う」▶フォルダを選択▶決定▶メニュー▶「7並び順を変更」を押す**

並び順の選択画面が表示されます。

2 **「1日付順」～「5かな順」のいずれかを押す**

選択した並び順でトルカが並び替わります。

お知らせ

- 全角や半角の文字が混在していると、「タイトル順」「インデックス順」で並べ替えた結果が50音順にならない場合があります。
- 「かな順」を選択すると、トルカがデータとして保有するID順に並べ替えます（IDは表示できません）。

トルカの保存容量や件数の確認

保存領域の使用状況と、未読、既読のトルカの保存件数を確認します。〈保存容量・件数確認〉

- 空き領域のサイズは、画像、動画／ｉモーション、メロディ、ｉアプリ、マチキャラの保存状況によっても変わります。

1 **待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「#トルカを使う」▶メニュー▶「6保存容量を確認」または「7トルカ件数確認」を押す**

トルカの保存領域の使用状況または保存件数が表示されます。

2 **確認が終わったら決定を押す**

トルカ一覧に戻ります。

データ管理

画像を使いこなす

動画を使いこなす

メロディを使いこなす

マチキャラを使いこなす

microSDカードを使いこなす

赤外線通信を使いこなす

ボイスレコーダを使いこなす

画像の表示

FOMA端末に保存されている写真や画像を表示します。ｉモードメールに添付したり、待受画面に設定したりすることもできます。

- FOMA端末では、静止画（JPEGまたはGIF形式の画像）やアニメーション（GIFアニメーション、Flash画像）を表示できます。ただし、横縦（または縦横）のサイズが480×960（ドット）より大きいGIF形式の画像やGIFアニメーション、3000×4000（ドット）より大きいJPEG形式の画像は表示できません。
- ケータイデータお預かりサービスを利用して画像をバックアップできます。→p.132
- 画像は最大2000件保存できます。→p.450

1 待受画面でメニュー▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「2写真・画像を見る」を押す

写真･画像一覧
撮影した写真
microSDの写真
ｉモード
内蔵写真
データ交換
待受アルバム
デコメピクチャ
デコメ絵文字

- 画像は、次の9個のアルバムに分類して保存されます。
  - ：カメラで撮影した写真が保存されているアルバム
  - ：microSDカードのアルバム
  - ：ｉモードサイトやメール、ｉアプリから取得した写真・画像が保存されているアルバム
  - ：お買い上げ時に登録されている写真・画像が保存されているアルバム
  - ：microSDカードからの移動／コピー、赤外線通信での受信、バーコードリーダーでの読み取り、パソコンなどから取り込んだ写真・画像が保存されているアルバム
  - ：待受画像配信元で設定した条件のメールに添付された写真･画像が保存されているアルバム
  - ：お買い上げ時に登録されているデコメ®ピクチャ、ｉモードサイトやメール、ｉアプリから取得したデコメ®ピクチャ、バーコードリーダーで読み取ったデコメ®ピクチャが保存されているアルバム
  - ：お買い上げ時に登録されているデコメ絵文字®や、ｉモードサイトから取得したデコメ絵文字®が保存されているアルバム
    - デコメ絵文字®は種類別に分類されています。
    - デコメ絵文字®の規格（画像サイズが20×20、ファイルサイズが90Kバイト以内、メール添付やFOMA端末外への出力可、JPEGまたはGIF形式）に該当する画像を取得すると、このフォルダに保存されます。規格に該当しない画像は保存できません。
  - ：お買い上げ時に登録されているフレームや、ｉモードサイトから取得したフレームが保存されているアルバム
- 「ｉモードで探す」を選択して決定▶「1接続する」を押すと、サイトから画像を探せます。→p.228
- アルバムを作成すると、が表示されます。→p.297

2 アルバムを選択▶決定を押す

画像一覧が表示され、カーソル位置の画像の題名などが確認できます。

- 「デコメ絵文字」アルバムのときは、種類を選んでから決定を押します。

- 電話帳：押すたびに画像表示とリスト表示が切り替わります。
- 画像のファイル形式は、次のファイル形式マークで確認できます。
  - JPG／JPG：JPEG形式の画像／ドコモUIMカードのセキュリティ機能により使用不可
  - GIF／GIF：GIF形式の画像、GIFアニメーション／ドコモUIMカードのセキュリティ機能により使用不可

／：Flash画像／ドコモUIMカードのセキュリティ機能により使用不可

- メール添付やFOMA端末外への出力が可能かどうかは、次のメール添付マークで確認できます。
  - ：メール添付とmicroSDカードへ移動／コピーが可能なデータ
  - ：メール添付が不可能で、microSDカードへ移動／コピーが可能なデータ
  - **表示なし**：メール添付とmicroSDカードへ移動／コピーが不可能なデータ
- ドコモUIMカードのセキュリティ機能により表示できないときは、画像の代わりにやが表示されます。

■ microSDカード内の画像を表示する場合：**「microSDの写真」アルバムを選択▶[決定]▶「1写真」～「3デコメ絵文字」▶アルバムを選択▶[決定]を押す**

3 表示する画像を選択▶[決定]を押す

題名
画像番号／アルバム内の画像数
メモ表示

- アニメーションは自動的に再生されます。[決定]を押すと停止／再生します。
- [メール][iアプリ]：アルバム内の前後の画像を表示します。
- [決定]：静止画を等倍で表示します。
  画面より大きい場合は、[メール][iアプリ][左][右]を押すとスクロールします。
  [戻る][メニュー][電話帳]のいずれかを押すと、元の表示に戻ります。
- [電話帳]：全画面で表示します。
  [戻る][メニュー][電話帳]のいずれかを押すと、元の表示に戻ります。
  画面より大きいJPEG形式の画像は、表示サイズにより自動的にスクロールされます。[決定]を押すと一時停止／再開します。
- [戻る]：画像一覧に戻ります。

お知らせ

- 回転補正情報があるJPEG形式の画像は、FOMA端末の向きを変えたときに画像を回転して表示します。ただし、画像一覧表示や待受画面に設定したときなどには回転しません。

画像添付のｉモードメールを作成

画像をｉモードメールに添付して送信します。

1 待受画面で[メニュー]▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「2写真・画像を見る」▶アルバムを選択▶[決定]を押す

画像一覧が表示されます。

- 「デコメ絵文字」アルバムのときは、種類を選んでから[決定]を押します。

2 添付する画像を選択▶[メニュー]▶「1メールで送る」を押す

大きさを小さくするかどうかの確認画面が表示されます。

- 横縦（または縦横）のサイズが240×320（ドット）より小さい場合は確認画面は表示されません。操作4に進みます。

3 「1小さくして送る」または「2このまま送る」を押す

- 「小さくして送る」を選択すると、縦横比を保持したまま、横縦（または縦横）のサイズが240×320（ドット）に収まるように変換して添付します。

4 ｉモードメールを作成する

メール作成：新規
宛先：
題名：
本文：
添付　14.8KB
201104151200

選択した画像が添付され、ファイル名（拡張子含む）が表示されます。

- ｉモードメールの作成・送信方法→p.152、p.156

お知らせ

- ファイルサイズが2Mバイトを超えるJPEG形式の画像を選択した場合は、送信可能なサイズに縮小してメールに添付されます。

画像を待受画面に設定

画像を待受画面に設定します。

1 **待受画面でメニュー▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「2写真・画像を見る」▶アルバムを選択▶決定を押す**

画像一覧が表示されます。

- 「デコメ絵文字」アルバムのときは、種類を選んでから決定を押します。

2 **設定する画像を選択▶メニュー▶「2待受画面に貼る」▶「1設定する」を押す**

待受画面に設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと画像一覧に戻ります。

お知らせ

- 待受画像についての注意事項は「待受画面に画像を設定」のお知らせをご覧ください。→p.110

画像の情報の表示

画像の詳細情報を表示します。

1 **待受画面でメニュー▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「2写真・画像を見る」▶アルバムを選択▶決定を押す**

画像一覧が表示されます。

- 「デコメ絵文字」アルバムのときは、種類を選んでから決定を押します。

2 **情報を確認する画像を選択▶メニュー▶「3情報を見る」を押す**

画像の情報画面が表示されます。

- 決定を押すと画像一覧に戻ります。

項　目	説　明
題名※1	この端末内で表示される題名を表示します。
ファイル制限※1、2	ファイル制限が設定されているかどうかを表示します。→p.297
microSDへの移動※2	microSDカードへの移動が可能かどうかを表示します。
表示サイズ	画像のサイズを表示します。Flash画像の場合は表示されません。 • 表示される名称ごとの横×縦（ドット）のサイズは次のとおりです。 待受（240×400）または待受（400×240） L（1080×1920）またはL（1920×1080） 2L（1556×2592）または2L（2592×1556） 3L（1944×2592）または3L（2592×1944） • 上記のサイズに該当しない場合は、横×縦（ドット）を表示します。
ファイルサイズ	ファイルサイズを表示します。
ファイル種別	ファイル形式を表示します。Flash画像は「---」で表示されます。
種別	静止画かアニメーションかを表示します。
ファイル名	メールに添付したときなどに表示される名前を表示します。
保存日時（作成日時）	保存（作成）した日時を表示します。
保存元※2	画像の取得元を表示します。撮影した写真は「カメラ」、iモードサイトやメールから取得した画像は「iモード」、microSDカードやパソコンなどから取り込んだり、赤外線通信やバーコードリーダーでの読み取りで取得した画像は「データ交換」と表示されます。お買い上げ時に登録されている画像の場合は表示されません。
メモ※1、2	画像を表示したときのメモを表示します。
本体への移動※3	本体への移動が可能かどうかを表示します。

※1 内容を変更することができます。→p.297

※2 microSDカード内の画像の情報では表示されない項目です。

※3 microSDカード内の画像の情報で表示される項目です。

画像の題名やメモ、ファイル制限の変更

画像の題名、メモ、ファイル制限を変更します。
- 「microSDの写真」アルバムの、画像の題名などの変更はできません。
- 画像によっては設定できない項目があります。

1 待受画面でメニュー▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「2写真・画像を見る」▶アルバムを選択▶決定を押す

画像一覧が表示されます。
- 「デコメ絵文字」アルバムのときは、種類を選んでから決定を押します。

2 題名などを変更する画像を選択▶メニュー▶「4題名等を変更」を押す

変更する項目の選択画面が表示されます。

3 「1題名の変更」～「4ファイル制限の設定」のいずれかを押す

■ 題名を変更する場合：「1題名の変更」▶題名を入力▶決定を押す
- 36文字以内で入力します。

■ メモの内容を変更する場合：「2メモの変更」▶メモを入力▶決定を押す
- 100文字以内で入力します。

■ 画像を表示したときにメモを表示するかどうかを設定する場合：「3メモ表示なし」または「3メモ表示あり」を押す

■ ファイル制限を変更する場合：「4ファイル制限の設定」▶「1設定する」または「2設定しない」を押す

変更または設定／解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと画像一覧に戻ります。

ファイル制限について

ファイル制限は、この端末で撮影した写真やビデオ、録音した音声、パソコンなどから取り込んだ画像や動画、メロディを、メールに添付して他の端末に送信したときに、それを受信した相手の端末から、さらに他の端末に送信／転送することを制限する機能です。したがって、ファイル制限を設定しても、この端末からの送信／転送は制限されません。

※ お買い上げ時に登録されているデータや、サイトやメールなどから保存したデータのファイル制限は変更できません。

画像のアルバムの利用

アルバムを作成し、画像を撮影日やジャンルなどで分類して保存します。

画像のアルバムの作成

アルバムを新規作成します。
- 最大100個作成できます。「デコメ絵文字」のアルバムは最大10個作成できます。
- お買い上げ時に登録されているアルバムのアルバム名は変更できません。ただし、デコメ絵文字の「お気に入り」以外のアルバム名は変更できます。

1 待受画面でメニュー▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「2写真・画像を見る」を押す

写真・画像一覧が表示されます。
- 「デコメ絵文字」アルバムのときは、さらに「デコメ絵文字」を押します。

2 メニュー▶「1アルバムを追加」▶アルバム名を入力する

アルバム名の入力画面が表示されます。
- 全角7文字、半角14文字以内で入力します。

■ アルバム名を変更する場合：アルバム名を変更するアルバムを選択▶メニュー▶「3アルバム名変更」▶アルバム名を変更する

3 決定を押す

アルバムを追加した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと写真・画像一覧またはデコメ絵文字一覧に戻ります。

画像のアルバムの削除

作成したアルバムを削除します。
- お買い上げ時に登録されているアルバムは削除できません。ただし、デコメ絵文字の「お気に入り」以外のアルバムは削除できます。

1 待受画面でメニュー▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「2写真・画像を見る」を押す

写真・画像一覧が表示されます。
- 「デコメ絵文字」アルバムのときは、さらに「デコメ絵文字」を押します。

2 **削除するアルバムを選択▶(メニュー)▶「2アルバムを削除」▶「1削除する」を押す**

アルバムを削除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつと写真・画像一覧またはデコメ絵文字一覧に戻ります。

- アルバム内に画像が残ったままアルバムを削除するときは、端末暗証番号を入力▶(決定)▶「1削除する」を押します。

お知らせ

- 待受画面やワンタッチダイヤルの着信画像に使用されている画像のあるアルバムを削除すると、設定されていた項目はお買い上げ時の状態に戻ります。

アルバムへの画像移動

別のアルバムに画像を移動します。

- 「内蔵写真」「アイテム」アルバムの画像は移動できません。
- 「デコメ絵文字」アルバムに保存されている画像は、「デコメ絵文字」のアルバム以外には移動できません。
- 「microSDの写真」アルバムの画像の移動→p.323、p.329
- 「デコメピクチャ」「待受アルバム」アルバムや作成したアルバムで元のアルバムに戻す操作をすると、撮影した写真は「撮影した写真」、microSDカードや赤外線通信、バーコードリーダー読み取りなどで取得した画像は「データ交換」、それ以外は「ｉモード」アルバムに移動します。

1 **待受画面で(メニュー)▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「2写真・画像を見る」▶アルバムを選択▶(決定)を押す**

画像一覧が表示されます。

- 「デコメ絵文字」アルバムのときは、種類を選んでから(決定)を押します。

2 **移動する画像を選択▶(メニュー)▶「6移動する」▶「1アルバムへ移動」を押す**

移動する写真の選択画面が表示されます。

■ **元のアルバムに戻す場合：戻す画像を選択▶(メニュー)▶「6移動する」▶「3最初の□に戻す」を押す**

3 **「1選択1件」または「3アルバム内全件」を押す**

移動先の選択画面が表示されます。

■ **複数選択して移動する場合：「2選択複数件」▶移動する画像を選択▶(決定)▶(電話帳)を押す**

- 選択すると画像に✔が表示されます。リスト表示の場合は□が☑に変わります。
- (決定)：画像を選択／解除します。
- (メニュー)：すべての画像を選択／解除します。

4 **移動先のアルバムを選択▶(決定)を押す**

画像を移動した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつと画像一覧に戻ります。アルバム内に画像がなくなったときは写真・画像一覧またはデコメ絵文字一覧に戻ります。

画像の削除

FOMA端末やmicroSDカードに保存されている画像を削除します。

- 「内蔵写真」アルバムの画像は削除できません。

1 **待受画面で(メニュー)▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「2写真・画像を見る」▶アルバムを選択▶(決定)を押す**

画像一覧が表示されます。

- 「デコメ絵文字」アルバムのときは、種類を選んでから(決定)を押します。

2 **削除する画像を選択▶(メニュー)▶「5削除する」を押す**

削除する写真の選択画面が表示されます。

3 **「1選択1件」を押す**

写真を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **複数選択して削除する場合：「2選択複数件」▶削除する画像を選択▶(決定)▶(電話帳)を押す**

- 選択すると画像に✔が表示されます。リスト表示の場合は□が☑に変わります。
- (決定)：画像を選択／解除します。
- (メニュー)：すべての画像を選択／解除します。

■ アルバム内の画像を全件削除する場合：
「3アルバム内全件」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

4 「1削除する」を押す
写真を削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと画像一覧に戻ります。アルバム内に画像がなくなったときは写真・画像一覧またはデコメ絵文字一覧に戻ります。

お知らせ

- 待受画面やワンタッチダイヤルの着信画像に使用されている画像を削除すると、設定されていた項目はお買い上げ時の状態に戻ります。
- お買い上げ時に「デコメピクチャ」「デコメ絵文字」「アイテム」アルバムに登録されている画像を削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。
  <u>アクセス方法</u>（2012年2月現在）
  待受画面でiα▶「1 i Menuを見る」▶「メニューリスト」▶「ケータイ電話メーカー」▶「@Fケータイ応援団」

  サイトアクセス用QRコード

※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

画像一覧の並び順変更

FOMA端末に保存されている画像の並び順を変更します。

- 「microSDの写真」アルバムの並び順は変更できません。

1 待受画面でメニュー▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「2写真・画像を見る」▶アルバムを選択▶決定を押す
画像一覧が表示されます。
- 「デコメ絵文字」アルバムのときは、種類を選んでから決定を押します。

2 メニュー▶「9並び順を変更」を押す
並び順の選択画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。
1 **題名で昇順**：題名を50音順に並べ替えます。
2 **題名で降順**：題名を50音順の逆に並べ替えます。
3 **保存日時で昇順**：保存日時の古い順に並べ替えます。
4 **保存日時で降順**：保存日時の新しい順に並べ替えます。
5 **大きさで昇順**：ファイルサイズの小さい順に並べ替えます。
6 **大きさで降順**：ファイルサイズの大きい順に並べ替えます。

3 「1題名で昇順」～「6大きさで降順」のいずれかを押す
選択した並び順で画像が並び替わります。

お知らせ

- 題名に全角／半角の文字や漢字が混在していると、「題名で昇順」や「題名で降順」の並べ替えた結果が50音順にならない場合があります。

画像の残り枚数の確認

FOMA端末とmicroSDカードに、画像を残り何枚保存できるかを確認します。

- 「microSDの写真」アルバムでは確認できません。

1 待受画面でメニュー▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「2写真・画像を見る」▶アルバムを選択▶決定を押す
画像一覧が表示されます。
- 「デコメ絵文字」アルバムのときは、種類を選んでから決定を押します。

2 メニュー▶「0残り枚数を確認」を押す

残り枚数の目安	
本体	
待受	1491枚
Lｻｲｽﾞ	0210枚
2Lｻｲｽﾞ	0085枚
3Lｻｲｽﾞ	0078枚

- 電話帳：押すたびにmicroSDカードと本体の残り枚数の表示が切り替わります。
- 決定を押すと画像一覧に戻ります。

お知らせ

- 残り枚数は画像サイズごとに異なります。
- 撮影した枚数が最大保存件数に近づくと、大きい撮影サイズから残り枚数が少なくなります。

画像の保存容量の確認

FOMA端末に画像が保存できる領域のサイズや、空き領域のサイズなどを表示します。

- 空き領域のサイズは、動画／ｉモーション、メロディ、ｉアプリ、マチキャラ、トルカの保存状況によっても変わります。

1 待受画面で(メニュー)▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「2写真・画像を見る」▶(メニュー)▶「4保存容量を確認」を押す

保存領域に対する使用領域の割合

アルバム
使用領域
1,502 KB
空き領域
123,426 KB
保存領域
124,928 KB

使用領域：使用している領域のサイズを示します。

空き領域：空き領域のサイズを示します。

保存領域：FOMA端末に画像が保存できる領域のサイズを示します。

- (決定)を押すと写真・画像一覧に戻ります。

動画／ｉモーションの再生

FOMA端末に保存されているビデオや音声、動画／ｉモーションを再生します。ｉモードメールに添付したり、着信音に設定したりすることもできます。

- 動画／ｉモーションは最大100件保存できます。→p.450

1 待受画面で(メニュー)▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「4ビデオを見る 録音音声を聞く」を押す

ビデオ・音声一覧
撮影したビデオ
録音した音声
microSDのﾋﾞﾃﾞｵ
ｉモード
内蔵ビデオ
データ交換
ｉモードで探す

- 動画／ｉモーションは、次の6つのアルバムに分類して保存されます。
  - ：カメラで撮影したビデオが保存されているアルバム
  - ：録音した音声が保存されているアルバム
  - ：microSDカードのアルバム
  - ：ｉモードサイトやメール、ｉアプリから取得したｉモーションが保存されているアルバム
  - ：お買い上げ時に登録されている動画が保存されているアルバム
  - ：microSDカードからの移動／コピー、赤外線通信での受信、パソコンなどから取り込んだ動画／ｉモーションが保存されているアルバム
- 「ｉモードで探す」を選択して(決定)▶「1接続する」を押すと、サイトからｉモーションを探せます。→p.240
- アルバムを作成すると、が表示されます。→p.304

2 アルバムを選択▶決定を押す

動画一覧が表示され、カーソル位置の動画／ｉモーションの題名などが確認できます。

- 電話帳：押すたびに画像表示とリスト表示が切り替わります。
- 動画／ｉモーションのファイル形式は、次のファイル形式マークで確認できます。
  MP4／MP4：MP4形式のデータ／ドコモUIMカードのセキュリティ機能により使用不可
  MP4／MP4：部分的に保存したMP4形式のデータ／ドコモUIMカードのセキュリティ機能により使用不可
  ASF：ASF形式のデータ
- メール添付やFOMA端末外への出力が可能かどうかは、次のメール添付マークで確認できます。
  SD OK：メール添付とmicroSDカードへ移動／コピーが可能なデータ
  SD OK：メール添付とmicroSDカードへ移動／コピーが可能な切り出し後のデータ
  SD OK：メール添付が不可能で、microSDカードへ移動／コピーが可能なデータ
  表示なし：メール添付とmicroSDカードへ移動／コピーが不可能なデータ
- 録音した音声や映像のない動画／ｉモーションの場合は画像の代わりに□が、ドコモUIMカードのセキュリティ機能により表示できないときは□が表示されます。

■ **microSDカード内の動画／ｉモーションを再生する場合：「microSDのビデオ」アルバムを選択▶決定▶「4ビデオ」または「5その他のビデオ」▶アルバムを選択▶決定を押す**

3 再生する動画／ｉモーションを選択▶決定を押す

- 表示サイズ設定が「元の大きさで表示する」に設定されている場合、再生する動画／ｉモーションのサイズによっては、縮小して再生する旨のメッセージが表示されます。
- 部分的に保存したｉモーションを再生しようとすると、残りのデータを取得するかどうかの確認画面が表示されます。「1取得する」▶決定を押すと、ｉモードサイトに接続してデータを取得します。
- 再生が終わると自動的に停止します。
  戻る/iチャネルを押すと動画一覧に戻ります。

動画／ｉモーション再生中の操作

動画／ｉモーション再生中は次の操作ができます。

決定：休止／再生

メール/iアプリ：音量調節（横画面では巻き戻し再生／早送り再生）

＋－：音量調節

電話帳：停止

※ 停止中に決定を押すと先頭から再生します。

◁／▷：巻き戻し再生／早送り再生（横画面では音量調節）

1：約10秒巻き戻し（再生開始から10秒未満の場合は先頭から再生）

3：約30秒早送り（再生終了まで30秒未満の場合は再生終了1秒前から再生）

￥：縦画面と横画面の切り替え（画像によっては横フルワイド画面にも切り替え）

メニュー▶1：画面表示を右に90度回転

メニュー▶2：画面表示を左に90度回転

- チャプター情報を持つ動画／ｉモーションの再生中は次の操作ができます。
  4／6：前のチャプター／次のチャプターの先頭から再生
  メニュー▶3：チャプター選択による再生

- 休止中に[←][→]を押すと、再生バー上に位置指定つまみが表示されます。[←][→]で移動して[決定]を押すと、指定した位置から再生します。位置指定つまみは[←][→]を押すごとに最大90秒単位で移動しますが、およそ20分以上の動画／ｉモーションの場合は、2秒以上押すと最大180秒単位で移動できます。横画面では[メール][iα]で操作できます。
- オートローテーション設定を「切替える」に設定しているときは、FOMA端末を右または左に90度傾けると横画面で再生できます。→p.35

お知らせ

- 次の形式の動画／ｉモーションを再生できます。形式は動画／ｉモーションの情報で確認できます。→p.303

ファイル形式（拡張子）	符号化形式		画像サイズ（ドット）
MP4（MP4、3GP）	映像	MPEG4、H.263、H.264	48×48～640×480※1（H.263は48×48～352×288※1）
	音声	AMR、AAC、HE-AAC、Enhanced aacPlus	
ASF※2（ASF）	映像	MPEG4	128×96 176×144 320×240 352×288 640×480
	音声	G.726	

※1 画像サイズが対応していない大きさの動画／ｉモーションでも、再生可能な音声があるときは、音声の再生を行います。
※2 microSDカードに保存されている動画／ｉモーションのみ再生できます。

- 再生制限について→p.304

動画／ｉモーション添付のｉモードメールを作成

動画／ｉモーションをｉモードメールに添付して送信します。

1 **待受画面で[メニュー]▶「[3]写真・ビデオを撮る・見る」▶「[4]ビデオを見る　録音音声を聞く」▶アルバムを選択▶[決定]▶添付する動画／ｉモーションを選択▶[メニュー]▶「[1]メールで送る」▶「[1]このまま送る」▶ｉモードメールを作成する**

メール作成画面に選択した動画／ｉモーションが添付され、ファイル名（拡張子含む）が表示されます。

- ｉモードメールの作成・送信方法→p.152、p.156
- 「[2]内容を確認する」を押すと、動画／ｉモーションを再生します。

お知らせ

- ファイルサイズが500Kバイトを超える動画／ｉモーションを選択したときは、次の画面が表示されます。「[2]切り出して送る」▶「[1]送信する」を押すと、先頭から切り出してメールに添付されます。

このﾋﾞﾃﾞｵ/音声は
先頭を切り出して
送信できます。
切り出しますか？
[1]このまま送る
[2]切り出して送る
[3]内容を確認する
[4]送信を中止する

添付した動画は元の動画／ｉモーションと同じアルバムに同じ題名で保存され、動画一覧では[アイコン]が表示されます。
情報表示の着信音設定が「設定可能」で取得元が「ｉモード」の場合や、microSDカードに保存されている場合など、編集不可の場合には表示されません。

動画／ｉモーションを着信音に設定

動画／ｉモーションを着信音に設定します。
- 「microSDのビデオ」アルバムの動画／ｉモーションは着信音に設定できません。

1 待受画面で(メニュー)▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「4ビデオを見る 録音音声を聞く」▶アルバムを選択▶(決定)▶設定する動画／ｉモーションを選択▶(メニュー)▶「2着信音に設定」▶「1電話着信」～「5ｉコンシェル着信」のいずれかを押す

着信音に設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつと動画一覧に戻ります。

お知らせ

- 次の動画／ｉモーションは設定できません。
  - 映像がある場合、画像サイズが128×96、176×144、320×240（ドット）以外
  - ファイルサイズが10Mバイトを超えるもの
  - 再生制限が設定されているもの
  - 詳細情報の着信音設定が「不可」
  - テロップ（テキスト）あり
  - 外部機器に転送し、FOMA端末に戻したもの
  - microSDカードから移動／コピーしたもの（FOMA端末からmicroSDカードに移動／コピーして戻したものを含む）

動画／ｉモーションの情報の表示

動画／ｉモーションの詳細情報を表示します。

1 待受画面で(メニュー)▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「4ビデオを見る 録音音声を聞く」▶アルバムを選択▶(決定)▶情報を確認する動画／ｉモーションを選択▶(メニュー)▶「3情報を見る」（「microSDのビデオ」のときは「2情報を見る」）を押す

ビデオの情報画面が表示されます。
- (決定)を押すと動画一覧に戻ります。

項　目	説　明
題名※1	この端末内で表示される題名を表示します。
オリジナルタイトル	あらかじめ設定されているタイトルを表示します。
ファイル名	メールに添付したときなどに表示される名前を表示します。
作成者※2	作成者の名前などを表示します。
コピーライト※2	著作者名や著作物の公表年月日などを表示します。
説明※2	説明を表示します。
ファイル種別	ファイル形式を表示します。
音種別※2	音声の符号化形式を表示します。
映像種別※2	映像の符号化形式を表示します。
表示サイズ	再生したときの表示サイズを表示します。
ファイルサイズ	ファイルサイズを表示します。
再生時間※2	再生時間を表示します。
品質※2	ビットレートを表示します。
保存日時（作成日時）	保存（作成）した日時を表示します。
着信音設定※2	着信音に設定できるかどうかを表示します。
ファイル制限※1、2	ファイル制限が設定されているかどうかを表示します。→p.297
microSDへの移動※2	microSDカードへの移動が可能かどうかを表示します。
再生制限※2	再生制限が設定されているかどうかを表示します。→p.304
取得元※2	保存したアルバムが「撮影したビデオ」「録音した音声」「ｉモード」「データ交換」のいずれかの場合に、アルバム名を表示します。
画像※2	再生可能かどうかを表示します。
音※2	再生可能かどうかを表示します。
本体への移動※3	本体への移動が可能かどうかを表示します。

※1 内容を変更することができます。→p.304
※2 microSDカード内のビデオの情報では表示されない項目です。
※3 microSDカード内のビデオの情報で表示される項目です。

動画／ｉモーションの題名の変更

動画／ｉモーションの題名を変更します。
- 「microSDのビデオ」アルバムの、動画／ｉモーションの題名は変更できません。

1 待受画面で(メニュー)▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「4ビデオを見る 録音音声を聞く」▶アルバムを選択▶決定▶題名を変更する動画／ｉモーションを選択▶(メニュー)▶「4題名を変更」▶「1題名を変更する」▶題名を入力▶決定を押す

題名を変更した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと動画一覧に戻ります。
- 36文字以内で入力します。
- あらかじめ設定されていたタイトルに戻す場合は、「2オリジナルタイトルに戻す」を押します。

動画／ｉモーションのファイル制限の変更

動画／ｉモーションのファイル制限の設定を変更します。
- 「microSDのビデオ」「ｉモード」「内蔵ビデオ」アルバムの動画／ｉモーションのファイル制限は変更できません。
- ファイル制限について→p.297

1 待受画面で(メニュー)▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「4ビデオを見る 録音音声を聞く」▶アルバムを選択▶決定▶ファイル制限を設定する動画を選択▶(メニュー)▶「9ファイル制限を設定」▶「1設定する」または「2設定しない」を押す

ファイル制限の設定を変更した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと動画一覧に戻ります。

再生制限が設定されているときは

ｉモーションに再生制限が設定されているときは、再生開始前に確認画面が表示されます。

再生制限	状　態	メッセージ	再生可／不可
回数制限	再生回数残あり	あと×回（×／×）再生可能です。再生しますか？	可
	規定回数再生済み	再生可能回数が終了しました。削除しますか？	不可
期限制限	期限内	×年×月×日×時×分まで再生可能です。再生しますか？	可
	期限が過ぎた	再生可能期限が切れました。削除しますか？	不可
期間制限	期間内	×年×月×日×時×分から×年×月×日×時×分まで再生可能です。再生しますか？	可
	期間前	再生可能日前です　再生できません	不可
	期間が過ぎた	再生可能期限が切れました。削除しますか？	不可

- 再生不可のときに表示される削除確認画面で、「1削除する」を押すと、ｉモーションは削除されます。
- 日付・時刻を変更しても、再生制限の期限や期間を延長することはできません。

動画／ｉモーションのアルバムの利用

アルバムを作成し、動画／ｉモーションを撮影日やジャンルなどで分類して保存します。アルバム内に保存した動画／ｉモーションを、連続して再生することもできます。

動画／ｉモーションのアルバムの作成

アルバムを新規作成します。
- 最大10個作成できます。
- お買い上げ時に登録されているアルバムのアルバム名は変更できません。

1 待受画面で(メニュー)▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「4ビデオを見る 録音音声を聞く」を押す

ビデオ・音声一覧が表示されます。

2 **(メニュー)▶「6アルバムを追加」▶アルバム名を入力する**

アルバム名の入力画面が表示されます。

- 全角10文字、半角20文字以内で入力します。

■ アルバム名を変更する場合：**アルバム名を変更するアルバムを選択▶(メニュー)▶「8アルバム名変更」▶アルバム名を変更する**

3 **(決定)を押す**

アルバムを追加した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとビデオ・音声一覧に戻ります。

動画／ｉモーションのアルバムの削除

作成したアルバムを削除します。

- お買い上げ時に登録されているアルバムは削除できません。

1 **待受画面で(メニュー)▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「4ビデオを見る 録音音声を聞く」▶削除するアルバムを選択▶(メニュー)▶「7アルバムを削除」▶「1削除する」を押す**

アルバムを削除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとビデオ・音声一覧に戻ります。

- アルバム内に動画／ｉモーションが残ったままアルバムを削除するときは、端末暗証番号を入力▶(決定)▶「1削除する」を押します。

お知らせ

- 着信音に使用されている動画／ｉモーションのあるアルバムを削除すると、設定されていた項目はお買い上げ時の状態に戻ります。

アルバムへの動画／ｉモーション移動

別のアルバムに動画／ｉモーションを移動します。

- 「内蔵ビデオ」アルバムの動画は移動できません。
- 「microSDのビデオ」アルバムの動画の移動→p.323、p.329

1 **待受画面で(メニュー)▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「4ビデオを見る 録音音声を聞く」▶アルバムを選択▶(決定)▶移動する動画／ｉモーションを選択▶(メニュー)▶「6移動する」▶「1アルバムへ移動」を押す**

移動するビデオの選択画面が表示されます。

■ 元のアルバムに戻す場合：**戻す動画／ｉモーションを選択▶(メニュー)▶「6移動する」▶「3最初の(フォルダ)に戻す」を押す**

2 **「1選択1件」または「3アルバム内全件」を押す**

移動先の選択画面が表示されます。

■ 複数選択して移動する場合：**「2選択複数件」▶移動する動画／ｉモーションを選択▶(決定)▶(電話帳)を押す**

- 選択すると動画／ｉモーションに✔が表示されます。リスト表示の場合は□が☑に変わります。
- (決定)：動画／ｉモーションを選択／解除します。
- (メニュー)：すべての動画／ｉモーションを選択／解除します。

3 **移動先のアルバムを選択▶(決定)を押す**

ビデオ／音声を移動した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつと動画一覧に戻ります。アルバム内に動画／ｉモーションがなくなったときはビデオ・音声一覧に戻ります。

動画／ｉモーションのアルバム再生

アルバム内の動画／ｉモーションをまとめて再生します。

- お買い上げ時に登録されているアルバムでは操作できません。
- 再生制限が設定されているｉモーションは再生されません。

1 **待受画面で(メニュー)▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「4ビデオを見る 録音音声を聞く」を押す**

ビデオ・音声一覧が表示されます。

2 再生するアルバムを選択▶(メニュー)▶「5アルバムを再生」▶(決定)を押す

動画／ｉモーションが再生されます。

- FOMA端末を閉じても再生は継続されます（開閉ロックが起動した場合を除く）。

■ 繰り返し再生するかどうかを設定する場合：(メニュー)▶「9繰り返し再生」▶「1繰り返す」または「2繰り返さない」を押す

繰り返し再生の設定を変更した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとビデオ・音声一覧に戻ります。

- 再生中に(戻る)を押すとビデオ・音声一覧に戻ります。繰り返し再生を「繰り返さない」に設定している場合は、アルバム内のすべての動画／ｉモーションを再生すると自動でビデオ・音声一覧に戻ります。

アルバム再生中の操作

再生中は次の操作ができます。

(決定)：休止／再生

(メール)(iアプリ)／(+)(-)：音量調節

(電話帳)：停止

※ 停止中に(決定)を押すと停止中の動画／ｉモーションの先頭から再生します。

(◁)／(+)（1秒以上）：動画／ｉモーションの先頭に移動（動画／ｉモーションの始まりから3秒以内に操作すると前の動画／ｉモーションに移動）

(▷)／(-)（1秒以上）：次の動画／ｉモーションに移動

- マイク付リモコン F01（別売）を利用して、アルバム再生中に次の操作ができます。
  マイク付リモコン F01（別売）の接続方法は、スイッチ付イヤホンマイクの接続方法と同じです。→p.357

  (▶/II)：休止／再生

  (+)(-)：音量調節

  (+)（1秒以上）：次の動画／ｉモーションに移動

  (-)（1秒以上）：動画／ｉモーションの先頭に移動（動画／ｉモーションの始まりから3秒以内に操作すると前の動画／ｉモーションに移動）

  (◀HOLD)（▼方向へスライド）：(▶/II)、(+)、(-)のボタン操作を無効

  (◀HOLD)（▼と逆側へスライド）：ボタン操作無効を解除

動画／ｉモーションの削除

1件ずつ削除したり、アルバム内の動画／ｉモーションをまとめて削除します。

- 「内蔵ビデオ」アルバムの動画は削除できません。

1 待受画面で(メニュー)▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「4ビデオを見る 録音音声を聞く」▶アルバムを選択▶(決定)▶削除する動画／ｉモーションを選択▶(メニュー)▶「5削除する」（「microSDのビデオ」のときは「3削除する」）を押す

削除するビデオ／音声の選択画面が表示されます。

2 「1選択1件」を押す

ビデオ／音声を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 複数選択して削除する場合：「2選択複数件」▶削除する動画／ｉモーションを選択▶(決定)▶(電話帳)を押す

- 選択すると動画／ｉモーションに✔が表示されます。リスト表示の場合は☐が☑に変わります。
- (決定)：動画／ｉモーションを選択／解除します。
- (メニュー)：すべての動画／ｉモーションを選択／解除します。

■ アルバム内の動画／ｉモーションを全件削除する場合：「3アルバム内全件」▶端末暗証番号を入力▶(決定)を押す

3 「1削除する」を押す

ビデオ／音声を削除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつと動画一覧に戻ります。アルバム内に動画／ｉモーションがなくなったときはビデオ・音声一覧に戻ります。

お知らせ

- 着信音に使用されている動画／ｉモーションを削除すると、設定されていた項目はお買い上げ時の状態に戻ります。

動画一覧の並び順変更

FOMA端末に保存されている動画／ｉモーションの並び順を変更します。

- 「microSDのビデオ」アルバムの並び順は変更できません。

1 **待受画面で(メニュー)▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「4ビデオを見る　録音音声を聞く」▶アルバムを選択▶(決定)▶(メニュー)▶「8並び順を変更」を押す**

並び順の選択画面が表示されます。

2 **「1題名で昇順」～「6大きさで降順」のいずれかを押す**

選択した並び順で動画／ｉモーションが並び替わります。

- 並び順については「画像一覧の並び順変更」操作2をご覧ください。→p.299

お知らせ

- 題名に全角／半角の文字や漢字が混在していると、「題名で昇順」や「題名で降順」の並べ替えた結果が50音順にならない場合があります。

動画／ｉモーションの表示サイズを設定

画面の表示サイズ（240×330または400×240ドット）に合わせて拡大または縮小して表示するかどうかを設定します。〈表示サイズ設定〉

1 **待受画面で(メニュー)▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「4ビデオを見る　録音音声を聞く」▶(メニュー)▶「1表示サイズ設定」を押す**

表示サイズの選択画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **画面に合わせて表示する**：表示サイズの高さと幅の比率を保持したまま拡大または縮小し、画面の表示サイズに合わせて表示します。ただし、ｉモーションによっては変更されない場合があります。

2 **元の大きさで表示する**：元のサイズで表示します。

2 **「1画面に合わせて表示する」または「2元の大きさで表示する」を押す**

表示サイズを設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとビデオ・音声一覧に戻ります。

動画／ｉモーションの再生時の照明設定

動画／ｉモーションを再生するときに照明を点灯させるかどうかを設定します。

1 **待受画面で(メニュー)▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「4ビデオを見る　録音音声を聞く」▶(メニュー)▶「2照明を設定」▶「1常に点灯」または「2 1分で消灯」を押す**

照明を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとビデオ・音声一覧に戻ります。

- 「1分で消灯」に設定すると、何も操作しないで約1分経過すると消灯します。
- 照明設定で「さらに暗く設定」に設定している場合は設定できません。→p.114

動画／ｉモーションの再生時の音量設定

動画／ｉモーションを再生するときの音量を設定します。〈音量調節〉

1 **待受画面で(メニュー)▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「4ビデオを見る　録音音声を聞く」▶(メニュー)▶「3音量を調節」を押す**

再生時の音量調節画面が表示されます。

2 **(メール)/(iα)/(左)(右)または(+)(−)を押して音量を調節▶(決定)を押す**

音量を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとビデオ・音声一覧に戻ります。

■ **消音に設定する場合：音量1のときに(iα)/(左)(−)のいずれか▶(決定)を押す**

動画／ｉモーションの保存容量の確認

FOMA端末に動画／ｉモーションが保存できる領域のサイズや、空き領域のサイズなどを表示します。

- 空き領域のサイズは、画像、メロディ、ｉアプリ、マチキャラ、トルカの保存状況によっても変わります。

1 待受画面でⓂ▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「4ビデオを見る 録音音声を聞く」▶Ⓜ▶「4保存容量を確認」を押す

保存容量が表示されます。決定を押すとビデオ・音声一覧に戻ります。

- 画面の見かたは「画像の保存容量の確認」をご覧ください。→p.300

メロディの再生

FOMA端末に保存されているメロディを再生します。ｉモードメールに添付することもできます。

- メロディは最大500件保存できます。→p.450

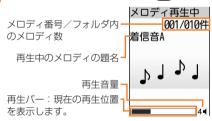
1 待受画面でⓂ▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「5音を設定する」▶「6メロディの一覧を見る」を押す

メロディ一覧
ｉモード
内蔵メロディ
データ交換
microSDのﾒﾛﾃﾞｨ
ｉモードで探す

- メロディは、次の4つのフォルダに分類して保存されます。
  - ：ｉモードサイトやメール、ｉアプリから取得したメロディが保存されているフォルダ
  - ：お買い上げ時に登録されている着信音に設定できるメロディが保存されているフォルダ
  - ：microSDカードからの移動／コピー、赤外線通信での受信、バーコードリーダーでの読み取り、パソコンなどから取り込んだメロディが保存されているフォルダ
  - ：microSDカードのフォルダ
- 「ｉモードで探す」を選択して決定▶「1接続する」を押すと、サイトからメロディを探せます。→p.229

2 フォルダを選択▶決定を押す

フォルダ内のメロディ一覧が表示され、メロディの種類などが確認できます。

メール添付マーク：メール添付とmicroSDカードへの移動／コピーが可能なことを示します。

- メロディのファイル形式は、次のファイル形式マークで確認できます。
  - MFi／MFi：MFi形式のデータ／ドコモUIMカードのセキュリティ機能により使用不可
  - SMF／SMF：SMF形式のデータ／ドコモUIMカードのセキュリティ機能により使用不可

■ **microSDカード内のメロディを再生する場合：「microSDのメロディ」フォルダを選択▶決定▶フォルダを選択▶決定を押す**

3 再生するメロディを選択▶決定を押す

メロディ再生中
001/010件
着信音A

メロディ番号／フォルダ内のメロディ数
再生中のメロディの題名
再生音量
再生バー：現在の再生位置を表示します。

- 再生中は次の操作ができます。
  - 決定：一覧に戻る
  - ：フォルダ内の前後のメロディを再生
  - ／：音量調節
- フォルダ内のメロディ一覧または待受画面に戻るまで繰り返し再生します。
- FOMA端末を閉じてもメロディの再生は継続されます。

メロディ添付のｉモードメールを作成

メロディをｉモードメールに添付して送信します。

1 待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「＃その他の設定を行う」▶「5音を設定する」▶「6メロディの一覧を見る」▶フォルダを選択▶決定▶添付するメロディを選択▶メニュー▶「1メールで送る」▶ｉモードメールを作成する

メール作成画面に選択したメロディが添付され、ファイル名（拡張子含む）が表示されます。

- ｉモードメールの作成・送信方法→p.152、p.156

お知らせ

- 相手がF-08C以外の場合、メロディを正しく送信できないことがあります。

メロディの情報の表示

メロディの詳細情報を表示します。

1 待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「＃その他の設定を行う」▶「5音を設定する」▶「6メロディの一覧を見る」▶フォルダを選択▶決定▶情報を確認するメロディを選択▶メニュー▶「2情報を見る」を押す

メロディの情報画面が表示されます。

- 決定を押すとフォルダ内のメロディ一覧に戻ります。

項　目	説　明
題名※1	この端末内で表示される題名を表示します。
オリジナルタイトル	あらかじめ設定されているタイトルを表示します。
ファイル制限※1、2	ファイル制限が設定されているかどうかを表示します。→p.297
microSDへの移動※2	microSDカードへの移動が可能かどうかを表示します。
ファイルサイズ	ファイルサイズを表示します。
ファイル種別	ファイル形式を表示します。
再生時間※2	再生時間を表示します。
ファイル名	メールに添付したときなどに表示される名前を表示します。
保存日時（作成日時）	保存（作成）した日時を表示します。
保存元※2	保存したフォルダが「ｉモード」または「データ交換」の場合に、フォルダ名を表示します。
本体への移動※3	本体への移動が可能かどうかを表示します。

※1 内容を変更することができます。→p.309

※2 microSDカード内のメロディの情報では表示されない項目です。

※3 microSDカード内のメロディの情報で表示される項目です。

メロディの題名の変更

メロディの題名を変更します。

- 「microSDのメロディ」フォルダの、メロディの題名は変更できません。

1 待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「＃その他の設定を行う」▶「5音を設定する」▶「6メロディの一覧を見る」▶フォルダを選択▶決定▶題名を変更するメロディを選択▶メニュー▶「3題名を変更」▶「1題名を変更する」▶題名を入力▶決定を押す

題名を変更した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとフォルダ内のメロディ一覧に戻ります。

- 全角25文字、半角50文字以内で入力します。
- あらかじめ設定されていたタイトルに戻す場合は、「2オリジナルタイトルに戻す」を押します。

メロディのファイル制限の変更

メロディのファイル制限の設定を変更します。
- 「データ交換」フォルダのメロディのみ変更できます。

1 待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「5音を設定する」▶「6メロディの一覧を見る」▶「データ交換」フォルダを選択▶決定▶ファイル制限を設定するメロディを選択▶メニュー▶「8ファイル制限を設定」▶「1設定する」または「2設定しない」を押す

ファイル制限の設定を変更した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとフォルダ内のメロディ一覧に戻ります。

メロディの削除

1件ずつ削除したり、フォルダ内のメロディをまとめて削除します。
- 「内蔵メロディ」フォルダのメロディは削除できません。

1 待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「5音を設定する」▶「6メロディの一覧を見る」▶フォルダを選択▶決定▶削除するメロディを選択▶メニュー▶「4削除する」(「microSDのメロディ」のときは「3削除する」)を押す

削除するメロディの選択画面が表示されます。

2 「1選択1件」を押す

メロディを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 複数選択して削除する場合：「2選択複数件」▶削除するメロディを選択▶決定▶電話帳を押す
- 選択すると□が☑に変わります。
- 決定：メロディを選択／解除します。
- メニュー：すべてのメロディを選択／解除します。

■ フォルダ内のメロディを全件削除する場合：「3フォルダ内全件」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

3 「1削除する」を押す

メロディを削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとフォルダ内のメロディ一覧に戻ります。
フォルダ内にメロディがなくなったときはメロディ一覧に戻ります。

お知らせ
- 着信音や目覚ましに使用されているメロディを削除すると、設定されていた項目はお買い上げ時の状態に戻ります。

メロディ一覧の並び順変更

FOMA端末に保存されているメロディの並び順を変更します。
- 「microSDのメロディ」フォルダの並び順は変更できません。

1 待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「5音を設定する」▶「6メロディの一覧を見る」▶フォルダを選択▶決定▶メニュー▶「7並び順を変更」を押す

並び順の選択画面が表示されます。

2 「1題名で昇順」～「6大きさで降順」のいずれかを押す

選択した並び順でメロディが並び替わります。
- 並び順については「画像一覧の並び順変更」操作2をご覧ください。→p.299

お知らせ
- 題名に全角／半角の文字や漢字が混在していると、「題名で昇順」や「題名で降順」の並べ替えた結果が50音順にならない場合があります。

メロディを再生する位置を設定

メロディを再生したときの再生位置を設定します。〈再生位置設定〉

1 **待受画面で(メニュー)▶「＊設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「5音を設定する」▶「6メロディの一覧を見る」▶(メニュー)▶「2再生位置を設定」を押す**

再生位置の選択画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **フルコーラス再生：**メロディをすべて再生するように設定します。

2 **ポイント再生：**メロディを一部分のみ再生するように設定します。
設定しても、対応していないメロディではポイント再生を行いません。

2 **「1フルコーラス再生」または「2ポイント再生」を押す**

再生位置を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメロディ一覧に戻ります。

メロディの保存容量の確認

FOMA端末にメロディが保存できる領域のサイズや、空き領域のサイズなどを表示します。

- 空き領域のサイズは、画像、動画／ｉモーション、ｉアプリ、マチキャラ、トルカの保存状況によっても変わります。

1 **待受画面で(メニュー)▶「＊設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「5音を設定する」▶「6メロディの一覧を見る」▶(メニュー)▶「1保存容量を確認」を押す**

保存容量が表示されます。決定を押すとメロディ一覧に戻ります。

- 画面の見かたは「画像の保存容量の確認」をご覧ください。→p.300

マチキャラの表示

待受画面などに設定するキャラクタを表示します。

- マチキャラは最大50件保存できます。→p.450

1 **待受画面で(メニュー)▶「＊設定を行う」▶「1画面の設定を行う」▶「8マチキャラの一覧を見る」を押す**

- マチキャラは次の2つのフォルダに分類して保存されます。
  - ｉモードサイトからダウンロードしたマチキャラが保存されているフォルダ
  - お買い上げ時に登録されているマチキャラが保存されているフォルダ
- 「ｉモードで探す」を選択して決定▶「1接続する」を押すと、サイトからマチキャラを探せます。→p.230
- フォルダを作成すると、が表示されます。→p.312

2 **フォルダを選択▶決定を押す**

フォルダ内のマチキャラ一覧が表示され、カーソル位置のマチキャラの題名などが確認できます。

ファイル名
マチキャラ番号／フォルダ内のマチキャラ数
題名
ファイル形式マーク

内蔵マチキャラ
001/004件
ひつじのし…

「ひつじのしつじくん®」
「メイドのメイちゃん®」
©NTT DOCOMO

- (電話帳)：押すたびに画像表示とリスト表示が切り替わります。
- マチキャラのファイル形式は、次のファイル形式マークで確認できます。
  - (黒)：マチキャラ
  - (グレー)：部分的に保存したマチキャラ
  - ：ドコモUIMカードのセキュリティ機能により使用不可
  - NG：ファイル制限あり

- マチキャラが表示できない場合は が、ドコモUIMカードのセキュリティ機能により表示できないときは が表示されます。

3 **表示するマチキャラを選択▶決定を押す**

題名
マチキャラ番号／フォルダ内のマチキャラ数
モイモイ
003/004件
Moimoi

- ：フォルダ内の前後のマチキャラを表示します。
- 戻る：フォルダ内のマチキャラ一覧に戻ります。
- 部分的に保存したマチキャラを表示しようとすると、残りのデータを取得するかどうかの確認画面が表示されます。「1取得する」▶決定を押すと、iモードサイトに接続してデータを取得します。

マチキャラの情報の表示

マチキャラの詳細情報を表示します。

1 **待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「1画面の設定を行う」▶「8マチキャラの一覧を見る」▶フォルダを選択▶決定▶情報を確認するマチキャラを選択▶メニュー▶「4情報を見る」を押す**

マチキャラの情報画面が表示されます。
- 決定を押すとフォルダ内のマチキャラ一覧に戻ります。

項目	説明
題名※	この端末内で表示される題名を表示します。
オリジナルタイトル	あらかじめ設定されているタイトルを表示します。
ファイル名	マチキャラのファイル名を表示します。
ファイル制限	ファイル制限が設定されているかどうかを表示します。→p.297
実メモリサイズ	データのファイルサイズを表示します。
消費メモリサイズ	保存に利用するメモリサイズを表示します。
取得元	マチキャラの取得元を表示します。iモードサイトから取得したマチキャラは「iモード」と表示されます。お買い上げ時に登録されているマチキャラの場合は表示されません。
取得状態	取得完了／ダウンロード未完了を表示します。
保存日時	保存した日時を表示します。
microSDへの移動	microSDカードへの移動が可能かどうかを表示します。

※ 内容を変更することができます。→p.312

マチキャラの題名の変更

マチキャラの題名を変更します。

1 **待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「1画面の設定を行う」▶「8マチキャラの一覧を見る」▶フォルダを選択▶決定▶題名を変更するマチキャラを選択▶メニュー▶「5題名を変更」▶「1題名を変更する」▶題名を入力▶決定を押す**

題名を変更した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとフォルダ内のマチキャラ一覧に戻ります。
- 36文字以内で入力します。
- あらかじめ設定されていたタイトルに戻す場合は、「2オリジナルタイトルに戻す」を押します。

マチキャラのフォルダの利用

フォルダを作成し、マチキャラを分類して保存します。

マチキャラのフォルダの作成

フォルダを新規作成します。
- 最大10個作成できます。
- お買い上げ時に登録されているフォルダのフォルダ名は変更できません。

1 **待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「1画面の設定を行う」▶「8マチキャラの一覧を見る」を押す**

マチキャラ一覧が表示されます。

2 メニュー▶「1フォルダを追加」▶フォルダ名を入力する

フォルダ名の入力画面が表示されます。
- 10文字以内で入力します。

■ フォルダ名を変更する場合：フォルダ名を変更するフォルダを選択▶メニュー▶「3フォルダ名変更」▶フォルダ名を変更する

3 決定を押す

フォルダを追加した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとマチキャラ一覧に戻ります。

マチキャラのフォルダの削除

作成したフォルダを削除します
- お買い上げ時に登録されているフォルダは削除できません。

1 待受画面でメニュー▶「*設定を行う」▶「1画面の設定を行う」▶「8マチキャラの一覧を見る」▶削除するフォルダを選択▶メニュー▶「2フォルダを削除」▶「1削除する」を押す

フォルダを削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとマチキャラ一覧に戻ります。
- フォルダ内にマチキャラが残ったままフォルダを削除するときは、端末暗証番号を入力▶決定▶「1削除する」を押します。

お知らせ
- 設定中のマチキャラのあるフォルダを削除すると、マチキャラは表示されません。

フォルダへのマチキャラ移動

別のフォルダにマチキャラを移動します。
- 「内蔵マチキャラ」フォルダ内のマチキャラは移動できません。

1 待受画面でメニュー▶「*設定を行う」▶「1画面の設定を行う」▶「8マチキャラの一覧を見る」▶フォルダを選択▶決定▶移動するマチキャラを選択▶メニュー▶「7移動する」を押す

移動するマチキャラの選択画面が表示されます。

2 「1選択1件」または「3フォルダ内全件」を押す

移動先の選択画面が表示されます。

■ 複数選択して移動する場合：「2選択複数件」▶移動するマチキャラを選択▶決定▶電話帳を押す
- 選択するとマチキャラに✔が表示されます。リスト表示の場合は☐が☑に変わります。
- 決定：マチキャラを選択／解除します。
- メニュー：すべてのマチキャラを選択／解除します。

3 移動先のフォルダを選択▶決定を押す

マチキャラを移動するかどうかの確認画面が表示されます。

4 「1移動する」を押す

マチキャラを移動した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとフォルダ内のマチキャラ一覧に戻ります。フォルダ内にマチキャラがなくなったときはマチキャラ一覧に戻ります。

マチキャラの情報を一括リセット

マチキャラの設定経過時間、積算通話時間、受信メール／送信メール数をリセットします。

1 待受画面でメニュー▶「*設定を行う」▶「1画面の設定を行う」▶「8マチキャラの一覧を見る」▶フォルダを選択▶決定▶情報をリセットするマチキャラを選択▶メニュー▶「3一括情報リセット」を押す

情報をリセットをするかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1リセットする」を押す

情報をリセットした旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとフォルダ内のマチキャラ一覧に戻ります。

マチキャラの削除

1件ずつ削除したり、フォルダ内のマチキャラをまとめて削除します。

- 「内蔵マチキャラ」フォルダ内のマチキャラは削除できません。

1 待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「1画面の設定を行う」▶「8マチキャラの一覧を見る」▶フォルダを選択▶決定▶削除するマチキャラを選択▶メニュー▶「6削除する」を押す

削除するマチキャラの選択画面が表示されます。

2 「選択1件」を押す

マチキャラを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 複数選択して削除する場合：「2選択複数件」▶削除するマチキャラを選択▶決定▶電話帳を押す

- 選択するとマチキャラに✔が表示されます。リスト表示の場合は□が☑に変わります。
- 決定：マチキャラを選択／解除します。
- メニュー：すべてのマチキャラを選択／解除します。

■ フォルダ内のマチキャラを全件削除する場合：「3フォルダ内全件」▶端末暗証番号入力▶決定を押す

3 「1削除する」を押す

マチキャラを削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとフォルダ内のマチキャラ一覧に戻ります。フォルダ内にマチキャラがなくなったときはマチキャラ一覧に戻ります。

お知らせ

- 設定中のマチキャラを削除すると、マチキャラは表示されません。

マチキャラ一覧の並び順変更

FOMA端末に保存されているマチキャラの並び順を変更します。

1 待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「1画面の設定を行う」▶「8マチキャラの一覧を見る」▶フォルダを選択▶決定▶メニュー▶「8並び順を変更」を押す

並び順の選択画面が表示されます。

2 「1題名で昇順」～「6大きさで降順」のいずれかを押す

選択した並び順でマチキャラが並び替わります。

- 並び順については「画像一覧の並び順変更」操作2をご覧ください。→p.299

お知らせ

- 題名に全角／半角の文字や漢字が混在していると、「題名で昇順」や「題名で降順」の並べ替えた結果が50音順にならない場合があります。

マチキャラの保存容量の確認

FOMA端末にマチキャラが保存できる領域のサイズや、空き領域のサイズなどを表示します。

- 空き領域のサイズは、画像、動画／iモーション、メロディ、iアプリ、トルカの保存状況によっても変わります。

1 待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「1画面の設定を行う」▶「8マチキャラの一覧を見る」▶メニュー▶「4保存容量を確認」を押す

保存容量が表示されます。決定を押すとマチキャラ一覧に戻ります。

- 画面の見かたは「画像の保存容量の確認」をご覧ください。→p.300

microSDカードについて

カメラで撮影した写真やビデオ、録音した音声などのデータをmicroSDカードに保存したり、電話帳やメールなどのデータをバックアップデータとして一括で保存したりできます。
また、保存した写真はプリンタやプリントサービスのお店などで簡単に印刷できます。さらに、外部機器から画像や動画をmicroSDカードに保存してFOMA端末で表示、再生したり、FOMA端末内のmicroSDカードをドライブとして認識させ、パソコンからデータを操作したりできます。

- 別途microSDカードが必要です。お持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
- 初期化されていないmicroSDカードは、本FOMA端末で初期化してから使用してください（→p.318）。なお、他のFOMA端末やパソコンなどで初期化したmicroSDカードや、初期化を中断したmicroSDカードの動作は保証できません。
- microSDカードを初期化すると、保存されているデータはすべて消去されますのでご注意ください。
- F-08Cでは市販の2GバイトまでのmicroSDカード、16GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています（2012年2月現在）。microSDカードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については次のサイトをご覧ください。
  - iモードから
    「@Fケータイ応援団」（2012年2月現在）
    待受画面で i▶「1 i Menuを見る」▶「メニューリスト」▶「ケータイ電話メーカー」▶「@Fケータイ応援団」の「メモリーカード対応情報」

    サイトアクセス用QRコード

    ※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。
  - パソコンから
    FMWORLD（http://www.fmworld.net/）→携帯電話→microSD対応状況、microSDHC対応状況
    掲載されているmicroSDカード以外については、各microSDカードメーカへお問い合わせください。なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

■ microSDカードの利用について

F-08C

- 写真、ビデオ、音声などを移動／コピーしたり、電話帳やメールなどを保存したりする
- 撮影した写真やビデオ、録音した音声を直接保存する
- microSDカードの写真、ビデオ、音声などをFOMA端末に移動／コピーしたり、電話帳やメールなどを復元したりする

microSDカード

対応機器※で利用

パソコンなど

- データを保管したり、写真やビデオなどを表示／再生したりする
- microSDカードに画像やビデオを保存する

プリンタやプリントサービス

- 写真を印刷する

※ 事前にmicroSDカードに対応しているかどうかをご確認の上ご利用ください。SDメモリーカードへの変換アダプタをお持ちの場合は、SDメモリーカード対応機器で使用することも可能です。

microSDカード使用時の留意事項

- microSDカードを取り付けているFOMA端末に落下などの強い衝撃を与えないでください。データが壊れる場合があります。
- microSDカードにラベルやシールを貼らないでください。
- データのコピー中、移動中、削除中やmicroSDカードの初期化中、情報更新中、カードチェック中はディスプレイ上部に⇄が表示され、データ転送モード（圏外と同じ状態）になるため、通話、ｉモード、データ通信などはできません。
- パソコンなど他の機器で書き込み保護されたmicroSDカードは、データの保存、削除、初期化などができません。
- パソコンなど他の機器からmicroSDカード／microSDHCカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA端末からmicroSDカード／microSDHCカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できない場合があります。
- ファイルサイズが2Gバイトを超えるデータは利用できません。
- microSDカードによっては、保存したビデオ、動画／ｉモーションの再生時に乱れが発生する場合があります。
- microSDカードに保存したデータは、バックアップをとるなどして別に保管してくださるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

microSDカードのフォルダ構成

FOMA端末で表示したときの構成

待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「*microSDカードを使う」▶「4microSDカードの内容を見る」を押すと表示される、microSDカードのフォルダ構成とデータの最大保存件数は次のとおりです。保存件数は、microSDカードの容量やデータのサイズにより少なくなる場合があります。

- データの種類によって、フォルダをアルバムと表示する場合があります。

microSDカード
① 1画像･音
② 2個人情報データ
③ 3トルカ
④ 4アプリのデータ
⑤ 5その他

① **写真（9999件まで保存可能）**
カメラで撮影した写真、DCF規格のJPEG、GIF形式の画像
その他の画像（9999件まで保存可能）
DCF規格外のJPEG、GIFアニメーション、SWF形式の画像
デコメ絵文字（9999件まで保存可能）
ビデオ（4095件まで保存可能）
カメラで撮影したビデオ、動画／ｉモーション
その他のビデオ（9999件まで保存可能）
録音した音声、映像のない動画／ｉモーション
メロディ（9999件まで保存可能）

② **電話帳／受信メール／未送信メール／送信メール／スケジュール／ブックマーク（合計で9999件まで保存可能）**

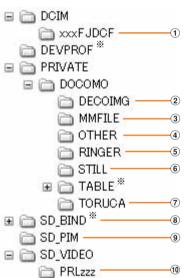
③ **トルカのデータ（999件まで保存可能）**

④ **ｉアプリのデータ（1200件まで保存可能）**

⑤ **その他（999件まで保存可能）**

お知らせ

- 横縦（または縦横）のサイズが3000×4000（ドット）より大きい静止画をmicroSDカードに保存しても、FOMA端末では表示できません。

パソコンなどで表示したときの構成

FOMA端末からmicroSDカードにデータを移動／コピーしたときや、撮影した写真やビデオを直接microSDカードに保存したときなどは、そのファイルに対応したフォルダがmicroSDカードに自動的に作成されます。パソコンなどの機器でmicroSDカードの内容を表示したときのフォルダとファイルの構成は次のとおりです。

- フォルダ名とファイル名の規則は次のとおりです。使用する文字はすべて半角、英字は大文字のみです。
  「a」英数字、_（アンダーバー）
  「xxx」001～999（「xxxFJDCF」のみ100～999）の3桁の数字
  「xxxx」0001～9999の4桁の数字
  「xxxxx」00001～65535の5桁の数字
  「zzz」001～FFFの3文字の英数字（16進数）

※ このフォルダにあるファイルは、削除したりファイル名を変更したりしないでください。FOMA端末でデータを正しく表示、再生できなくなります。

① **写真（aaaaxxxx.JPG/GIF）**
カメラで撮影した写真、DCF規格のJPEG、GIF形式の画像
※ 撮影したカメラによってはこのフォルダに保存してもFOMA端末で表示できません。その場合は⑥に保存してください。
- 「aaaa」は4文字です。

② **デコメ絵文字（DIMGxxxx.JPG/GIF）**

③ **その他のビデオ（MMFxxxx.3GP/ASF/MP4）**
録音した音声、映像のない動画／ｉモーション
- 拡張子が「3GP」「MP4」のファイルはMP4形式として扱われます。

④ **その他（aaaaaaaa.aaa）**
- ファイル名は8文字、拡張子は3または4文字です。

⑤ **メロディ（RINGxxxx.MID/MLD/SMF）**

⑥ **その他の画像（STILxxxx.JPG/GIF/SWF）**
DCF規格外のJPEG、GIFアニメーション、SWF形式の画像

⑦ **トルカ（TORUCxxx.TRC）**

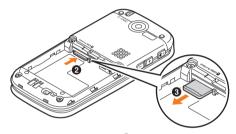
⑧ **ｉアプリのデータ（aaaaaaaa.aaa）**
- ファイル名は1～8文字、拡張子は3文字以内です。

⑨ **個人情報データ（PIMxxxxx.VBM/VCF/VCS/VMG）**
- 個人情報データの管理用に、拡張子が「PIM」のファイルも保存されます。

⑩ **ビデオ（MOLzzz.3GP/ASF/MP4）**
カメラで撮影したビデオ、動画／ｉモーション
- 拡張子が「3GP」「MP4」のファイルはMP4形式として扱われます。

microSDカードの取り付けかた／取り外しかた

microSDカードは、FOMA端末のmicroSDカードスロットに取り付けて使用します。

- 必ず電源を切り、電池パックを取り外してから行ってください。→p.41
- microSDカードの取り付け／取り外しを行うときは、金属端子部分に触れないようにご注意ください。また、microSDカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。
- microSDカードは挿入方向に注意して正しく取り付けてください。正しくない向きに挿入するとmicroSDカードやスロットの破損、または抜き取れなくなる恐れがあります。また、正しく取り付けていない状態では、データのコピーやバックアップなどの操作ができません。
- 傷や変形、ゴミの付着などのあるmicroSDカードはFOMA端末に取り付けないでください。故障の原因となる場合があります。

microSDカードの取り付けかた

microSDカードの金属端子面を下にしてスロットにゆっくり差し込み（❶）、「カチッ」と音がするまでさらに差し込む。

- 電源を入れると、待受画面にSDが表示されます。

microSDカードの取り外しかた

microSDカードの中央を❷の方向に軽く押し、飛び出したmicroSDカードを❸の方向にまっすぐ引き出す。

microSDカードの管理

microSDカードをFOMA端末で正しく使用できるように、microSDカードを初期化したり、情報更新したりします。また、使用状況などを確認します。

microSDカードの初期化

microSDカードに保存してあるデータをすべて削除するときや、新たに購入したmicroSDカードをFOMA端末で使用するときに初期化します。

- microSDカードを初期化すると、保存されているデータはすべて消去されますのでご注意ください。

1 待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「*microSDカードを使う」▶「6microSDカードを初期化する」を押す

初期化する方法の選択画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **簡易初期化する**：microSDカード内のデータ管理領域のみを初期化します。必要最小限の処理を行うことで、初期化の時間を短縮する方法です。保存されているデータはすべて消去されます。microSDカードが一度初期化済みで、microSDカードに問題がない場合のみ実行してください。

2 **完全初期化する**：microSDカード内のデータ管理領域と、データ領域の両方を初期化します。保存されているデータはすべて消去されます。新しく購入したmicroSDカードを初期化するときなどに実行してください。

3 **初期化しない**：microSDカードを初期化しません。

2 「1簡易初期化する」または「2完全初期化する」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

初期化する／しないの選択画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **初期化する**：microSDカードを初期化します。

2 **初期化しない**：microSDカードを初期化しません。

3 「1初期化する」を押す

初期化が開始されます。終了すると初期化した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

- 中止するときは初期化中に決定を押します。

microSDカードの情報更新

他の機器でmicroSDカード内のデータを変更、追加、削除したことによって、FOMA端末でデータを正しく表示できなくなったときに、microSDカードの情報を更新します。データの種類ごとに情報を更新するかどうかを設定できます。

- 情報更新すると、画像・音のデータの題名はオリジナルタイトルまたはファイル名に変更されます。「その他」のデータはファイル名に拡張子を追加した名称に変更されます。

1 待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「*microSDカードを使う」▶「5microSDカードの情報を更新する」を押す

更新対象の選択画面が表示されます。

2 「1写真」～「9その他」のうち、選択する項目の番号を押す

項目の□が☑に変わります。

- 決定：項目を選択／解除します。
- メニュー：すべての項目を選択／解除します。

3 電話帳▶「1更新する」を押す

更新が終了した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

- 中止するときは更新中に決定を押します。

お知らせ

- microSDカードに保存されているデータが多い場合は、情報更新に時間がかかります。
- 他の機器でmicroSDカードにデータを保存した場合、FOMA端末で管理情報を作成するための必要な空き容量が不足し、microSDカードに保存したデータがFOMA端末で正しく表示できなくなることがあります。

microSDカードのチェック

microSDカードに保存してあるデータをチェックして、問題があれば修復します。

1 待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「*microSDカードを使う」▶「7microSDカードをチェックする」▶「1実行する」を押す

チェックが終了した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- microSDカードの状態によっては、データを修復できない場合があります。

microSDカードの使用状況の確認

microSDカードの全容量や空き容量などを表示します。microSDカードにデータを保存したり、移動／コピーしたりする場合は、空き容量を確認してください。

1 待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「*microSDカードを使う」▶「4microSDカードの内容を見る」を押す

microSDカード画面が表示されます。

2 電話帳を押す

microSD使用状況
全容量に対する使用量の割合
使用量
590,752 KB
空き容量
384,288 KB
全容量
975,040 KB

使用量：使用している容量を示します。
空き容量：空き容量を示します。
全容量：FOMA端末に取り付けているmicroSDカードの全容量を示します。

- 電話帳を押すとmicroSDカード画面に戻ります。

microSDカードにデータを保存

FOMA端末電話帳、メール、スケジュール帳、ブックマークをデータごとにmicroSDカードにまとめて保存（バックアップ）します。

- 保存するデータが複数件でもまとめて1件のデータとして保存されますが、内容は1件ずつ表示できます。
- 電話帳を保存すると、個人情報（自局電話番号を除く）も保存されます。また、ワンタッチダイヤルに登録された電話番号やメールアドレスも保存されますが、保存された内容は表示できません。
- 添付データを含めたメールサイズが100Kバイトを超える場合は、メール本文のみ保存されます。また、添付データが複数ある場合は、100Kバイトを超えた分の添付データは保存されません。

1 **待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「＊microSDカードを使う」▶「2microSDカードにデータを保存する」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す**

保存対象の選択画面が表示されます。

2 **「1電話帳」〜「6ブックマーク」のうち、選択する項目の番号を押す**

項目の□が☑に変わります。

- 決定：項目を選択／解除します。
- メニュー：すべての項目を選択／解除します。

3 **電話帳▶「1開始する」を押す**

保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

- 中止するときは保存中に決定を押します。

FOMA端末にデータを復元

microSDカードに保存した、電話帳、メール、スケジュール、ブックマークのデータをFOMA端末に復元します。

- 電話帳を「全部上書きする」で復元すると、個人情報（自局電話番号を除く）、ワンタッチダイヤルに登録された電話番号やメールアドレスも上書きされます。
- F-08C以外のFOMA端末で保存（バックアップ）したブックマークは、異なったフォルダに復元される場合があります。

1 **待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「＊microSDカードを使う」▶「3microSDカードのデータを復元する」を押す**

復元する対象の選択画面が表示されます。

2 **「1電話帳」〜「6ブックマーク」のいずれかを押す**

復元するデータの選択画面が表示されます。

- 保存データの内容を表示したいときは、復元するデータの選択画面でメニューを押します。

3 **復元するデータを選択▶決定を押す**

復元方法を
　選んでください

1本体ﾃﾞｰﾀに追加
2全部上書きする
3復元しない

1 **本体データに追加**：FOMA端末に保存されているデータはそのままにして、選択したデータを追加で復元します。
2 **全部上書きする**：FOMA端末に保存されているデータをすべて削除してから、選択したデータを復元します。
3 **復元しない**：データを復元しません。

4 「1本体データに追加」または「2全部上書きする」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

本体へ 復元しますか？ 1復元する 2復元しない	復元を行うと本体のデータが削除されます。復元しますか？ 1復元する 2復元しない
＜「本体データに追加」を選択した場合＞	＜「全部上書きする」を選択した場合＞

5 「1復元する」を押す

復元した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

- 中止するときは復元中に決定を押します。このとき、中止する前に処理されたデータはFOMA端末に復元されます。

microSDカードにデータを移動／コピー

FOMA端末に保存されている画像や動画／ｉモーション、メロディ、トルカをmicroSDカードに移動／コピーします。

- FOMA端末外への出力が禁止されているデータ（この端末でファイル制限を「設定する」にしたデータを除く）、ドコモUIMカードのセキュリティ機能が設定されているデータは、microSDカードに移動／コピーできません。
- 「アイテム」「内蔵写真」「内蔵ビデオ」「内蔵メロディ」アルバムのデータは移動／コピーできません。
- 移動／コピーすると、パソコンでデータを保存するときの決まりに従ってファイル名が変更されます。→p.317

画像をmicroSDカードに移動／コピー

FOMA端末に保存されている画像をmicroSDカードに移動／コピーします。

1 待受画面でメニュー▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「2写真・画像を見る」▶アルバムを選択▶決定▶移動またはコピーする画像を選択▶メニューを押す

サブメニューが表示されます。

2 「6移動する」▶「2microSDへ移動」を押す

移動する写真の選択画面が表示されます。

■ コピーする場合：「7コピーする」を押す

3 「1選択1件」▶「1移動する」または「1コピーする」を押す

写真を移動／コピーした旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとに画像一覧に戻ります。アルバム内に画像がなくなったときは写真・画像一覧に戻ります。

- 複数選択して移動／コピーするときは、「2選択複数件」▶移動／コピーする画像を選択▶決定▶電話帳▶「1移動する」または「1コピーする」を押します。
  選択すると画像に✔が表示されます。リスト表示の場合は☐が☑に変わります。
  決定を押すと画像の選択／解除が、メニューを押すとすべての画像の選択／解除ができます。
- アルバム内の画像を全件移動／コピーするときは、「3アルバム内全件」▶「1移動する」または「1コピーする」を押します。
- 移動する画像が待受画面やワンタッチダイヤルの着信画像に使用されている場合は、「1選択1件」を押すと、利用されていても移動するかどうかの確認画面が表示されます。移動する場合は「1移動する」を押します。

お知らせ

- 待受画面やワンタッチダイヤルの着信画像に使用されている画像をmicroSDカードに移動すると、設定されていた画像はお買い上げ時の状態に戻ります。

動画／ｉモーションをmicroSDカードに移動／コピー

FOMA端末に保存されている動画／ｉモーションをmicroSDカードに移動／コピーします。

1 待受画面でメニュー▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「4ビデオを見る 録音音声を聞く」▶アルバムを選択▶決定▶移動／コピーする動画／ｉモーションを選択▶メニューを押す

サブメニューが表示されます。

2 「6移動する」▶「2microSDへ移動」を押す

移動するビデオ／音声の選択画面が表示されます。

■ コピーする場合：「7microSDへコピー」を押す

3 「1選択1件」▶「1移動する」または「1コピーする」を押す

ビデオを移動／コピーした旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと動画一覧に戻ります。アルバム内に動画／ｉモーションがなくなったときはビデオ・音声一覧に戻ります。

- 複数選択して移動／コピーするときは、「2選択複数件」▶移動／コピーする動画／ｉモーションを選択▶決定▶電話帳▶「1移動する」または「1コピーする」を押します。
  選択すると動画／ｉモーションに✔が表示されます。リスト表示の場合は□が☑に変わります。決定を押すと動画／ｉモーションの選択／解除が、メニューを押すとすべての動画／ｉモーションの選択／解除ができます。
- アルバム内の動画／ｉモーションを全件移動するときは、「3アルバム内全件」▶「1移動する」を、全件コピーするときは、「3アルバム内全件」▶「1コピーする」を押します。
- 移動する動画／ｉモーションが着信音に使用されている場合は、「1選択1件」を押すと、使用されていても移動するかどうかの確認画面が表示されます。移動する場合は「1移動する」を押します。

お知らせ

- 着信音に使用されている動画／ｉモーションをmicroSDカードに移動すると、設定されていた項目はお買い上げ時の状態に戻ります。

メロディをmicroSDカードに移動／コピー

FOMA端末に保存されているメロディをmicroSDカードに移動／コピーします。

1 待受画面でメニュー▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「5音を設定する」▶「6メロディの一覧を見る」▶フォルダを選択▶決定▶移動／コピーするメロディを選択▶メニュー▶「5microSDへ移動」または「6microSDへコピー」を押す

移動／コピーするメロディの選択画面が表示されます。

2 「1選択1件」▶「1移動する」または「1コピーする」を押す

メロディを移動／コピーした旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとフォルダ内のメロディ一覧に戻ります。フォルダ内にメロディがなくなったときはメロディ一覧に戻ります。

- 複数選択して移動／コピーするときは、「2選択複数件」▶移動／コピーするメロディを選択▶決定▶電話帳▶「1移動する」または「1コピーする」を押します。
  選択すると□が☑に変わります。決定を押すとメロディの選択／解除が、メニューを押すとすべてのメロディの選択／解除ができます。
- フォルダ内のメロディを全件移動するときは、「3フォルダ内全件」▶「1移動する」を、全件コピーするときは、「3フォルダ内全件」▶「1コピーする」を押します。
- 移動するメロディが着信音や目覚ましに使用されている場合は、「1選択1件」を押すと、利用されていても移動するかどうかの確認画面が表示されます。移動する場合は「1移動する」を押します。

お知らせ

- 着信音や目覚ましに使用されているメロディをmicroSDカードに移動すると、設定されていた項目はお買い上げ時の状態に戻ります。

トルカをmicroSDカードに移動／コピー

FOMA端末に保存されているトルカをmicroSDカードに移動／コピーします。

1 **待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「#トルカを使う」▶フォルダを選択▶(決定)▶移動／コピーするトルカを選択▶(メニュー)を押す**

サブメニューが表示されます。

2 **「4移動する」▶「2microSDへ移動」を押す**

移動するトルカの選択画面が表示されます。

■ コピーする場合：「5コピーする」を押す

3 **「1選択1件」▶「1移動する」または「1コピーする」を押す**

トルカを移動／コピーした旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとフォルダ内のトルカ一覧に戻ります。フォルダ内にトルカがなくなったときは「トルカはありません」のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとトルカ一覧に戻ります。

- フォルダ内のトルカを全件移動するときは、「2フォルダ内全件」▶「1移動する」を、全件コピーするときは、「2フォルダ内全件」▶「1コピーする」を押します。

FOMA端末にデータを移動／コピー

microSDカードに保存されている画像や動画／ｉモーション、メロディ、トルカ、電話帳などのデータをFOMA端末に移動／コピーします。

画像などをFOMA端末に移動／コピー

microSDカードの画像や動画／ｉモーション、メロディをFOMA端末に移動／コピーします。

- 次のデータは、サイズが大きいため実行できない旨のメッセージが表示され、移動／コピーできません。
  - ファイルサイズが100Kバイトを超えるFlash画像やメロディ
  - FOMA端末で表示できないサイズの画像

1 **待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「*microSDカードを使う」▶「4microSDカードの内容を見る」▶「1画像・音」を押す**

画像・音の種類の選択画面が表示されます。

2 **「1写真」～「6メロディ」のいずれか▶アルバムまたはフォルダを選択▶(決定)を押す**

データ一覧が表示されます。

3 **移動／コピーするデータを選択▶(メニュー)▶「4本体へ移動」または「5本体へコピー」（画像のときは「5本体へ移動」または「6本体へコピー」）を押す**

移動／コピーするデータの選択画面が表示されます。

4 **「1選択1件」▶「1移動する」または「1コピーする」を押す**

データを移動／コピーした旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとデータ一覧に戻ります。アルバムまたはフォルダ内にデータがなくなったときは、アルバムまたはフォルダ一覧に戻ります。

- 複数選択して移動／コピーするときは、「2選択複数件」▶移動／コピーするデータを選択▶決定▶電話帳▶「1移動する」または「1コピーする」を押します。
  選択するとデータに✔が表示されます。リスト表示の場合は□が☑に変わります。決定を押すとデータの選択／解除が、メニューを押すとすべてのデータの選択／解除ができます。
- アルバムまたはフォルダ内のデータを全件移動するときは、「3アルバム内全件」または「3フォルダ内全件」▶「1移動する」を、全件コピーするときは、「3アルバム内全件」または「3フォルダ内全件」▶「1コピーする」を押します。

電話帳などをFOMA端末にコピー

microSDカードの電話帳、メール、スケジュール、ブックマークの個別データをFOMA端末にコピーします。

1 **待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「*microSDカードを使う」▶「4microSDカードの内容を見る」▶「2個人情報データ」を押す**

個人情報データの種類の選択画面が表示されます。

2 **「1電話帳」～「6ブックマーク」のいずれかを押す**

データ一覧が表示されます。

- マークの見かたは「microSDカードの電話帳などの表示」操作2をご覧ください。→p.325

3 **コピーする個別データを選択▶メニュー▶「2本体へコピー」▶「1コピーする」を押す**

データをコピーした旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとデータ一覧に戻ります。

トルカをFOMA端末に移動／コピー

microSDカードのトルカをFOMA端末に移動／コピーします。

1 **待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「*microSDカードを使う」▶「4microSDカードの内容を見る」▶「3トルカ」▶フォルダを選択▶決定を押す**

フォルダ内のトルカ一覧が表示されます。

2 **移動／コピーするデータを選択▶メニュー▶「3本体へ移動」または「4本体へコピー」を押す**

移動／コピーするトルカの選択画面が表示されます。

3 **「1選択1件」▶「1移動する」または「1コピーする」を押す**

トルカを保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとフォルダ内のトルカ一覧に戻ります。フォルダ内にトルカがなくなったときは、フォルダ一覧に戻ります。

- フォルダ内のトルカを全件移動／コピーするときは、「2フォルダ内全件」▶「1移動する」または「1コピーする」を押します。

microSDカードの内容を見る

microSDカードに保存されているデータを表示したり再生したりします。

microSDカードの画像などの表示・再生

画像を表示したり、動画／iモーションやメロディを再生したりします。

1 **待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「*microSDカードを使う」▶「4microSDカードの内容を見る」▶「1画像・音」を押す**

画像・音一覧が表示されます。

2 「1写真」～「6メロディ」のいずれか▶アルバムまたはフォルダを選択▶決定を押す

データ一覧が表示されます。

3 表示または再生するデータを選択▶決定を押す

選択したデータが表示または再生されます。戻るまたは決定（動画／ｉモーションのときは戻るのみ）を押すとデータ一覧に戻ります。

- 動画／ｉモーション再生中の操作→p.301
- メロディの再生中の操作は「メロディの再生」操作3をご覧ください。→p.308

■ データを添付してｉモードメールを作成する場合：添付するデータを選択▶メニュー▶「1メールで送る」▶ｉモードメールを作成する

- ｉモードメールの作成・送信方法→p.152、p.156
- 画像サイズ変更の画面が表示されたときは、「1小さくして送る」または「2このまま送る」を押します。「小さくして送る」を選択すると、縦横比を保持したまま、横縦（または縦横）のサイズが240×320（ドット）に収まるように変換して添付します。

■ 画像を待受画面に設定する場合：設定する画像を選択▶メニュー▶「2待受画面に貼る」▶「1設定する」▶決定を押すまたは約5秒後に画像一覧に戻る

選択した画像は、FOMA端末の「データ交換」アルバムにコピーされます。

■ データの情報を表示する場合：情報を確認するデータを選択▶メニュー▶「2情報を見る」（画像のときは「3情報を見る」）を押す

- 画像の情報→p.296
- 動画／ｉモーションの情報→p.303
- メロディの情報→p.309

■ データを削除する場合：

① 削除するデータを選択▶メニュー▶「3削除する」（画像のときは「4削除する」）を押す

② 「1選択1件」を押す

- 複数選択して削除するときは、「2選択複数件」▶削除するデータを選択▶決定▶電話帳を押します。
  選択するとデータに✔が表示されます。リスト表示の場合は□が☑に変わります。決定を押すとデータの選択／解除が、メニューを押すとすべてのデータの選択／解除ができます。
- 全件削除するときは、「3アルバム内全件」または「3フォルダ内全件」▶端末暗証番号を入力▶決定を押します。

③ 「1削除する」を押す

■ 動画／ｉモーションをアルバム再生する場合：メニュー▶「8アルバムを再生」を押す

- アルバム再生中の操作→p.306

microSDカードの電話帳などの表示

電話帳、メール、スケジュール、ブックマークを表示します。

1 待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「*microSDカードを使う」▶「4microSDカードの内容を見る」▶「2個人情報データ」を押す

個人情報データ一覧が表示されます。

2 「1電話帳」～「6ブックマーク」のいずれかを押す

データ一覧が表示されます。

- マークの意味は次のとおりです。
  - ／：電話帳保存データ／個別データ
  - ／：メール保存データ／個別データ
  - ／：スケジュール保存データ／個別データ
  - ／：ブックマーク保存データ／個別データ

3 データを選択▶決定を押す

個別データの一覧が表示されます。

- 個別データを選択した場合は、詳細が表示されます。操作4は不要です。

■ **データを削除する場合：削除するデータを選択▶メニュー▶「1削除する」▶「1選択1件」▶「1削除する」を押す**

- 全件削除するときは、「2フォルダ内全件」▶端末暗証番号を入力▶決定▶「1削除する」を押します。

4 表示する個別データを選択▶決定を押す

詳細が表示されます。戻るまたは決定（メールのときは戻るのみ）を押すと、各データの一覧に戻ります。

- 電話帳の詳細表示→p.86
- メールの表示→p.170、p.174
- スケジュールの表示→p.350
- URLの表示画面で、メニュー▶「1URLをコピー」を押すと表示しているURLをコピーできます。

■ **メールの内容を表示するときの大きさを変更する場合：メール表示画面でメニュー▶「1表示サイズを変更」▶「1大きく表示」～「3小さく表示」のいずれかを押す**

■ **メールアドレスを電話帳に登録する場合：メール表示画面でメニュー▶「2登録する」▶「1電話帳新規登録」または「2電話帳追加登録」を押す**

- 電話帳の登録方法→p.81

■ **メールの添付データを表示または再生する場合：メール表示画面でデータのファイル名を選択▶決定を押す**

- 画像が表示されているときに操作すると、非表示になります。

■ **メールの添付データの題名やファイル名を確認する場合：メール表示画面でメニュー▶「3添付データを操作」▶「2題名を確認」（その他のデータのときは「1ファイル名を確認」）を押す**

■ **メール本文に貼り付けられたメロディを文字として表示する場合：メール表示画面でメニュー▶「3添付データを操作」▶「3データ表示あり」を押す**

- 本文の文字が誤ってMFi形式のメロディとして認識された場合に操作します。データ表示されたメロディの先頭行で決定を押すと、ファイル名の表示に戻ります。

microSDカードのトルカの表示

トルカを表示します。

1 待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「*microSDカードを使う」▶「4microSDカードの内容を見る」▶「3トルカ」▶フォルダを選択▶決定を押す

フォルダ内のトルカ一覧が表示されます。

2 トルカを選択▶決定を押す

トルカが表示されます。

■ **トルカを添付してｉモードメールを作成する場合：添付するトルカを選択▶メニュー▶「1メールで送る」▶ｉモードメールを作成する**

- ｉモードメールの作成・送信方法→p.152、p.156

■ **トルカを削除する場合：**

① **削除するトルカを選択▶メニュー▶「2削除する」を押す**

② **「1選択1件」を押す**

- 全件削除するときは、「2フォルダ内全件」▶端末暗証番号を入力▶決定を押します。

③ **「1削除する」を押す**

microSDカードのｉアプリのデータの表示

ｉアプリの詳細情報を表示します。

1 待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「*microSDカードを使う」▶「4microSDカードの内容を見る」▶「4ｉアプリのデータ」を押す

データ一覧が表示されます。

2 表示するデータを選択▶決定を押す

詳細情報が表示されます。戻るまたは決定を押すとデータ一覧に戻ります。

- 詳細情報には、利用の可否、利用できない理由、プロバイダ（特定のプロバイダが提供する複数のｉアプリから利用できる場合）、ソフト（データを利用するｉアプリがFOMA端末に保存されている場合）の各項目が表示されます。データによっては表示されない項目があります。
- 利用できない理由の意味は次のとおりです。
  - ソフト動作制限あり：データを利用するｉアプリが存在しません。該当するｉアプリをもう一度ダウンロードすることで利用できることがあります。ただし、「ドコモUIMカード（FOMAカード）動作制限」「機種制限」「シリーズ制限」のいずれかが「あり」と表示されているときは、ｉアプリをダウンロードしても利用できないことがあります。
  - ドコモUIMカード（FOMAカード）動作制限あり：データは他のドコモUIMカード（FOMAカード）で利用されている可能性があります。
  - 機種制限あり：データは他の機種によって利用されている可能性があります。
  - シリーズ制限あり：データはF-08C以外で利用されている可能性があります。

■ データを削除する場合：**削除するデータを選択▶メニュー▶「1選択1件を削除」▶「1削除する」を押す**

- 全件削除するときは、「2全件を削除」▶端末暗証番号を入力▶決定▶「1削除する」を押します。

microSDカードのその他のデータの表示

その他には、本FOMA端末に対応していないデータが保存されます。

1 待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「*microSDカードを使う」▶「4microSDカードの内容を見る」▶「5その他」▶フォルダを選択▶決定を押す

データ一覧が表示されます。

2 表示するデータを選択▶メニュー▶「1情報を見る」を押す

詳細情報が表示されます。戻るまたは決定を押すとデータ一覧に戻ります。

- 項目と説明については、「画像の情報の表示」の表をご覧ください。→p.296
  - その他で表示される項目
    拡張子：ファイルの拡張子

■ データを削除する場合：

① **削除するデータを選択▶メニュー▶「2削除する」を押す**

② **「1選択1件」を押す**

- 複数選択して削除するときは、「2選択複数件」▶削除するデータを選択▶決定▶電話帳を押します。
  選択すると□が☑に変わります。
  決定を押すとデータの選択／解除が、メニューを押すとすべてのデータの選択／解除ができます。
- 全件削除するときは、「3フォルダ内全件」▶端末暗証番号を入力▶決定を押します。

③ **「1削除する」を押す**

microSDカードのアルバム／フォルダ利用

アルバムやフォルダを追加して、データの整理などに利用します。

microSDカードのアルバム／フォルダ作成

microSDカードにアルバムやフォルダを追加します。

- 画像・音の「写真」「その他の画像」「デコメ絵文字」「ビデオ」「その他のビデオ」にアルバムが、画像・音の「メロディ」、「トルカ」、「その他」にフォルダが追加できます。ただし、一度もデータを保存したことがない場合には追加できません。
- 「写真」アルバムには最大900個、「ビデオ」アルバムには最大4095個、それ以外にはデータの種類ごとに最大1000個作成できます。

1 待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「＊microSDカードを使う」▶「4microSDカードの内容を見る」を押す

microSDカード画面が表示されます。

2 「1画像・音」▶「1写真」～「6メロディ」のいずれかを押す

アルバムまたはフォルダ一覧が表示されます。

■「トルカ」にフォルダを追加する場合：
「3トルカ」を押す

■「その他」にフォルダを追加する場合：
「5その他」を押す

3 (メニュー)▶「1アルバムを追加」または「1フォルダを追加」▶アルバムまたはフォルダ名を入力する

アルバム名またはフォルダ名の入力画面が表示されます。

- 全角31文字、半角63文字以内で入力します。

■アルバム名またはフォルダ名を変更する場合：**名称を変更するアルバムまたはフォルダを選択▶(メニュー)▶「3アルバム名変更」または「3フォルダ名変更」▶アルバムまたはフォルダ名を変更する**

4 (決定)を押す

アルバムまたはフォルダを追加した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとアルバムまたはフォルダ一覧に戻ります。

microSDカードのアルバム／フォルダ削除

microSDカードのアルバムやフォルダを削除します。

1 待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「＊microSDカードを使う」▶「4microSDカードの内容を見る」を押す

microSDカード画面が表示されます。

2 「1画像・音」▶「1写真」～「6メロディ」のいずれかを押す

アルバムまたはフォルダ一覧が表示されます。

■「トルカ」のフォルダを削除する場合：
「3トルカ」を押す

■「その他」のフォルダを削除する場合：
「5その他」を押す

3 削除するアルバムまたはフォルダを選択▶(メニュー)▶「2アルバムを削除」または「2フォルダを削除」を押す

アルバムまたはフォルダを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

4 「1削除する」を押す

アルバムまたはフォルダを削除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとアルバムまたはフォルダ一覧に戻ります。

- アルバムまたはフォルダ内のデータと同時にアルバムまたはフォルダを削除する場合は、端末暗証番号を入力▶(決定)▶「1削除する」を押します。

microSDカードのアルバム／フォルダへの移動／コピー

画像などのデータをmicroSDカードのアルバムやフォルダに移動します

〈例〉画像を移動／コピーする

1 待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「*microSDカードを使う」▶「4microSDカードの内容を見る」を押す

microSDカード画面が表示されます。

2 「1画像・音」▶「1写真」～「3デコメ絵文字」のいずれか▶アルバムを選択▶(決定)▶移動／コピーする画像を選択▶(メニュー)▶「7アルバムへ移動」または「8アルバムへコピー」を押す

移動／コピーするデータの選択画面が表示されます。

■ 動画を移動／コピーする場合：「1画像・音」▶「4ビデオ」または「5その他のビデオ」▶アルバムを選択▶(決定)▶移動／コピーする動画を選択▶(メニュー)▶「6アルバムへ移動」または「7アルバムへコピー」を押す

■ メロディを移動／コピーする場合：「1画像・音」▶「6メロディ」▶フォルダを選択▶(決定)▶移動／コピーするメロディを選択▶(メニュー)▶「6フォルダへ移動」または「7フォルダへコピー」を押す

■ トルカを移動／コピーする場合：「3トルカ」▶フォルダを選択▶(決定)▶移動／コピーするトルカを選択▶(メニュー)▶「5フォルダへ移動」または「6フォルダへコピー」を押す

■ その他のデータを移動／コピーする場合：「5その他」▶フォルダを選択▶(決定)▶移動／コピーするデータを選択▶(メニュー)▶「3フォルダへ移動」または「4フォルダへコピー」を押す

3 「1選択1件」または「3アルバム内全件」（メロディ、その他のときは「3フォルダ内全件」、トルカのときは「2フォルダ内全件」）を押す

移動先またはコピー先の選択画面が表示されます。

- 複数選択して移動／コピーするときは、「2選択複数件」▶移動／コピーするデータを選択▶(決定)▶(電話帳)を押します。選択するとデータに✔が表示されます。リスト表示の場合は☐が☑に変わります。(決定)を押すとデータの選択／解除が、(メニュー)を押すとすべてのデータの選択／解除ができます。ただし、トルカでは複数選択して移動／コピーできません。

4 移動先またはコピー先のアルバムを選択▶(決定)▶「1移動する」または「1コピーする」を押す

写真を移動／コピーした旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつと画像一覧に戻ります。アルバム内に画像がなくなったときはアルバム一覧に戻ります。

パソコンでmicroSDカードのデータを操作

モードを変更して、FOMA端末内のmicroSDカードのデータをパソコンで操作します。
〈microSDモード設定〉

- FOMA端末とパソコンを接続するには、FOMA充電機能付USB接続ケーブル02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）が必要です。
- Windows XP、Windows Vista、Windows 7に対応しています。

1 待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「*microSDカードを使う」▶「8microSDカードをパソコンで操作する」を押す

パソコンで何をするかの選択画面が表示されます。

2 「2microSDカードの操作」を押す

パソコンでmicroSDカードのデータが操作できる旨のメッセージが表示されます。
決定を押すか、約5秒たつと待受画面に戻ります。

■ パケット通信や64Kデータ通信、データ転送をする場合：「1データ通信」を押す

3 FOMA端末とパソコンを接続する

- パソコンの電源が入っている状態で接続してください。

USBケーブルのコネクタをFOMA端末の外部接続端子に、USBケーブルのパソコン側のコネクタをパソコンのUSBポートに差し込みます。

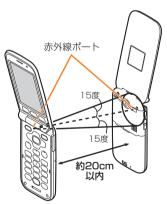
- 待受画面にが表示されます。
microSDモード中のマークについては「表示されるマークや情報」の■マーク（下部）⑤をご覧ください。→p.24

■ USBケーブルの取り外しかた

USBケーブルのコネクタのリリースボタンを押し（❶）、FOMA端末から引き抜きます（❷）。

- パソコンからUSBケーブルを取り外します。

お知らせ

- microSDモード中は、ランプが点滅します。
- USBケーブルを無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。また、データ転送中にUSBケーブルを外すと、誤動作やデータ消失の原因となります。
- microSDモード中にパソコンからUSBケーブルを取り外すときは、パソコンの画面右下のタスクトレイの「ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す」または「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックして、「FOMA F08Cの取り出し」、「USB大容量記憶装置-ドライブを安全に取り外します」、または「USB大容量記憶装置デバイス-ドライブを安全に取り外します」をクリックし、安全に取り外すことができる旨のメッセージが表示されることを確認してください。
- microSDカードにデータを保存するときは、フォルダ構成（→p.317）に記載されたファイル形式、ファイル名で決められたフォルダに保存してください。フォルダが作成されていない場合は、フォルダ名の規則に従って作成してください。保存先フォルダを間違えたり、フォルダ名を変更したり、異なるファイル形式のデータを保存したりすると、FOMA端末では認識できません。
- microSDカードにデータを保存するときは、FOMA FシリーズSDユーティリティをご利用になることをおすすめします。利用するとファイル名が自動的に変換され、正しいフォルダに保存されます。
  ※ FOMA FシリーズSDユーティリティについては、パソコンから次のホームページをご覧ください。
  FMWORLD（http://www.fmworld.net/）→携帯電話→データリンクソフト
- microSDカードに保存したデータをFOMA端末で利用するには、FOMA端末で情報更新をする必要があります。→p.319
- フォルダやファイルの操作方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

赤外線通信について

赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末や携帯電話、パソコンなどとデータの送受信ができます。また、赤外線通信に対応したｉアプリを利用することもできます。

- 赤外線通信中はディスプレイ上部に⇄が表示され、データ転送モード（圏外と同じ状態）になるため、通話、ｉモード、データ通信などはできません。
- FOMA端末の赤外線通信機能はIrMC™規格1.1に準拠しています。ただし、相手の端末がIrMC™規格1.1に準拠していても、データの種類によっては送受信できない場合があります。
- FOMA端末の赤外線通信機能はIrSimple™1.0規格に対応しています。特定の機器利用時のみ動作します。

赤外線通信を行うには

赤外線通信の通信距離は約20cm以内、赤外線放射角度は中心から15度以内です。また、データの送受信が終わるまで、FOMA端末は相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。

お知らせ

- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下などでは、赤外線通信が正常にできない場合があります。

赤外線通信を使ってデータを送信

データを1件ずつ送信する方法と、データの種類ごとにまとめて送信する方法が利用できます。〈赤外線送信〉

赤外線通信で個人情報を送信

名前やFOMA端末の電話番号（自局電話番号）、メールアドレスを相手の端末に送信します。

1 **相手のFOMA端末を受信待機状態にする**

2 **待受画面で(メニュー)▶「0自分の電話番号を見る」を押す**

個人情報（基本）画面が表示されます。

- メールアドレスの自動取得の確認画面が表示された場合→p.53

3 **(メニュー)を押す**

<送信開始画面>

- 赤外線ポートを相手側の端末に向けてから次の操作をしてください。

4 **(決定)を押す**

赤外線送信が開始されます。データの送信が完了すると、通信完了音が鳴り、通信が終了した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつと個人情報（基本）画面に戻ります。

- 中止するときは送信中に(決定)を押します。

赤外線１件送信

赤外線通信でデータを１件送信します。
- 次のデータを送信できます。
  電話帳、ブックマーク、写真、トルカ

〈例〉FOMA端末電話帳の１件の電話帳をFOMA端末に送信する

1 相手のFOMA端末を受信待機状態にする

2 待受画面で(電話帳)▶電話帳を検索する
- 検索方法→p.84

3 送信する電話帳を選択▶(メニュー)▶「0赤外線で送信」を押す
送信開始画面が表示されます。
- 赤外線ポートを相手側の端末に向けてから次の操作を行ってください。

4 決定を押す
赤外線送信が開始されます。データの送信が完了すると、通信完了音が鳴り、通信が終了した旨のメッセージが表示されます。
決定を押すか、約5秒たつとFOMA端末電話帳の検索結果一覧に戻ります。
- 中止するときは送信中に決定を押します。

赤外線全件送信

データの種類ごとにデータをまとめて赤外線送信します。
- 次のデータを送信できます。
  電話帳※、ブックマーク、受信／送信／未送信メール、スケジュール
  ※ 個人情報（自局電話番号を除く）も送信されます。
- 送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力します。あらかじめ数字4桁の認証パスワードを決めておいてください。
- 受信側でデータの並び順が変わることがあります。

1 相手のFOMA端末を受信待機状態にする

2 待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「7赤外線を使う」▶「3赤外線で全件送信する」を押す
全件送信の対象の選択画面が表示されます。

3 「1電話帳」～「6ブックマーク」のいずれかを押す
端末暗証番号入力画面が表示されます。

4 端末暗証番号を入力▶決定▶認証パスワードを入力▶決定を押す
送信開始画面が表示されます。
- 赤外線ポートを相手側の端末に向けてから次の操作を行ってください。

5 決定を押す
赤外線送信が開始されます。データの送信が完了すると、通信完了音が鳴り、通信が終了した旨のメッセージが表示されます。
決定を押すか、約5秒たつと全件送信の対象の選択画面に戻ります。
- 中止するときは送信中に決定を押します。

お知らせ

- FOMA端末電話帳の詳細画面、ドコモUIMカード電話帳の電話帳一覧や詳細画面、ブックマーク一覧、画像一覧、フォルダ内のトルカ一覧から1件送信する場合は、(メニュー)▶「赤外線で送信」を選択▶決定を押します。
- 赤外線で送信するときに受信先の端末が受信待機状態になっていなかったり、自分の端末と相手の赤外線ポートが正しく向き合っていなかったりすると、「接続相手が見つかりません。もう一度送信しますか？」と表示されます。「1送信する」を押すと、もう一度送信します。相手側の端末が受信待機状態になっていることを確認してから操作してください。
- FOMA端末外への出力が禁止されているデータは送信できません。ただし、この端末でファイル制限を「設定する」にしたデータや「データ交換」アルバムの画像は除きます。
- 個人情報は、名前、フリガナ、1つ目の電話番号、1つ目のメールアドレスのみが送信されます。
- 写真の送信時、全角で9文字、半角で18文字を超えた題名の文字は削除されます。
- トルカの送信時、送信するトルカの設定や、相手の端末によっては送信できない場合があります。
- メールの送信時、メール本文中に貼り付けされた、ｉアプリを連携起動できるリンク項目は削除されます。また、受信側の端末によっては、題名をすべて受信できない場合があります。
- スケジュールの送信時、誕生日やｉスケジュールは送信できません。
- ブックマークの全件送信時、相手の端末によってはフォルダ分けの設定が反映されない場合があります。

- 絵文字を入力したデータをｉモード端末以外に送信すると、正しく表示されない場合があります。

赤外線通信を使ってデータを受信

データを1件ずつ受信する方法と、データの種類ごとにまとめて受信する方法が利用できます。〈赤外線受信〉

- 受信できるデータの種類と保存先は次のとおりです。

データの種類	保存場所
電話帳／個人情報	FOMA端末電話帳 • 1件受信の場合は、最も小さい空きメモリ番号（000～009以外）に保存されます。 • 全件受信の場合は個人情報（自局電話番号を除く）も受信します。
ブックマーク	ブックマーク一覧 • 1件受信の場合は先頭フォルダに保存されます。 • 全件受信の場合はフォルダごと上書き保存されますが、一部フォルダ内のブックマークは、先頭フォルダに保存される場合があります。
受信／送信／未送信メール	受信／送信／未送信メール • 全件受信した場合、相手の端末によってはメール連動型ｉアプリ用のフォルダに保存されることがあります。保存されたメールを確認するには、メール連動型ｉアプリ用のフォルダを選択▶(メニュー)▶「6一覧を表示」を押します。
写真	写真・画像一覧の「データ交換」アルバム
ビデオ	ビデオ・音声一覧の「データ交換」アルバム
メロディ	メロディ一覧の「データ交換」フォルダ
スケジュール	スケジュール帳
トルカ	トルカ一覧の「トルカフォルダ」

- メールを受信すると、添付データを含めたメールサイズが100Kバイトを超える場合は、メール本文のみ受信できます。また、添付データが複数ある場合は、100Kバイトを超えた分の添付データは受信できません。

赤外線1件受信

赤外線通信でデータを1件受信します。

- 次のデータを受信できます。ただし、FOMA端末で対応していない形式のデータは受信できません。
  個人情報（電話帳として保存されます）、電話帳、ブックマーク、受信／送信／未送信メール、写真、ビデオ、メロディ、スケジュール、トルカ

1 **待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「7赤外線を使う」▶「1赤外線で受信する」を押す**

<受信開始画面>

- 赤外線ポートを相手側の端末に向けてから次の操作をしてください。

2 **(決定)を押す**

受信待機状態になります。

3 **相手側からデータを1件送信する**

赤外線受信が開始されます。データの受信が完了すると、通信完了音が鳴り、通信が終了した旨のメッセージが表示されます。

- 中止するときは受信中に(決定)を押します。

4 **(決定)または約5秒後▶「1保存する」を押す**

保存した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

赤外線全件受信

データの種類ごとにデータをまとめて赤外線受信します。
- 全件受信すると、受信側で保存していたデータ（シークレット属性を設定した電話帳やスケジュールの予定、保護されたメールなどを含む）はすべて消去され、受信したデータのみ保存されますのでご注意ください。
- 次のデータを受信できます。ただし、FOMA端末で対応していない形式のデータは受信できません。
  電話帳※、ブックマーク、受信／送信／未送信メール、スケジュール
  ※ 個人情報（自局電話番号を除く）が送信側の設定内容で上書きされます。また、ワンタッチダイヤルの登録が解除されます。送信側がF-08C、F-09B、F-10A、F-07A、F884iES、F884iで、ワンタッチダイヤルを登録している場合は、送信側の設定内容で上書きされます。
- 送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力します。あらかじめ数字4桁の認証パスワードを決めておいてください。

1 **待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「7赤外線を使う」▶「2赤外線で全件受信する」▶端末暗証番号を入力▶決定▶認証パスワードを入力▶決定を押す**
受信開始画面が表示されます。
- 赤外線ポートを相手側の端末に向けてから次の操作を行ってください。

2 **決定を押す**
受信待機状態になります。

3 **相手側からデータを全件送信する**
赤外線受信が開始されます。データの受信が完了すると、通信完了音が鳴り、通信が終了した旨のメッセージが表示されます。
- 中止するときは受信中に決定を押します。

4 **決定を押すまたは約5秒後に全件書き換えて保存するかの確認画面が表示される**
- 「保存する」を押すと、受信側で保存していたデータを消去し、受信したデータのみ保存します。

5 **「1保存する」を押す**
保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ
- 赤外線で受信するときに相手の端末からデータが送信されていなかったり、自分の端末と相手の赤外線ポートが正しく向き合っていなかったりすると、「接続相手が見つかりません。もう一度受信しますか？」と表示されます。「1受信する」を押すと、もう一度受信します。相手側の端末から、データが送信されていることを確認してから操作してください。
- FOMA端末に保存できないデータを受信したときは、受信した旨のメッセージが表示されますが、データは破棄されます。
- 相手の機種や状態によっては、相手端末で設定していたフォルダ分けが、本端末に反映されない場合があります。

ボイスレコーダで音声を録音

音声を録音して、FOMA端末やmicroSDカードに保存したり、iモードメールに添付して送信したりします。〈ボイスレコーダ〉

- 録音した音声は、映像のない動画として保存されます。
- 動画の保存形式、ファイル名について→p.251
- 保存できる件数は、本体に最大100件、microSDカードに最大9999件です。
- 音声はマイクから録音されます。周囲の雑音が少ないできるだけ静かな所で録音してください。

1 待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「6ボイスレコーダを使う」を押す

音声録音画面が表示されます。
ランプが約1秒間隔で点滅します。

現時点で録音（保存）できる残りの最大録音時間の目安が表示されます。

- 電話帳：「録音した音声」アルバムに保存されている音声を聞くことができます。microSDカードを取り付けているときは、電話帳▶「1本体の音声」または「2microSDの音声」を押すと、「録音した音声」アルバムまたはmicroSDカードに保存されている音声を聞くことができます。→p.300、p.324

2 決定を押す

録音確認音が鳴り録音が開始され、充電ランプが約5秒間隔で点滅します。
音声録音画面下部には、録音終了までの目安が表示されます。

- FOMA端末を閉じても録音は継続されます（開閉ロックが起動した場合を除く）。
- 録音終了までの時間の目安が00:00:00になると、録音が自動的に終了して操作3の画面が表示されます。

■ **一時停止する場合：録音中にメニューを押す**

- もう一度メニューを押すと録音を再開します。
- メニューを押すたびに確認音が鳴ります。
- 録音休止中はランプが点灯します。

3 決定を押す

終了確認音が鳴り、録音が終了して操作の選択画面が表示されます。

- 録音サイズ（容量）が「microSD・無制限」のときはすぐに保存され、音声を保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと音声録音画面に戻ります。
- 電話帳：録音した音声を再生します。

4 **「1保存する」を押す**

音声を保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと音声録音画面に戻ります。

- microSDカードを取り付けているときは、「1microSDに保存」または「2本体に保存」を押します。
- 「1保存する」または「2本体に保存」を押したときは、ビデオ・音声一覧の「録音した音声」アルバムに保存されます。→p.300
- 「1microSDに保存」を押したときは、ビデオ・音声一覧の「microSDのビデオ」アルバムの「5その他のビデオ」に保存されます。→p.300

■ iモードメールで送る場合：**「2メールで送る」を押す**

音声を保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメール作成画面が表示されます。

- microSDカードを取り付けているときは、「3メールで送る」を押します。
- iモードメールの作成・送信方法→p.152、p.156

お知らせ

- 録音サイズ（容量）が「microSD・無制限」の場合でも、一度に録音できる時間は約720分までです。
- 録音中にボタン操作を行うと、ボタン確認音が録音される場合があります。
- 音声の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なビデオを削除するかどうかの確認画面が表示されます。録音する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のデータを削除してください。
- 録音中に録音終了までの時間表示の更新が遅くなる場合があります。
- 録音中に着信があったり、目覚ましや予定の設定時刻になったりした場合、その時点で録音が中断され、着信やアラームの画面が表示されます。通話やアラームが終了すると、録音した音声の確認画面が表示されます。録音サイズ（容量）が「microSD・無制限」のときは音声を保存した旨のメッセージが表示され、決定を押すか、約5秒たつと音声録音画面に戻ります。録音した音声の最後にアラーム音が記録されることがあります。

音声録音サイズ（容量）の設定

録音する音声のファイルサイズを設定します。

1 **音声録音画面でメニュー▶「1録音サイズを選ぶ」を押す**

サイズ・容量の選択画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **メール添付・小**：ファイルサイズを500Kバイトに制限します。2Mバイト対応機種以外のiモード端末に送信するときに設定します。

2 **メール添付・大**：ファイルサイズを2Mバイトに制限します。

3 **microSD・無制限**：ファイルサイズを制限しません。microSDカードを取り付けていない場合は、microSDカード挿入後の設定をうながす旨のメッセージが表示されます。

2 **「1メール添付・小」～「3microSD・無制限」のいずれかを押す**

録音サイズを設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと音声録音画面に戻ります。

音声録音の残り時間の確認

音声を録音できる残りの録音時間を確認します。

1 **音声録音画面でメニュー▶「2残り時間を確認」を押す**

音声の残り録音時間が確認できます。

■ microSDカードと本体を切り替える場合：**電話帳を押す**

- 録音サイズ（容量）の設定が「microSD・無制限」のときは、microSDカードの「無制限」のみ確認できます。

2 **決定を押す**

音声録音画面に戻ります。

便利な機能

歩数計・活動量計を使う

歩数計・活動量計で、歩数や歩いた距離、活動量、消費カロリーや脂肪燃焼量、いきいき歩行やいきいき活動量などを確認できます。また、歩数計・活動量計のデータをグラフで表示したり、毎日の歩数計・活動量計データを指定した宛先へ自動的にメールで送信したりできます。

- 歩数計・活動量計機能で表示される数値は、あくまでも目安としてご活用ください。

■ 活動量とは

日常生活での動作や歩行、運動など、体を動かした量を数値にして、「Ex（エクササイズ）」という単位で表したものです。

- 体を動かした時間と運動強度から算出されます。

■ 運動強度とは

たとえば、歩行とジョギングでは体が感じるきつさ（運動の強さ）が異なります。運動の強さが安静時の何倍に相当するかを数値にして、「METs（メッツ）」という単位で表したものです。

- 活動量は、3METs以上の運動強度が計測されたときに算出されます。
- 現在の運動強度を測定できます。→p.341

■ いきいき歩行、いきいき活動量とは

有酸素運動（呼吸によって取り入れられる酸素を効果的に使い、全身持久力を高めつつ体脂肪を効果的に燃やす運動）の目安となる歩行や活動量を計測したものです。

- いきいき歩行は、毎分60歩以上の速さで3分以上続けて歩いたときに計測されます。
- いきいき活動量は、3METs以上の運動強度が3分以上続けて測定されたときに計測されます。
- 4分以内の休憩は継続したものとします。

歩数計・活動量計ご利用時の注意事項

- 歩数を正確にカウントするためには、正しく装着して（キャリングケースに入れて腰のベルトなどに装着する、かばんに入れるときは固定できるポケットや仕切りの中に入れる）毎分100～120歩程度の速さで歩くことをおすすめします。
- 正しく装着していても、手や足など体の一部のみが動作しているなど歩行や運動がFOMA端末に伝わらない状態では、歩数のカウントや活動量の計測が正確に行われないことがあります。
- 次の場合は歩数が正確にカウントされないことがあります。
  - FOMA端末を入れたかばんが足や腰に当たって不規則に動くときや、FOMA端末を腰やかばんにぶら下げたとき
  - すり足のような歩きかたや、サンダル、下駄、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき、混雑した場所を歩くなど歩行が乱れたとき
  - 立ったり座ったり、階段や急斜面の昇り降りをしたり、乗り物（自転車、車、電車、バスなど）に乗車したりなど、上下運動や振動、横揺れなどが多いとき
  - 歩行以外のスポーツを行ったときや、ジョギングをしたとき、極端にゆっくり歩いたとき
- FOMA端末の開閉やボタン操作などを行ったとき、FOMA端末に振動や揺れが加わっているときは、歩数のカウントや活動量の計測が正確に行われないことがあります。

歩数計・活動量計の設定

歩数計・活動量計の利用に必要な情報を設定します。

1 待受画面で(メニュー)▶「9歩数・活動量計を使う」▶「8歩数・活動量計を設定する」を押す

歩数計／活動量計を利用するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1利用する」▶(決定)を押す

身長の入力画面が表示されます。

■ 利用しない場合：「2利用しない」を押す

操作5に進みます。

3 身長を入力▶(決定)を押す

体重の入力画面が表示されます。

- 100～220cmの間で入力します。

4 体重を入力▶(決定)を押す

歩数計／活動量計の利用を開始した旨のメッセージが表示されます。

- 30～120kgの間で入力します。
- 日付・時刻を設定していない場合は、日付と時刻を設定する旨のメッセージが表示されます。(決定)を押します。

5 (決定)を押すまたは約5秒後にメニュー画面に戻る

- 本機能を使用中は、待受画面に またはは(自動送信メールも使用しているとき）が表示されます。また、お買い上げ時に登録されている待受画面の画像によっては、歩数や活動量の数値と連動するものがあります。→p.110

歩数・活動量の履歴の確認

歩数計・活動量計で計測したデータの履歴を、1日分（→p.340)、グラフ（→p.340)、一覧（→p.341）で確認できます。

- カウント中の歩数を背面ディスプレイに表示することができます。→p.29
- 毎日午前0時0分になると、1日分の計測データが履歴として保存されます。当日を含めて1098日分記録できます。1098日を超えると、古いものから順に上書きされます。

表示項目	内　容
歩数	カウントした歩数が表示されます（最大999999歩)。
歩いた距離	歩数と歩幅から算出した歩行距離※1が表示されます（最大9999.9km)。
活動量	体を動かした時間と運動強度から算出した活動量が表示されます（最大9999.9Ex)。
消費カロリー	運動強度、体を動かした時間、設定した体重などから算出した消費カロリー※2が表示されます（最大65535kcal)。
脂肪燃焼量	消費カロリーから算出した脂肪燃焼量が表示されます（最大4681g)。
いきいき歩数	いきいき歩行の歩数が表示されます（最大999999歩)。
いきいき歩行時間	いきいき歩行の歩行時間が表示されます（最大999時間59分)。
いきいき活動量	いきいき活動量が表示されます（最大9999.9Ex)。

※1 1分あたりの歩数により歩幅が補正されるため、歩幅から算出した歩行距離とは異なる場合があります。

※2 運動強度が計測されない場合は、カロリー計算は行われません。

お知らせ

- 誤カウントを防ぐために歩行を始めたかどうかを判断しているため、歩き始めは数値が変わりません。目安として4秒程度歩くとそこまでの歩数が加算されます。
- 歩数、歩いた距離、活動量、いきいき歩数、いきいき活動量は、最大値を超えると0に戻って表示されます。
- カウントした歩数と計測した活動量は約60分ごとに保存されます。FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されていない歩数や活動量が消失してしまう場合があります。
- 歩数計・活動量計のデータは、FOMA端末の故障、修理やその他の取り扱いによって消失してしまう場合があります。また、電池パックを外した状態や電池切れの状態で約1ヶ月以上経過すると消失してしまう場合があります。万が一、消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

歩数・活動量の1日分の履歴を見る

歩数計・活動量計で測定したデータの1日分の履歴を確認します。

1 待受画面でメニュー▶「9歩数・活動量計を使う」▶「1一日の歩数・活動量を見る」を押す

2011年 4月15日
通常情報
歩数 2161歩
距離 1.7km
活動量 1.0Ex
消費カロリー 45kcal
脂肪燃焼量 3g

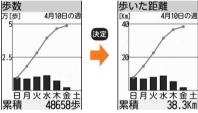
決定 ➡

2011年 4月15日
いきいき情報
歩数 934歩
歩行時間 9分
活動量 0.2Ex

- 決定を押すたびに、通常情報→いきいき情報→歩数情報→活動情報の順で表示が切り替わります。ただし、歩数情報画面と活動情報画面は、当日を含めた過去7日以内の場合のみ表示できます。
- ◁▷を押すと、日付の表示が前後に切り替わります。
- 歩数情報画面または活動情報画面で電話帳を押すと、グラフ表示に切り替わります。

■ **履歴をメールで送信する場合：メニューを押す**

- iモードメールの作成・送信方法→p.152、p.156

お知らせ

- 通常情報画面で表示される活動量と、活動情報画面で表示される活動量の合計は、算出方法が異なるため数値に差異が出る場合があります。

歩数・活動量の履歴をグラフで見る

歩数計・活動量計で測定したデータの履歴をグラフで確認します。

1 待受画面でメニュー▶「9歩数・活動量計を使う」▶「2歩数・活動量のグラフを見る」を押す

1週間単位の歩数のグラフが表示されます。

- 1週間単位のグラフの場合のみ、日曜日から土曜日の累積が折れ線グラフで表示されます。

- 決定を押すたびに、歩数→歩いた距離→活動量→消費カロリー→脂肪燃焼量→いきいき歩数→いきいき歩行時間→いきいき活動量の順で表示が切り替わります。
- ◁▷を押すと、日付の表示が前後に切り替わります。
- 電話帳を押すと、グラフと一覧の表示が切り替わります。

■ **日付単位のグラフを表示する場合：メニュー▶「3日ごとのグラフ」を押す**

■ **月単位のグラフを表示する場合：メニュー▶「4月ごとのグラフ」を押す**

便利な機能

歩数・活動量の履歴を一覧で見る

歩数計・活動量計で測定したデータの履歴を一覧で確認します。

1 **待受画面でメニュー▶「9歩数・活動量計を使う」▶「3歩数・活動量の履歴を見る」を押す**

歩数	
[日] 0001/0007件	
04/15	2161歩
04/14	7078歩
04/13	11227歩
04/12	10147歩
04/11	8570歩
04/10	9475歩
04/09	7680歩

決定 →

歩いた距離	
[日] 0001/0007件	
04/15	1.7km
04/14	5.3km
04/13	8.8km
04/12	7.9km
04/11	6.9km
04/10	7.7km
04/09	6.2km

- 決定を押すたびに、歩数→歩いた距離→活動量→消費カロリー→脂肪燃焼量→いきいき歩数→いきいき歩行時間→いきいき活動量の順で表示が切り替わります。
- 電話帳を押すと、一覧とグラフの表示が切り替わります。

■ **1日分の履歴を表示する場合：日付を選択▶メニュー▶「2一日の詳細情報」を押す**

- 履歴画面の表示、操作方法は「歩数・活動量の1日分の履歴を見る」と同様です。→p.340

■ **履歴をメールで送信する場合：日付を選択▶メニュー▶「4メールで送る」を押す**

- iモードメールの作成・送信方法→p.152、p.156

歩数・活動量の履歴の削除

歩数計・活動量計で測定したデータの履歴を削除します。

1 **待受画面でメニュー▶「9歩数・活動量計を使う」▶「6歩数・活動量の履歴を削除する」または「7今日の履歴を削除する」を押す**

歩数と活動量の履歴／今日の歩数と活動量を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- 「6歩数・活動量の履歴を削除する」を押すと、すべての歩数計・活動量計データが削除されます。「7今日の履歴を削除する」を押すと、当日に計測中の歩数計・活動量計データのみ削除されます。

2 **「1削除する」を押す**

歩数と活動量の履歴／今日の歩数と活動量を削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

歩数・活動量などの運動強度測定

現在の動作がどのくらいの運動強度であるかを数値（METs）で確認できます。

1 **待受画面でメニュー▶「9歩数・活動量計を使う」▶「4運動の強さを測定する」を押す**

運動強度測定画面が表示されます。

- 歩数計・活動量計を「利用しない」に設定している場合は、歩数計／活動量計を利用するかどうかの確認画面が表示されます。歩数計・活動量計の設定は「歩数計・活動量計の設定」操作2以降をご覧ください。→p.339

2 **決定を押す**

測定が開始されます。

現在：現在測定されている運動強度を表示します。

最高：測定開始から現在までの運動強度の最高値を表示します。

平均：測定開始から現在までの運動強度の平均値を表示します。

■ **測定を停止する場合：決定を押す**

- 測定開始から約60分経過すると、自動的に停止します。

歩数・活動量の自動送信メール

毎日指定した時間帯に、指定した宛先へ、最新の歩数・活動量の履歴を自動的にメールで送信します。自分で指定する宛先1件、健康応援サービス1件の合計2件を、自動送信メールの宛先として同時に設定できます。

- 自動送信メールを利用するためには、iモードのご契約が必要です。
- 送信される歩数・活動量の履歴に当日分は含まれません。
- 自動送信メールのパケット通信料は、お客様のご負担となります。

■ 健康応援サービスとは

自動送信メールを使用して、「@Fケータイ応援団」の健康応援サービスを利用できます。サービスの利用を設定すると、歩数や活動量の履歴が「@Fケータイ応援団」に自動送信され、「東海道五十三次」などの仮想のコースを歩く歩数計サービスや、1週間あたりの活動量が健康の目安の数値に達しているかどうか確認できる活動量計サービスを楽しむことができます。

- 健康応援サービスの利用料はかかりませんが、メールの送受信やiモードサイトに接続した際のパケット通信料はお客様のご負担となります。
- 迷惑メール対策（→p.138）によるメールの受信制限を行うと、健康応援サービスは利用できませんのでご注意ください。
- 詳細は「@Fケータイ応援団」のサイトをご覧ください。

アクセス方法（2012年2月現在）
待受画面で[i]▶「1 i Menuを見る」▶「メニューリスト」▶「ケータイ電話メーカー」▶「@Fケータイ応援団」

サイトアクセス用
QRコード

※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

1 待受画面で[メニュー]▶「9 歩数・活動量計を使う」▶「5 自動送信メールを設定する」を押す

歩数・活動量の自動送信の設定画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **送信先アドレス**：自動送信メールを送信する宛先を設定します。
2 **健康応援サービス**：健康応援サービスを利用するかどうかを設定します。
3 **送信時間帯**：自動送信メールを送信する時間帯を設定します。

2 「1 送信先アドレス」を押す

自動送信の宛先の選択画面が表示されます。

■ **健康応援サービスのみ設定する場合：「2 健康応援サービス」を押す**
操作4に進みます。

3 「2 直接入力する」▶宛先を入力▶[決定]を押す

健康応援サービスの説明画面が表示されます。

- 半角英数字50文字以内で入力します。
- iモード端末にメールを送信するときは、メールアドレスの「@docomo.ne.jp」は省略できます。
- 半角英字入力モード時に[1]：「.」「@」「-」などを入力できます。
- 半角英字入力モード時に[*]：「@docomo.ne.jp」「.com」「.or.jp」などを入力できます。

■ **電話帳から選択する場合：「1 電話帳から選択」▶電話帳を検索▶送信する相手を選択▶[決定]▶メールアドレスを選択▶[決定]を押す**
- 検索方法→p.84

■ **設定しない場合：「3 設定しない」を押す**

4 [決定]▶「1 利用する」または「2 利用しない」を押す

- 「1 利用する」を押した場合は、最初の自動送信後に送られてくるメールの指示に従って設定を行ってください。
- 操作3で「3 設定しない」を押し、さらに操作4で「2 利用しない」を押した場合は、操作6に進みます。

5 「1 0時～2時」～「# 22時～24時」のいずれかを押す

操作1の画面に戻ります。

6 電話帳を押す

自動送信メールを設定／解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

- 本機能を使用中は、待受画面にが表示されます。
- 歩数計・活動量計を「利用しない」に設定しているときは、歩数・活動量計の利用を設定する旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと利用するかどうかの確認画面が表示されます。以降の操作は「歩数計・活動量計の設定」操作2以降をご覧ください。→p.339

送信時間帯になると

自動送信メールは、送信時間帯に待受画面が表示されているときに送信されます。自動送信メールが送信されると、送信した旨のメッセージが約3秒間表示されます。

- 自動送信メールは、「送信したメールを見る」の「送信箱」フォルダに保存されます。→p.170
- 送信に失敗したとき→p.157

お知らせ

- 未送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、メールを作成できない旨のメッセージが表示され、自動送信できません。「未送信のメールを見る」から不要なｉモードメール、SMSを削除してください。→p.207
- 送信時間帯に待受画面以外を表示している場合は、待受画面が表示されたとき自動送信されます。

マルチアクセスについて

マルチアクセスとは、電話、ｉモード通信、データ通信など複数の通信を同時に利用できる機能です。

- マルチアクセスで同時に利用できる通信の詳細は「マルチアクセスの組み合わせについて」をご覧ください。→p.421
- マルチアクセス中は、それぞれの通信に通信料がかかります。

〈例〉通話中にｉモードメールを受信する

1 通話中にメールを受信する

メールの受信中はディスプレイ上部にと✉が点滅表示されます。

- 着信音は鳴りません。
- 通話中にメールの内容を確認することはできません。

さまざまな画面で検索機能を使う

待受画面や他の画面を表示中に(らくらくサイト)を1秒以上押すことで、らくらくホンセンター、使いかたガイド、辞書、電話帳を利用することができます。〈らくらく検索〉

- 使いかたガイドを表示中は本機能を利用できません。
- 電話帳検索は待受画面とメニュー画面でのみ起動できます。
- 辞書を表示中は本機能の辞書検索を利用できません。
- オールロック中やおまかせロック中、ソフトウェア更新中など、他の機能が起動しているときや表示中の画面によっては、本機能を利用できない場合があります。

1 **(らくらくサイト)を1秒以上▶「1らくらくホンセンター」～「4電話帳」のいずれかを押す**

- らくらくホンセンターについて→p.35
- 使いかたガイドの操作方法→p.36
- 辞書の操作方法→p.356
- 電話帳検索の操作方法→p.84

自動的に電源を入れる

指定した時刻にFOMA端末の電源が自動的に入るように設定します。〈自動電源ON設定〉

- 自動電源OFF設定と本機能を同時刻に設定することはできません。→p.345

1 **待受画面で(メニュー)▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「9設定時刻に電源を入／切する」▶「1電源が入る時刻を設定する」を押す**

決めた時刻に電源が入る機能の設定画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **自動電源入**：自動で電源を入れるかどうかを設定します。
2 **時刻**：自動で電源を入れる時刻を設定します。
3 **繰り返し**：自動で電源を入れる設定を繰り返すかどうかを設定します。

2 **「1自動電源入」を押す**

決めた時刻に電源を入れるかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「1入れる」を押す**

電源が入る時刻の設定画面が表示されます。

■ **自動的に電源を入れない場合：「2入れない」を押す**
操作6に進みます。

4 **時刻を入力▶(決定)を押す**

繰り返しの種類の選択画面が表示されます。

- 24時間制で入力します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

5 **「1毎日繰り返す」または「2繰り返さない」を押す**

操作1の画面に戻ります。

6 **(電話帳)を押す**

決めた時刻に電源を入れる設定を起動／停止した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された場所では、電源を切るだけではなく、本機能の設定も解除してください。

自動的に電源を切る

指定した時刻にFOMA端末の電源が自動的に切れるように設定します。〈自動電源OFF設定〉

- 自動電源ON設定と本機能を同時刻に設定することはできません。→p.344

1 待受画面でメニュー▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「9設定時刻に電源を入/切する」▶「2電源が切れる時刻を設定する」を押す

決めた時刻に電源を切る機能の設定画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **自動電源切**：自動で電源を切るかどうかを設定します。

2 **時刻**：自動で電源を切る時刻を設定します。

3 **繰り返し**：自動で電源を切る設定を繰り返すかどうかを設定します。

2 「1自動電源切」を押す

決めた時刻に電源を切るかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1切る」を押す

電源を切る時刻の設定画面が表示されます。

■ 自動的に電源を切らない場合：「2切らない」を押す

操作6に進みます。

4 時刻を入力▶決定を押す

繰り返しの種類の選択画面が表示されます。

- 24時間制で入力します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

5 「1毎日繰り返す」または「2繰り返さない」を押す

操作1の画面に戻ります。

6 電話帳を押す

決めた時刻に電源を切る設定を起動／停止した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 待受画面表示中以外のときに指定した時刻になった場合は、電源は切れません。動作中の機能を終了すると、電源が切れます。

通知時刻に自動的に電源を入れる

目覚ましや予定の通知の時刻に電源が切れているとき、電源を自動的に入れて目覚ましや予定の通知が動作するようにするかどうかを設定します。〈通知時刻自動電源ON設定〉

1 待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「2スケジュール帳・目覚ましを使う」▶「4通知の時刻に電源を入れる」を押す

目覚ましや予定の通知の時刻に電源を入れるかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1入れる」または「2入れない」を押す

目覚ましや予定の通知の時刻に電源を入れる／入れないに設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- PIN1コード使用の設定中（→p.120）は、指定した時刻に電源が入ると、PIN1コード入力画面の表示よりも優先して目覚ましや予定の通知が動作します。このとき、目覚まし音にダウンロードしたメロディを設定していた場合は「目覚まし1」が鳴ります。
- 電源を切る操作や自動電源OFF設定以外で電源が切れると、本機能は動作しません。
- 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された場所では、電源を切るだけではなく、本機能の設定も解除してください。

簡単な操作でタイマーを設定する

タイマーでお知らせするまでの時間を入力して設定します。〈お知らせタイマー〉

1 **待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「5お知らせタイマーを使う」▶時間を入力▶決定を押す**

お知らせタイマーのカウントダウンが始まります。

- 1～60分の範囲で入力します。
- 待受画面で時間を入力して電話帳を押しても開始できます。
- カウントダウン中にFOMA端末を閉じると、背面ディスプレイにカウントダウン画面が表示されます。
- 中止するときは、カウントダウン中に決定▶「1中断して終了」を押します。

指定した時間が経過すると

次の通知画面が表示され、「目覚まし1」と「音量4」でタイマーが鳴り、ランプが点滅します。

お知らせタイマー
時間です

- FOMA端末を閉じているときは背面ディスプレイに通知画面が表示されます。
- ーを押すとタイマーが終了し、待受画面に戻ります。
- ーとらくらくサイトとー以外のボタンを押すか、何も操作せずに約1分間経過すると、タイマーが停止し、指定した時間が経過した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 通話中に指定した時刻になると、タイマー音ではなく通知音が鳴り、画面の表示でお知らせします。決定を押すと、通話中の画面に戻ります。
- 電話中（通話中以外）、64Kデータ通信の発着信中に指定した時刻になると、それぞれの動作終了後にタイマーが動作します。
- 公共モード（ドライブモード）中に指定した時間が経過すると、タイマー音やランプは動作せず、画面の表示のみでお知らせします。
- バイブレータ設定の電話着信振動を「振動させない」以外に設定しているときは、指定した時間が経過するとバイブレータが「パターンA」で振動します。
- マナーモード中に指定した時間が経過すると、タイマー音は鳴らずバイブレータが「パターンA」で振動します。

目覚ましを使う

指定した時刻になったことを、設定した目覚まし音でお知らせします。

- 最大5件登録できます。

1 **待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「2スケジュール帳・目覚ましを使う」▶「3目覚ましを使う」を押す**

目覚まし一覧が表示されます。

2 **「目覚まし1」～「目覚まし5」のいずれかを選択▶決定を押す**

時刻の設定画面が表示されます。

■ **目覚ましを動かす／止める場合：登録済みの目覚ましを選択▶決定を押す**

目覚ましの動作の選択画面が表示されます。

操作11に進みます。

■ **設定を変更する場合：登録済みの目覚ましを選択▶決定▶「3設定を変更する」▶変更する項目を選択▶決定▶操作3～9のいずれかを行う**

選択した項目の設定を変更すると、目覚ましの設定内容が表示されます。

操作10に進みます。

■ **設定を確認する場合：登録済みの目覚ましを選択▶決定▶「4設定を確認する」を押す**

3 **時刻を入力▶決定を押す**

繰り返しの種類の設定画面が表示されます。

- 24時間制で入力します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

4 **「1毎日繰り返す」～「3繰り返さない」のいずれかを押す**

- 「1毎日繰り返す」または「3繰り返さない」を押した場合は操作7に進みます。

5 **「1日曜日」～「7土曜日」のうち、選択する項目の番号を押す**

曜日の☐が☑に変わります。

曜日を
選んでください
1 ☑日曜日
2 ☐月曜日
3 ☐火曜日
4 ☐水曜日
5 ☐木曜日
6 ☐金曜日
7 ☐土曜日

- 決定：曜日を選択／解除します。
- メニュー：すべての曜日を選択／解除します。

6 **電話帳を押す**

題名の入力画面が表示されます。

7 **題名を入力▶決定を押す**

メロディ一覧が表示されます。

- 全角7文字、半角14文字以内で入力します。

8 **フォルダを選択▶決定▶メロディを選択▶決定を押す**

音量の調節画面が表示されます。

- 「iモードで探す」を選択して決定▶「1接続する」を押すと、iモードサイトからメロディを探せます。→p.229
- メロディの再生方法は「電話着信時の着信音の変更」操作5をご覧ください。→p.102

9 **メール／iアプリ／←／→または＋－を押して音量を調節▶決定を押す**

目覚ましの設定内容が表示されます。

■ **消音に設定する場合：音量1のときにiアプリ／←／－のいずれか▶決定を押す**

10 **電話帳を押す**

目覚ましを動かすかどうかの確認画面が表示されます。

11 **「1動かす」または「2止める」を押す**

目覚ましを動かした／止めた旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと目覚まし一覧画面に戻ります。

- 目覚ましを動かす設定にしているときは、目覚まし一覧の時刻の右側に「⏰[起動]」と表示されます。また、待受画面に🕒または📅（予定の通知も設定しているとき）が表示されます。
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに🕒または📅（予定の通知も設定しているとき）が表示されます。

目覚ましの時刻になると

次の通知画面が表示され、設定した音と音量で目覚まし音が鳴り、ランプが点滅します。

- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに通知画面が表示されます。
- 終話を押すと目覚ましが終了し、目覚ましが動作する前の画面に戻ります。
- 終話とらくらくサイトと＋－以外のボタンを押すか、何も操作せずに約1分間経過すると目覚ましが停止し、1分間鳴った後4分間停止する動作（スヌーズ動作）を30分間繰り返します。
- スヌーズ動作で停止しているときは、次回の通知時刻が表示されます。

お知らせ

- 電話中や通信中、公共モード（ドライブモード）中に指定した時刻になったときの目覚ましの動作は、お知らせタイマーと同様です。→p.346
- バイブレータ設定の電話着信振動を「振動させない」以外に設定しているときや、マナーモード中に指定した時刻になったときのバイブレータの動作は、お知らせタイマーと同様です。→p.346
- データ転送モード中に指定した時刻になると、転送終了後に目覚ましが動作します。

スケジュール帳を使う

行事や用件などの予定を登録して、必要なときに確認できるようにします。予定の日時に音声で通知するように設定したり、ダウンロードしたｉスケジュールを表示したりすることもできます。

- 2000年1月1日から2060年12月31日まで表示できます。

カレンダーの表示

スケジュール帳のカレンダー画面を表示します。

1 **待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「2スケジュール帳・目覚ましを使う」▶「1予定を見る・登録する」を押す**

カレンダー画面が表示されます。

カーソル
カーソルを合わせた日付に登録した予定の件数、予定一覧
用件マーク

2011/ 4

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
1	2	3	4	5	6	7

予定:3件
10:10 ドライブ
11:00～ 展示会

<カレンダー画面>

- 予定を登録している場合は◥（青色）が、ｉスケジュール内の予定を登録している場合は◥（赤色）が、日付の右上に表示されます。◥（青色）が優先して表示されます。
- 用件マークの意味は次のとおりです。
  - ：スケジュール帳に登録した予定
  - ：電話帳に登録した誕生日
- 長期間の予定の場合は用件マークの下に（開始日）または（中間日）または（終了日）が表示されます。
- 赤外線通信で受信した予定やダウンロードした予定、ｉスケジュール内の予定は、異なる用件マークが表示される場合があります。
- ｉスケジュール内の予定は、用件マークの左側がオレンジ色で表示されます。
- ｉコンシェルを契約すると、当日から最大8日分の週間天気予報が自動的に配信され、カレンダー画面と予定一覧に表示されます。
- を押すと、カーソルが移動します。
- メニュー／電話帳を押すと、前の月／次の月が表示されます。

お知らせ

- 祝日を選択すると、年月の右側に祝日名が表示されます。
- カレンダーの祝日は、「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成17年法律第43号までのもの）」に基づいています。春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため異なる場合があります（2012年2月現在）。また、上記法律は2007年1月から施行されていますが、2006年までの一部の祝日、振替休日については、改正前の日付で表示されないため、ご注意ください。
- ケータイデータお預かりサービスを利用できます。→p.132
- 電話帳に登録した誕生日は、スケジュールから修正や削除などの操作ができません。また、登録件数確認で表示される件数に含まれません。

予定の登録

スケジュール帳に予定を登録します。

- 最大2600件登録できます。→p.450

1 **待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「2スケジュール帳・目覚ましを使う」▶「1予定を見る・登録する」を押す**

カレンダー画面が表示されます。

2 **日付を選択▶決定▶「1登録する」を押す**

予定の入力画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **予定の内容**：予定を入力します。
2 **日時**：予定の日時を指定します。
3 **通知**：予定の日時になったとき、通知するかどうかを設定します。

■ **すでに予定を登録している日付に追加する場合：日付を選択▶決定▶電話帳を押す**

3 **「1予定の内容」▶予定を入力▶決定を押す**

予定の日時を指定するかどうかの確認画面が表示されます。

- 全角300文字、半角600文字以内で入力します。

4 「1指定する」を押す

予定を終日で指定するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **指定しない場合：「2指定しない」を押す**

操作2の画面に戻ります。
詳細を設定する場合は操作9に、設定しない場合は操作11に進みます。

5 「1指定する」または「2指定しない」を押す

開始日付または開始日時の入力画面が表示されます。

- 時刻を指定せずに終日の予定にする場合は「1指定する」を押します。
- 時刻を指定する場合は「2指定しない」を押します。

6 開始日付または開始日時を入力▶決定を押す

終了日付または終了日時の入力画面が表示されます。

- 日付の西暦は下2桁を入力します。月、日が1桁のときは前に0を付けます。
- 時刻は24時間制で入力します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

7 終了日付または終了日時を入力▶決定を押す

予定の時刻に通知するかどうかの確認画面が表示されます。

- 入力方法は操作6と同様です。
- 終了日付または終了日時を開始日付または開始日時よりも後の日付や日時に設定すると、長期間の予定として登録されます。
- 終了日時を開始日時よりも前の日時で入力した場合は、終了日時を開始日時に合わせて設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと操作8に進みます。

8 「1通知する」または「3通知しない」を押す

操作2の画面に戻ります。
詳細を設定する場合は操作9に、詳細を設定しない場合は操作11に進みます。

■ **予定の時刻よりも事前に通知する場合：「2事前に通知する」▶何分前に通知するかを入力▶決定を押す**

- 0～99分の範囲で入力します。

9 メニューを押す

詳細の入力画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **詳細内容**：予定の詳しい内容を入力します。
2 **場所**：場所を入力します。

10 「1詳細内容」▶詳細内容を入力▶決定▶場所を入力▶決定を押す

操作9の画面に戻ります。

- 詳細内容は全角300文字、半角600文字以内で入力します。場所は全角25文字、半角50文字以内で入力します。

■ **操作2の画面に戻る場合：メニューを押す**

11 電話帳を押す

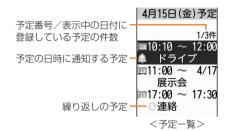
予定を登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと予定一覧（→p.350）が表示されます。

- 予定の時刻に通知する設定にしているときは、待受画面に▤または▤(目覚ましも設定しているとき）が表示されます。
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに▤または▤(目覚ましも設定しているとき）が表示されます。

お知らせ

- スケジュール帳の保存領域の空きが足りないときや最大登録件数を超えるときは、不要な予定を削除してから登録する旨のメッセージが表示されます。予定を登録する場合は不要な予定を削除してください。→p.352

予定を通知する日時になると

次の通知画面が表示され、電話着信音量で設定した音量で「予定の時刻です」（事前に通知する設定の場合は「もうすぐ予定の時刻です」）という通知音声が鳴り、ランプが点滅します。

- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに通知画面が表示されます。
- ⊖を押すと予定の通知が終了し、予定の通知が動作する前の画面に戻ります。
- ⊖と(らくらくサイト)と⊞⊟以外のボタンを押すか、何も操作せずに約1分間経過すると予定の通知が停止します。
- 停止中に(決定)を押すと予定の通知が動作する前の画面に戻ります。同じ日時に複数の予定を通知するように設定している場合は、他の予定の内容が表示され、(決定)を複数回押すと予定の通知が動作する前の画面に戻ります。

お知らせ

- 電話中や通信中、公共モード（ドライブモード）中、マナーモード中に、指定した日時になったときの通知の動作は、お知らせタイマーと同様です。→p.346
- バイブレータ設定の電話着信振動を「振動させない」以外に設定すると、指定した時刻になったとき設定に従ってバイブレータが振動します。
- データ転送モード中に指定した日時になると、転送終了後に予定の通知が動作します。

予定の確認

予定一覧や予定詳細画面を確認します。

1 待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「2スケジュール帳・目覚ましを使う」▶「1予定を見る・登録する」▶日付を選択▶(決定)を押す

予定一覧が表示されます。

<予定一覧>

- 表示中の日付に週間天気予報が配信されている場合は、件数の下に表示されます。

2 確認する予定を選択▶(決定)を押す

予定詳細画面が表示されます。

予定番号／表示中の日付に登録している予定の件数

<予定詳細画面>

- 同じ日付に複数の予定を登録している場合は、⊲⊳を押すと前後に登録している予定詳細画面に切り替わります。
- (電話帳)を押すと予定一覧に戻ります。

■ **指定日の予定を表示する場合：予定一覧で(メニュー)▶「4指定日を表示」▶表示する日付を入力▶(決定)を押す**

入力した日付の予定一覧が表示されます。

- 西暦は下2桁を入力します。月、日が1桁のときは前に0を付けます。

■ **当日の予定を表示する場合：予定一覧で(メニュー)▶「5当日に戻る」を押す**

当日の予定一覧が表示されます。

お知らせ

- 誕生日の相手の電話帳にメールアドレスや電話番号を登録している場合は、誕生日の予定詳細画面で1件目のメールアドレスや電話番号にメールやSMSを送信したり電話をかけたりできます。

予定を修正する

登録した予定を修正します。

1 待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「2スケジュール帳・目覚ましを使う」▶「1予定を見る・登録する」▶日付を選択▶(決定)を押す

2 修正する予定を選択▶(メニュー)▶「2修正する」を押す

- 以降の操作は「予定の登録」操作3以降をご覧ください。→p.348

お知らせ

- ｉスケジュール内の予定も予定一覧から同様に操作できますが、ｉスケジュール内の予定ではなく、コピーして自分で登録した予定として保存されます。
- 繰り返しの予定は、長期間の予定に修正して登録できません。繰り返しを解除してから修正してください。→p.351

予定をコピーする

登録済みの予定を、別の日付にコピーします。

1 待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「2スケジュール帳・目覚ましを使う」▶「1予定を見る・登録する」▶日付を選択▶(決定)を押す

2 コピーする予定を選択▶(メニュー)▶「6指定日にコピー」▶コピー先の日付を入力▶(決定)を押す

予定をコピーした旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとコピーした予定が予定一覧に表示されます。

- 西暦は下2桁を入力します。月、日が1桁のときは、前に0を付けます。

お知らせ

- ｉスケジュール内の予定は、同じ操作で指定日にコピーできません。

予定の繰り返しを設定する

習い事や会議など、定期的に行う予定に繰り返しの種類を設定することで、毎週や毎月の予定として表示することができます。

1 待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「2スケジュール帳・目覚ましを使う」▶「1予定を見る・登録する」▶日付を選択▶(決定)を押す

2 繰り返す予定を選択▶(メニュー)▶「7繰り返しを設定」を押す

繰り返しの種類の設定画面が表示されます。

3 「1毎日繰り返す」～「4毎年繰り返す」のいずれかを押す

繰り返し設定を設定した旨のメッセージが表示されます。

■ 曜日を指定して設定する場合：

① 「5曜日を指定する」▶「1日曜日」～「7土曜日」のうち、選択する項目の番号を押す

- □から☑に変わります。
- (決定)：曜日を選択／解除します。
- (メニュー)：すべての曜日を選択／解除します。

② (電話帳)を押す

■ 繰り返しの設定を解除する場合：「6繰り返さない」を押す

4 (決定)を押すまたは約5秒後に予定一覧に戻る

お知らせ

- 長期間の予定やｉスケジュール内の予定は、繰り返しを設定できません。

知られたくない予定を守る

他の人に見られたくない予定には、シークレット属性を設定します。シークレット属性を設定するには、FOMA端末をシークレットモードに設定する必要があります。〈シークレット属性設定／解除〉

1 **シークレットモードを設定する**

- 操作方法→p.124

2 **待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「2スケジュール帳・目覚ましを使う」▶「1予定を見る・登録する」▶日付を選択▶(決定)を押す**

3 **シークレット属性を設定する予定を選択▶(決定)▶(メニュー)▶「6シークレット属性設定」▶「1設定する」を押す**

シークレット属性を設定した旨のメッセージが表示されます。

■ **シークレット属性を解除する場合：シークレット属性を設定している予定を選択▶(決定)▶(メニュー)▶「6シークレット属性解除」▶「1解除する」を押す**

4 **(決定)を押すまたは約5秒後に詳細画面に戻る**

- 設定中は🔑が点滅します。

お知らせ

- シークレット属性を設定している予定は、シークレットモード中のみ表示できます。また、予定の通知もシークレットモード中のみ動作します。
- シークレットモード中に登録、変更した予定は、自動的にシークレット属性が設定されます。
- ｉスケジュール内の予定は、シークレット属性を設定できません。

予定の登録件数の確認

ｉスケジュールの登録件数、予定の登録件数、残り何件登録できるかの件数を表示します。シークレットモード中は、シークレット属性を設定している予定の件数も表示されます。〈登録件数確認〉

1 **待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「2スケジュール帳・目覚ましを使う」▶「2予定の登録件数を見る」を押す**

登録件数の確認画面が表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

予定の削除

不要な予定を削除します。

〈例〉予定を1件削除する

1 **待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「2スケジュール帳・目覚ましを使う」▶「1予定を見る・登録する」▶日付を選択▶(決定)を押す**

2 **削除する予定を選択▶(メニュー)▶「3削除する」を押す**

削除する予定の選択画面が表示されます。

3 **「1選択1件」を押す**

予定を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **選択した日付の予定をすべて削除する場合：「2選択1日」を押す**

■ **選択した日付より前の日付の予定をすべて削除する場合：「3選択日前日まで」を押す**

■ **すべての予定を削除する場合：「4全件」▶端末暗証番号を入力▶(決定)を押す**

4 「1削除する」を押す

予定を削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとカレンダー画面に戻ります。予定を削除した日付に他の予定がある場合や、「3選択日前日まで」を押した場合は予定一覧に戻ります。

- 「2選択1日」または「3選択日前日まで」を選択した場合、削除される予定に長期間の予定が含まれていると、長期間の予定が含まれる旨のメッセージが表示されます。「1長期間の予定も削除する」または「2長期間の予定は残して削除する」を押します。

iスケジュールを表示する

1件のiスケジュールには、複数の予定が含まれます（iスケジュール内の予定）。新しい予定をダウンロードしたり、ケータイデータお預かりサービスで保存したデータを更新・復元したりしたときに、iスケジュールが更新されます。

- iスケジュール内の予定は個別に削除できません。削除する場合はiスケジュールを削除します。

1 待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「2スケジュール帳・目覚ましを使う」▶「1予定を見る・登録する」▶日付を選択▶決定を押す

- 予定を登録していない場合は、予定を登録するかどうかの確認画面で「2指定日を見る」を押してください。

2 メニュー▶「9 iスケジュールを使う」を押す

iスケジュール一覧が表示されます。

- iスケジュールが登録されていない場合はiスケジュールの説明画面が表示されます。
- iスケジュールの説明画面でメニュー▶「1リストを確認」～「3申込みをする」のいずれかを押して「1接続する」を押すと、どのようなiスケジュールがあるのか（iスケジュールリスト）を確認したり、iスケジュールを使うための申し込みをしたりできます。

3 iスケジュール内の予定を表示するiスケジュールを選択▶電話帳を押す

iスケジュール内の予定一覧が表示されます。

■ **iスケジュールの概要を表示する場合：**
概要を表示するiスケジュールを選択▶決定を押す
iスケジュールの概要画面が表示されます。電話帳を押すとiスケジュール内の予定一覧が表示され、メニューを押すとiスケジュール一覧に戻ります。

■ **iスケジュールリストを確認する場合：**
「iスケジュールリストへ」▶「1接続する」を押す
iモードサイトに接続され、iスケジュールリストが表示されます。

4 iスケジュール内の予定を選択▶決定を押す

iスケジュール内の予定の詳細画面が表示されます。電話帳を押すとiスケジュール内の予定一覧に戻ります。

iスケジュールを削除する

iスケジュールを削除します。iスケジュールを削除すると、iスケジュール内の予定もすべて削除されます。iスケジュールは、iスケジュール内の予定だけを個別に削除することはできません。

〈例〉iスケジュールを1件削除する

1 待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「2スケジュール帳・目覚ましを使う」▶「1予定を見る・登録する」▶日付を選択▶決定を押す

2 メニュー▶「9 iスケジュールを使う」を押す

iスケジュール一覧が表示されます。

3 削除するiスケジュールを選択▶メニュー▶「1削除する」を押す

iスケジュールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **すべてのiスケジュールを削除する場合：メニュー▶「2全件削除する」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す**

4 「1削除する」を押す
ｉスケジュールを削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとｉスケジュールの説明画面が表示されます。他のｉスケジュールがある場合はｉスケジュール一覧に戻ります。

お知らせ

- ｉコンシェルからスケジュール帳を起動したときやｉスケジュールをダウンロードしたときに予定の最大登録件数を超える場合は、他の予定（スケジュール）を削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従って不要な予定またはｉスケジュールを削除してください。

通話時間を確認する

直前の通話時間と、積算の通話時間を確認します。

〈直前通話時間／積算通話時間〉

- 通話時間は、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 直前通話時間は、直前に行った電話またはデータ通信の通話時間が表示されます。
- 積算通話時間は、電話、データ通信に分けて表示されます。
- 以前に積算通話時間をリセット（→p.354）した場合は、リセット時から現在までの積算通話時間が表示されます。
- 表示される通話時間はあくまでも目安であり、実際の通話時間とは異なる場合があります。

1 待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「7情報の表示やリセットを行う」▶「1通話時間を見る」を押す
確認する項目の選択画面が表示されます。

2 「1直前の通話時間」または「2積算の通話時間」を押す
直前通話時間または積算通話時間の画面が表示されます。
- 決定を押すと操作1の画面に戻ります。

お知らせ

- 直前通話時間、積算通話時間が9999時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントされます。
- ｉモード通信、パケット通信の通信時間はカウントされません。
- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。

積算通話時間リセット

電話またはデータ通信の積算時間をリセットします。

1 待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「7情報の表示やリセットを行う」▶「3通話時間をリセットする」を押す
端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力▶決定を押す
リセットする項目の選択画面が表示されます。

3 「1電話」～「3全ての通話」のいずれかを押す
積算時間をリセットするかどうかの確認画面が表示されます。

4 「1リセットする」を押す
積算時間をリセットした旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

通話料金を確認する

直前の通話料金と、積算の通話料金を確認します。

〈直前通話料金／積算通話料金〉

- 通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などにかけた場合は、直前通話料金に「0円」または「******」が表示されます。
- 直前通話料金は、電話、データ通信に分けて表示されます。
- 積算通話料金は、電話、データ通信を合わせて表示されます。
- 通話料金はドコモUIMカードに蓄積されるため、ドコモUIMカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算）が表示されます。
- 以前に積算通話料金をリセット（→p.355）した場合は、リセット時から現在までの積算通話料金が表示されます。
- 表示される通話料金はあくまでも目安であり、実際の通話料金とは異なる場合があります。また、表示される通話料金に消費税は含まれていません。

1 待受画面で メニュー ▶「＊設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「7 情報の表示やリセットを行う」▶「2 通話料金を見る」を押す

確認する項目の選択画面が表示されます。

2 「1 直前の通話料金」または「2 積算の通話料金」を押す

直前通話料金または積算通話料金の画面が表示されます。

- 決定 を押すと操作1の画面に戻ります。

お知らせ

- ｉモード通信、パケット通信の通信料金はカウントされません。ｉモード利用料などの確認方法については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- FOMA端末の電源を入れ直した場合、相手が応答しなかった場合、着信した場合は、直前通話料金に「******」が表示されます。
- WORLD CALL利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。

積算通話料金リセット

電話、データ通信の積算料金をリセットします。

1 待受画面で メニュー ▶「＊設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「7 情報の表示やリセットを行う」▶「4 通話料金をリセットする」を押す

PIN2コード入力画面が表示されます。

2 PIN2コードを入力 ▶ 決定 を押す

PIN2コードが認識された旨のメッセージが表示されます。

3 決定 または約5秒後 ▶「1 リセットする」を押す

積算通話料金をリセットした旨のメッセージが表示されます。決定 を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

電卓を使う

電卓を使って+、−、×、÷の計算をします。

1 待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「1電卓を使う」を押す

電卓画面には、操作に使用するボタンの位置と機能が表示されます。

2 計算する

- 次のボタンを押して操作ができます。
  0〜9：数字を入力します。
  ／／／：+／−／×／÷を入力します。
  決定：=を入力します（計算の実行）。
  ＊：小数点を入力します。
  ＃：入力した数字の+と−を切り替えます。
  電話帳：最後に入力した数字を一桁削除します。
  メニュー：入力した数字や計算結果を削除します。

〈例〉18+30=を計算する

1	8	+	3	0	=	48
1	8		3	0	決定	

お知らせ

- 計算結果の整数部分が8桁を超えたり、0で除算したりするとエラーとなり、「E」と表示されます。小数点を含む数値が8桁を超える場合は、表示に収まらない小数部分が四捨五入されて表示されます。

辞書を使う

国語／和英／英和辞書を使って用語の意味などを調べることができます。

1 待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「3辞書を使う」▶「1国語辞典を使う」〜「3英和辞典を使う」のいずれかを押す

用語の入力画面が表示されます。

2 検索する用語を入力▶決定を押す

検索結果一覧が表示されます。

- 全角16文字、半角32文字以内で入力します。ただし英和辞典の場合は半角英字入力モードのみでの入力となります。

3 調べたい用語を選択▶決定を押す

詳細画面（用語の意味など）が表示されます。

■ **入力し直す場合：検索結果一覧で電話帳を押す**

操作2に戻ります。

■ **詳細画面の内容をコピーする場合：メニューを押す**

- 以降の操作は「文字のコピー／切り取り／貼り付け」操作3以降をご覧ください。→p.372

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

外部接続端子にステレオイヤホンマイク 01（別売）などを接続すると、スイッチを押して電話をかけたり受けたりすることができます。

- スイッチを押して電話をかけるには、イヤホンスイッチ設定を設定する必要があります。→p.357
- ステレオイヤホンマイク 01などのコードをFOMA端末に巻き付けたりアンテナ部分に近づけたりしないでください。電波の受信レベルが低下したり雑音が入ったりする場合があります。
- ステレオイヤホンマイク 01などのプラグは、確実に差し込んでください。差し込みが不十分な状態では、音が聞こえない場合があります。
- 外部接続端子用イヤホン変換アダプタ01（別売）を利用すると、平型ステレオイヤホンセットP01（別売）などを接続できます。→p.422

スイッチ付イヤホンマイクの接続

- イヤホンのご利用について→p.21

1　外部接続端子の端子キャップを開け、ステレオイヤホンマイク 01の接続プラグを差し込む

イヤホンスイッチ動作の設定

ステレオイヤホンマイク 01（別売）のスイッチで電話を発信できるように設定します。〈イヤホンスイッチ設定〉

1　待受画面で(メニュー)▶「[*]設定を行う」▶「[#]その他の設定を行う」▶「[4]電話・電話帳の詳細を設定する」▶「[5]イヤホンを設定する」▶「[2]イヤホンスイッチの動作を設定する」を押す

イヤホン接続時の動作の設定画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

[1] **イヤホンスイッチ動作**：スイッチを押して電話を発信するかどうかを設定します。

[2] **発信先**：電話を発信する相手を電話帳から選んで設定します。

2　「[1]イヤホンスイッチ動作」▶「[1]発信する」を押す

電話帳の検索画面が表示されます。

■ **スイッチを押して電話を発信しない場合：「[1]イヤホンスイッチ動作」▶「[2]発信しない」を押す**

操作4に進みます。

3　電話帳を検索▶発信する相手を選択▶(決定)を押す

操作1の画面に戻ります。

- 検索方法→p.84

4　(電話帳)を押す

イヤホン接続時の動作を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 発信先に設定した電話帳に電話番号を2件以上登録している場合は、1件目に登録している電話番号に電話がかかります。
- 発信先に設定した電話帳を削除したり他の電話帳で上書きしたりすると、設定は解除されます。

スイッチを使った電話のかけかた／受けかた

イヤホンスイッチで電話をかける

ステレオイヤホンマイク 01（別売）のスイッチで電話をかけます。

1 **ピピッと音がするまでスイッチを1秒以上押す**

イヤホンスイッチ設定の発信先に指定した電話番号に電話がかかります。

- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに通信状態が表示されます。

2 **お話しが終わったら、ピッと音がするまでスイッチを1秒以上押す**

イヤホンスイッチで電話を受ける

ステレオイヤホンマイク 01（別売）のスイッチで電話を受けます。

1 **電話がかかってきたら、ピピッと音がするまでスイッチを1秒以上押す**

電話がつながります。

- イヤホン切替設定（→p.359）に従って着信音が鳴ります。
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに通信状態が表示されます。

2 **お話しが終わったら、ピッと音がするまでスイッチを1秒以上押す**

通話中に別の電話を受ける

キャッチホンをご利用中は、ステレオイヤホンマイク 01（別売）のスイッチで通話中にかかってきた電話を受けることができます。

1 **通話中に電話がかかってくる**

通話中着信音（→p.67）が聞こえます。

2 **ピピッと音がするまでスイッチを1秒以上押す**

キャッチホン中（マルチ接続）の画面が表示されます。

最初の相手との通話が保留になり、後からかかってきた電話を受けます。

- 通話中に電話帳またはスイッチを1秒以上押すと、通話の相手を切り替えます。

お知らせ

- ステレオイヤホンマイク 01を接続中は、FOMA端末を閉じても電話は切れません。
- マルチ接続中に通話中の相手を保留にしてスイッチを1秒以上押すと、通話の相手が切り替わらず表示中の相手との通話が切断されますのでご注意ください。

イヤホンをつないで自動で電話を受ける

ステレオイヤホンマイク 01（別売）などを接続しているときに着信があった場合、設定した応答時間になると自動的に応答します。電話を受けたとき、接続したイヤホンなどから音声が聞こえます。〈オート着信設定〉

- 通話中の着信に対しては、本機能は動作しません。

1 **待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「4電話・電話帳の詳細を設定する」▶「5イヤホンを設定する」▶「1イヤホン接続時の着信動作を選ぶ」を押す**

イヤホン使用中の着信方法設定画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **応答方法**：自動と手動のどちらで接続するかを設定します。
2 **応答時間**：着信から自動で応答するまでの時間を設定します。

2 **「1応答方法」▶「2自動で応答する」を押す**

応答時間の設定画面が表示されます。

■ **手動で応答する場合：「1応答方法」▶「1手動で応答する」を押す**
操作4に進みます。

3 **時間を入力▶決定を押す**

操作1の画面に戻ります。

- 応答時間の秒数を0〜120秒の間で入力します。

4 **電話帳を押す**

イヤホン使用中は自動で応答する／手動で応答するに設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 本機能と無音着信時間設定（→p.131）を同時に設定している場合、無音着信時間を本機能の応答時間以上に設定すると、本機能は動作しません。

イヤホンだけから着信音を鳴らす

ステレオイヤホンマイク 01（別売）などを接続したときに、着信音や目覚まし音などをイヤホンとスピーカーの両方から鳴らすか、イヤホンのみから鳴らすかを設定します。〈イヤホン切替設定〉

1 **待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「5音を設定する」▶「3イヤホン利用時の切替を選ぶ」を押す**

着信音の鳴る所の選択画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **イヤホンとスピーカー**：イヤホンとスピーカーの両方から鳴らします。
2 **イヤホンと20秒後にスピーカー**：イヤホンから鳴った後、約20秒経過するとスピーカーからも鳴らします。
3 **イヤホンのみ**：イヤホンからのみ鳴らします。

2 **「1イヤホンとスピーカー」〜「3イヤホンのみ」のいずれかを押す**

イヤホンの切替を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

集音器を使う

周囲の声や音が聞こえにくいときに、FOMA端末のマイクから集音してイヤホンで聞くことができます。音量を調節することもできます。

- イヤホンをFOMA端末に接続していない状態では、本機能を利用できません。
- FOMA端末に対応したイヤホンをご利用ください。→p.422

1 イヤホンをFOMA端末に接続する

- 接続方法→p.357

2 待受画面で(メニュー)▶「#集音器を使う」を押す

集音器画面が表示され、イヤホンから声や音が聞こえます。

- 約60秒間イヤホンの接続がないと、本機能は終了します。

■ **音量を調節する場合：集音器画面表示中に(メール)(iα)(+)(−)のいずれか▶(メール)(iα)(←)(→)または(+)(−)を押して音量を調節▶(決定)を押す**

- 本機能終了後、設定は保持されません。

■ **集音器を停止する場合：(戻る)を押す**

メニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 本機能を起動してからFOMA端末を閉じても利用できます。ただし、開閉ロックを設定中にFOMA端末を閉じると、本機能は終了し開閉ロックが起動します。
- 本機能を利用中に電話がかかってきたり、エリアメールを受信したり、目覚ましや予定の通知の時刻になると、本機能は終了します。
- 音量を大きくしすぎないようにご注意ください。
- 大音量で長時間続けて聞かないようにしてください。

ドコモコミュニティについて

「ドコモコミュニティ」とは、家族や友達と写真や日記を共有できるコミュニケーションサービスです。たとえば、旅行の写真を家族で共有したり、趣味の日記を友達に見せて楽しむことができます。

- ドコモコミュニティのご利用には、ｉモードからのお申し込みが必要です。
- 月額使用料は無料です。ただし、ご利用には別途パケット通信料が必要です。
- 利用頻度や利用方法などにより、パケット通信料が高額になる場合がありますので、ｉモードパケット定額サービスをご利用ください。
- アクセス制限サービスをご利用の方はご利用いただけません。
- ドコモコミュニティの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- お申し込みについては、ｉモードサイトをご覧ください。

アクセス方法（2012年2月現在）
待受画面で(iα)▶「1 ｉMenuを見る」▶「メニューリスト」▶「ドコモコミュニティ」

サイトアクセス用QRコード

※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

1 待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「8ドコモコミュニティを使う」を押す

2 「1初めてのかたはこちら」～「3日記を書く」のいずれかを押す

■ **ドコモコミュニティの説明を見る場合：「1初めてのかたはこちら」を押す**

ドコモコミュニティの説明が表示されます。(電話帳)を押すとメニュー画面に戻ります。

■ ドコモコミュニティに登録する場合：「2ドコモコミュニティサイトを見る」を押す

画面の案内に従って登録を行ってください。登録が完了すると、次回からドコモコミュニティのホームページが表示されるようになります。

■ ドコモコミュニティに日記を書く場合：「3日記を書く」▶決定を押す

メール作成画面が表示されます。本文に日記を書いて送信するだけで、ドコモコミュニティサイトに日記を登録できます。

- 宛先にはドコモコミュニティサイトへのメールアドレスが自動的に入力されています。変更しないでください。
- ｉモードメールの作成・送信・画像などの添付方法→p.152、p.156、p.166

つながりほっとサポートについて

「つながりほっとサポート」とは、あらかじめ指定した相手に、携帯電話の利用記録をお知らせすることができるサービスです。また、利用記録に連動したキャラクターとともにご自身の利用記録を確認したりすることができます。

今日の利用記録

歩数　618歩
ｹｰﾀｲ開閉　5回
ｶﾒﾗ撮影　7枚
つながりから過去の利用記録を参照できます

- つながりほっとサポートはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。
- つながりほっとサポート契約中は待受画面に（黒）が表示されます。契約中に利用記録を停止すると（グレー）が表示されます。
- つながりセンター（つながりほっとサポートのサーバ）に自動的に歩数、ケータイ開閉回数、カメラ撮影、電池残量が記録されます。つながりセンターと通信中は通信中が点滅します。
- つながりほっとサポートの詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

1 **待受画面でメニュー▶「6つながりほっとサポートを使う」を押す**

- つながりほっとサポートを契約していない場合は、サイトに接続するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1今日の利用記録を見る」～「3利用記録を停止／再開する」のいずれかを押す**

■ 今日の携帯電話の利用記録を確認する場合：「1今日の利用記録を見る」を押す

今日の利用記録が表示されます。

- 利用記録として電池残量は表示されません。
- 利用記録画面で電話帳を押すと、過去の利用記録を見ることができます（つながりセンターに接続されます）。

■ つながりセンターに接続する場合：「2つながりセンターに接続する」を押す

画面の案内に従って目的の操作を行ってください。ご利用には別途パケット通信料がかかります。

■ 利用記録を停止／再開する場合：「3利用記録を停止／再開する」▶「1停止する」または「2再開する」を押す

利用記録を停止／再開した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

利用記録が一定の数値になると

待受画面にキャラクターとメッセージが表示されます。

4/15(金)17:10
今日はケータイを
よく使っていますね。
決定で記録を
確認できます。

- 戻る/iチャネルまたはを押すと、表示が消去されます。

お知らせ

- 利用記録を停止しても、つながりほっとサポートの契約は継続されます。
- 電源を切った状態など、つながりセンターと通信できない状態で93日間が経過すると、過去の利用記録が削除されます。

文字入力／音声入力

文字入力をする

音声入力をする

「区点コード一覧」については、ドコモのホームページ上の「区点コード一覧」をご覧ください。

文字入力について

文字を入力する方法を説明します。

- 文字には「全角文字」と「半角文字」があります。全角文字は、半角文字2文字分にカウントされます。

○：入力可　ー：入力文字なし

	全角	半角
ひらがな／漢字、絵文字	○	ー
カタカナ、英字、数字、記号	○	○

- 入力できる漢字はJIS第一水準漢字と第二水準漢字の6355文字です。
- 複雑な漢字は変形または省略して表示されます。

文字入力画面

文字の入力画面には、インライン入力と、全画面入力の2種類があります。

インライン入力

画面を切り替えずに入力欄にカーソルを合わせて、文字を直接入力します。

〈例〉日付時刻設定の時刻欄に文字を入力する

<入力欄を選択した状態>　<文字を入力した状態>

全画面入力

入力欄を選択したときに全画面で表示される入力エリアで、文字を入力します。

〈例〉メールの本文入力画面に文字を入力する

① **入力モード**
　現在の入力モードを示します。

② **入力可能な文字数**

③ **カーソル（点滅）**
　文字が入力または挿入される位置を示します。
　で移動できます。

④ **ガイド行**

文字入力のガイド表示について

ガイド行の右側に「ガイド」が表示されている画面で（電話帳）を押すと、ガイド画面が表示されます。

<SMSの本文入力画面のガイド画面>

- （電話帳）を押すと元の画面に戻ります。
- ガイド画面では、入力文字の切り替え、大文字／小文字の切り替え、音声文字入力、1つ前の文字に戻す、改行の操作を画像で説明します。
- ガイド画面は、操作する画面により表示が異なります。

文字入力画面のサブメニュー

文字入力画面で(メニュー)を押すと表示されるサブメニュー（→p.33）から、次の操作ができます。

サブメニュー	説　明	参照先
1絵文字・記号	絵文字や記号を一覧から入力します。	p.369
2デコレーション	メール作成時に、メール本文を装飾します。	p.161
3かんたんデコメ	メール作成時に、自動的に絵文字などを挿入したり、メール本文を装飾します。	p.370
4声で文字を入力	メール作成時に、音声で文字を入力します。	p.374
5定型文を貼付け	定型文を一覧から入力します。	p.371
6署名を挿入する	メール作成時に、署名を挿入します。	p.156
7編集を取り消す	編集を取り消して元の画面に戻り、文字入力を終了します。	―
8コピー切り取り	文字をコピーまたは切り取ります。	p.372
9文字を貼付け	コピーまたは切り取った文字を貼り付けます。	p.372
01つ編集を戻す	直前の操作を1回分取り消して、文字列を操作前の状態に戻します。	―
*電話帳を呼出す	電話帳の内容を引用して入力します。	p.374
#入力位置を移動	移動先を選択する画面が表示され、カーソルを文頭または文末に移動します。	―

※ ひらがな／漢字入力モードでは、文字が確定するまでサブメニューを表示できません。

入力モードの切り替え

入力する文字の種類に合わせて入力モードを切り替えます。

1　文字入力画面で([ )▶「1漢字かな」～「4数字」のいずれかを押す

選択したモードにより、次のような画面が表示されます。

入力モード

<ひらがな／漢字>

<半角カタカナ>

英字
本文　残10000

<半角英字>

数字
本文　残10000

<半角数字>

- 文字入力画面によっては、選択できない入力モードがあります。
- 漢字が入力できない場合は「1全角かな」、半角カタカナが入力できない場合は「2全角カナ」が選択できます。画面にはそれぞれ **全角かな**、**全角カナ** が表示されます。
- 全角英字や全角数字は、ひらがな／漢字入力モードで読みを入力して変換します。

文字を入力する

文字は、ダイヤルボタンを押して入力します。1つのボタンに割り当てられた複数の文字を、ボタンを押す回数で文字を切り替えて入力します。

- 文字の割り当てについては「ダイヤルボタンの文字割り当て一覧」をご覧ください。→p.401

〈例〉電話帳の登録で「六本木」と入力する

1 待受画面で（メニュー）▶「1 電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「4 電話帳に登録する」を押す

漢字かな と表示されます。

2 「ろっぽんぎ」と入力する

電話帳登録
名前を
入力してください
ろっぽんぎ

「ろ」：（9）を5回押します。
「っ」：（4）を3回押して（使い方）を押します。
「ぽ」：（6）を5回押して（＊）を2回押します。
「ん」：（0）を3回押します。
「ぎ」：（2）を2回押して（＊）を押します。

- ボタンを押し間違えたときは（戻る）を押して取り消します。

■ **同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力する場合：**
最初の文字を入力した後に（→）を押してカーソルを右に移動させ、次の文字を入力します。

■ **別のボタンに割り当てられている文字を続けて入力する場合：**
続けて別のボタンを押すと、カーソルは自動的に移動して文字が入力されます。

■ **文字に濁点、半濁点を付ける場合：**
文字を入力して（＊）を押します。
〈例〉「ほ」を入力して（＊）を押すと、押すたびに「ぼ」→「ぽ」→「ほ」→…と切り替わります。

- 濁点、半濁点が付けられない文字と半角文字の場合は、「゛」「゜」が別の1文字として入力されます。

■ **大文字と小文字を切り替える場合：**
文字を入力して（使い方）を押します。英字を入力するときも同様に操作します。
〈例〉「あ」を入力して（使い方）を押すと、押すたびに「ぁ」→「あ」→…と切り替わります。
同じボタンを複数回押しても、大文字と小文字が切り替えられます。
〈例〉「あ」を入力して（1）を押すと、押すたびに「い」→「う」→「え」→「お」→「ぁ」→「ぃ」→「ぅ」→「ぇ」→「ぉ」→「1」→「あ」→…と切り替わります。

- 切り替えが可能な文字については「ダイヤルボタンの文字割り当て一覧」（→p.401）をご覧ください。

■ **入力中に1つ前の文字に切り替える場合：**
文字入力中に（＃）を押すと、押すたびにボタンに割り当てられている1つ前の文字に切り替わります。
〈例〉「あ」を入力して（＃）を押すと、押すたびに「1」→「ぉ」→「ぇ」→「ぅ」→「ぃ」→「ぁ」→「お」→「え」→「う」→「い」→「あ」→…と切り替わります。

3 （電話帳）を押す

- 候補選択リスト（→p.368）が表示されていない場合は（変換）を押しても変換されます。
- （戻る）：変換した後に押すと、変換前の状態に戻ります。

■ **ひらがなのまま確定する場合：**
ひらがなを入力した状態で（決定）を押します。

■ カタカナ、英字、数字、日付、時刻に変換する場合：

ひらがなを入力した状態で[メニュー]を押し、表示された一覧から選択します。

■ 変換候補一覧から選択する場合：

[電話帳]を押しても目的の文字が表示されないときは、[メール][iα]または[電話帳]を押し、表示された変換候補一覧から選択します。

変換候補の番号／変換候補の件数

ろっぽ… (2/10)
1 六本木
2 ろっぽんぎ
3 ロッポンギ
4 ﾛｯﾎﾟﾝｷﾞ
5 ＲＯＰＰＯＮ…
6 Ｒｏｐｐｏｎ…
7 ｒｏｐｐｏｎ…
8 ROPPONGI

＜変換候補一覧＞

4 [決定]を押す

文字が確定します。[決定]を押すと文字入力が終了して、フリガナの入力画面が表示されます。

■ 文字列を1つ前の状態に戻す場合：

[メニュー]▶「[0]1つ編集を戻す」を押します。

- 直前に入力したり、削除したりした操作を取り消して元の状態に戻します。ただし、かんたんデコメを利用して絵文字を挿入したり、装飾した文字列は元に戻せません。
- 最大で10回前の状態まで戻せます。

■ 改行する場合：

改行する位置にカーソルを移動して[#]を押します。

- 改行した位置には「↵」（改行マーク）が表示されます。改行マークは全角1文字分にカウントされます。
- 入力欄によっては改行できない場合があります。

文字の修正

文字入力中や入力確定後に文字の挿入や削除をします。

1 文字入力画面で[メール][iα][◁][▷]を押して修正位置にカーソルを移動する

■ 文字を挿入する場合：

文字を入力します。入力した文字はカーソル位置に挿入されます。

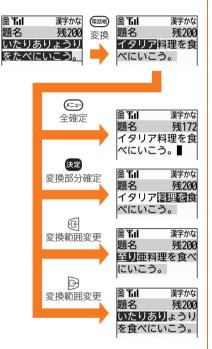
■ 文字を削除する場合：

カーソルが文中にあるとき

（例：六本木、六本木）

- [戻る]を押すと、カーソル位置の1文字を削除します。また、カーソルが文字と文字の間にある場合は、カーソルの右の1文字が削除されます。
- [戻る]を1秒以上押すと、カーソル位置の文字とそれ以降の文字をすべて削除します。

カーソルが文末にあるとき

（例：六本木▋）

- [戻る]を押すと、カーソルの左の1文字を削除します。
- [戻る]を1秒以上押すと、すべての入力文字を削除します。

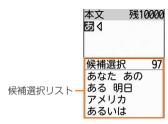
複数の文節を一括変換するには

複数の文節を一括変換して、文章を簡単に入力できます。

- 全角で最大24文字まで一括して変換できます。

〈例〉「イタリア料理を食べにいこう。」と入力する

お知らせ

- ひらがな／漢字入力モードで読みを入力して、顔文字などに変換できます。読みと文字の対応→p.416「顔文字読み上げ一覧」
- 入力文字の末尾にカーソルがある場合、[→]を押すと空白が入力できます。

入力予測機能

入力予測機能は、文字を入力したときに、読みの先頭部分が一致する単語を候補選択リストに表示させたり、選択した単語に続く候補を予測する機能です。候補選択リストには、一度入力した単語が自動的に予測辞書データとして登録されるため、次に同じ内容を入力するときには、先頭の文字を入力するだけですばやく入力できます。

- 標準搭載の単語の他に、次の単語や文字列が候補として表示されます。
  - 過去に入力した単語
  - 単語登録した文字列
- デコメ絵文字®は、お買い上げ時に登録されている画像のみ候補として表示されます。
- 入力予測機能は、主に次の画面のひらがな／漢字入力モードで利用できます。
  - メール作成時の題名入力画面と本文入力画面（メール例文、テンプレート編集画面含む）
  - 署名登録画面
  - メモの作成画面
  - 予定の内容入力画面
  - 定型文編集画面
- 候補選択リストに予測辞書データとして登録されたデータをリセットして、お買い上げ時の状態に戻せます。→p.136
- 入力予測機能を無効にして、候補選択リストを表示しないように設定できます。→p.374
- 音声入力メールのソフトで、音声で入力した文字を変換したときに表示される候補選択リストでは動作しません。

〈例〉候補選択リストから「明日」を選択して入力する

1 **メール本文入力画面で「あ」を入力する**

- 入力文字が増えるたびに候補が変わります。
- 決定：ひらがなのまま確定します。
- メニュー：カタカナ、英字、数字、日付、時刻に変換する一覧を表示します。

2 **iα▶候補から「明日」を選択▶決定を押す**

候補の順番／候補の件数

- 入力した文字列によっては、次に続く文字列の候補が選択できます。
  たとえば、「おはよう」と入力し文字を確定すると、候補選択リストには「ございます」などの文字列の候補が表示されます。続けて入力するときは、候補を選択してください。
- 候補選択リストに目的の単語の候補がない場合は、電話帳を押すと候補選択リストが消え、続けて✉ iαまたは電話帳を押すと変換候補一覧から選択できます。

3 **「閉じる」を選択▶決定を押す**

文字が確定します。決定を押すとメール作成画面に戻ります。

絵文字・記号・定型文を入力する

絵文字・記号の入力

絵文字一覧や記号一覧からデコメ絵文字®や絵文字、記号を選択して入力します。

- デコメ絵文字®は、メール本文入力画面、メール例文やテンプレート本文編集画面で入力できます。

1 **文字入力画面でメニュー▶「1絵文字・記号」を押す**

入力する項目を選択する画面が表示されます。

■ **絵文字や記号の読みで入力する場合：文字入力画面で絵文字または記号の読みを入力▶iα▶絵文字または記号を選択▶決定を押す**

絵文字または記号が挿入されます。

- メール本文入力画面ではiαを押した後にメニューを押すと、デコメ絵文字®や絵文字のみ候補選択リストに表示されます。
- 絵文字の読みについて→p.402

2 **「1デコメ絵文字」～「3記号」のいずれかを押す**

絵文字一覧または記号一覧が表示されます。

<デコメ絵文字®の入力の場合>

① **選択中の絵文字の意味**
② **入力履歴欄**

- 最近入力したものから順に、デコメ絵文字®は最大14文字、絵文字または記号は最大16文字表示されます。絵文字一覧と記号一覧の半角記号、全角記号の最初のページに表示されます。

- 絵文字または記号が入力できる場合のみ選択できます。

・文字入力画面で(【)▶「5デコメ絵文字」～「7記号」のいずれかを押しても入力できます。入力後は(戻る)を押すと、文字入力画面に戻ります。

3 一覧から選択▶(決定)を押す

絵文字または記号が挿入されます。

・入力履歴欄からも文字を選択できます。
・(メニュー)／(電話帳)：前後のページを表示できます。記号一覧の場合、半角記号と全角記号を切り替えられます。

お知らせ

・(【)▶「5デコメ絵文字」～「7記号」のいずれかを押して絵文字や記号を入力する場合、一覧から連続して入力することができます。また、入力履歴欄には最大14文字表示されます。
・(メニュー)▶「1絵文字・記号」▶「3記号」を押して記号を入力した場合、次のかっこの左側（例：｛）を選択すると、右側のかっこ（例：｝）も自動的に入力されます。
  - 半角記号：( )　[ ]　{ }　｢ ｣
  - 全角記号：（ ）〔 〕［ ］｛ ｝〈 〉《 》「 」『 』【 】
・赤外線通信などでデータ転送を行った際、絵文字や記号は正しく表示されなかったり、デコメ絵文字は削除される場合があります。

自動的に絵文字を挿入する

メール本文入力中に絵文字を選択することなく、文章から予測して自動的に絵文字やデコメ®ピクチャを挿入したり、文字や背景を装飾します。〈かんたんデコメ〉

1 メール本文入力画面で(メニュー)▶「3かんたんデコメ」を押す

自動的に絵文字の挿入や、文字や背景が装飾された文章がプレビュー表示されます。

・(電話帳)を押すと、次の候補を表示します。
・(戻る)を押すと、メール本文入力画面に戻ります。
・メールアドレスの途中に絵文字が挿入された場合は、(電話帳)を押して絵文字が途中に挿入されていない候補に切り替えてください。
・メール本文入力画面で(【)▶「8かんたんデコメ」を押しても、同様に操作できます。

2 (決定)を押す

変更内容を本文に上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

■ 文字や背景の装飾を変更する場合：

① **(メニュー)▶「1装飾する」または「2装飾しない」を押す**

文字の色や大きさ、背景色などを変更した文章がプレビュー表示されます。

・(電話帳)を押すと、次の候補を表示します。
・(戻る)を押すと、メール本文入力画面に戻ります。
・本機能終了後も装飾の設定は保持されます。

② **(決定)を押す**

3 「1上書きする」を押す

絵文字の挿入や装飾された内容で、メール本文入力画面に戻ります。

お知らせ

・文字や背景の装飾は、メール本文入力画面、メール例文やテンプレート本文編集画面で利用できます。

定型文の入力

あらかじめ登録されている定型文や、自分で登録した定型文を呼び出して入力します。

1 **文字入力画面で(メニュー)▶「5定型文を貼付け」を押す**

定型文が登録されているフォルダ一覧が表示されます。

定型文一覧
挨拶・連絡
ビジネス
絵文字入り
顔文字
文例集
ｱﾄﾞﾚｽ･ﾃﾞｰﾀ形式
ユーザ作成

- 定型文が入力できる場合のみ選択できます。
- 文字入力画面で(▶「9定型文」を押しても、定型文一覧が表示されます。

2 **フォルダを選択▶決定を押す**

挨拶・連絡
1/29件
OKです。
NGです。
おはようござい…
こんにちは。
こんばんは。
おやすみなさい。
ご無沙汰してお…

定型文の番号／定型文の件数

3 **一覧から選択▶決定▶決定を押す**

定型文が挿入されます。

- 定型文を入力したとき、編集中の文章が入力可能な文字数を超える場合は、貼り付けるかどうかの確認画面が表示され、「1貼り付ける」を押すと入力可能な文字数以降は削除されます。ただし、メール本文入力画面では、これ以上入力できない旨のメッセージが表示され、決定を押すか、約5秒たつとメール本文入力画面に戻ります。

お知らせ

- 顔文字は「かお」または「かおもじ」と入力するか、読みを入力しても変換できます。→p.416

定型文を登録／編集する

定型文を新しく登録したり、お買い上げ時に登録されている定型文を編集して新しい定型文として登録したりできます。〈定型文登録〉

- 登録した定型文は「ユーザ作成」フォルダに登録されます。
- 最大50件登録できます。

1 **待受画面で(メニュー)▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「3文字入力の設定を行う」▶「3よく使う定型文を登録する」を押す**

定型文が登録されているフォルダ一覧が表示されます。

2 **「ユーザ作成」フォルダを選択▶決定▶「〈新しい定型文〉」を選択▶決定を押す**

定型文編集画面が表示されます。

■ **登録済みの定型文を編集して登録する場合：**

① **使用したい定型文が登録されているフォルダを選択▶決定▶利用したい定型文を選択▶決定を押す**

定型文が表示されます。

② **決定を押す**

3 **定型文を入力▶決定を押す**

定型文を登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと定型文一覧に戻ります。

- 全角64文字、半角128文字以内で入力します。

定型文を削除する

「ユーザ作成」フォルダに登録されている定型文を削除します。

1 待受画面でメニュー▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「3文字入力の設定を行う」▶「3よく使う定型文を登録する」を押す

定型文が登録されているフォルダ一覧が表示されます。

2 「ユーザ作成」フォルダを選択▶決定▶削除する定型文を選択▶メニューを押す

定型文を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- 削除する定型文を選択し決定を押すと、登録内容が確認できます。そのままメニューを押しても同様に削除できます。

3 「1削除する」を押す

定型文を削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと定型文一覧に戻ります。

文字のコピー／切り取り／貼り付け

入力済みの文字を選択してコピーまたは切り取りを行い、コピーまたは切り取った文字を別の場所に貼り付けます。別の文字入力画面に貼り付けることもできます。

- コピーまたは切り取った文字は、新たにコピーまたは切り取りを行うか、電源を切るまで記録され、何度でも貼り付けられます。

1 文字入力画面でメニュー▶「8コピー切り取り」を押す

入力文字の操作を選択する画面が表示されます。

2 「1コピー」または「2切り取り」を押す

3 コピーまたは切り取り開始位置を選択▶決定を押す

- メニュー：全文を選択します。

4 コピーまたは切り取り終了位置を選択▶決定▶決定を押すまたは約5秒後に文字入力画面に戻る

- メニュー／電話帳：カーソルを文頭／文末に移動します。

5 文字入力画面で貼り付ける位置を選択▶メニュー▶「9文字を貼付け」を押す

文字がカーソル位置に挿入されます。

- 貼り付けを行ったとき、編集中の文章が入力可能な文字数を超える場合は、貼り付けるかどうかの確認画面が表示され、「1貼り付ける」を押すと入力可能な文字数以降は削除されます。ただし、メール本文入力画面で、入力可能な文字数を超える場合、文字を貼り付けることができません。

お知らせ

- コピーまたは切り取った文字種と、貼り付け先の文字種が適合しているときのみ、貼り付けられます。たとえば、メールアドレス欄の場合は半角英数字しか入力できないため、ひらがなや漢字などの文字は貼り付けられません。
- 改行が入力できない入力画面に、「↵」（改行マーク）を含んだ文字列を貼り付けた場合は、半角空白に置き換えられます。

区点コードで入力する

区点コード一覧にある文字、数字、記号を4桁の区点コードを使って入力します。〈区点コード入力〉

- 区点コード一覧については、ドコモのホームページ上のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。

〈例〉「携」（区点コード2340）を入力する

1 文字入力画面で文字▶「0区点コード」を押す

区点コード入力画面が表示されます。

2 区点コード（2 3 4 0）を入力▶決定を押す

「携」が入力されます。

よく使う単語を登録する

よく使う単語を好きな読みで登録し、登録した読みを入力して変換できるようにします。〈単語登録〉

- 最大50件登録できます。

1 待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「＃その他の設定を行う」▶「3文字入力の設定を行う」▶「2よく使う単語を登録する」を押す

登録されている単語の件数と、登録できる件数が表示されます。

2 決定を押す

単語を登録するときに選択します。

登録済みの単語

- 読みの50音順に並びます。

行の先頭を示すマーク

新規登録
あ ありがとう
Internet
か

3 「新規登録」を選択▶決定を押す

単語の入力画面が表示されます。

■ 登録済みの単語を編集する場合：**編集する単語を選択▶電話帳を押す**

4 単語を入力▶決定を押す

単語の読みを入力する画面が表示されます。

- 全角12文字、半角24文字以内で入力します。

5 読みを入力▶決定を押す

単語を登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと単語の一覧に戻ります。

- 8文字以内で入力します。
- 入力した文字の末尾や文字と文字の間に空白を入力すると、空白は登録後に削除されます。

単語を削除する

登録した単語を削除します。

1 待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「＃その他の設定を行う」▶「3文字入力の設定を行う」▶「2よく使う単語を登録する」▶決定を押す

登録した単語の一覧が表示されます。

2 削除する単語を選択▶メニュー▶「2削除する」を押す

選択した単語を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- 削除する単語を選択し決定を押すと、登録内容が確認できます。そのままメニューを押しても同様に操作できます。

3 「1削除する」を押す

単語を削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと単語の一覧に戻ります。

お知らせ

- 単語と読みは必ず入力してください。
- 読みには、ひらがなと長音（ー）、濁点（゛）、半濁点（゜）の文字のみ登録できます。ただし、次の文字を先頭に入力すると、登録できません。
  - を、ん、ぁ、ぃ、ぅ、ぇ、ぉ、っ、ゃ、ゅ、ょ、ゎ、長音、濁点、半濁点
- 単語と読みの組み合わせが同じ単語が登録されている場合は、登録できません。
- 単語登録したユーザ辞書データをリセットして、お買い上げ時の状態に戻せます。→p.136

電話帳を引用して入力する

電話帳の登録内容を引用して入力することができます。

- 電話帳登録の文字入力画面では、本機能を使用できません。

1 **文字入力画面で(メニュー)▶「*電話帳を呼出す」を押す**

電話帳の検索画面が表示されます。

2 **電話帳を検索▶引用する相手を選択▶決定を押す**

項目一覧
携帯花子
03XXXXXXXX
090XXXXXXXX
docomo.taro.ΔΔ…
docomo-ΔΔ-taro…
挿入する項目を
選んでください

- 検索方法→p.84

3 **引用する内容を選択▶決定を押す**

選択した内容が挿入されます。

お知らせ

- 入力画面によっては、選択した内容が挿入されない場合があります。

入力予測機能を使う／使わない

文字を入力するときに、入力予測機能を使用するかどうかを設定します。

- 入力予測機能について→p.368

1 **待受画面で(メニュー)▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「3文字入力の設定を行う」▶「1文字の入力方法を設定する」を押す**

入力予測を有効にするかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1有効にする」または「2無効にする」を押す**

入力予測機能を有効／無効にした旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

音声で文字を入力する

音声を文字に変換してメールを作成します。

- 音声入力メールはお申し込みが必要な有料サービスです。初めて音声入力メールをご契約された日から30日間はサービスを無料でご利用いただけます（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。音声入力メールの利用料とは別にパケット通信料がかかります。詳細については、ドコモのｉモードサイトをご覧ください。
- メールの題名入力画面と本文入力画面（メール例文、テンプレート編集画面含む）、SMSの本文入力画面のみ有効です。
- 音声入力メールのソフトで文字を変換したときに表示される候補選択リストと通常の文字入力で表示される候補選択リストでは、表示される内容が異なります。
- 次の場合は、音声を認識しないことがあります。
  - 周囲の雑音が大きい場合
  - 発声が明瞭でない場合
  - 発声が中断された場合
  - 発声の前後に咳払いをしたり、雑音を出したりした場合
  - ボタンを押したり、こすったりした場合
- ステレオイヤホンマイク 01（別売）などの使用時はマイク部分を口に近づけて発声してください。

〈例〉メール本文に音声で「お元気ですか？」と入力する

1 **メール本文入力画面で[カメラ]を押す**

通信を開始するかどうかの確認画面が表示されます。

- 前回起動時に通信を開始するかどうかの確認画面で「[2]はい（以降非表示）」を押した場合は、確認画面は表示されません。操作3に進みます。

2 **「[1]はい」または「[2]はい（以降非表示）」を押す**

[決定]ボタンを押し
発信音や
振動の後に
お話しください。
準備はいいですか
音声入力を
開始する
*ご利用にはﾊﾟｹｯﾄ
料金がかかります

<音声入力前画面>

3 **[決定]を押す**

音声受付中画面が表示され、音が鳴り、バイブレータが振動します。

4 **「お元気ですか？」と発声する**

音声入力中画面が表示されます。

音声入力中

測定した声量をバーで示しています。

[決定] 入力終了

<音声入力中画面>

音声を入力した後は音が鳴り、バイブレータが振動して、音声入力メールサーバと通信します。数秒で音声が文字に変換され、候補選択リストが表示されます。

- 読み上げの動作を「自動で読み上げ」に設定している場合、音は鳴りません。なお、マナーモード中には音は鳴りません。公共モード（ドライブモード）中には音は鳴らず、バイブレータも動作しません。

■ **音声入力を中断する場合：音声入力中画面で[メニュー]を押す**

音声入力前画面に戻ります。

- 中断するタイミングによっては、確認画面が表示される場合があります。[決定]を押すと音声入力前画面に戻ります。
- 入力する文章は、30秒以内で発声してください。

5 **変換された文字を確認する**

候補選択 3
お オ
（候補なし）
[決定] 文章を確定

■ **候補選択リストから選択して入力する場合：[iアプリ]▶候補を選択▶[決定]を押す**

- 文節が複数ある場合は操作を繰り返します。
- 候補選択リストの「（候補なし）」を選択し、[音声]を押すと「カッココウホナシ」と読み上げます。「（候補なし）」を選択すると、カーソルで選択されている文字が削除されます。

■ **ボタンで文字を追加する場合：カーソルを挿入位置に移動▶[メニュー]▶[決定]を押す**

- 通常の文字入力の入力方法に切り替わります。

■ **再入力する場合：[電話帳]▶「[1]音声で再入力」を押す**

- 「音声で再入力」を選択したときは、変換された文字を消去して操作2の音声入力前画面に戻ります。「編集に戻る」を選択したときは、元の画面に戻ります。

6 **決定を押す**

本文　残9986
お元気ですか？
左右ボタンで挿入箇所を選択
1音声で追加する
2ﾎﾞﾀﾝで編集する
3本文を確定する

1 **音声で追加する**：続けて、音声で文字を入力します。
2 **ボタンで編集する**：ボタン入力に切り替えて文字を入力します。
3 **本文を確定する**：メール本文の入力を確定します。

7 **「3本文を確定する」を押す**

音声入力メールで入力した文章が確定され、メール本文入力画面に戻ります。

- ｉモードメールの作成・送信方法→p.152、p.156

■ **続けて音声で入力する場合：カーソルを挿入位置に移動▶「1音声で追加する」を押す**

操作2の音声入力前画面に戻り、続けて音声を入力します。

■ **ボタンで文字を入力する場合：「2ボタンで編集する」を押す**

通常の文字入力の入力方法に切り替わります。決定を押すと、元の画面に戻ります。

お知らせ

- メールの題名入力画面、メール本文入力画面、SMSの本文入力画面でメニュー▶「4声で文字を入力」を押しても、同様に音声入力ができます。

音声入力メールのソフトを最新にする

ソフトが更新されている場合は最新にできます。

- 音声入力メールご利用時にソフトを最新にするかどうかの確認画面が表示されたときは、「1最新にする」を押すと、最新のソフトに更新されます。
- 音声入力メールのソフトを最新にする場合はパケット通信料がかかりません。

1 **待受画面でメニュー▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「7情報の表示やリセットを行う」▶「9音声入力メールのソフトを最新にする」を押す**

最新にするかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1最新にする」を押す**

携帯電話の情報を利用し、ダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。

- ソフトが最新の場合は、最新である旨のメッセージが表示されます。決定を押すと、メニュー画面に戻ります。

3 **「1ダウンロードする」を押す**

ダウンロード中画面が表示されます。ダウンロードが完了すると、ダウンロードが完了した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとソフトを最新にする画面に戻ります。

ネットワークサービス

利用できるネットワークサービス

• FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名	申し込み	月額使用料	サービス名	申し込み	月額使用料
留守番電話サービス	必要	有料	英語ガイダンス	不要	無料
電源OFF・圏外時着信お知らせサービス	不要	無料	声の宅配便※1	不要	無料
キャッチホン	必要	有料	公共モード（ドライブモード）※2	不要	無料
転送でんわサービス	必要	無料	公共モード（電源OFF）※2	不要	無料
迷惑電話ストップサービス	不要	無料	メロディコール※3	必要	有料
番号通知お願いサービス	不要	無料			

※1 声の宅配便→p.61　※2 公共モード→p.73　※3 メロディコール→p.107

• サービスエリア外や電波の届かない所ではネットワークサービスはご利用できません。
•「サービス停止」とは、留守番電話サービスや転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。
• お申し込み、お問い合わせについては取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
• **本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。**

留守番電話サービス

電波の届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メッセージは1件あたり約3分間、20件まで録音でき、最大72時間保存されます。
- 伝言メモ（→p.75）を同時に設定しているとき、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの呼出時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスを開始に設定しているときに、かかってきた電話に応答しなかった場合は、着信履歴に不在着信として記録され、待受画面に新着情報（→p.25）と が表示されます。
- 本FOMA端末はテレビ電話の留守番電話サービスに対応しておりません。「1412」へ発信し、「非対応」に設定してください。

留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1：サービスを開始に設定する
ステップ2：電話をかけてきた相手が伝言を録音する
急いでいる時など早く伝言メッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れている間に # を押すと、応答メッセージを省略してすぐに録音できるようになります。
ステップ3：伝言メッセージを再生する

1 **待受画面で（メニュー）▶「＊設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「1留守番サービスを使う」を押す**
メニュー画面が表示されます。

2 **メニュー項目を選択して操作する**

■ **メッセージを再生する場合**：「1留守番メッセージを再生する」▶「1再生する」▶音声ガイダンスに従って操作する
- 新しい伝言メッセージがあると、待受画面に留守番（）長押しが表示された後、留守番電話件数が増加した旨のメッセージが表示され、着信音（着信音1）が鳴ります。

■ **メッセージを問い合わせる場合**：「2メッセージがあるか問い合わせる」▶「1問い合わせる」▶（決定）を押す
- 新しい伝言メッセージがあると、待受画面に留守番（）長押しが表示されます。

■ **開始する場合**：「3留守番サービスを開始する」▶「1開始する」▶「1設定する」▶呼出時間を入力▶（決定）▶（決定）を押す

■ **停止する場合**：「4留守番サービスを停止する」▶「1停止する」▶（決定）を押す

■ **音声ガイダンスを聞きながら設定する場合**：「5留守番サービスの詳細を設定する」▶「1設定する」▶音声ガイダンスに従って操作する

■ **呼出時間を設定する場合**：「6留守番呼出時間を設定する」▶「1設定する」▶呼出時間を入力▶（決定）▶（決定）を押す

■ **設定を確認する場合**：「7留守番サービスの設定を確認する」▶「1確認する」▶（決定）を押す
- 設定確認画面で設定を変更するには、（メニュー）▶「1留守番電話開始」～「3呼出時間の設定」のいずれかを押します。

お知らせ

- 留守番電話サービスの呼出時間は0～120秒の間で入力します。呼出時間を0秒に設定すると、着信履歴には記録されません。

電源OFF・圏外時着信お知らせサービス

電源が入っていないときや圏外にいたときの着信を、電源が入った後や圏内になったときにSMSで通知します。〈着信通知〉

1 **待受画面で（メニュー）▶「＊設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「1留守番サービスを使う」▶「8着信通知を使う」**
メニュー画面が表示されます。

2 メニュー項目を選択して操作する

■ 開始する場合：「1着信通知を開始する」▶「1開始する」▶「1発番号ありのみ」または「2全ての着信」▶決定を押す
- 「1発番号ありのみ」：発信者番号通知の着信のみ通知します。
- 「2全ての着信」：すべての着信を通知します。

■ 停止する場合：「2着信通知を停止する」▶「1停止する」▶決定を押す

■ 設定を確認する場合：「3着信通知の設定を確認する」▶「1確認する」▶決定を押す

キャッチホン

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができます。また、通話中の電話を保留にして、別の相手へ電話をかけることもできます。

- キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ通話中着信動作選択（→p.383）を「通常着信する」に設定してください。他の設定では、キャッチホンを開始にしても通話中にかかってきた電話に応答できません。

1 待受画面でメニュー▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「2キャッチホンを使う」を押す

メニュー画面が表示されます。

2 メニュー項目を選択して操作する

■ 開始する場合：「1キャッチホンを開始する」▶「1開始する」▶決定を押す

■ 停止する場合：「2キャッチホンを停止する」▶「1停止する」▶決定を押す

■ 設定を確認する場合：「3キャッチホンの設定を確認する」▶「1確認する」▶決定を押す

キャッチホン中の操作

キャッチホン中には次の操作が行えます。

通話中の着信に応答する

現在の通話を保留にして、かかってきた電話に応答します。

1 通話中着信音が聞こえたら (を押す

あとからかかってきた相手と通話できます。
- キャッチホン中、保留相手がいるときは「マルチ接続」と表示されます。

■ 通話相手を切り替える場合：電話帳を押す

切り替わった相手と通話できます。
- 押すたびに通話相手が切り替わります。

■ 現在の通話を切断して応答する場合：

① 通話中着信音が聞こえたら ― を押す

現在の通話が切断され、かかってきた電話の着信画面が表示されます。

② (を押す

あとからかかってきた相手と通話できます。

通話中に発信する

通話中に別の相手に電話をかけます。

1 通話中に電話番号を入力▶ (を押す

ダイヤル入力した相手に電話がかかります。

お知らせ

- 通話中に発信する相手を、電話帳から選択する場合はメニュー▶「1電話帳を見る」を、着信履歴の場合はメニュー▶「2着信履歴を見る」を、リダイヤルの場合はメニュー▶「3リダイヤルを見る」を押します。
- 通話中に発信する相手として声の宅配便へのリダイヤルを選択した場合、発信方法の選択画面が表示されます。電話をかける場合は「2通常発信」を、声の宅配便で再度かける場合は「1声の宅配便」を押します。

転送でんわサービス

電波の届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、かかってきた電話を転送するサービスです。

- 伝言メモ（→p.75）を同時に設定しているとき、転送でんわサービスを優先させるためには、伝言メモの呼出時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
- 転送でんわサービスを開始に設定しているときに、かかってきた電話に応答しなかった場合は、着信履歴に不在着信として記録され、待受画面に新着情報（→p.25）とが表示されます。

転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1：転送でんわサービスを開始に設定する
ステップ2：転送先の電話番号を登録する
ステップ3：お客様のFOMA端末に電話がかかる
ステップ4：電話に出ないと自動的に指定した転送先に転送される

1 **待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「3転送サービスを使う」を押す**
メニュー画面が表示されます。

2 **メニュー項目を選択して操作する**
- **開始する場合**：「1転送サービスを開始する」▶「1開始する」▶「1設定する」▶転送先電話番号を入力▶決定▶「1設定する」▶呼出時間を入力▶決定▶決定を押す
- **停止する場合**：「2転送サービスを停止する」▶「1停止する」▶決定を押す
- **転送先を変更する場合**：「3転送先を変更する」▶転送先電話番号を入力▶決定▶「1設定する」▶決定を押す
- **転送先が通話中に留守番電話サービスで応対する場合**：「4転送先が通話時の設定をする」▶「1接続する」▶決定を押す
- **設定を確認する場合**：「5転送サービスの設定を確認する」▶「1確認する」▶決定を押す

お知らせ

- 電話番号入力画面で、電話帳から選択する場合は電話帳▶「1電話帳を参照」を、着信履歴の場合は電話帳▶「2着信履歴を参照」を、リダイヤルの場合は電話帳▶「3リダイヤルを参照」を押します。
- 転送でんわサービスの呼出時間は0～120秒の間で入力します。呼出時間を0秒に設定すると、着信履歴には記録されません。

ガイダンスの有無の設定

電話転送中を知らせるガイダンスを流すかを設定します。

1 **待受画面で1 4 2 9▶通話▶音声ガイダンスに従って操作する**

迷惑電話ストップサービス

いたずら電話などの迷惑電話を着信しないように拒否するサービスです。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

- 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。着信履歴にも記録されません。

1 **待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「4迷惑電話ストップを使う」を押す**
メニュー画面が表示されます。

2 **メニュー項目を選択して操作する**
- **最後に応答した電話番号を登録する場合**：「1迷惑電話着信拒否を登録する」▶「1登録する」▶決定を押す
  - 通話していない不在着信などは登録の対象になりません。
- **電話番号を指定して登録する場合**：「2着信拒否する番号を登録する」▶「1登録する」▶電話番号を入力▶決定▶「1登録する」▶決定を押す
- **全件削除する場合**：「3迷惑電話登録を全件削除する」▶「1削除する」▶決定を押す

■ 1件削除する場合：「4迷惑電話登録を1件削除する」▶「1削除する」▶決定を押す

- 最後に登録した電話番号が1件削除されます。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除することができます。

■ 登録件数を確認する場合：「5拒否登録件数を確認する」▶「1確認する」▶決定を押す

お知らせ

- 着信拒否登録が30件を超えるときは、古い登録を削除して登録するかの確認画面が表示されます。「1登録する」▶決定▶決定を押すと古いものから順に削除されます。
- 電話番号入力画面で、電話帳から選択する場合は電話帳▶「1電話帳を参照」を、着信履歴の場合は電話帳▶「2着信履歴を参照」を、リダイヤルの場合は電話帳▶「3リダイヤルを参照」を押します。

番号通知お願いサービス

電話番号を通知してこない電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答します。ガイダンス応答後は自動的に電話を終了します。

- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、着信履歴に記録されず、待受画面に新着情報は表示されません。

1 待受画面でメニュー▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「5番号通知お願いサービスを使う」を押す

メニュー画面が表示されます。

2 メニュー項目を選択して操作する

■ 開始する場合：「1番号通知お願いサービスを開始する」▶「1開始する」▶決定を押す

■ 停止する場合：「2番号通知お願いサービスを停止する」▶「1停止する」▶決定を押す

■ 設定を確認する場合：「3番号通知お願いサービスを確認する」▶「1確認する」▶決定を押す

英語ガイダンス

留守番電話サービスなどの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

- 発信側・受信側ともに本サービスを利用している場合、発信側の発信時設定が着信側の着信時設定より優先されます。

1 待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「8その他のサービスを使う」▶「2英語ガイダンスを使う」を押す

メニュー画面が表示されます。

2 メニュー項目を選択して操作する

■ ガイダンスを設定する場合：「1ガイダンスを設定する」▶「1設定する」▶「1日本語」または「2英語」▶「1設定する」▶「1日本語」～「3英語＋日本語」のいずれか▶決定を押す

- 発信時に自分が聞くガイダンスの言語を設定後に、着信時に相手が聞くガイダンスの言語を設定します。

■ ガイダンス設定を確認する場合：「2ガイダンスの設定を確認する」▶「1確認する」▶決定を押す

ドコモへのお問い合わせ

らくらくホンセンターや故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

- お使いのドコモUIMカードによっては、表示や動作が異なる場合があります。
- 本FOMA端末は海外では利用できません。

1 待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「8その他のサービスを使う」▶「4ドコモへのお問い合わせはこちら」を押す

メニュー画面が表示されます。

2 メニュー項目を選択して操作する

■ らくらくホンセンターに電話する場合：「1らくらくホンセンターに電話する」▶「1電話する」を押す

- らくらくホンセンターについて→p.35

■ ドコモ故障お問い合わせに電話する場合：「2ドコモ故障問合せ窓口に電話する」▶「1電話する」を押す

■ 海外で紛失・盗難等お問い合わせに電話する場合：「3海外紛失窓口に電話する」▶「1電話する」を押す

■ 海外で故障お問い合わせに電話する場合：「4海外故障窓口に電話する」▶「1電話する」を押す

通話中着信設定

通話中の着信動作選択の設定を開始／停止したり、設定内容を確認したりします。

1 待受画面で(メニュー)▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「6通話中着信設定を使う」を押す

メニュー画面が表示されます。

2 メニュー項目を選択して操作する

- 開始する場合：「1通話中着信設定を開始する」▶「1開始する」▶決定を押す
- 停止する場合：「2通話中着信設定を停止する」▶「1停止する」▶決定を押す
- 設定を確認する場合：「3通話中着信設定を確認する」▶「1確認する」▶決定を押す

通話中の着信動作選択

留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンをご契約されているお客様の通話中にかかってきた電話または64Kデータ通信にどのように対応するかを設定できます。

- 留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンが未契約の場合は、通話中の着信に応答できません。
- 通話中着信動作選択を利用する場合は、あらかじめ通話中着信設定を開始に設定してください。なお、キャッチホン開始中は通話中着信設定を開始にする必要はありません。

1 待受画面で(メニュー)▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「7通話中着信動作を選ぶ」を押す

メニュー画面が表示されます。

2 メニュー項目を選択して操作する

- 通常着信する場合：「1通常着信する」▶決定を押すまたは約5秒後にメニュー画面に戻る
  - キャッチホン開始中はキャッチホンが動作し、停止中は現在の通話を終了して着信に応答できます。また、通話中の着信時はサブメニューから対応を選択できます。→p.67
- 留守番電話で応答する場合：「2留守番電話」▶決定を押すまたは約5秒後にメニュー画面に戻る
  - 通話中の着信は留守番電話サービスに接続されます。
- 転送する場合：「3電話を転送する」▶決定を押すまたは約5秒後にメニュー画面に戻る
  - 通話中の着信は、あらかじめ登録している転送先に転送されます。ただし、64Kデータ通信中に64Kデータ通信を着信した場合は転送されません。
- 拒否する場合：「4電話を拒否する」▶決定を押すまたは約5秒後にメニュー画面に戻る
  - 通話中の着信はすべて拒否されます。

遠隔操作設定

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

1 待受画面で(メニュー)▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「8その他のサービスを使う」▶「1遠隔操作設定を使う」を押す

メニュー画面が表示されます。

2 メニュー項目を選択して操作する

- 開始する場合：「1遠隔操作を開始する」▶「1開始する」▶決定を押す
- 停止する場合：「2遠隔操作を停止する」▶「1停止する」▶決定を押す
- 設定を確認する場合：「3遠隔操作の設定を確認する」▶「1確認する」▶決定を押す

パソコン接続

データ通信の詳細については、ドコモのホームページ上の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

データ通信

FOMA端末とパソコンを接続して利用できる通信形態は、データ転送（OBEX™通信）、パケット通信、64Kデータ通信に分類されます。

- パソコンと接続してパケット通信や64Kデータ通信を行ったり、電話帳などのデータを編集したりするには、ドコモのホームページからソフトをダウンロードし、インストールや各種設定を行う必要があります。
- FOMA端末は、FAX通信やRemote Wakeupには対応しておりません。
- ドコモのPDAのsigmarionⅢと接続してデータ通信が行えます。ただし、ハイスピードエリア対応の高速通信には対応しておりません。

データ転送（OBEX™通信）

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02
microSDカード→p.315
ドコモケータイdatalink→p.388

パケット通信

インターネットに接続してデータ通信（パケット通信）を行います。
送受信したデータ量に応じて課金されるため、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないため、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uなど、FOMAパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大7.2Mbps、送信最大384kbpsの高速パケット通信ができます。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です。
画像を含むホームページの閲覧やデータのダウンロードなど、データ量の多い通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

※ FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するとき、またはドコモのPDAのsigmarionⅢなどHIGH-SPEEDに対応していない機器をご利用の場合、通信速度が遅くなることがあります。

※ 受信最大7.2Mbps、送信最大384kbpsとは技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。

64Kデータ通信

インターネットに接続して64Kデータ通信を行います。
データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるため、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適しています。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uなど、FOMA64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDN同期64Kアクセスポイントを利用できます。
長時間通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

ご利用になる前に

動作環境

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は、次のとおりです。パソコンのシステム構成により異なる場合があります。

項　目	必要環境
パソコン本体	USBポート（USB仕様1.1／2.0に準拠）を持つPC/AT互換機 ディスプレイ解像度800×600ドット以上、High Color16ビット以上を推奨
OS（各日本語版）	Windows XP Windows Vista Windows 7
必要メモリ	Windows XP：128MB以上 Windows Vista：512MB以上 Windows 7：32ビット版 1GB以上、64ビット版 2GB以上
ハードディスク容量	5MB以上の空き容量

- 動作環境の最新情報については、ドコモホームページをご覧ください。
- OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用について、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に、次の機器およびソフトウェアが必要です。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）
- FOMA通信設定ファイル（ドライバ）※

※ ドコモのホームページからダウンロードしてください。

お知らせ

- パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため利用できません。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料について

パソコンでインターネットを利用する場合、ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）の利用料が必要です。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。詳細はご利用のプロバイダにお問い合わせください。

- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uがご利用いただけます。mopera Uは、お申し込みが必要な有料サービスです。

接続先（プロバイダなど）について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- moperaのサービス内容および接続設定方法については、moperaのホームページをご覧ください。

http://www.mopera.net/mopera/index.html

パケット通信および64Kデータ通信の条件

通信を行うには、次の条件が必要です。

- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA64Kデータ通信またはISDN同期64Kに対応していること

※ 上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状態が悪かったりするときは通信できない場合があります。

データ転送を行うには

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）をご利用になる場合には、FOMA通信設定ファイル（ドライバ）をインストールしてください。

ドコモのホームページからFOMA通信設定ファイル（ドライバ）をダウンロードし、インストールする

▼

データ転送

データ通信を行うには

パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。

① ドコモのホームページからFOMA通信設定ファイル（ドライバ）をダウンロードし、インストールする

▼

② パソコンとFOMA端末を接続する

▼

③ FOMA通信設定ファイル（ドライバ）を確認する

▼

ドコモのホームページからドコモ コネクションマネージャをダウンロードし、インストールする

▼

ドコモ コネクションマネージャでデータ通信の設定をする

ドコモ コネクションマネージャを利用しない通信を設定する

▼

通信を実行する

ドコモ コネクションマネージャの紹介

ドコモ コネクションマネージャは、ドコモのデータ通信を行うのに便利なソフトウェアです。お客様のご契約状況に応じたパソコンの設定を簡単に行うことができます。
また、料金カウンタ機能でデータ通信量や利用金額の目安を確認することもできます。
詳しくは、ドコモホームページをご覧ください。
http://www.nttdocomo.co.jp/support/utilization/application/service/connection_manager/

ドコモケータイdatalinkの紹介

ドコモケータイdatalinkは、お客様の携帯電話の電話帳やメールなどをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しております。詳細およびダウンロードは下記サイトのページをご覧ください。
http://datalink.nttdocomo.co.jp/

- ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、あらかじめFOMA通信設定ファイル（ドライバ）をインストールしておく必要があります。

ダウンロード方法、転送可能なデータ、動作環境、インストール方法、操作方法などの詳細については、上記ホームページをご覧ください。
また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。
なお、ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、別途USBケーブルが必要となります。

付録／困ったときには

外部機器との連携

困ったときには

メニュー一覧

- オレンジ色の文字は、各種設定リセットを行うとお買い上げ時の状態に戻るメニューです。
- 音声でメニューの説明を聞くことができます。→p.143

メニュー				お買い上げ時	参照先
1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う	1電話してきた相手を見る			—	p.59
	2電話をかけた相手を見る			—	p.59
	3電話帳の内容を見る			50音順検索	p.84
	4電話帳に登録する			—	p.81
	5伝言メモ・通話メモを使う	1伝言メモを再生する		—	p.76
		2伝言メモを開始／停止する		停止する	p.75
		3伝言メモを設定する	1伝言メモ呼出時間を設定する	13秒	p.75
			2伝言メモの応答メッセージを選ぶ	標準	p.76
		4通話音声メモを再生する		—	p.71
		5通話音声メモを開始／停止する		開始する	p.70
	6声の宅配便を使う	1メッセージを届ける		—	p.62
		2メッセージを再生する		—	p.62
		3声の宅配便の設定を行う		—	p.63
	7電話帳のグループを設定する	1グループ名を変更する		—	p.90
		2グループ専用電話着信音を選ぶ		[グループ1～30] 着信音設定：専用設定なし	p.91
		3グループ専用メール着信音を選ぶ		[グループ1～30] 着信音設定：専用設定なし	p.91
	8自分の電話番号を見る			—	p.53
	9電話帳の登録件数を見る			—	p.92
	0電話帳の文字の大きさを変更する			標準の大きさ	p.88
2メールを使う	1受信したメールを見る			—	p.174 p.200
	2メールを作る			—	p.152 p.156
	3例文を使ってメールを作る			—	p.159
	4未送信のメールを見る			—	p.170
	5送信したメールを見る			—	p.170
	6メールがあるか問い合わせる	1メール･メッセージを受信する		—	p.174
		2メール選択受信を行う		—	p.173
		3問い合わせ内容を選ぶ		すべて選択	p.174
	7メールアドレスを確認・変更する			—	p.152

メニュー					お買い上げ時	参照先
	8メールを設定する	1メールに付ける署名を設定する			自動挿入：挿入する 署名登録：―	p.186
		2例文・テンプレートを確認・編集する			―	p.160
		3メール選択受信を設定する			利用しない	p.173
		4メール返信引用を設定する			返信引用：引用しない 引用文字：>	p.187
		5らくらく返信を設定する			利用する	p.187
		6らくらく返信の本文を編集する			了解しました。 今から帰ります。 後で連絡します。 遅くなります。 ありがとうございます。 ごめんなさい。	p.187
		7メールの振り分けを設定する			[自動振分け設定] 受信メール、送信メール：振り分ける [受信振分け条件、送信振分け条件] ―	p.184
		8受信する添付種別を選ぶ			すべて選択	p.188
		9添付のメロディを自動演奏する			自動演奏する	p.188
		0未読メッセージを自動で表示する			メッセージR優先	p.190
		＊エリアメールを設定する	1エリアメールの利用を設定する		利用する	p.194
			2ブザーを鳴らす時間を設定する		10秒	p.195
			3マナー／公共モード時動作を設定する		鳴らす	p.195
			4着信音を確認する		[緊急地震速報、災害・避難情報] ―	p.195
			5その他の設定をする	1エリアメールの受信登録を設定する	―	p.195
	9SMSを使う	1SMSを作る			―	p.196
		2届いているSMSを受信する			―	p.200
		3SMSを設定する			送信文字種：日本語 送達通知：要求しない 有効期間：3日 SMSC：ドコモ アドレス：81903101652 Type of Number：international	p.205
		4ドコモUIMカードの受信SMSを見る			―	p.203
		5ドコモUIMカードの送信SMSを見る			―	p.203
	0メールを送受信した人を見る	1最近送信した人を見る			―	p.210
		2最近受信した人を見る			―	p.210

メニュー			お買い上げ時	参照先
3写真・ビデオを撮る・見る	1写真を撮影する		—	p.252
	2写真・画像を見る		—	p.294
	3ビデオを撮影する		—	p.256
	4ビデオを見る　録音音声を聞く		—	p.300
	5手書きメモを撮る		—	p.256
	6バーコードを読み取る		—	p.264
	7音声コードを読み取る		—	p.266
	8音声コードを再生する		—	p.267
4ｉモードを使う	1ｉMenuを見る		—	p.216
	2ブックマークを見る		—	p.223
	3最後に表示したサイトを見る		—	p.218
	4インターネットに接続する	1URLを入力して接続する	http://	p.221
		2サイトの入力履歴から接続する	—	p.222
	5画面メモを見る		—	p.226
	6簡易接続を見る・登録する		—	p.224
	7ｉモードを設定する	1文字の大きさを選ぶ	標準の大きさ	p.233
		2画像表示･照明を設定する	画像：表示する 照明設定：常に点灯 効果音設定、アニメーション：再生する 端末情報利用：利用する	p.233
		3ｉモーションの再生を設定する	自動再生する	p.242
		4接続先番号を設定する	ｉモード	p.235
		5証明書の表示と使用を設定する※1	すべて有効	p.236
		6ユーザ証明書を操作する	—	p.236
		7証明書の発行先を変更する	接続先：ドコモ	p.237
		8ｉモードボタンを設定する	ｉモードメニュー表示	p.234
	8メッセージを見る	1メッセージRを見る	—	p.190
		2メッセージFを見る	—	p.190
		3メール･メッセージを受信する	—	p.174
	9ｉチャネルを見る		—	p.243
	0ｉチャネルを設定する	1ｉチャネルの表示を設定する	表示設定：表示する 表示速度：標準速度で表示	p.244
		2ｉチャネルボタンを設定する	利用する	p.244
		3ｉチャネル更新通知を設定する	表示する	p.245
		4ｉチャネルを初期化する	—	p.245
	＊ｉアプリの一覧を見る		—	p.272

メニュー			お買い上げ時	参照先
5便利なツールを使う	1電卓を使う		―	p.356
	2スケジュール帳･目覚ましを使う	1予定を見る・登録する	―	p.348
		2予定の登録件数を見る	―	p.352
		3目覚ましを使う	―	p.346
		4通知の時刻に電源を入れる	入れない	p.345
	3辞書を使う	1国語辞典を使う	―	p.356
		2和英辞典を使う	―	p.356
		3英和辞典を使う	―	p.356
	4メモを使う		―	p.277
	5お知らせタイマーを使う		3分	p.346
	6ボイスレコーダを使う		―	p.335
	7赤外線を使う	1赤外線で受信する	―	p.333
		2赤外線で全件受信する	―	p.334
		3赤外線で全件送信する	―	p.332
	8ドコモコミュニティを使う	1初めてのかたはこちら	―	p.360
		2ドコモコミュニティサイトを見る	―	p.360
		3日記を書く	―	p.360
	9拡大鏡を使う		―	p.255
	0使いかたガイドを使う		―	p.36
	*microSDカードを使う	1電話帳の保存をお知らせする	通知する	p.99
		2microSDカードにデータを保存する	―	p.320
		3microSDカードのデータを復元する	―	p.320
		4microSDカードの内容を見る	―	p.319 p.324
		5microSDカードの情報を更新する	―	p.319
		6microSDカードを初期化する	―	p.318
		7microSDカードをチェックする	―	p.319
		8microSDカードをパソコンで操作する※2	データ通信	p.329
	#トルカを使う		―	p.287
6つながりほっとサポートを使う	1今日の利用記録を見る		―	p.361
	2つながりセンターに接続する		―	p.361
	3利用記録を停止／再開する		―	p.361
7ｉコンシェルを使う			―	p.246
8ｉアプリを使う	1ｉアプリの一覧を見る		―	p.272
	2ｉアプリを設定する	1ｉアプリの音量を設定する	音量4	p.105
		2起動するｉアプリを設定する	外部機器接続：設定なし	p.274
		3ｉアプリ待受画面を設定する	ｉアプリ待受画面：設定なし	p.279
		4ｉアプリ自動起動を設定する	無効にする	p.278
	3ｉアプリの履歴を表示する		[自動起動失敗履歴、異常終了履歴、セキュリティエラー履歴] ―	p.273 p.279 p.280

メニュー				お買い上げ時	参照先
9歩数・活動量計を使う	1一日の歩数･活動量を見る※3			—	p.340
	2歩数･活動量のグラフを見る※3			—	p.340
	3歩数･活動量の履歴を見る※3			—	p.341
	4運動の強さを測定する			—	p.341
	5自動送信メールを設定する			送信先アドレス：設定なし 健康応援サービス：利用しない	p.342
	6歩数・活動量の履歴を削除する			—	p.341
	7今日の履歴を削除する			—	p.341
	8歩数・活動量計を設定する			利用する（身長：160cm　体重：50kg）	p.339
0自分の電話番号を見る				—	p.53
＊設定を行う	1画面の設定を行う	1待受画面の表示を設定する		画像を表示（歳時記）	p.110
		2待受画面の時計を設定する		待受時計表示：大きく表示 表示形式：24時間形式 表示位置：上部に表示	p.116
		3メニュー形式と配色を設定する		メニュー形式：リスト 画面の配色：青	p.113
		4画面の明るさを設定する		自動で調整	p.114
		5背面画面の表示を設定する	1背面画面の時計表示を設定する	読上ボタンで切替	p.112
			2着信時の表示を設定する	表示する	p.112
			3背面画面の点灯を設定する	点灯しない	p.113
		6待受画像配信元を設定する		メールの題名：— メールアドレス1～3：設定なし	p.111
		7マチキャラを設定する		表示設定：表示する マチキャラ：ひつじのしつじくん（執事コース）	p.114
		8マチキャラの一覧を見る		—	p.311
		9通知画面の閉じ方を選ぶ		自動で閉じる	p.34
		0ｉコンシェル情報表示を設定する		表示する	p.247
	2電話着信時の設定を行う	1電話着信時の着信音を選ぶ		着信音設定：鳴らす 着信音：着信音1	p.102
		2電話着信時の音量を調節する		呼出音量：音量4 自動音量設定：大きくする	p.104
		3電話着信時の振動を選ぶ		振動させない	p.106
		4ダイヤル／決定ボタンで着信を受ける		応答しない	p.67
		5本体を開いて着信を受ける		応答しない	p.67

メニュー			お買い上げ時	参照先
3 メール・メッセージの受信設定を行う	1 メール・メッセージ受信時の音を選ぶ	1 メール受信時の音を選ぶ	メール着信音設定：鳴らす 着信音：着信音2 鳴らす時間：10秒	p.103
		2 メッセージ受信時の音を選ぶ	[メッセージR、メッセージF] 着信音設定：鳴らす 着信音：着信音2 鳴らす時間：10秒	p.103
		3 SMS受信時の音を選ぶ	SMS着信音設定：鳴らす 着信音：着信音2 鳴らす時間：10秒	p.103
	2 メール・メッセージ受信音量を調節する		音量4	p.105
	3 メール・メッセージ受信時の振動を選ぶ	1 メール受信時の振動を選ぶ	振動させない	p.106
		2 メッセージ受信時の振動を選ぶ	[メッセージR、メッセージF] 振動させない	p.106
4 iコンシェルの受信設定を行う	1 iコンシェル受信時の音を選ぶ		着信音設定：鳴らす 着信音：雲の音 鳴らす時間：10秒	p.103
	2 iコンシェル受信音量を調節する		音量4	p.105
	3 iコンシェル受信時の振動を選ぶ		振動パターン：振動させない マナーモード時：振動させる	p.106
5 相手の声の音量を調節する			音量4	p.105
6 ボタンを押した時の音を設定する			鳴らす	p.107
7 音声読み上げを使う	1 音声読み上げを設定する		動作：なし 声質：女声 速さ：2 音量：4	p.142
	2 音声読み上げの単語を登録する		―	p.148
	3 音声読み上げの送出先を選ぶ		スピーカー	p.143
	4 マナーモード中に読み上げを使う		読み上げる	p.143
8 音声で呼び出す機能を登録する			―	p.140
9 時計を設定する	1 日付と時刻を設定する		自動で設定する	p.50
	2 待受画面の時計を設定する		待受時計表示：大きく表示 表示形式：24時間形式 表示位置：上部に表示	p.116
	3 背面画面の時計表示を設定する		読上ボタンで切替	p.112
0 あわせるボイスを設定する			―	p.70
* エコモードを設定する			解除する	p.115
# その他の設定を行う	1 発信者番号通知を使う	1 発信者番号通知を設定する	―	p.52
		2 発信者番号通知設定を確認する	―	p.52

メニュー						お買い上げ時	参照先
		2ネットワークサービスを使う※4	1留守番サービスを使う	1留守番メッセージを再生する		—	p.378
				2メッセージがあるか問い合わせる		—	p.378
				3留守番サービスを開始する		—	p.378
				4留守番サービスを停止する		—	p.378
				5留守番サービスの詳細を設定する		—	p.378
				6留守番呼出時間を設定する		—	p.378
				7留守番サービスの設定を確認する		—	p.378
				8着信通知を使う	1着信通知を開始する	—	p.378
					2着信通知を停止する	—	p.378
					3着信通知の設定を確認する	—	p.378
			2キャッチホンを使う	1キャッチホンを開始する		—	p.379
				2キャッチホンを停止する		—	p.379
				3キャッチホンの設定を確認する		—	p.379
			3転送サービスを使う	1転送サービスを開始する		—	p.380
				2転送サービスを停止する		—	p.380
				3転送先を変更する		—	p.380
				4転送先が通話時の設定をする		—	p.380
				5転送サービスの設定を確認する		—	p.380
			4迷惑電話ストップを使う	1迷惑電話着信拒否を登録する		—	p.380
				2着信拒否する番号を登録する		—	p.380
				3迷惑電話登録を全件削除する		—	p.380
				4迷惑電話登録を1件削除する		—	p.380
				5拒否登録件数を確認する		—	p.380
			5番号通知お願いサービスを使う	1番号通知お願いサービスを開始する		—	p.381
				2番号通知お願いサービスを停止する		—	p.381
				3番号通知お願いサービスを確認する		—	p.381

メニュー						お買い上げ時	参照先
			6通話中着信設定を使う	1通話中着信設定を開始する		－	p.383
				2通話中着信設定を停止する		－	p.383
				3通話中着信設定を確認する		－	p.383
			7通話中着信動作を選ぶ			通常着信する	p.383
			8その他のサービスを使う	1遠隔操作設定を使う	1遠隔操作を開始する	－	p.384
					2遠隔操作を停止する	－	p.384
					3遠隔操作の設定を確認する	－	p.384
				2英語ガイダンスを使う	1ガイダンスを設定する	－	p.382
					2ガイダンスの設定を確認する	－	p.382
				3デュアルネットワークを使う	1デュアルネットワークを切替える	－	－
					2デュアルネットワークの状態を確認する	－	－
				4ドコモへのお問い合わせはこちら	1らくらくホンセンターに電話する	－	p.382
					2ドコモ故障問合せ窓口に電話する	－	p.382
					3海外紛失窓口に電話する※5	－	p.382
					4海外故障窓口に電話する※5	－	p.382
				5スキャン機能を使う	1パターンデータを更新する	－	p.443
					2パターンデータ自動更新設定を行う	－	p.444
					3スキャン機能を設定する	スキャン機能、メッセージスキャン：有効	p.445
					4パターンデータの版数を確認する	－	p.447

メニュー				お買い上げ時	参照先
			6ソフトウェアを更新する※6	［更新を実行する］ ー ［自動更新を設定］ 自動更新設定：自動で更新する 曜日：指定なし 時刻：03時00分	p.434
3文字入力の設定を行う	1文字の入力方法を設定する			有効にする	p.374
	2よく使う単語を登録する			ー	p.373
	3よく使う定型文を登録する			ー	p.371
4電話・電話帳の詳細を設定する	1着信を拒否する相手を指定する※7			ー	p.128
	2着信を許可する相手を指定する※7			ー	p.128
	3電話帳登録外の着信を拒否する			許可する	p.132
	4発番号なしの着信動作を選ぶ			［非通知設定、通知不可能、公衆電話］設定を解除	p.129
	5イヤホンを設定する	1イヤホン接続時の着信動作を選ぶ		応答方法：手動	p.359
		2イヤホンスイッチの動作を設定する		イヤホンスイッチ動作：発信しない	p.357
	6オートスピーカーホンを設定する			解除する	p.68
	7無音着信時間を設定する			無音着信動作：設定しない	p.131
	8通話中に自分の番号を表示する			表示する	p.70
	9メロディコールを設定する			ー	p.107
	0通話中の音量調整を設定する			有効にする	p.72
5音を設定する	1充電開始と完了を音で通知する			知らせる	p.107
	2電池残量の警告を音で通知する			鳴らす	p.47
	3イヤホン利用時の切替を選ぶ			イヤホンとスピーカー	p.359
	4通話状態が悪い時の音を選ぶ			鳴らさない	p.107
	5再接続した時の音を選ぶ			鳴らさない	p.108
	6メロディの一覧を見る			ー	p.308
6新着お知らせを設定する	1着信ランプで通知する			通知する	p.115
	2読み上げ開始時に音で通知する			通知する	p.108
7情報の表示やリセットを行う	1通話時間を見る			ー	p.354
	2通話料金を見る			ー	p.355
	3通話時間をリセットする			ー	p.354
	4通話料金をリセットする			ー	p.355
	5電池残量を確認する			ー	p.46
	6通信状態を表示する			ー	p.50
	7設定を初めの状態に戻す			ー	p.136
	8本体内データを全て削除する			ー	p.137
	9音声入力メールのソフトを最新にする			ー	p.376

メニュー				お買い上げ時	参照先
		8操作の制限をする	1開閉ロックを設定する	解除する	p.127
			2全ての操作を制限する	―	p.122
			3セルフモードを設定する	解除する	p.124
			4シークレットモードに設定する	解除する	p.124
			5電話の履歴表示を制限する	制限しない	p.125
			6個人の情報表示を制限する	制限しない	p.125
			7端末暗証番号を変更する	0000	p.119
			8ドコモUIMカードのPINコードを設定する	[PIN1コード変更、PIN2コード変更、PIN1コード使用] ―	p.120
			9ダイヤル入力での発信を制限する	制限しない	p.126
		9設定時刻に電源を入／切する	1電源が入る時刻を設定する	自動電源入：停止する	p.344
			2電源が切れる時刻を設定する	自動電源切：停止する	p.345
		0画面の縦横を自動で切替える		切替える	p.35
		*ケータイデータお預かりサービスを使う	1お預かりセンターに接続する	―	p.132
			2通信履歴を表示する	―	p.136
#集音器を使う				―	p.360

※1 各種設定リセットを行うと、ドコモUIMカードに保存されている証明書もすべて有効になります。
※2 USBケーブル接続中は、各種設定リセットを行ってもお買い上げ時の設定には戻りません。
※3 各種設定リセットを行うと、当日の歩数計・活動量計のデータがリセットされます。
※4 ネットワークサービスについては『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
※5 本FOMA端末は海外では利用できません。
※6 各種設定リセットを行うと、自動更新設定がお買い上げ時の設定に戻ります。
※7 各種設定リセットを行っても、着信拒否／許可登録一覧の登録内容はリセットされません。

着信音用メロディ

メロディ（［　］内は作曲者名）	
着信音1～6	軽快な電話音
異国の電話音	海外の電話音
黒電話の音	穏やか着信音1～2
でか着信音	川の流れのように［見岳　章］
カノン［JOHANN PACHELBEL］	トレパーク［PETER ILYICH TCHAIKOVSKY］
水上の音楽［George Frideric Handel］	花のワルツ［PETER ILYICH TCHAIKOVSKY］
ノクターン第2番［Fryderyk Franciszek Chopin］	アメージンググレース［アメリカ民謡］
威風堂々［Edward Elgar］	モルダウ［Bedrich Smetana］
ふるさと［岡野　貞一］	南米
巴里	エンターテイナー［Scott Joplin］
ハープ	鳩時計
朝のきらめき	新しい街へ
木漏れ日	そよ風の便り
積み木	マリンバ
アゴゴベル	ヒーリングナイト
旅立ち	雲の音
目覚まし1～2	電話です
メールです	ｉコンシェルからのお知らせです
起きて下さい	もうすぐ予定の時刻です
予定の時刻です	無音

許諾番号：T-1110112

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧

<table>
<tr><th>ボタン</th><th>ひらがな／漢字入力モード※1</th><th>半角カタカナ入力モード</th><th>半角英字入力モード</th><th>半角数字入力モード※2</th></tr>
<tr><td>1</td><td>あ い う え お 1</td><td>ｱ ｲ ｳ ｴ ｵ 1</td><td>. / @ ~ - : _
[¥] ^ ` { | } 1</td><td>1</td></tr>
<tr><td>2</td><td>か き く け こ 2</td><td>ｶ ｷ ｸ ｹ ｺ 2</td><td>a b c 2</td><td>2</td></tr>
<tr><td>3</td><td>さ し す せ そ 3</td><td>ｻ ｼ ｽ ｾ ｿ 3</td><td>d e f 3</td><td>3</td></tr>
<tr><td>4</td><td>た ち つ て と 4</td><td>ﾀ ﾁ ﾂ ﾃ ﾄ 4</td><td>g h i 4</td><td>4</td></tr>
<tr><td>5</td><td>な に ぬ ね の 5</td><td>ﾅ ﾆ ﾇ ﾈ ﾉ 5</td><td>j k l 5</td><td>5</td></tr>
<tr><td>6</td><td>は ひ ふ へ ほ 6</td><td>ﾊ ﾋ ﾌ ﾍ ﾎ 6</td><td>m n o 6</td><td>6</td></tr>
<tr><td>7</td><td>ま み む め も 7</td><td>ﾏ ﾐ ﾑ ﾒ ﾓ 7</td><td>p q r s 7</td><td>7</td></tr>
<tr><td>8</td><td>や ゆ よ 8</td><td>ﾔ ﾕ ﾖ 8</td><td>t u v 8</td><td>8</td></tr>
<tr><td>9</td><td>ら り る れ ろ 9</td><td>ﾗ ﾘ ﾙ ﾚ ﾛ 9</td><td>w x y z 9</td><td>9</td></tr>
<tr><td>0</td><td>わ を ん ー 、 。
・ ？ ！ 「 」
0</td><td>ﾜ ｦ ﾝ ｰ ､ ｡
･ ? ! ｢ ｣
0</td><td>! " # $ % & '
( ) * + , ; <
= > ? 0</td><td>0 +※3</td></tr>
<tr><td>*</td><td>゛ ゜</td><td>ﾞ ﾟ</td><td>@docomo.ne.jp .com
.or.jp .go.jp .ne.jp .co.jp
.ac.jp http://www. www.
.html .htm</td><td>* P※3</td></tr>
<tr><td>#</td><td>↵（改行）</td><td>↵（改行）</td><td>↵（改行）</td><td># T※3</td></tr>
</table>

：空白を示します。

：文字入力後に使い方を押すか、ボタンを押す操作を繰り返しても大文字／小文字に切り替わります。ただし、「わ」を入力した場合は使い方を押した場合のみ大文字／小文字に切り替わります。

※1 数字は半角で入力されます。

※2 半角数字入力モードの「P」「T」「+」「#」「*」は、これらの文字が有効な入力欄のみ入力できます。

※3 該当するボタンを1秒以上押すと入力できます。

絵文字読み上げ一覧

ひらがな／漢字入力モードで読みを入力して変換してください。→p.365
音声読み上げ設定を「自動で読み上げ」に設定しているとき（→p.142）に、入力した絵文字や変換候補一覧の絵文字を選択したり、絵文字を入力変換して確定したりした場合の読み上げを記載しています。

読　み	変換	音声読み上げ
はーと、あい、こころ、すき、らぶ		はーとまーく
はーと、あい、こころ、どきどき、すき、らぶ、ゆれるはーと		ゆれるはーとまーく
はーと、しつれん、ふられた、わかれた、しょっく		しつれんまーく
はーと、あい、こころ、すき、らぶ、はーとたち		ふくすうはーとまーく
かお、えがお、わらう、わらい、わーい、うれしい、にこにこ		うれしいかおまーく
かお、おこる、いかり、ぷん、ちっ		おこったかおまーく
かお、かなしい、こまった、ごめん、がく		らくたんしたかおまーく
かお、かなしい、こまった、さいあく、もうやだ		かなしいかおまーく
かお、だめ、ふら		つかれてるかおまーく
どうぶつ、いぬ		いぬまーく
どうぶつ、ねこ		ねこまーく
てんき、はれ、たいよう		はれまーく
てんき、くもり、くも		くもりまーく
てんき、あめ、かさ		あめまーく
てんき、ゆき、ゆきだるま		ゆきまーく
てんき、かみなり、いかずち、いかづち、でんき		かみなりまーく
てんき、うずまき、たいふう、あらし、ぐるぐる、くるくる、めまい		たいふうまーく
てんき、きり、あめ		きりまーく
てんき、こさめ、あめ、かさ		こさめまーく
おんぷ、おんがく、うた、るん	♪	おんぷまーく
おんぷ、おんがく、うた、さんれんぷ、るん、むーど		ふくすうおんぷまーく
おんせん、ふろ、おふろ、いいきぶん		おんせんまーく
はな、かわいい		はなまーく
きす、きっす、くちびる、くち、ちゅ、ちゅう、ちゅー、きすまーく		きすまーく
きらきら、ぴかぴか		ぴかぴかまーく
でんきゅう、ぴか、あいであ、あいでぃあ、ひらめき		ひらめきまーく
いかり、おこる、おこり、きれる、むかつく、むか		むかっまーく
がんばる、がんばれ、ぱんち、ぐー、ぐう		ぱんちまーく
ばくだん、ばくはつ		ばくだんまーく
おやすみ、すいみん、ねる、ねむい、ぐー、ずー、ぐう、ずう	zzz	ねむいまーく
びっくり、あっ、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん	!	びっくりまーく
びっくり、ほんと、えっ、えー、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん	!?	びっくりはてなまーく
びっくり、ちょー、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん	!!	にじゅうびっくりまーく
しょっく、ぐらぐら、どん		どーんまーく
あせ、あせる、ひやあせ		あせあせまーく

読　み	変換	音声読み上げ
あせ、あせる、ひやあせ、なみだ、だらー、たらー		あせたらーっまーく
いそぐ、いそげ、だっしゅ、ためいき、ふぅ、ふう、ふー、はしる		だっしゅまーく
のばす、ちょうおん、ちょーおん		うーまーく
のばす、くるり、ちょうおん、ちょーおん		うーんまーく
おっけー、おーけー、おーけい、おうけい、けってい	OK	おーけーまーく
やじるし、みぎうえ、あがる、あげる、あっぷ、みぎななめうえ	↗	みぎななめうえやじるしまーく
やじるし、みぎした、さがる、さげる、だうん、みぎななめした	↘	みぎななめしたやじるしまーく
やじるし、ひだりうえ、あがる、あげる、あっぷ、ひだりななめうえ	↖	ひだりななめうえやじるしまーく
やじるし、ひだりした、さがる、さげる、だうん、ひだりななめした	↙	ひだりななめしたやじるしまーく
やじるし、ぐっど、あがる、あげる、ぐっと	⤴	きぶんじょうしょうまーく
やじるし、ばっど、さがる、さげる、ばっと	⤵	おちこみまーく
かお、め、からだ		めまーく
かお、みみ、からだ		みみまーく
ぐー、ぐう、じゃんけん、て、こぶし、ぱんち、からだ		ぐーまーく
ちょき、じゃんけん、て、ぴーす		ちょきまーく
ぱー、ぱあ、じゃんけん、て、ばい、さんせい		ぱーまーく
あし、あしあと、あるく、とほ、からだ、きっく、けり、ける		あしまーく
とらんぷ、はーと、あい、こころ	♥	はーとまーく
とらんぷ、すぺーど	♠	すぺーどまーく
とらんぷ、だいや	♦	だいやまーく
とらんぷ、くらぶ	♣	くらぶまーく
のりもの、こうつう、でんしゃ、れっしゃ、えき		でんしゃまーく
のりもの、こうつう、ちかてつ、えむ	M	ちかてつまーく
のりもの、こうつう、しんかんせん、のぞみ、ひかり、こだま		しんかんせんまーく
のりもの、こうつう、じどうしゃ、くるま、たくしー、どらいぶ、せだん		せだんまーく
のりもの、こうつう、じどうしゃ、くるま、たくしー、どらいぶ、あーるぶい		あーるぶいまーく
のりもの、こうつう、ばす		ばすまーく
のりもの、こうつう、ふね、ふぇりー、こうかい		ふねまーく
のりもの、こうつう、ひこうき、じぇっと、じぇっとき、ふらいと、くうこう		ひこうきまーく
のりもの、よっと、ふね、りぞーと		よっとまーく
つりー、くりすます、き		くりすますまーく
いえ、うち、おうち、じたく		いえまーく
びる、かいしゃ、しょくば、がっこう		びるまーく
ゆうびん、ゆうびんきょく、ぽすと		ゆうびんきょくまーく
びょういん、びょうき、けが		びょういんまーく
ぎんこう、ばんく	BK	ぎんこうまーく

読　み	変換	音声読み上げ
えーてぃーえむ、えいてぃえむ、ぎんこう		えーてぃーえむまーく
ほてる		ほてるまーく
こんびに、こんびにえんす、こんびにえんすすとあ		こんびにまーく
がそりんすたんど、がそりん、がすすた、すたんど		がそりんすたんどまーく
ちゅうしゃじょう、ちゅうしゃ、ぱーきんぐ		ちゅうしゃじょうまーく
しんごう、しんごうき		しんごうまーく
といれ、かっぷる、でーと、けっこん		といれまーく
しょくじ、ごはん、れすとらん、ふぁみれす		れすとらんまーく
こーひー、どりんく、のみもの、かっぷ、こっぷ、きっさてん、さてん、おちゃ		きっさてんまーく
かくてる、おさけ、さけ、ばー		ばーまーく
びーる、おさけ、さけ、いざかや、のみかい、こんぱ、かんぱい		びーるまーく
はんばーがー、ばーがー、けいしょく、ふぁーすとふーど		ふぁーすとふーどまーく
はいひーる、ひーる、くつ、あし		はいひーるまーく
はさみ、かっと、びよういん、びようしつ、さんぱつ、とこや		びよういんまーく
まいく、からおけ、うた、うたう		からおけまーく
えいが、えいがかん、しねま、かめら、さつえい、びでお		えいがまーく
うま、けいば、もくば、めりーごーらんど、ゆうえんち		ゆうえんちまーく
おんがく、おと、きく、へっどほん、へっどふぉん		おんがくまーく
え、あーと、げいじゅつ、びじゅつ、ぱれっと		あーとまーく
えんげき、ひと、しんし、ぼうし		えんげきまーく
いべんと、はた		いべんとまーく
ちけっと、きっぷ		ちけっとまーく
すぽーつ、うんどう、しゃつ、たんくとっぷ		すぽーつまーく
すぽーつ、うんどう、やきゅう、そふと、ぼーる、そふとぼーる		やきゅうまーく
すぽーつ、うんどう、ごるふ		ごるふまーく
すぽーつ、うんどう、てにす、たっきゅう、らけっと		てにすまーく
すぽーつ、うんどう、さっかー、ぼーる		さっかーまーく
すぽーつ、うんどう、すきー、すのーぼーど、ぼーど、すけーと、すのぼ、すべる		すきーまーく
すぽーつ、うんどう、ばすけっと、ばすけ、ばすけっとぼーる		ばすけっとまーく
すぽーつ、うんどう、ごーる、はた、れーす、えふわん、もーたーすぽーつ		もーたーすぽーつまーく
ぽけべる、ぽけっとべる、ぺーじゃー		ぽけべるまーく
たばこ、しがー、しがれっと、きつえん、いっぷく		きつえんまーく
たばこ、しがー、しがれっと、きんえん		きんえんまーく
かめら、しゃしん、さつえい、げきしゃ		かめらまーく
かばん、ばっぐ、てさげ、りょこう		かばんまーく
ほん、のーと、しょしんしゃ		ほんまーく
りぼん、ちょうねくたい、ねくたい、あめ		りぼんまーく
ぷれぜんと、たんじょうび、おくりもの		ぷれぜんとまーく
ろうそく、きゃんどる、たんじょうび、ばーすでい、ばーすでー		ばーすでーまーく
でんわ、くろでん、てれふぉん、てれほん、てる、てれ		でんわまーく

読　み	変換	音声読み上げ
けいたいでんわ、けいたい、けーたい、でんわ、ぴっち、ふぉーん、ふぉん		けいたいでんわまーく
めーる、てがみ		めーるまーく
めも、しょるい、れぽーと、しゅくだい、しけん		めもまーく
てれび、がめん、ばんぐみ		てれびまーく
げーむ、こんとろーら		げーむまーく
しーでぃー、あるばむ、しんぐる、でぃすく		しーでぃーまーく
くつ、しゅーず、すにーかー、あし		くつまーく
めがね		めがねまーく
くるまいす		くるまいすまーく
せいざ、おひつじざ、おひつじ		おひつじざまーく
せいざ、おうしざ、おうし		おうしざまーく
せいざ、ふたござ、ふたご、すなどけい		ふたござまーく
せいざ、かにざ、かに		かにざまーく
せいざ、ししざ、しし		ししざまーく
せいざ、おとめざ、おとめ		おとめざまーく
せいざ、てんびんざ、てんびん、おもち、もち		てんびんざまーく
せいざ、さそりざ、さそり		さそりざまーく
せいざ、いてざ、いて、あがる、あっぷ		いてざまーく
せいざ、やぎざ、やぎ		やぎざまーく
せいざ、みずがめざ、みずがめ、なみ		みずがめざまーく
せいざ、うおざ、うお、さかな		うおざまーく
つき、しんげつ、まる		しんげつまーく
つき		かけづきまーく
つき、はんげつ		はんげつまーく
つき、みかづき		みかづきまーく
つき、まんげつ、まる		まんげつまーく
でんわ、けいたいでんわ、けいたい、けーたい、ふぉーん、ふぉん、ぴっち、ちゃくしん		でんわへまーく
めーる、てがみ、じゅしん		めーるへまーく
ふぁっくす、ふぁくす、じゅしん	FAX	ふぁっくすへまーく
あいもーど、あい、どこも		あいもーどまーく
あいもーど、あい、どこも		あいもーどまーく
どこもていきょう、でい、でー、でぃー		どこもていきょうまーく
どこもぽいんと、ぽいんと、でい、でー、でぃー		どこもぽいんとまーく
えん、かね、きんがく、ねだん、りょうきん		ゆうりょうまーく
ただ、むりょう、じゆう、ひま、ふりー	FREE	むりょうまーく
あいでぃ、あいでぃー、あいでー	ID	あいでぃーまーく
かぎ、きー、ひみつ、ぱすわーど、ろっく		ぱすわーどまーく
かいぎょう、まがる、つづく、つづき		つぎありまーく
さくじょ、しーえる、くりあ、くーる	CL	くりあまーく
さがす、しらべる、むしめがね、さーち		さーちまーく
にゅー、にゅう、あたらしい、しん	NEW	にゅーまーく

読　み	変換	音声読み上げ
はた、もくひょう、ごるふ、いちじょうほう、いち		いちじょうほうまーく
だいやる、だいある、ふりーだいやる、ふりーだいある		ふりーだいやるまーく
しゃーぷ	＃	しゃーぷだいやるまーく
もばきゅー、もばきゅう、しつもん、きゅう、きゅー		もばきゅーまーく
1、いち、すうじ、ばんごう	1	しかくいち
2、に、すうじ、ばんごう	2	しかくに
3、さん、すうじ、ばんごう	3	しかくさん
4、よん、し、すうじ、ばんごう	4	しかくよん
5、ご、すうじ、ばんごう	5	しかくご
6、ろく、すうじ、ばんごう	6	しかくろく
7、しち、なな、すうじ、ばんごう	7	しかくなな
8、はち、すうじ、ばんごう	8	しかくはち
9、きゅう、く、きゅー、すうじ、ばんごう	9	しかくきゅう
0、ぜろ、れい、すうじ、ばんごう	0	しかくぜろ
かちんこ、さつえい、すたーと、はこ		かちんこまーく
ふくろ、つぼ		ふくろまーく
ぺんさき、ぺん		ぺんまーく
はんこ、ひと、ひとかげ		ひとかげまーく
いす、ざせき、すわる		いすまーく
よる、よなか、しんや、れいと		よるまーく
すぐ、もうすぐ、すーん	SOON	すーんまーく
おん	ON!	おんまーく
おわり、えんど	END	えんどまーく
じかん、じこく、たいむ、とけい		とけいまーく
じてんしゃ、ちゃり、ちゃりんこ、のりもの		じてんしゃまーく
れんち、すぱな、こうぐ、どうぐ		れんちまーく
ぱそこん、ぴーしー、こんぴゅーた、こんぴゅーたー		ぱそこんまーく
えんぴつ、ぶんぼうぐ		えんぴつまーく
くりっぷ、ぶんぼうぐ、てんぷ		くりっぷまーく
やじるし、さゆう		さゆうやじるしまーく
やじるし、じょうげ		じょうげやじるしまーく
やじるし、りさいくる、かいてん、まわる		りさいくるまーく
えぬじー、だめ	NG	えぬじーまーく
ひみつ、まるひ	秘	まるひまーく
きんし、げんきん、だめ	禁	きんしまーく
くうしつ、くうせき、くうしゃ、あき、あく、から	空	くうしつまーく
ごうかく	合	ごうかくまーく
まんしつ、まんせき、まんしゃ、いっぱい、まんたん、ふる	満	まんしつまーく
けいこく、きけん、びっくり		きけんまーく
こぴーらいと、しー、まるしー	©	こぴーらいとまーく
とれーどまーく、てぃーえむ	™	とれーどまーく
れじすたーどとれーどまーく、とれーどまーく、あーる、まるあーる	®	れじすとれっどまーく
あいあぷり、あるふぁ、あぷり		あいあぷりまーく

読　み	変換	音声読み上げ
あいあぷり、あるふぁ、あぷり		あいあぷりまーく
どるぶくろ、どる、かね、おかね		どるぶくろまーく
うでどけい、とけい、うぉっち		うでどけいまーく
すなどけい、とけい		すなどけいまーく
おにぎり、おむすび、ごはん、おべんとう、べんとう		おにぎりまーく
けーき、しょーとけーき、でざーと、おかし、かし		しょーとけーきまーく
ぱん、ぶれっど		ぱんまーく
どんぶり、らーめん、めん、うどん、そば		どんぶりまーく
ゆのみ、おゆのみ、おちゃ、ちゃ		ゆのみまーく
とっくり、おちょこ、おさけ、さけ、にほんしゅ		とっくりまーく
わいんぐらす、わいん、おさけ、さけ		わいんぐらすまーく
ばなな、くだもの		ばななまーく
りんご、あっぷる、くだもの		りんごまーく
さくらんぼ、ちぇりー、くだもの		さくらんぼまーく
くろーばー、よつば、はっぱ		くろーばーまーく
ちゅーりっぷ、はな		ちゅーりっぷまーく
わかば、ふたば、はっぱ		わかばのまーく
もみじ、こうよう、はっぱ		もみじのまーく
さくら、はな		さくらまーく
かたつむり、まいまい、でんでんむし、どうぶつ、むし		かたつむりまーく
ひよこ、とり、どうぶつ		ひよこまーく
ぺんぎん、とり、どうぶつ		ぺんぎんまーく
さかな、おさかな、どうぶつ		さかなまーく
うま、どうぶつ		うままーく
ぶた、どうぶつ、ぶー		ぶたまーく
しゃつ、てぃーしゃつ、ふく、ようふく、てぃしゃつ		てぃーしゃつまーく
ずぼん、ぱんつ、じーぱん、じーんず、ふく、ようふく		じーんずまーく
けしょう、くちべに、るーじゅ、りっぷ		けしょうまーく
ゆびわ、あくせさりー、りんぐ		ゆびわまーく
おうかん、かんむり、おうさま		おうかんまーく
べる、ちゃぺる、かね		ちゃぺるまーく
どあ、とびら、と		どあまーく
がっこう、だいがく		がっこうまーく
なみ、うみ、つなみ、おおなみ		なみまーく
ふじさん、やま		ふじさんまーく
すぽーつ、うんどう、すのーぼーど、ぼーど、すのぼ、すべる		すのぼーまーく
すぽーつ、うんどう、はしる、にげる		はしるひとまーく
かお、こまる、うーむ、うーん、うむ、むすっ、かんがえる		かんがえてるかおまーく
かお、ほっ		ほっとしたかおまーく
かお、ひやあせ、たらー、だらー、あせ、あせる		ひやあせまーく
かお、ひやあせ、たらー、だらー、あせ、あせる		ひやあせまーく
かお、おこる、ぷー、ぶー		ふくれがおまーく

読　み	変換	音声読み上げ
かお、ぼけー、しらー、しらけ		ぼけーっとしたかおまーく
かお、はーと、らぶ、すき、わーい、うれしい		めがはーとまーく
かお、あっかんべー、べー、いたずら		あっかんべーまーく
かお、うぃんく、ういんく、ぱちっ、ぱち		うぃんくまーく
かお、うれしい、わーい、きゃっ、きゃ		うれしいまーく
かお、がまん		がまんまーく
かお、どうぶつ、ねこ		ねこまーく
かお、かなしい、なく、えーん、わーん、なきがお		なきまーく
かお、なみだ、かなしい、ぽろり、なく、なきがお		なみだまーく
かお、おいしい、うまい、まんぞく		うまいまーく
かお、えがお、わらう、うっしっし、うしし、ししし		うっしっしまーく
かお、さけぶ、さけび、げっそり、ひゃー、むんく		げっそりまーく
て、おっけー、おーけー、おーけい、おうけい、ぐっど、ゆび、おやゆび、ぐっと		ゆびでおーけーまーく
てがみ、めーる、らぶれたー、こいぶみ		らぶれたーまーく
がまぐち、さいふ、おかね、かね		がまぐちさいふまーく

記号・かな・英数字読み上げ一覧

音声読み上げ設定を「自動で読み上げ」に設定しているとき（→p.142）に、入力した文字や変換候補一覧の文字を選択した場合の読み上げを記載しています。

- 入力変換して確定したときの読み上げや、カーソルの移動のしかたによって、異なる読み上げを行う場合があります。

■ 全角記号

入力文字	音声読み上げ
、	とーてん
。	くてん
，	こんま
．	ぴりおど
・	なかぐろ
：	ころん
；	せみころん
？	ぎもんふ
！	かんたんふ
゛	だくてん
゜	はんだくてん
´	あくさんてぎゅ
｀	ばっくくおーと
¨	うむらうと
＾	きゃれっと
￣	おーばーらいん
＿	あんだーらいん
ヽ	かたかなくりかえし
ヾ	かたかなだくてんくりかえし
ゝ	かなくりかえし
ゞ	かなだくてんくりかえし
〃	おなじく
仝	どう
々	かんじくりかえし
〆	しめ
〇	ぜろ
ー	ちょーおん
―	だっしゅ
‐	はいふん
／	すらっしゅ

入力文字	音声読み上げ
＼	ばっくすらっしゅ
～	から
∥	にじゅうたてせん
｜	たてせん
…	さんてんりーだー
‥	にてんりーだー
‘	ひだりいんようふ
’	みぎいんようふ
“	ひだりにじゅういんようふ
”	みぎにじゅういんようふ
（	かっこ
）	とじかっこ
〔	きっこうかっこ
〕	とじきっこうかっこ
［	だいかっこ
］	とじだいかっこ
｛	ちゅうかっこ
｝	とじちゅうかっこ
〈	やまかっこ
〉	とじやまかっこ
《	にじゅうやまかっこ
》	とじにじゅうやまかっこ
「	かぎかっこ
」	とじかぎかっこ
『	にじゅうかぎかっこ
』	とじにじゅうかぎかっこ
【	すみつきかっこ
】	とじすみつきかっこ
＋	ぷらす
－	まいなす

入力文字	音声読み上げ
±	ぷらすまいなす
×	かける
÷	わる
＝	いこーる
≠	のっといこーる
＜	しょーなり
＞	だいなり
≦	しょーなりいこーる
≧	だいなりいこーる
∞	むげんだい
∴	ゆえに
♂	おす
♀	めす
°	ど
′	ふん
″	びょー
℃	どしー
￥	えん
＄	どる
¢	せんと
£	ぽんど
％	ぱーせんと
＃	しゃーぷ
＆	あんど
＊	こめじるし
＠	あっとまーく
§	せくしょん
☆	ほし
★	くろぼし
○	まる

入力文字	音声読み上げ
●	くろまる
◎	にじゅーまる
◇	ひしがた
◆	くろひしがた
□	しかく
■	くろしかく
△	さんかく
▲	くろさんかく
▽	さんかく
▼	くろさんかく
※	こめじるし
〒	ゆーびんばんごー
→	みぎやじるし
←	ひだりやじるし
↑	うえやじるし
↓	したやじるし
〓	げたきごー
∈	ぞくする
∋	ふくむ
⊆	ぶぶんしゅうごう
⊇	ぶぶんしゅうごうふくむ
⊂	しんぶぶんしゅうごう
⊃	しんぶぶんしゅうごうふくむ
∪	がっぺー
∩	きょーつー
∧	および
∨	またわ
¬	ひてー
⇒	ならば
⇔	どーち
∀	すべての
∃	ある
∠	かく
⊥	すいちょく
⌒	こ
∂	らうんどでぃー
∇	なぶら
≡	ごーどー
≒	にありーいこーる

入力文字	音声読み上げ
≪	ひじょーにちーさい
≫	ひじょーにおーきい
√	るーと
∽	そーじ
∝	ひれー
∵	なぜならば
∫	いんてぐらる
∬	だぶるいんてぐらる
Å	おんぐすとろーむ
‰	ぱーみる
♯	しゃーぷ
♭	ふらっと
♪	おんぷ
†	だがー
‡	だぶるだがー
¶	だんらくきごー
◯	まる
Α	あるふぁ おおもじ
Β	べーた おおもじ
Γ	がんま おおもじ
Δ	でるた おおもじ
Ε	いぷしろん おおもじ
Ζ	つぇーた おおもじ
Η	いーた おおもじ
Θ	しーた おおもじ
Ι	いおた おおもじ
Κ	かっぱ おおもじ
Λ	らむだ おおもじ
Μ	みゅー おおもじ
Ν	にゅー おおもじ
Ξ	くざい おおもじ
Ο	おみくろん おおもじ
Π	ぱい おおもじ
Ρ	ろー おおもじ
Σ	しぐま おおもじ
Τ	たう おおもじ
Υ	うぷしろん おおもじ
Φ	ふぁい おおもじ
Χ	かい おおもじ

入力文字	音声読み上げ
Ψ	ぷしー おおもじ
Ω	おめが おおもじ
α	あるふぁ
β	べーた
γ	がんま
δ	でるた
ε	いぷしろん
ζ	つぇーた
η	いーた
θ	しーた
ι	いおた
κ	かっぱ
λ	らむだ
μ	みゅー
ν	にゅー
ξ	くざい
ο	おみくろん
π	ぱい
ρ	ろー
σ	しぐま
τ	たう
υ	うぷしろん
φ	ふぁい
χ	かい
ψ	ぷしー
ω	おめが
А	あー おおもじ
Б	べー おおもじ
В	べー おおもじ
Г	げー おおもじ
Д	でー おおもじ
Е	いぇー おおもじ
Ё	よー おおもじ
Ж	じぇー おおもじ
З	ぜー おおもじ
И	いー おおもじ
Й	いくらとかや おおもじ
К	かー おおもじ
Л	える おおもじ

入力文字	音声読み上げ
М	えむ おおもじ
Н	えぬ おおもじ
О	おー おおもじ
П	ぺー おおもじ
Р	える おおもじ
С	えす おおもじ
Т	てー おおもじ
У	うー おおもじ
Ф	えふ おおもじ
Х	はー おおもじ
Ц	つぇー おおもじ
Ч	ちぇー おおもじ
Ш	しゃー おおもじ
Щ	ししゃー おおもじ
Ъ	つぼるでぃーずなーく おおもじ
Ы	いー おおもじ
Ь	みゃーふぃーずなーく おおもじ
Э	えー おおもじ
Ю	ゆー おおもじ
Я	やー おおもじ
а	あー
б	べー
в	べー
г	げー
д	でー
е	いぇー
ё	よー
ж	じぇー
з	ぜー
и	いー
й	いくらとかや
к	かー
л	える
м	えむ
н	えぬ
о	おー
п	ぺー
р	える
с	えす

入力文字	音声読み上げ
т	てー
у	うー
ф	えふ
х	はー
ц	つぇー
ч	ちぇー
ш	しゃー
щ	ししゃー
ъ	つぼるでぃーずなーく
ы	いー
ь	みゃーふぃーずなーく
э	えー
ю	ゆー
я	やー
─	よこけいせん
│	たてけいせん
┌	した みぎけいせん
┐	した ひだりけいせん
┘	うえ ひだりけいせん
└	うえ みぎけいせん
├	たて みぎけいせん
┬	した よこけいせん
┤	たて ひだりけいせん
┴	うえ よこけいせん
┼	たて よこけいせん
━	よこふとけいせん
┃	たてふとけいせん
┏	したふと みぎふとけいせん
┓	したふと ひだりふとけいせん
┛	うえふと ひだりふとけいせん
┗	うえふと みぎふとけいせん
┣	たてふと みぎふとけいせん
┳	したふと よこふとけいせん
┫	たてふと ひだりふとけいせん
┻	うえふと よこふとけいせん
╋	たてふと よこふとけいせん
┠	たてふと みぎけいせん
┯	した よこふとけいせん
┨	たてふと ひだりけいせん

入力文字	音声読み上げ
┷	うえ よこふとけいせん
┿	たて よこふとけいせん
┝	たて みぎふとけいせん
┰	したふと よこけいせん
┥	たて ひだりふとけいせん
┸	うえふと よこけいせん
╂	たてふと よこけいせん
①	まるいち
②	まるに
③	まるさん
④	まるよん
⑤	まるご
⑥	まるろく
⑦	まるなな
⑧	まるはち
⑨	まるきゅー
⑩	まるじゅー
⑪	まるじゅーいち
⑫	まるじゅーに
⑬	まるじゅーさん
⑭	まるじゅーよん
⑮	まるじゅーご
⑯	まるじゅーろく
⑰	まるじゅーなな
⑱	まるじゅーはち
⑲	まるじゅーきゅー
⑳	まるにじゅー
Ⅰ	わん
Ⅱ	つー
Ⅲ	すりー
Ⅳ	ふぉー
Ⅴ	ふぁいぶ
Ⅵ	しっくす
Ⅶ	せぶん
Ⅷ	えいと
Ⅸ	ないん
Ⅹ	てん
㍉	みり
㌔	きろ

入力文字	音声読み上げ
㌢	せんち
㍍	めーとる
㌘	ぐらむ
㌧	とん
㌃	あーる
㌶	へくたーる
㍑	りっとる
㍗	わっと
㌍	かろりー
㌦	どる
㌣	せんと
㌫	ぱーせんと
㍊	みりばーる
㌻	ぺーじ
㎜	みりめーとる
㎝	せんちめーとる
㎞	きろめーとる

入力文字	音声読み上げ
㎎	みりぐらむ
㎏	きろぐらむ
㏄	しーしー
㎡	へーほーめーとる
㍻	へーせー
〝	たてがきにじゅういんよーふ
〟	たてがきとじにじゅういんよーふ
№	なんばー
㏍	けーけー
℡	でんわ
㊤	まるうえ
㊥	まるなか
㊦	まるした
㊧	まるひだり
㊨	まるみぎ
㈱	かっこかぶ
㈲	かっこゆー

入力文字	音声読み上げ
㈹	かっこだい
㍾	めーじ
㍽	たいしょー
㍼	しょーわ
≒	にありーいこーる
≡	ごーどー
∫	いんてぐらる
∮	ふぁい
Σ	しぐま
√	るーと
⊥	すいちょく
∠	かく
∟	ちょっかく
⊿	さんかっけー
∵	なぜならば
∩	きょーつー
∪	がっぺー

※ 空白は「くうはく」と読み上げられます。
※ 実際の表示と異なるものがあります。

■ 半角記号

入力文字	音声読み上げ
!	かんたんふはんかく
"	にじゅういんようふはんかく
#	しゃーぷはんかく
$	どるはんかく
%	ぱーせんとはんかく
&	あんどはんかく
'	いんようふはんかく
(	かっこはんかく
)	とじかっこはんかく
*	こめじるしはんかく
+	ぷらすはんかく
,	こんまはんかく
-	まいなすはんかく
.	ぴりおどはんかく

入力文字	音声読み上げ
/	すらっしゅはんかく
:	ころんはんかく
;	せみころんはんかく
<	しょーなりはんかく
=	いこーるはんかく
>	だいなりはんかく
?	ぎもんふはんかく
@	あっとまーくはんかく
[	だいかっこはんかく
¥	えんはんかく
]	とじだいかっこはんかく
^	きゃれっとはんかく
_	あんだーらいんはんかく

<table>
<tr><th>入力文字</th><th>音声読み上げ</th></tr>
<tr><td>`</td><td>ばっくくおーとはんかく</td></tr>
<tr><td>{</td><td>ちゅうかっこはんかく</td></tr>
<tr><td>|</td><td>たてせんはんかく</td></tr>
<tr><td>}</td><td>とじちゅうかっこはんかく</td></tr>
<tr><td>~</td><td>おーばーらいんはんかく</td></tr>
<tr><td>｡</td><td>くてんはんかく</td></tr>
<tr><td>｢</td><td>かぎかっこはんかく</td></tr>
<tr><td>｣</td><td>とじかぎかっこはんかく</td></tr>
<tr><td>､</td><td>とーてんはんかく</td></tr>
<tr><td>･</td><td>なかぐろはんかく</td></tr>
<tr><td>ｰ</td><td>ちょーおんはんかく</td></tr>
<tr><td>ﾞ</td><td>だくてんはんかく</td></tr>
<tr><td>ﾟ</td><td>はんだくてんはんかく</td></tr>
</table>

※ 空白は「くうはくはんかく」と読み上げられます。
※ 実際の表示と異なるものがあります。
■：半角数字入力モードでは、「#」は「しゃーぷ」、「＊」は「こめじるし」と読み上げられます。

■ かな（特種のみ）

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
ぁ	—	あ こもじ
ぃ	—	い こもじ
ぅ	—	う こもじ
ぇ	—	え こもじ
ぉ	—	お こもじ
っ	—	つ こもじ

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
ゃ	—	や こもじ
ゅ	—	ゆ こもじ
ょ	—	よ こもじ
ゎ	—	わ こもじ
ゐ	—	わぎょうのい
ゑ	—	わぎょうのえ

■ カナ（カタカナ）

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
ァ	あ こもじはんかく	あ こもじぜんかく
ア	あ はんかく	あ ぜんかく
ィ	い こもじはんかく	い こもじぜんかく
イ	い はんかく	い ぜんかく
ゥ	う こもじはんかく	う こもじぜんかく
ウ	う はんかく	う ぜんかく
ヴ	—	う゛ ぜんかく
ェ	え こもじはんかく	え こもじぜんかく
エ	え はんかく	え ぜんかく
ォ	お こもじはんかく	お こもじぜんかく
オ	お はんかく	お ぜんかく
ヵ	—	か こもじぜんかく
カ	か はんかく	か ぜんかく
ガ	—	が ぜんかく
キ	き はんかく	き ぜんかく
ギ	—	ぎ ぜんかく
ク	く はんかく	く ぜんかく
グ	—	ぐ ぜんかく
ヶ	—	け こもじぜんかく
ケ	け はんかく	け ぜんかく
ゲ	—	げ ぜんかく
コ	こ はんかく	こ ぜんかく
ゴ	—	ご ぜんかく
サ	さ はんかく	さ ぜんかく
ザ	—	ざ ぜんかく
シ	し はんかく	し ぜんかく
ジ	—	じ ぜんかく
ス	す はんかく	す ぜんかく
ズ	—	ず ぜんかく
セ	せ はんかく	せ ぜんかく
ゼ	—	ぜ ぜんかく
ソ	そ はんかく	そ ぜんかく

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
ゾ	—	ぞ ぜんかく
タ	た はんかく	た ぜんかく
ダ	—	だ ぜんかく
チ	ち はんかく	ち ぜんかく
ヂ	—	ぢ ぜんかく
ッ	つ こもじはんかく	つ こもじぜんかく
ツ	つ はんかく	つ ぜんかく
ヅ	—	づ ぜんかく
テ	て はんかく	て ぜんかく
デ	—	で ぜんかく
ト	と はんかく	と ぜんかく
ド	—	ど ぜんかく
ナ	な はんかく	な ぜんかく
ニ	に はんかく	に ぜんかく
ヌ	ぬ はんかく	ぬ ぜんかく
ネ	ね はんかく	ね ぜんかく
ノ	の はんかく	の ぜんかく
ハ	は はんかく	は ぜんかく
バ	—	ば ぜんかく
パ	—	ぱ ぜんかく
ヒ	ひ はんかく	ひ ぜんかく
ビ	—	び ぜんかく
ピ	—	ぴ ぜんかく
フ	ふ はんかく	ふ ぜんかく
ブ	—	ぶ ぜんかく
プ	—	ぷ ぜんかく
ヘ	へ はんかく	へ ぜんかく
ベ	—	べ ぜんかく
ペ	—	ぺ ぜんかく
ホ	ほ はんかく	ほ ぜんかく
ボ	—	ぼ ぜんかく
ポ	—	ぽ ぜんかく

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
マ	ま はんかく	ま ぜんかく
ミ	み はんかく	み ぜんかく
ム	む はんかく	む ぜんかく
メ	め はんかく	め ぜんかく
モ	も はんかく	も ぜんかく
ャ	や こもじはんかく	や こもじぜんかく
ヤ	や はんかく	や ぜんかく
ュ	ゆ こもじはんかく	ゆ こもじぜんかく
ユ	ゆ はんかく	ゆ ぜんかく
ョ	よ こもじはんかく	よ こもじぜんかく
ヨ	よ はんかく	よ ぜんかく
ラ	ら はんかく	ら ぜんかく
リ	り はんかく	り ぜんかく
ル	る はんかく	る ぜんかく
レ	れ はんかく	れ ぜんかく
ロ	ろ はんかく	ろ ぜんかく
ヮ	—	わ こもじぜんかく
ワ	わ はんかく	わ ぜんかく
ヰ	—	わぎょうのい ぜんかく
ヱ	—	わぎょうのえ ぜんかく
ヲ	を はんかく	を ぜんかく
ン	ん はんかく	ん ぜんかく

■ 英字

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
a	えー	えー ぜんかく
b	びー	びー ぜんかく
c	しー	しー ぜんかく
d	でぃー	でぃー ぜんかく
e	いー	いー ぜんかく
f	えふ	えふ ぜんかく
g	じー	じー ぜんかく
h	えっち	えっち ぜんかく
i	あい	あい ぜんかく
j	じぇー	じぇー ぜんかく
k	けー	けー ぜんかく
l	える	える ぜんかく
m	えむ	えむ ぜんかく
n	えぬ	えぬ ぜんかく
o	おー	おー ぜんかく
p	ぴー	ぴー ぜんかく
q	きゅー	きゅー ぜんかく
r	あーる	あーる ぜんかく
s	えす	えす ぜんかく
t	てぃー	てぃー ぜんかく
u	ゆー	ゆー ぜんかく
v	ぶい	ぶい ぜんかく
w	だぶりゅー	だぶりゅー ぜんかく
x	えっくす	えっくす ぜんかく
y	わい	わい ぜんかく
z	ぜっと	ぜっと ぜんかく
A	えー おおもじ	えー おおもじぜんかく
B	びー おおもじ	びー おおもじぜんかく
C	しー おおもじ	しー おおもじぜんかく
D	でぃー おおもじ	でぃー おおもじぜんかく
E	いー おおもじ	いー おおもじぜんかく
F	えふ おおもじ	えふ おおもじぜんかく
G	じー おおもじ	じー おおもじぜんかく
H	えっち おおもじ	えっち おおもじぜんかく
I	あい おおもじ	あい おおもじぜんかく
J	じぇー おおもじ	じぇー おおもじぜんかく
K	けー おおもじ	けー おおもじぜんかく
L	える おおもじ	える おおもじぜんかく
M	えむ おおもじ	えむ おおもじぜんかく
N	えぬ おおもじ	えぬ おおもじぜんかく
O	おー おおもじ	おー おおもじぜんかく

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
P	ぴー おおもじ	ぴー おおもじぜんかく
Q	きゅー おおもじ	きゅー おおもじぜんかく
R	あーる おおもじ	あーる おおもじぜんかく
S	えす おおもじ	えす おおもじぜんかく
T	てぃー おおもじ	てぃー おおもじぜんかく
U	ゆー おおもじ	ゆー おおもじぜんかく
V	ぶい おおもじ	ぶい おおもじぜんかく
W	だぶりゅー おおもじ	だぶりゅー おおもじぜんかく
X	えっくす おおもじ	えっくす おおもじぜんかく
Y	わい おおもじ	わい おおもじぜんかく
Z	ぜっと おおもじ	ぜっと おおもじぜんかく

■ 数字

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
0	ぜろ	ぜろ ぜんかく
1	いち	いち ぜんかく
2	に	に ぜんかく
3	さん	さん ぜんかく
4	よん	よん ぜんかく
5	ご	ご ぜんかく
6	ろく	ろく ぜんかく
7	なな	なな ぜんかく
8	はち	はち ぜんかく
9	きゅー	きゅー ぜんかく

※ 変換候補一覧で数字を選択している場合は、表に記載の音声読み上げの前に「すうじの」と読み上げます。たとえば、「ぜろぜんかく」は「すうじのぜろぜんかく」と読み上げます。

顔文字読み上げ一覧

ひらがな／漢字入力モードで読みを入力して変換してください。→p.365
音声読み上げ設定を「自動で読み上げ」に設定しているとき（→p.142）に、顔文字を入力変換して確定した場合の読み上げを記載しています。

- 変換候補一覧で選択しているときや、カーソルの移動のしかたによって、異なる読み上げを行う場合があります。

読　み	変　換	音声読み上げ
かお、ばい、あいさつ	(^-^)/~~	ばい
かお、ばいばい、あいさつ	(＾＾)ﾉｼ	ばいばい
ばいばい、あいさつ	(^_^)/~	ばいばい
ばいばい、あいさつ	ヾ(^_^) byebye!!	ばいばい
おーい、じゃあ、どーも、よろしく、あいさつ	(^^)/	おーい
おーい、じゃあ、どーも、よろしく、あいさつ	(^-^)/	おーい
ばいばい、あいさつ	(^^)/~~~	ばいばい
おーい、あいさつ	(^_^)/	おーい
にこっ、あいさつ	(〃⌒ー⌒〃)ゞ	にこっ
やぁ、あいさつ	～('-'*)	やぁ
ちわっ、あいさつ	(*^-^)ﾉ	ちわっ
おはよう、あいさつ	ヾ(´ω｀＝´ω｀)ﾉ	おはよう
ぐっ、ぐー、へんじ	(o^-')b	ぐー
ぐっ、ぐー、へんじ	(≧ω≦)b	ぐー
はい、へんじ	(・∀・∩)	はい
かお、おっけー、へんじ	('-^*)ok	おっけー
かお、りょうかい、へんじ	(｀_´)ゞ了解！	りょうかい
かお、やあ、あいさつ	(｡･_･｡)ﾉ	やあ
かお、やあ、あいさつ	(=ﾟωﾟ)ﾉ	やあ
かお、にこっ、わらう	(^-^)	にこっ
かお、にこっ、うれしい	(^-^)v	ぴーす
かお、うほほ、にこっ、わーい、うれしい	(^o^)	わーい
かお、うきうき、うれしい	o(^o^)o	うきうき
かお、にこっ、うれしい	(o^_^o)	ぽっ
かお、にこっ、うれしい	(*^_^*)	にこっ
かお、きたー、にこっ、わらう	(･∀･)	きたー
かお、わーい、うれしい	ヾ(^▽^)ﾉ	わーい
かお、わーい、うれしい	ヽ(´ー｀)ノ	ふっ
かお、にこっ、うれしい	(*⌒▽⌒*)	わーい
きらーん、うれしい	(☆▽☆)	きらーん
やったね、ぴーす、にこっ、ぶい、うれしい	(^^)v	ぴーす
にこっ、うれしい	(=⌒ー⌒=)	にこっ
かお、にこっ、うれしい	(´∀｀)	にこっ
かお、うれしい	(≧∀≦)	うれしい
にこっ、すまいる、わらう	:)	にこっ
ぴーす、うれしい	V(^O^)	ぴーす

読　み	変　換	音声読み上げ
ちゅっ、にこっ、わらう	(^ з ^)/ﾁｭｯ	ちゅっ
わくわく、うれしい	((o(^-^)o))	わくわく
にこっ、わらう	(^^)	にこっ
いえい、ぶい、ぴーす、うれしい	v(^o^)	ぴーす
やったね、ぴーす、にこっ、ぶい、うれしい	(^_^)v	ぴーす
にこっ、わらう	(^・^)	にこっ
わーい、わらう	(^O^)	わーい
おーい、はーい、わらう	(^O^)/	おーい
やったね、ぴーす、にこっ、ぶい、わらう	(^O^)v	ぴーす
ほっぺがおちる、わらう	)^o^(	わーい
わーい、わらう	＼(^o^)／	ばんざーい
にこっ、すまいる、わらう	:-)	にこっ
きゃー、うれしい	ヽ(≧▽≦)/	うれしい
ぐー、うれしい	d=(^o^)=b	ぐー
きゃー、うれしい	ε＝ヾ(*~▽~)ノ	きゃー
うれしい	(@^O^@)	うれしい
むふふ、うれしい	(´艸｀)	むふふ
かお、あいた、いたい、いてー、ひぇー、なく	(>_<)	いたっ
かお、うるうる、なく	(T^T)	えーん
かお、しくしく、なく	(T_T)	しくしく
かお、しくしく、なく	(/_;)	しくしく
かお、びくっ、かなしい	(+_+)	びくっ
かお、がっくり、かなしい	(x_x;)	いたっ
かお、くすん、なく	(/_・、)	くすん
かお、ぐすん、なく	(つд｀)	ぐすん
かお、がっくし、かなしい	○｜￣｜＿	がっくし
かお、しょぼん、かなしい	(´・ω・｀)	しょぼん
しくしく、なく	(;O;)	しくしく
かお、なく	(>_<。)	いたっ
しくしく、なく	(;_;)	しくしく
なき、うるうる、なく	(T-T)	えーん
なき、うるうる、なく	(TOT)	うるうる
いたい、なく	(ノ_・。)	なく
なく、かなしい	:<	かなしい
かお、なき、ぐすん、なく	(；´д⊂)	ぐすん
えーん、なく	° ・(ノД`)・° ・	えーん
かお、こら、ごるあ、ごるぁ、おこる	ヽ(*｀Д´)ノ	こら
かお、ぱんち、おこる	o-_-)=○☆	ぱんち
かお、ちゃぶだい、おこる	(ノ-"-)ノ~┻━┻	かえれー
こらっ、おこる	(-_-#)	ぴくっ
ふまん、おこる	:-(	ふまん
こら、おこる	Ψ(｀◇´)Ψ	こら
こらっ、おこる	(ノ｀△´)ノ	こらっ
ぷんぷん、むかっ、おこる	(●｀ε´●)	むかっ
かお、ぽりぽり、てれる	(^^ゞ	ぽりぽり
かお、てへ、てれる	f(^_^)	ぽりぽり

読　み	変　換	音声読み上げ
にこっ、ぽっ、てれる	(#^.^#)	にこっ
えへっ、てれる	(*^.^*)	えへっ
てれ、てれる	(// ▽ //)	てれ
てへっ、てれる	(*'-')	てへっ
てへっ、てれる	(=°　ω°　=)	てへっ
かお、こまる、てれ、てれる	(*´　д　`*)	てれ
てへっ、てれる	:p	てへっ
うふふ、てれる	('∇')	うふふ
かお、びくっ、おどろき	(*_*)	びくっ
かお、めがてん、おどろき	(・・?	めがてん
かお、めがてん、おどろき	(・・;)	めがてん
かお、うーん、おどろき	(°-°)	ほけー
かお、びくっ、おどろき	(@_@)	びくっ
かお、ぎくっ、おどろき	(--;)	ぎくっ
かお、きらーん、おどろき	(-_☆)	きらーん
がーん、おどろき	(￣□￣;)!!	あせ
かお、ぽかーん、おどろき	(°　o°　;)	ぽかーん
かお、びっくり、がーん、ぎく、おどろき	Σ(￣□￣)！	がーん
えっ、おどろき	(￣◇￣;)	えっ
えっ、おどろき	ヽ（°　□°　；）ノ	えっ
えっ、おどろき	(;°　□°　)	えっ
かお、がくがく、おどろき	((((°　д°　;))))	がくがく
かお、ぎくっ、てつや、おどろき	(=_=;)	てつや
めがてん、おどろき	(・.・;)	めがてん
ぎくっ、ぎょ、おどろき	(°o°)	ほけー
ぎくっ、ぎょ、おどろき	(°o°;	ぎくっ
びくっ、ぎょっ、おどろき	(@_@。	びくっ
かお、ぽかーん、おどろき	(°Д°)	ぽかーん
うーん、おどろき	(°_°)	うーん
めがてん、おどろき	(・。・;	めがてん
めがてん、おどろき	(・_・)	めがてん
めがてん、おどろき	(・_・;	めがてん
めがてん、おどろき	(・o・)	めがてん
おおー、びっくり、おどろき	(°o°)/	びっくり
ぎくっ、おどろき	(°o°;;	ぎくっ
がーん、おどろき	Σ(°□°;)	がーん
かお、ぎくっ、あせ、あせり	(^^;)	あせ
かお、なぜ、ぎもん	(?_?)	なぜ
ぎくっ、あせ、あせり	(-_-;)	じとっ
ばたばた、ぎもん	w=(°o°)=w	ばたばた
かお、えっ、ぎもん	σ(^_^；)？	あせ
かお、じー、ぎもん	(;¬_¬)ｼﾞｰ	じー
かお、あたふた、あせり	O(><;)(;><)O	ひえー
かお、あたふた、あせり	(°　Д°　；≡；°　Д°　)	あたふた
ぎくっ、あせり	^^;	あせあせ
ぎくっ、あせ、あせり	(^^;;	あせあせ

読　み	変　換	音声読み上げ
かお、ぎくっ、あせ、あせり	(^_^;)	あせあせ
ぎくっ、あせ、あせり	(^-^;	あせ
ぎくっ、あせ、あせり	(~_~;)	ほへー
ぎくっ、あせ、ぎもん	(¥_¥;	ぎくっ
びくっ、あせり	(*_*;	びくっ
ぎくっ、あせ、あせり	^_^;	あせあせ
ぎくっ、なぜ、ぎもん	(?_?;	ぎくっ
にげる、あせり	ε＝┌(・_・)┘	にげる
ぎくっ、あせ、えっ、あせり	(°　∇°　;)	ぎくっ
じたばた、あせり	((○(＞_＜)○))	じたばた
ぎくっ、あせ、あせり	(;°　O°　)	ぎくっ
うたう	(~▽~@)♪♪♪	うたう
かお、りょうかい、おっけー、らじゃ	('◇')ゞ	りょうかい
かお、ぺこり	m(_ _)m	ぺこり
ぺこり	_(._.)_	ぺこり
ありがと、おねがい、ごめん、ぺこり	＜(_ _)＞	ぺこり
いそぐ、にげる	≡≡≡ヘ(*--)ノ	にげる
こそこそ	(^_^;))))))ｺｿｺｿ…	こそこそ
かお、がんばれ、ふぁいと	p(^-^)q	ふぁいと
ういんく	;)	ういんく
かお、ういんく	(^_-)	ういんく
いい	(・∀・)イイ	いい
かんしゃ、ありがとう	(^人^)	ごめん
ぴんぽーん	!(^^)!	ぴんぽーん
かお、よしよし、おい	ヽ(^^)	よしよし
かお、ぷっ	(*≧m≦*)	ぷっ
げっつ	(σ・∀・)σ	げっつ
かお、にやり	(￣ー￣)	にやり
どうぞ	(　・∀・)つ	どうぞ
どうぞ、おちゃ	(^-^)_旦～	おちゃ
きて、かもん、おいで	(屮°　□°　)屮	おいで
くちぶえ	♪～(￣ε￣)	くちぶえ
たばこ	(￣。￣)y-～～	たばこ
しゃきーん	(｀・ω・´)	しゃきーん
せーふ	⊂(・∀・)⊃	せーふ
かお、いっぷく	(-.-;)y-~~~	いっぷく
かお、いっぷく	(-。-)y-°°°	いっぷく
うまい、たべる	(￣～￣)	うまい
おねがい	(￣人￣)	おねがい
かんぱい、なかま、たっち	(^-^)人(^-^)	なかま
かお、よしよし	(i_i)＼(^_^)	よしよし
つんつん	(^▽^)σ)~O~)	つんつん
たすけて	～～(m´Д｀)m	たすけて
いひひ	～～(m｀∀´)m	いひひ
かお、めもめも、かきかき	φ(.　_.　)ﾒﾓﾒﾓ	めもめも
もしもし	(゜∇^)] ﾓｼﾓｼ	もしもし

読　み	変　換	音声読み上げ
あーん	(´□`)	あーん
やれやれ	┐(￣∇￣;)┌	やれやれ
はぁ、ためいき	(´ヘ`;)	ためいき
ためいき	(；-_-)=3	ためいき
かお、うーん	(-"-;)	うーん
ふふん、じまん	(´ー`)	ふっ
よだれ	(´¬`)	よだれ
ふっ	(￣ー+￣)ﾌｯ	ふっ
ほへー	(~_~)	ほへー
ほへー	(~o~)	ほへー
かお、むしめがね	(p_-)	むしめがね
かお、じとっ	(-_-)	じとっ
じとっ	(-.-)	じとっ
かお、ちちち	(-.-")凸	ちっちっち
どれどれ	(..)	うーん
ちらっ	[壁]_-)	ちらっ
いたい	(+。+)	いたい
かお、ねてる、ねる	(-_-)zzz	ぐーぐー
ねむい	(_ _).oO	ねる
かお、ふーん	(´_ゝ`)	ふーん
ねむい	(UoU)	ねむい
くま	(^(I)^)	くま
かお、いぬ	U^I^U	いぬ
ぽい	ﾎﾟｲｯ(-__-)ノ⌒	ぽい
よだれ	ヽ(°▽、°)ノ	よだれ
さかな	＞°))))彡	さかな

※「かお」は「かおもじ」と入力しても変換できます。
※ 実際の表示と異なるものがあります。

マルチアクセスの組み合わせについて

現在実行中の動作ごとに発生、実行する処理の動作可否を次に示します。

- ｉモード中（ｉモード接続）は、ｉチャネルおよびｉコンシェル（情報の受信を除く）での通信を含みます。
- ｉモードメール受信は、メッセージR/F、ｉチャネルおよびｉコンシェルの情報の受信を含みます。

○：新たに実行できます　△：条件により新たに実行できます　×：新たに実行できません

現在の状態			通話中	ｉモード中	データ通信中（パケット）	データ通信中（64K）
発生・実行する処理	電話	発信	△※1	△※8、9	×	×
		着信	△※1、2、3	○	○	△※2、3、13
	ｉモード	接続	×	×	×	×
	ｉモードメール	送信	○※4	○※10	×	×
		受信	○※5	○※5	×	×
	SMS	送信	○※4	△※11	△※12	×
		受信	○※5	○※5	○※5	○※5
	データ通信（パケット）	発信	○	×	×	×
		着信	○	×	×	×
	データ通信（64K）	発信	×	×	×	×
		着信	△※3、6、7	△※6、7	△※6、7	△※6、7

※1 キャッチホンをご利用の場合は、通話中に別の相手に電話をかけたり受けたりできます。
※2 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスをご利用の場合は、各サービスで対応できます。
※3 通話中着信設定を開始に設定している場合、通話中着信動作選択の設定に従います。
※4 電話帳、個人情報からメールを作成・送信できます。
※5 着信音は鳴りません。
※6 不在着信として記録されます。
※7 転送でんわサービスを開始に設定し、呼出時間を「0秒」に設定している場合は、転送でんわサービスで対応できます。
※8 Phone To機能を使用して電話をかけることができます。
※9 ステレオイヤホンマイク 01（別売）を使用して電話をかけることができます。
※10 Mail To機能、サブメニューからｉモードメールを作成・送信できます。
※11 SMS To機能を使用してSMSを作成・送信できます。
※12 通話中のみ電話帳、個人情報からSMSを作成・送信できます。
※13 キャッチホンを開始に設定している場合、現在の通信を終了して応答できます。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション品を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってお取り扱いしていない商品もあります。
詳細はドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプション品の詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 電池パック F18
- リアカバー F59
- FOMA ACアダプタ 01／02※1
- 卓上ホルダ F33
- キャリングケースS 01
- キャリングケース 02
- 平型ステレオイヤホンセット P01※2
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01※2／P02※2
- 外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01
- イヤホン変換アダプタ 01
- ステレオイヤホンマイク 01
- イヤホンマイク 01
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02※3
- 車内ホルダ 01
- FOMA DCアダプタ 01／02
- 車載ハンズフリーキット 01※4
- FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル 01
- FOMA USB接続ケーブル※3
- FOMA 乾電池アダプタ 01
- FOMA 補助充電アダプタ 01／02／03
- イヤホンジャック変換アダプタ P001※2
- スイッチ付イヤホンマイク P001※5／P002※5
- ステレオイヤホンセット P001※5
- マイク付リモコン F01※2
- イヤホンターミナル P001※5
- FOMA 海外兼用ACアダプタ 01※1
- FOMA 室内用補助アンテナ※6
- FOMA 室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）※6
- 骨伝導レシーバマイク 01※2
- FOMA ecoソーラーパネル 01

※1 ACアダプタの充電方法について→p.43
※2 F-08Cと接続するには、外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01が必要です。
※3 USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※4 F-08Cを利用／充電するには、FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル 01が必要です。
※5 F-08Cと接続するには、外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01とイヤホンジャック変換アダプタ P001が必要です。
※6 日本国内で使用してください。

動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画（MP4形式）を再生するには、アップルコンピュータ株式会社のQuickTime Player（無料）ver.6.4以上（またはver.6.3＋3GPP）が必要です。

QuickTime Playerは、次のホームページからダウンロードできます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

- ダウンロードするには、インターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細は上記ホームページをご覧ください。

故障かな？と思ったら

- まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→p.434
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源・充電

● FOMA端末の電源が入らない

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→p.41
- 電池切れになっていませんか。→p.42、p.46

● 充電ができない（充電中に充電ランプが点灯しない）

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→p.41
- アダプタとFOMA端末が正しくセットされていますか。→p.44
- ACアダプタ（別売）をご使用の場合、ACアダプタのコネクタがFOMA端末または卓上ホルダ（別売）にしっかりと接続されていますか。→p.44
- アダプタの電源プラグまたはシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。→p.44
- 卓上ホルダを使用する場合、FOMA端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
- 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇する場合があります。温度が高い状態では安全のために充電が行われない場合があるため、ご使用後にFOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

■ 端末操作・画面

● 電源断・再起動が起きる

電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

● ボタンを押しても動作しない

- 次の機能を起動していませんか。
  - オールロック→p.122
  - おまかせロック→p.123
  - 開閉ロック→p.127

● 電池の使用時間が短い

- 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。

● ドコモUIMカードが認識されない

- ドコモUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→p.38
- FOMAカード（青色）を挿入していませんか。→p.38

● ボタンを押したときの画面の反応が遅い

FOMA端末に大量のデータが保存されているときや、FOMA端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。

● 操作中・充電中に熱くなる

操作中や充電中、充電しながらｉアプリなどを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。

● ディスプレイが暗い

- 省電力の状態になっていませんか。→p.48
- 照明設定を変更していませんか。→p.114
- エコモードを設定していませんか。→p.115

● 時計がずれる

長い間、電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。日付時刻設定を「自動で設定する」に設定して電波のよい所で電源を入れ直してください。→p.50

■ 通話・音声

● 通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる

- 次の設定を変更していませんか。
  - 通話中の受話音量→p.72
  - 待受中の受話音量→p.105
- 次の機能を設定すると相手の声が聞き取りやすくなります。
  - はっきりボイス→p.69
  - ゆっくりボイス→p.69
  - あわせるボイス→p.70
- 市販の保護シートで受話口をふさいでいませんか。
- 受話口を耳でふさいでいませんか。

● 通話ができない（場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）

- ドコモUIMカードを入れ直してください。→p.38
- 電池パックを入れ直してください。→p.41
- 電源を入れ直してください。→p.47
- 電波の性質により圏外ではなく、アンテナマークが3本表示されている状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- 次の設定を変更していませんか。
  - 電話帳指定着信拒否／許可→p.128
  - 非通知理由別着信設定→p.129
  - 登録外着信拒否→p.132
- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

● 着信音が鳴らない

- 電話着信音量を「消音」に設定していませんか。→p.104
- 次の機能を起動していませんか。
  - 公共モード（ドライブモード）→p.73
  - マナーモード→p.109
  - セルフモード→p.124
- 次の設定を変更していませんか。
  - 電話帳指定着信拒否／許可→p.128
  - 非通知理由別着信設定→p.129
  - 無音着信時間設定→p.131
  - 登録外着信拒否→p.132
- 次の設定を「0秒」にしていませんか。
  - 伝言メモの呼出時間設定→p.75
  - オート着信設定の応答時間→p.359
  - 留守番電話サービスの呼出時間→p.378
  - 転送でんわサービスの呼出時間→p.380

● ダイヤルボタンを押しても発信できない

- 次の機能を起動していませんか。
  - オールロック→p.122
  - おまかせロック→p.123
  - セルフモード→p.124
  - ダイヤル発信制限→p.126

● 通話中、自分の声が相手に届かない、または届きにくい／通話中、自分の声が相手に途切れて聞こえる

- 騒音が大きい環境下で通話するときに口元とマイクが離れていると、自分の声を騒音として検出・抑圧してしまい、自分の声が相手に途切れて聞こえたり、届かなかったりする場合があります。騒音が大きい環境下での通話は、口元とマイクを近づけてご利用ください。
- マイクを指でふさいでいませんか。

■ iモード・メール

● iモード、iモードメール、iアプリ、iチャネル、iコンシェルに接続できない

- 接続先設定を「iモード」以外に設定していませんか。→p.235
- iモードを途中からご契約いただいた場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

● メールを自動で受信しない

メール選択受信設定を「利用する」に設定していませんか。→p.173

● iモード中のマークが点滅したまま消えない

iモード（センター）問い合わせ・メール送受信などの後や途中でiモード接続が途切れたときは、は点滅したままになります。データのやりとりを行わなければ自動的に切断されますが、を押せばすぐに終了できます。

● 添付データが削除されて画像を見ることができない

- 添付データ受信設定を確認してください。→p.188
- メールサイズ制限を確認してください。詳しくは『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

■ カメラ

● カメラで撮影した静止画やビデオがぼやける

- カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。
- 自動シーン認識を利用してください。→p.254
- 追跡フォーカスを利用してください。→p.254
- 近くの被写体を撮影するときは、接写撮影に切り替えてください。→p.258

■ データ管理・データ表示

● microSDカードに保存したデータが表示されない

- パソコンなどでデータを保存したときは情報更新を行ってください。→p.319
- microSDカードのチェックをしてください。→p.319

● データ転送が行われない

USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

● 各機能で設定した画像やメロディなどが動作せず、お買い上げ時の設定で動作する

画像やメロディなどの取得時に挿入していたドコモUIMカードが挿入されていますか。→p.40

● 画像が表示できない

画像が壊れている場合は▨が表示される場合があります。

■ その他

● ディスプレイがちらつく

照明設定を「自動で調整」に設定すると、ディスプレイの照明が周囲の明るさによって自動的に変更されたとき、ちらついて見える場合があります。→p.114

● ディスプレイに常時点灯する／点灯しないドット（点）がある

FOMA端末のディスプレイは非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に常時点灯するドットや点灯しないドットが存在する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり、FOMA端末の故障ではありません。あらかじめご了承ください。

● オートローテーション機能が動作しない

- オートローテーション設定を「切替えない」に設定していませんか。→p.35
- 使用している機能がオートローテーションに対応していますか。→p.35

● FOMA端末の電源が切れない

㊀を10秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。

● microSDカードを取り付けているのに、待受画面にmicroSDカードありのマークが表示されない

USBケーブルでパソコンなどと接続中やmicroSDモード中、ソフトウェア更新の予約中はSDが表示されません。→p.24

● ディスプレイに残像が残る

- FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、しばらくの間ディスプレイから残像が消えないことがあります。電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- FOMA端末を開いたまましばらく同じ画面を表示していると、何か操作して画面が切り替わったとき、前の画面表示の残像が残る場合があります。

● FOMA端末を持ち上げたときに背面ディスプレイの照明が点灯する／点灯しない

- 背面ディスプレイの点灯設定に従って動作します。→p.113
- 背面ディスプレイの照明は、持ち上げたときの速度や傾きを感知して点灯します。背面ディスプレイの点灯設定を「点灯する」に設定していても、ゆっくりと持ち上げたり、傾きが足りなかったりすると、点灯しない場合があります。また、歩行中や振動の多い場所でも点灯しない場合があります。
- エコモードを設定すると、背面ディスプレイの点灯設定は「点灯しない」に設定されます。→p.115

● ディスプレイが真っ暗で決定ボタンが点滅している

- 省電力の状態になっていませんか。→p.48
- エコモードを設定していませんか。→p.115

● FOMA端末を閉じているとき、ランプが点滅する

- 次の設定を変更していませんか。
  - 新着お知らせ設定（ランプ）→p.115
  - microSDモード設定→p.329

● FOMA端末を開くたびに決定ボタンが点滅している

ｉコンシェルのインフォメーションを受信していませんか。→p.246

エラーメッセージ一覧

• エラーメッセージ内の「(数字)」または「(xxx)」は、ｉモードセンターから送信されたエラーを区別するためのコードです。

● **遠隔操作可能なサービスは未契約です**
留守番電話サービスまたは転送でんわサービスが未契約です。利用するには別途ご契約が必要です。

● **応答がありませんでした（408）**
サイトやインターネットホームページから規定時間内に応答がなく、通信が切断されました。しばらくたってから操作し直してください。

● **おまかせロック中です**
おまかせロック中です。→p.123

● **画像に誤りがあり正しく動作しません**
画像に誤りがあるため、Flash画像を表示できません。

● **圏外です**
電波の届かない所かFOMAサービスエリア外にいるため実行できません。

● **現在このソフトは利用できません**
IP（情報サービス提供者）によってｉアプリの使用が停止されています。

● **更新できませんでした**
パターンデータの更新に失敗しました。他に起動している機能をすべて終了し、電波状態のよい所で更新し直してください。

● **このカードでは本機能は利用できません**
他社のSIMカードを挿入しているため、起動できませんでした。

● **このカードは使用できません**
ドコモUIMカードが正しく取り付けられていないか、異常があります。なお、本FOMA端末ではFOMAカード（青色）はご使用できません。→p.38

● **この形式のデータは実行できません**
FOMA端末で対応していないファイル形式のデータはmicroSDカードからFOMA端末に移動／コピーしたり、表示したりできません。

● **このサイトとのSSL／TLS通信は無効です**
サイトの証明書が書き換えられています。接続できません。

● **このサイトの安全性が確認できません。接続しますか？**
サイトの証明書がFOMA端末で対応していません。

● **このサイトは安全でない可能性があります。接続しますか？**
サイトの証明書が有効期限前か期限切れです。日付・時刻を設定していない場合や、誤っている場合にも表示されることがあります。→p.50

● **この接続先の安全性が確認できません。接続しますか？**
CA証明書が有効期限切れです。日付・時刻を設定していない場合や、誤っている場合にも表示されることがあります。→p.50

● **この接続先は安全でない可能性があります。接続しますか？**
サイトの証明書のCN名（サーバ名）が実際のサーバ名と一致していません。

● **このソフトは最新です**
すでに最新のｉアプリに更新されています。

● **このデータは再生できない可能性があります**
動画／ｉモーションがFOMA端末で対応していない形式です。

● **サービス未契約です**
• ｉモードが未契約です。利用するにはお申し込みが必要です。
• ｉモードを途中から契約された場合は、FOMA端末の電源を入れ直してください。

● **サービス未提供です**
SMSが未提供です。

● **再生可能日前です　再生できません**
ｉモーションに設定されている再生期間より前のため再生できません。動画／ｉモーションの情報を確認してください。→p.303

● **サイトが移動しました（301）**
サイトやインターネットホームページが自動的にURL転送を行っているか、URLが変更されています。

● **サイトに接続できませんでした（403）**
接続を拒否されるなど、何らかの原因でサイトに接続できませんでした。

● **時刻がリセットされたため、このデータを取得できません。時刻を自動設定にして電源を入れ直してください**

日付・時刻を手動で設定したときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しなかったりすると、日付・時刻が消去される場合があります。→p.50

● **指定サイトがみつかりません（404）**

URLが正しいかどうか確認してください。

● **指定サイトに表示データがありません（204）**

指定のサイトにデータがありませんでした。

● **指定されたソフトが起動できませんでした**

ｉアプリにエラーが発生したため、起動できません。ソフト動作設定や起動条件などに問題がある場合は起動できません。

● **指定したサイトへは接続できませんでした（504）**

何らかの原因で、指定のサイトなどに接続できませんでした。

● **しばらくお待ちください**

・音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。
・110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。

● **しばらくお待ちください（パケット）**

パケット通信設備が故障、またはパケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

● **受信が中断されました。受信できなかったメッセージがあります**

受信中にエラーが発生したため、SMSをすべて受信できませんでした。電波状態のよい所でSMS問い合わせを行ってください。→p.200

● **既にメッセージをお預かりしています**

すでにSMSは送信済みです。

● **全ての操作を制限しています**

オールロック中です。→p.122

● **正常に接続できませんでした（400）**

サイトやインターネットホームページのエラーにより接続できません。URLを確認してください。

● **積算料金が既定の上限に達したため通話が切断されました**

積算通話料金をリセットしてください。→p.355

● **積算料金が既定の上限に達したため保留中の通話が切断されました**

積算通話料金をリセットしてください。→p.355

● **積算料金が既定の上限に達しているため発信できません**

積算通話料金をリセットしてください。→p.355

● **セキュリティエラーのため、ｉアプリを終了しました**

許可されていない操作やｉアプリの動作があったため、ｉアプリが終了しました。

● **セキュリティエラーのためｉアプリ待受画面を解除しました**

許可されていない操作やｉアプリの動作があったため、ｉアプリ待受画面が終了しました。

● **接続相手が見つかりません。もう一度受信しますか？**

赤外線通信状態にしてから通信する相手が見つからないまま一定時間が経過しました。FOMA端末を正しく配置してから「1受信する」を押してください。→p.331

● **接続が中断されました**

電波状態のよい所で操作し直してください。同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

● **接続できませんでした（562）**

ｉモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい所で操作し直してください。

● **設定時間内に接続できませんでした**

ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

● **送信できませんでした（552）**

ｉモードセンターのエラーにより、ｉモードメールの送信に失敗しました。しばらくたってから送信し直してください。

● **ソフトに誤りがあります**

ｉアプリのデータに誤りがあるためダウンロードできません。

● **ダイヤル発信が制限されています**

ダイヤル発信制限中は禁止されている操作ができません。→p.126

● ただいま利用制限中のためしばらくしてからご利用ください

ｉモードパケット定額サービスをご利用の場合に限り、一定時間内に著しく大量なデータ通信があったときに表示されます。一定時間接続できなくなることがありますので、しばらくたってからｉモードをご利用ください。

● 注意！電話番号やURLの記述があります。送信元に心当たりが無い場合はご注意ください。

スキャン機能設定のメッセージスキャンを「有効にする」に設定しているとき、電話番号やURLの記載が含まれているSMSを表示しようとしました（moperaメールや留守番電話の着信通知などをSMSで受信した場合は、表示されません）。

● 中断されました

赤外線通信中にエラーが発生しました。データの送受信が終了するまでFOMA端末を正しい位置から動かさないでください。→p.331

● 次の宛先にはメール送信できませんでした（561）

次の宛先にｉモードメールを送信できませんでした。決定を押すと送信に失敗した宛先が表示されます。宛先を確認し、電波状態のよい所で送信し直してください。

● データが壊れています。お買い上げ時の状態に戻しますか？

「1戻す」を押してお買い上げ時の状態に戻さないと起動できません。

● データ転送モードへ移行できません

FOMA端末が通信中のため、データ転送モードへ移行できません。通信が終了してから操作し直してください。

● データまたはmicroSDカードが壊れています

・microSDカードに保存しているデータまたはmicroSDカードに問題があるため、アクセスできません。次の操作を行ってください。
  - 新しいmicroSDカードの取り付け→p.317
  - microSDカードの初期化→p.318
  - microSDカードのチェック→p.319

● 問い合わせできませんでした

電波状態のよい所で操作し直してください。同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

● 登録件数がいっぱいです

・ドコモUIMカードの保存領域が足りないため、SMSを保存できません。次の操作を行ってください。
  - ドコモUIMカード内SMSをFOMA端末に移動→p.204
  - ドコモUIMカード内SMSの削除→p.204

● ドコモUIMカード（FOMAカード）が異なるためご利用できません

ドコモUIMカードのセキュリティ機能により操作できません。→p.40

● ドコモUIMカード（FOMAカード）が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした

ドコモUIMカードのセキュリティ機能によりｉアプリを起動できません。→p.40

● ドコモUIMカード（FOMAカード）を挿入してください

ドコモUIMカードが正しく取り付けられていないか、破損している可能性があります。→p.38

● 入力データをご確認ください（205）

サイトやインターネットホームページの入力データに誤りがあります。

● 認証接続できませんでした

・認証パスワードが正しくないため、赤外線通信でのデータの全件送信ができませんでした。→p.332
・認証パスワードが正しくないため、赤外線通信でのデータの全件受信ができませんでした→p.334

● 認証タイプに未対応です（401）

認証タイプに対応していないため、指定のサイトやインターネットホームページに接続できません。

● パスワードをご確認ください（401）

サイトやインターネットホームページの認証画面に入力したユーザ名またはパスワードに誤りがあります。

● 不正なデータが含まれています

バーコードリーダーで読み取ったデータからｉアプリを起動する場合、データに不正があるときは起動できません。

● 不正なmicroSDカードです。著作権保護機能は利用できません

何らかの原因でmicroSDカード内の認証領域にアクセスできません。エラーの発生したmicroSDカードには、データを保存できません。

● 他の機能が起動中のため起動できません
パターンデータの更新を行う場合は、他の機能をすべて終了してください。

● 保存できないデータです
赤外線通信で受信したデータがFOMA端末で対応していないファイル形式のため保存できません。

● 保存領域がいっぱいで保存できません
- FOMA端末の保存領域が足りないため、SMSを保存できません。次の操作を行ってください。
  - SMSをドコモUIMカードに移動→p.202
  - メールやSMSの削除→p.207

● 無効なデータを受信しました（xxx）
- 指定のサイトやインターネットホームページに対応していません。
- URLを確認してください。
- 受信データにエラーがあるため表示できません。

● メール／メッセージがいっぱいです。これ以上受信できません
- FOMA端末またはドコモUIMカードの受信メールの保存領域が足りないため、SMSを受信できません。次の操作を行ってください。
  - 未読メールの内容表示→p.174
  - メールやSMSの削除→p.207
  - メールの保護の解除→p.208

● メモリ不足です
メモリが足りないため処理を中断します。頻繁に表示される場合は、一度電源を入れ直してください。

● ユーザ証明書がありません。継続しますか？
ユーザ証明書がダウンロードされていません。→p.236

● リミット超過の為ご利用できません リミットの変更はお客様サポートよりお申込みください
リミット機能付料金プランの上限額を超えているため、音声入力メールが利用できません。

● 料金情報の読み込みができませんでした
ドコモUIMカードが正しく取り付けられていないか、異常があります。→p.38

● 料金情報のリセットができませんでした
ドコモUIMカードが正しく取り付けられていないか、異常があります。→p.38

● ｉアプリの通信回数が多くなっています 通信を継続しますか？
ｉアプリ利用時の通信回数が一定時間内に著しく多い場合に表示されます。継続して利用するには「1継続する」、通信を終了して継続するには「2継続しない」、終了するには「3終了する」を押します。

● ｉアプリ利用を継続し、通信を行いますか？
「ｉアプリの通信回数が多くなっています 通信を継続しますか？」と表示された後で、再びｉアプリが通信しようとしました。

● ｉモーション最大サイズを超えています
最大サイズを超えたため取得を中断しました。→p.240

● ｉモードセンターが混みあっています　しばらくお待ちください（555）
ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

● microSDカードの保存領域がいっぱいです
microSDカードの保存領域が足りないため、データの移動／コピー、バックアップ、情報更新ができません。不要なデータを削除してください。→p.324

● PINロック解除コードがロックされています
ドコモショップの窓口にお問い合わせください。

● SMSセンター設定を確認してください
SMS設定（SMSC）が誤っています。→p.205

● SSL／TLS通信が切断されました
SSL／TLS通信中にエラーが発生したか、サーバ側での認証エラーのためSSL／TLS通信が中断されました。

● SSL／TLS通信が無効です
SSL／TLS通信の認証処理で問題が検出されました。接続は中止されます。

● SSL／TLS通信が無効に設定されています
FOMA端末の証明書が無効に設定されています。設定を変更してください。→p.236

● “○○○.ne.jp”宛のメールが混み合っているため、送信することができません（555）Unable to send. “○○○.ne.jp” is not available temporarily.（555）
ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。メッセージ内に表示されるドメイン名は送信先により異なります。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障、修理やその他取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化、消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、iモード・iアプリでダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。

※ 本FOMA端末は、電話帳やiモーション、iアプリの利用するデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

※ 本FOMA端末はケータイデータお預かりサービス（お申し込みが必要な有料サービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターに保存していただくことができます。

※ パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（→p.388）とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください（→p.424）。それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障、損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 次の場合は、修理できないことがあります。

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や、内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子（イヤホンマイク端子）・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理できない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

- ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

- FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

■ お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災、けが、故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- 次のような場合は改造とみなされる場合があります。
  - 液晶部やボタン部にシールなどを貼る
  - 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
  - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障、損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障、修理やその他取り扱いによって、クリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定してくださるようお願いします。
- FOMA端末の受話口部やスピーカーなどに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけるとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によっては修理できないことがあります。

◆メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて◆

FOMA端末を機種変更や故障修理する際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合があります。本FOMA端末はFOMA端末にダウンロードされた画像、着信メロディを含むデータおよびお客様が作成されたデータを故障修理時に限り移し替えを行います（一部移し替えできないデータもあります。また、故障の程度によっては移し替えできない場合があります）。

※ FOMA端末に保存されたデータの容量により、移し替えに時間がかかる場合、もしくは移し替えができない場合があります。

ｉモード故障診断サイトについて

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

<TOP画面>

ｉモード故障診断
ﾃｽﾄﾒﾆｭｰ一覧
GIF画像表示ﾃｽﾄ
JPEG画像表示ﾃｽﾄ
ｱﾆﾒｰｼｮﾝ画像表示ﾃｽﾄ
ﾒｰﾙ送受信ﾃｽﾄ
画像ﾒｰﾙ表示ﾃｽﾄ
ﾒﾛﾃﾞｨﾒｰﾙ受信ﾃｽﾄ

<テストメニュー一覧画面>

- 「ｉモード故障診断サイト」へのアクセス方法
  待受画面で[iα]▶「[1] i Menuを見る」▶「お客様サポート／お知らせ」▶「お客様サポート」▶「お問い合わせ」▶「故障・電波状況お問い合わせ先」▶「ｉモード故障診断」
  ※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

サイトアクセス用QRコード

- FOMA端末の機種によりテスト項目は異なります。また、テスト項目は変更になることがあります。
- 各テスト項目で動作を確認する際は、サイト内の注意事項をよくお読みになり、テストを行ってください。
- ｉモード故障診断サイトへの接続およびメール送信テストを行う際に、お客様のFOMA端末固有の情報（機種名やメールアドレスなど）が自動的にサーバ（ｉモード故障診断サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をｉモード故障診断以外の目的には利用いたしません。

ソフトウェアを更新する

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。FOMA端末を操作する上で重要な部分であるソフトウェアを更新することで、FOMA端末の機能・操作性を向上させることができます。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびらくらくｉメニューの「お客様サポート」でご案内させていただきます。〈ソフトウェア更新〉

- 更新方法には、次の3種類があります。
  - 自動更新：新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書き換えを行います。
  - 即時更新：更新したいときすぐに更新を行います。
  - 予約更新：更新する日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。

お知らせ

- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。
- 接続先設定を「ｉモード」以外に設定している場合でもソフトウェア更新ができます。→p.235
- ソフトウェア更新中は、電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新は、電池をフル充電して、電池残量が十分にある状態（→p.46）で実行してください。
- 次の場合はソフトウェア更新を実行できません。
  - ドコモUIMカードが取り付けられていないとき
  - 電池がフル充電されていないとき
  - 電源が入っていないとき
  - 圏外が表示されているとき
  - 日付・時刻を設定していないとき
  - 他の機能を使用しているとき
  - PIN1コード入力中
  - PIN1コードロック中
  - おまかせロック中
  - セルフモード中
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- PIN1コード使用の設定中（→p.120）にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時にはPIN1コード入力画面が表示されません。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能およびその他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は電話の着信のみ受けられます。
- ソフトウェア更新の際には、サーバ（当社のサイト）へSSL／TLS通信を行います。証明書表示／使用設定で証明書を有効に設定してください。お買い上げ時は、有効に設定されています。→p.236
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態（→p.47）で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、もう一度電波状態のよい所でソフトウェア更新を行ってください。
- ソフトウェア更新後、表示されていたｉモードセンターに未受信のメールやメッセージR/Fありのマーク（→p.24）は消えます。また、メール選択受信設定を「利用する」に設定している場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にｉモードセンターにメールがあることを通知する画面（→p.173）が表示されないことがあります。

- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換えに失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。

ソフトウェア更新の自動更新設定

ソフトウェア更新が必要なとき、自動で更新を行うか更新が必要なことを通知するかを選択できます。

- お買い上げ時は、自動更新設定が「自動で更新する」、曜日が「指定なし」、時刻が「03時00分」に設定されています。

〈例〉ソフトウェア更新を自動で行うように設定する

1 **待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「8その他のサービスを使う」▶「6ソフトウェアを更新する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 **端末暗証番号を入力▶決定を押す**

更新を実行するか自動更新を設定するかの選択画面が表示されます。

3 **「2自動更新を設定」を押す**

自動更新の設定画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1**自動更新設定**：更新が必要なとき、自動で更新を行うか、更新が必要なことを通知するかを設定します。

2**曜日**：自動で更新する曜日を指定します。

3**時刻**：自動で更新する時刻を指定します。

4 **「1自動更新設定」を押す**

自動更新設定の選択画面が表示されます。

5 **「1自動で更新する」を押す**

曜日の選択画面が表示されます。

■ **更新が必要なことを通知する場合：「2更新を通知する」を押す**

操作8に進みます。

■ **自動更新設定を解除する場合：**

①「3解除する」▶電話帳を押す

自動更新設定を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

②「1解除する」を押す

自動更新設定を解除した旨のメッセージが表示されます。

操作9に進みます。

6 「1指定なし」～「8土曜日」のいずれかを押す

時刻の設定画面が表示されます。

7 時刻を入力▶決定を押す

操作3の画面に戻ります。

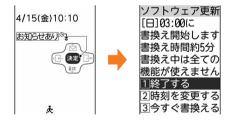
• 24時間制で入力します。時、分が1桁のときは前に0を付けます。

8 電話帳を押す

自動更新設定を設定した旨のメッセージが表示されます。

9 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

ソフトウェア更新が必要になると

ソフトウェア更新が必要になると(書き換え予告マーク)や(更新お知らせマーク)が表示されます。

■ 自動更新設定を「自動で更新する」に設定した場合

自動的に更新ファイルがダウンロードされ、待受画面にお知らせ情報（→p.25）と(書き換え予告マーク)が表示されます。決定を押すと、書き換えの開始時刻を確認したり変更したりできます。

〈例〉書き換えの時刻を変更する

1 待受画面に書き換え予告のお知らせが表示される▶決定を押す

2 「2時刻を変更する」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

書換え時刻の設定画面が表示されます。

■ 書き換え予告マークを消す場合：「1終了する」を押す

待受画面に戻り、(書き換え予告マーク）が消えます。

■ すぐに書き換える場合：「3今すぐ書換える」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

• 以降の操作は「ソフトウェアの即時更新」操作3以降をご覧ください。→p.440

3 「1曜日」▶「1指定なし」～「8土曜日」のいずれかを押す

時刻の設定画面が表示されます。

4 時刻を入力▶決定を押す

操作2の画面に戻ります。

- 24時間制で入力します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

5 電話帳を押す

書換えを開始する時刻を変更した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと待受画面に戻ります。

■ 自動更新設定を「更新を通知する」に設定した場合

ソフトウェア更新が必要になると、待受画面に更新のお知らせが表示されます。決定を押してソフトウェア更新を起動してください。→p.438

お知らせ

- (書き換え予告マーク)は次の場合に表示されます。
  - 更新ファイルのダウンロードが完了した場合
  - 他の機能が起動していて書き換えできなかった場合
  - 書き換えを中止した場合や書き換えの開始時刻を変更した場合
- (更新お知らせマーク)は次の場合に表示されます。
  - ドコモから通知があった場合
  - 更新方法選択画面を表示した場合
  - 予約更新に失敗した場合や予約更新を取り消した場合
  - 予約が解除された場合(データ一括削除を行った場合を除く)

ソフトウェア更新の起動

待受画面にお知らせ情報（→p.25）と!↧(更新お知らせマーク）が表示されているときに決定を押す方法と、メニューの項目番号を押す方法があります。

更新お知らせマークが表示されているときにソフトウェア更新を起動する

1 待受画面に更新のお知らせが表示される▶決定を押す

2 「1確認する」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

ソフトウェア更新
更新が必要です。
更新方法を
選んでください
1今すぐ更新する
2更新を予約する
3更新しない

＜更新方法選択画面＞

- 更新が必要な場合は「更新が必要です。更新方法を選んでください」と表示されます（更新方法選択画面）。「1今すぐ更新する（→p.439）」または「2更新を予約する（→p.440）」を押してください。
- 更新が必要ない場合は「更新の必要はありません。このままご利用ください」と表示されます。

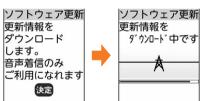
■ 更新お知らせマークを消す場合：

①「2確認しない」を押す

ソフトウェア更新のお知らせアイコンを消去するかどうかの確認画面が表示されます。

②「1消去する」を押す

待受画面に戻り、!↧(更新お知らせマーク）が消えます。

メニューからソフトウェア更新を起動する

1 **待受画面で(メニュー)▶「✱設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「8その他のサービスを使う」▶「6ソフトウェアを更新する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 **端末暗証番号を入力▶決定▶「1更新を実行する」を押す**

更新が必要な場合は、更新方法選択画面が表示されます。

ソフトウェアの即時更新

すぐにソフトウェア更新を開始します。

- サーバが混み合っていて、即時更新ができない場合があります。

1 **更新方法選択画面を表示する**

- 操作方法→p.438

2 **「1今すぐ更新する」▶約5秒後に自動的にダウンロードが開始される**

決定を押すと、すぐにダウンロードを開始します。

- ダウンロード中に決定：ダウンロードを中止します。

■ **サーバが混み合っている場合：**

右の画面が表示されます。

「1更新を予約する」を押して日時の予約をしてください。以降の操作は「ソフトウェアの予約更新」操作3以降をご覧ください。→p.441

ソフトウェア更新
サーバが
混んでいるため
今すぐ
更新できません。
予約しますか？
1更新を予約する
2予約しない

3 ダウンロード終了後、約5秒後に自動的に書き換えが開始される

決定を押すと、すぐに書き換えを開始します。
書き換え中はすべてのボタン操作が無効となり、更新を中止することもできません。

4 書き換え終了後、自動的に再起動▶決定を押す

更新が終了して待受画面が表示されます。

ソフトウェアの予約更新

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混み合っている場合には、あらかじめソフトウェア更新を起動する日時をサーバと通信して設定しておきます。

〈例〉表示されている候補から予約する

1 更新方法選択画面を表示する

- 操作方法→p.438

2 「2更新を予約する」を押す

予約可能な日時がサーバの時刻で表示されます。

ソフトウェア更新
希望日時を
選んでください
04/15金　10:10
04/15金　10:28
その他の日時

3 希望日時を選択▶決定▶「1予約する」を押す

ソフトウェア更新
4月15日(金)
10:10に
予約しますか？
1予約する
2予約しない

ソフトウェア更新
4月15日(金)
10:10に
予約しました
決定

■ 表示されている候補以外から予約する場合：

①「その他の日時」を選択▶決定を押す
希望日の選択画面が表示されます。

② 希望日を選択▶決定を押す
各時間帯の予約の空き状況が表示されます。電話帳を押すと説明を表示できます。

③ 希望時間帯を選択▶決定を押す
サーバに接続され、選択した希望日と時間帯に近い予約候補が表示されます。

④ 希望日時を選択▶決定▶「1予約する」を押す

4 決定を押す

待受画面またはメニュー画面に戻ります。

- 予約中は、待受画面に↧（予約マーク）が表示されます。

ソフトウェア更新の予約を確認する

予約した日時の確認や変更などを行います。

1 待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「8その他のサービスを使う」▶「6ソフトウェアを更新する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力▶決定▶「1更新を実行する」を押す

ソフトウェア更新
4月15日(金)
10:10に
予約されています
1終了する
2変更する
3取消す

3 内容を確認▶「1終了する」を押す

メニュー画面に戻ります。

■ 予約を変更する場合：「2変更する」▶希望日を選択▶決定▶希望時間帯を選択▶決定▶希望日時を選択▶決定▶「1予約する」▶決定を押す

■ 予約を取り消す場合：「3取消す」▶「1取消す」▶決定を押す

予約の日時になると

- 予約日時になると右の画面が表示され、約5秒後に自動的にソフトウェア更新を開始します（決定を押すと、すぐにソフトウェア更新を開始します）。予約日時前には、電池がフル充電されていることをご確認の上、電波の十分届く所でFOMA端末を待受画面にしておいてください。ダウンロードが完了するとソフトウェアの書き換えが行われ、再起動します。
- ソフトウェア更新を中止する場合は⊖▶「1終了する」を押します。

ソフトウェア更新

更新を開始します

決定

お知らせ

- 次の場合は、ソフトウェア更新の予約が解除されることがあります。
  - 電池パックを取り外したり、電池が切れたまま充電しなかった場合
  - データ一括削除を行った場合
  - おまかせロック中に予約日時になったとき
- ソフトウェア更新の設定中、または他の機能を使用していると予約日時になっても起動しないことがありますのでご注意ください。パケット通信中に予約日時になったときは、パケット通信終了後にソフトウェア更新を開始します。

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る

サイトからのダウンロードやｉモードメールなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。〈スキャン機能〉

- チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは、新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。→p.443
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際にFOMA端末に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータがFOMA端末にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能によって障害などの発生を防ぐことができませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータはFOMA端末の機種ごとにデータの内容が異なります。また、当社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は停止する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

パターンデータの更新

まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

パターンデータの自動更新設定を「無効にする」に設定しているときや、パターンデータの自動更新に失敗したときは、パターンデータを手動で更新してください。

1 **待受画面で(メニュー)▶「[*]設定を行う」▶「[#]その他の設定を行う」▶「[2]ネットワークサービスを使う」▶「[8]その他のサービスを使う」▶「[5]スキャン機能を使う」▶「[1]パターンデータを更新する」を押す**

パターンデータを更新するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「[1]更新する」▶「[1]送信する」を押す**

パターンデータのダウンロードと更新が開始されます。終了すると、更新を完了した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

- パターンデータの更新が必要ないときは、パターンデータは最新である旨のメッセージが表示されます。

お知らせ

- パターンデータ更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をスキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- パターンデータ更新中に電話の着信があった場合は、更新は中断されます。

パターンデータの自動更新設定

スキャン機能で利用するパターンデータを自動的に更新するように設定できます。

- パターンデータの自動更新が行われると、待受画面にお知らせ情報（→p.25）と(パターンデータの自動更新成功マーク）または(パターンデータの自動更新失敗マーク）が表示されます。決定を押してメッセージを確認した後、決定を押してください。

1 **待受画面でメニュー▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「8その他のサービスを使う」▶「5スキャン機能を使う」▶「2パターンデータ自動更新設定を行う」を押す**

パターンデータ自動更新設定を有効にするかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1有効にする」▶「1続ける」を押す**

通信を行う旨のメッセージが表示されます。

■ パターンデータの自動更新設定を無効にする場合：「2無効にする」を押す

3 **「1続ける」を押す**

自動更新を有効／無効に設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

<「有効にする」に設定した場合>　<「無効にする」に設定した場合>

スキャン機能の設定

本設定を「有効にする」に設定すると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックします。SMSにスキャン機能を実行するかを設定することもできます。

• 障害を引き起こすデータを検出すると5段階の警告レベルで表示されます。→p.446

1 待受画面でⓜ▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「8その他のサービスを使う」▶「5スキャン機能を使う」▶「3スキャン機能を設定する」を押す

スキャン機能の設定画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1**スキャン機能**：スキャン機能を有効にするかどうかを設定します。

2**メッセージスキャン**：SMSを表示する際にスキャン機能を有効にするかどうかを設定します。

2 「1スキャン機能」を押す

スキャン機能を有効にするかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1有効にする」を押す

操作1の画面に戻ります。

■ **スキャン機能設定を無効にする場合：「2無効にする」を押す**

操作5に進みます。

4 「2メッセージスキャン」▶「1有効にする」または「2無効にする」を押す

操作1の画面に戻ります。

5 電話帳を押す

スキャン機能を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

スキャン結果の表示

■ スキャンされた問題要素の表示について

警告レベル画面で「詳細を表示する」を押すと検出された問題要素の名前の一覧が表示されます。ただし、問題要素が6個以上検出された場合は、6個目以降の問題要素名は省略され、検出された問題要素の総数が表示されます。

- 決定を押すと警告レベル画面に戻ります。

問題要素一覧
PadHtml001.H
PadHtml002.H
PadHtml003.H
PadHtml004.H
PadHtml005.H
以下省略します
総数30

■ スキャン結果の表示について

警告レベル	対応方法
警告レベル0 スキャン機能 正常に 動作できない 場合があります 1続ける 2詳細を表示する	1 **続ける**：起動中のアプリケーションの処理を続行します。 2 **詳細を表示する**：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル1 スキャン機能 正常に 動作できない 場合があります。 動作を 中止しますか？ 1中止する 2続ける 3詳細を表示する	1 **中止する**：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。 2 **続ける**：起動中のアプリケーションの処理を続行します。 3 **詳細を表示する**：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル2 スキャン機能 正常に 動作できない 場合があるため 終了します 1終了する 2詳細を表示する	1 **終了する**：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。 2 **詳細を表示する**：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。

警告レベル	対応方法
警告レベル3 スキャン機能 正常に 動作できない 場合があります。 データを 削除しますか？ 1削除する 2削除しない 3詳細を表示する	1 **削除する**：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除します。 2 **削除しない**：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。 3 **詳細を表示する**：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル4 スキャン機能 正常に 動作できないため データを 削除します 1削除する 2詳細を表示する	1 **削除する**：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除します。 2 **詳細を表示する**：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。

※ 上記以外のメッセージが表示されたときは、電話帳を押して警告レベル画面を表示します。

パターンデータのバージョン表示

パターンデータのバージョンを確認します。

1 待受画面でメニュー▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「8その他のサービスを使う」▶「5スキャン機能を使う」▶「4パターンデータの版数を確認する」を押す

パターンデータのバージョンが表示されます。

- 決定を押すとメニュー画面に戻ります。

主な仕様

■ 本体

品名		F-08C
サイズ		高さ約107mm×幅約51mm×厚さ約15.7mm（背面突起除く）
質量		約101g（電池パック装着時）
連続待受時間※1、2、3		静止時：約610時間 移動時：約430時間
連続通話時間※2、3、4		約220分
充電時間※5		ACアダプタ：約150分 DCアダプタ：約150分
ディスプレイ	方式	ディスプレイ：TFT262,144色 背面ディスプレイ：STN1色
	サイズ	ディスプレイ：約2.8inch 背面ディスプレイ：約1.2inch
	画素数	ディスプレイ：96,000画素（240ドット×400ドット） 背面ディスプレイ：4,096画素（64ドット×64ドット）
撮像素子	種類	CMOS
	サイズ	1/4.0inch
	有効画素数	約510万画素
カメラ部	記録画素数（最大時）	約500万画素
	ズーム（デジタル）	最大約8.0倍（写真）、最大約16.0倍（ビデオ）
記録部	静止画記録枚数※6	最大約1,400枚（お買い上げ時）
	静止画ファイル形式	JPEG
	動画録画時間※7	最大約28秒（本体保存時・お買い上げ時） 最大約180分（microSDカード2GB保存時）
	動画ファイル形式	MP4
音楽再生（連続再生時間）		ｉモーション：約1,050分
保存容量（着うた®）※8		約122MB

※1 連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

※2 電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受の時間が約半分程度になる場合があります。

※3 通話やｉモード通信をしなくても、カメラ、ｉアプリ、音声読み上げなどの各種機能のご利用頻度が多い場合、通話（通信）・待受時間は短くなります。

※4 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態での時間の目安です。

※5 充電時間とは、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。

※6 静止画記録枚数とは、写真の大きさが「待受（240×400）」、ファイルサイズが25Kバイトの場合です。

※7 動画録画時間とは、1件あたりの数値です。本体保存時は、画質の設定が「標準の画質」、ビデオサイズ（容量）が「メール添付・小」の場合です。microSDカード保存時は、画質の設定が「最高画質」、ビデオサイズ（容量）が「microSD・無制限」の場合です。撮影する映像によって異なります。

※8 着うた®専用に約10Mバイトの保存領域を確保しています。

■ 電池パック

品名	電池パック F18	公称電圧	3.7V
使用電池	リチウムイオン電池	公称容量	960mAh

撮影した写真の保存可能枚数（目安）

撮影（保存）可能な枚数は、「撮影サイズ」の設定（→p.259）や撮影状況によって変わります。
•「本体」はお買い上げ時の場合、「microSDカード」は容量が2Gバイトの場合です。

写真の大きさ	本体	microSDカード
待受（240×400）	約1400枚	約9999枚
L（1080×1920）	約218枚	約3402枚
2L（1556×2592）	約88枚	約1391枚
3L（1944×2592）	約82枚	約1275枚

撮影したビデオの保存可能時間（目安）

撮影（保存）可能な時間は、ビデオサイズ（容量）（→p.260）、撮影状況によって変わります。
•「本体」はお買い上げ時の場合、「microSDカード」は容量が2Gバイトの場合です。

ビデオサイズ（容量）	画質の設定	1回あたりの撮影時間	最大撮影時間（本体）	最大撮影時間（microSDカード）
メール添付・小	長時間	約50秒	約83分	約3265分
	標準の画質	約28秒	約46分	約1828分
	高画質	約18秒	約30分	約1175分
メール添付・大	長時間	約205秒	約208分	約3266分
	標準の画質	約114秒	約115分	約1816分
	高画質	約74秒	約75分	約1179分
microSD・無制限	最高画質	約180分	―	約634分

※ 1回あたりの撮影時間に関わらず、最大撮影時間に達すると撮影は終了します。

録音した音声の保存可能時間（目安）

録音（保存）可能な時間は、音声録音サイズ（容量）（→p.336）、録音状況によって変わります。
•「本体」はお買い上げ時の場合、「microSDカード」は容量が2Gバイトの場合です。

録音サイズ（容量）	1回あたりの録音時間	最大録音時間（本体）	最大録音時間（microSDカード）
メール添付・小	約121秒	約201分	約7901分
メール添付・大	約495秒	約503分	約7887分
microSD・無制限	約720分	―	約7900分

※ 1回あたりの録音時間に関わらず、最大録音時間に達すると録音は終了します。

保存・登録・保護件数

種　別		保存・登録件数	保護件数
電話帳※1		最大1000件	—
ドコモUIMカード電話帳		最大50件	—
メール	受信メール※1、2	最大1000件	最大500件
	送信メール※1、2	最大200件	最大100件
	未送信メール※1、2	最大200件	最大100件
	デコメール®テンプレート※1	最大100件	—
エリアメール		最大30件	—
ドコモUIMカードのSMS※3		最大20件	—
メッセージR※1		最大100件	最大50件
メッセージF※1		最大50件	最大25件
ブックマーク		最大100件	—
画面メモ※1		最大100件	最大50件
ｉアプリ※1、4		最大100件	—
トルカ※1		最大200件	—
画像※1		最大2000件	—
動画／ｉモーション（ビデオ、音声）※1		最大100件	—
メロディ※1		最大500件	—
マチキャラ※1		最大50件	—
スケジュール帳※5		最大2600件	—

※1 実際に保存・登録できる件数は、データのサイズや他のデータの保存状況により少なくなる場合があります。
※2 ｉモードメールとSMSの合計件数です。
※3 受信SMSと送信SMSの合計件数です。送達通知は含まれません。
※4 ｉアプリ、メール連動型ｉアプリの合計件数です。メール連動型ｉアプリは最大5件保存できます。
※5 予定、ｉスケジュール内の予定の合計件数です。

携帯電話機の比吸収率（SAR）

この機種F-08Cの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.830W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使用することが出来るハンズフリー用機器を利用しても良いとしています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご覧ください。
総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
富士通のホームページ
http://www.fmworld.net/product/phone/sar/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

輸出管理規制について

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省へお問い合わせください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉアプリDX」「ｉモーション」「デコメール®」「デコメ®」「デコメ絵文字®」「着モーション」「トルカ」「ケータイデータお預かりサービス」「おまかせロック」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「FirstPass」「ｉチャネル」「おサイフケータイ」「セキュリティスキャン」「ｉモーションメール」「公共モード」「メッセージF」「sigmarion」「イマドコかんたんサーチ」「ケータイお探しサービス」「マチキャラ」「ｉメロディ」「メロディコール」「エリアメール」「ｉコンシェル」「ｉスケジュール」「かんたんデコメ」「spモード」「声の宅配便」および「ｉ-mode」ロゴ「ｉ-αppli」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Player、Adobe® Flash® Lite®テクノロジーを搭載しています。
  Adobe Flash Player Copyright© 1996-2011 Adobe Systems Incorporated.All rights reserved.
  Adobe Flash Lite Copyright© 2003-2011 Adobe Systems Incorporated.All rights reserved.
  Adobe、FlashおよびFlash Liteは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

- AdobeおよびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFrontBrowser、NetFront Sync Clientを搭載しています。
  ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。

-

  JBlendおよびJBlendに関する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise Ultimate)の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- 本製品は、日本語変換機能として、株式会社ジャストシステムのATOK＋APOTを搭載しています。
  「ATOK」「APOT（Advanced Prediction Optimization Technology）」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- 本機には、Symbian Foundation Limitedよりライセンス供与されたソフトウェアが含まれています。
  SymbianはSymbian Foundation Limitedの登録商標です。
- OBEX™、IrSimple™は、Infrared DataAssociation®の商標です。

- その他、本取扱説明書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 「学研モバイル国語辞典」「学研モバイル和英辞典」「学研モバイル英和辞典」は、学研編集の著作物です。
- 本製品の一部にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画やｉモーション（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA,LLCにお問い合わせください。

索引

索引

能名やキーワードを列挙した索引には、「50音目次」としての機能もあります。なお、「登録」「削除」などの操作については、まず1階層目（太字）の機能名やキーワードで検索したのち、2階層目の索引項目から探してください。

ア行

カ行

サ行

タ行

ヤ行

ラ行

ワ行

英数字・記号

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

iモードから らくらくｉメニュー ⇒ お客様サポート／お知らせ ⇒ お客様サポート ⇒ お申込・お手続き ⇒ 各種お申込・お手続き パケット通信料無料

パソコンから My docomo (http://www.mydocomo.com/) ⇒ 各種お申込・お手続き

※ｉモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ｉモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。
※パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によりご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音をすべて消す設定など、便利な機能があります。

●公共モード（ドライブモード／電源OFF）→p.73、p.74　●伝言メモ→p.75
●バイブレータ→p.106　●マナーモード→p.109

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

こちらは音声コードです。
F-08Cの音声コード読み取り機能を使えば、目の不自由な方も音声コードの読み取りかたを音声で確認することができます。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際、回収・リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先〈らくらくホンセンター〉

■携帯電話／一般電話共通

（らくらく）（みんな）
0120-6969-37

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9：00～午後8：00　（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）113（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間　（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページ、ｉモードサイトにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
　ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/
　ｉモードサイト　らくらくｉメニュー⇒お客様サポート／お知らせ⇒お客様サポート⇒ドコモショップ

ドコモ「あんしん」ミッション
みんなが、安心を、携帯できる世の中へ。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　富士通株式会社

・「音声読み上げ機能」により、視覚に頼らずにメニュー操作が行えたり、メール・ｉモードが利用できます。
・「ワンタッチダイヤル機能」により、ボタンひとつで電話がかけられます。

環境保全のため、不要になった電池はNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

'12.2（3版）
CA92002-6370

F-08C
パソコン接続マニュアル

パソコン接続マニュアルについて
本マニュアルでは、F-08Cでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、「FOMA通信設定ファイル」「ドコモ コネコネクションマネージャ」のインストール方法などを説明しています。
お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

'11.3（1版）
CA92002-6372

データ通信

FOMA端末とパソコンを接続して利用できる通信形態は、データ転送（OBEX™通信）、パケット通信、64Kデータ通信に分類されます。

- パソコンと接続してパケット通信や64Kデータ通信を行ったり、電話帳などのデータを編集したりするには、ドコモのホームページからソフトをダウンロードし、インストールや各種設定を行う必要があります。
- FOMA端末は、FAX通信やRemote Wakeupには対応しておりません。
- ドコモのPDAのsigmarionⅢと接続してデータ通信が行えます。ただし、ハイスピードエリア対応の高速通信には対応しておりません。

❖データ転送（OBEX™通信）

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

- 転送方法により送受信できるデータが異なります。転送方法ごとの送受信可能なデータについては、FOMA端末の「取扱説明書（詳細版）」（PDFファイル）をご覧ください。

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02
microSDカード
ドコモケータイdatalink

❖パケット通信

インターネットに接続してデータ通信（パケット通信）を行います。
送受信したデータ量に応じて課金されるため、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないため、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uなど、FOMAパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大7.2Mbps、送信最大384kbpsの高速パケット通信ができます。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です。
画像を含むホームページの閲覧やデータのダウンロードなど、データ量の多い通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

※ FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するとき、またはドコモのPDAのsigmarionⅢなどHIGH-SPEEDに対応していない機器をご利用の場合、通信速度が遅くなることがあります。

※ 受信最大7.2Mbps、送信最大384kbpsとは技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。

❖64Kデータ通信

インターネットに接続して64Kデータ通信を行います。
データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるため、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適しています。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uなど、FOMA64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDN同期64Kのアクセスポイントを利用できます。
長時間通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

ご利用になる前に

◆動作環境

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は、次のとおりです。パソコンのシステム構成により異なる場合があります。

項　目	必要環境
パソコン本体	USBポート（USB仕様1.1／2.0に準拠）を持つPC/AT互換機 ディスプレイ解像度800×600ドット以上、High Color16ビット以上を推奨 （1,024×600ドット以上（1,024×768ドット以上を推奨））※
OS（各日本語版）	Windows XP、Windows Vista、Windows 7
必要メモリ	Windows XP：128MB以上　Windows Vista：512MB以上 Windows 7：32ビット版1GB以上、64ビット版2GB以上
ハードディスク容量	5MB（10MB※）以上の空き容量
Webブラウザ※	Internet Explorer 6.0以上
メールソフト※	WindowsメールおよびOutlook Express 6.0

※ ドコモ コネクションマネージャを利用するための動作環境です。
- 動作環境の最新情報については、ドコモのホームページをご覧ください。
- OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用について、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◆必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に、次の機器およびソフトウェアが必要です。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）
- FOMA通信設定ファイル（ドライバ）※

※ ドコモのホームページからダウンロードしてください。

✔お知らせ
- パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため利用できません。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

◆ご利用時の留意事項

❖インターネットサービスプロバイダの利用料

パソコンでインターネットを利用する場合、ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）の利用料が必要です。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。詳細はご利用のプロバイダにお問い合わせください。

- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uがご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

❖接続先（プロバイダなど）

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- moperaのサービス内容および接続設定方法については、moperaのホームページをご覧ください。
  http://www.mopera.net/mopera/index.html

❖ユーザー認証

接続先によっては、接続時にユーザー認証が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークでIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードはプロバイダまたは社内LANなど接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳細はプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

❖ブラウザ利用時のアクセス認証

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証でFirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合は、FirstPass PCソフトを利用します。ドコモのホームページにて提供しております。詳細およびダウンロードは下記サイトのページをご覧ください。
サービス詳細：http://www.nttdocomo.co.jp/service/safety/firstpass/
ダウンロード：http://www.nttdocomo.co.jp/support/utilization/application/foma/utility/firstpass/index.html

❖パケット通信および64Kデータ通信の条件

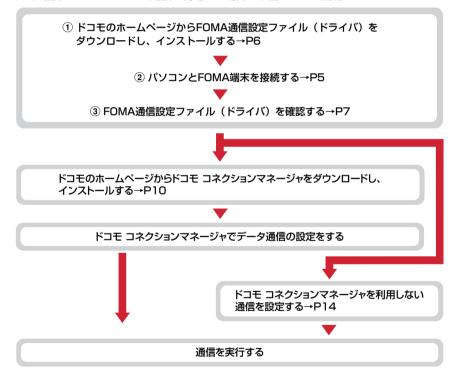
通信を行うには、次の条件が必要です。
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA64Kデータ通信またはISDN同期64Kに対応していること

※ 上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状態が悪かったりするときは通信できない場合があります。

◆ドコモケータイdatalinkの紹介

ドコモケータイdatalinkは、お客様の携帯電話の電話帳やメールなどをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しております。詳細およびダウンロードは下記サイトのページをご覧ください。
http://datalink.nttdocomo.co.jp/

- ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、あらかじめFOMA通信設定ファイルをインストールしておく必要があります。
- ダウンロード方法、転送可能なデータ、動作環境、インストール方法、操作方法などの詳細については、上記ホームページをご覧ください。また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。
- ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、別途USBケーブルが必要です。

データ転送（OBEX™通信）の準備の流れ

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）をご利用になる場合には、FOMA通信設定ファイル（ドライバ）をインストールしてください。

ドコモのホームページからFOMA通信設定ファイル（ドライバ）をダウンロードし、インストールする

▼

データ転送

データ通信の準備の流れ

パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。

◆インストール／アンインストール前の注意点

- 操作を始める前に他のプログラムが動作中でないことを確認し、動作中のプログラムがある場合は終了してください。

※ ウイルス対策ソフトを含む、Windows上に常駐しているプログラムも終了します。
　例：タスクバーに表示されているアイコンを右クリックし、「閉じる」または「終了」をクリックします。

- FOMA通信設定ファイルやドコモ コネクションマネージャのインストール／アンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーで行うとエラーになる場合があります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカやマイクロソフト社にお問い合わせください。
- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、次の操作を行います（Windows XPでは表示されません）。
  - Windows 7：「はい」をクリックするか、パスワードを入力して「OK」をクリック
  - Windows Vista：「許可」または「続行」をクリックするか、パスワードを入力して「OK」をクリック
- パソコンの操作方法または管理者権限の設定などについては、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

パソコンとFOMA端末を接続する

ここでは取り付け／取り外し方法を説明します。FOMA通信設定ファイルのインストールは行いません。**→P6**

- FOMA通信設定ファイルのインストール前にパソコンに接続すると、USBケーブルが差し込まれたことを自動的に認識してドライバが要求されますが、「キャンセル」をクリックして終了してください。
- パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。
- 本マニュアルでは、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）での場合を例に説明しています。

◆USBケーブルを取り付ける

1 **USBケーブルのコネクタをFOMA端末の外部接続端子に差し込む**

2 **USBケーブルのパソコン側のコネクタをパソコンのUSBポートに差し込む**

- パソコンとFOMA端末が接続されると、FOMA端末の待受画面にが表示されます。

❖取り外しかた

1 USBケーブルのコネクタのリリースボタンを押し（①）、FOMA端末から引き抜く（②）

2 パソコンからUSBケーブルを取り外す

✔お知らせ

- FOMA端末からUSBケーブルを抜き差しする際は、コネクタ部分に無理な力がかからないように注意してください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。
- データ通信中にUSBケーブルを取り外さないでください。データ通信が切断され、誤動作やデータ消失の原因となります。

FOMA通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

FOMA端末とパソコンをUSBケーブルで接続してデータ通信を行う場合は、FOMA通信設定ファイル（ドライバ）が必要です。使用するパソコンにFOMA端末を初めて接続する前に、あらかじめインストールしておきます。

- 操作する前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P5
- 操作5でFOMA端末をパソコンに接続する旨のメッセージが表示されるまで、FOMA端末を接続しないでください。

〈例〉Windows 7にインストールするとき

1 FOMA通信設定ファイルをドコモのホームページからダウンロード

http://www.nttdocomo.co.jp/support/utilization/application/foma/com_set/driver/index.html

- FOMA端末の機種をお確かめのうえ、お使いのパソコンが該当するOSを選択してダウンロードしてください。

2 ダウンロードしたファイルをダブルクリック→解凍されたフォルダをダブルクリック→表示されたフォルダをダブルクリック

3 表示されたウィンドウから「F08Cis.exe」アイコンをダブルクリック

4 「インストール開始」をクリック

5 FOMA端末をパソコンに接続する旨のメッセージが表示されたら、FOMA端末をパソコンに接続

- FOMA端末は電源が入った状態で接続してください。

6 インストール完了画面で「OK」をクリック

◆FOMA通信設定ファイルを確認する

- FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信はできません。

〈例〉Windows 7で確認するとき

1 (スタート)→「コントロールパネル」→「システムとセキュリティ」→「システム」カテゴリ内にある「デバイスマネージャー」を順にクリック

Windows Vistaのとき

(スタート)→「コントロールパネル」→「システムとメンテナンス」→「デバイスマネージャ」を順にクリック

Windows XPのとき

①「スタート」→「コントロールパネル」→「パフォーマンスとメンテナンス」→「システム」を順にクリック
②「システムのプロパティ」画面の「ハードウェア」タブをクリック→「デバイスマネージャ」をクリック

2 各デバイスの種類をダブルクリック→次のデバイス名が登録されていることを確認

- デバイスの種類とデバイス名は次のとおりです。
  表示される順番はOSにより異なります。
  -ポート(COMとLPT):
  FOMA F08C Command Port (COMx)※
  FOMA F08C OBEX Port (COMx)※
  -モデム:FOMA F08C
  -ユニバーサルシリアルバスコントローラーまたはUSB(Universal Serial Bus)コントローラ:FOMA F08C
  ※xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます。

◆FOMA通信設定ファイルをアンインストールする

- 操作する前に、必ず「インストール/アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P5
- 操作する前に、パソコンからFOMA端末を取り外してください。

〈例〉Windows 7、Windows Vistaでアンインストールするとき

1 (スタート)→「コントロールパネル」→「プログラム」カテゴリ内にある「プログラムのアンインストール」を順にクリック

Windows XPのとき

「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」を順にクリック

2 「FOMA F08C USB Driver」を選択して「アンインストールと変更」(Windows XPの場合は「変更と削除」)をクリック

3 「FOMA F08C Uninstaller」と表示されていることを確認して「はい」をクリック

アンインストールを開始します。

4 「ドライバを削除しました」画面が表示されたら「OK」をクリック

✔お知らせ

- 削除画面で「FOMA F08C USB driver」が表示されていないときは、再度「FOMA通信設定ファイルをインストールする」の操作を行った後に、アンインストールを行ってください。→P6

ドコモ コネクションマネージャを利用する

ドコモ コネクションマネージャは、定額データ通信および従量データ通信を行うのに便利なソフトウェアです。mopera Uへのお申し込みや、お客様のご契約状況に応じたパソコンの設定を簡単に行うことができます。
また、料金カウンタ機能でデータ通信量や利用金額の目安を確認することもできます。
本マニュアルでは、ドコモ コネクションマネージャのインストール方法までをご案内いたします。

- FOMA端末を使ってインターネットに接続するには、サービスおよびデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダ（mopera Uなど）のご契約が必要です。
  詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

✔お知らせ

従量制データ通信（ｉモードパケット定額サービスなど含む）のご利用について
- パケット通信を利用して、画像を含むホームページの閲覧やデータのダウンロード（例：アプリケーション、音楽、動画、OSまたはウイルス対策ソフトのアップデート）など、データ量の多い通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。
  なお、本FOMA端末をパソコンなどと接続してデータ通信を行う場合は、FOMAのパケット定額サービスのパケ・ホーダイ、パケ・ホーダイフルの定額対象外通信となりますのでご注意ください。

定額データプランのご利用について
- 定額データプランを利用するには、定額データ通信に対応した料金プランのインターネットサービスプロバイダにご契約いただく必要があります。詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

moperaのご利用について
- moperaの接続設定方法については、moperaのホームページをご覧ください。
  http://www.mopera.net/mopera/support/index.html

◆ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に

ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に次の事項を確認し、必要に応じてソフトの設定変更やアンインストールを行ってください。

- FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）を用意してください。
- サービスおよびインターネットサービスプロバイダの契約内容を確認してください。
- ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトがインストールされている場合は、必要に応じて自動的に起動しないように設定を変更してください。→P10「ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトのご利用について」

❖Internet Explorerの設定を変更する

- ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に、あらかじめInternet Explorerの「インターネットオプション」で、接続の設定を「ダイヤルしない」に設定してください。

〈例〉Windows 7、Windows Vistaで変更するとき

1 **（スタート）→「すべてのプログラム」→「Internet Explorer」を順にクリック**

Windows XPのとき

「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」を選択→「Internet Explorer」をクリック

2 **「ツール」→「インターネットオプション」を順にクリック**

3 **「接続」タブをクリック→「ダイヤルしない」を選択**

4 **「OK」をクリック**

❖ ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトのご利用について

ドコモ コネクションマネージャには次のソフトと同じ機能が搭載されておりますので、同時にご利用いただく必要はありません。必要に応じて、起動しない設定への変更やアンインストールを行ってください。

- mopera Uかんたんスタート
- Uかんたん接続設定ソフト
- FOMA PC設定ソフト
- FOMAバイトカウンタ

また、ドコモ コネクションマネージャでMzone（ドコモ公衆無線LANサービス）を利用する場合は、次の公衆無線LAN接続ソフトはアンインストールを行ってください。なお、同時にインストールした場合、ドコモ コネクションマネージャでのMzone接続はご利用いただけません。

- U公衆無線LANユーティリティソフト
- ドコモ公衆無線LANユーティリティソフト
- ドコモ公衆無線LANユーティリティプログラム

◆ ドコモ コネクションマネージャをインストールする

〈例〉Windows 7にインストールするとき

1 **ドコモ コネクションマネージャをドコモのホームページからダウンロード**

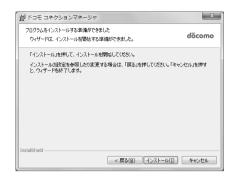
http://www.nttdocomo.co.jp/support/utilization/application/service/connection_manager/index.html

- お使いのパソコンのOSをお確かめのうえ、該当するファイルを選択してください。

2 **「dcm_connect_mng_setup.exe」アイコンをダブルクリック**

- セキュリティの警告画面が表示された場合は、「実行」をクリックします。

3 **「次へ」をクリック**

4 注意事項を確認して「次へ」をクリック

5 ソフトウェア使用許諾契約の内容を確認して、契約内容に同意する場合は「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリック

6 インストール先のフォルダを確認して「次へ」をクリック

- インストール先を変更する場合は「変更」をクリックし、任意のインストール先を指定してください。

7 「インストール」をクリック

インストールが始まります。

8 「InstallShieldウィザードを完了しました」画面が表示されたら「完了」をクリック

ドコモ コネクションマネージャのインストールが完了します。

✔お知らせ

- インストールには数分かかる場合があります。
- Windowsを再起動する旨のメッセージが表示された場合は、画面の指示に従い再起動してください。
- データ通信中にインストールを行わないでください。

◆ドコモ コネクションマネージャを起動する

• 操作する前に、必ずパソコンとFOMA端末が正しく接続されていることを確認してください。

〈例〉Windows 7、Windows Vistaで設定するとき

1 **（スタート）→「すべてのプログラム」→「NTT DOCOMO」→「ドコモ コネクションマネージャ」→「ドコモ コネクションマネージャ」を順にクリック**

Windows XPのとき

「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」→「NTT DOCOMO」→「ドコモ コネクションマネージャ」を順に選択して「ドコモ コネクションマネージャ」をクリック

ドコモ コネクションマネージャが起動します。
初回起動時には、自動的に設定ウィザードが表示されます。

• 設定ウィザードに従い、インターネットに接続してデータ通信を行うための設定を行います。
設定後にドコモ コネクションマネージャを利用して、通信を実行することができます。
詳しくは、『ドコモ コネクションマネージャ操作マニュアル』をご覧ください。

✔お知らせ

• インターネットブラウザやメールソフトを終了しただけでは、通信は切断されません。通信をご利用にならない場合は、必ずドコモ コネクションマネージャの「切断する」ボタンで通信を切断してください。
• OSアップデートなどにおいて自動更新を設定していると自動的にソフトウェアが更新され、パケット通信料が高額となる場合がございますのでご注意ください。

ドコモ コネクションマネージャを利用しない通信を設定する

ドコモ コネクションマネージャを利用しないで、ダイヤルアップ接続の設定を行う方法について説明します。

◆ダイヤルアップネットワークの設定の流れ

- データ通信の準備の流れ→P4
- 操作する前に、必ずパソコンとFOMA端末が正しく接続されていることを確認してください。

接続先(APN)を設定する※→P14
・接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、設定は不要です。

発信者番号の通知/非通知を設定する※→P16
・必要に応じて設定してください。

ダイヤルアップネットワークの設定をする
・Windows 7、Windows Vistaで設定する場合→P17
・Windows XPで設定する場合→P19

※ パケット通信の場合に設定します。
設定するには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。
ここではWindows XPに添付されている「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。
Windows 7、Windows Vistaは「ハイパーターミナル」に対応していません。Windows 7、Windows Vistaの場合は、各OSに対応したソフトを使って設定してください(ご使用になるソフトの設定方法に従ってください)。

◆接続先(APN)を設定する

❖接続先(APN)と登録番号(cid)

パケット通信の接続先(APN)は、FOMA端末の登録番号(cid)1~10に設定できます。お買い上げ時、cidの1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、2と3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が、4には128K通信で接続するためのAPN「mpr.ex-pkt.net」が登録されています。その他のプロバイダや社内LANに接続する場合は、cid5~10にAPNを登録します。

- 接続先(APN)については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 接続先の設定は、パケット通信用の電話帳登録として考えられます。接続先の設定項目をFOMA端末の電話帳と比較すると、次のようになります。

接続先(APN)の設定	電話帳の項目
登録番号(cid)	登録番号(メモリ番号)
接続先名(APN)	相手の名前
＊99＊＊＊<cid>#(パケット通信)	相手の電話番号

- 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。

〈例〉Windows XPで設定するとき

1 「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ハイパーターミナル」をクリック

2 「名前」に接続先名など任意の名前を入力→「OK」をクリック

- 「名前」に次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?<>｜”

3 「電話番号」に実在しない電話番号（「0」など）を入力→「接続方法」が「FOMA F08C」に設定されていることを確認→「OK」をクリック

- 「市外局番」はパソコンの環境により異なります。接続先（APN）の設定とは関係ありませんので、変更不要です。

4 「接続」画面で「キャンセル」をクリック

5 接続先（APN）を「AT+CGDCONT=＜cid＞,"＜PDP_TYPE＞","＜APN＞"」の形式で入力→⏎

＜cid＞：5～10の範囲で任意の番号
＜PDP_TYPE＞：IPまたはPPP
＜APN＞：接続先（APN）

- +CGDCONTコマンド→P30「ATコマンドの補足説明」
- コマンドを入力しても画面に表示されない場合は、ATE1と入力し、⏎を押します。

6 「OK」と表示されていることを確認して「ファイル」をクリック→「ハイパーターミナルの終了」をクリック

7 切断の確認で「はい」をクリック→保存の確認で「いいえ」をクリック

◆発信者番号の通知／非通知を設定する

パケット通信時の発信者番号の通知／非通知を一括して設定します。
発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。

- mopera Uまたはmoperaを利用する場合、「非通知」に設定すると接続できません。

〈例〉Windows XPで設定するとき

1 「接続先（APN）の設定」の操作1～4を実行

2 発信者番号の通知／非通知を「AT＊DGPIR=＜n＞」の形式で入力→↵

＜n＞：0～2
0：そのまま接続（お買い上げ時）
1：184を付けて接続（非通知）
2：186を付けて接続（通知）

- コマンドを入力しても画面に表示されない場合は、ATE1と入力し、↵を押します。

3 「OK」と表示されていることを確認して「ファイル」をクリック→「ハイパーターミナルの終了」をクリック

4 切断の確認で「はい」をクリック→保存の確認で「いいえ」をクリック

◆ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けられます。

- ＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で設定を行った場合の発信者番号の通知／非通知は次のとおりです。

＊DGPIRコマンドによる設定／ダイヤルアップネットワークの設定（<cid>=3の場合）	設定なし	非通知	通知
＊99＊＊＊3#	通知	非通知	通知
184＊99＊＊＊3#	非通知		
186＊99＊＊＊3#	通知		

◆ダイヤルアップネットワークを設定する

ここでは、パケット通信でmopera UにIP接続する場合を例に説明しています。

- パケット通信でmopera Uまたはmoperaに接続する場合は、電話番号欄に次のように入力してください。
  mopera U（PPP接続）：＊99＊＊＊2＃
  mopera U（IP接続）：＊99＊＊＊3＃
  128K通信（PPP接続）：＊99＊＊＊4＃
  mopera（PPP接続）：＊99＊＊＊1＃
- 64Kデータ通信でmopera U、moperaに接続する場合は、次の電話番号を接続先の電話番号欄に入力してください。
  mopera U：＊8701
  mopera：＊9601

❖Windows 7、Windows Vistaで設定する

1 （スタート）→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」カテゴリ内にある「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリック

Windows Vistaのとき
（スタート）→「接続先」を順にクリック

2 「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリック

Windows Vistaのとき
「接続またはネットワークをセットアップします」をクリック

3 「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択して「次へ」をクリック

「どのモデムを使いますか？」画面が表示されたとき
「FOMA F08C」をクリック

4 「ダイヤルアップの電話番号」に接続先の電話番号（パケット通信の場合は「＊99＊＊＊<cid>#」）を半角で入力→「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「接続名」を入力して「接続」をクリック

＜cid＞：P15「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号

- 「ユーザー名」「パスワード」には、プロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力します。
- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。
- 「接続名」の先頭に.（半角文字のピリオド）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ¥/:＊?<>|

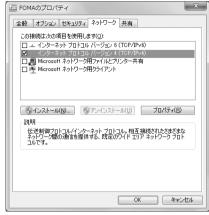
5 接続中の画面で「スキップ」をクリック

- ここではすぐに接続せずに、設定だけを行います。

6 「接続の使用準備ができました」画面で「閉じる」をクリック

Windows Vistaのとき

①「インターネット接続テストに失敗しました」画面で「接続をセットアップします」をクリック
②「閉じる」をクリック

7 「ネットワークと共有センター」画面で、左側上部に表示されている「アダプターの設定の変更」をクリック

Windows Vistaのとき

（スタート）→「接続先」を順にクリック

8 作成した接続先を右クリックして「プロパティ」をクリック

9 「全般」タブの各項目の設定を確認

- パソコンに複数のモデムが接続されている場合は、「接続の方法」で「モデム-FOMA F08C」のみを選択します。
- 選択したモデム以外は非選択（□）にしてください。
- 「接続の方法」に表示されたモデムに割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンの環境により異なります。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

10 「ネットワーク」タブをクリック→各項目を画面例のように設定

- 「インターネットプロトコルバージョン6（TCP/IPv6）」を非選択（□）にします。
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4）」を選択し「プロパティ」をクリックして、各種情報を設定してください。
- その他の項目についてプロバイダなどから指示がある場合は、必要に応じて選択／非選択を設定してください。

11 「オプション」タブをクリック→「PPP設定」をクリック

12 すべての項目を非選択（□）にして「OK」をクリック

13 「OK」をクリック

通信を実行する→P22

❖Windows XPで設定する

1 「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「新しい接続ウィザード」をクリック

2 「新しい接続ウィザードの開始」画面で「次へ」をクリック

3 「インターネットに接続する」を選択して「次へ」をクリック

4 「接続を手動でセットアップする」を選択して「次へ」をクリック

5 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択して「次へ」をクリック

「デバイスの選択」画面が表示されたとき

「モデム-FOMA F08C」を選択して「次へ」をクリック

6 「ISP名」に任意の接続名を入力→「次へ」をクリック

- 「ISP名」の先頭に.（半角文字のピリオド）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?<>｜"

7 「電話番号」に接続先の電話番号（パケット通信の場合は「＊99＊＊＊<cid>#」）を半角で入力→「次へ」をクリック

<cid>：P15「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号

8 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「パスワードの確認入力」を入力→各項目を画面例のようにすべて選択して「次へ」をクリック

- 「ユーザー名」「パスワード」には、プロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力します。
- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」「パスワードの確認入力」は空欄でもかまいません。

9 「新しい接続ウィザードの完了」画面で「完了」をクリック

10 「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワーク接続」をクリック

11 作成した接続先アイコンを選択して「ファイル」をクリック→「プロパティ」をクリック

12 「全般」タブの各項目の設定を確認

- パソコンに複数のモデムが接続されている場合は、「接続方法」で「モデム-FOMA F08C」のみを選択します。
- 選択したモデム以外は非選択（□）にしてください。
- 「接続方法」に表示されたモデムに割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンの環境により異なります。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

13 「ネットワーク」タブをクリック→各項目を画面例のように設定→「設定」をクリック

- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し「プロパティ」をクリックして、各種情報を設定してください。
- 「この接続は次の項目を使用します」の「QoSパケットスケジューラ」は設定を変更できませんので、そのままにしてください。

14 すべての項目を非選択（□）にして「OK」をクリック

15 「OK」をクリック

通信を実行する→P22

◆ダイヤルアップ接続で通信を実行する

通信の実行や切断について説明します。

〈例〉Windows 7のとき

1 パソコンとFOMA端末を接続

USBケーブルの取り付け方法→P5

2 (スタート)→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」カテゴリ内にある「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリック

Windows Vistaのとき

(スタート)→「接続先」を順にクリック→接続先を選択して「接続」をクリック→操作4へ進む

Windows XPのとき

「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワーク接続」をクリック→接続アイコンをダブルクリック→操作4へ進む

3 「ネットワークと共有センター」画面で、左側上部に表示されている「アダプターの設定の変更」をクリック→接続アイコンをダブルクリック

4 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「ダイヤル」をクリック

- 「ユーザー名」「パスワード」には、プロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力します。
- mopera Uまたはmoperaを利用する場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。
- 設定中に「ユーザー名」の入力や「パスワード」の保存をした場合、入力は不要です。
- 接続完了画面が表示された場合は「OK」をクリックしてください。

✔お知らせ

- FOMA端末には、パケット通信を実行すると発信中画面が、64Kデータ通信を実行すると呼出中画面が表示され、接続すると次の画面が表示されます。

パケット通信のとき

64Kデータ通信のとき

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。
- ダイヤルアップネットワーク設定時のFOMA端末で接続した場合のみ、通信が行えます。

❖通信を切断する

パソコンのブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

〈例〉Windows 7のとき

1 **タスクトレイのをクリック→切断する接続名をクリック→「切断」をクリック**

Windows Vistaのとき
タスクトレイのを右クリック→「切断」を選択して切断する接続先をクリック

Windows XPのとき
タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリック→「切断」をクリック

ATコマンド

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。

❖ATコマンドの入力形式

ATコマンドは、コマンドの先頭に必ず「AT」を付けて、半角英数字で入力してください。

〈例〉ATDコマンドでmopera Uに接続するとき

ATコマンドは、コマンドに続くパラメータを含めて、必ず1行で入力します。1行とは最初の文字からを押した直前までの文字のことで、「AT」を含む最大256文字入力できます。

❖ATコマンドの入力モード

ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、パソコンをターミナルモードにしてください。ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末のように動作させるモードです。ターミナルモードにすると、キーボードから入力された文字がそのまま通信ポートに送られ、FOMA端末を操作できます。

- **オフラインモード**
  FOMA端末が待受の状態です。通常ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、この状態で操作します。
- **オンラインデータモード**
  FOMA端末が通信中の状態です。この状態のときにATコマンドを入力すると、送られてきた文字をそのまま通信先に送信して、通信先のモデムを誤動作させる場合がありますので、通信中はATコマンドを入力しないでください。
- **オンラインコマンドモード**
  FOMA端末が通信中の状態でも、ATコマンドでFOMA端末を操作できる状態です。その場合、通信先との接続を維持したままATコマンドを実行し、終了すると再び通信を続けられます。

オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替えるとき

FOMA端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、次の方法があります。

- +++コマンドまたはS2レジスタに設定したコードを入力します。
- 「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C※のER信号をOFFにします。
  ※ USBインタフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリケーションによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

また、オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替えるには、「ATO」と入力します。

◆ATコマンド一覧

- FOMA F08C（モデム）で使用できるATコマンドです。
- パソコンや通信ソフトのフォント設定により、「¥」を入力しても「\」と表示される場合があります。
- FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外した場合、設定値が記録されないことがあります。

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
A/ A/ OK	直前に実行したコマンドを再実行します。 直前の応答が「ERROR」の場合は「ERROR」を返します。
AT AT↵ OK	A/、+++以外のコマンドの先頭に付けて、本一覧のコマンドを使用します。本コマンドのみで使用すると、FOMA端末がATコマンドを使用できる状態のときに「OK」を返します。
ATA RING ATA↵ CONNECT	パケット着信および64Kデータ通信の着信時に入力すると、着信処理を行います。 パケット着信中には次のコマンドが入力できます。 ATA184：発信者番号通知なし着信動作　　ATA186：発信者番号通知あり着信動作
ATD ATD＊99＊＊＊1#↵ CONNECT 460800	ATD＊99＊＊＊<cid>#：パケット通信の発信処理を行います。 <cid>または＊＊＊<cid>を省略すると<cid>=1になります。 ATD［パラメータ］［電話番号］：64Kデータ通信の発信処理を行います。 電話番号に次の文字以外を入力すると発信できません。 0～9、＊、#、A、a、B、b、C、c また、次の文字と空白は入力できますが、ダイヤル時には認識されません。 ,、!、-、@、D、d、P、p、T、t、W、w ATDの後に186または184を挿入し、発信者番号の通知／非通知を指定できます。 ATDNまたはATDLでリダイヤル発信ができます。
ATE<n>※1 ATE1↵ OK	パソコンから送信されたコマンドに対して、FOMA端末がエコーを返すかを設定します。 n=0：エコーバックなし　　n=1：エコーバックあり（お買い上げ時） 通常はn=1で使用します。パソコンにエコー機能がある場合、n=0に設定すると文字が二重に表示されなくなります。
ATH ATH↵ NO CARRIER	通信中に入力すると、回線を切断します。 オンラインコマンドモードで実行してください。→P23
ATI<n> ATI0↵ NTT DoCoMo OK	確認コードを表示します。 n=0：「NTT DoCoMo」　　n=1：FOMA端末の機種名を表示 n=2：FOMA端末のバージョンを表示　　n=3：ACMP信号の要素を表示 n=4：FOMA端末で通信可能な機能の詳細を数値で表示
ATO ATO↵ CONNECT 460800	通信中にオンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻します。
ATQ<n>※1 ATQ0↵ OK	リザルトコードを表示するかを設定します。 n=0：表示（お買い上げ時）　　n=1：表示しない ATQ1を実行した場合は「OK」を返しません。
ATS0=<n>※1 ATS0=0↵ OK	FOMA端末が自動着信するまでの呼出回数を設定します。 n=0：自動着信なし（お買い上げ時）　　n=1～255：指定したリング数で自動着信 ATS0?：現在の設定を表示
ATS2=<n> ATS2=43↵ OK	エスケープキャラクタの設定を行います。 n=0～127（お買い上げ時n=43）　　n=127に設定するとエスケープは無効になります。 ATS2?：現在の設定を表示
ATS3=<n> ATS3=13↵ OK	コマンド文字列の最後を認識する復帰（CR）キャラクタの設定を行います。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付きます。 n=13（固定値） ATS3?：現在の設定を表示
ATS4=<n> ATS4=10↵ OK	改行（LF）キャラクタの設定を行います。英文字でリザルトコードを表示する場合、復帰（CR）キャラクタの後に付きます。 n=10（固定値） ATS4?：現在の設定を表示

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
ATS5=<n> ATS5=8↵ OK	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。コマンド入力中にこのキャラクタを検出すると、入力バッファの最後のキャラクタを削除します。 n=8（固定値） ATS5?：現在の設定を表示
ATS6=<n> ATS6=5↵ OK	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定できますが、動作しません。 n=2～10（お買い上げ時n=5） ATS6?：現在の設定を表示
ATS8=<n> ATS8=3↵ OK	カンマダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定できますが、動作しません。 n=0～255（お買い上げ時n=3） ATS8?：現在の設定を表示
ATS10=<n>※1 ATS10=1↵ OK	自動切断の遅延時間（1/10秒）を設定できますが、動作しません。 n=1～255（お買い上げ時n=1） ATS10?：現在の設定を表示
ATS30=<n> ATS30=0↵ OK	64Kデータ通信時、データの送受信がない場合に切断するまでの時間（分）を設定します。 n=0～255：（お買い上げ時n=0、n=0は不活動タイマOFF） ATS30?：現在の設定を表示
ATS103=<n> ATS103=1↵ OK	64Kデータ通信時の着サブアドレスの区切りを設定します。 n=0：＊　　n=1：/（お買い上げ時）　　n=2：￥または\ ATS103?：現在の設定を表示
ATS104=<n> ATS104=1↵ OK	64Kデータ通信時の発サブアドレスの区切りを設定します。 n=0：#　　n=1：%（お買い上げ時）　　n=2：& ATS104?：現在の設定を表示
ATV<n>※1 ATV1↵ OK	リザルトコードの表示方法を設定します。 n=0：数字表示　　n=1：英文字表示（お買い上げ時） ATV0を実行した場合は、同じ行に「0」を返します。
ATX<n>※1 ATX4↵ OK	ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行うかと、接続時の「CONNECT」に速度を表示するかを設定します。 ビジートーン検出：接続先が通話中のとき「BUSY」応答を送出 ダイヤルトーン検出：FOMA端末に接続されているかを判定 n=0：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示なし n=1：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=2：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり n=3：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=4：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり（お買い上げ時） n=0に設定すると、AT&EおよびAT￥Vコマンドが無効になります。
ATZ※3 ATZ↵ OK（オフライン時）	現在の設定を記録された内容に戻します。 通信中に実行すると、回線を切断（「NO CARRIER」を表示）してから戻します。
AT%V AT%V↵ Ver1.00 OK	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT&C<n>※1 AT&C1↵ OK	DTEへの回路CD（DCD）信号の動作条件を設定します。 n=0：常にON　　n=1：回線接続状態に従い変化（お買い上げ時） n=0に設定すると、接続完了時の「CONNECT」を送出する直前にCD信号をONにします。回路が切断され、「NO CARRIER」を送出する直前にCD信号をOFFにします。
AT&D<n>※1 AT&D2↵ OK	オンラインデータモード時、DTEから受け取る回路ER（DTR）信号がONからOFFに変わったときの動作を設定します。 n=0：状態を無視（常にONとみなす） n=1：ONからOFFに変わるとオンラインコマンドモードに移行 n=2：ONからOFFに変わると回線を切断しオフラインモードに移行（お買い上げ時）
AT&E<n>※1 AT&E1↵ OK	接続時の速度表示を設定します。 n=0：無線区間通信速度を表示 n=1：パソコンとFOMA端末間の通信速度を表示（お買い上げ時）
AT&F AT&F↵ OK（オフライン時）	現在の設定をお買い上げ時の状態に戻します。 通信中に実行すると、回線を切断（「NO CARRIER」を表示）してから戻します。

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT&S<n>※1	DTEへ出力するデータセットレディ（DR）信号の制御を設定します。 n=0：常にON（お買い上げ時）　n=1：接続時にON
AT&S0↵ OK	
AT&W	現在の設定をFOMA端末に記録します。
AT&W↵ OK	
AT＊DANTE	FOMA端末の受信レベルを「＊DANTE：<n>」の形式で表示します。 n=0：圏外　n=1：FOMA端末の受信レベルのアンテナが0または1本 n=2：FOMA端末の受信レベルのアンテナが2本 n=3：FOMA端末の受信レベルのアンテナが3本 AT＊DANTE=?：表示可能な値のリストを表示
AT＊DANTE↵ ＊DANTE：3 OK	
AT＊DGANSM=<n>※2	パケット着信呼に対する着信拒否／許可を設定します。 n=0：着信拒否設定OFF、着信許可設定OFF（お買い上げ時） n=1：着信拒否設定ON　n=2：着信許可設定ON AT＊DGANSM?：現在の設定を表示　AT＊DGANSM=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGANSM=0↵ OK	
AT＊DGAPL=<n>[,<cid>] ※2	パケット着信呼に対して着信を許可する接続先（APN）を設定します。APNは+CGDCONTコマンドで定義した<cid>を使用します。 n=0：着信許可リストに追加　n=1：着信許可リストから削除 <cid>を+CGDCONTコマンドで定義していない場合でも、リストへ追加／削除します。 <cid>を省略した場合は、すべての<cid>をリストに追加／削除します。 AT＊DGAPL?：現在の設定を表示　AT＊DGAPL=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGAPL=0,1↵ OK	
AT＊DGARL=<n>[,<cid>] ※2	パケット着信呼に対して着信を拒否する接続先（APN）を設定します。APNは+CGDCONTコマンドで定義した<cid>を使用します。 n=0：着信拒否リストに追加　n=1：着信拒否リストから削除 <cid>を+CGDCONTコマンドで定義していない場合でも、リストへ追加／削除します。 <cid>を省略した場合は、すべての<cid>をリストに追加／削除します。 AT＊DGARL?：現在の設定を表示　AT＊DGARL=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGARL=0,1↵ OK	
AT＊DGPIR=<n>※2	パケット通信確立時の発信者番号通知を設定します。発信時、着信時に有効です。 n=0：APNにそのまま接続（お買い上げ時）　n=1：APNに184を付けて接続 n=2：APNに186を付けて接続 ダイヤルアップネットワークでも通知／非通知を設定した場合→P16 AT＊DGPIR?：現在の設定を表示　AT＊DGPIR=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGPIR=0↵ OK	
AT＊DRPW	FOMA端末が受信する電波の受信電力指標を表示します。 AT＊DRPW=?：表示可能な値のリストを表示
AT＊DRPW↵ ＊DRPW：0 OK	
AT+CAOC	直前通話料金を表示します。
AT+CAOC↵ +CAOC："000024" OK	
AT+CBC	FOMA端末の電池残量を「+CBC：<bcs>,<bcl>」の形式で表示します。 bcs=0：電池パックから電源の供給あり　bcs=1：電池パックから電源の供給なし bcs=2：電池パックが取り外されている　bcs=3：電源供給エラー bcl=0：電池残量なしまたは電池パックが取り外されている　bcl=1～100：電池残量あり AT+CBC=?：表示可能な値のリストを表示
AT+CBC↵ +CBC：0,100 OK	
AT+CBST=<n>,1,0※1	利用する回線を設定します（ベアラサービスの設定）。 n=116：64Kデータ通信（固定値） AT+CBST?：現在の設定を表示　AT+CBST=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CBST=116,1,0↵ OK	
AT+CDIP=<n>※1	パケット着信および64Kデータ着信時のサブアドレスの通知の有無を設定します。また、マルチナンバーの契約状況を確認できます。 n=0：サブアドレスを表示しません。（お買い上げ時）　n=1：サブアドレスを表示します。 m=0：マルチナンバー未契約　m=1：マルチナンバー契約中 AT+CDIP?：「+CDIP:<n>,<m>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CDIP=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CDIP=0↵ OK	
AT+CEER	直前の切断理由を表示します。 切断理由一覧→P29
AT+CEER↵ +CEER：36 OK	
AT+CGDCONT※2	パケット通信の接続先（APN）を設定します。→P30
→P30	

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT+CGEQMIN[※2] →P30	パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかの判定基準を設定します。→P30
AT+CGEQREQ[※2] →P31	パケット通信発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。→P31
AT+CGMR AT+CGMR↵ 1234567890123456 OK	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT+CGREG=<n>[※1] AT+CGREG=0↵ OK	ネットワーク登録状態（圏内／圏外）を通知するかを設定します。 n=0：通知なし（お買い上げ時） n=1：圏内から圏外または圏外から圏内へ移動時「+CGREG：<stat>」の形式で通知 stat=0：パケット圏外　　stat=1：パケット圏内　　stat=4：不明 AT+CGREG?：「+CGREG：<n>,<stat>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CGREG=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CGSN AT+CGSN↵ 123456789012345 OK	FOMA端末の製造番号を表示します。
AT+CLIP=<n>[※1] AT+CLIP=0↵ OK	64Kデータ通信着信時、相手の発信者番号をパソコンに表示するかを設定します。 n=0：リザルトを表示しない（お買い上げ時）　　n=1：リザルトを表示する m=0：番号を通知しないNW設定 m=1：番号を通知するNW設定　　m=2：不明 AT+CLIP?：「+CLIP：<n>,<m>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CLIP=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CLIR=<n>[※2] AT+CLIR=2↵ OK	64Kデータ通信発信時の発信者番号通知を設定します。 n=0：FOMA端末の発信者番号通知設定に従う　　n=1：通知しない n=2：通知する（お買い上げ時） m=0：CLIRは未起動（常時通知）　　m=1：CLIRは起動（常時非通知） m=2：不明　　m=3：CLIRテンポラリーモード（非通知デフォルト） m=4：CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト） AT+CLIR?：「+CLIR：<n>,<m>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CLIR=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CMEE=<n>[※1] AT+CMEE=0↵ OK	FOMA端末のエラーレポートの有無を設定します。 n=0：リザルトコードを使用せずに「ERROR」を表示（お買い上げ時） n=1：リザルトコードを使用し、数字で理由を表示 n=2：リザルトコードを使用し、英文字で理由を表示 n=1またはn=2に設定すると、「+CME ERROR：xxxx」の形式で理由を表示します（xxxxには、数字または英文字が表示されます）。→P29「エラーレポート一覧」 AT+CMEE?：現在の設定を表示　　AT+CMEE=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CNUM AT+CNUM↵ +CNUM：,"090XXXXXXXX",129 OK	FOMA端末の自局電話番号を「+CNUM：,"<number>",<type>」の形式で表示します。 number：自局電話番号 type=129：国際アクセスコード+を含まない type=145：国際アクセスコード+を含む
AT+COPS=<n>,2,<oper>[※2] AT+COPS=0↵ OK	接続する通信事業者の検索方法を設定します。 n=0：オート（お買い上げ時）　　n=1：マニュアル　　n=3：マッピングしない n=1に設定した場合は、<oper>にPLMN Numberを16進数で設定します。 AT+COPS?：現在の設定を表示　　AT+COPS=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CPAS AT+CPAS↵ +CPAS：0 OK	FOMA端末が外部機器にATコマンドを送受信できるかを「+CPAS：<n>」の形式で表示します。 n=0：可能　　n=1：不可能　　n=2：状態不明　　n=3：可能かつ着信中 n=4：可能かつ通信中 AT+CPAS=?：表示可能な値のリストを表示

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT+CPIN="<pin>", "<newpin>" AT+CPIN="0000"↵ OK	PIN1コードON時、PIN1／PIN2コードやPINロック解除コードの入力が必要な場合に入力します。PINロック解除コードの入力が必要な場合は、<newpin>に新しいPIN1／PIN2コードを入力します。PIN1／PIN2コードの入力が要求されているときに<newpin>を入力しても、PIN1／PIN2コードの変更はできません。 n=READY：コード入力の要求なし　　n=SIM PIN：PIN1コード入力待ち n=SIM PIN2：PIN2コード入力待ち n=SIM PUK：PIN1ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち n=SIM PUK2：PIN2ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち AT+CPIN?：現在の要求されているコードを「+CPIN：<n>」の形式で表示
AT+CR=<n>※1 AT+CR=0↵ OK	接続時に「CONNECT」が表示される前に、通信の種別を表示するかを設定します。 n=0：表示しない（お買い上げ時）　　n=1：「+CR：<serv>」の形式で通信の種別を表示 serv=GPRS：パケット通信　　serv=SYNC：64Kデータ通信 AT+CR?：現在の設定を表示　　AT+CR=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CRC=<n>※1 AT+CRC=0↵ OK	着信時に+CRINGのリザルトコードを使用するかを設定します。 n=0：使用しない（お買い上げ時） n=1：「+CRING：<type>」のリザルトコードを使用する type=GPRS "PPP",,,"<APN>"：パケット通信　　type=SYNC：64Kデータ通信 AT+CRC?：現在の設定を表示　　AT+CRC=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CREG=<n>※1 AT+CREG=0↵ OK	ネットワーク登録状態（圏内／圏外）を通知するかを設定します。 n=0：通知なし（お買い上げ時） n=1：圏内から圏外または圏外から圏内へ移動時「+CREG：<stat>」の形式で通知 stat=0：音声圏外　　stat=1：音声圏内　　stat=4：不明 AT+CREG?：「+CREG：<n>,<stat>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CREG=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CUSD=<n>,"<str>"※1 AT+CUSD=0,"012345678" ↵ OK	ネットワークサービスの追加サービス（USSD登録）を設定します。<str>には、ドコモから通知されたサービスコードを入力します。 n=0：中間リザルトを応答しない（お買い上げ時） n=1：中間リザルトを「+CUSD：<m>, "<str>",0」の形式で応答する m=0：情報の要求なし　　m=1：情報の要求あり AT+CUSD?：現在の設定を表示　　AT+CUSD=?：設定可能な値のリストを表示
AT+FCLASS=<n>※1 AT+FCLASS=0↵ OK	FOMA端末がサポートする通信種別を設定します。 n=0：データのみサポート（固定値） AT+FCLASS?：現在の設定を表示　　AT+FCLASS=?：設定可能な値のリストを表示
AT+GCAP AT+GCAP↵ +GCAP： +CGSM,+FCLASS, +W OK	FOMA端末でサポートしているATコマンドの範囲を「+GCAP：<n>」の形式で表示します。 n=+CGSM：GSMコマンドをサポート（一部のみサポートの場合を含む） n=+FCLASS：+FCLASSコマンドをサポート　　n=+W：+Wコマンドをサポート
AT+GMI AT+GMI↵ FUJITSU OK	FOMA端末のメーカ名を表示します。
AT+GMM AT+GMM FOMA F08C OK	FOMA端末の機種名を表示します。
AT+GMR AT+GMR↵ Ver1.00 OK	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT+IFC=<n,m>※1 AT+IFC=2,2↵ OK	パソコンとFOMA端末間のローカルフロー制御方式を設定します。 n、m=0：フロー制御を行わない　　n、m=1：XON/XOFFフロー制御を行う n、m=2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行う（お買い上げ時） AT+IFC?：「+IFC：<n>,<m>」の形式で現在の設定を表示（nはDCE by DTE、mはDTE by DCEの値を示す） AT+IFC=?：設定可能な値のリストを表示
AT+WS46=<n>※1	発信時に使用する無線ネットワークをnの値で表示します。 変更はできないので、AT+WS46=<n>と入力すると、ERRORを返します。 n=22：FOMAネットワーク（固定値） AT+WS46?：現在の設定を表示　　AT+WS46=?：設定可能な値のリストを表示

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT¥S	現在設定されている各コマンドとSレジスタの内容を表示します。
AT¥S↵ E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 ・・・（中略）・・・ S104=001 OK	
AT¥V<n>※1	接続時の拡張リザルトコードの使用を設定します。 n=0：拡張リザルトコードを使用しない（お買い上げ時） n=1：拡張リザルトコードを使用する
AT¥V0 OK	
+++	通信中に入力すると、オンラインデータモードからオンラインコマンドモードに移行します。 エスケープガード区間は1秒の固定値です。
+++(非表示) OK	

※1　&WコマンドでFOMA端末に記録されます。
※2　&FおよびZコマンドによるリセットは行われません。
※3　&Wコマンドを使用する前にZコマンドを実行すると、最後に記録した状態に戻り、それまでの変更内容は消去されます。

◆切断理由一覧

■パケット通信

値	理　由
26	APNが存在しないか、または正しくありません。
27	
30	ネットワークによって切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

■64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありません。
19	相手側を呼び出しましたが応答がありません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない処理速度を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、または着信を受けました。

◆エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
10	SIM not inserted	ドコモUIMカードがセットされていません。
15	SIM wrong	ドコモ以外のSIM（ドコモUIMカードに相当するICカード）が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

◆ATコマンドの補足説明

- ＜cid＞は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。
- お買い上げ時、cid1～4には次のように登録されています。
  cid1：mopera.ne.jp（接続先mopera、PPP接続）
  cid2：mopera.net（接続先mopera U、PPP接続）
  cid3：mopera.net（接続先mopera U、IP接続）
  cid4：mpr.ex-pkt.net（接続先mopera U、PPP接続、128K通信）
- ＜APN＞は接続先を示す接続ごとの任意の文字列です。

■ コマンド名：+CGDCONT=［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信の接続先（APN）を設定します。
- **書式**
  +CGDCONT=［＜cid＞［,"＜PDP_TYPE＞"［,"＜APN＞"]]]
- **パラメータ説明**
  ＜cid＞：1～10
  ＜PDP_TYPE＞：IPまたはPPP
  ＜APN＞：任意
- **実行例**
  PPP接続の「abc」というAPN名を登録する場合のコマンド（＜cid＞=5の場合）
  AT+CGDCONT=5,"PPP","abc"↵
  OK
- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGDCONT=：すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGDCONT=＜cid＞：指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGDCONT?：現在の設定を表示します。
  AT+CGDCONT=?：設定可能な値のリストを表示します。

■ コマンド名：+CGEQMIN=［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかの判定基準を設定します。
- **書式**
  AT+CGEQMIN=［＜cid＞［,,＜Maximum bitrate UL＞［,＜Maximum bitrate DL＞]]]
- **パラメータ説明**
  ＜cid＞：1～10
  ＜Maximum bitrate UL＞：なし（お買い上げ時）または384
  ＜Maximum bitrate DL＞：なし（お買い上げ時）または7,232
  ※ ＜Maximum bitrate UL＞および＜Maximum bitrate DL＞では、FOMA端末と基地局間の上りおよび下りの最大通信速度（kbps）を設定します。「なし（お買い上げ時）」に設定した場合は、すべての速度を許容しますが、「384」および「7,232」を設定した場合、これらの速度以下の接続は許容されないため、パケット通信が接続されない場合がありますのでご注意ください。
- **実行例**
  - 上りと下りですべての速度を許容する場合のコマンド（＜cid＞=5の場合）
    AT+CGEQMIN=5↵
    OK
  - 上り384kbps、下り7,232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=6の場合）
    AT+CGEQMIN=6,,384,7232↵
    OK
  - 上り384kbps、下りすべての速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=7の場合）
    AT+CGEQMIN=7,,384↵
    OK
  - 上りすべての速度、下り7,232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=8の場合）
    AT+CGEQMIN=8,,,7232↵
    OK

- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGEQMIN=：すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQMIN=＜cid＞：指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQMIN?：現在の設定を表示します。
  AT+CGEQMIN=?：設定可能な値のリストを表示します。

■ コマンド名：+CGEQREQ=［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
- **書式**
  AT+CGEQREQ=［＜cid＞］
- **パラメータ説明**
  上り64～384kbps、下り64～7,232kbpsの速度で接続を要求するコマンドのみ設定できます。各＜cid＞にはその内容がお買い上げ時に設定されています。
  ＜cid＞：1～10
- **実行例**
  （＜cid＞=3の場合）
  AT+CGEQREQ=3↵
  OK
- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGEQREQ=：すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQREQ=＜cid＞：指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQREQ?：現在の設定を表示します。
  AT+CGEQREQ=?：設定可能な値のリストを表示します。

◆リザルトコード

- ATVコマンドがn=1（お買い上げ時）に設定されている場合は英文字、n=0の場合は数字でリザルトコードが表示されます。→P25

■ リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信しています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けられません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音の検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト。
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です（通信ネットワークが混雑しています。しばらくたってから接続し直してください）。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ 拡張リザルトコード

- **AT&Eコマンドがn=0に設定されている場合**

数字表示	文字表示	FOMA端末－基地局間の接続速度
122	CONNECT 64000	64000bps
125	CONNECT 384000	384000bps
133	CONNECT 3648000	3648000bps
135	CONNECT 7232000	7232000bps

・ AT&Eコマンドがn=1に設定されている場合

数字表示	文字表示	FOMA端末ーパソコン間の接続速度
5	CONNECT 1200	1200bps
10	CONNECT 2400	2400bps
11	CONNECT 4800	4800bps
13	CONNECT 7200	7200bps
12	CONNECT 9600	9600bps
15	CONNECT 14400	14400bps
16	CONNECT 19200	19200bps
17	CONNECT 38400	38400bps
18	CONNECT 57600	57600bps
19	CONNECT 115200	115200bps
20	CONNECT 230400	230400bps
21	CONNECT 460800	460800bps

※ 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度を表示しますが、FOMA端末ーパソコン間はUSBケーブルで接続されているため、実際の接続速度と異なります。

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	64Kデータ通信で接続（BC=UDI、+CBST=116,1,0）
5	PACKET	パケット通信で接続

■ リザルトコード表示例

ATX0が設定されているとき

AT¥Vコマンドの設定に関わらず、接続完了の際に「CONNECT」のみ表示されます。

文字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
　　　　　　CONNECT
数字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
　　　　　　1

ATX1が設定されているとき

・ ATX1、AT¥V0（お買い上げ時）が設定されている場合
　接続完了時に、「CONNECT＜FOMA端末ーパソコン間の速度＞」の書式で表示します。
　文字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
　　　　　　　CONNECT 460800
　数字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
　　　　　　　1 21

・ ATX1、AT¥V1が設定されている場合※1
　接続完了時に、次の書式で表示します。
　「CONNECT＜FOMA端末ーパソコン間の速度＞＜通信プロトコル＞＜接続先APN＞/＜上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度＞/＜下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度＞」※2
　文字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
　　　　　　　CONNECT 460800 PACKET mopera.ne.jp/384/7232
　（mopera.ne.jpに、上り最大384kbps、下り最大7,232kbpsで接続したことを表します。）
　数字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
　　　　　　　1 21 5

　※1 ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しくできないことがあります。AT¥V0だけでのご利用をおすすめします。
　※2 AT¥V1が設定されている場合、＜接続先APN＞以降はパケットで接続している場合のみ表示されます。

区点コード一覧

区点コードの入力方法については、取扱説明書をご覧ください。
区点コード一覧の表示には、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点 1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	〜	‖	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	−	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	¬	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤

区点 1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺

区点 1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	

2008.9（1版）
CA92002-5476

区点1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	さ									
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
	し									
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
	す									
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
	せ									
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然

区点1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
332	全	禅	繕	膳	糎					
	そ									
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
	た									
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
	ち									
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
	つ									
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
	て									
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
	と									
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
	な									
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
	に									
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
	ぬ									
390									濡	
	ね									
390										禰

区点1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
	の									
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
	は									
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
	ひ									
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
	ふ									
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	へ									
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
	ほ									
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
	ま									
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
	み									
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
	む									
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
	め									
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
	も									
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
447	紋	門	匁							
や										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
ゆ										
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ										
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら										
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
り										
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
る										
466	瑠	塁	涙	累	類					
れ										
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
ろ										
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
わ										
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	榊	榔	榆	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼

区点1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			